

「食肉に関する意識調査」 報告書

令和3年度

公益財団法人 日本食肉消費総合センター

食肉に関する意識調査

目次

1. 調査の目的と分析の基本方針	1
1.1 調査の目的.....	2
1.2 分析の基本方針.....	2
1.3 調査対象期間	2
1.4 調査手法	2
1.5 調査手順	2
1.6 対象者条件.....	2
1.7 集計対象	3
1.8 回答者属性.....	3
1.9 過年度の調査対象と継続設問	5
2. 考察	8
2.1 家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）に対する 消費者意識の考察.....	8
1)家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）の全頭殺処分の認知度（Q22）： エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q19)別分析	9
2)家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への関心度（Q20）： エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q19)別分析	11
3)家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への不安（Q21）： エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q19)別分析	16
4)家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への認知・理解（Q23～Q26）： エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q19)別分析	20
2.2 「代替肉<植物肉>及び<細胞培養肉>」に関する消費者意識の考察	32
<u><植物肉>及び<細胞培養肉>に関する消費者意識</u>	
1)<植物肉>（Q36）及び<細胞培養肉>（Q48）の認知度：エリア・性・年代別分析、 カロリー意識（Q54）別分析	33
2)<植物肉>の喫食経験（Q37）：エリア・性・年代別分析、カロリー意識（Q54）別分析.....	36
3)<植物肉>についての考え（Q45・Q46）：エリア・性・年代別分析、カロリー意識（Q54）別分析...	38
4)<植物肉>（Q47）及び<細胞培養肉>（Q49）の購入意向：エリア・性・年代別分析、 カロリー意識（Q54）別分析	43

＜植物肉＞に関する構造方程式モデリング分析

5)＜植物肉＞に関する構造方程式モデリング分析 (Q38～Q47、Q54、Q55)	49
---	----

「食肉」「食品」に関する消費者意識

6)「食肉」に関する消費者意識 (Q43、Q44) : エリア・性・年代別分析	56
7)「家畜福祉」に関する消費者意識 (Q41) : エリア・性・年代別分析	58
8)「食品と環境の影響」に関する消費者意識 (Q42) : エリア・性・年代別分析.....	59
9)「食べ物」に関する消費者意識 (Q38) : エリア・性・年代別分析.....	60
10)「健康的な食事」に関する消費者意識 (Q40) : エリア・性・年代別分析.....	63
11)「新しい食品技術」に関する消費者意識 (Q39) : エリア・性・年代別分析	64
12) 食肉の喫食により得られる「カロリー」「脂質」についての意識(Q54、Q55) : エリア・性・年代別分析、時系列分析.....	68

2.3 食肉による食中毒に対する消費者意識の考察..... 70

1)食肉及び食品による「食中毒」の経験とその時期 (Q32) : エリア・性・年代別分析	71
2)「食中毒予防」としてふだん実施している事柄 (Q33) : エリア・性・年代別分析、 食中毒の経験の有無 (Q32) 別分析.....	73
3)「食中毒」に関する知識 (Q34) : エリア・性・年代別分析、食中毒の経験の有無 (Q32) 別分析	81

3. 食肉の購買実態に関する調査..... 85

1)食肉の種類別機会別の喫食頻度 (Q4)	85
2)食肉に対する種類別イメージ (Q5)	90
3)食肉の種類別購入頻度 (Q6)	95
4)食肉の種類別の主な購入先 (Q7)	97
5)食肉購入時に重視する点 (Q8)	102
6)昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化 (Q9))	107
7)食品の購入回数の変化 (Q10)	111
8)各種牛肉の購入意向 (Q11)	115
9)各種牛肉の購入頻度 (Q12)	116
10)各種牛肉のイメージ (Q13)	119
11)国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q14)	124
12)和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q15)	126
13) 国産和牛肉／和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q14・Q15) : 順序プロビット回帰分析	128
14)産地別牛肉の購入意向 (Q16)	133
15)産地別豚肉の購入意向 (Q17)	135
16)産地別鶏肉の購入意向 (Q18)	136

4. 食肉の安全性に関する意識調査	137
4.1 食品の安全性に関する意識	137
1)食品の安全性の不安感 (Q19)	137
2)食肉の安全性に関する項目別関心度 (Q20)	143
4.2 食肉の安全性に対する社会的な意識	149
1)社会全体における食肉の安全性の認識 (Q27)	149
2)食肉の情報を得るために用いている主な情報源・信頼できる情報源	
①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能 (Q28・Q29)	150
3)各機関の取組に対する信頼性 (Q30)	154
4)食肉の情報提供に対する行政への期待 ①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能 (Q31)	157
5. 「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に係わる食生活・購買行動の変化に関する調査	162
1)「新型コロナウイルス感染症」についての不安 (Q50)	162
2)「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に係わる食生活・購買行動の変化 (Q51)	165
6. 集計表	170

調査の目的と分析の基本方針

1. 調査の目的と分析の基本方針

1.1 調査の目的

消費者の食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）の「購買状況、食肉に対する意識等」を調べ、国産食肉の安全・安心につながる要因を明らかにし、食肉に対する正しい理解・風評被害の防止等に資することを目的とする。

1.2 分析の基本方針

分析を行う上では、過年度調査との比較を試みることによって示唆を得るよう心掛けた。

1.3 調査対象期間

令和3年10月下旬に実施

1.4 調査手法

インターネット調査を実施した。対象者はモニター群から抽出した。

1.5 調査手順

調査の参加意向者募集
実調査の実施

1.6 対象者条件

アンケートの対象者は「20歳以上、かつ本調査時点までの間に食肉(牛肉／豚肉／鶏肉)を自身で購入し食した方」とした。また、「1.2 分析の基本方針」でも示した通り、過年度調査との比較を分析の基本方針としていることに鑑み、エリア・世代・性別の分布については昨年度調査の構成比と近づけるよう調整を行った。

1.7 集計対象

1,800人からアンケートの回答を得た。そのうち、以下の2エリア、6世代を掛け合わせた12セルについて1セル150人、計1,800人を抽出し、集計対象とした。

1.7.1 エリア・世代分布

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
首都圏	150	150	150	150	150	150	900
京阪神圏	150	150	150	150	150	150	900
合計	300	300	300	300	300	300	1,800

図表 1 集計対象のエリア・世代分布

1.7.2 エリア区分

エリア名	都道府県名
首都圏	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
京阪神圏	大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県

図表 2 エリア区分（回答者所在都道府県）

1.8 回答者属性

1.8.1 性別

合計	男性	女性
1,800	900	900

図表 3 回答者属性（性別）

1.8.2 世帯年収構成

合計	300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500万円以上	答えたくない/わからない
1,800	316	423	293	272	133	49	314

図表 4 回答者属性（世帯年収構成）

1.8.3 世帯構成人数

合計	単身	2人	3人	4人	5人	6人以上
1,800	301	628	450	305	76	40

図表 5 回答者属性（世帯構成人数）

1.8.4 回答者の学歴

合計	中学	高校	専門学校	短大・高専	大学	大学院
1,800	35	505	189	198	812	61

図表 6 回答者属性（学歴）

1.8.5 回答者の所在都府県

合計	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
1,800	150	131	382	237	52	109	405	242	58	34

図表 7 回答者属性（所在都府県）

1.8.6 家族構成員の状況

合計	妊娠されている方	小学校入学前の子ども(乳児・幼児を含む)	小学生の子ども	中高生の子ども	お年寄り(65歳以上、ご自身を含める)
1,800	40	180	162	174	668

図表 8 回答者属性（家族構成員）

1.9 過年度の調査対象と継続設問

1.9.1 調査対象

平成 24 年～平成 30 年度、令和元年～令和 2 年度調査の調査対象は以下のとおりである。今年度調査では、平成 26 年度・平成 27 年度・平成 28 年度・平成 29 年度・平成 30 年度、令和元年度・令和 2 年度と同様、年代を 20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、70 代以上の 6 区分とし、首都圏、京阪神圏と合わせて、12 セルで 1 セル 150 名とし、1,800 名を調査対象とした。

年度	対象者数	エリア・世代分布
令和 2 年度 令和元年度 平成 30 年度 平成 29 年度 平成 28 年度 平成 27 年度 平成 26 年度	1,800 名	20 代、30 代、40 代、50 代、 60 代、70 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 12 セルで 1 セル 150 名
平成 25 年度	1,240 名	20 代、30 代、40 代、50 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 8 セルで 1 セル 155 名
平成 24 年度	1,238 名	20 代、30 代、40 代、50 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 8 セルで 1 セル 155 名前後

図表 9 過年度調査の対象

※平成 26 年度より年代については 60 代、70 代の区分を設けているため、年代の構成比が異なる。経年比較での調査結果を閲覧する際はこの点に留意する必要がある。

1.9.2 過年度からの継続設問・新規設問

平成24年～平成30年度、令和元年度・令和2年度調査からの継続設問は以下に示すとおりである。*令和3年度からの新規設問は以下に示すとおりである。

	令和3年度設問	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
Q4	食肉の種類別機会別の喫食頻度	Q4	Q4	Q4	Q4	Q4	Q3	Q1	Q1	Q1
Q5	食肉に対する種類別イメージ	Q5	Q5	Q5	Q5	Q5	Q4	Q2	Q2	Q2
Q6	食肉の種類別購入頻度	Q6	Q6	Q6	Q6	Q6	Q5	Q3	Q3	Q3
Q7	食肉の種類別の主な購入先	Q7	Q7	Q7	Q7	Q7	Q6	Q4	Q4	Q4
Q8	食肉購入時に重視する項目	Q8	Q8	Q8	Q8	Q8	Q7	Q5	Q5	Q5
Q9	昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化	Q11	Q9	Q9	Q9	Q9	Q8	Q6	Q6	Q6
Q10	昨年同期と比べた最近1か月の食品購入回数の変化	Q12	Q10	-	-	-	-	-	-	-
Q11	各種牛肉の購入意向	Q13	Q11	Q10	Q10	Q10	Q10	-	-	-
Q12	各種牛肉の購入頻度	Q14	Q12	-	-	-	-	-	-	-
Q13	各種牛肉のイメージ	Q15	Q16	Q11	Q11	Q11	Q11	-	-	-
Q14	国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度	Q16	Q20	Q14	Q14	Q14	Q16	-	-	-
Q15	和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度	Q17	Q21	Q15	Q15	Q15	Q17	-	-	-
Q16	産地別牛肉の購入意向	Q18	Q22	Q16	Q16	Q16	Q18	Q7	Q7	Q7
Q17	産地別豚肉の購入意向	Q19	Q23	Q17	Q17	Q17	Q19	Q8	Q8	Q8
Q18	産地別鶏肉の購入意向	Q20	Q24	Q18	Q18	Q18	Q20	Q9	Q9	Q9
Q19	食品の安全性の不安感	Q21	Q25	Q22	Q19	Q19	Q21	Q10	Q10	Q10
Q20	食肉の安全性に関する項目別関心度	Q23	Q27	Q26	Q23	Q23	Q25	Q14	Q14	Q14
Q21	食肉の安全性の問題への不安度	Q24	-	-	-	-	-	-	-	-
Q22 *	感染家畜の全頭殺処分の認知度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q23	口蹄疫について知っている知識	Q28	-	-	-	-	-	-	-	-
Q24	豚熱について知っている知識	Q26	Q29	Q28	-	-	-	-	-	-
Q25	アフリカ豚熱について知っている知識	Q27	Q30	-	-	-	-	-	-	-
Q26	鳥インフルエンザについて知っている知識	Q25	Q28	Q27	Q24	Q24	Q26	Q15	Q15	-
Q27	社会全体における食肉の安全性の認識	Q29	Q32	Q33	Q34	Q43	Q42	Q40	Q22	Q21
Q28	食肉の情報を得るために用いている主な情報源 ①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能	Q31	Q34	Q35	Q36	Q45	Q44	Q42	-	-
Q29	食肉の情報について信頼できる情報源 ①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能	Q32	Q35	Q36	Q37	Q46	Q45	Q43	Q23	Q22

	令和3年度設問	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
Q30	各機関の取組に対する信頼性	Q33	Q36	Q37	Q38	Q47	Q46	Q44	Q27	Q23
Q31	食肉の情報提供に対する行政への期待 ①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能	Q34	Q37	Q38	Q39	Q48	Q47	Q45	Q28	Q24
Q32 *	食肉及び食品による「食中毒」の経験とその時期	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q33 *	「食中毒予防」としてふだん実施している事柄	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q34 *	「食中毒」に関する知識	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q36	<植物肉>の認知度	Q41	(Q45)	-	-	-	-	-	-	-
Q37	<植物肉>の喫食経験	Q42	-	-	-	-	-	-	-	-
Q38 *	「食べ物」に関する消費者意識	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q39 *	「新しい食品技術」に関する消費者意識	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q40 *	「健康な食事」に関する消費者意識	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q41 *	「家畜福祉」に関する消費者意識	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q42 *	「食品と環境の影響」に関する消費者意識	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q43 *	「食肉の栄養」に関する消費者意識	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q44 *	「食肉」に関する消費者意識	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q45 *	<植物肉>に関する消費者意識	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q46 *	<植物肉>に関する消費者意識	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q47 *	<植物肉>の購入意向	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q48 *	<細胞培養肉>の認知	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q49 *	<細胞培養肉>の購入意向	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q50	「新型コロナウイルス感染症」についての不安	Q50	-	-	-	-	-	-	-	-
Q51	「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉に係わる食生活・購買行動の変化	Q51	-	-	-	-	-	-	-	-
Q54	食肉の喫食により得られるカロリーについての意識	Q46	Q53	Q61	Q56	Q53	-	-	-	-
Q55 *	食肉の脂肪についての意識	-	-	-	-	-	-	-	-	-

図表 10 過年度からの継続設問・本年度からの新規設問

2. 考察

2.1 家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）に対する消費者意識の考察

- 調査対象とした家畜伝染病について、全頭殺処分（家畜伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに全頭殺処分すること）の認知度は、「何となく知っている」が最も多く 31.9%で、認知度計は全体の 61.2%。一方、非認知は、「あまりよく知らない」が 20.3%で、非認知度計は全体の 38.7%。
- 調査対象とした家畜伝染病の関心度は、「関心がある計（非常に関心がある＋やや関心がある）」で見ると、「鳥インフルエンザ」57.5%、「口蹄疫」が 47.0%、「アフリカ豚熱」が 44.5%、「豚熱」が 44.2%の順。いずれの家畜伝染病についても、食肉の安全性に「不安を感じる層」ほど関心が高い。
- 食肉の安全性の問題についての不安は、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が 22.3%で最も高く、「牛の B S E（牛海綿状脳症）」が 21.9%、「鳥インフルエンザ」が 19.6%、「食肉中の残留抗生物質」が 18.6%の順。「牛・豚の口蹄疫」は 7.8%、「豚熱」は 2.7%、「アフリカ豚熱」は 2.1%と不安度は高くない。
- 食肉の安全性に「不安を感じる層」が、不安を感じている食肉の安全性の問題は、「食肉中の残留抗生物質」、「遺伝子組換え飼料を用いた食肉」、「食肉中の残留動物薬」、「ゲノム編集飼料を用いた食肉」であり、鳥インフルエンザを除き、家畜伝染病への不安度はこれらに比べそれほど高くない。
- 口蹄疫への認知・理解は、「口蹄疫は、防疫措置が講じられているので感染牛・豚の肉が市場に出回ることはない」20.6%、「口蹄疫は、牛や豚などの病気であり、人に感染することはない」20.2%、「アジアなど日本の周辺国では、口蹄疫が引き続き発生している」14.1%、「日本では、この 10 年間は、口蹄疫が発生していない」12.4%の順。「知っているものはない」は、56.6%。
- 豚熱への認知・理解は、「豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」17.0%、「豚熱は、防疫措置が講じられているので感染豚の肉が市場に出回ることはない」16.2%、「仮に豚熱にかかった豚の肉等を食べても人体に影響はない」9.8%の順。「知っているものはない」が、65.0%。
- アフリカ豚熱への認知・理解は、「アフリカ豚熱は、日本ではこれまで発生が確認されていない」11.3%、「アフリカ豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」10.8%の順。「知っているものはない」は、75.4%。
- 鳥インフルエンザへの認知・理解は、「市場に出荷される鶏肉、鶏卵には鳥インフルエンザウイルスの付着を防ぐ安全のための措置がとられている」22.9%、「これまで鶏肉や鶏卵を食べた人に感染した例はない」22.0%、「鳥インフルエンザウイルスに付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」20.7%の順。「知っているものはない」は、52.9%。

この 2.1 では、家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）に関する知識と食肉の喫食による感染への不安状況の把握と要因の分析を目的とした。

1) 家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）の全頭殺処分の認知度（Q22）

：エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q19)別分析

家畜伝染病について、説明文を提示して、全頭殺処分（家畜伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに全頭殺処分すること）について聞いた認知度（Q22）は、「詳しく知っている」が3.3%、「ある程度知っている」が26.0%、「何となく知っている」が最も多く31.9%で、認知度計は全体の61.2%である。一方、非認知は、「あまりよく知らない」が20.3%、「知らない」が7.0%、「全く知らない」が11.4%で、非認知度計は全体の38.7%である。

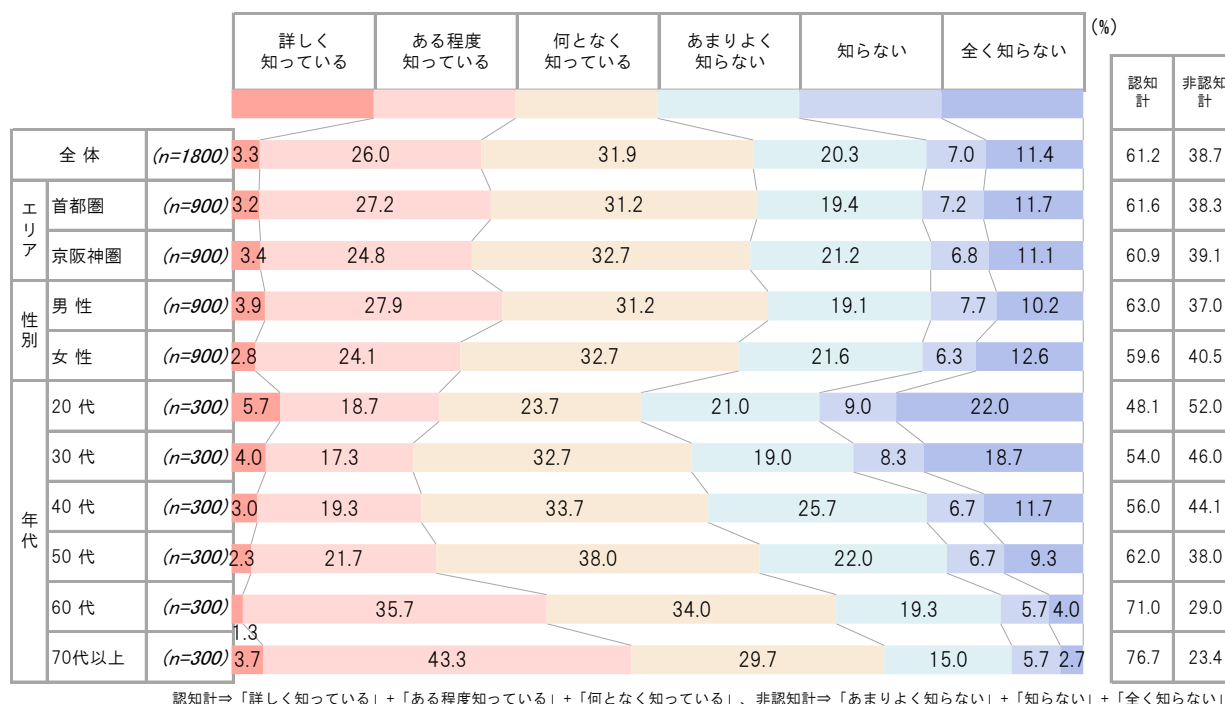
エリア別に認知度計を見ると、首都圏が61.6%、京阪神圏が60.9%と大きな違いは見られない。

男女別に見ると、「ある程度知っている」が男性の方が高く、認知度計を見ると男性が63.0%、女性が59.6%と、女性より男性の方が認知度が高い。

年代別に認知度計を見ると20代では48.1%と認知度が低いが、加齢とともに認知度が高くなり、60代が71.0%、70代以上が76.7%と7割以上と高くなる。

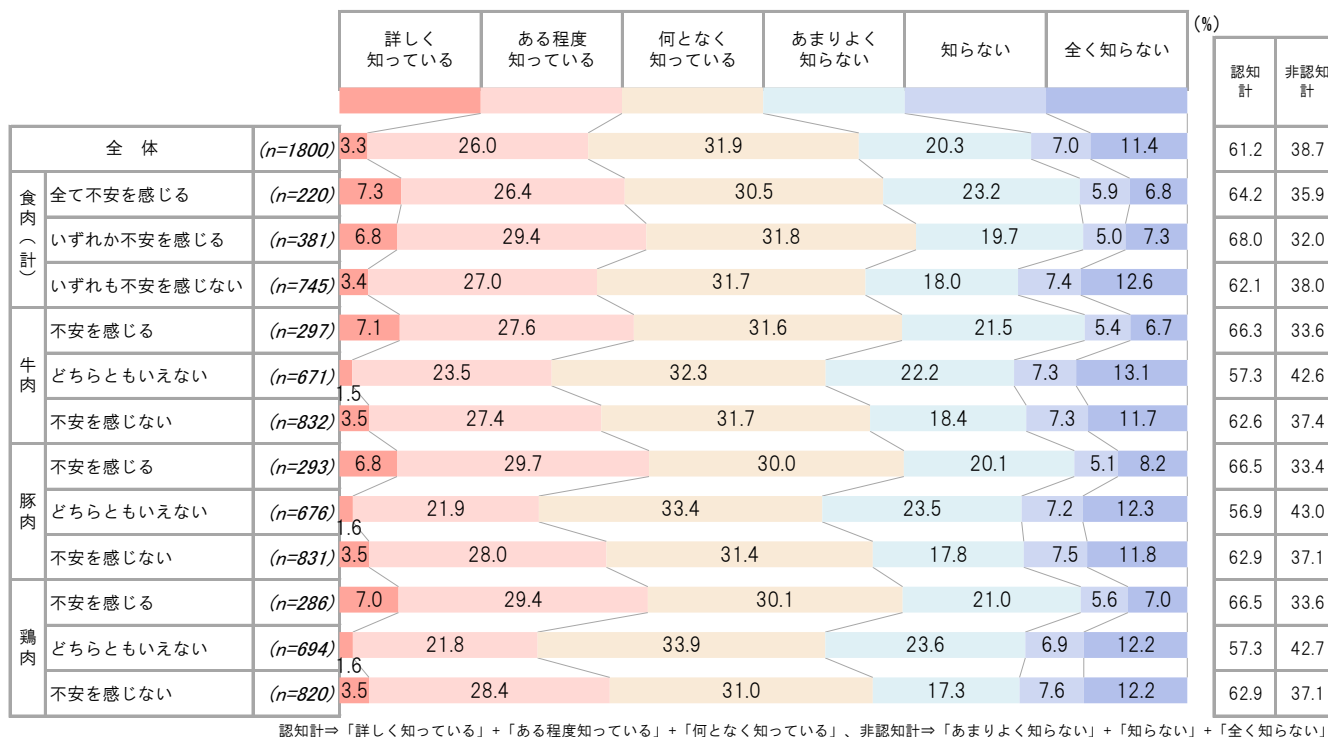
悪性の家畜伝染病である口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザなどは、感染力が強く、有効な予防法と治療法がないことから、発生した場合、他の農場へのまん延防止をはかるため、感染した牛や豚や鶏を殺処分することが法律に定められています。

図表 11 提示説明文



図表 12 エリア・性・年代別 家畜伝染病の全頭殺処分の認知度

食肉に感じる不安度(Q19)別に、全頭殺処分（家畜伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに全頭殺処分すること）の認知度（Q22）と見ると、牛肉・豚肉・鶏肉のいずれにおいても、不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない層」で認知度が低くなっている。



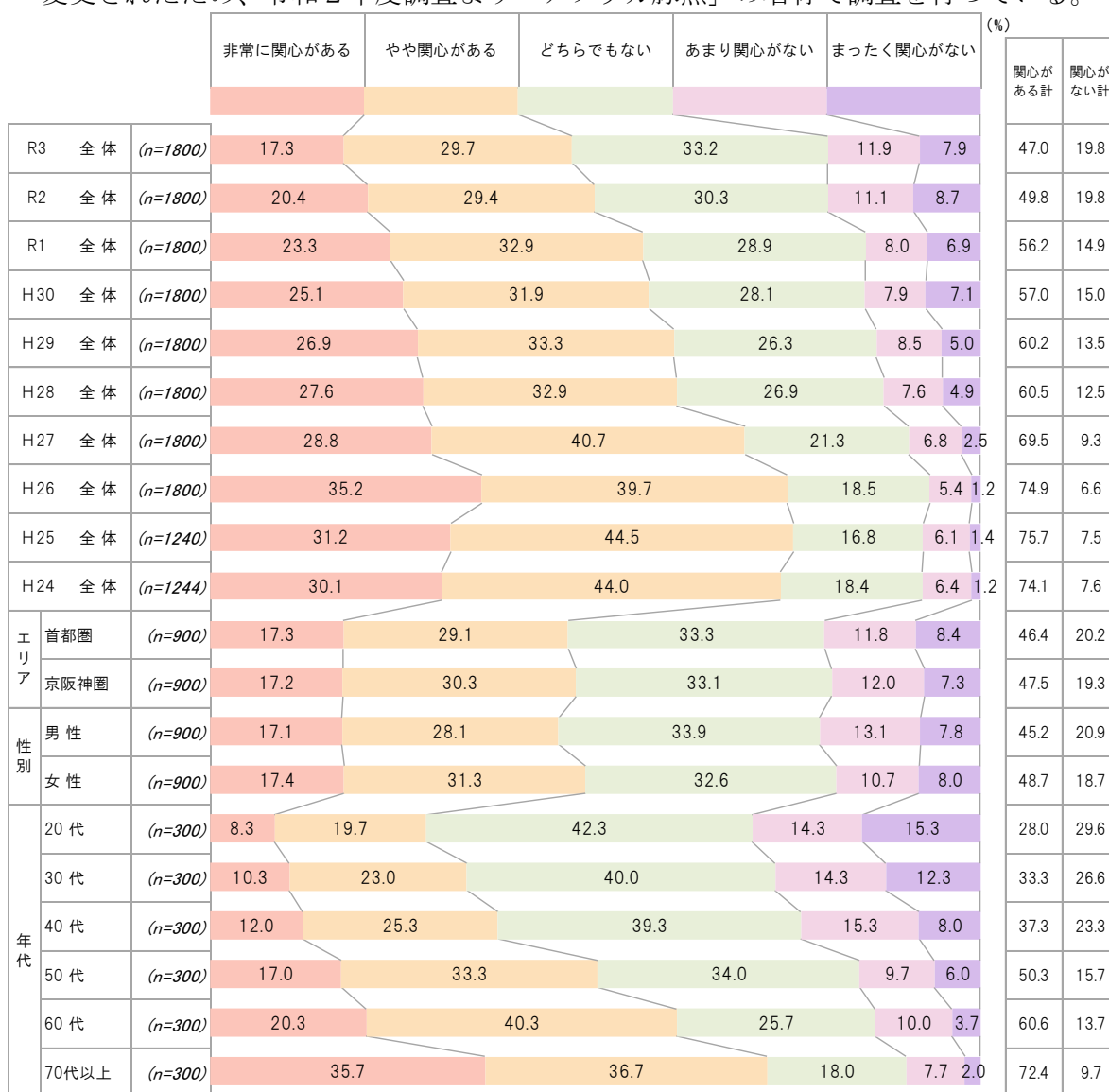
図表 13 食肉・牛肉・豚肉・鶏肉への不安度別 家畜伝染病の全頭殺処分の認知度

2) 家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への関心度（Q20）
：エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q19)別分析

調査対象とした家畜伝染病の関心度（Q20）は、「関心がある計（非常に関心がある＋やや関心がある）」で見ると、「鳥インフルエンザ」57.5%、「口蹄疫」が47.0%、「アフリカ豚熱」が44.5%、「豚熱」が44.2%の順で高い。

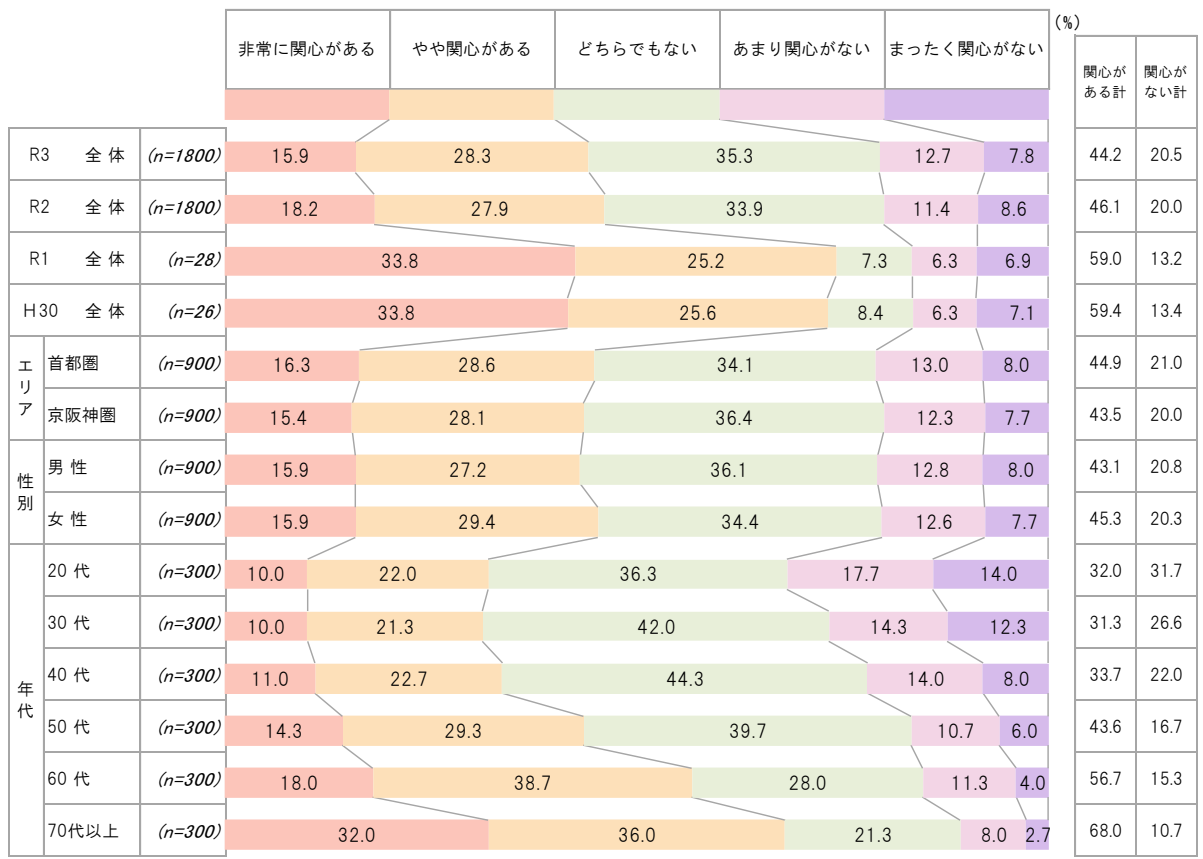
過年度調査で見ると、いずれの家畜伝染病の関心度も、減少傾向にある。

※平成30年度・令和元年度は「豚コレラ」の名称で調査を行ったが、人間のコレラとの混同やそれに伴う風評被害の抑制のため、令和2年2月5日に公布・施行された「家畜伝染病予防法の一部を改正する法律（令和2年法律第2号）」により「豚熱」に名称が変更されたため、令和2年度調査より「豚熱」の名称で調査を行っている。
※令和元年度は「アフリカ豚コレラ」の名称で調査を行ったが、人間のコレラとの混同やそれに伴う風評被害の抑制のため、「豚熱」と同様に、「アフリカ豚熱」に名称が変更されたため、令和2年度調査より「アフリカ豚熱」の名称で調査を行っている。



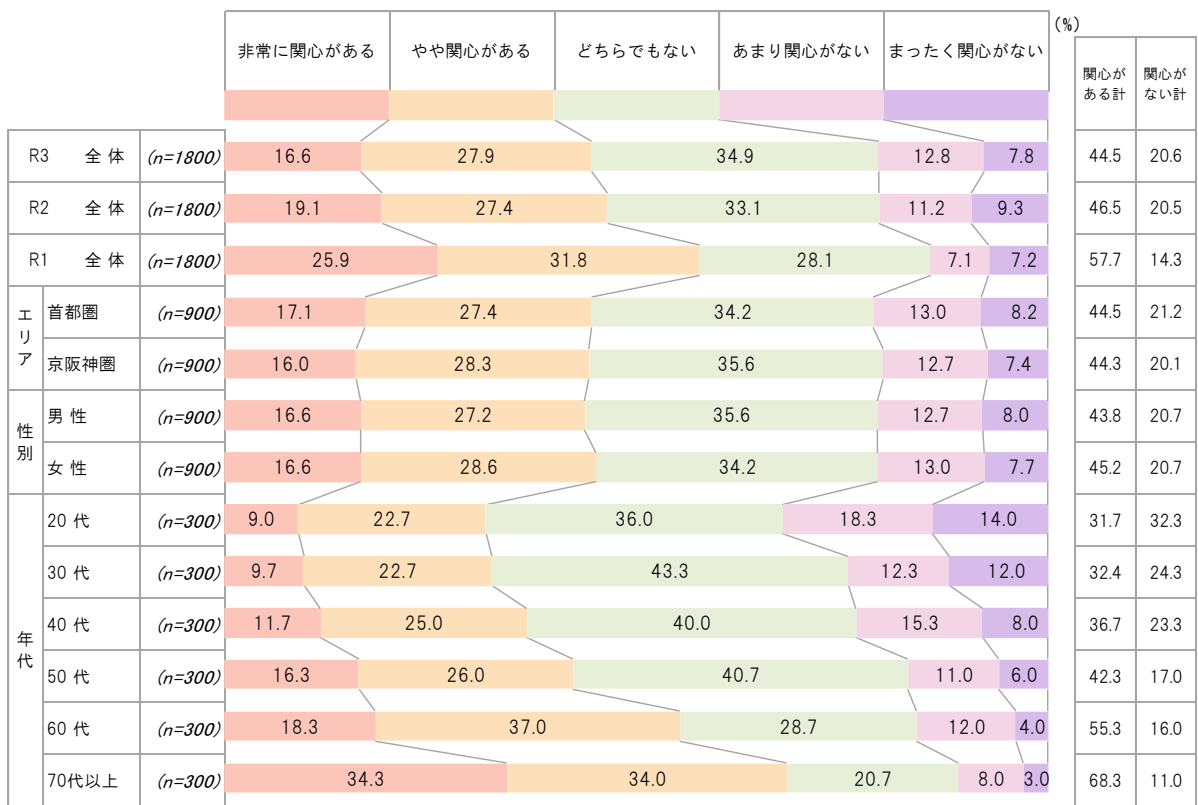
関心がある計⇒「非常に関心がある」＋「やや関心がある」、関心がない計⇒「あまり関心がない」＋「まったく関心がない」

図表 14 エリア・性・年代別 口蹄疫への関心度



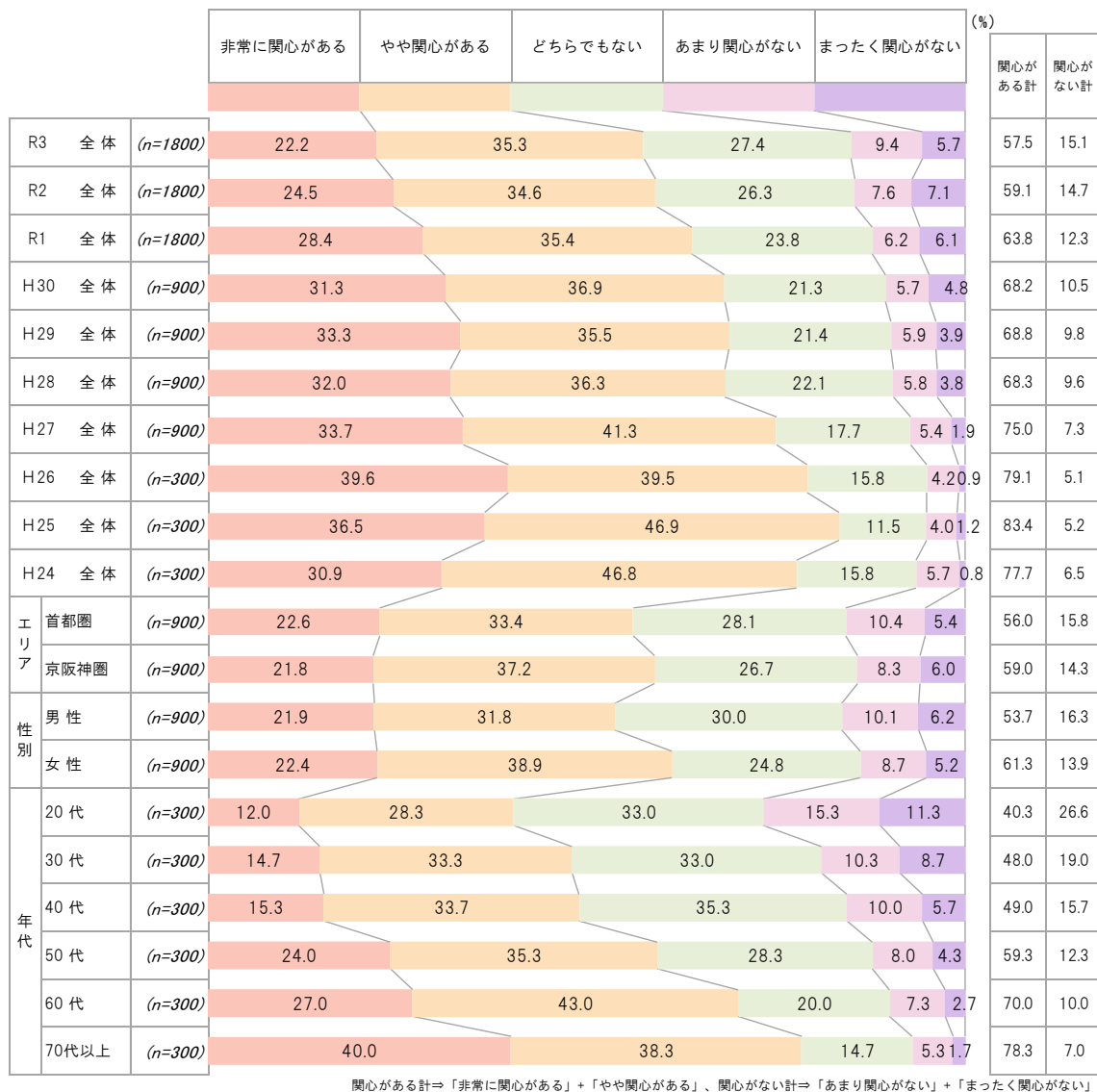
関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」、関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 15 エリア・性・年代別 豚熱への関心度



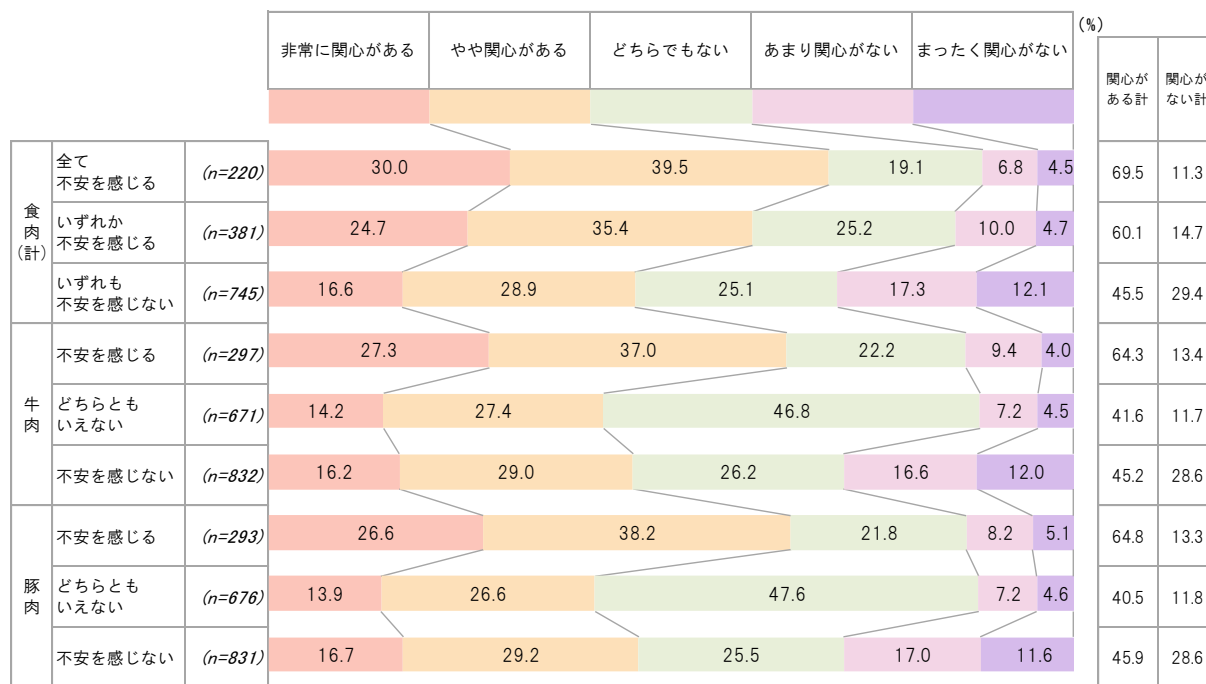
関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」、関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 16 エリア・性・年代別 アフリカ豚熱への関心度

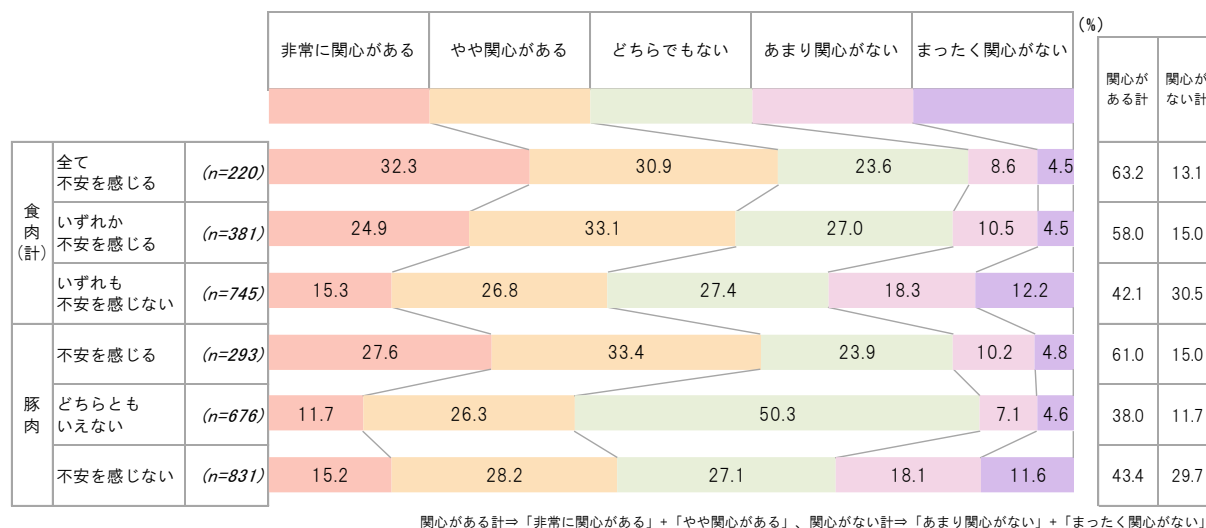


図表 17 エリア・性・年代別 鳥インフルエンザへの関心度

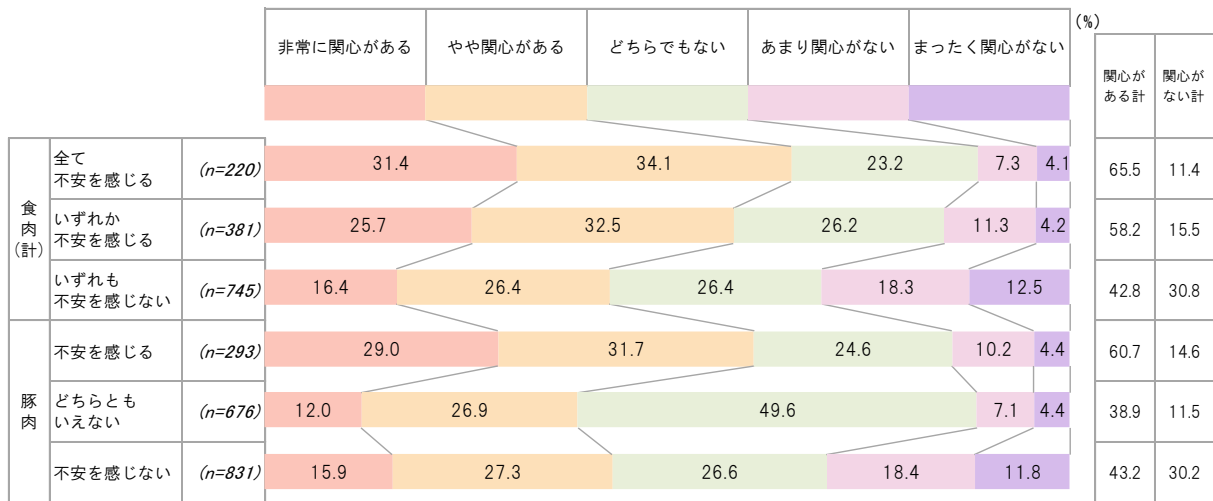
食肉に感じる不安度(Q19)別に、家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への関心度（Q20）を見ると、いずれの家畜伝染病についても「不安を感じる層」ほど関心が高い。



図表 18 食肉・牛肉・豚肉への不安度別 口蹄疫への関心度

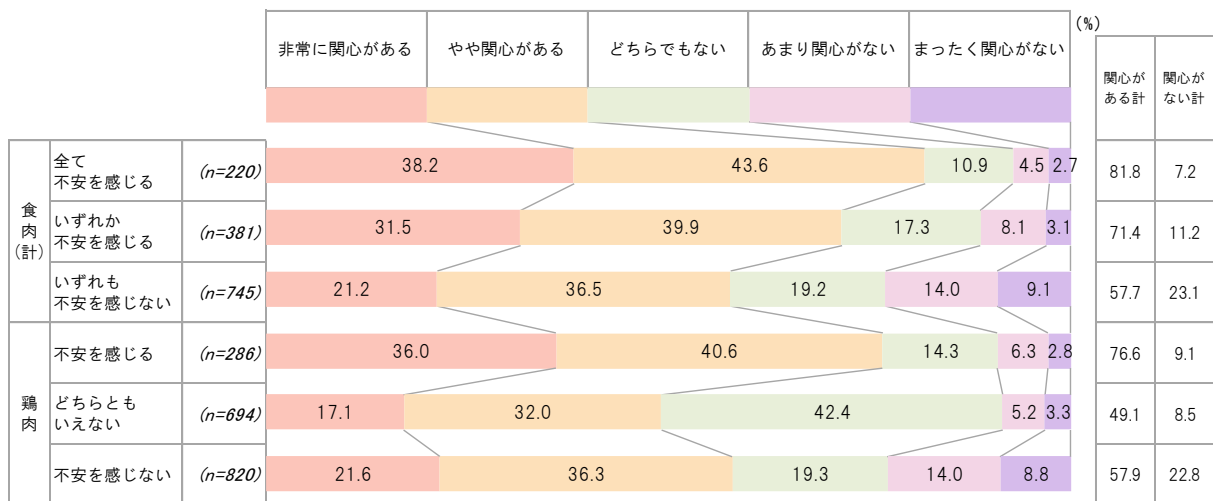


図表 19 食肉・豚肉への不安度別 豚熱への関心度



関心がある計⇒「非常に興味がある」+「やや興味がある」、関心がない計⇒「あまり興味がない」+「まったく興味がない」

図表 20 食肉・豚肉への不安度別 アフリカ豚熱への関心度



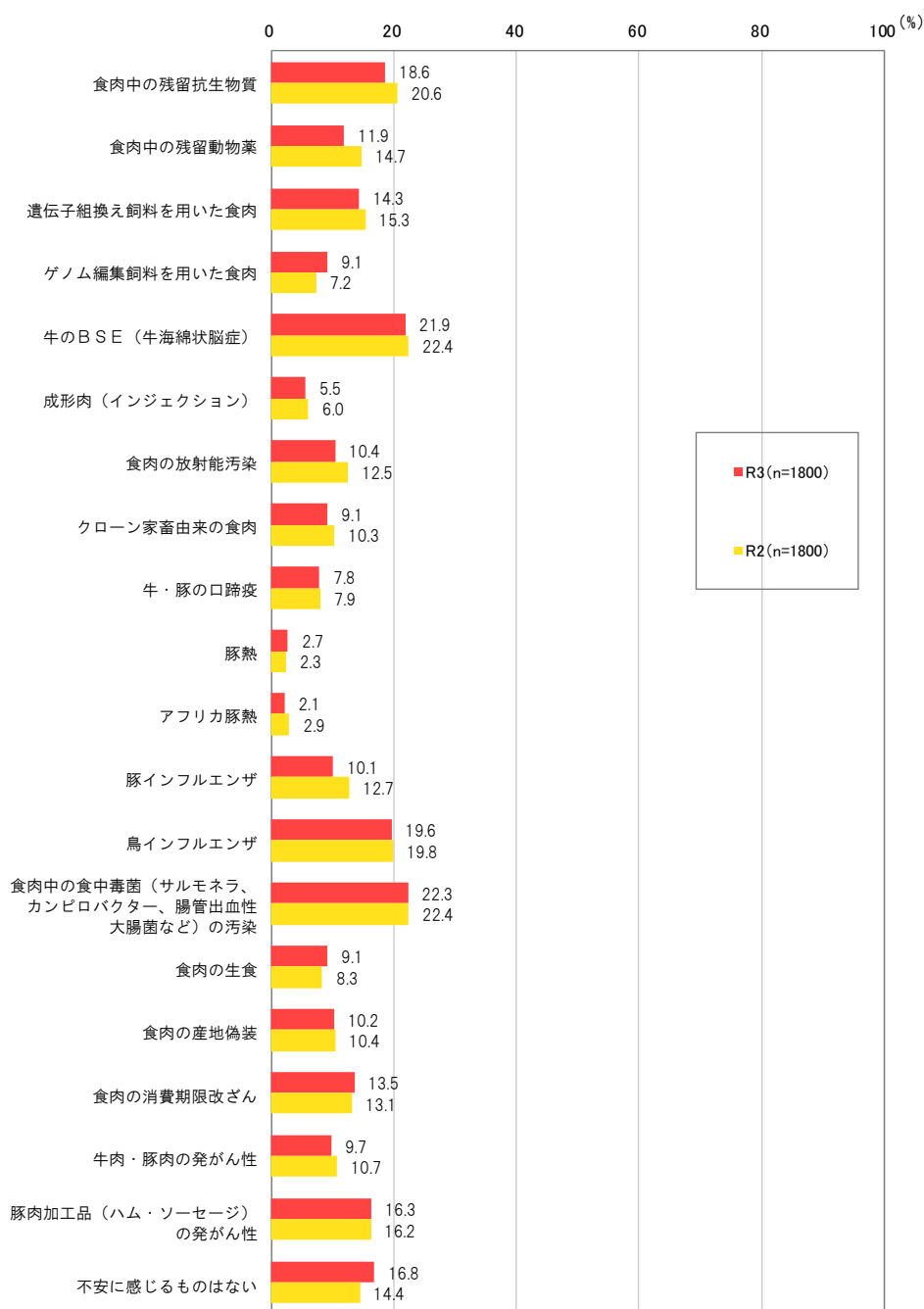
関心がある計⇒「非常に興味がある」+「やや興味がある」、関心がない計⇒「あまり興味がない」+「まったく興味がない」

図表 21 食肉・鶏肉への不安度別 鳥インフルエンザへの関心度

3) 家畜伝染病(口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ)への不安(Q21)
 : エリア・性・年代別、食肉(牛肉・豚肉・鶏肉)への不安度(Q19)別分析

食肉の安全性の問題について不安を感じるもの(Q21/3つまで複数回答)を聞いたところ、「食肉中の食中毒菌(サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など)の汚染」が22.3%で最も高く、次いで「牛のBSE(牛海綿状脳症)」が21.9%、「鳥インフルエンザ」が19.6%、「食肉中の残留抗生物質」が18.6%の順で高い。「牛・豚の口蹄疫」は7.8%、「豚熱」は2.7%、「アフリカ豚熱」は2.1%と不安度は高くない。「不安を感じるものはない」が16.8%である。

過年度調査で見ると、食肉の安全性の問題についての不安を感じるものは、いずれの項目も減少傾向か横ばいである。



図表 22 食肉の安全性について不安を感じる事柄

家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）の不安度をエリア別に見ると、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「牛・豚の口蹄疫」は、男女で大きな違いは見られない。「豚熱」「アフリカ豚熱」は、女性より男性の方がやや高い。「鳥インフルエンザ」は、女性 21.0%、男性 18.2%と、男性より女性の方がやや高い。

年代別に見ると、「牛・豚の口蹄疫」は、加齢とともに不安度が高くなり、60代が 10.3%、70代以上が 14.7%と高くなっている。「鳥インフルエンザ」も、年配の方が不安度が高く、60代が 23.0%、70代以上が 22.7%と高い。

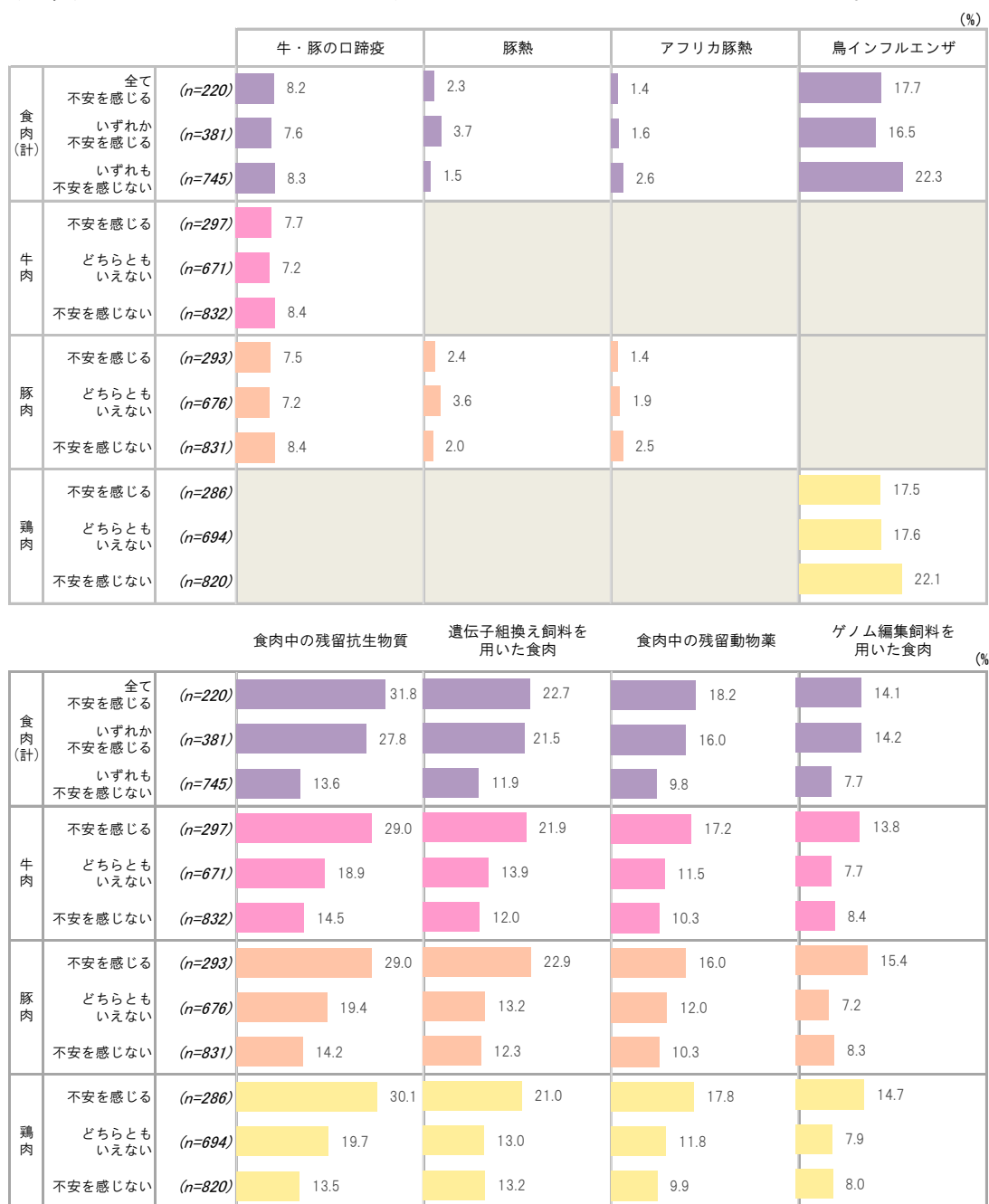
(%)

		牛・豚の口蹄疫	豚熱	アフリカ豚熱	鳥インフルエンザ
R3	全体 (n=1800)	7.8	2.7	2.1	19.6
R2	全体 (n=1800)	7.9	2.3	2.9	19.8
エリア	首都圏 (n=900)	7.8	3.2	1.8	19.2
	京阪神圏 (n=900)	7.9	2.1	2.4	20.0
性別	男性 (n=900)	8.2	3.9	2.6	18.2
	女性 (n=900)	7.4	1.4	1.7	21.0
年代	20代 (n=300)	4.0	3.3	0.7	14.7
	30代 (n=300)	5.0	4.0	2.7	18.0
	40代 (n=300)	6.3	2.3	2.3	19.0
	50代 (n=300)	6.7	2.3	1.7	20.3
	60代 (n=300)	10.3	2.3	1.7	23.0
	70代以上 (n=300)	14.7	1.7	3.7	22.7

図表 23 エリア・性・年代別 家畜伝染病に「不安を感じる」回答者割合

食肉の不安度別に、家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）の不安度を見た。

食肉（計）で「全て不安を感じる層」、「いずれか不安を感じる層」が不安を感じている食肉の安全性の問題は、「食肉中の残留抗生物質」、「遺伝子組換え飼料を用いた食肉」、「食肉中の残留動物薬」、「ゲノム編集飼料を用いた食肉」であり、鳥インフルエンザを除き、家畜伝染病への不安度はこれらに比べそれほど高くない。食肉の種類別について見ると、「鳥インフルエンザ」については、鶏肉に「不安を感じない層」の方が、「不安を感じる層」「どちらともいえない層」に比べ高くなっている。「口蹄疫」「豚熱」「アフリカ豚熱」については、該当の食肉の不安度による大きな違いは見られなかった。該当の食肉への不安度と、家畜伝染病への不安度とは、直接的な関係性は見られなかった。



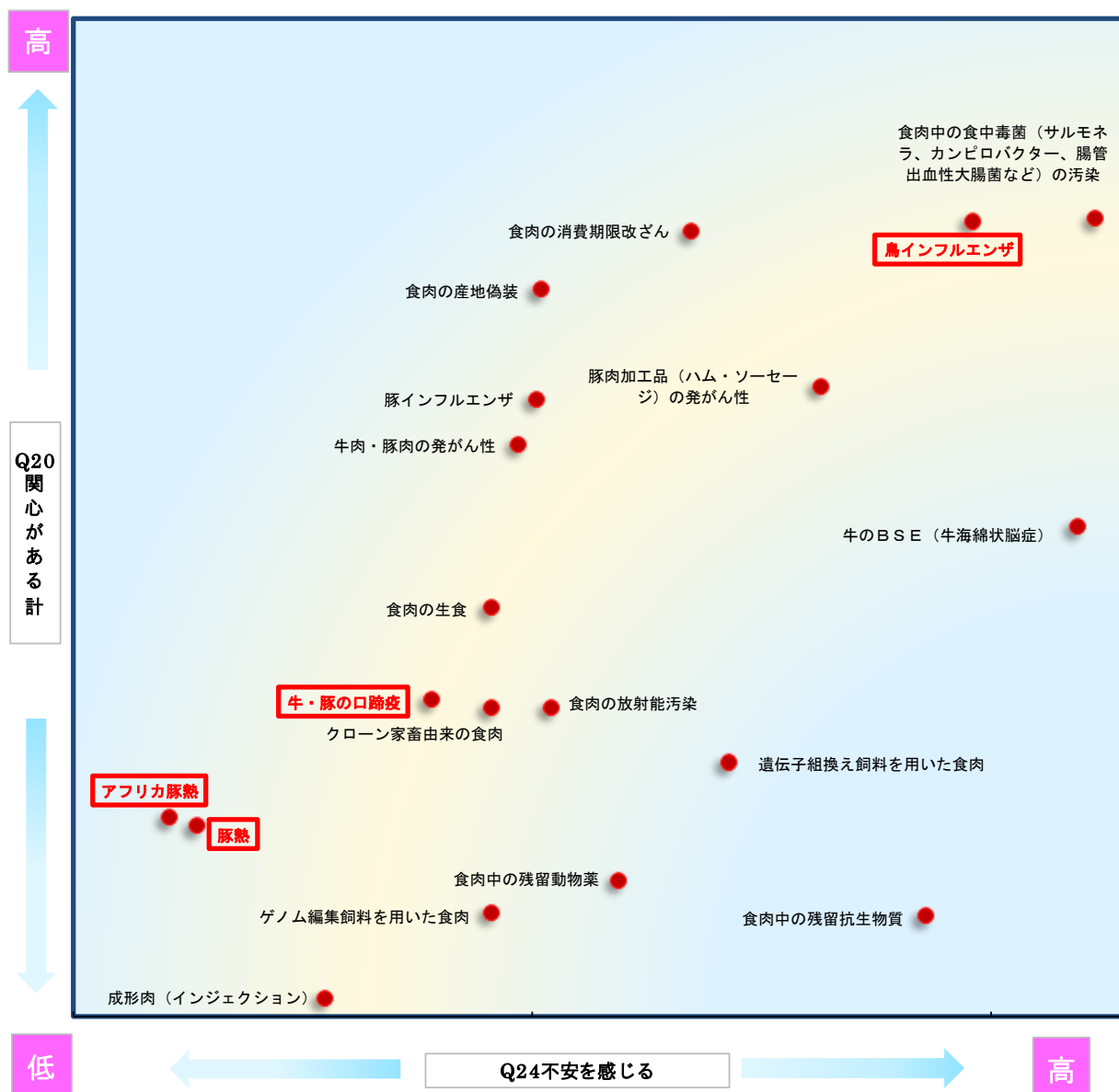
図表 24 食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安セグメント別 家畜伝染病への不安度

食肉の安全性の問題についての関心度（非常に関心がある+やや関心があるの比率）を縦軸、不安度（3つまで複数回答）を横軸に、プロット図にまとめ、食肉の安全性の問題における家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）のポジションを見た。

「鳥インフルエンザ」は、関心度・不安度ともに非常に高い問題であり、関心度・不安度ともに最も高い「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」に次ぐ位置にある。

「牛・豚肉の口蹄疫」は、「クローン家畜由来の食肉」と近い関心度・不安度のレベルの位置にある。

「豚熱」「アフリカ豚熱」は、関心度・不安度ともに、低い位置にある。



図表 25 食肉の安全性の問題における家畜伝染病の関心度×不安度

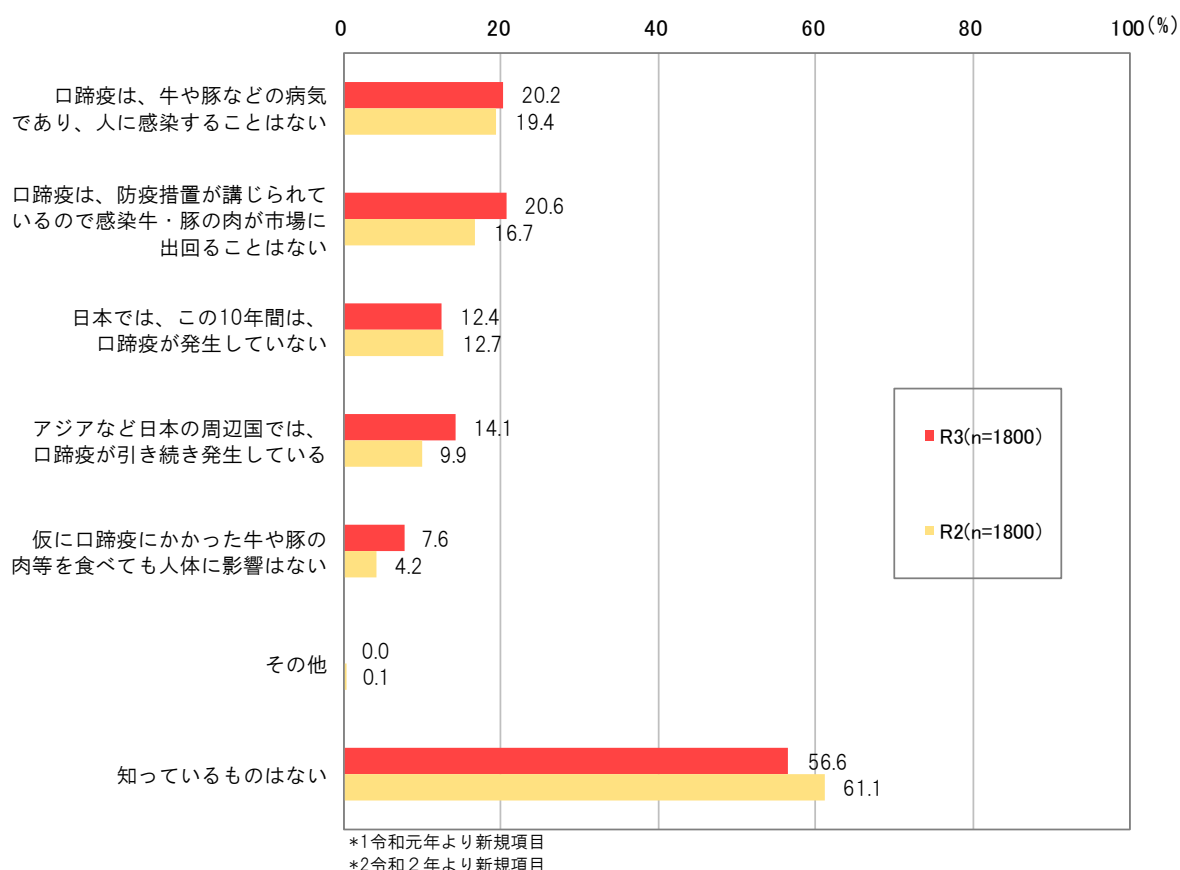
4) 家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）への
 認知・理解（Q23～Q26）
 ：エリア・性・年代別、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）への不安度(Q19)別分析

口蹄疫への認知・理解

口蹄疫への認知・理解（Q23／複数回答）は、全体で見ると、「口蹄疫は、防疫措置が講じられているので感染牛・豚の肉が市場に出回ることはない」20.6%、「口蹄疫は、牛や豚などの病気であり、人に感染することはない」20.2%、「アジアなど日本の周辺国では、口蹄疫が引き続き発生している」14.1%、「日本では、この10年間は、口蹄疫が発生していない」12.4%の順に多い。

「知っているものはない」は、56.6%を占める。

過年度調査でみると、「口蹄疫は、防疫措置が講じられているので感染牛・豚の肉が市場に出回ることはない」、「アジアなど日本の周辺国では、口蹄疫が引き続き発生している」が増加している。

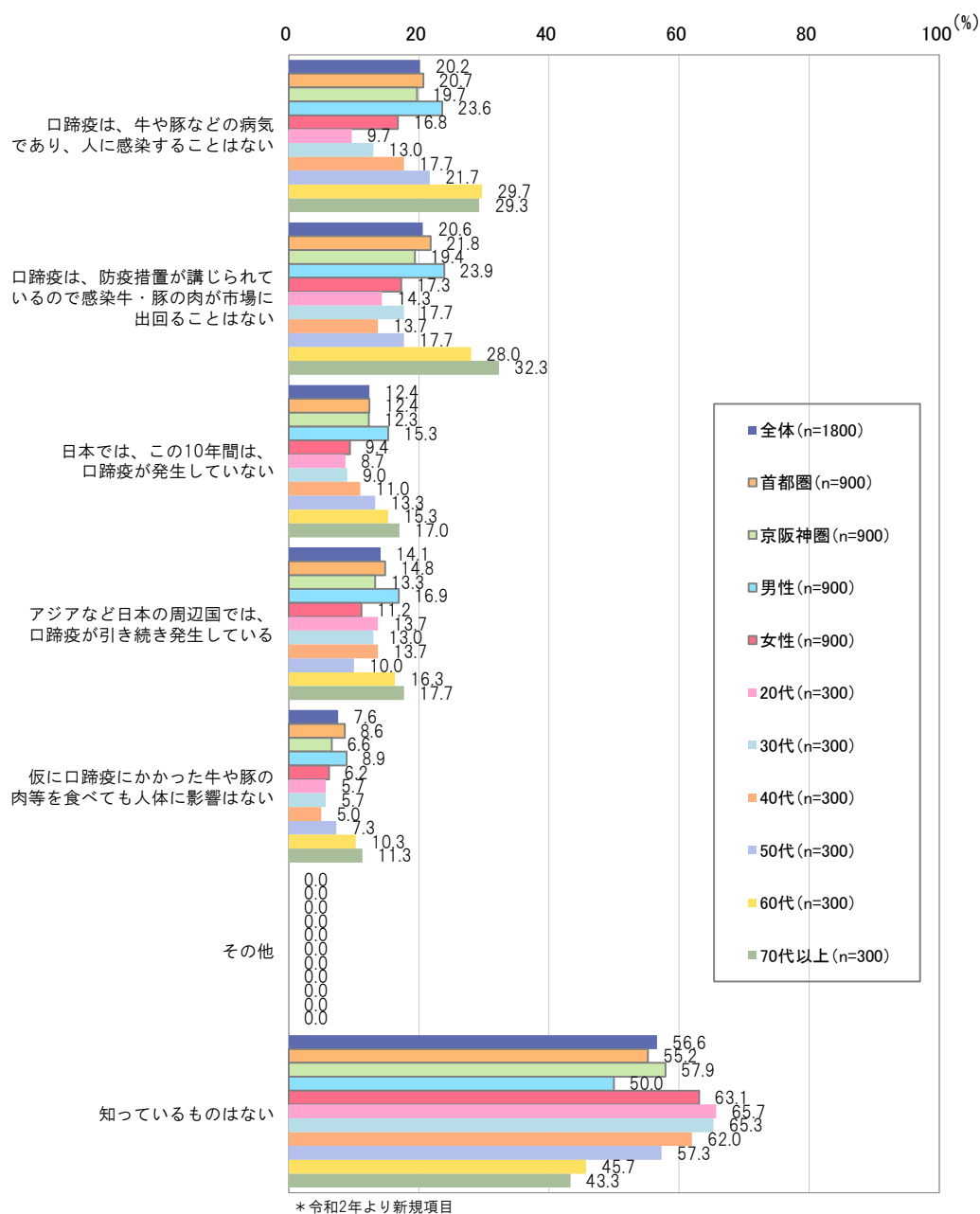


図表 26 口蹄疫への認知・理解（経年変化）

口蹄疫への認知・理解（Q23／複数回答）はをエリア別に見ると、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「口蹄疫は、牛や豚などの病気であり、人に感染することはない」は、男性が23.6%、女性が16.8%と、女性より男性の方が多い。女性は「知っているものはない」が63.1%と多い。

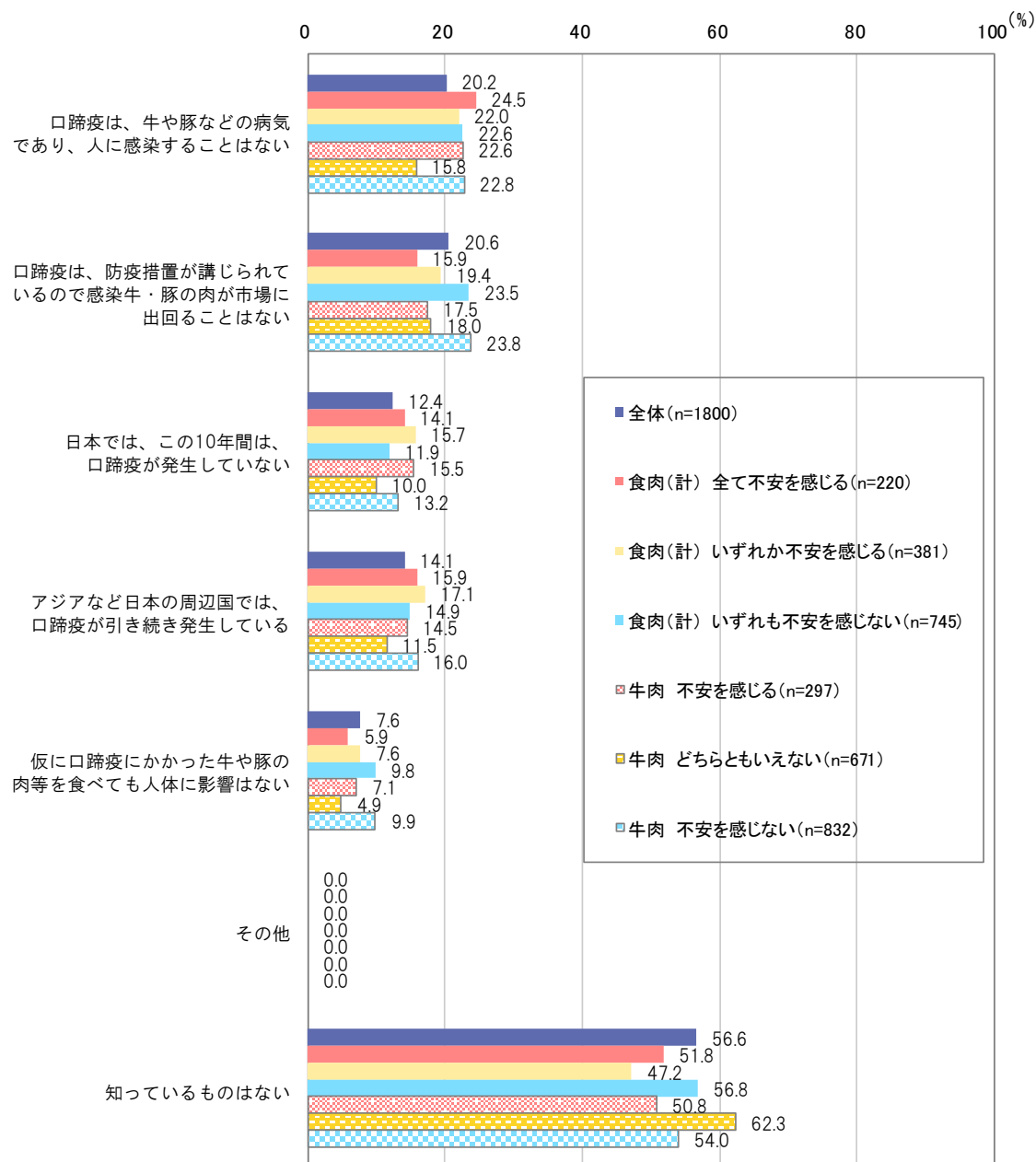
年代別に見ると、20代～40代では「口蹄疫は、牛や豚などの病気であり、人に感染することはない」、「口蹄疫は、防疫措置が講じられているので感染牛・豚の肉が市場に出回ることはない」が少なくなっており、「知っているものはない」が6割以上と多くなっている。



図表 27 エリア・性・年代別 口蹄疫への認知・理解

牛肉への不安度別に見ると、「口蹄疫は、防疫措置が講じられているので感染牛・豚の肉が市場に出回ることはない」は、「不安を感じる層」17.5%より「不安を感じない層」23.8%の方が多い。「口蹄疫は、牛や豚などの病気であり、人に感染することはない」は、牛肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない」層で15.8%と少なくなっている。

「知っているものはない」は、牛肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない」層で62.3%と多い。



図表 28 食肉・牛肉への不安度別 口蹄疫への認知・理解

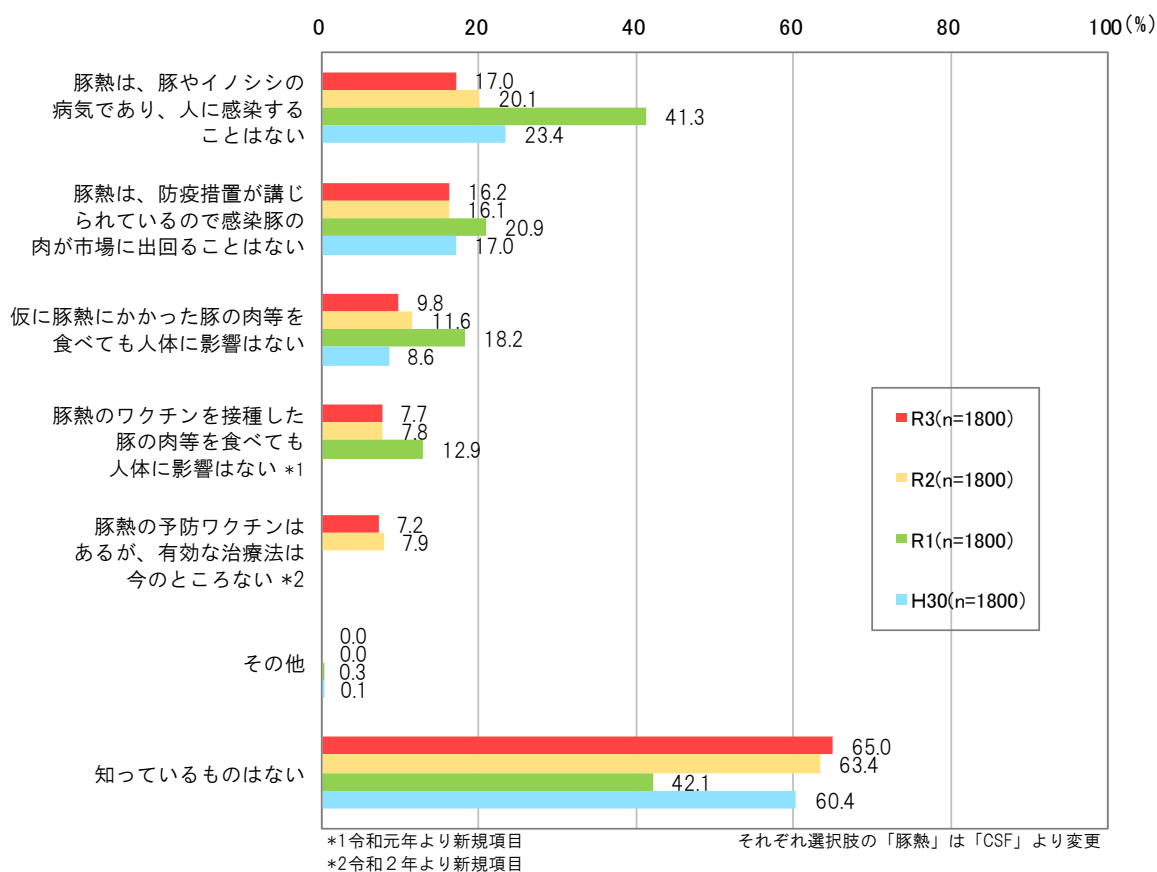
豚熱への認知・理解

豚熱への認知・理解（Q24／複数回答）は、全体で見ると、「豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」17.0%、「豚熱は、防疫措置が講じられているので感染豚の肉が市場に出回ることはない」16.2%、「仮に豚熱にかかった豚の肉等を食べても人体に影響はない」9.8%の順に多い。

「知っているものはない」が、65.0%を占める。

過年度調査でみると、昨年度と順位は変わらず、大きな違いは見られない。

※平成30年度・令和元年度は「豚コレラ」の名称で調査を行ったが、人間のコレラとの混同やそれに伴う風評被害の抑制のため、令和2年2月5日に公布・施行された「家畜伝染病予防法の一部を改正する法律（令和2年法律第2号）」により「豚熱」に名称が変更されたため、令和2年度調査より「豚熱」の名称で調査を行っている。

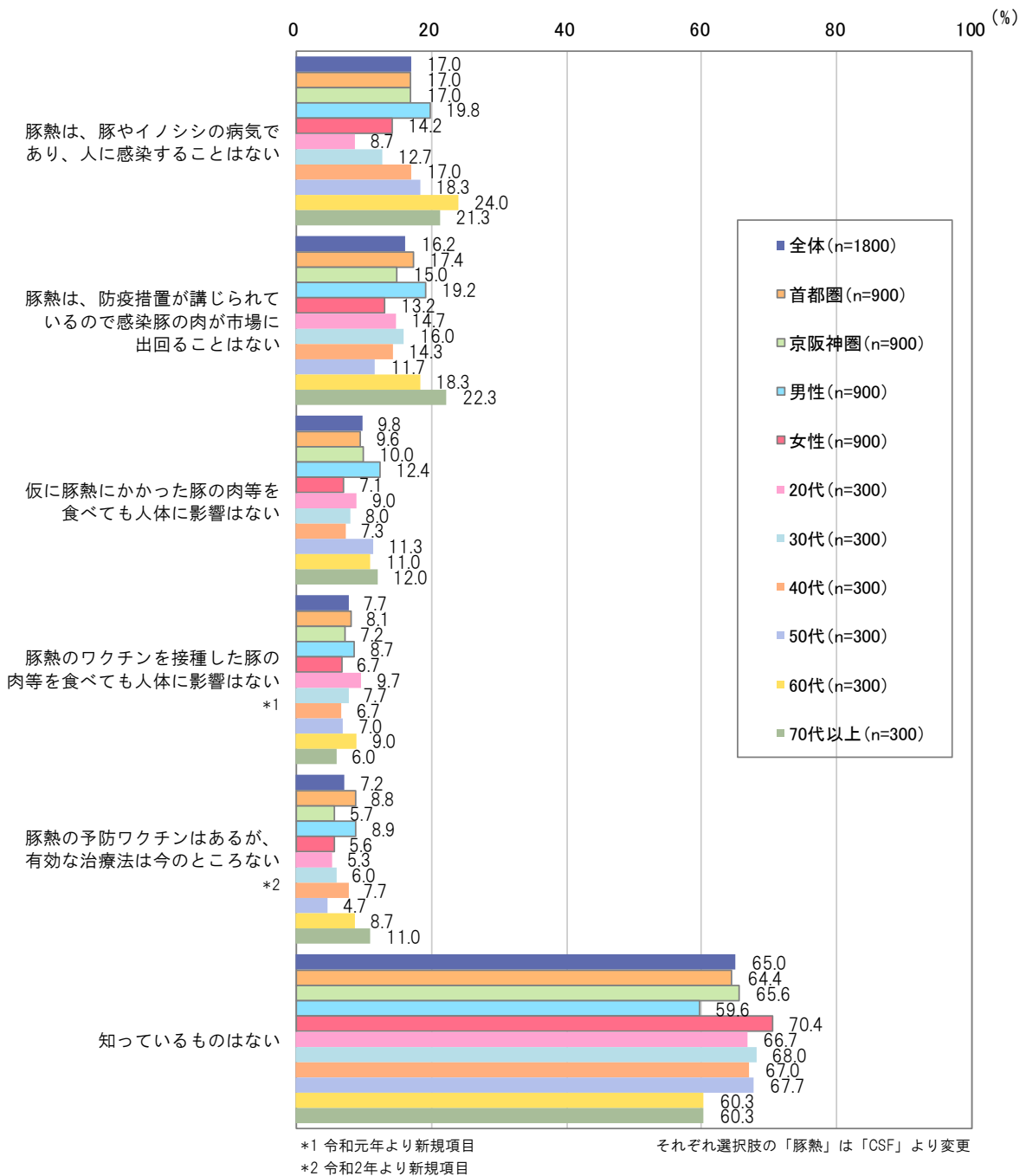


図表 29 豚熱への認知・理解（経年変化）

豚熱への認知・理解（Q24／複数回答）をエリア別に見ると、大きな違いは見られない。

性別に見ると、いずれの認知・理解も女性より男性の方が多く、女性は「知っているものはない」が70.4%と多い。

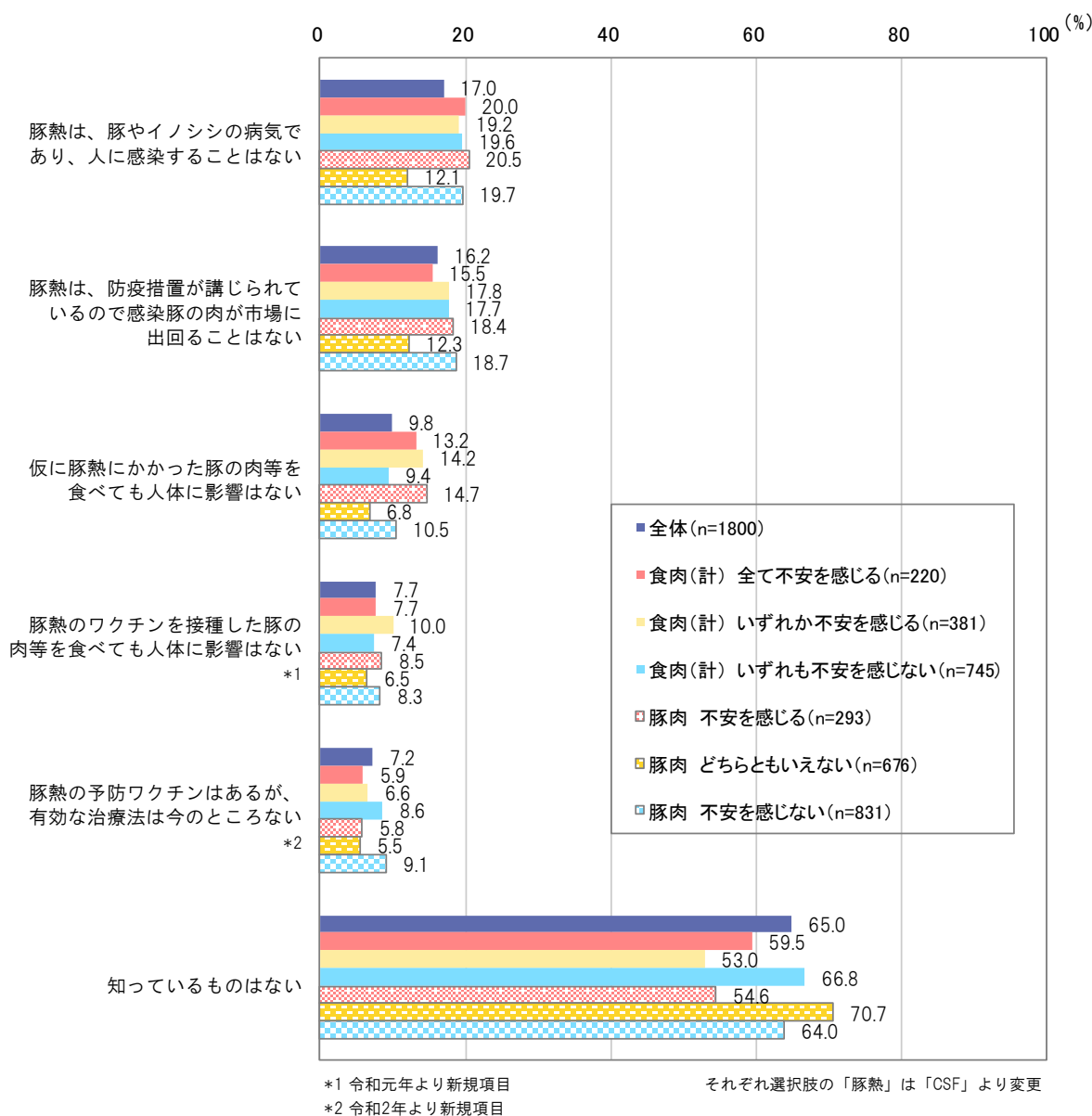
年代別に見ると、60代以上では、「豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」、「豚熱は、防疫措置が講じられているので感染豚の肉が市場に出回ることはない」が多くなっており、他の年代に比べ認知・理解度が高い。一方、20代は、「豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」が8.7%と少ない。



図表 30 エリア・性・年代別 豚熱への認知・理解

豚熱の認知度を豚肉に対する不安度別に見ると、「豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」を認知している者は、「豚肉に不安を感じる層」の20.5%、「豚肉に不安を感じない層」で19.7%であり、他の項目の認知度についても豚肉への不安の感じ方で大きな差は認められなかった。

「知っているものはない」は、豚肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない層」で70.7%と高い。



図表 31 食肉・豚肉への不安度別 豚熱への認知・理解

アフリカ豚熱への認知・理解

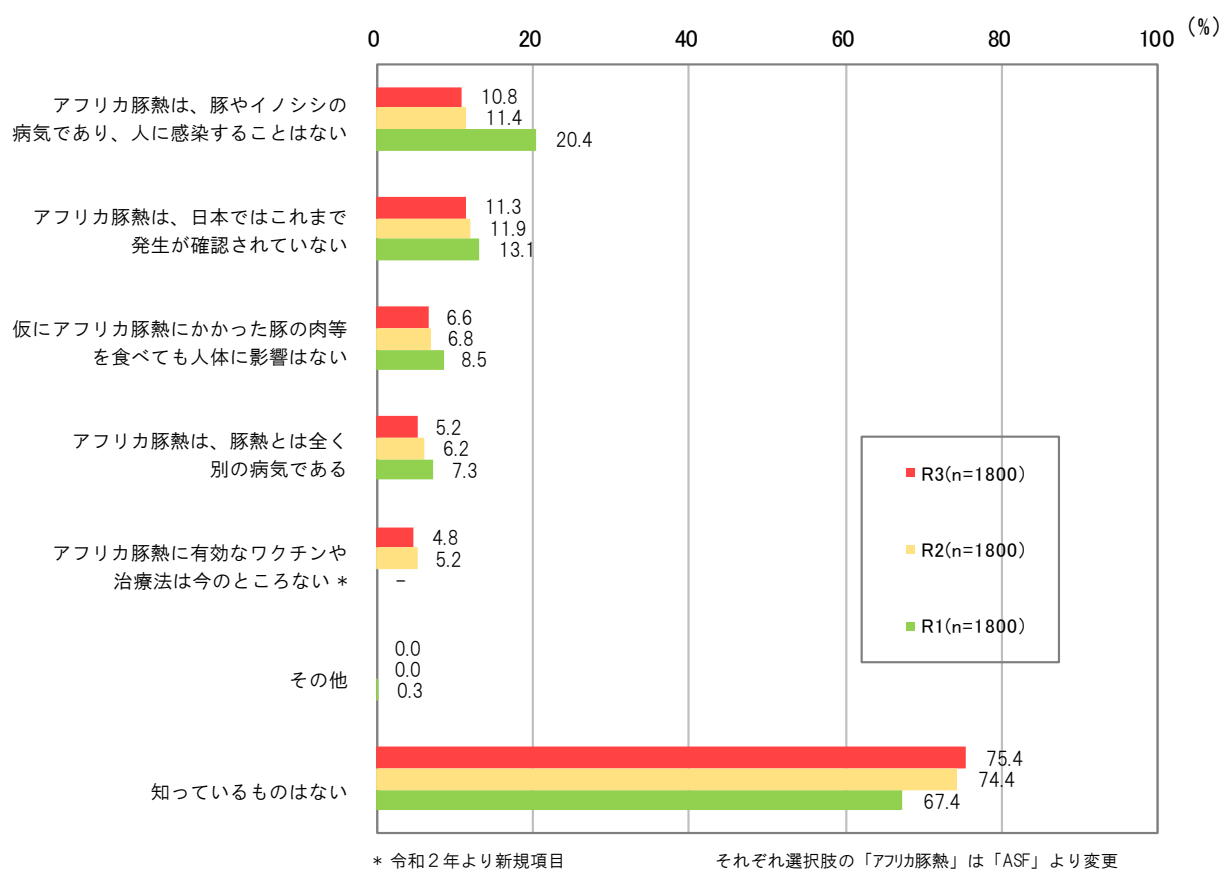
アフリカ豚熱への認知・理解（Q25／複数回答）は、全体で見ると、「アフリカ豚熱は、日本ではこれまで発生が確認されていない」11.3%、「アフリカ豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」10.8%の順に多い。

「知っているものはない」は、75.4%と全体の4分の3を占める。

「アフリカ豚熱」は、日本での発生がなく、消費者にとっては、「豚熱」と比べると、認知・理解度が低い。

過年度調査で見ると、昨年度と順位は変わらず、大きな違いは見られない。

※令和元年度は「アフリカ豚コレラ」の名称で調査を行ったが、人間のコレラとの混同やそれに伴う風評被害の抑制のため、「豚熱」と同様に、「アフリカ豚熱」に名称が変更されたため、令和2年度調査より「アフリカ豚熱」の名称で調査を行っている。

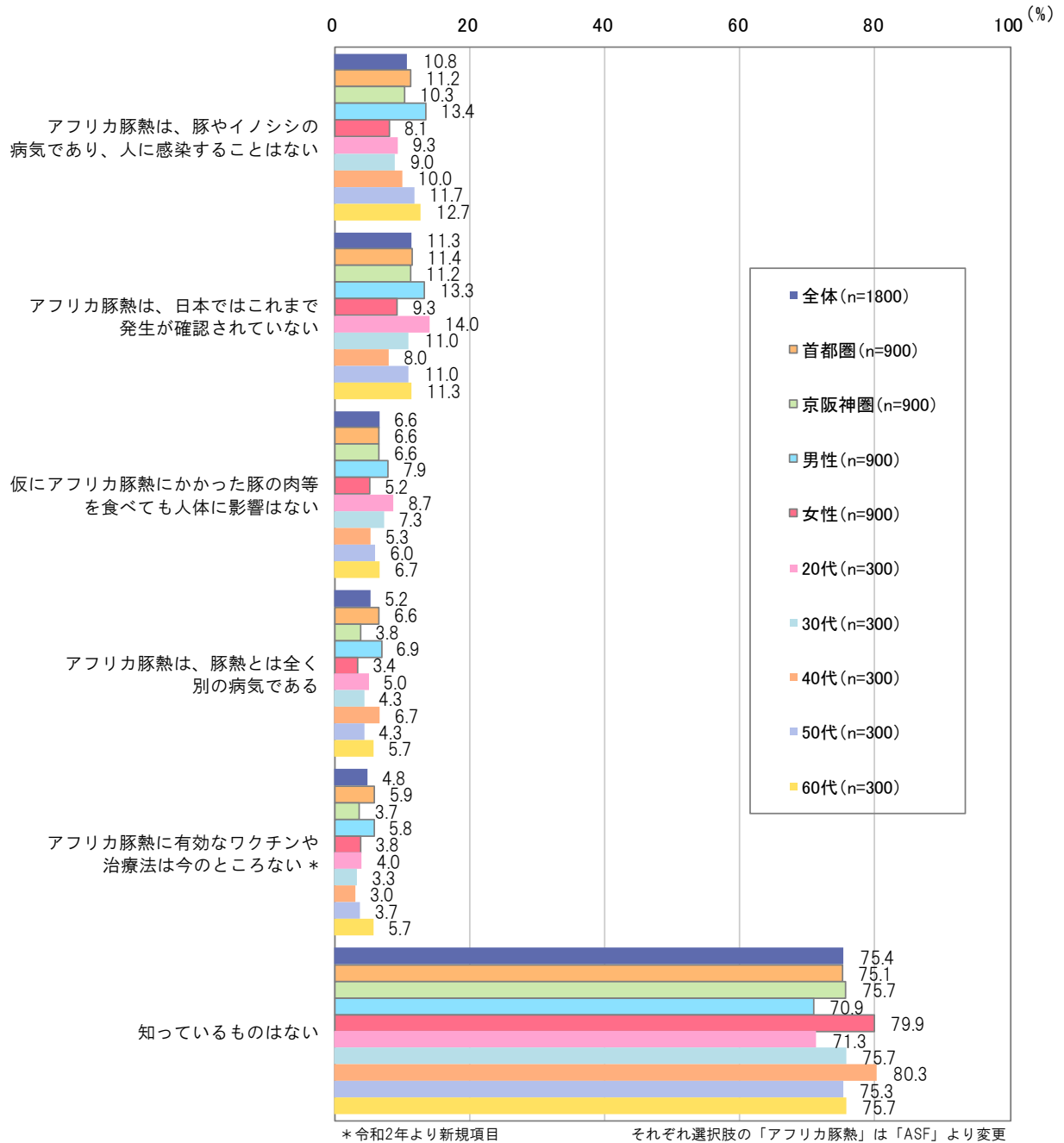


図表 32 アフリカ豚熱への認知・理解（経年変化）

アフリカ豚熱への認知・理解 (Q25/複数回答) をエリア別に見ると、大きな違いは見られない。

性別に見ると、いずれの認知・理解も女性より男性の方が多く、女性は「知っているものはない」が79.9%と多い。

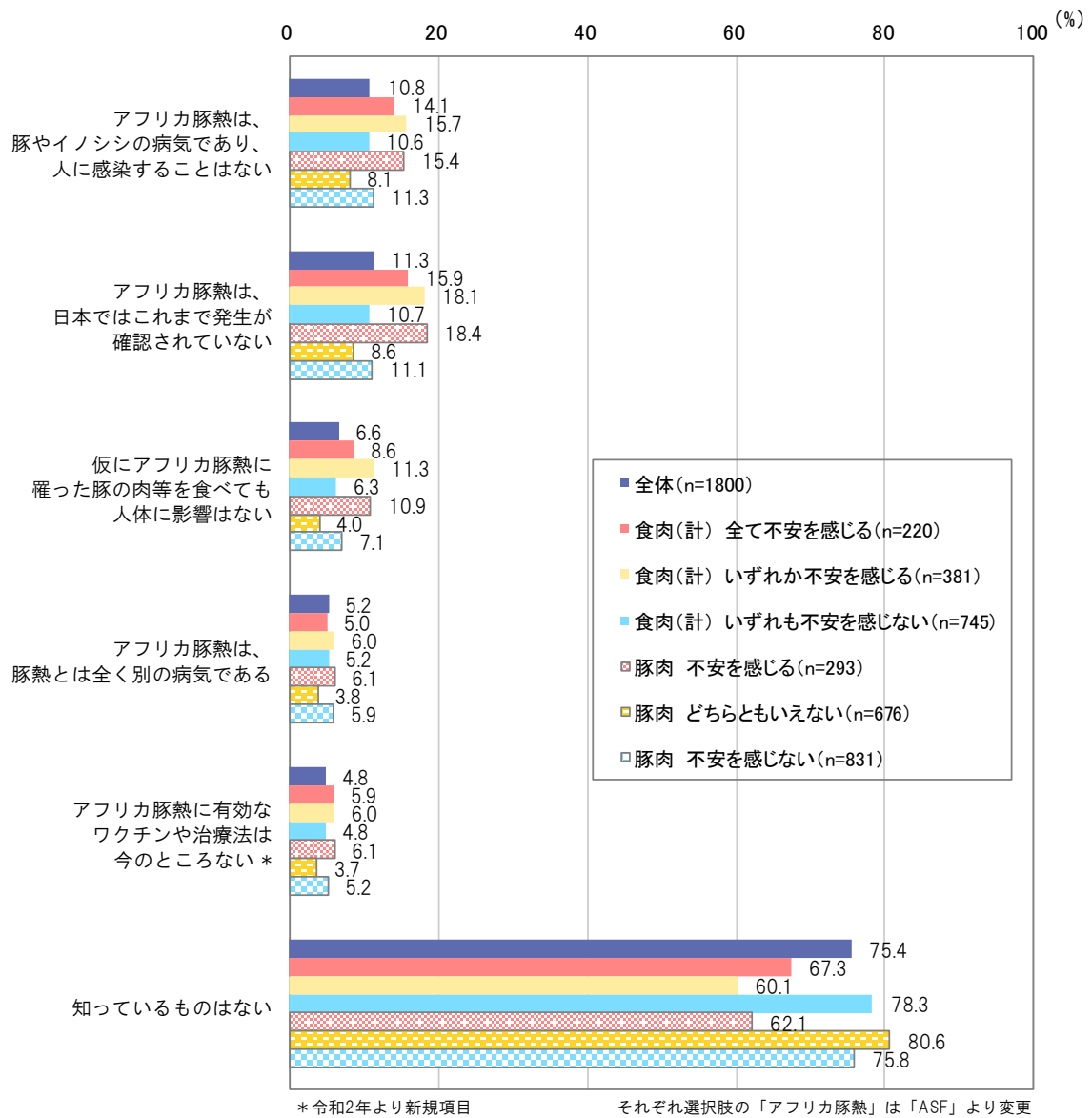
年代別に見ると、大きな違いは見られない。



図表 33 エリア・性・年代別 アフリカ豚熱への認知・理解

豚肉への不安度別に見ると、「アフリカ豚熱は、日本ではこれまで発生が確認されていない」は、「不安を感じない層」11.1%より「不安を感じる層」18.4%の方が多し。「アフリカ豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」も、「不安を感じない層」11.3%より「不安を感じる層」15.4%の方がやや多い。

「知っているものはない」は、豚肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない層」で80.6%と高い。



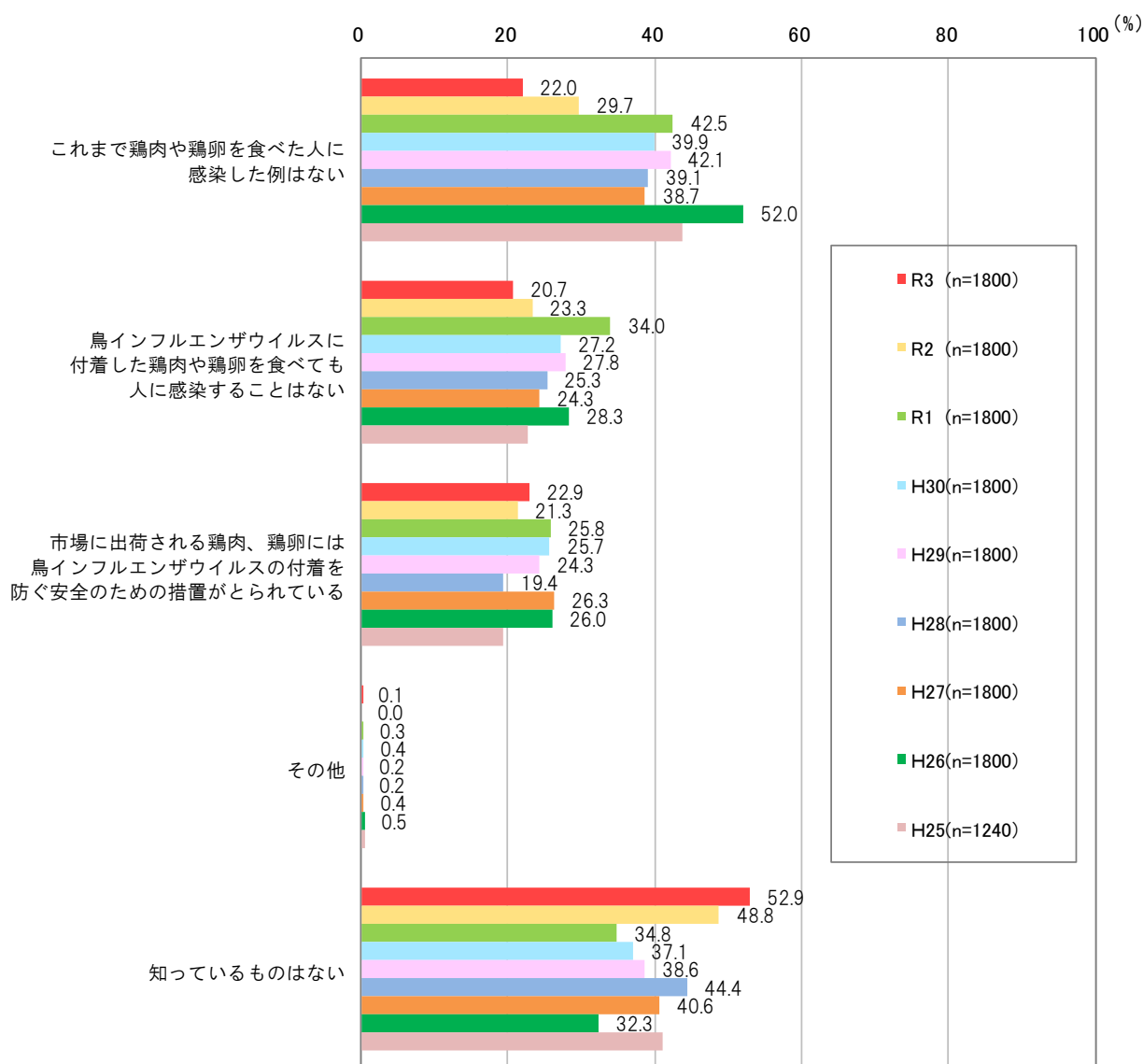
図表 34 食肉・豚肉への不安度 アフリカ豚熱への認知・理解

鳥インフルエンザへの認知・理解

鳥インフルエンザへの認知・理解（Q26／複数回答）は、全体で見ると、「市場に出荷される鶏肉、鶏卵には鳥インフルエンザウイルスの付着を防ぐ安全のための措置がとられている」22.9%、「これまで鶏肉や鶏卵を食べた人に感染した例はない」22.0%、「鳥インフルエンザウイルスに付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」20.7%の順に多い。

過年度調査でみると、「市場に出荷される鶏肉、鶏卵には鳥インフルエンザウイルスの付着を防ぐ安全のための措置がとられている」が微増したが、それ以外はその比率が減少している。

一方、「知っているものはない」が、昨年度 48.8%から、今年度 52.9%と 4.1ポイント増加している。

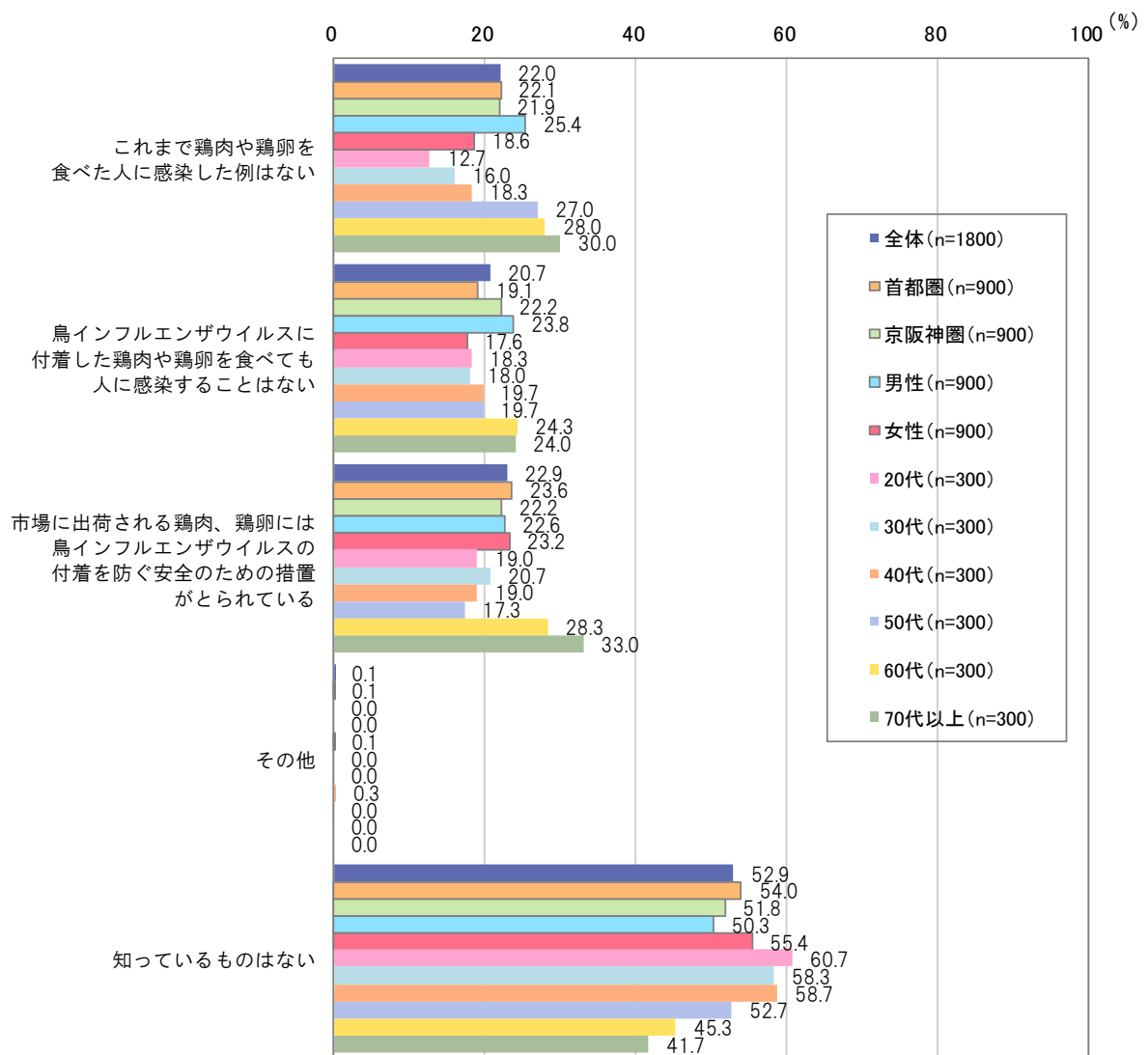


図表 35 鳥インフルエンザへの認知・理解（経年変化）

鳥インフルエンザへの認知・理解（Q26／複数回答）をエリア別に見ると、大きな違いは見られない。

性別に見ると、「これまで鶏肉や鶏卵を食べた人に感染した例はない」は男性が25.4%、女性が18.6%と女性より男性の方が多く、「鳥インフルエンザウイルスに付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」も、男性が23.8%、女性が17.6%と、女性より男性の方が多い。女性は「知っているものはない」が55.4%と半数以上を占める。

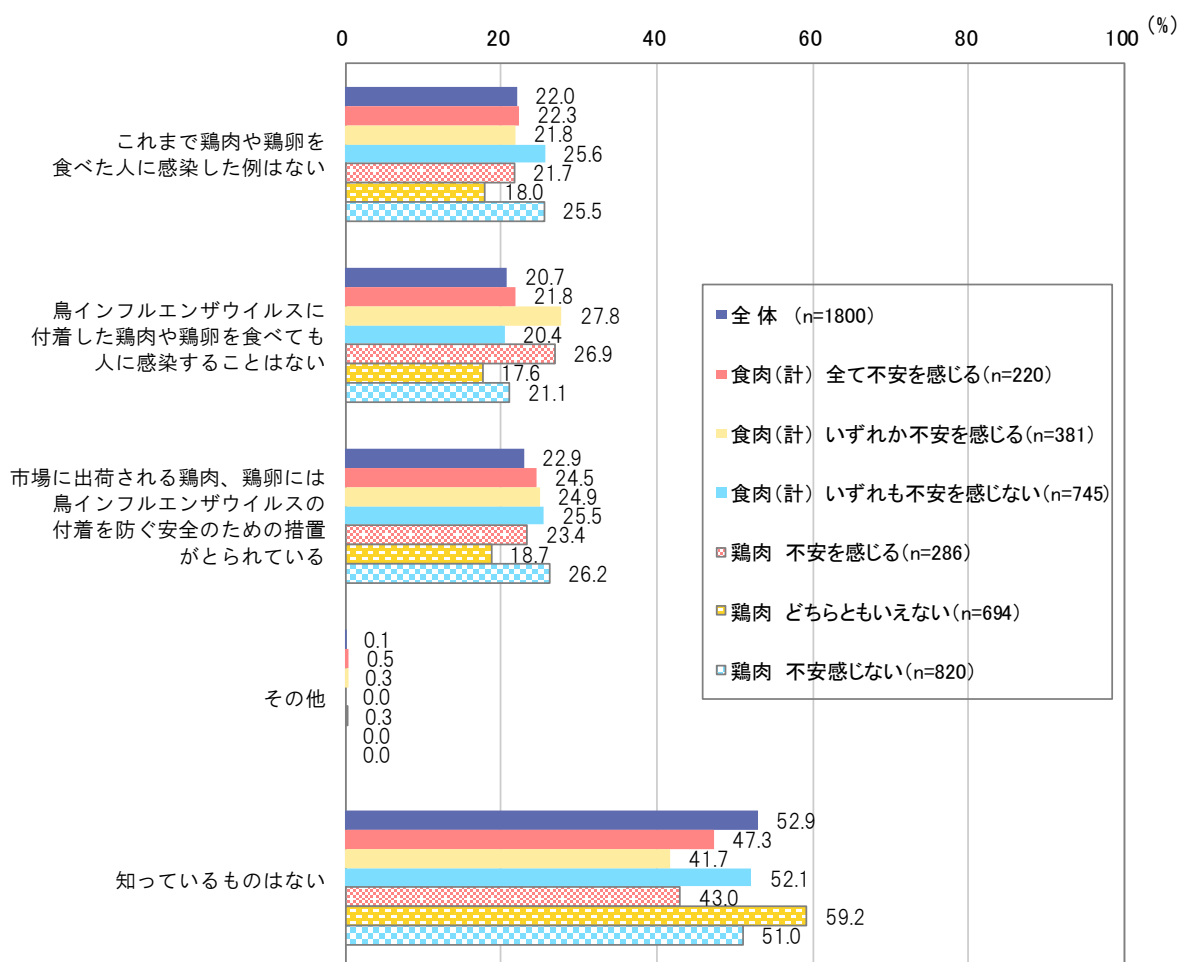
年代別に見ると、「知っているものはない」と回答した者の割合は、年代が高くなるにつれて減少し、20代で60.7%、70代以上で41.7%であった。



図表 36 エリア・性・年代別 鳥インフルエンザへの認知・理解

鶏肉への不安度別に見ると、「これまで鶏肉や鶏卵を食べた人に感染した例はない」は、「不安を感じる」21.7%より「不安を感じない層」25.5%の方が多いが、「鳥インフルエンザウイルスに付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」は、「不安を感じない層」21.1%より「不安を感じる層」26.9%の方が多。

「知っているものはない」は、鶏肉に不安を感じるとも感じないとも「どちらともいえない」層で59.2%と多い。



図表 37 食肉・鶏肉への不安度別 鳥インフルエンザへの認知・理解

2.2 「代替肉<植物肉>及び<細胞培養肉>」に関する消費者意識の考察

- ・ <植物肉>の認知度は、「詳しく知っている」が2.4%、「ある程度知っている」が15.9%、「何となく知っている」が最も多く31.3%で、認知度計は49.6%。非認知は、「あまりよく知らない」が24.2%、「知らない」が11.7%、「全く知らない」14.4%で、非認知度計は50.3%で、認知・非認知が拮抗。
- ・ <細胞培養肉>の認知度は、「詳しく知っている」が1.7%、「ある程度知っている」が6.6%、「何となく知っている」が11.6%で、認知度計は19.9%。一方、非認知は、「あまりよく知らない」が20.6%、「知らない」が21.2%、「全く知らない」が最も多く38.3%で、非認知度計は80.1%。
- ・ <植物肉>の喫食経験は、「店頭で見たことはあるが、食べたことがない」が19.3%、「店頭で見たこともなく、食べたこともない」が51.2%で、「食べたことがない計」は70.5%を占め、喫食経験はまだ多くない。「食べたことがある計」は29.6%で、「1年以内に食べたことがある」は20.0%。
- ・ <植物肉>の購入意向を「そう思う計」で見ると、「植物肉を店頭で見かけたら、購入を考えたい」が29.1%で最も多く、「植物肉の購入を検討している」が24.2%で続き、<植物肉>の購入検討レベルの意向が強い。「今後は、植物肉を購入するつもりだ」が17.5%、「動物性食品の代わりに、植物肉を購入するつもりだ」が16.9%で続き、「購入するつもり」は2割以下。
- ・ <細胞培養肉>の購入意向を「そう思う計」で見ると、「細胞培養肉の安全性に不安があるので、購入しない」が30.8%で最も多く、「細胞培養肉は気味が悪く嫌悪感を催すので、購入しない」が26.5%、「細胞培養肉は、その生産が自然と人間のかかわりを失わせるので、購入しない」が20.2%で続き、<植物肉>とは異なり、非購入意向が強い。
- ・ <植物肉>に関する構造方程式モデリング分析の結果、本調査回答者の植物肉の購入意欲を高める最大の要因は、食品選択の環境に及ぼす影響の重視度であり、次いで家畜福祉の重視度、食肉喫食によるカロリー・脂質の過剰摂取懸念である。逆に植物肉の購入意欲を低める最大の要因は、食肉の味・食感・香り重視度、次いで新奇食品忌避という心理的要因である。

2.2 では、<植物肉>及び<細胞培養肉>の認知度・購入意向を把握すること、及び 消費者の意識を探ることを目的とした。

＜植物肉＞及び＜細胞培養肉＞に関する消費者意識

1) ＜植物肉＞（Q36）及び＜細胞培養肉＞（Q48）の認知度
：エリア・性・年代別分析、カロリー意識（Q54）別分析

＜植物肉＞の説明文を提示して聞いた認知度（Q36）は、「詳しく知っている」が2.4%、「ある程度知っている」が15.9%、「何となく知っている」が最も多く31.3%で、認知度計は全体の49.6%である。一方、非認知は、「あまりよく知らない」が24.2%、「知らない」が11.7%、「全く知らない」14.4%で、非認知度計は全体の50.3%となり、認知・非認知が約半々と拮抗している。

エリア別に認知度計を見ると、首都圏が52.6%、京阪神圏が46.6%と、京阪神圏より首都圏の方が認知度が高い。男女別に認知度計を見ると、女性が49.9%、男性が49.5%と大きな違いは見られない。年代別に認知度計を見ると、加齢とともに高くなり、60代が58.0%、70代以上が58.4%と高くなっている。若い年代では、20代・30代で「詳しく知っている」が4.3%とやや多い。

過年度調査で見ると、認知度計が昨年度46.4%から、今年度49.6%と3.2ポイント増加している。「全く知らない」が昨年度23.2%から、今年度14.4%と8.8ポイント減少している。

植物肉は、大豆などから抽出した植物性たんぱくを主原料に使い、食肉の風味と食感を再現した食品です。
ハンバーグ、バーガー・パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビなどが国内外で販売され、外食店や小売店等で見かけることが増えています。最近では、うまみとなるアミノ酸を増やした発芽大豆を原料に、添加物なしに風味を向上させた植物肉も開発・販売されています。

図表 38 提示説明文

		詳しく知っている	ある程度知っている	何となく知っている	あまりよく知らない	知らない	全く知らない	（%）	
								認知計	非認知計
R3	全体 (n=1800)	2.4	15.9	31.3	24.2	11.7	14.4	49.6	50.3
R2	全体 (n=1800)	2.4	16.3	27.7	18.8	11.5	23.2	46.4	53.5
エリア	首都圏 (n=900)	2.0	16.4	34.2	23.3	10.2	13.8	52.6	47.3
	京阪神圏 (n=900)	2.9	15.3	28.4	25.0	13.2	15.1	46.6	53.3
性別	男性 (n=900)	2.8	15.0	31.7	23.8	12.2	14.6	49.5	50.6
	女性 (n=900)	2.1	16.8	31.0	24.6	11.2	14.3	49.9	50.1
年代	20代 (n=300)	4.3	14.3	25.0	24.0	12.0	20.3	43.6	56.3
	30代 (n=300)	4.3	11.7	28.0	22.7	10.0	23.3	44.0	56.0
	40代 (n=300)	2.0	14.7	28.3	26.3	15.0	13.7	45.0	55.0
	50代 (n=300)	1.3	17.0	30.7	23.7	12.7	14.7	49.0	51.1
	60代 (n=300)	2.0	17.0	39.0	23.7	9.3	9.0	58.0	42.0
	70代以上 (n=300)	0.7	20.7	37.0	24.7	11.3	5.7	58.4	41.7

認知計⇒「詳しく知っている」+「ある程度知っている」+「何となく知っている」、非認知計⇒「あまりよく知らない」+「知らない」+「全く知らない」

図表 39 ＜植物肉＞の認知度

<細胞培養肉>の説明文を提示して聞いた認知度（Q48）は、「詳しく知っている」が1.7%、「ある程度知っている」が6.6%、「何となく知っている」が11.6%で、認知度計は全体の19.9%である。一方、非認知は、「あまりよく知らない」が20.6%、「知らない」が21.2%、「全く知らない」が最も多く38.3%で、非認知度計は全体の80.1%と多い。<植物肉>の認知度計49.6%と比べると、<細胞培養肉>の認知度は19.9%と29.7ポイント低く半分以下である。

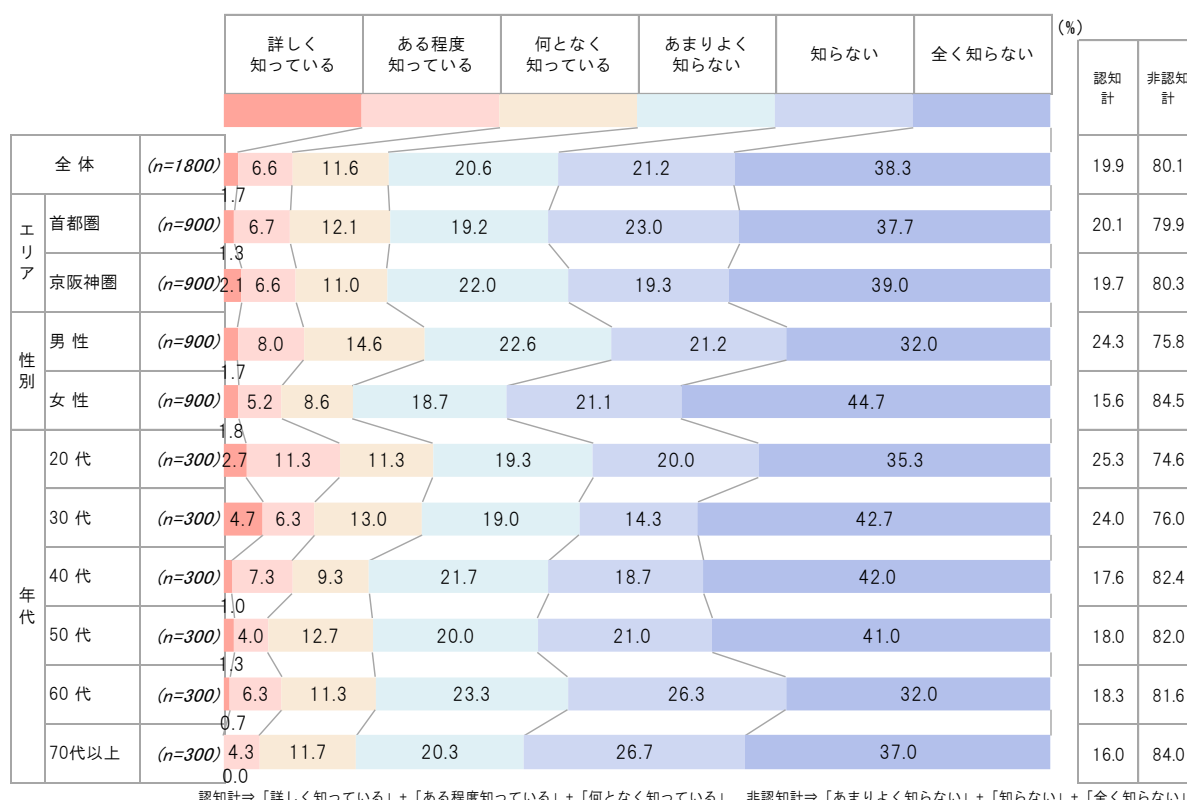
エリア別に認知度計を見ると、首都圏が20.1%、京阪神圏が19.7%と、大きな違いは見られない。

男女別に見ると、「なんとなく知っている」が男性の方が高く、認知度計を見ると男性が24.3%、女性が15.6%と、女性より男性の方が認知度が高い。

年代別に認知度計を見ると、20代で25.3%、30代で24.0%と若い世代の方が高い。

細胞培養肉は、食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉です。細胞採取工程以外は、既存の家畜を用いず、室内で人工的に肉を生産します。家畜を飼養・食肉処理することなく、食肉を再現できる新規食品分野の技術として、国内外で実用化に向けた開発が進められていますが、培養液の開発と量産化が大きな課題です。昨年12月にシンガポール政府は世界で初めて培養鶏肉の国内販売を承認しました。

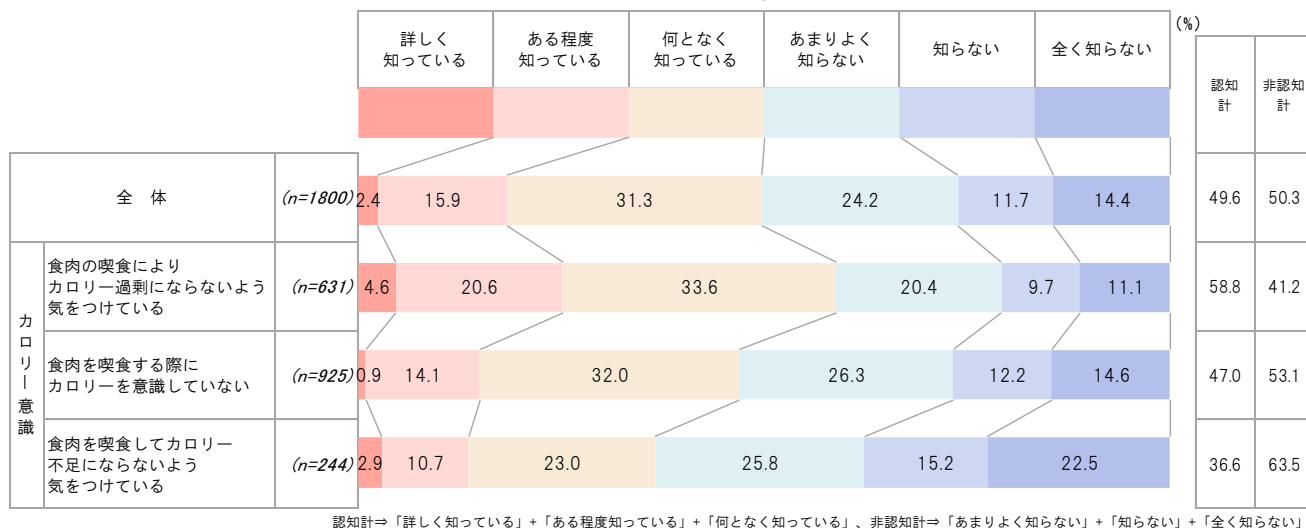
図表 40 提示説明文



図表 41 <細胞培養肉>の認知度

<植物肉>の認知度を「食肉の喫食によるカロリーに対する意識」(Q54)別に認知度計で見ると、「食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている」層では、認知度計が58.8%と全体より9.2ポイント高く、「ある程度知っている」が20.6%と高い。

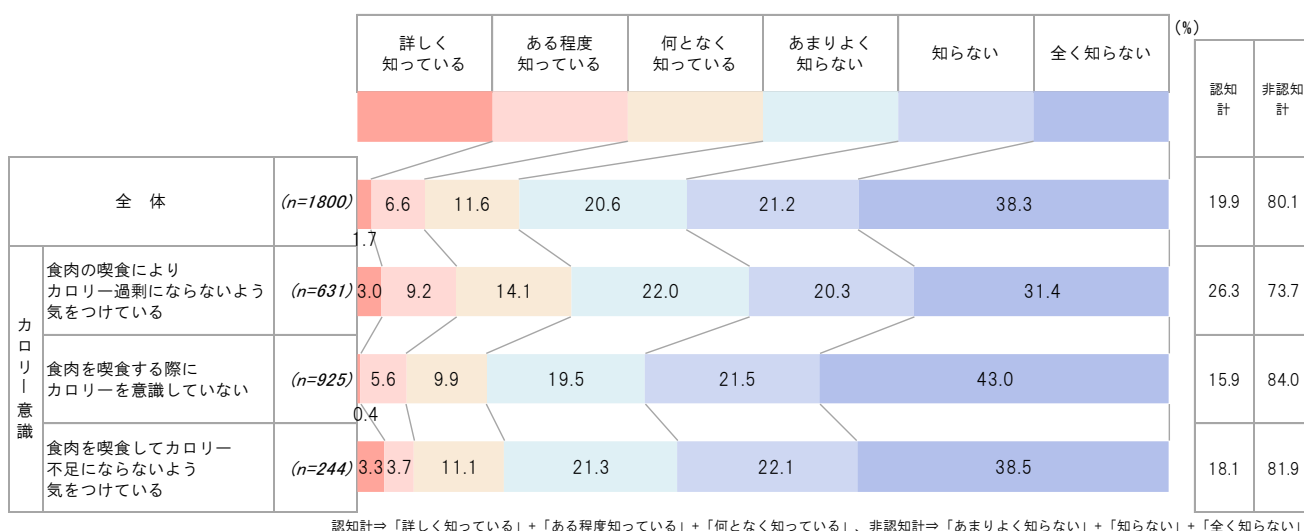
一方、「食肉を喫食する際にカロリーを意識していない」層では認知度計が47.0%で、「食肉を喫食してカロリー不足にならないよう気をつけている」層では認知度計が36.6%と非常に低くなっている。



図表 42 食肉の喫食によるカロリーに対する意識別 <植物肉>の認知度

<細胞培養肉>の認知度を「食肉の喫食によるカロリーに対する意識」(Q54)別に認知度計で見ると、「食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている」層では、認知度計が26.3%と全体より6.4ポイント高く、「何となく知っている」が14.1%と高い。

一方、「食肉を喫食する際にカロリーを意識していない」層では認知度計が15.9%と低く、「食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている」層と10.4ポイントの開きがある。



図表 43 食肉の喫食によるカロリーに対する意識別 <細胞培養肉>の認知度

2) <植物肉>の喫食経験 (Q37) : エリア・性・年代別分析、 カロリー意識 (Q54) 別分析

<植物肉>の説明文を提示して喫食経験 (Q37) を聞いたところ、「店頭で見たことはあるが、食べたことがない」が19.3%、「店頭で見たこともなく、食べたこともない」が51.2%で、「食べたことがない計」は70.5%を占め、喫食経験はまだ多くない。「食べたことがある計」は29.6%で、そのうち「1年以内に食べたことがある」は合わせて20.0%である。

エリア別に「食べたことがある計」を見ると、首都圏が30.8%、京阪神圏が28.2%と、京阪神圏より首都圏の方がやや多い。

男女別に見ると、男女で大きな違いは見られないが、女性は「店頭で見たことはあるが、食べたことがない」が21.6%と男性より多い。

年代別に「食べたことがある計」を見ると、20代では36.6%と喫食経験が多い。

過年度調査で見ると、<植物肉>の喫食経験に大きな違いは見られない。

植物肉は、大豆などから抽出した植物性たんぱくを主原料に使い、食肉の風味と食感を再現した食品です。
ハンバーグ、バーガー・パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビなどが国内外で販売され、外食店や小売店等で見かけることが増えています。最近では、うまみとなるアミノ酸を増やした発芽大豆を原料に、添加物なしに風味を向上させた植物肉も開発・販売されています。

図表 44 提示説明文

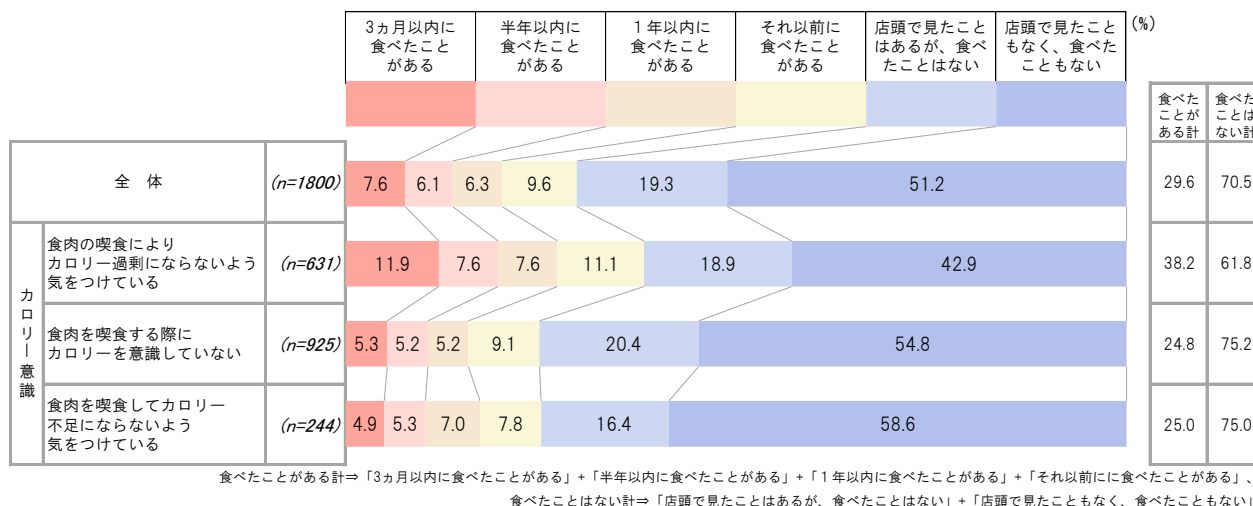
	R3	全体	(n=1800)	喫食経験 (Q37)				食べたことがある計 (%)	食べたことがない計 (%)		
				3か月以内に食べたことがある	半年以内に食べたことがある	1年以内に食べたことがある	それ以前に食べたことがある				
				7.6	6.1	6.3	9.6	19.3	51.2	29.6	70.5
	R2	全体	(n=1800)	6.1	5.0	6.0	11.4	20.1	51.4	28.5	71.5
エリア	首都圏	(n=900)	8.4	6.3	6.4	9.7	18.9	50.2	30.8	69.1	
	京阪神圏	(n=900)	6.7	5.8	6.1	9.6	19.8	52.1	28.2	71.9	
性別	男性	(n=900)	6.8	6.8	7.3	8.1	17.1	53.9	29.0	71.0	
	女性	(n=900)	8.3	5.3	5.2	11.1	21.6	48.4	29.9	70.0	
年代	20代	(n=300)	8.0	7.0	11.3	10.3	20.3	43.0	36.6	63.3	
	30代	(n=300)	7.0	6.0	6.7	9.3	20.3	50.7	29.0	71.0	
	40代	(n=300)	6.7	7.7	7.0	7.7	17.7	53.3	29.1	71.0	
	50代	(n=300)	7.0	5.0	4.0	9.3	20.3	54.3	25.3	74.6	
	60代	(n=300)	10.3	5.3	5.7	9.0	21.0	48.7	30.3	69.7	
	70代以上	(n=300)	6.3	5.3	3.0	12.0	16.3	57.0	26.6	73.3	

食べたことがある計⇒「3か月以内に食べたことがある」+「半年以内に食べたことがある」+「1年以内に食べたことがある」+「それ以前に食べたことがある」、
食べたことがない計⇒「店頭で見たことはあるが、食べたことはない」+「店頭で見たこともなく、食べたこともない」

図表 45 <植物肉>の喫食経験

＜植物肉＞の喫食経験を「食肉の喫食によるカロリーに対する意識」（Q54）別に「食べたことがある計」で見ると、「食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている」層では、38.2%と全体より8.6ポイント高く、「3か月以内に食べたことがある」が11.9%と高い。

一方、「食肉を喫食する際にカロリーを意識していない」層では「食べたことがある計」が24.8%、「食肉を喫食してカロリー不足にならないよう気をつけている」層では「食べたことがある計」が25.0%と低くなっている。



図表 46 食肉の喫食によるカロリーに対する意識別 ＜植物肉＞の喫食経験

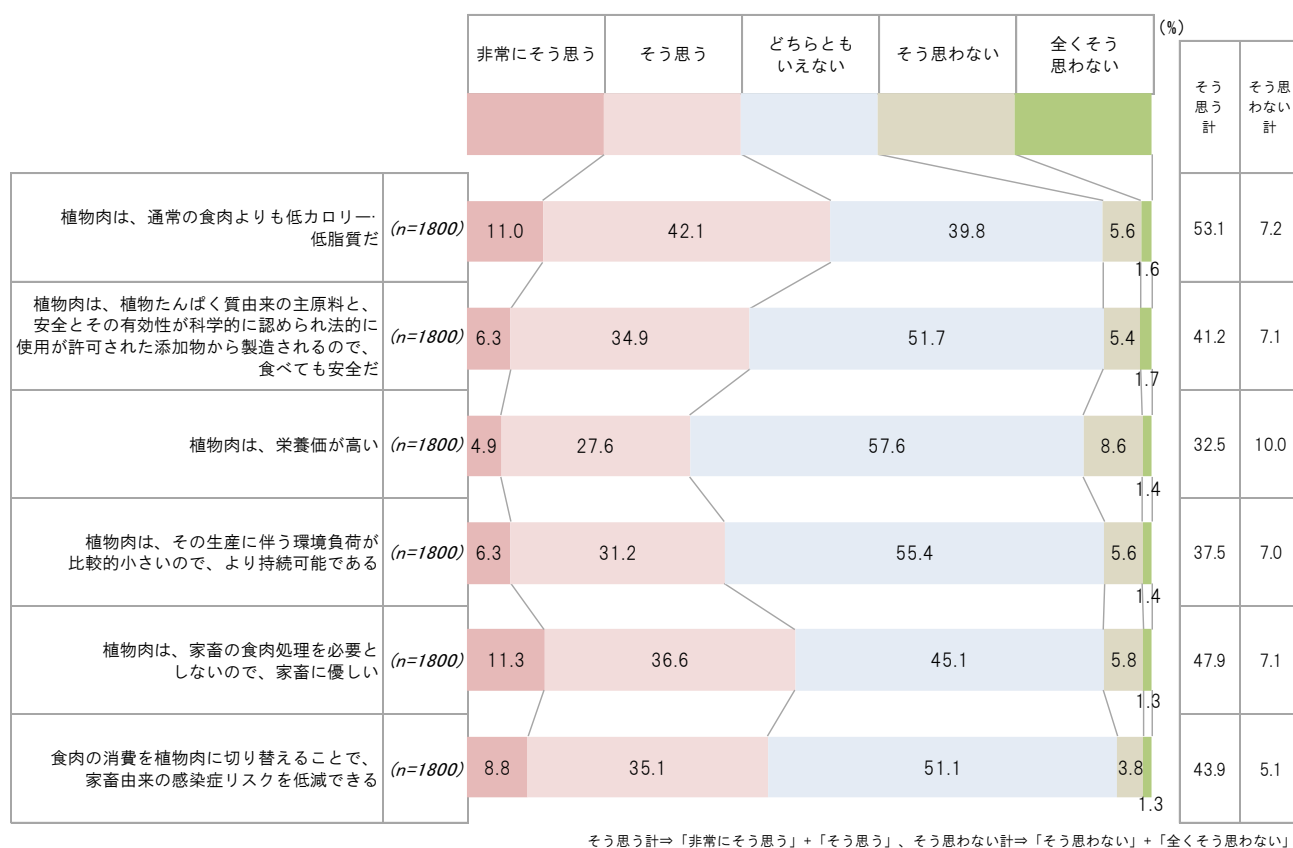
3) <植物肉>についての考え (Q45・Q46) : エリア・性・年代別分析、 カロリー意識 (Q54) 別分析

<植物肉>の便益についての考え (Q45) を「そう思う計」で見ると、「植物肉は、通常の食肉よりも低カロリー・低脂質だ」が 53.1% で最も多い。

次いで、「植物肉は、家畜の食肉処理を必要としないので、家畜に優しい」が 47.9%、「食肉の消費を植物肉に切り替えることで、家畜由来の感染症リスクを低減できる」が 43.9% で続く。

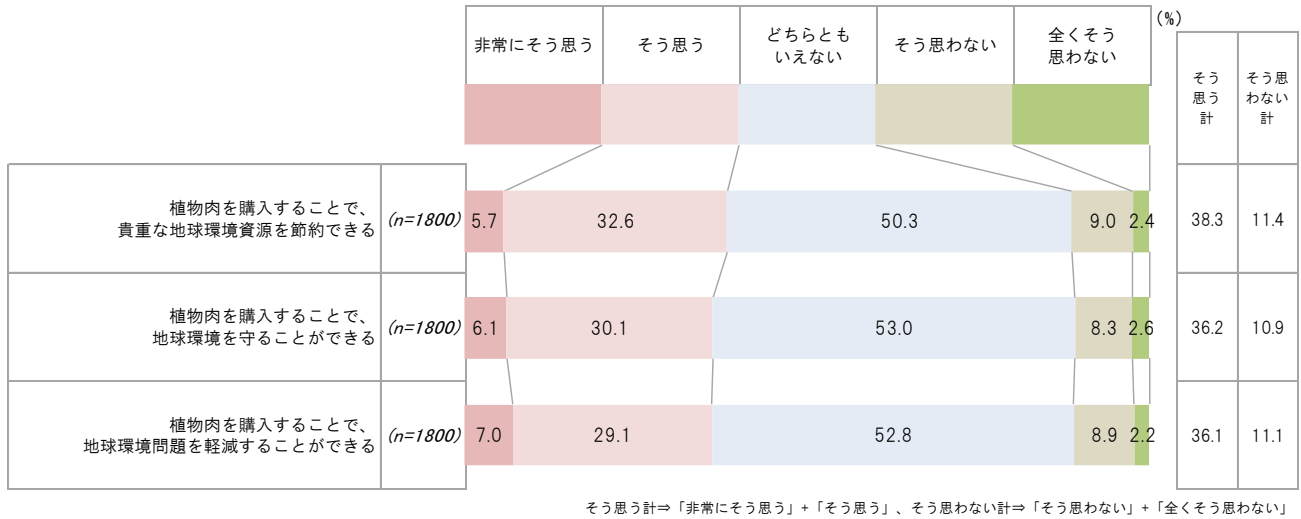
「植物肉は、植物たんぱく質由来の主原料と、安全とその有効性が科学的に認められ法的に使用が許可された添加物から製造されるので、食べても安全だ」が 41.2%、「植物肉は、その生産に伴う環境負荷が比較的小さいので、より持続可能である」が 37.5% である。

「植物肉は、栄養価が高い」は 32.5% となり、「植物肉は、通常の食肉よりも低カロリー・低脂質だ」(53.1%) に比して 20.6 ポイントの開きがある。



図表 47 <植物肉>の便益についての考え

<植物肉>の環境便益についての考え(Q46)を「そう思う計」で見ると、「植物肉を購入することで、貴重な地球環境資源を節約できる」が38.3%で最も多い。次いで、「植物肉を購入することで、地球環境を守ることができる」が36.2%、「植物肉を購入することで、地球環境問題を軽減することができる」が36.1%と続くが、いずれの項目も「どちらともいえない」が半数を占める。

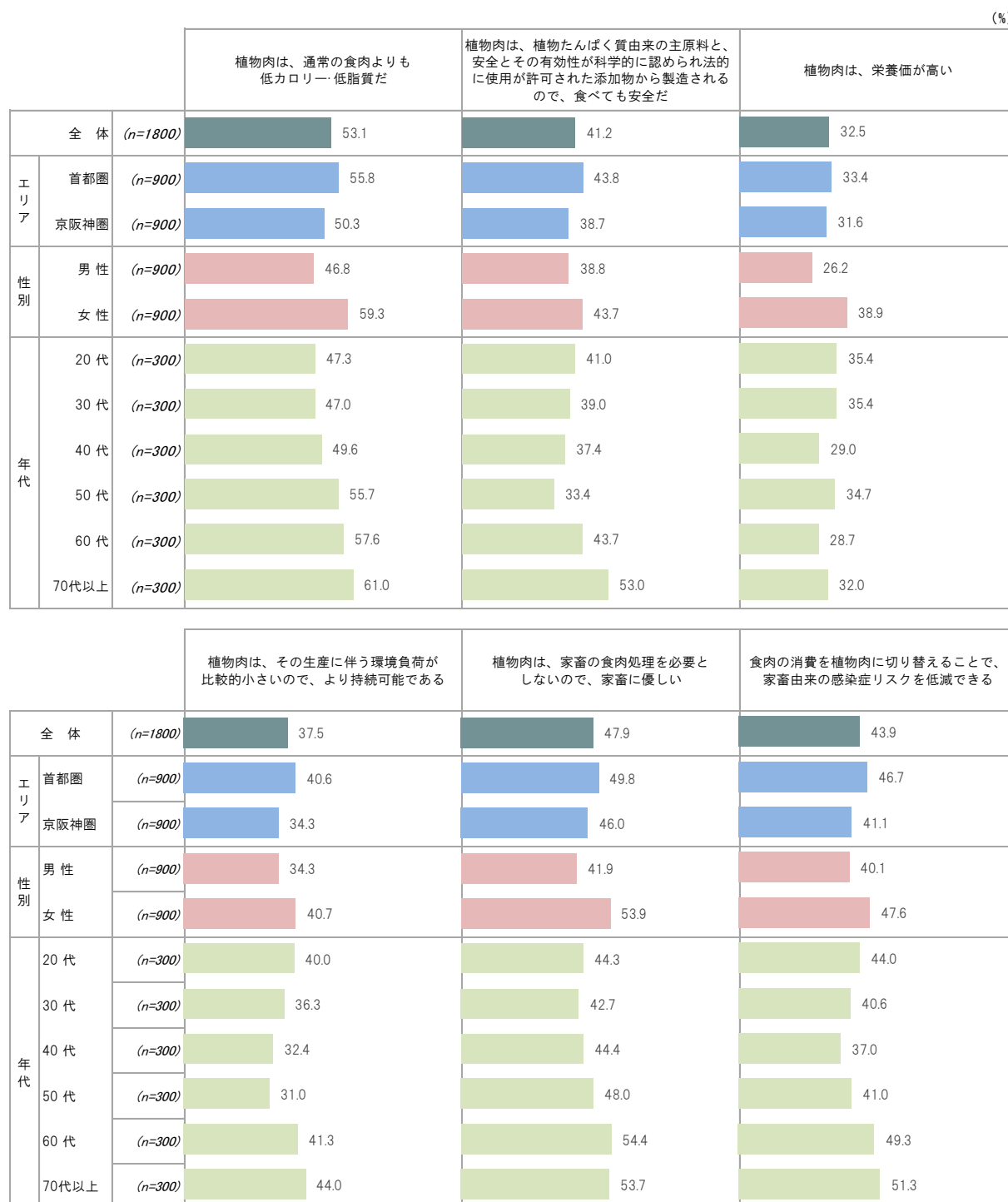


図表 48 <植物肉>の環境便益についての考え

<植物肉>の便益についての考えを「そう思う計」でエリア別に見ると、いずれの考えも京阪神圏より首都圏の方が多い。

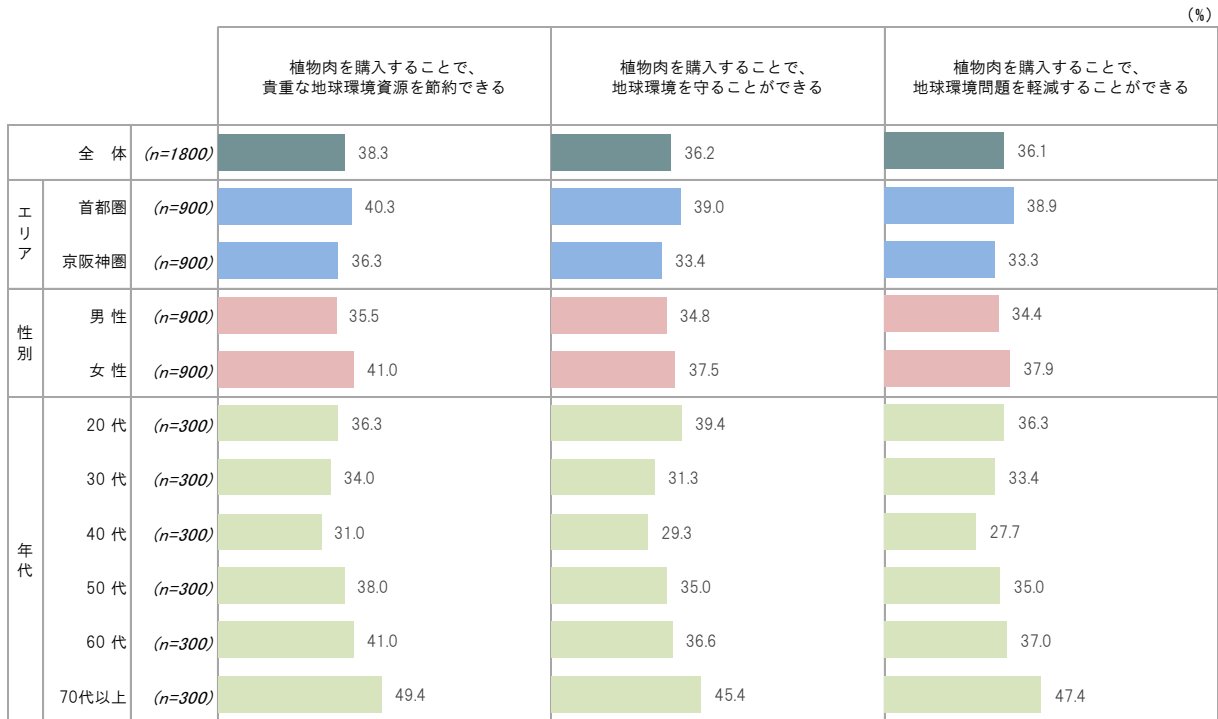
性別に「そう思う計」で見ると、いずれの考えも男性より女性の方が多い。

年代別「そう思う計」で見ると、「植物肉は、栄養価が高い」以外はいずれの考えも70代以上で多くなっている。



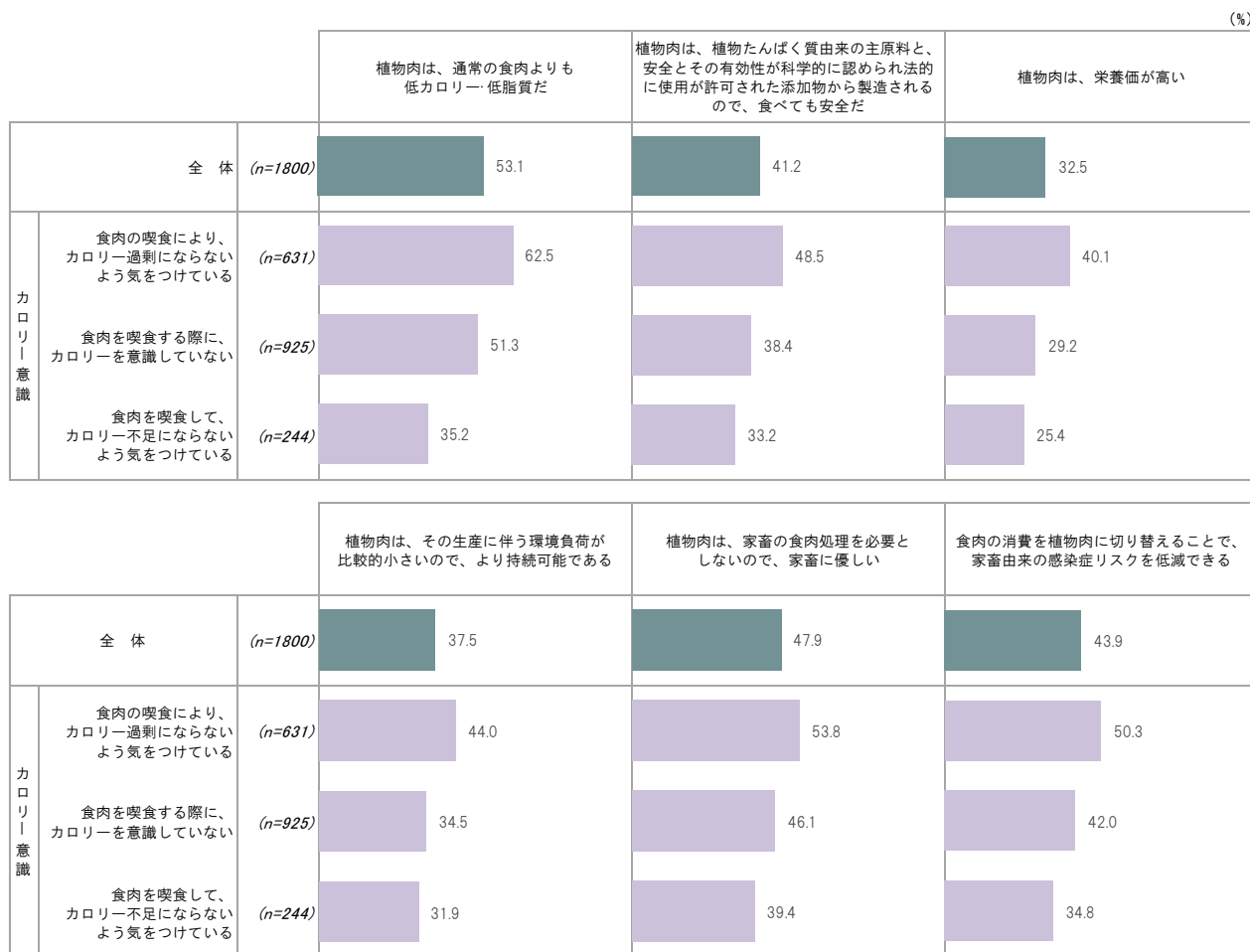
図表 49 エリア・性・年代別 <植物肉>の便益についての考え（そう思う計の割合）

＜植物肉＞の環境便益についての考えを「そう思う計」でエリア別に見ると、
 いずれの考えも京阪神圏より首都圏の方が多い。
 性別に「そう思う計」で見ると、いずれの考えも男性より女性の方が多い。
 年代別「そう思う計」で見ると、いずれの考えも70代以上で多くなっている。

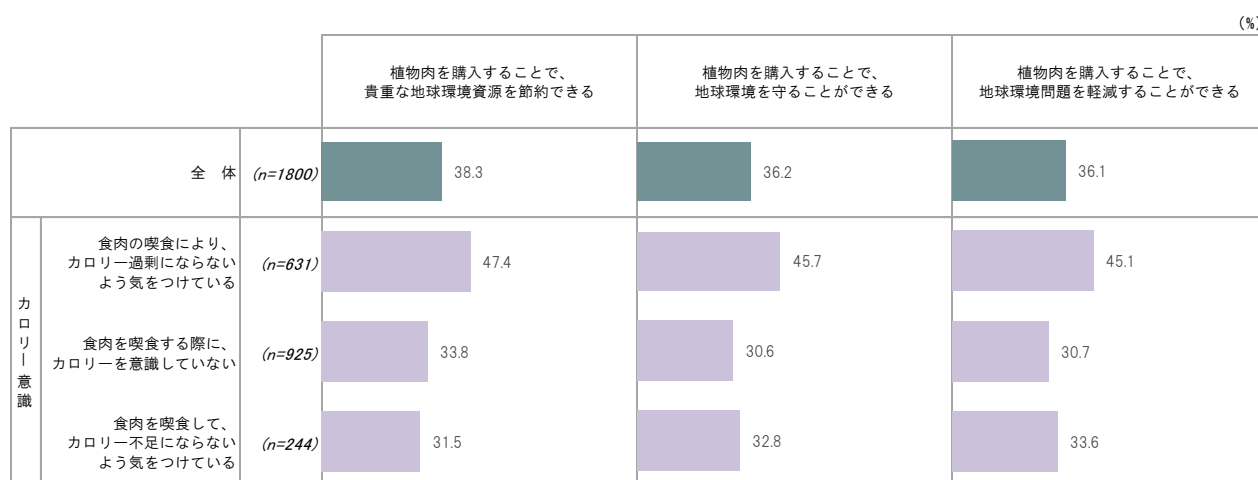


図表 50 エリア・性・年代別 ＜植物肉＞の環境便益についての考え
 (そう思う計の割合)

<植物肉>の便益と環境便益についての考えを「そう思う計」で「食肉の喫食によるカロリーに対する意識」(Q54) 別に見ると、「食肉の喫食によりカロリー一過剰にならないよう気をつけている」層では、いずれの考えも多くなっている。



図表 51 食肉の喫食によるカロリーに対する意識別
<植物肉>の便益についての考え（そう思う計の割合）



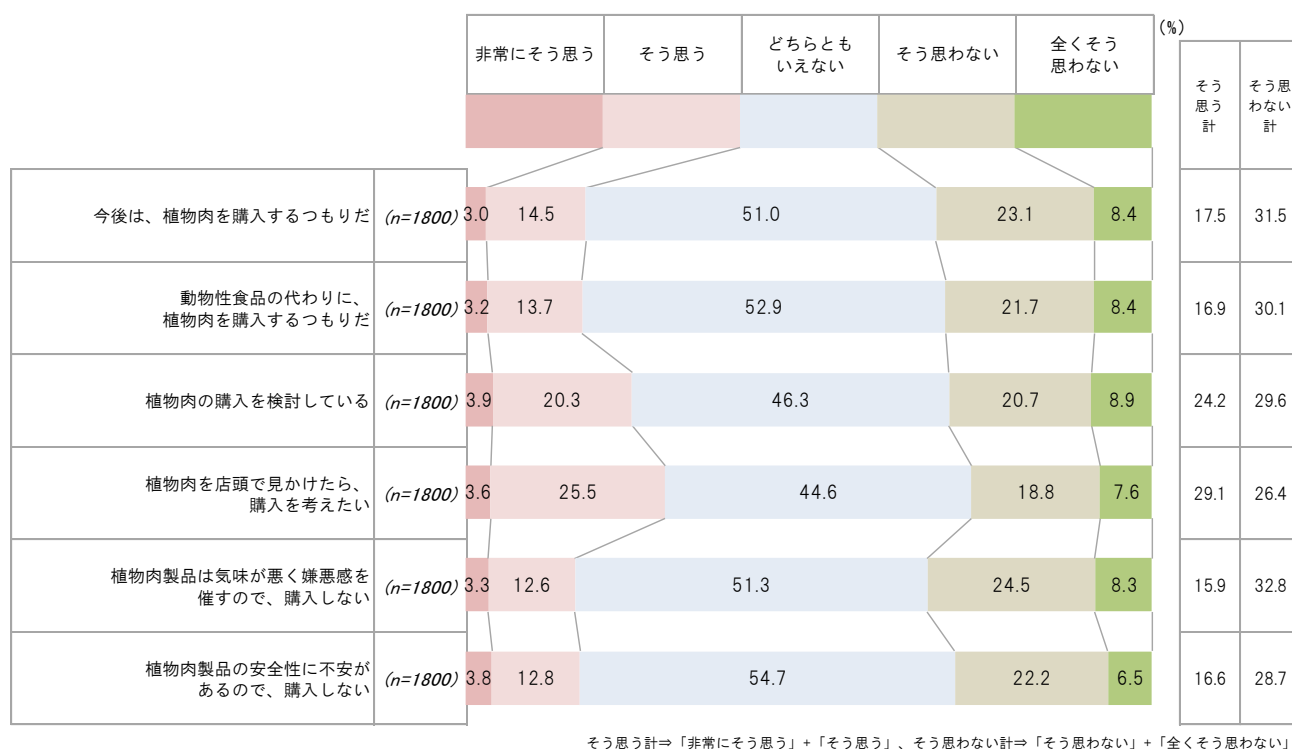
図表 52 食肉の喫食によるカロリーに対する意識別
<植物肉>の環境便益についての考え（そう思う計の割合）

4) <植物肉> (Q47) 及び<細胞培養肉> (Q49) の購入意向：
エリア・性・年代別分析、カロリー意識 (Q54) 別分析

<植物肉>の購入意向 (Q47) を「そう思う計」で見ると、「植物肉を店頭で見かけたら、購入を考えたい」が 29.1%で最も多く、「植物肉の購入を検討している」が 24.2%で続き、<植物肉>の購入検討レベルの意向が強い。

次いで、「今後は、植物肉を購入するつもりだ」が 17.5%、「動物性食品の代わりに、植物肉を購入するつもりだ」が 16.9%で続き、「購入するつもり」は2割以下である。

「植物肉製品は気味が悪く嫌悪感を催すので、購入しない」が 15.9%、「植物肉製品の安全性に不安があるので、購入しない」が 16.6%と、非購入はそれほど多くない。

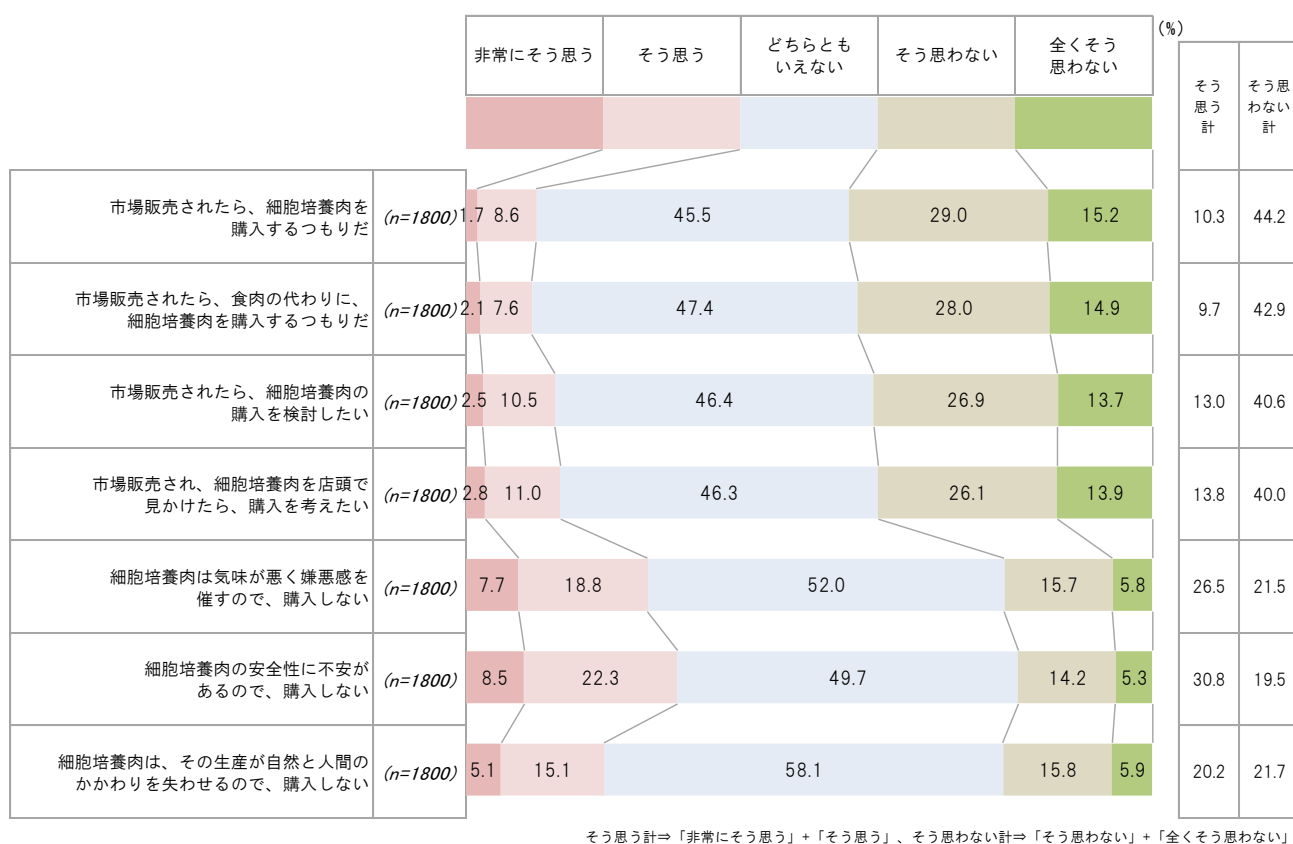


図表 53 <植物肉>の購入意向

＜細胞培養肉＞の購入意向（Q49）を「そう思う計」で見ると、「細胞培養肉の安全性に不安があるので、購入しない」が30.8%で最も多く、「細胞培養肉は気味が悪く嫌悪感を催すので、購入しない」が26.5%、「細胞培養肉は、その生産が自然と人間のかかわりを失わせるので、購入しない」が20.2%で続く。＜細胞培養肉＞は、＜植物肉＞とは異なり、非購入意向が強い。

次いで、「市場販売され、細胞培養肉を店頭で見かけたら、購入を考えたい」が13.8%、「市場販売されたら、細胞培養肉の購入を検討したい」が13.0%で続き、＜細胞培養肉＞の購入検討意向は13%程度と高くない。

「市場販売されたら、細胞培養肉を購入するつもりだ」は10.3%、「市場販売されたら、食肉の代わりに、細胞培養肉を購入するつもりだ」は9.7%と、「購入するつもり」は1割前後にとどまる。



そう思う計⇒「非常にそう思う」+「そう思う」、そう思わない計⇒「そう思わない」+「全くそう思わない」

図表 54 ＜細胞培養肉＞の購入意向

<植物肉>の購入意向を「そう思う計」でエリア別に見ると、「植物肉を店頭で見かけたら、購入を考えたい」「植物肉の購入を検討している」は、京阪神圏より首都圏の方が多い。

性別に「そう思う計」で見ると、「植物肉を店頭で見かけたら、購入を考えたい」「植物肉の購入を検討している」は、男性より女性の方が多い。

年代別に見ると、20代は、購入検討、購入意向ともに他の年代より多いが、非購入も多くなっており、<植物肉>に対してポジティブ派とネガティブ派の両方が存在すると思われる。

(%)

		今後は、植物肉を購入するつもりだ	動物性食品の代わりに、植物肉を購入するつもりだ	植物肉の購入を検討している
全体	(n=1800)	17.5	16.9	24.2
エリア	首都圏 (n=900)	18.0	17.6	25.1
	京阪神圏 (n=900)	17.0	16.1	23.2
性別	男性 (n=900)	18.5	17.8	22.0
	女性 (n=900)	16.5	16.0	26.3
年代	20代 (n=300)	20.0	22.6	31.3
	30代 (n=300)	19.7	18.0	24.0
	40代 (n=300)	11.7	13.7	19.6
	50代 (n=300)	18.7	16.0	21.7
	60代 (n=300)	17.0	13.7	23.7
	70代以上 (n=300)	18.0	17.3	24.7

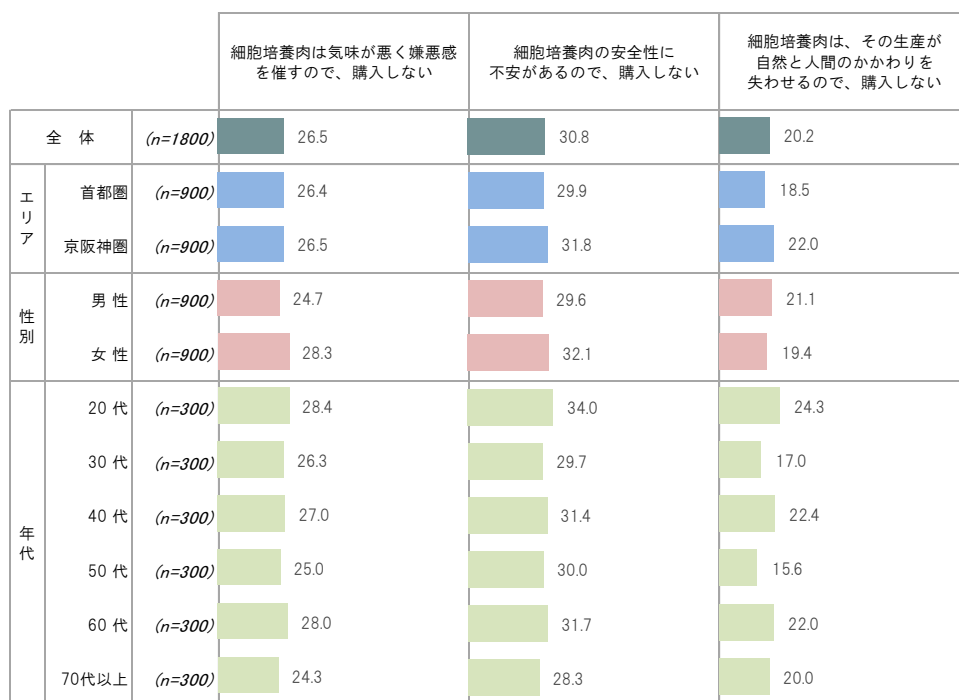
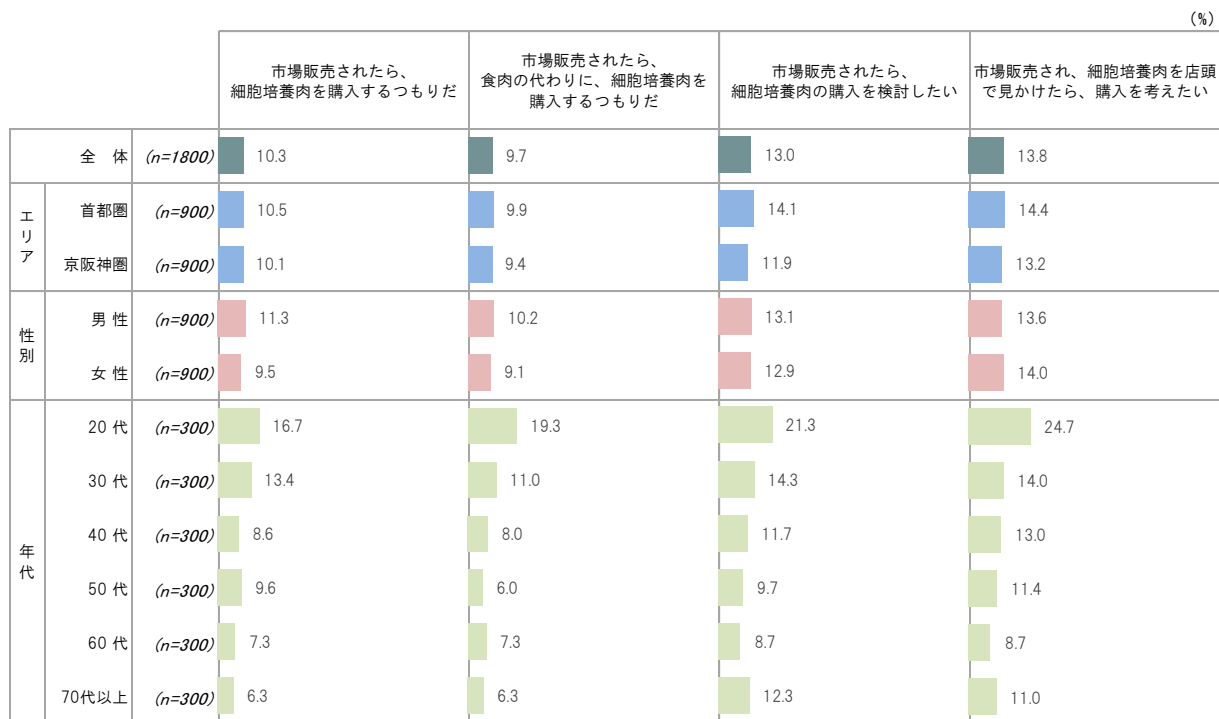
		植物肉を店頭で見かけたら、購入を考えたい	植物肉製品は気味が悪く嫌悪感を催すので、購入しない	植物肉製品の安全性に不安があるので、購入しない
全体	(n=1800)	29.1	15.9	16.6
エリア	首都圏 (n=900)	30.7	15.1	14.9
	京阪神圏 (n=900)	27.5	16.6	18.2
性別	男性 (n=900)	26.7	16.4	17.3
	女性 (n=900)	31.6	15.5	15.8
年代	20代 (n=300)	33.0	26.4	25.3
	30代 (n=300)	29.0	16.0	17.7
	40代 (n=300)	27.3	15.0	16.0
	50代 (n=300)	25.0	12.7	14.4
	60代 (n=300)	28.0	13.4	15.0
	70代以上 (n=300)	32.3	12.0	11.0

図表 55 エリア・性・年代別 <植物肉>の購入意向（そう思う計の割合）

<細胞培養肉>の購入意向を「そう思う計」でエリア別に見ると、大きな違いは見られない。

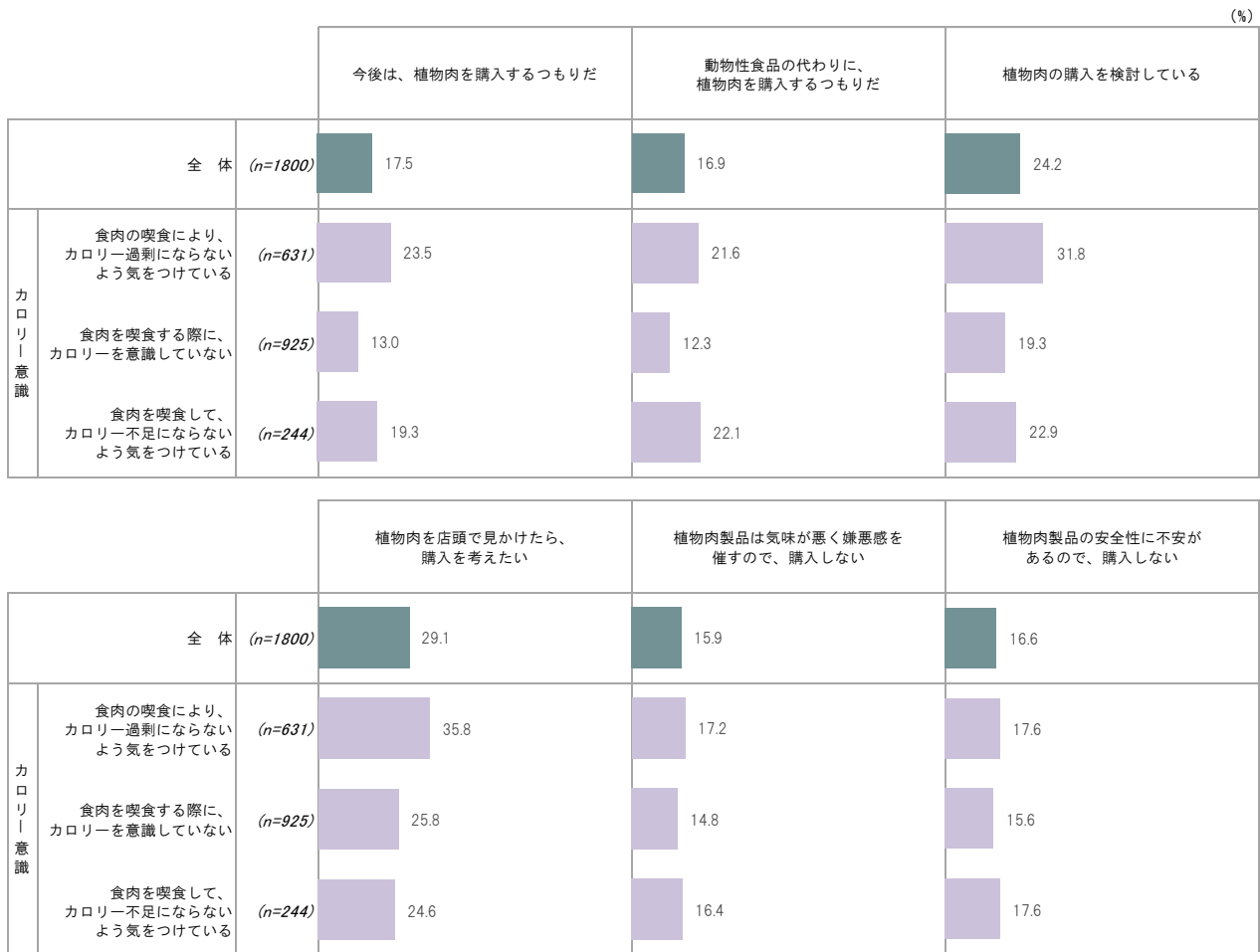
性別に「そう思う計」で見ると、「細胞培養肉は気味が悪く嫌悪感を催すので、購入しない」「細胞培養肉の安全性に不安があるので、購入しない」は、男性より女性の方が多い。

年代別に見ると、<植物肉>同様、20代は、購入検討、購入意向ともに他の年代より多いが、非購入も多くなっており、<細胞培養肉>に対してポジティブ派とネガティブ派の両方が存在すると思われる。



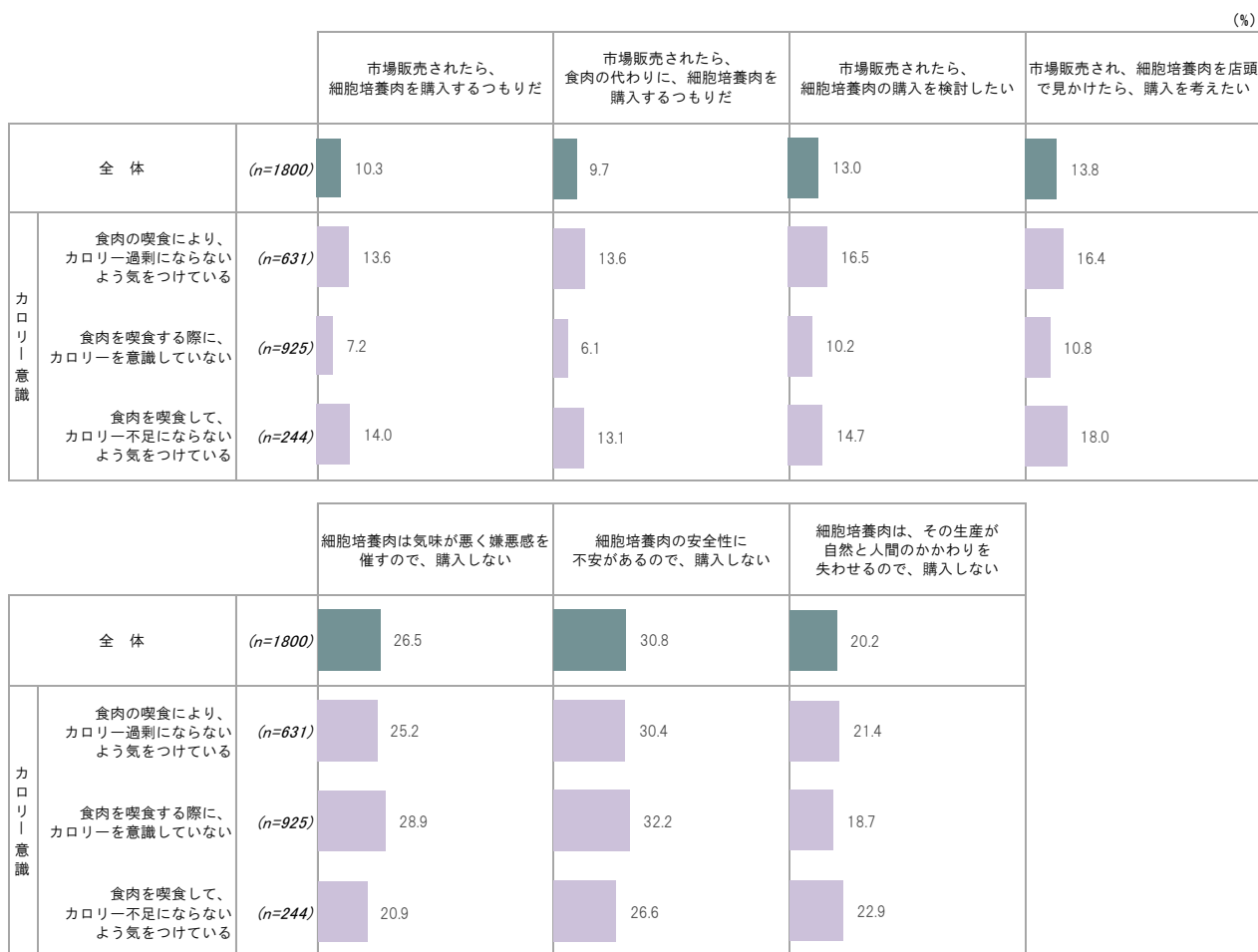
図表 56 エリア・性・年代別 <細胞培養肉>の購入意向（そう思う計の割合）

<植物肉>の購入意向を「そう思う計」で「食肉の喫食によるカロリーに対する意識」(Q54) 別に見ると、「食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている」層では、「今後は、植物肉を購入するつもりだ」「植物肉を店頭で見かけたら、購入を考えたい」「植物肉の購入を検討している」が多くなっており、購入意向が強い。



図表 57 食肉の喫食によるカロリーに対する意識別
<植物肉>の購入意向（そう思う計の割合）

一方、＜細胞培養肉＞の購入意向を「そう思う計」で「食肉の喫食によるカロリーに対する意識」(Q54) 別に見ると、「食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている」層、「食肉を喫食する際にカロリーを意識していない」層のいずれにおいても、「細胞培養肉は気味が悪く嫌悪感を催すので、購入しない」「細胞培養肉の安全性に不安があるので、購入しない」が多くなっており、カロリー意識と＜細胞培養肉＞の購入意向には関連が見られない。



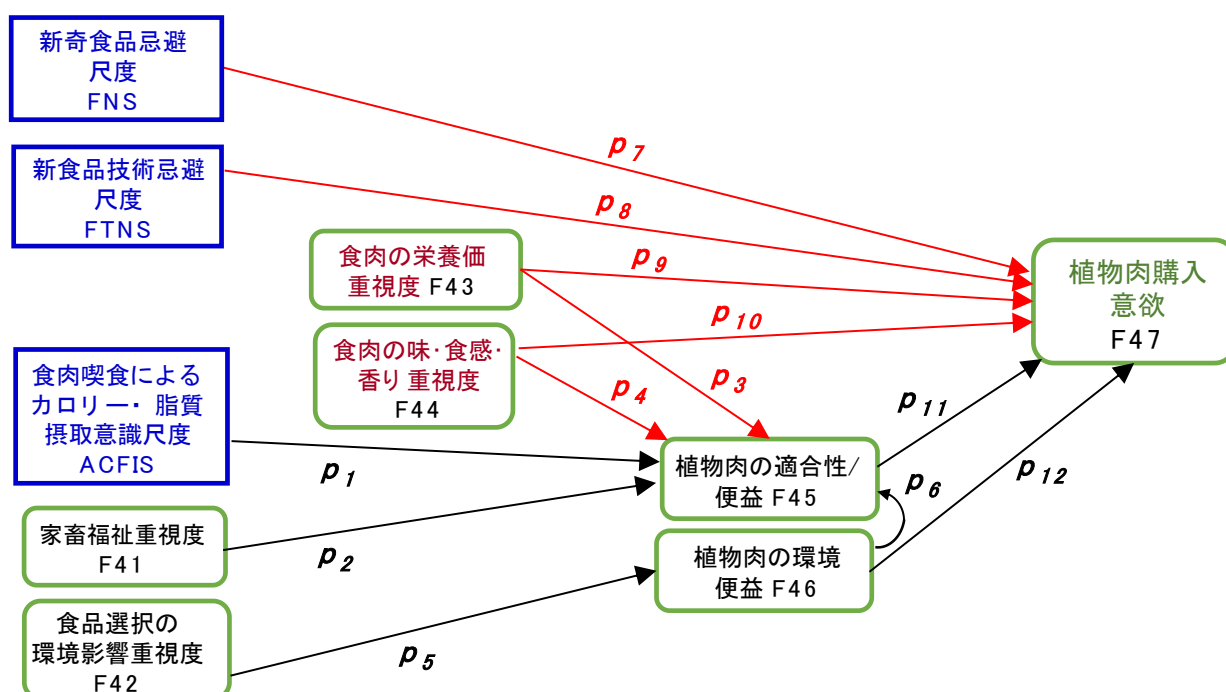
図表 58 食肉の喫食によるカロリーに対する意識別
＜細胞培養肉＞の購入意向（そう思う計の割合）

<植物肉>に関する構造方程式モデリング (SEM) 分析

5) <植物肉>に関する構造方程式モデリング分析 (Q38~Q47、Q54、Q55)

世界的な食肉消費の増加に伴い、畜産の拡大による食料供給、地球環境保全、家畜福祉などへの影響の懸念が高まっている。そうした中、大豆などの植物性たんぱくを原料に、食感や風味を食肉に近づけた代替肉製品（植物肉）が商品化され、これらの懸念緩和と、消費者の健康志向を背景に、植物肉の普及と市場拡大が見込まれる（遠藤（2020））。

本節では、植物肉の消費者購買意欲決定モデルを構築し、構造方程式モデリング (Structural Equation Modeling: SEM) で分析する。SEM は、直接観測される変数（観測変数）から、直接観測できない変数（潜在変数）を導き出し、観測変数や潜在変数間の因果関係について仮説を設定することで、考察対象の現象を定量的・視覚的に検討できる。SEM には、CB-SEM (Covariance-Based SEM) と PLS-SEM (Partial Least Squares-SEM) の 2 種類がある。CB-SEM は、潜在変数を「測定項目間の共分散を説明する共通因子」と捉え、データの共分散構造を利用して、パラメータを正確に推定することを主眼とする。植物肉の消費者購買意欲要因に関する SEM 分析の先行研究として、Shen and Chen (2020) の CB-SEM、De Koning et al. (2020)、Hwang et al. (2020)、Kopplin and Rausch(2021) の PLS-SEM による分析があるが、これらの中で最も包括的な De Koning et al. (2020) のモデルを一部改変した図表 59 のモデルで彼らの実証結果を検証する。



注 1：各変数を結ぶ 赤の矢印は負の因果関係を、黒の矢印は正の因果関係を表す。

青の枠で囲まれた変数は、図表 60 の該当質問項目の合計得点で潜在変数ではない。

注 2：緑色の枠で囲まれた潜在変数は、図表 60 の該当質問項目の共通因子として推定。

注 3： p_n はパス係数（黒色は正值、赤色は負値を想定）

図表 59 <植物肉>の消費者購買意欲決定モデルのパス図と検証する因果関係仮説

図表 59 に示した因果関係を CB-SEM で検証するため、FNS、FTNS、ACFIS の尺度得点算出、潜在変数 F40～F47 の測定に用いた質問項目を図表 60 に示す。

図表 60 <植物肉>に関する潜在変数間の因果関係の計測に用いた質問項目

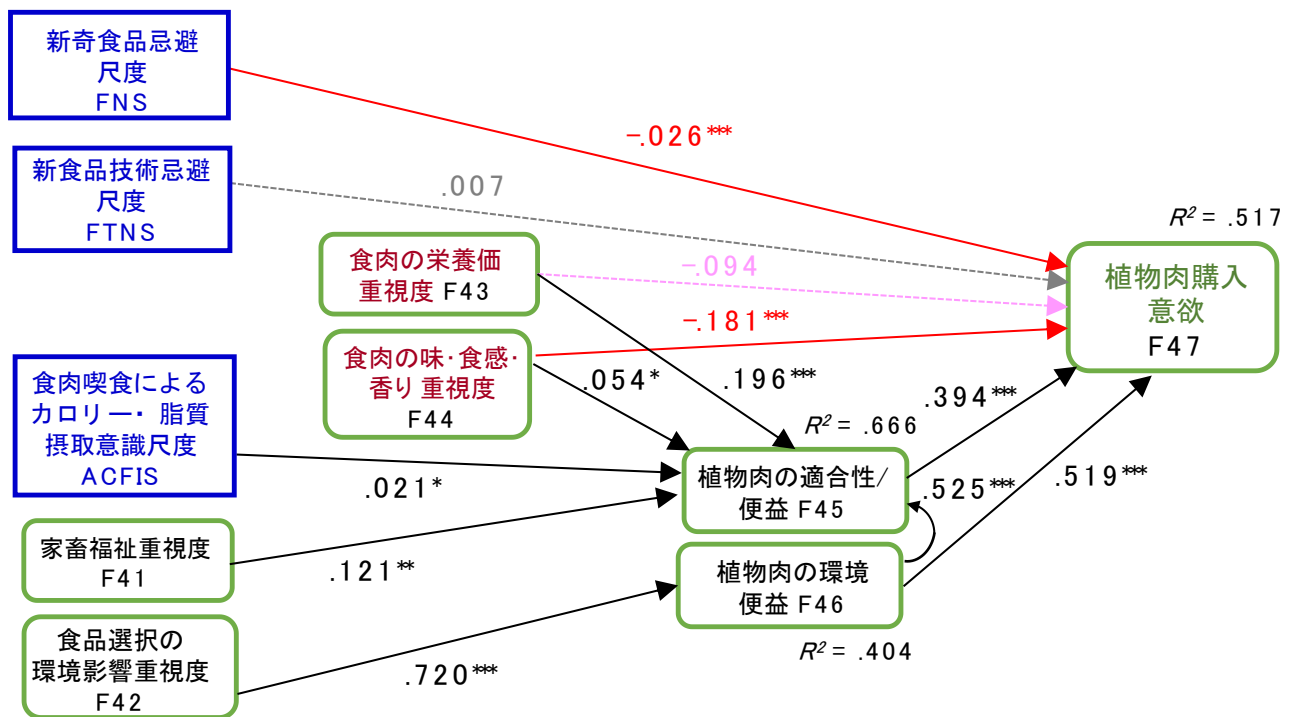
注：質問項目の最後部右の R は、逆転項目として分析に使用したことを示している。

変数/質問項目	変数の意味と質問項目回答値の定義	
FNS	新奇食品忌避尺度得点 (Q38s1R～Q38s10R の合計得点)	
Q38s1R	Q38s1 回答	非常にあてはまる = 1, あてはまる = 2, どちらともいえない = 3, あてはまらない = 4, 全くあてはまらない = 5
Q38s2	Q38s2 回答	全くあてはまらない = 1, あてはまらない = 2, どちらともいえない = 3, あてはまる = 4, 非常にあてはまる = 5
Q38s3	Q38s3 回答	全くあてはまらない = 1, あてはまらない = 2, どちらともいえない = 3, あてはまる = 4, 非常にあてはまる = 5
Q38s4R	Q38s4 回答	非常にあてはまる = 1, あてはまる = 2, どちらともいえない = 3, あてはまらない = 4, 全くあてはまらない = 5
Q38s5	Q38s5 回答	全くあてはまらない = 1, あてはまらない = 2, どちらともいえない = 3, あてはまる = 4, 非常にあてはまる = 5
Q38s6R	Q38s6 回答	非常にあてはまる = 1, あてはまる = 2, どちらともいえない = 3, あてはまらない = 4, 全くあてはまらない = 5
Q38s7	Q38s7 回答	全くあてはまらない = 1, あてはまらない = 2, どちらともいえない = 3, あてはまる = 4, 非常にあてはまる = 5
Q38s8	Q38s8 回答	全くあてはまらない = 1, あてはまらない = 2, どちらともいえない = 3, あてはまる = 4, 非常にあてはまる = 5
Q38s9R	Q38s9 回答	非常にあてはまる = 1, あてはまる = 2, どちらともいえない = 3, あてはまらない = 4, 全くあてはまらない = 5
Q38s10R	Q38s10 回答	非常にあてはまる = 1, あてはまる = 2, どちらともいえない = 3, あてはまらない = 4, 全くあてはまらない = 5
FTNS	新食品技術忌避尺度得点 (Q39s1～Q39s10 の合計得点)	
Q39s1	Q39s1 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
Q39s2	Q39s2 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
Q39s3	Q39s3 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
Q39s4	Q39s4 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
Q39s5	Q39s5 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
Q39s6	Q39s6 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
Q39s7	Q39s7 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
Q39s8R	Q38s1 回答	非常にそう思う = 1, そう思う = 2, どちらともいえない = 3, そう思わない = 4, 全くそう思わない = 5
Q39s9R	Q38s1 回答	非常にそう思う = 1, そう思う = 2, どちらともいえない = 3, そう思わない = 4, 全くそう思わない = 5
Q39s10R	Q38s1 回答	非常にそう思う = 1, そう思う = 2, どちらともいえない = 3, そう思わない = 4, 全くそう思わない = 5
ACFIS	食肉喫食によるカロリー・脂質摂取意識尺度得点 (Q54R と Q55R の合計得点)	
Q54R	Q54 回答	食肉を喫食して、カロリー不足にならないよう気をつけている = 1 食肉を喫食する際に、カロリーを意識していない = 2 食肉の喫食により、カロリー過剰にならないよう気をつけている = 3
Q55R	Q55 回答	食肉を喫食して、脂質不足にならないよう気をつけている = 1 食肉を喫食する際に、脂質を意識していない = 2 食肉の喫食により、脂質過剰にならないよう気をつけている = 3

変数/質問項目	変数の意味と質問項目回答値の定義	
F41 (潜在変数)	家畜福祉重視度 (Q41s1~Q41s3 を含む測定方程式から推定)	
Q41s1	Q41s1 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
Q41s2	Q41s2 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
Q41s3	Q41s3 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
F42 (潜在変数)	食品選択の環境影響重視度 (Q42s1~Q42s3 を含む測定方程式から推定)	
Q42s1	Q42s1 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
Q42s2	Q42s2 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
Q42s3	Q42s3 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
F43 (潜在変数)	食肉の栄養価重視度 (Q43s1~Q43s3 を含む測定方程式から推定)	
Q43s1	Q43s1 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
Q43s2	Q43s2 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
Q43s3	Q43s3 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
F44 (潜在変数)	食肉の味・食感・香り重視度 (Q44s1~Q44s3 を含む測定方程式から推定)	
Q44s1	Q44s1 回答	全くあてはまらない = 1, あてはまらない = 2, どちらともいえない = 3, あてはまる = 4, 非常にあてはまる = 5
Q44s2	Q44s2 回答	全くあてはまらない = 1, あてはまらない = 2, どちらともいえない = 3, あてはまる = 4, 非常にあてはまる = 5
Q44s3	Q44s3 回答	全くあてはまらない = 1, あてはまらない = 2, どちらともいえない = 3, あてはまる = 4, 非常にあてはまる = 5
F45 (潜在変数)	植物肉の適合性/便益 (Q45s1~Q45s6 を含む測定方程式から推定)	
Q45s1	Q45s1 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
Q45s2	Q45s2 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
Q45s3	Q45s3 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
Q45s4	Q45s4 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
Q45s5	Q45s5 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
Q45s6	Q45s6 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
F46 (潜在変数)	植物肉の環境便益 (Q46s1~Q46s3 を含む測定方程式から推定)	
Q46s1	Q46s1 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
Q46s2	Q46s2 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
Q46s3	Q46s3 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
F47 (潜在変数)	植物肉の購入意欲 (Q47s1~Q47s4 を含む測定方程式から推定)	
Q47s1	Q47s1 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
Q47s2	Q47s2 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
Q47s3	Q47s3 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5
Q47s4	Q47s4 回答	全くそう思わない = 1, そう思わない = 2, どちらともいえない = 3, そう思う = 4, 非常にそう思う = 5

De Koning らのモデルからの改変点は、「植物肉の環境便益 (F46)」を「植物肉の適合性/便益 (F45)」から分離し、わが国の既往意識調査結果を踏まえ (ネオマーケティング (2018)、日本インフォメーション(2021))、「食品選択の健康影響意識」を「食肉喫食によるカロリー・脂質摂取意識」に変更した点、さらに、新奇食品忌避、新食品技術忌避、食肉喫食によるカロリー・脂質摂取意識を、それぞれ、FNS、FTNS、ACFIS に尺度化した点である。FNS (Food Neophobia Scale) は、Pliner and Hobden(1992) の 10 項目の質問回答値を逆転項目の調整後に合計した。FNS は値が大きいほど新奇食品への忌避傾向が強いことを意味する。FTNS(Food Technology Neophobia Scale) は、Cox and Evans(2008)のオリジナルの 13 項目から 10 項目を選び、それらの回答値を逆転項目の調整後に合計した。FTNS は値が大きいほど新規技術利用食品の忌避傾向が強いことを意味する。ACFIS は、食肉喫食によるカロリー・脂質摂取意識を捉える尺度であり、2つの質問回答値を逆転項目の調整後に合計した。ACFIS は値が大きいほど食肉摂取からカロリーや脂質を摂り過ぎにならないよう気をつけることを意味する。

1,800 名のサンプルの回答分布の多くが非正規分布である点を考慮し、ロバストト最尤法によって F41~F47 の測定方程式と図表 59 のパス図から構成される構造方程式モデルを計測した。その結果、得られた構造方程式のパス係数標準化推定値 (変数の分散を 1 とした推定値) を図表 61 に示す。



注 1 : パス係数推定値は標準化推定値、右肩の***は 0.1%、**は 1%、*は 5%水準でゼロと統計的有意差があることを示す。R²は当該内生変数の決定係数を示す。

注 2 : 赤の矢印は負の因果関係を、黒の矢印は正の因果関係を表す。点線矢印はパス係数推定値が有意でない (因果関係が統計的に認められない) ことを表す。

χ^2 統計量= 6563 (d.f. = 378, p 値= 0.000), CFI=0.923, RMSEA=0.057, SRMR=0.083

図表 61 植物肉の消費者購買意欲決定モデルの計測結果 (構造方程式部分のみ掲載)

計測には統計ソフト R ver.4.1.1 の CB-SEM 分析パッケージ lavaan ver.0.6-9 を利用した。計測したモデルは、サンプル数が大きいため χ^2 適合度検定によれば許容されないが、各種適合度指標の値は、いずれも当てはまりが「悪い」とされる範囲外にあり（朝野ら (2005)）、当てはまりは概ね良好であった。そこで、図表 61 の各パス係数推定値を順に検討する。係数の標準化推定値は、変数間の影響関係の強さを表し、数値の絶対値が大きいほど影響が強い。また、単位に依存せず、個々の係数値を比較し、関係の強さを比較することができる（豊田 (2014)）。

第一に、「植物肉の適合性/便益」へ影響を及ぼす変数の効果を吟味する。「食肉喫食によるカロリー・脂質意識」から「植物肉の適合性/便益」への係数は 5%水準で有意な 0.021 で、食肉喫食によるカロリー・脂質過剰摂取を気にする回答者ほど植物肉の便益が高まることを示唆している。また、「家畜福祉重視度」からの係数も 1%水準で有意な 0.121 で、家畜福祉を重視する回答者ほど植物肉の便益が高まる。「食肉の栄養価値重視度」からの係数は 0.1%水準で有意な 0.196 で最も大きく、「食肉の味・食感・香り重視度」からの係数も 0.1%水準で有意な 0.054 で、De Koning et al. (2020)の結果とは逆に、「植物肉の適合性/便益」を高めている。これは、わが国では植物肉が栄養素をバランス良く摂取できる食品として評価されており、最近、大豆臭を抑え、味や食感を食肉にさらに近づけた製品が商品化され、受容性が高まっていることを反映した結果と考えられる。

第二に、「食品選択の環境影響重視度」から「植物肉の環境便益」への係数は 0.1%水準で有意な 0.720 であり、地球的規模の環境問題に生活者の食品選択行動が関係していることの知覚を向上させることで植物肉の評価が高まること示唆される。第三に、「植物肉購入意欲」へ影響を及ぼす変数の効果を吟味する。「新奇食品忌避意識」からの係数は水準 0.1%で有意な-0.026 であり、植物肉を新奇食品として忌避する傾向の強い回答者ほど、植物肉を受容しないことが認められる。他方、De Koning et al. (2020) の実証結果と異なり、「新食品技術忌避意識」からの係数と、「食肉の栄養価値重視度」からの係数は、統計的有意性がなく、植物肉購入意欲に影響を与えていない。前者は、わが国では古くから様々な大豆加工食品が生産・消費されていること、植物肉製造に遺伝子組換えやクローン技術、ゲノム編集技術などのバイオ技術が応用されていないこと、後者は、わが国の食生活の中で食肉固有の栄養価値が重要視されていないことが理由として考えられる。「食肉の味・食感・香り重視度」の係数は 0.1%水準で有意な-0.181 であり、食肉本来の味・食感・香りを重視する人ほど、現状の植物肉では満足できないことを示唆している。「植物肉の適合性/便益」、「植物肉の環境便益」からの係数は、それぞれ 0.1%水準で有意な 0.394、0.519 であり、植物肉購入意欲を相対的に強める影響要因と解釈できる。

第四に、「植物肉の環境便益」から「植物肉の適合性/便益」への係数は、0.1%水準で有意な 0.525 であり、植物肉購入の環境保全への貢献評価が「植物肉の適合性/便益」の全体的評価を高めていると推察される。第五に、「植物肉の適合性/便益」を介し、「植物肉購入意欲」へ影響を及ぼす外生変数の効果を推計すると、「食肉喫食によるカロリー・脂質過剰意識」は、5%水準で有意な 0.008

(0.021×0.395)、「家畜福祉重視度」は、1%水準で有意な 0.048 (0.121×0.395) で、植物肉の購入意欲を高めると推定された。第六に、「食肉の栄養価値重視度」の「植物肉購入意欲」への総効果は、 -0.005 ($-0.094 + 0.196 \times 0.394$) だが、ゼロと有意差はなく、統計的因果関係は認められなかった。他方、「食肉の味・食感・香り重視度」の「植物肉購入意欲」への総効果は、0.1%水準で有意な -0.160 ($-0.181 + 0.054 \times 0.394$) と負の影響が確認された。最後に、「食品選択の環境影響重視度」の「植物肉購入意欲」への総効果は、0.1%水準で有意な 0.523 ($0.720 \times 0.519 + 0.720 \times 0.525 \times 0.394$) と正の影響が示された。

以上の結果をまとめると、本調査回答者の植物肉の購入意欲を高める最大の要因は、食品選択の環境に及ぼす影響の重視度であり、次いで家畜福祉の重視度、食肉喫食によるカロリー・脂質の過剰摂取懸念、逆に植物肉の購入意欲を低める最大の要因は、食肉の味・食感・香り重視度、次いで新奇食品忌避という心理的要因である。なお、図表 61 に示した「植物肉購入意欲」の決定係数 0.517 は、De Koning et al. (2020) の 0.331 より大きく、本計測モデルの方が予測精度は高かった。これは彼らの分析が欧米と中国を含む 9 カ国のプール回答データに基づいており、各国の食文化の違いを捨象したためであろう。農畜産業振興機構による 8 カ国の消費者調査結果によれば、植物肉を食べる理由や今後の喫食意向には各国の食文化を反映してかなりの違いがみられる (河村(2021))。

最後に、本モデル計測に用いた図表 60 の変数データについて、居住地、性差、税込世帯年収、最終学歴、年代の各回答者属性カテゴリ間の比較結果を示す。なお FNS、FTNS、ACFIS は予め標準化し、それら以外の潜在変数スコアはモデル推定値を用いた。F45 と F47 以外の変数の平均は 0、FNS、FTNS、ACFIS の標準偏差は 1、F41、F42、F43、F44、F45、F46、F47 の標準偏差は、それぞれ、 0.449 、 0.549 、 0.591 、 0.707 、 0.550 、 0.668 、 0.707 である。分析には統計ソフト IBM SPSS Statistics ver.23 を利用した。

正規性検定ならびに等分散性検定の結果、いずれの変数データも正規分布に従わず、2 群以上のデータについて母分散が等しくないと認められたため、回答者属性カテゴリ間の変数データ比較はノンパラメトリック検定であるメディアン検定 ($P < 0.05$) により行った。

居住地のカテゴリ (京阪神圏、首都圏) 間で、食品選択の健康影響重視度、食肉の栄養価値重視度、植物肉の適合性/便益の中央値は同じであるという帰無仮説は、それぞれ、 0.043 、 0.034 、 0.021 の有意確率で棄却された (京阪神圏居住者の中央値は、それぞれ、 -0.087 、 0.089 、 -0.030 、首都圏居住者の中央値は、それぞれ、 -0.041 、 0.183 、 0.054)。性差カテゴリ (女性、男性) 間で、食肉の栄養価値重視度、植物肉の適合性/便益、植物肉の環境便益の中央値は同じであるという帰無仮説は、それぞれ、 0.003 、 0.027 、 0.000 、 0.007 の有意確率で棄却された (女性回答者の中央値は、それぞれ、 0.193 、 0.221 、 0.115 、 -0.171 、男性回答者の中央値は、それぞれ、 0.050 、 0.155 、 -0.069 、 -0.230)。

税込世帯年収のカテゴリ間ならびに最終学歴のカテゴリ間で、食肉喫食によるカロリー・脂質摂取意識尺度得点の中央値は同じであるという帰無仮説

は、それぞれ、0.046、0.010の有意確率で棄却されたが、各変数のペアごとの多重比較を行ったところ、有意に中央値が異なるカテゴリーのペアは、いずれも認められなかった。

年代カテゴリー（20代、30代、40代、50代、60代、70代以上）間で、中央値は同じであるという帰無仮説が棄却されなかった変数は、新食品技術忌避尺度得点と食肉の味・食感・香り重視度、植物肉の購入意欲の3つだけで、それら以外の変数データは、0.000～0.019の有意確率で中央値は同一であるという帰無仮説が棄却された。

年代カテゴリー間で中央値に差があると認められた各変数のペアごとの多重比較を行ったところ、植物肉の適合性/便益については有意に中央値が異なるカテゴリーのペアは存在しなかったものの、次の7変数に関して年代のペアごとの比較で中央値に0.0～5%水準で有意な差が確認された。

新奇食品忌避尺度得点では、20代（中央値：-0.272）と70代以上（0.0）、40代（-0.272）と70代以上、50代（-0.272）と70代以上、食肉喫食によるカロリー・脂質摂取意識尺度得点では、20代（-0.467）と60代（0.369）、家畜福祉重視度では、30代（-0.086）と70代以上（0.013）、40代（-0.071）と70代以上、50代（-0.079）と70代以上、食品選択の健康影響重視度では、20代（-0.077）と70代以上（0.033）、30代（-0.177）と70代以上、40代（-0.093）と70代以上、50代（-0.090）と70代以上、食肉の栄養価値重視度では、40代（-0.021）と70代以上（0.211）、植物肉の適合性/便益では、40代（-0.067）と60代（0.085）、40代と70代以上（0.152）、植物肉の環境便益では、40代（-0.235）と70代以上（-0.014）の年代間で中央値に有意差が認められ、総じて高齢者層でこれらの意識が高いことがうかがわれる。

[引用文献]

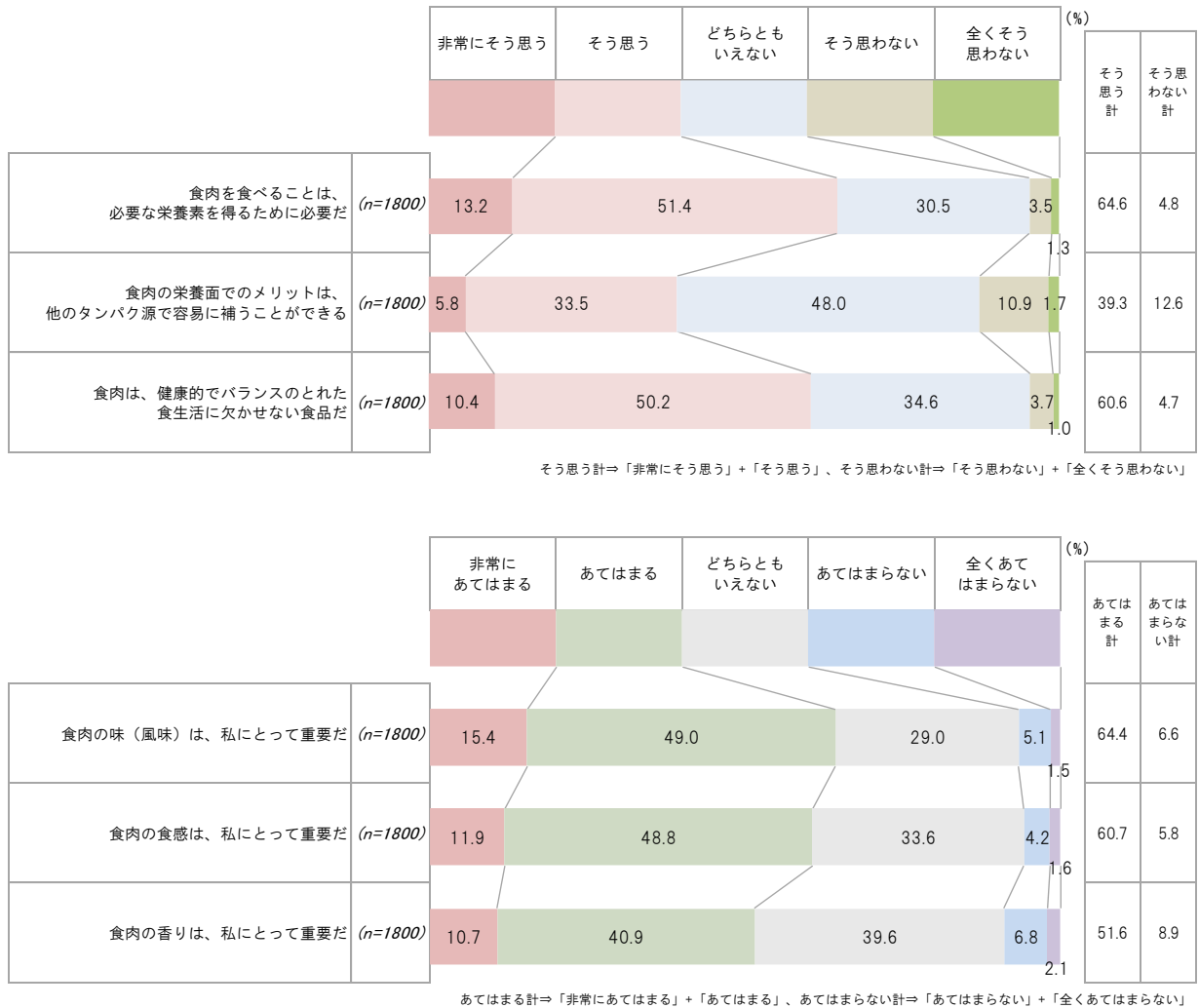
- 1) 朝野熙彦編著(2005)『入門 共分散構造分析の実際』(講談社サイエンティフィク). 118-112.
- 2) Cox, N. and Evans, G. (2008) Construction and validation of a psychometric scale to measure consumers' fears of novel food technologies: The food technology neophobia scale. *Food Quality and Preference* 19, 704-710.
- 3) De Koning W. et al. (2020) Drivers and inhibitors in the acceptance of meat alternatives: The case of plant and insect-based proteins. *Foods* 9, 1292.
- 4) 遠藤真弘(2020) 「代替肉の開発と今後の展開—植物肉と培養肉を中心に—」, 『調査と情報』(国立国会図書館・調査及び立法考査局) No.1113, 1-10.
- 5) Hwang J. et al. (2020) Factors affecting consumers' alternative meats buying intentions: Plant-based meat alternative and cultured meat. *Sustainability* 12, 5662.
- 6) 株式会社ネオマーケティング (2018) 「全国の20歳～69歳の男女1000人に聞いた食と健康意識に関する調査」. <https://www.neo-m.jp/finvestigation/2341/> (2021年12月4日アクセス)
- 7) 河村侑紀(2021) 「各国における食肉代替製品食品の消費動向」, 『畜産の情報』2021年6月号, 70-90.
- 8) Kopplin, S. and Rausch, M. (2021) Above and beyond meat: the role of consumers' dietary behavior for the purchase of plant-based food substitutes. *Rev Manag Sci*. <https://doi.org/10.1007/s11846-021-00480-x>
- 9) 日本インフォメーション株式会社 (2021) 「～サステナブルな社会のために「食」ができること～消費者意識調査代替食編」. <https://www.n-info.co.jp/report/0019> (2021年12月4日アクセス)
- 10) Pliner, P. and K. Hobden (1992) Development of a scale to measure the trait of food neophobia in humans. *Appetite* 19, 105-120.
- 11) Shen, Y. and H. Chen (2020). Exploring consumers' purchase intention of an innovation of the agri-food industry: a case of artificial meat. *Foods*, 9, 745.
- 12) 豊田秀樹編著(2014)『共分散構造分析の実際[R編]』(東京図書). 36, 78.

「食肉」「食品」に関する消費者意識

6) 「食肉」に関する消費者意識 (Q43、Q44) : エリア・性・年代別分析

「食肉」に関する消費者意識 (Q43、Q44) を「思う計/あてはまる計」で見ると、食肉の栄養については、「食肉を食べることは、必要な栄養素を得るために必要だ」が 64.6%で最も多く、「食肉は、健康的でバランスのとれた食生活に欠かせない食品だ」が 60.6%と続き、「食肉の栄養面でのメリットは、他のタンパク源で容易に補うことができる」は 39.3%にとどまる。食肉が必須食品である意識は、非常に強い。

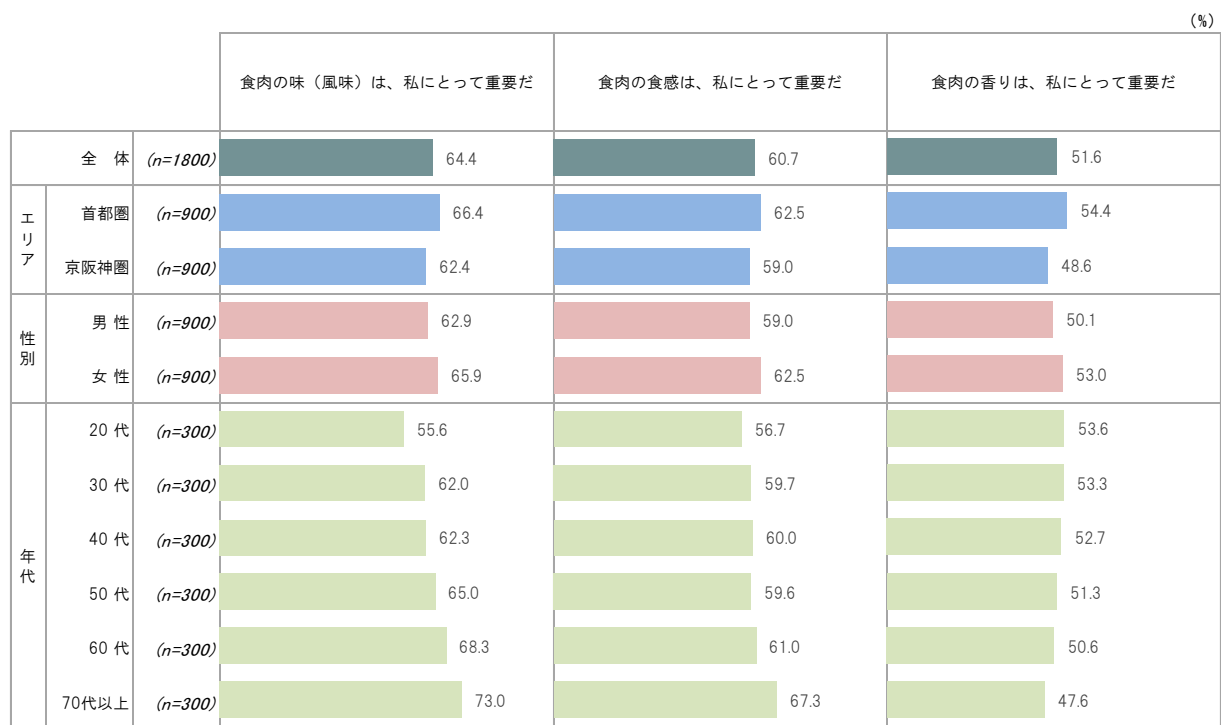
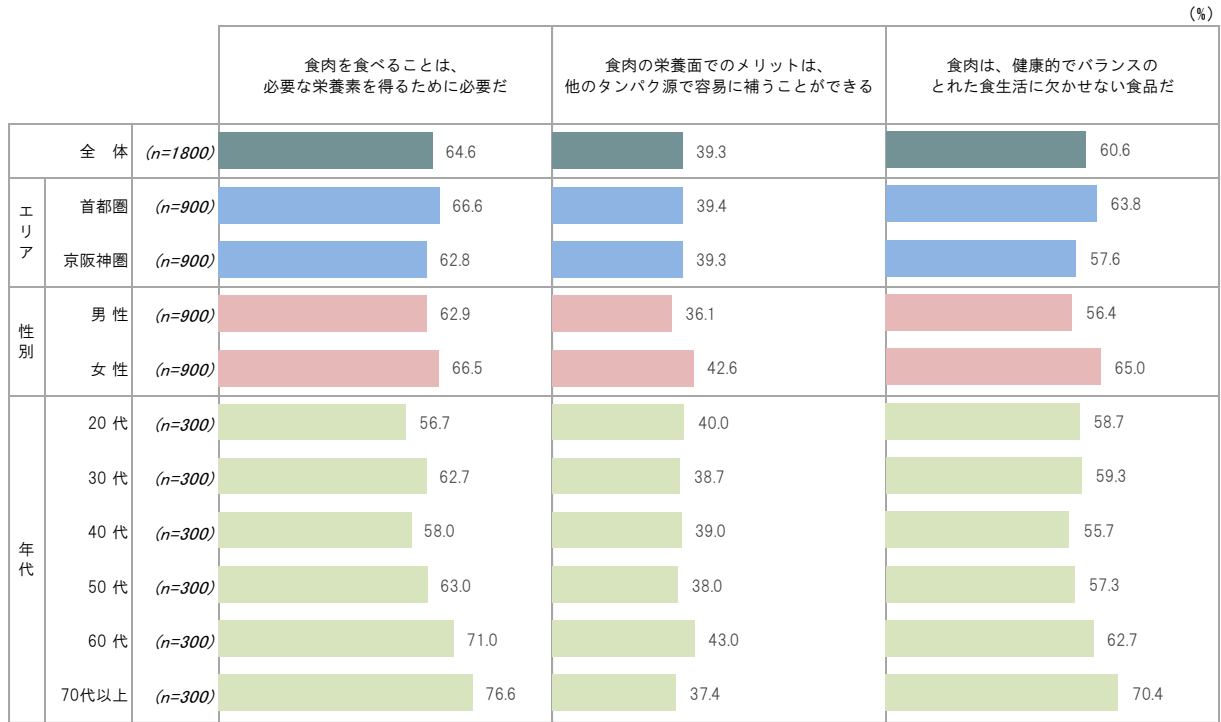
また、味覚については、「食肉の味 (風味) は、私にとって重要だ」が 64.4%で最も多く、次いで「食肉の食感は、私にとって重要だ」が 60.7%、「食肉の香りは、私にとって重要だ」が 51.6%である。味 (風味) > 食感 > 香りの順に優先度が高い。



図表 62 「食肉」に関する消費者意識

「食肉」に関する消費者意識を「そう思う／あてはまる計」でエリア別に見ると、「食肉を食べることは、必要な栄養素を得るために必要だ」「食肉は、健康的でバランスのとれた食生活に欠かせない食品だ」は、京阪神圏より首都圏の方が多。味（風味）・食感・香りも、京阪神圏より首都圏の方が多。

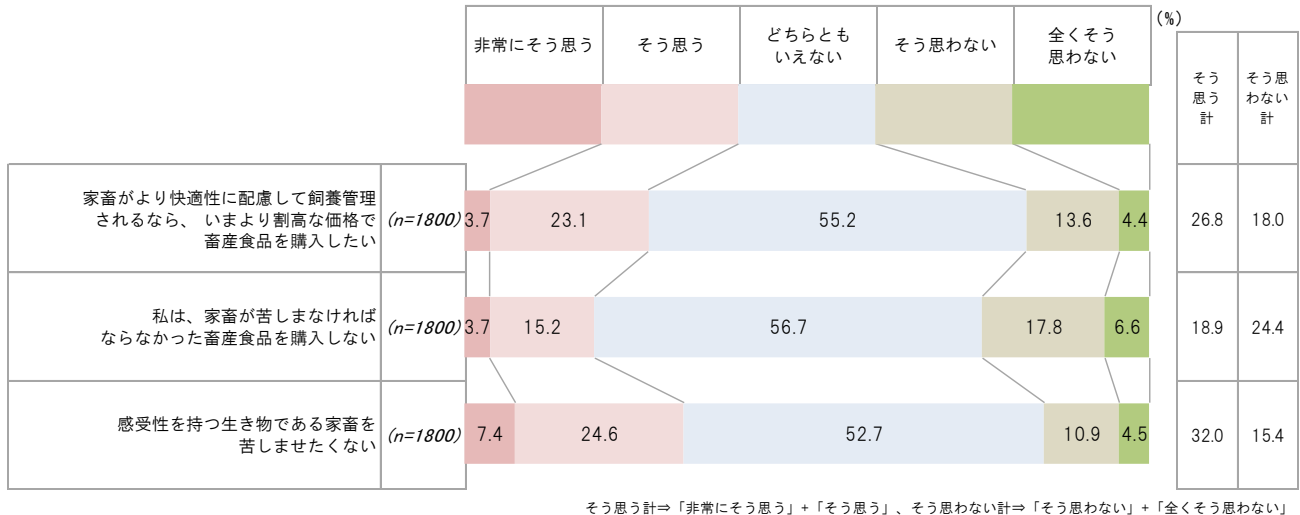
性別に「そう思う／あてはまる計」で見ると、いずれの意識も男性より女性の方が多。年代別に「そう思う／あてはまる計」で見ると、「食肉を食べることは、必要な栄養素を得るために必要だ」「食肉は、健康的でバランスのとれた食生活に欠かせない食品だ」は70代以上で多くなっている。



図表 63 エリア・性・年代別 「食肉」に関する消費者意識（そう思う／あてはまる計の割合）

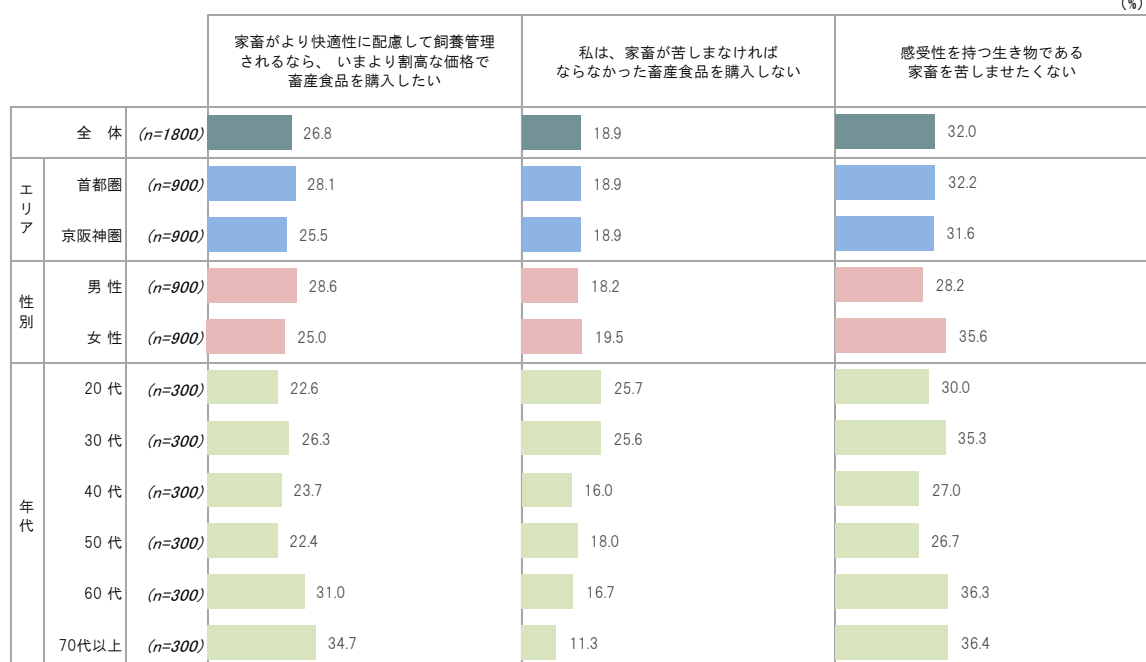
7) 「家畜福祉」に関する消費者意識 (Q41) : エリア・性・年代別分析

「家畜福祉」に関する消費者意識 (Q41) を「そう思う計」で見ると、「感受性を持つ生き物である家畜を苦しませたくない」が 32.0% で最も多い。次いで、「家畜がより快適性に配慮して飼養管理されるなら、いまより割高な価格で畜産食品を購入したい」が 26.8% で続くが、「私は、家畜が苦しまなければならなかった畜産食品を購入しない」が 18.9% にとどまる。



図表 64 「家畜福祉」に関する消費者意識

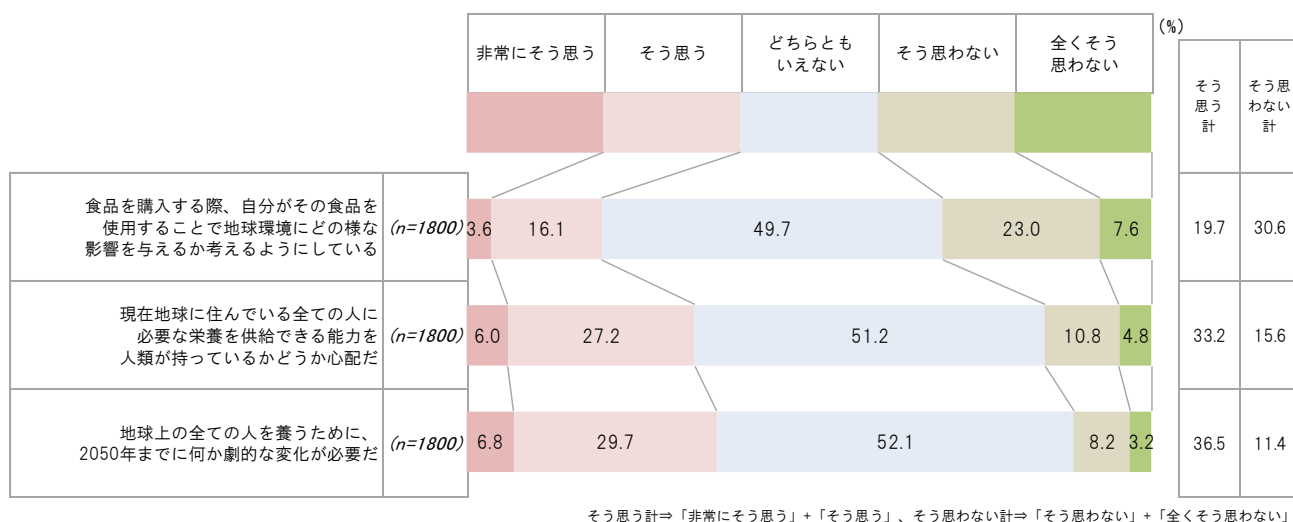
「家畜福祉」に関する消費者意識を「そう思う計」でエリア別に見ると、大きな違いは見られない。性別に「そう思う計」で見ると、「感受性を持つ生き物である家畜を苦しませたくない」は、女性が 35.6%、男性が 28.2% と、男性より女性の方が多。年代別に「そう思う計」で見ると、「割高な価格で畜産食品を購入したい」は 60 代以上で 3 割以上と多いが、「家畜が苦しまなければならなかった畜産食品を購入しない」は 30 代以下の若い世代で 2 割以上と多い。



図表 65 エリア・性・年代別 「家畜福祉」に関する消費者意識 (そう思う計の割合)

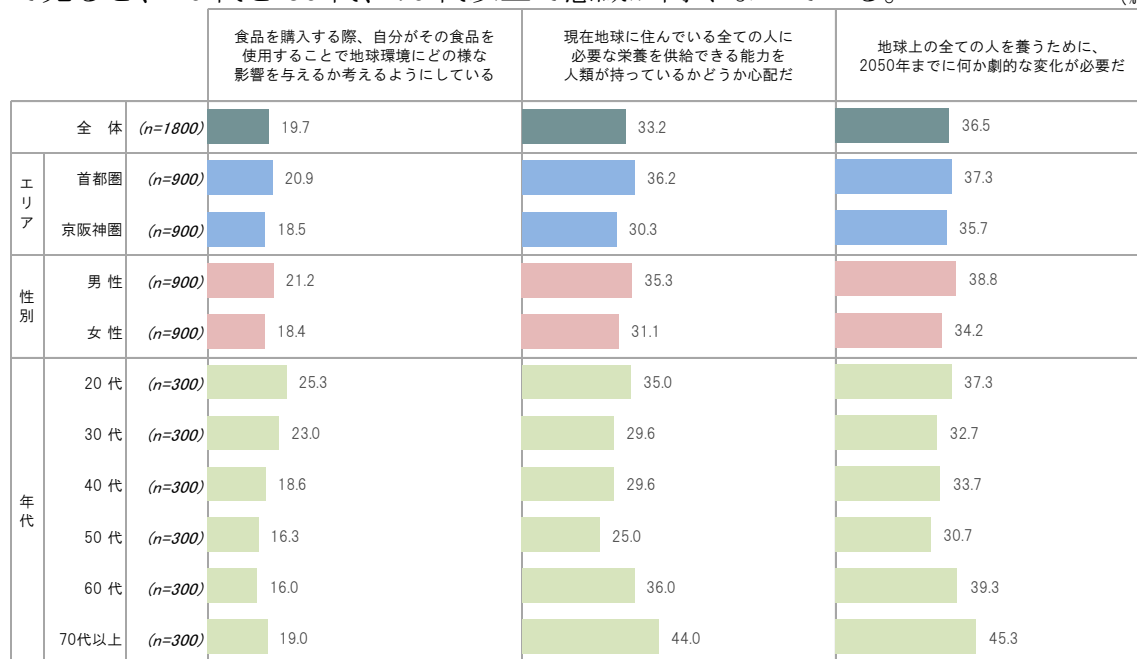
8) 「食品と環境の影響」に関する消費者意識 (Q42) : エリア・性・年代別分析

「食品と環境の影響」に関する消費者意識 (Q42) を「そう思う計」で見ると、「地球上の全ての人を養うために、2050年までに何か劇的な変化が必要だ」が36.5%で最も多く、次いで「現在地球に住んでいる全ての人に必要な栄養を供給できる能力を人類が持っているかどうか心配だ」が33.2%で続くが、「食品を購入する際、自分がその食品を使用することで地球環境にどのような影響を与えるか考えるようにしている」は19.7%にとどまり、購入時の行動変容にまでは至っていない。



図表 66 「食品と環境の影響」に関する消費者意識

「食品と環境の影響」に関する消費者意識を「そう思う計」でエリア別に見ると、いずれの意識も京阪神圏より首都圏の方が高い。性別に「そう思う計」で見ると、いずれの意識も女性より男性の方が高い。年代別に「そう思う計」で見ると、20代と60代、70代以上で意識が高くなっている。

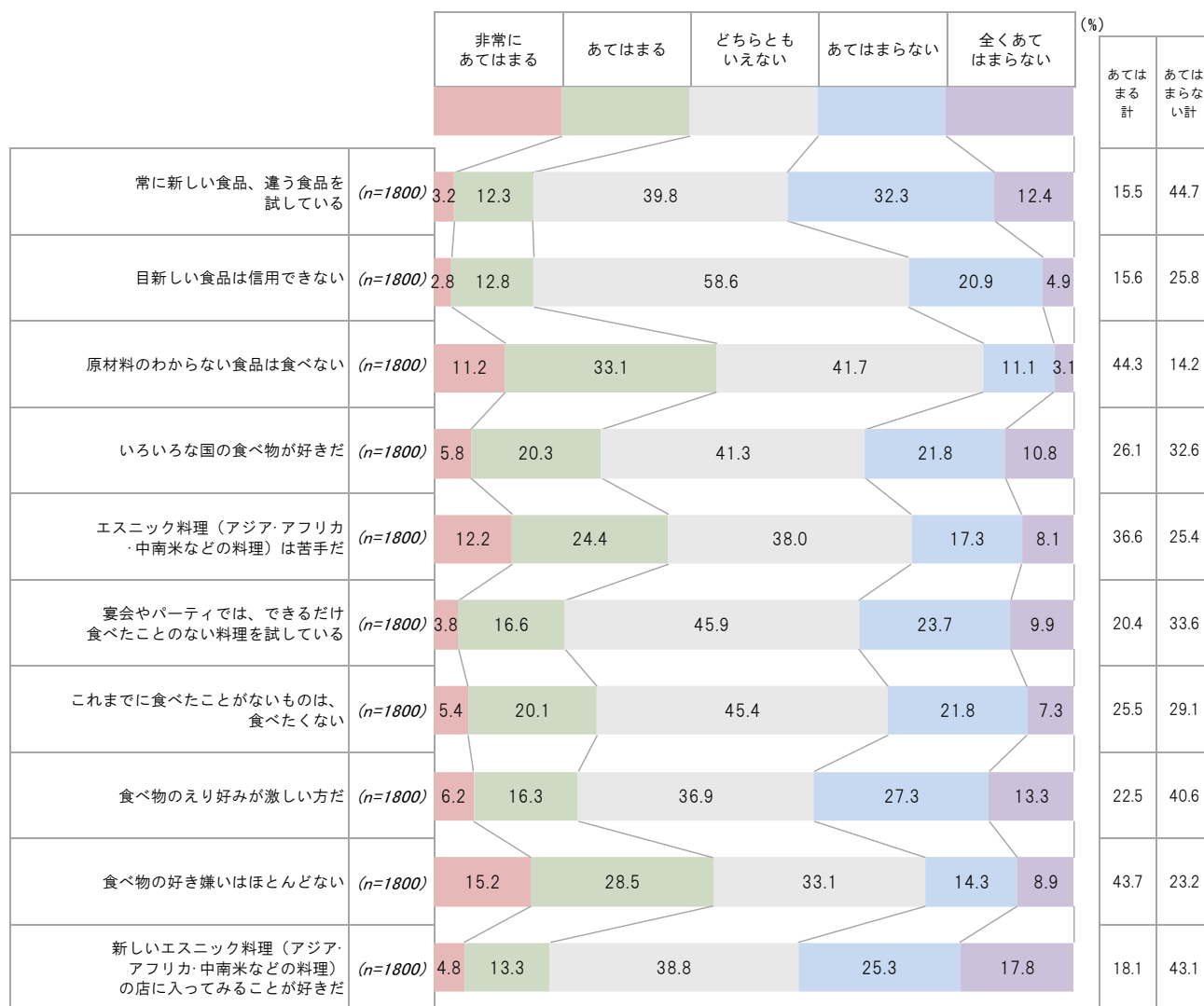


図表 67 エリア・性・年代別 「食品と環境の影響」に関する消費者意識 (そう思う計の割合)

9) 「食べ物」に関する消費者意識 (Q38) : エリア・性・年代別分析

「食べ物」に関する消費者意識 (Q38) を「あてはまる計」で見ると、「原材料のわからない食品は食べない」が 44.3% で最も多い。ネガティブな意識では、「エスニック料理 (アジア・アフリカ・中南米などの料理) は苦手だ」が 36.6%、「これまでに食べたことがないものは、食べたくない」が 25.5%、「食べ物のえり好み激しい方だ」が 22.5% で続き、「目新しい食品は信用できない」は 15.6% にとどまる。

一方、ポジティブな意識では、「食べ物の好き嫌いはほとんどない」が 43.7% で最も多い。次いで、「いろいろな国の食べ物が好きだ」が 26.1%、「宴会やパーティでは、できるだけ食べたことのない料理を試している」が 20.4%、「新しいエスニック料理 (アジア・アフリカ・中南米などの料理) の店に入ってみることが好きだ」が 18.1% で続き、「常に新しい食品、違う食品を試している」は 15.5% にとどまる。



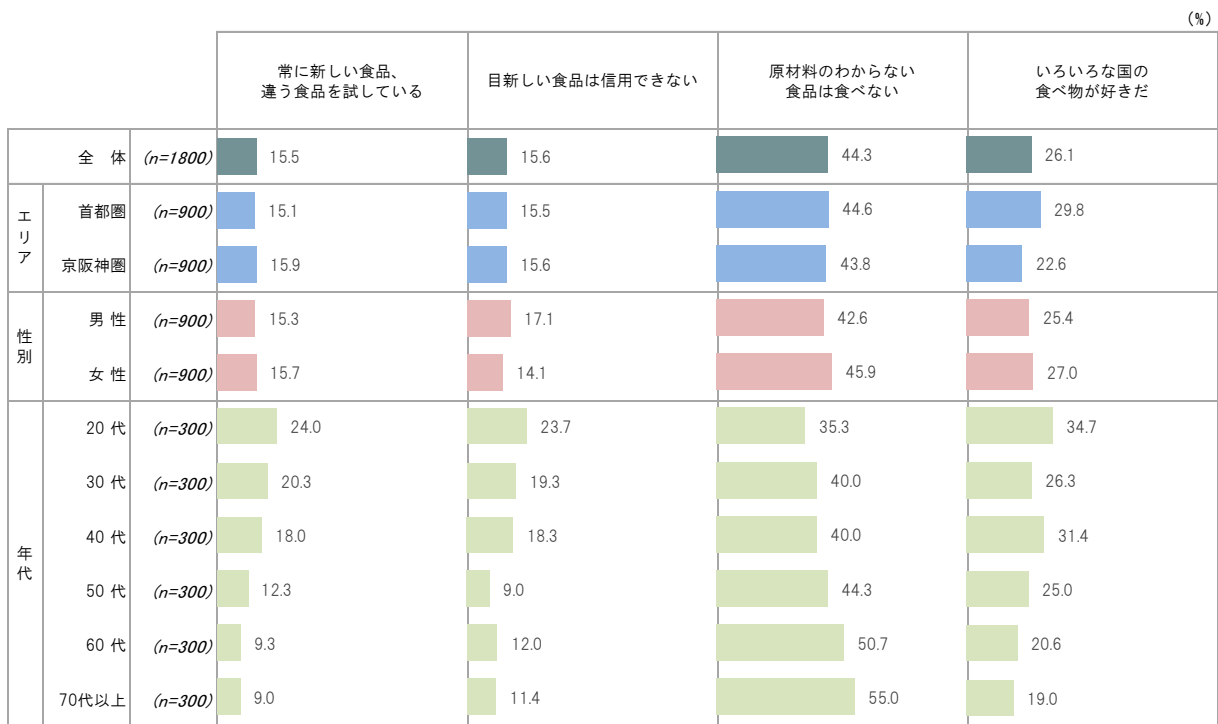
あてはまる計⇒「非常にあてはまる」+「あてはまる」、あてはまらない計⇒「あてはまらない」+「全くあてはまらない」

図表 68 「食べ物」に関する消費者意識

「食べ物」に関する消費者意識を「あてはまる計」でエリア別に見ると、「いろいろな国の食べ物が好きだ」は、京阪神圏より首都圏の方が多い。

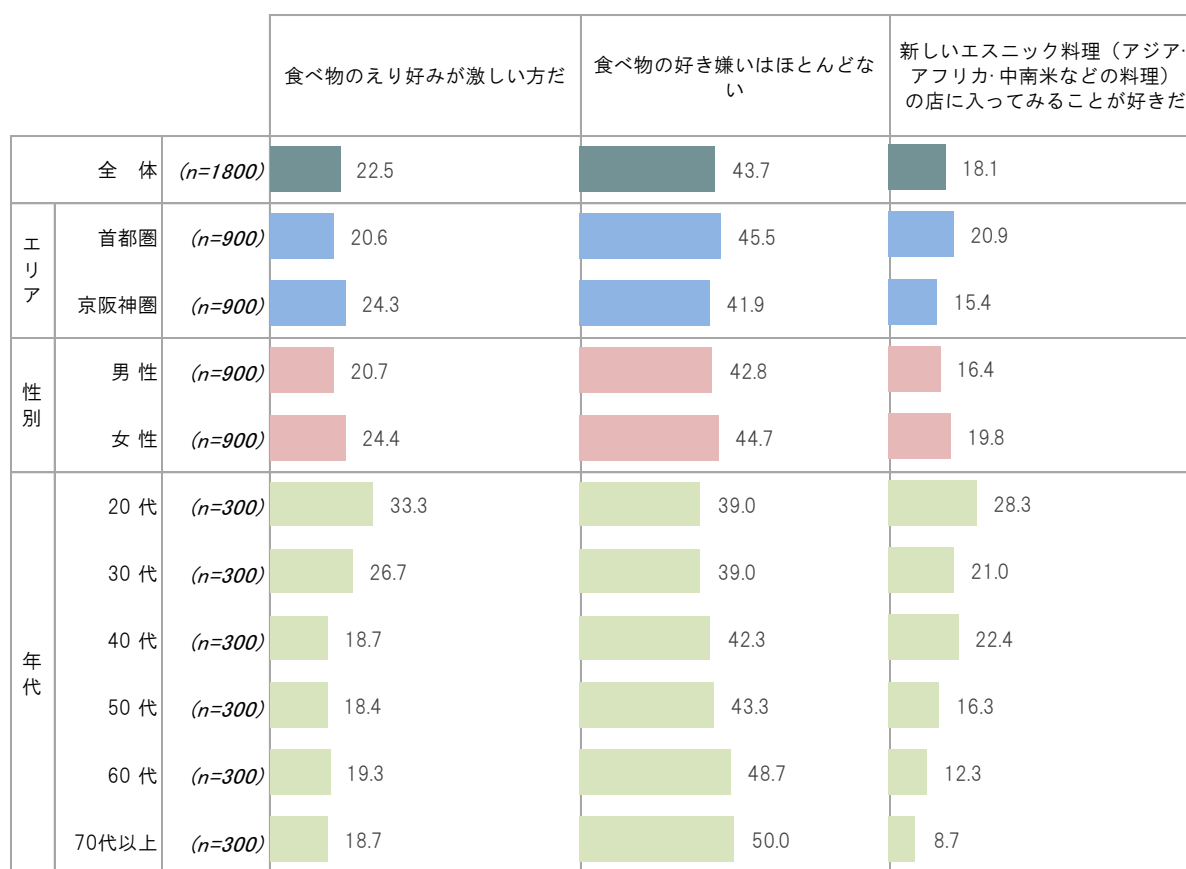
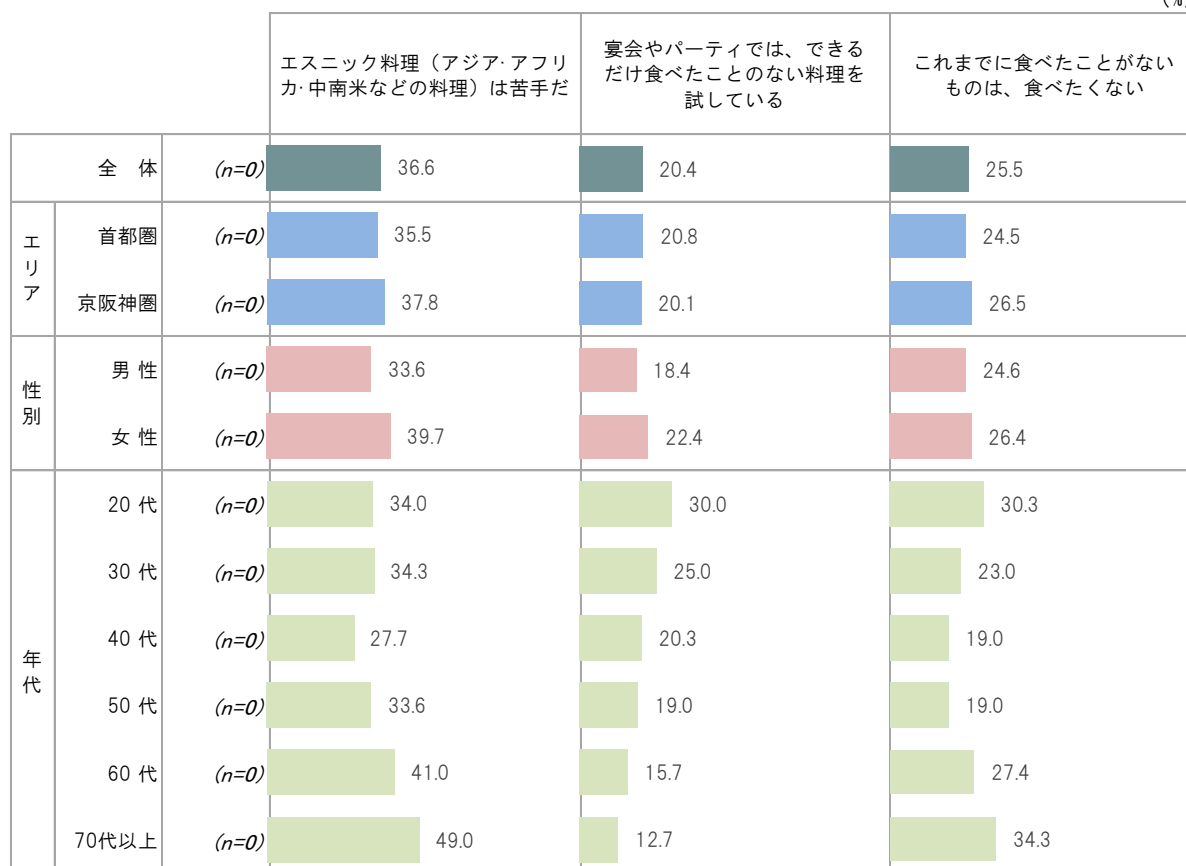
性別に「そう思う計」で見ると、「エスニック料理（アジア・アフリカ・中南米などの料理）は苦手だ」と「新しいエスニック料理（アジア・アフリカ・中南米などの料理）の店に入ってみることが好きだ」とも、男性より女性の方が多く、意見が拮抗している。「目新しい食品は信用できない」は、女性より男性の方がやや多い。

年代別に見ると、「常に新しい食品、違う食品を試している」は若い世代の方が多いが、一方、「目新しい食品は信用できない」も若い世代の方が多くなっている。「原材料のわからない食品は食べない」は、加齢とともに多くなり、60代以上になると半数以上を占める。



図表 69 (その1) エリア・性・年代別
「食べ物」に関する消費者意識（あてはまる計の割合）

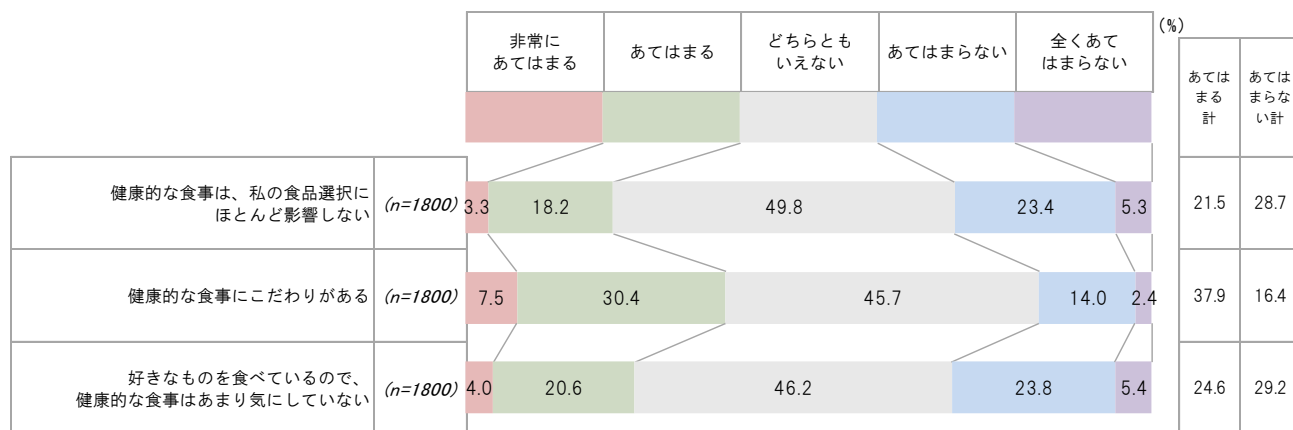
(%)



図表 69（その2） エリア・性・年代別
「食べ物」に関する消費者意識（あてはまる計の割合）

10) 「健康的な食事」に関する消費者意識 (Q40) : エリア・性・年代別分析

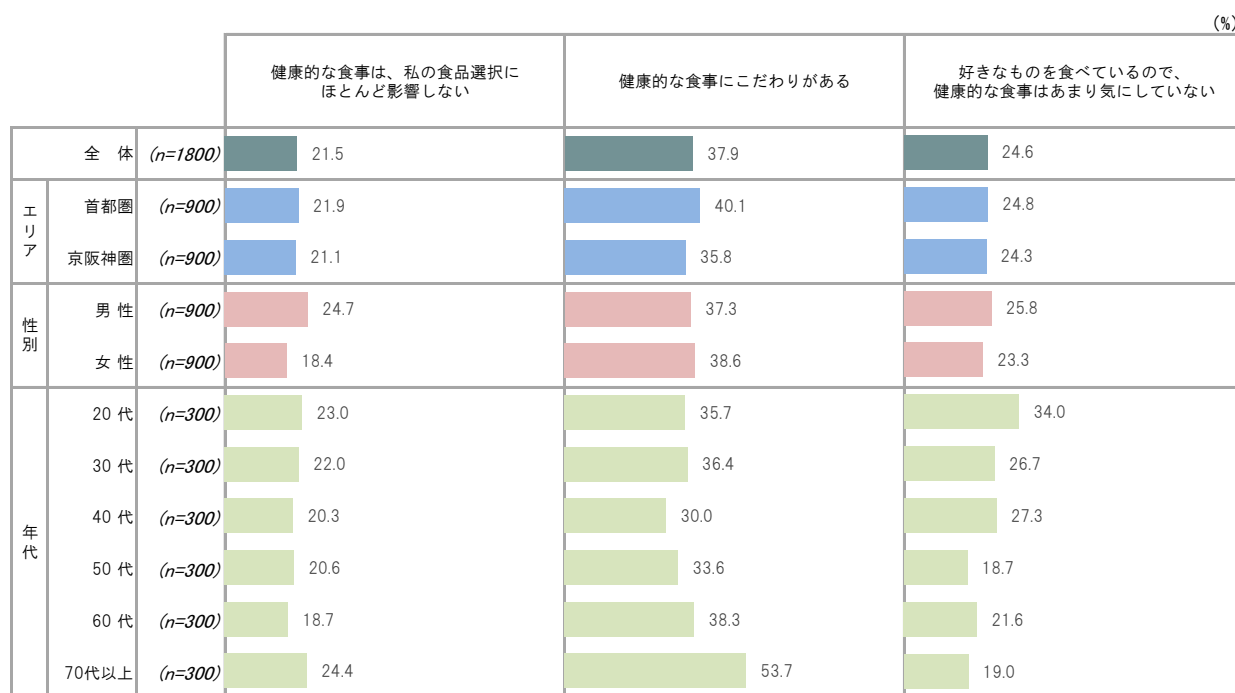
「健康的な食事」に関する消費者意識 (Q40) を「あてはまる計」で見ると、「健康的な食事にこだわりがある」が 37.9%で最も多い。一方、「好きなものを食べているので、健康的な食事はあまり気にしていない」が 24.6%、「健康的な食事は、私の食品選択にほとんど影響しない」が 21.5%である。



あてはまる計⇒「非常にあてはまる」+「あてはまる」、あてはまらない計⇒「あてはまらない」+「全くあてはまらない」

図表 70 「健康的な食事」に関する消費者意識

「健康的な食事」に関する消費者意識を「あてはまる計」でエリア別に見ると、「健康的な食事はこだわりがある」は京阪神圏より首都圏の方が多。性別に「あてはまる計」で見ると、「健康的な食事は、私の食品選択にほとんど影響しない」は男性より女性の方が多。年代別に「あてはまる計」で見ると、「好きなものを食べているので、健康的な食事はあまり気にしていない」は 20代で多くなっている。一方、「健康的な食事にこだわりがある」は 70代以上で多。



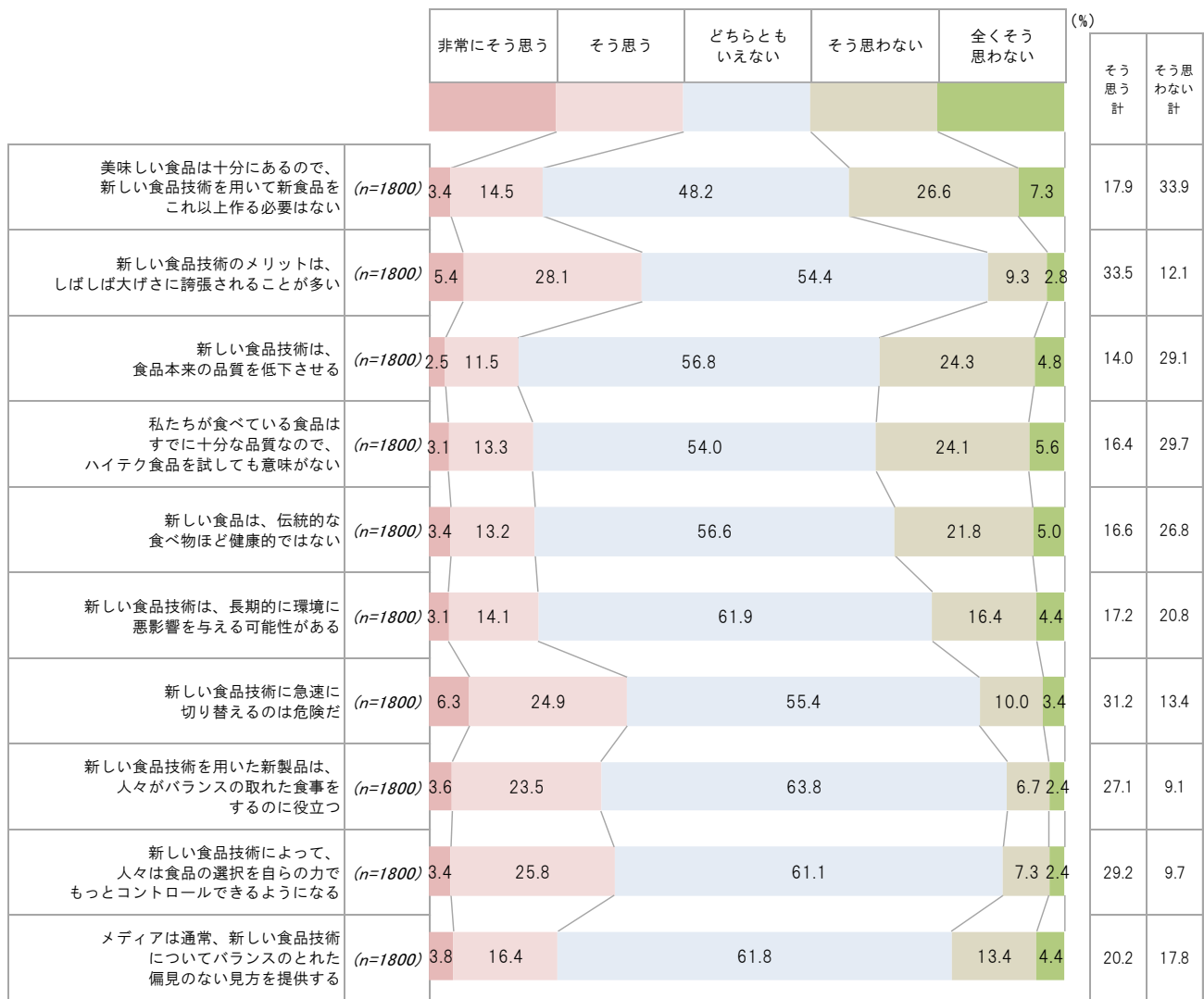
図表 71 エリア・性・年代別 「健康的な食事」に関する消費者意識 (あてはまる計の割合)

11) 「新しい食品技術」に関する消費者意識 (Q39) : エリア・性・年代別分析

「新しい食品技術」に関する消費者意識 (Q39) 「そう思う計」で見ると、「新しい食品技術のメリットは、しばしば大げさに誇張されることが多い」が 33.5% で最も多い。ネガティブな意識では、次いで、「新しい食品技術に急速に切り替えるのは危険だ」が 31.2%、「美味しい食品は十分にあるので、新しい食品技術を用いて新食品をこれ以上作る必要はない」が 17.9%、「新しい食品技術は、長期的に環境に悪影響を与える可能性がある」が 17.2%、「新しい食品は、伝統的な食べ物ほど健康的ではない」が 16.6%、「私たちが食べている食品はすでに十分な品質なので、ハイテク食品を試しても意味がない」が 16.4%、「新しい食品技術は、食品本来の品質を低下させる」が 14.0%である。

一方、ポジティブな意識では、「新しい食品技術によって、人々は食品の選択を自らの力でもっとコントロールできるようになる」が 29.2%で最も多く、次いで、「新しい食品技術を用いた新製品は、人々がバランスの取れた食事をするのに役立つ」が 27.1%、「メディアは通常、新しい食品技術についてバランスのとれた偏見のない見方を提供する」が 20.2%と続く。

ネガティブな意識について、「そう思わない計」で見ると、「美味しい食品は十分にあるので、新しい食品技術を用いて新食品をこれ以上作る必要はない」が 33.9%、「私たちが食べている食品はすでに十分な品質なので、ハイテク食品を試しても意味がない」が 29.7%、「新しい食品技術は、食品本来の品質を低下させる」が 29.1%、「新しい食品は、伝統的な食べ物ほど健康的ではない」が 26.8%とネガティブな意識に否定的な層が 3割前後いる。



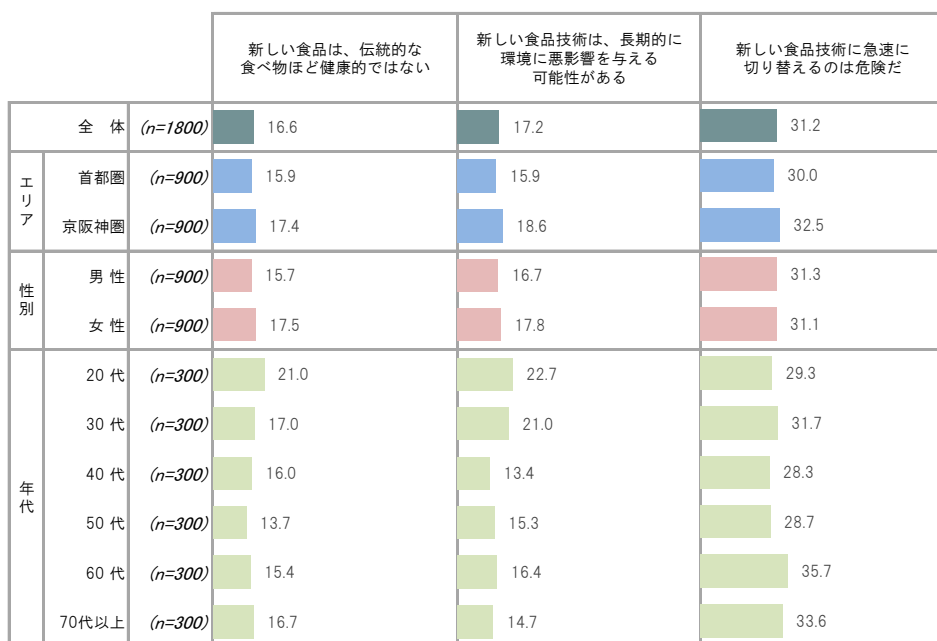
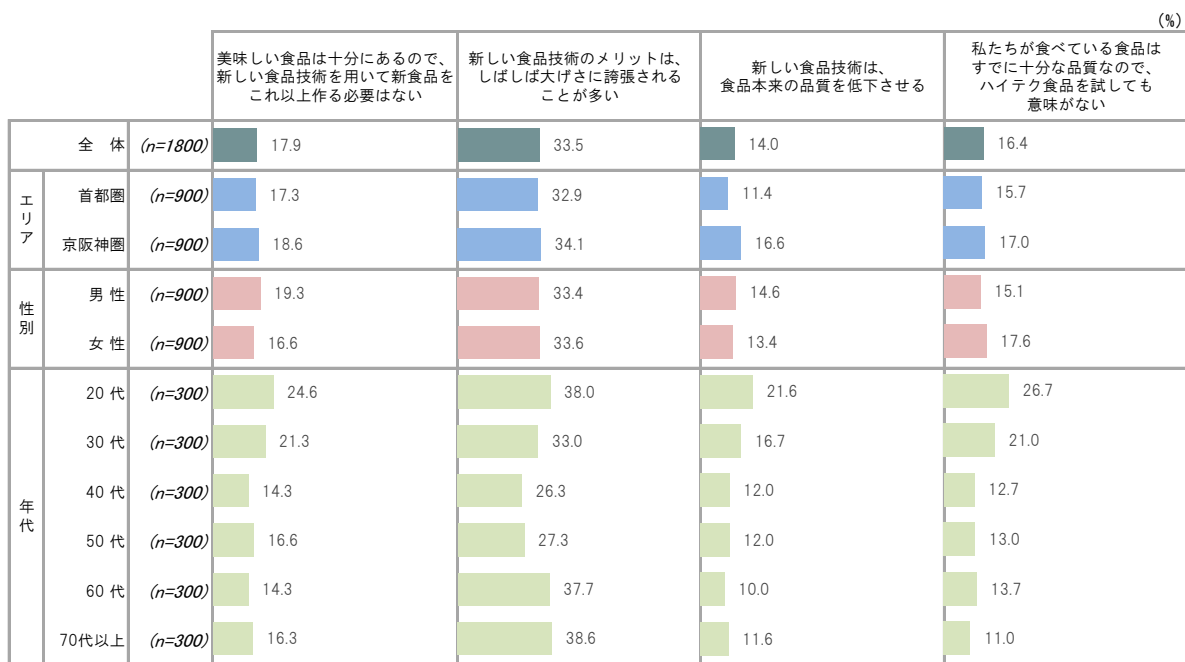
そう思う計⇒「非常にそう思う」+「そう思う」、そう思わない計⇒「そう思わない」+「全くそう思わない」

図表 72 「新しい食品技術」に関する消費者意識

「新しい食品技術」に関する消費者意識を「そう思う計」でエリア別に見ると、「新しい食品技術は、食品本来の品質を低下させる」は、首都圏より京阪神圏の方が多。

性別に「そう思う計」で見ると、大きな違いは見られない。

年代別に「そう思う計」で見ると、30代以下の若い世代はネガティブな意識もポジティブな意識も総じて多くなっている。



図表 73 (その1) エリア・性・年代別
「新しい食品技術」に関する消費者意識 (そう思う計の割合)

(%)

			新しい食品技術を用いた 新製品は、人々がバランスの 取れた食事をするのに役立つ	新しい食品技術によって、 人々は食品の選択を自らの 力でもっとコントロール できるようになる	メディアは通常、新しい食品 技術についてバランスのとれた 偏見のない見方を提供する
全体		(n=1800)	27.1	29.2	20.2
エリア	首都圏	(n=900)	27.3	27.9	18.3
	京阪神圏	(n=900)	26.9	30.6	22.3
性別	男性	(n=900)	25.8	28.0	18.3
	女性	(n=900)	28.5	30.5	22.3
年代	20代	(n=300)	35.6	31.7	29.7
	30代	(n=300)	32.0	31.0	25.7
	40代	(n=300)	20.6	25.7	17.3
	50代	(n=300)	21.3	25.0	16.4
	60代	(n=300)	23.0	26.0	14.4
	70代以上	(n=300)	30.0	36.0	18.3

図表 73 (その2) エリア・性・年代別
「新しい食品技術」に関する消費者意識 (そう思う計の割合)

12) 食肉の喫食により得られる「カロリー」「脂質」についての意識(Q54・Q55)
 : エリア・性・年代別分析、時系列分析

カロリー

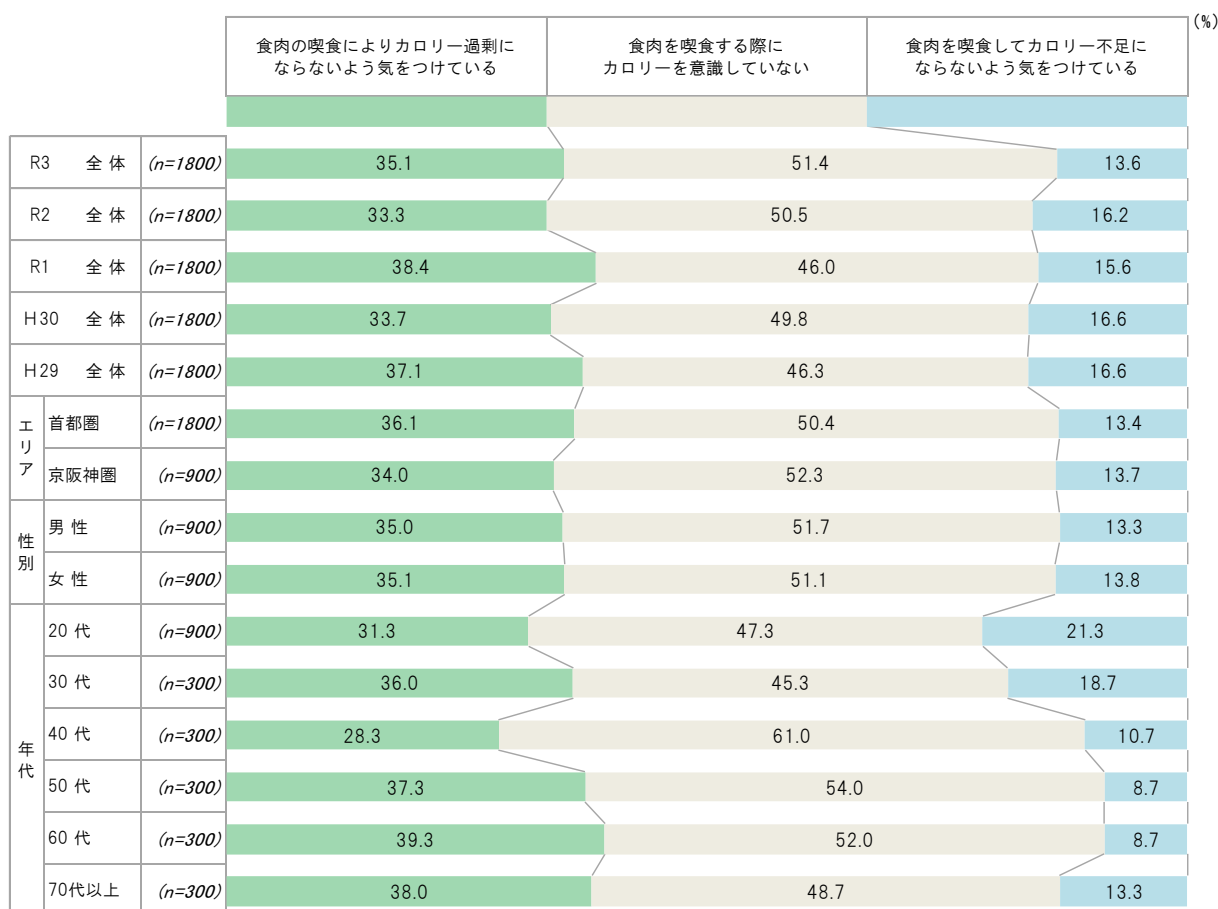
食肉の喫食により得られる「カロリー」についての意識 (Q54) は、「食肉を喫食する際に、カロリーを意識していない」が 51.4%と最も多く半数を占め、「食肉の喫食により、カロリー過剰にならないよう気をつけている」が 35.1%、「食肉を喫食して、カロリー不足にならないよう気をつけている」が 13.6%である。

エリア別に見ると、大きな違いは見られない。

男女別に見ると、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、60代以上では「食肉の喫食により、カロリー過剰にならないよう気をつけている」がやや多く、30代以下の若い世代の方が「食肉を喫食して、カロリー不足にならないよう気をつけている」が多くなっている。

過年度調査で見ると、大きな違いは見られない。



図表 74 エリア・性・年代別 食肉の喫食により得られる「カロリー」についての意識

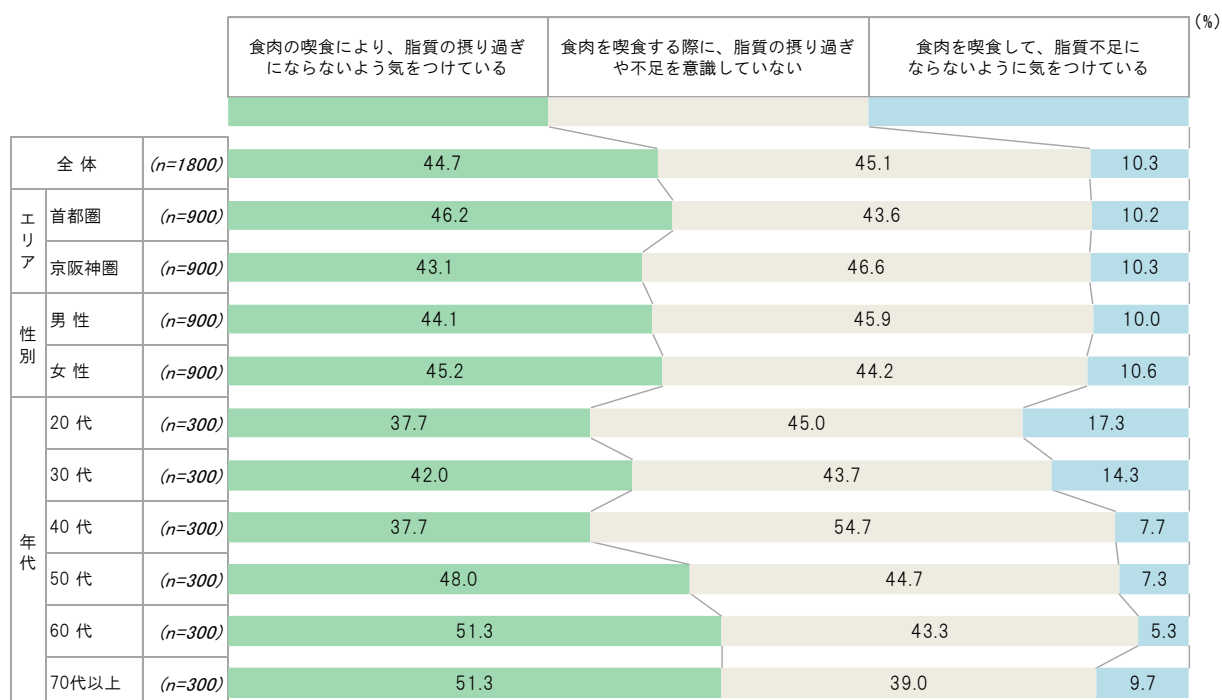
脂質

食肉の喫食により得られる「脂質」についての意識（Q55）は、「食肉を喫食する際に、脂質の取りすぎや不足を意識していない」が45.1%と最も多いが、「食肉の喫食により、脂質の取り過ぎにならないよう気をつけている」が44.7%と僅差で続き、「食肉を喫食して、脂質不足にならないよう気をつけている」は10.3%と少ない。

エリア別に見ると、大きな違いは見られない。

男女別に見ると、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、年代が上がるにつれ「食肉の喫食により、脂質の取り過ぎにならないよう気をつけている」が多くなり、若い世代の方が「食肉を喫食して、脂質不足にならないよう気をつけている」が多くなっている。



図表 75 エリア・性・年代別 食肉の喫食により得られる「脂質」についての意識

2.3 食肉による食中毒に対する消費者意識の考察

- ・ 「食中毒」の経験とその時期を「経験あり計」で見ると、「カキ・アサリ・シジミなど生の貝類」が11.9%で最も多く、「さしみ・寿司など生の魚」が8.7%と魚介類が原因の食中毒経験が多い。「生卵・オムレツなど十分加熱していない卵」が7.1%、「おにぎり・お弁当・調理パンなど」が7.0%の順。
- ・ 食肉は、「十分に加熱していない鶏肉や鶏刺しなどの生の鶏肉」が6.9%、「十分に加熱していない牛肉や牛肉のたたき・レバ刺しなどの生の牛肉」が6.8%、「十分に加熱していない豚肉や豚レバ刺しなどの生の豚肉」が6.4%の順。いずれの食肉・食品も「～1年以内」に食中毒にかかった割合は1～2%程度。
- ・ 「食中毒予防」としてふだん実施している事柄は、食品の購入時では、「消費期限・賞味期限を確認する」が58.4%で最も多く、「評判の店でも不衛生に見えたら買わない」が43.1%「保存方法（要冷蔵、直射日光をさけて保存等）を確認する」が43.0%、「生鮮食材は鮮度のよいものを選ぶ」が41.1%の順。
- ・ 調理時では、「食材は使用前によく洗う」が37.7%で最も多く、「生の肉や魚を触った後は、洗剤を使って手洗いをする」が32.7%、「生で食べる野菜や果物を先に、肉や魚は最後に切る」が32.3%の順。
- ・ 食事時・家庭内では、「トイレの後に手洗いをする」が59.0%で最も多く、「食べる前に手洗いをする」が46.1%、「生肉料理は食べない」と「肉料理は中心部までよく加熱する」が38.5%の順。
- ・ 外出時では、「評判の店でも不衛生に見えたら入らない」が36.9%で最も多く、「食べる前に手洗いをする（おしぼりでの拭きは除く）」が27.1%、「メニューに載っていても生肉料理は食べない」が26.4%、「生の肉を取り扱う箸・トングは専用のもを使い、食べる箸は別の清潔な箸を使う」が21.4%の順。
- ・ 「食中毒」に関する知識は、「食中毒は、夏場の発生件数が多い」が52.3%で最も多く、「食中毒予防のためには、生もの（生肉、生魚等）の取扱いに注意が必要だ」が46.8%、「使用後のスポンジは、洗ったほうがよい」が36.6%、冷凍しても、菌は死なない」が30.3%の順。

2.3 では、食肉による食中毒の経験とその時期、食中毒予防としてふだん実施している事柄、食中毒に関する知識を把握することを目的とした。

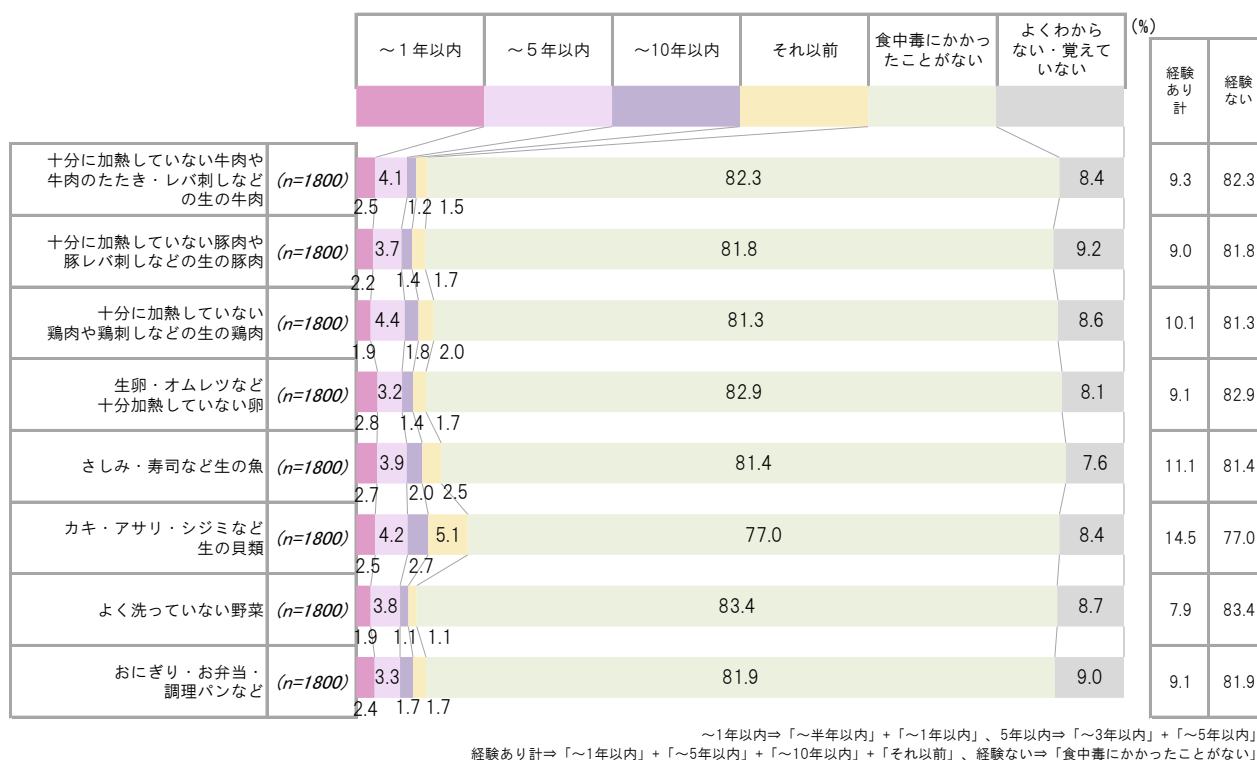
1) 食肉及び食品による「食中毒」の経験とその時期 (Q32) : エリア・性・年代別分析

食肉及び食品による「食中毒」の経験とその時期 (Q32) を「経験あり計」で見ると、「カキ・アサリ・シジミなど生の貝類」が 14.5% で最も多く、「さしみ・寿司など生の魚」が 11.1% と魚介類が原因の食中毒経験が多い。

食肉は、「十分に加熱していない鶏肉や鶏刺しなどの生の鶏肉」が 10.1%、「十分に加熱していない牛肉や牛肉のたたき・レバ刺しなどの生の牛肉」が 9.3%、「十分に加熱していない豚肉や豚レバ刺しなどの生の豚肉」が 9.0% の順に多い。

「生卵・オムレツなど十分加熱していない卵」「おにぎり・お弁当・調理パンなど」が 9.1%、「よく洗っていない野菜」は、7.9% である。

いずれの食肉・食品も、「～1年以内」に食中毒にかかった割合は 1～2% 程度と非常に少ない。

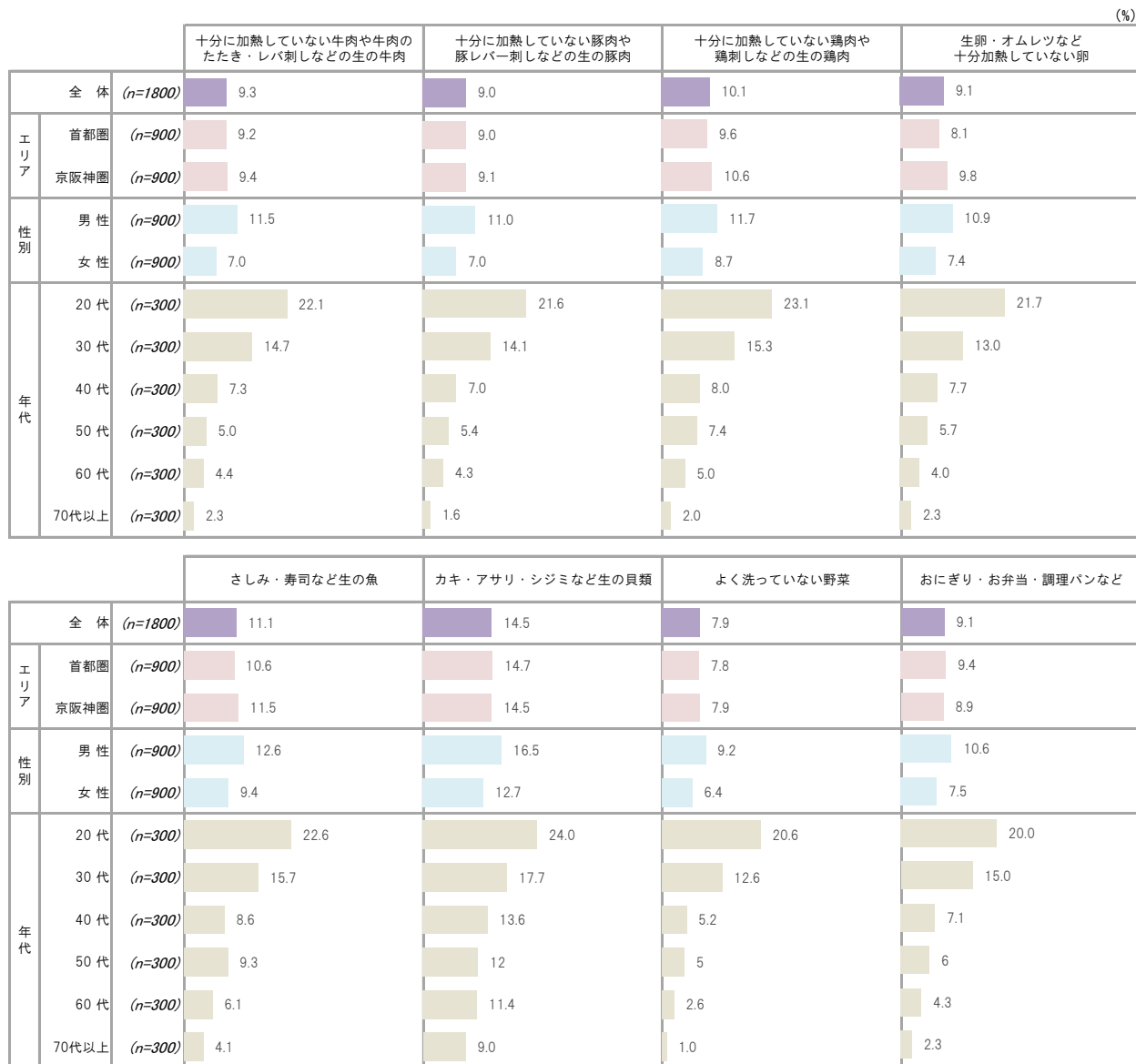


図表 76 食肉及び食品による「食中毒」の経験とその時期

食肉と卵・魚介類の「食中毒」の経験を「経験あり計」でエリア別に見ると、大きな違いは見られない。

性別に「経験あり計」で見ると、いずれも、女性より男性の方が多い。

年代別に「経験あり計」で見ると、いずれの食肉・食品でも若い世代の方が食中毒の経験が多く、特に20代で多くなっている。

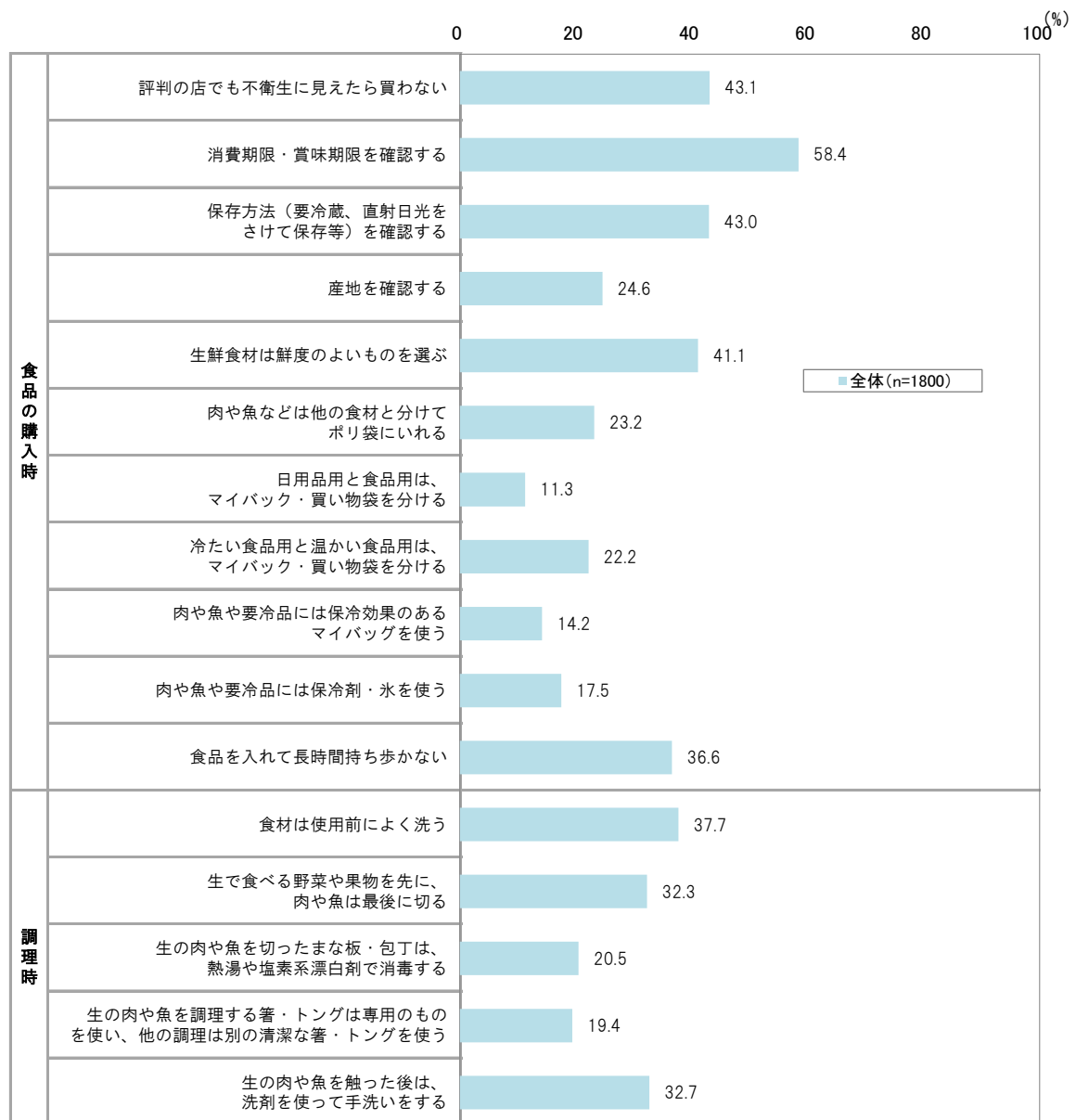


図表 77 エリア・性・年代別 食肉及び食品による「食中毒」の経験とその時期
(「経験あり計」の割合)

2) 「食中毒予防」としてふだん実施している事柄 (Q33) :
 エリア・性・年代別分析、食中毒の経験の有無 (Q32) 別分析

「食中毒予防」としてふだん実施している事柄 (Q33) を聞いたところ、食品の購入時では、「消費期限・賞味期限を確認する」が 58.4%で最も多く、次いで、「評判の店でも不衛生に見えたら買わない」が 43.1% 「保存方法 (要冷蔵、直射日光をさけて保存等) を確認する」が 43.0%、「生鮮食材は鮮度のよいものを選ぶ」が 41.1%の順が多い。

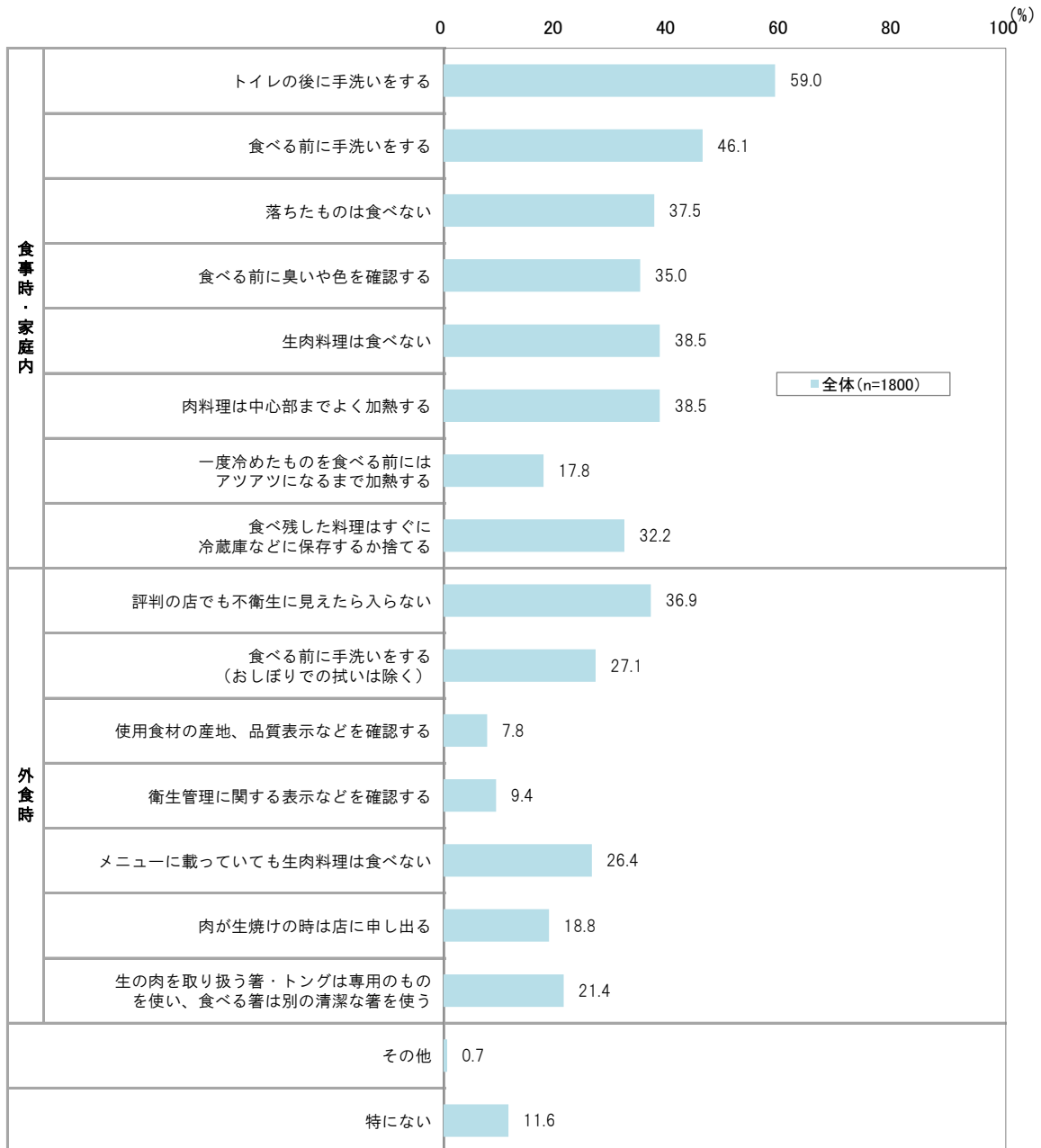
調理時では、「食材は使用前によく洗う」が 37.7%で最も多く、次いで、「生の肉や魚を触った後は、洗剤を使って手洗いをする」が 32.7%、「生で食べる野菜や果物を先に、肉や魚は最後に切る」が 32.3%の順が多い。



図表 78 (その1) 「食中毒予防」としてふだん実施している事柄

食事時・家庭内では、「トイレの後に手洗いをする」が59.0%で最も多く、次いで、「食べる前に手洗いをする」が46.1%、「生肉料理は食べない」と「肉料理は中心部までよく加熱する」が38.5%の順が多い。

外食時では、「評判の店でも不衛生に見えたら入らない」が36.9%で最も多く、次いで、「食べる前に手洗いをする（おしぼりでの拭きは除く）」が27.1%、「メニューに載っていても生肉料理は食べない」が26.4%、「生の肉を取り扱う箸・トングは専用のものを使い、食べる箸は別の清潔な箸を使う」が21.4%の順が多い。

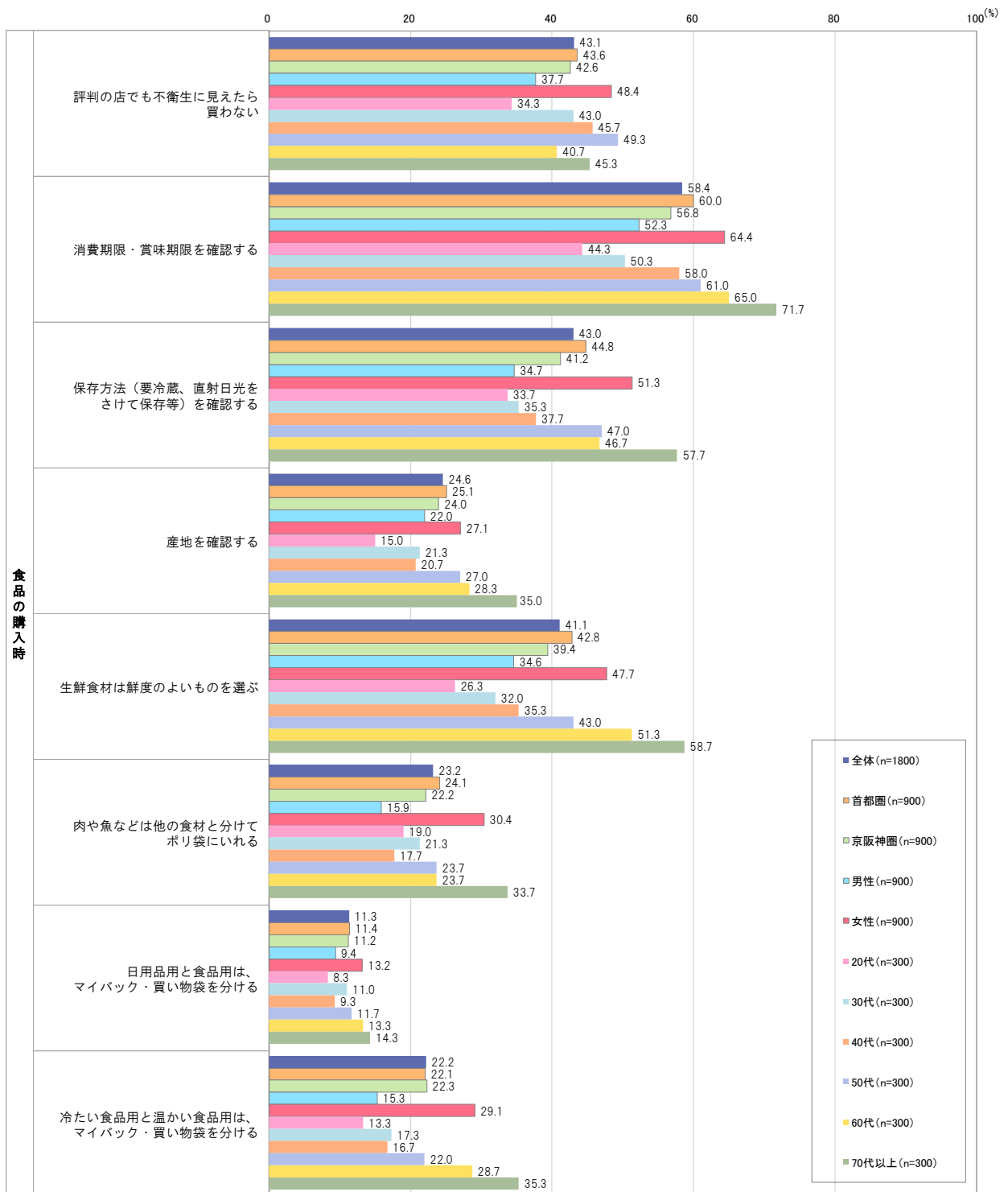


図表 78（その2） 「食中毒予防」としてふだん実施している事柄

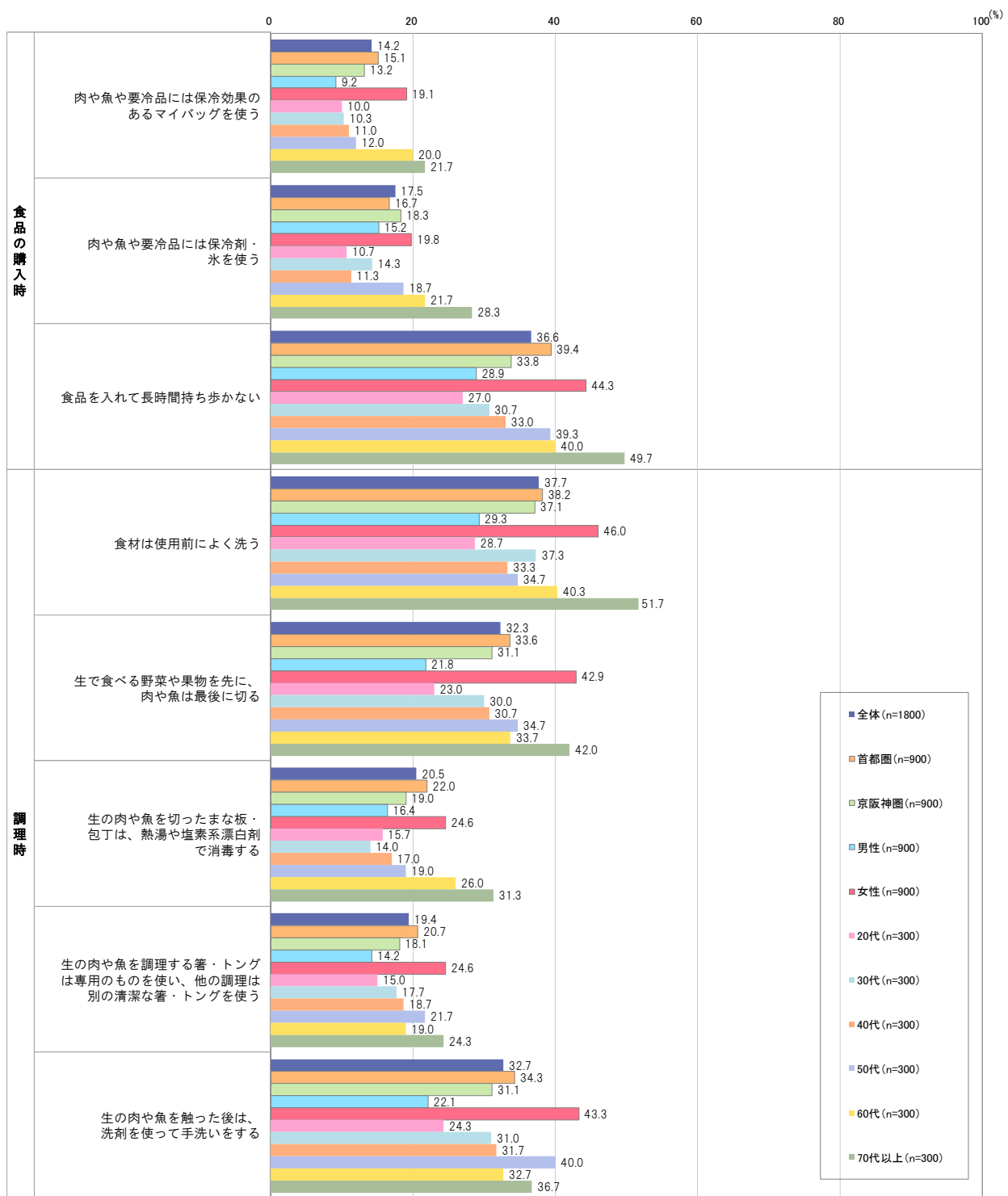
エリア別に見ると、大きな違いは見られない。

男女別に見ると、総じて女性の方が「食中毒予防」としてふだん実施している事柄が多い。

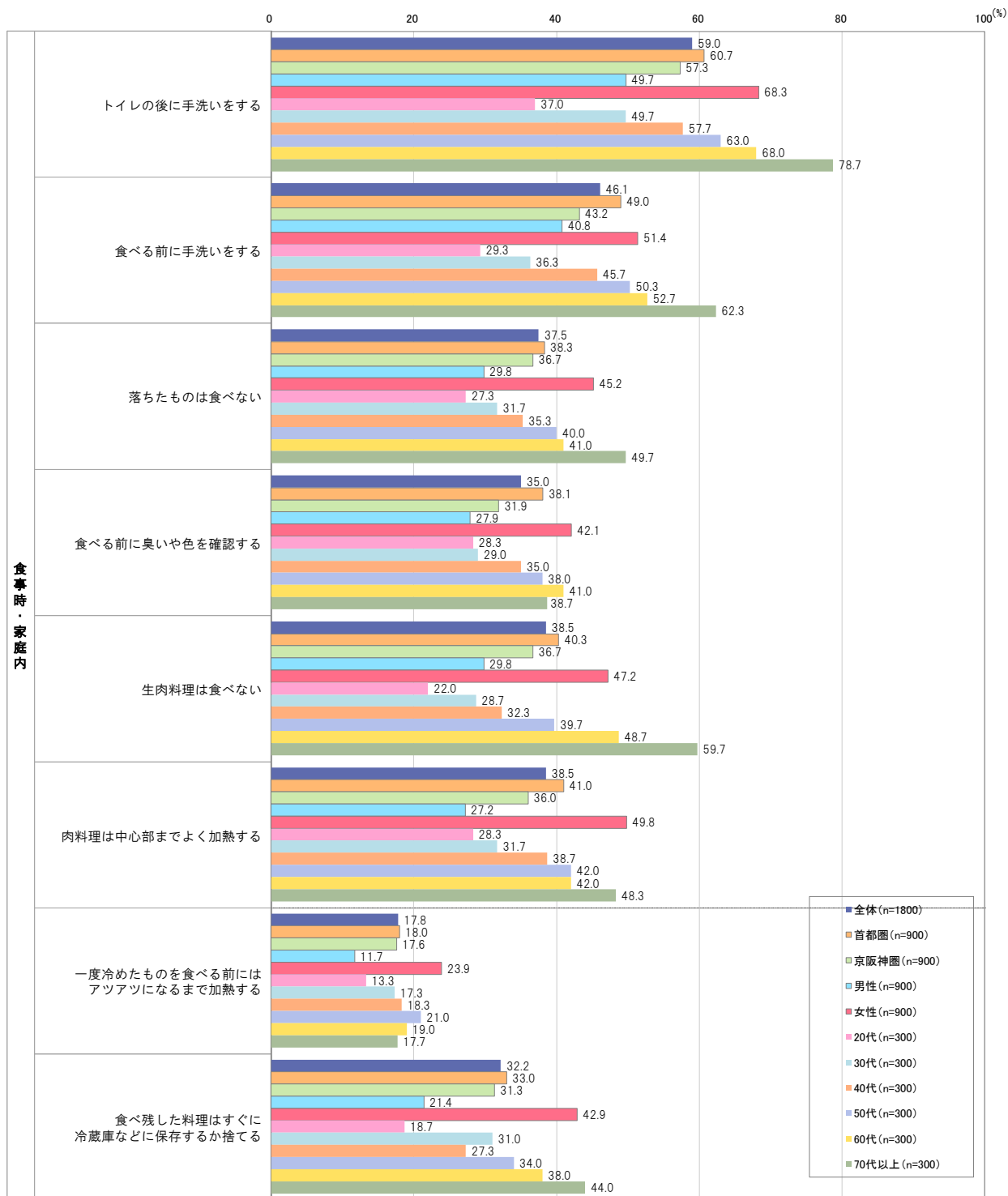
年代別に見ると、「食中毒予防」としてふだん実施している事柄は、総じて若い世代の方が実行率が低く、60代以上では実行率が高くなっている。



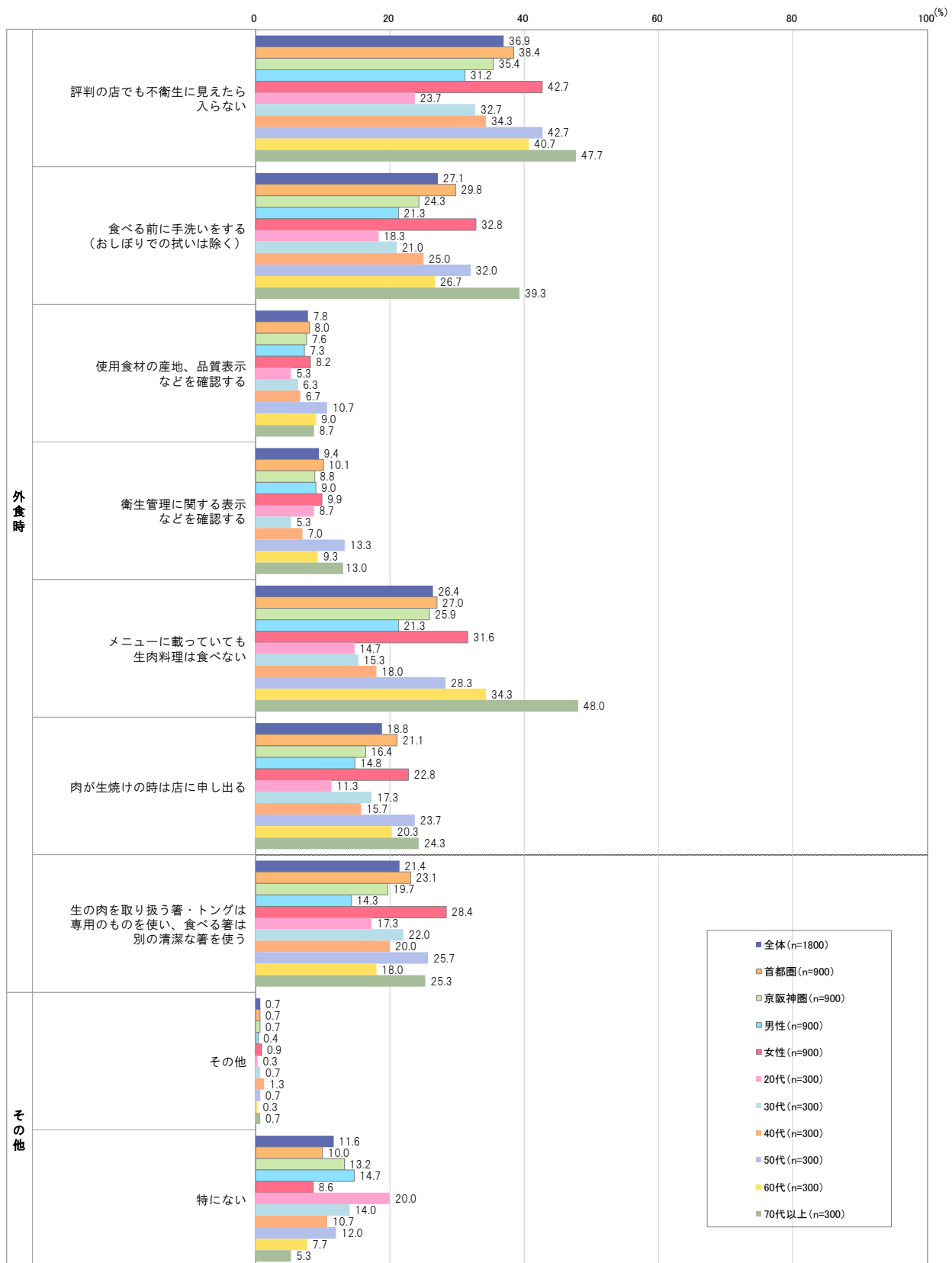
図表 79 (その1) エリア・性・年代別 「食中毒予防」としてふだん実施している事柄



図表 79 (その2) エリア・性・年代別 「食中毒予防」としてふだん実施している事柄

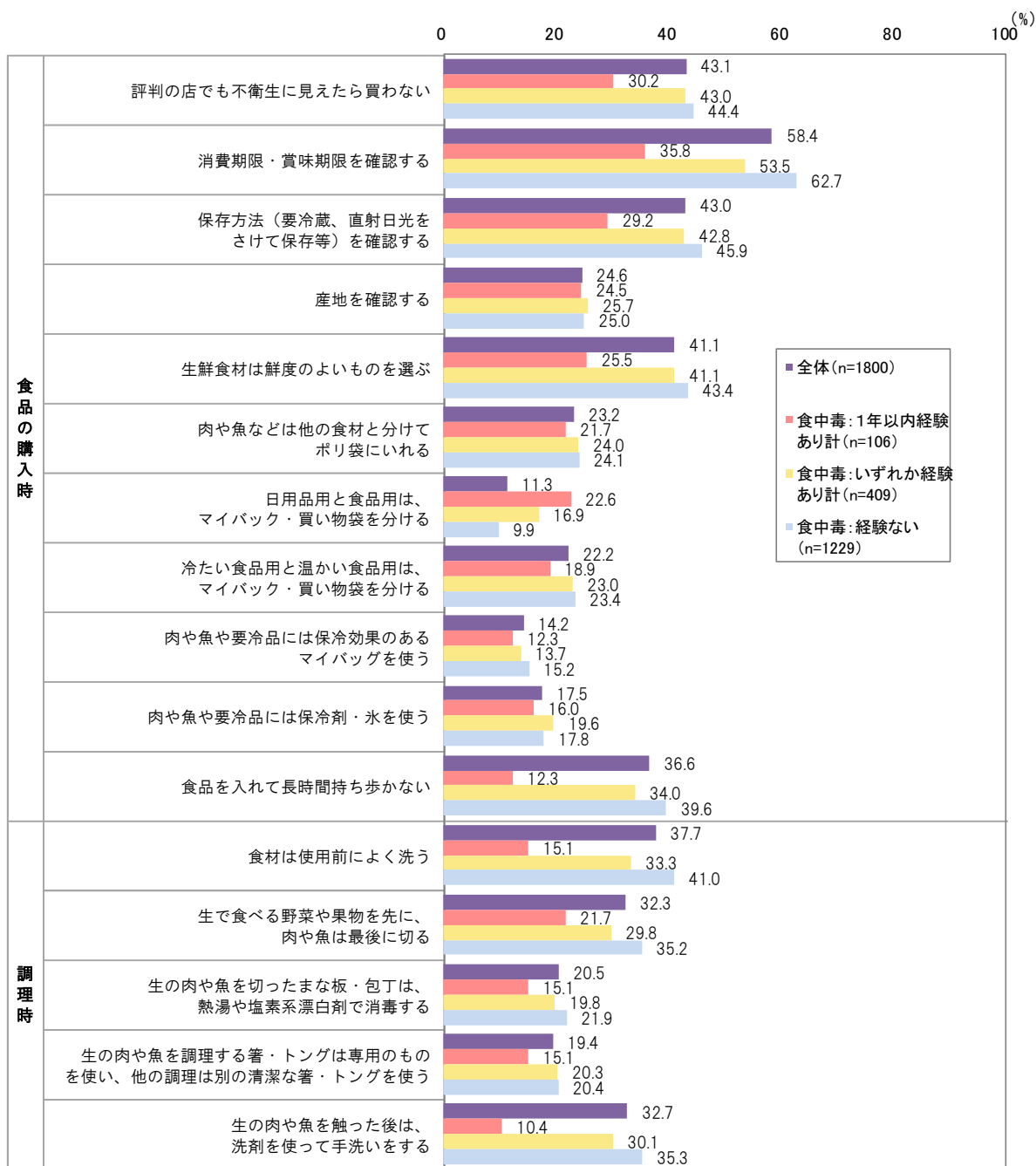


図表 79 (その3) エリア・性・年代別 「食中毒予防」としてふだん実施している事柄



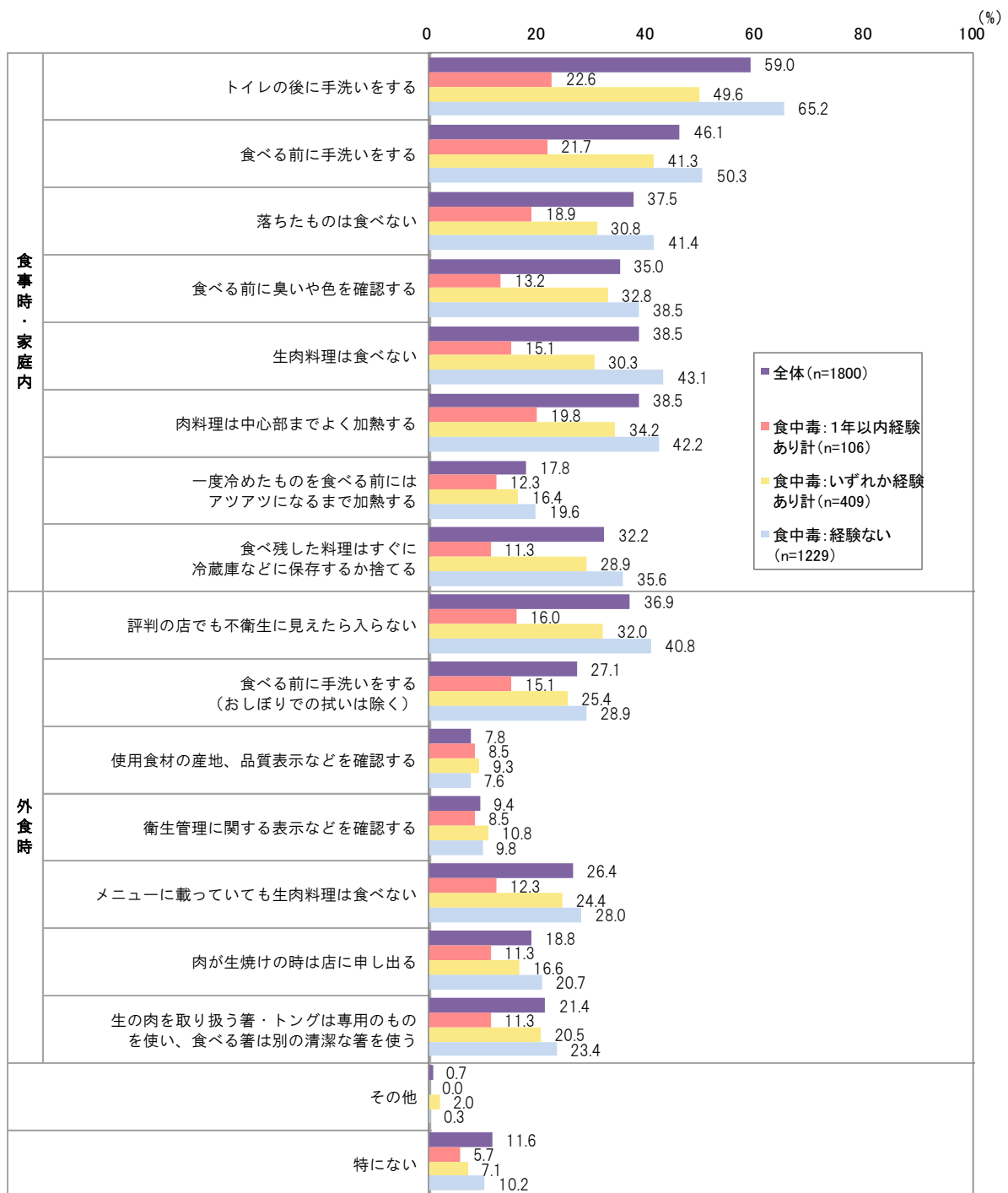
図表 79 (その4) エリア・性・年代別 「食中毒予防」としてふだん実施している事柄

食中毒の経験の有無別に見ると、「食中毒予防」としてふだん実施している事柄の実行率は、総じて「食中毒の経験がない」人の方が高く、「食中毒の経験がある」人の方が低くなっている。



1年以内経験あり計⇒「～半年以内」+「～1年以内」、いずれか経験あり計⇒「～半年以内」+「～1年以内」+「～3年以内」+「～5年以内」+「～10年以内」+「それ以前」、経験ない⇒「食中毒にかかったことがない」

図表 80（その1） 食中毒の経験の有無別 「食中毒予防」としてふだん実施している事柄

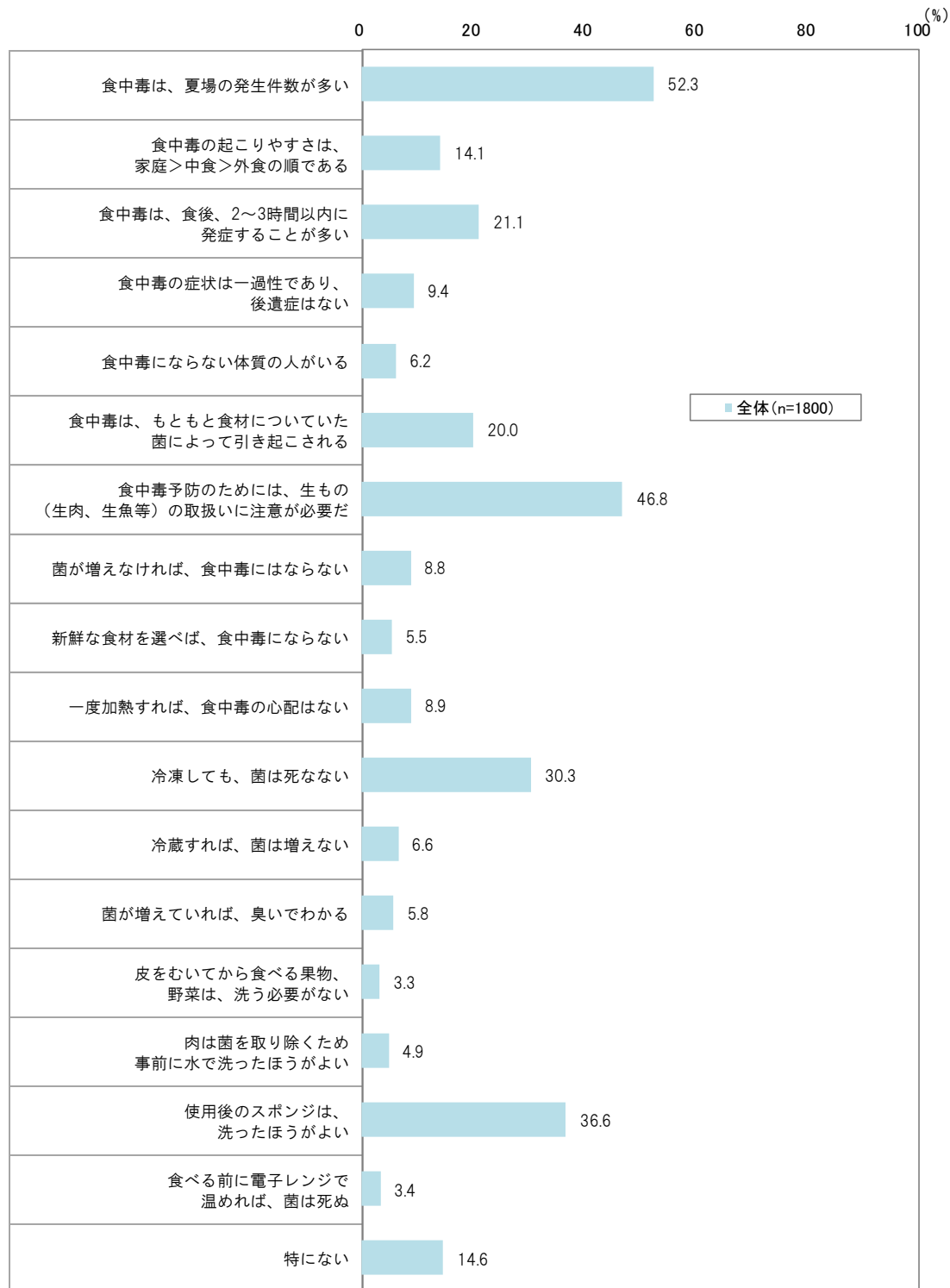


1年以内経験あり計⇒「～半年以内」+「～1年以内」、いずれか経験あり計⇒「～半年以内」+「～1年以内」+「～3年以内」+「～5年以内」+「～10年以内」+「それ以前」、経験ない⇒「食中毒にかかったことがない」

図表 80 (その2) 食中毒の経験の有無別 「食中毒予防」としてふだん実施している事柄

3) 「食中毒」に関する知識 (Q34) :
 エリア・性・年代別分析、食中毒の経験の有無 (Q32) 別分析

「食中毒」に関する知識 (Q34) を聞いたところ、「食中毒は、夏場の発生件数が多い」が 52.3%で最も多く、次いで、「食中毒予防のためには、生もの (生肉、生魚等) の取扱いに注意が必要だ」が 46.8%、「使用後のスポンジは、洗ったほうがよい」が 36.6%、「冷凍しても、菌は死なない」が 30.3%の順が多い。

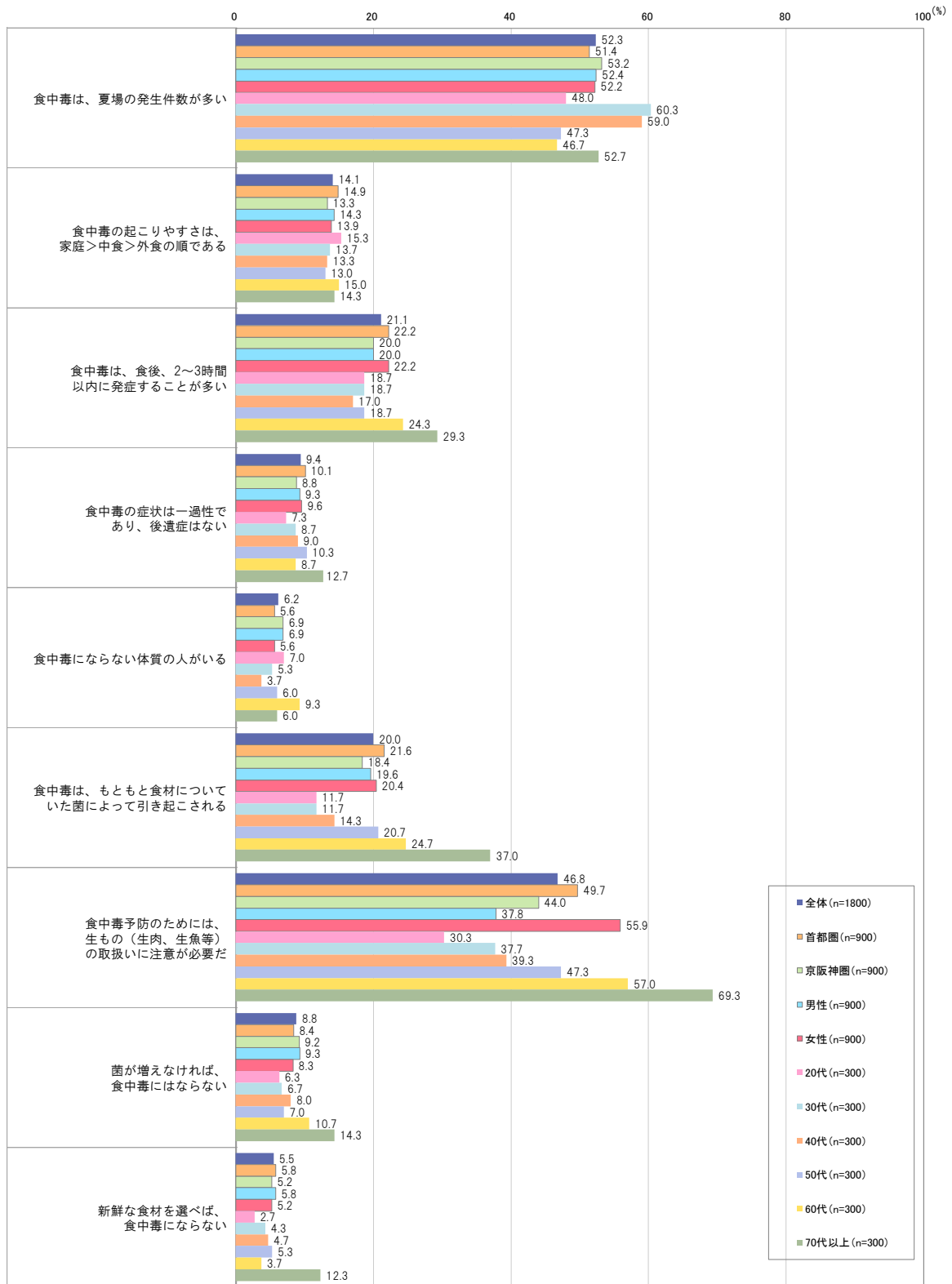


図表 81 「食中毒」に関する知識

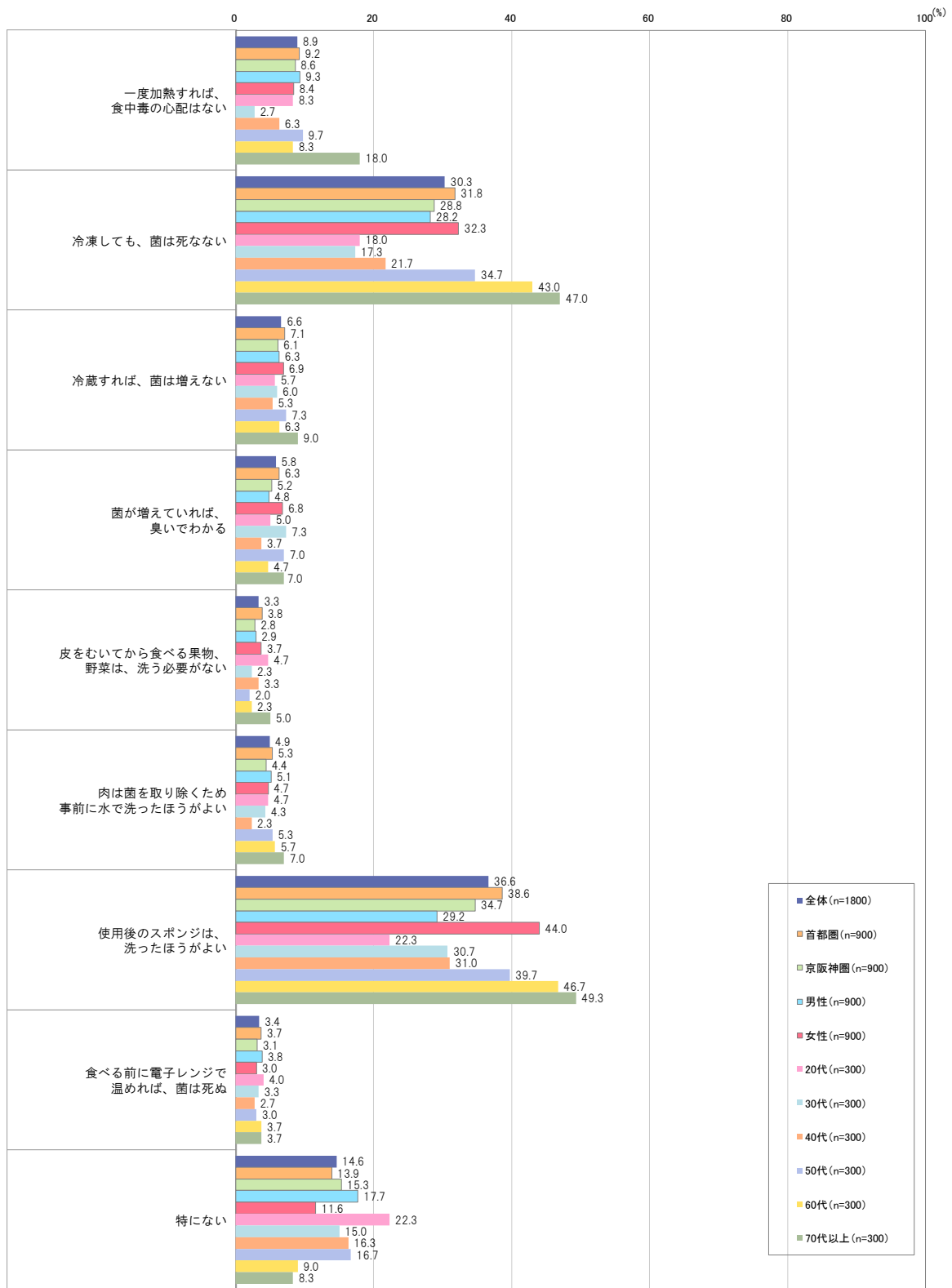
エリア別に見ると、大きな違いは見られない。

男女別に見ると、「食中毒予防のためには、生もの（生肉、生魚等）の取扱いに注意が必要だ」「使用後のスポンジは、洗ったほうがよい」は、男性より女性の方が多い。

年代別に見ると、「食中毒」に関する知識は、総じて70代以上で高くなっている。



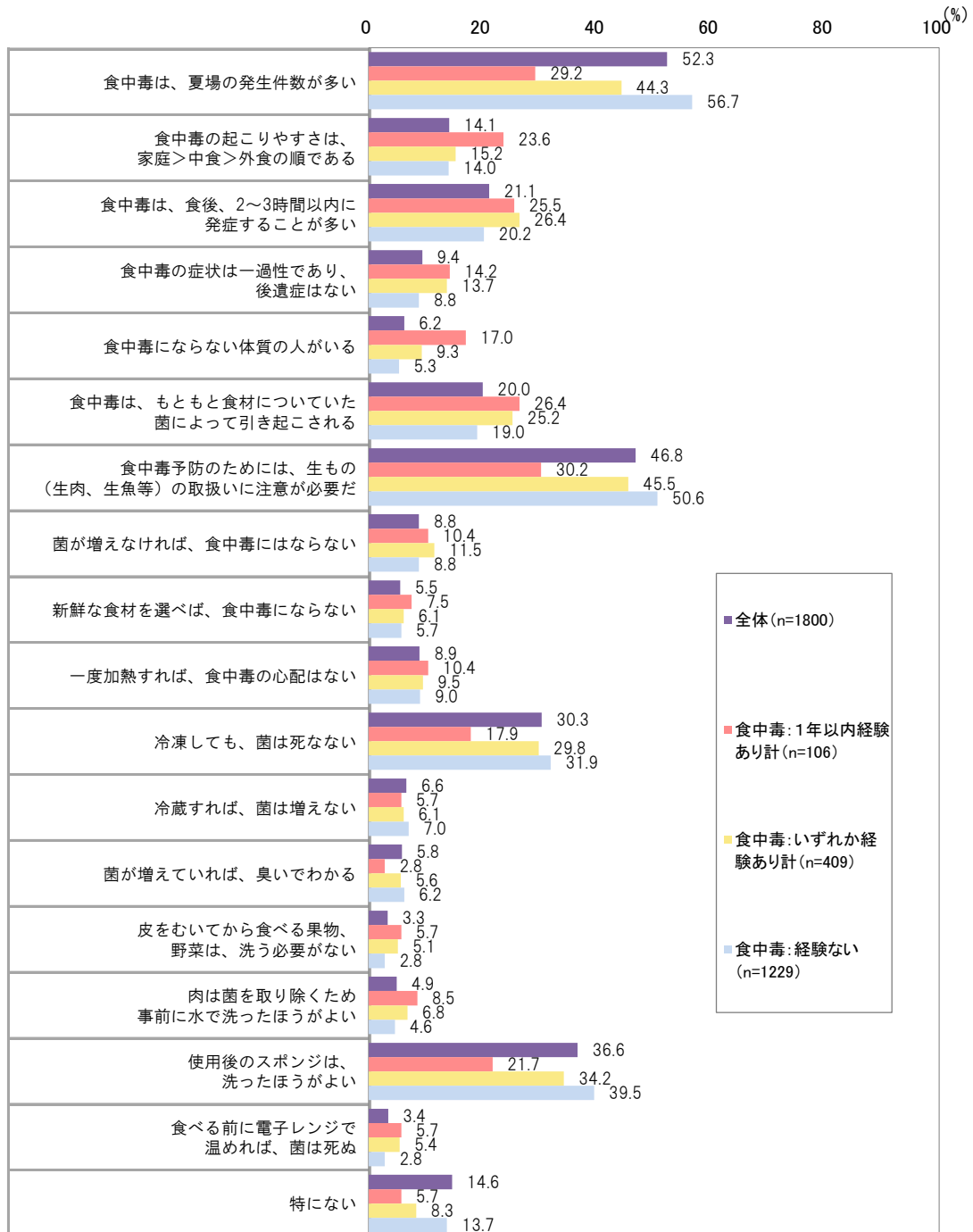
図表 82 (その1) エリア・性・年代別 「食中毒」に関する知識



図表 82 (その2) エリア・性・年代別 「食中毒」に関する知識

食中毒の経験の有無別に見ると、「食中毒」に関する知識は、総じて「食中毒の経験がない」人の方が、「食中毒は、夏場の発生件数が多い」「食中毒予防のためには、生もの（生肉、生魚等）の取扱いに注意が必要だ」「使用後のスポンジは、洗ったほうがよい」が多くなっている。

一方、「食中毒の経験がある」人の方が、「食中毒は、もともと食材についていた菌によって引き起こされる」「食中毒の起こりやすさは、家庭>中食>外食の順である」「食中毒は、食後、2～3時間以内に発症することが多い」「食中毒の症状は一過性であり、後遺症はない」「食中毒にならない体質の人がいる」が多くなっている。



1年以内経験あり計⇒「～半年以内」+「～1年以内」、いずれか経験あり計⇒「～半年以内」+「～1年以内」+「～3年以内」+「～5年以内」+「～10年以内」+「それ以前」、経験ない⇒「食中毒にかかったことがない」

図表 83 食中毒の経験の有無別 「食中毒」に関する知識

3. 食肉の購買実態に関する調査

1) 食肉の種類別機会別の喫食頻度 (Q4)

- 牛肉料理の内食は「週に1日程度」、中食、外食では「それ以下(月に1日以下)」とする割合が高い。
- 豚肉料理と鶏肉料理、魚介料理の傾向は似ており、内食では「週に2~3日程度」と「週に1日程度」が多く、中食、外食では「それ以下(月に1日未満)」とする割合が最も高い。

【今年度調査】

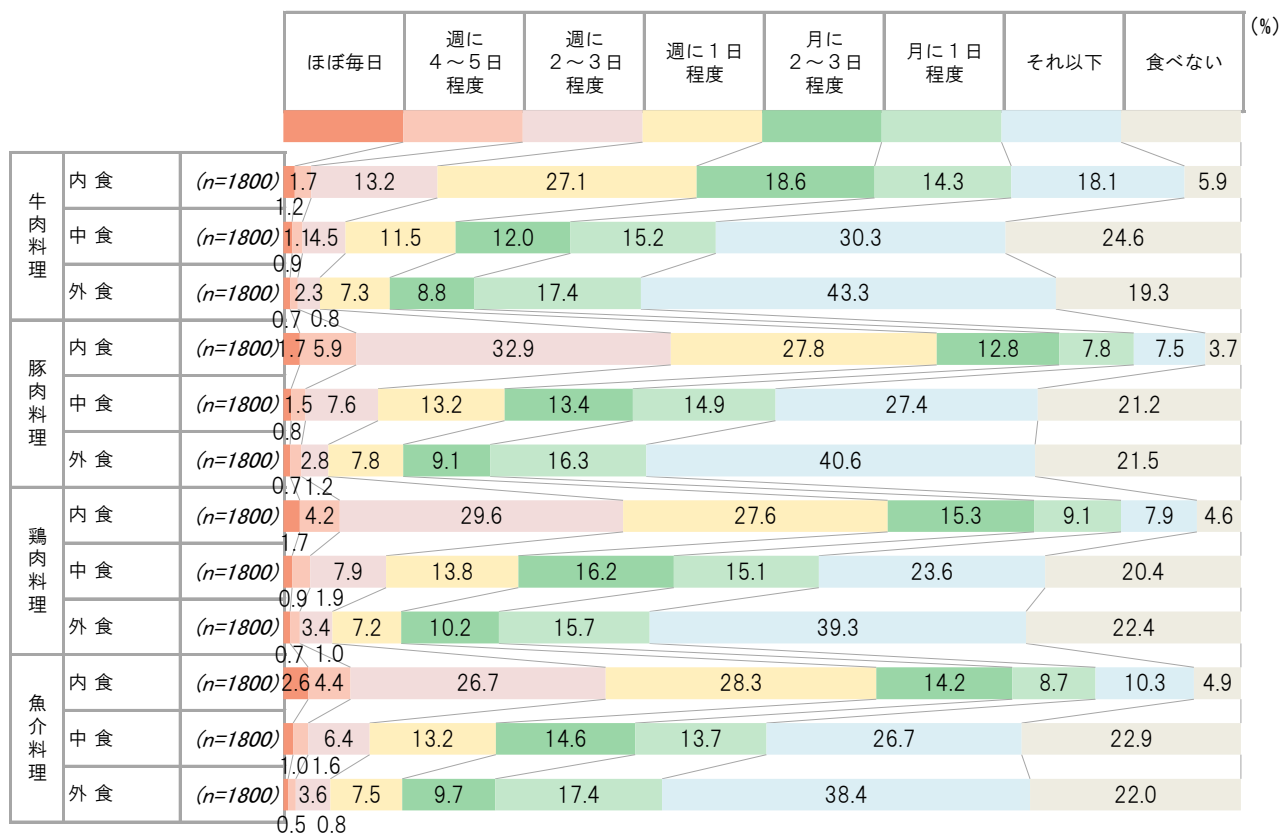
牛肉料理の喫食頻度は、内食では「週に1日程度」27.1%、「月に2~3日程度」18.6%、「それ以下(月に1日未満)」18.1%、「週に2~3日程度」13.2%の順で高い。中食では、「それ以下(月に1日未満)」30.3%、「食べない」24.6%、「月に1日程度」15.2%の順で高い。外食では、「それ以下(月に1日未満)」43.3%、「食べない」19.3%、「月に1日程度」17.4%の順で高い。牛肉の内食は「週に1日程度」が最も高く、他の食肉に比べ頻度が低い傾向にある。

豚肉料理の喫食頻度は、内食では「週に2~3日程度」32.9%、「週に1日程度」27.8%、「月に2~3日程度」12.8%の順で高い。中食では、「それ以下(月に1日未満)」27.4%、「食べない」21.2%、「月に1日程度」14.9%の順で高い。外食では、「それ以下(月に1日未満)」40.6%、「食べない」21.5%、「月に1日程度」16.3%の順で高い。

鶏肉料理の喫食頻度は、内食では「週に2~3日程度」29.6%、「週に1日程度」27.6%、「月に2~3日程度」15.3%の順で高い。中食では、「それ以下(月に1日未満)」23.6%、「食べない」20.4%、「月に2~3日程度」16.2%の順で高い。外食では、「それ以下(月に1日未満)」39.3%、「食べない」22.4%、「月に1日程度」15.7%の順で高い。

魚介料理の喫食頻度は、内食では「週に1日程度」28.3%、「週に2~3日程度」26.7%、「月に2~3日程度」14.2%の順で高い。中食では、「それ以下(月に1日未満)」26.7%、「食べない」22.9%、「月に2~3日程度」14.6%の順で高い。外食では、「それ以下(月に1日未満)」38.4%、「食べない」22.0%、「月に1日程度」17.4%の順で高い。

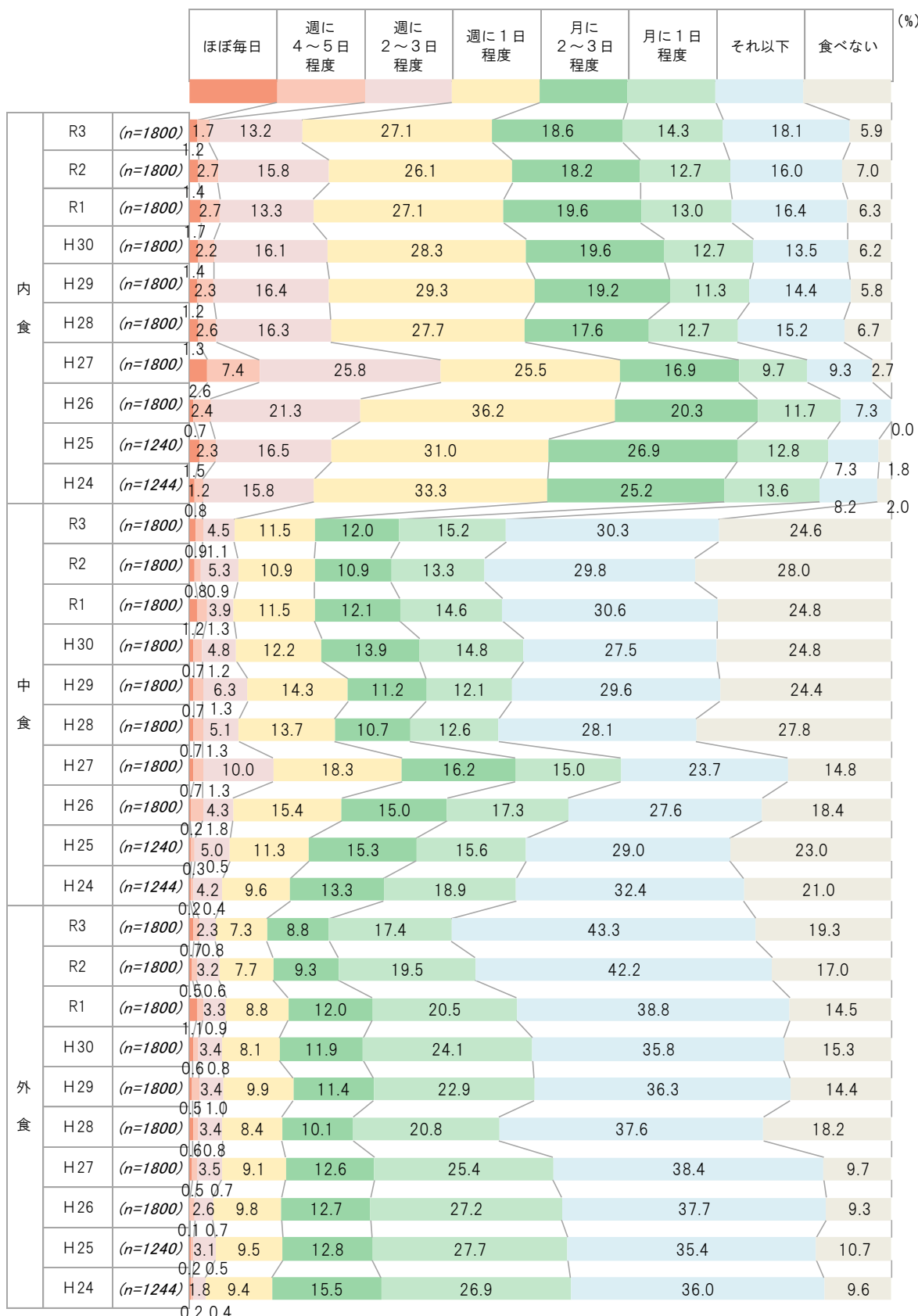
豚肉料理、鶏肉料理、魚介料理は内食、中食、外食のいずれの喫食頻度も似た傾向にある。



図表 84 食肉の種類別機会別の喫食頻度

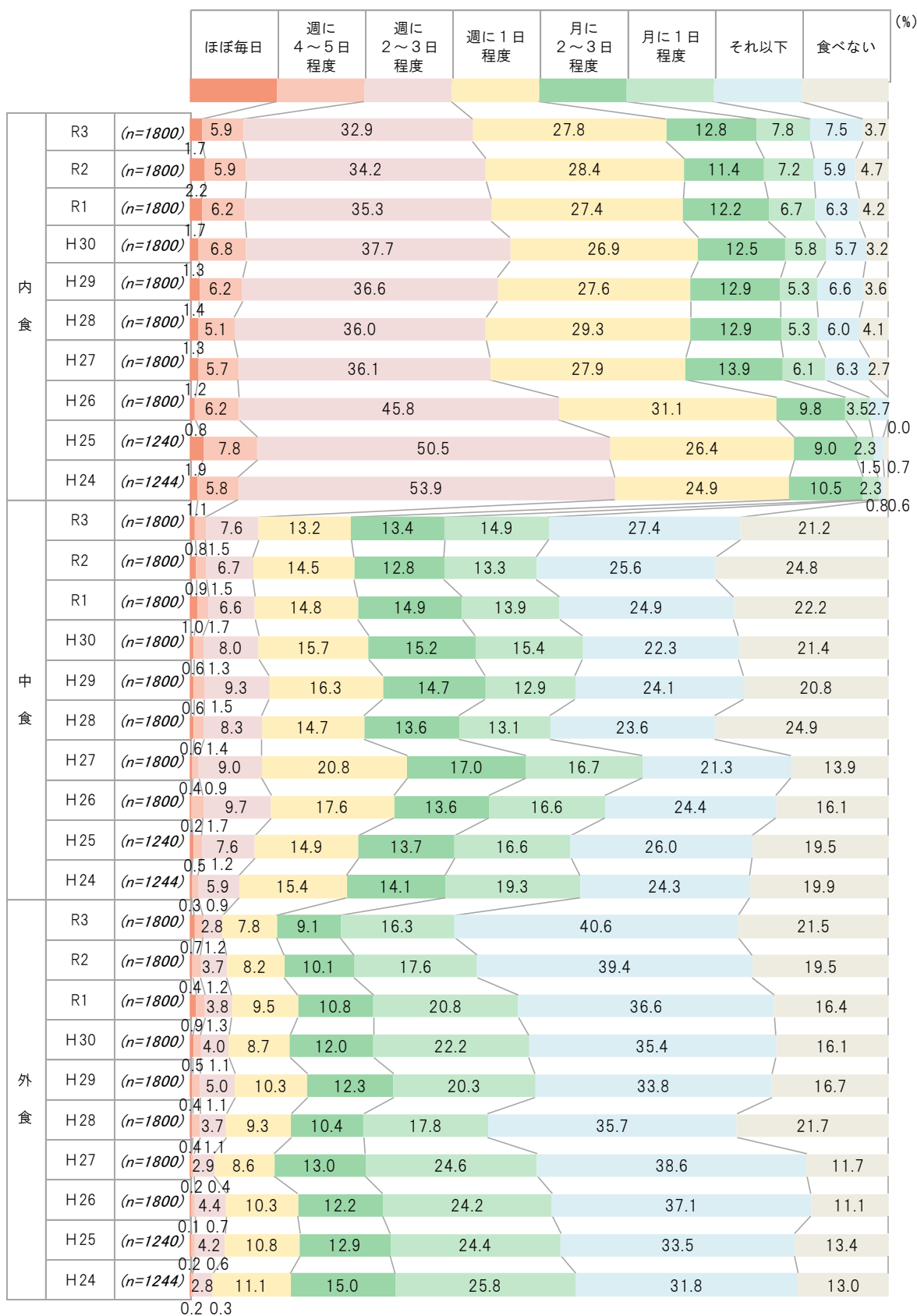
【過年度調査との比較】

牛肉料理の内食は、昨年度に比べて大きな変化はない。一方、中食では「食べない」が昨年度に比べて減少したが、外食では「食べない」が増加傾向にあり、喫食頻度が減少傾向にある。



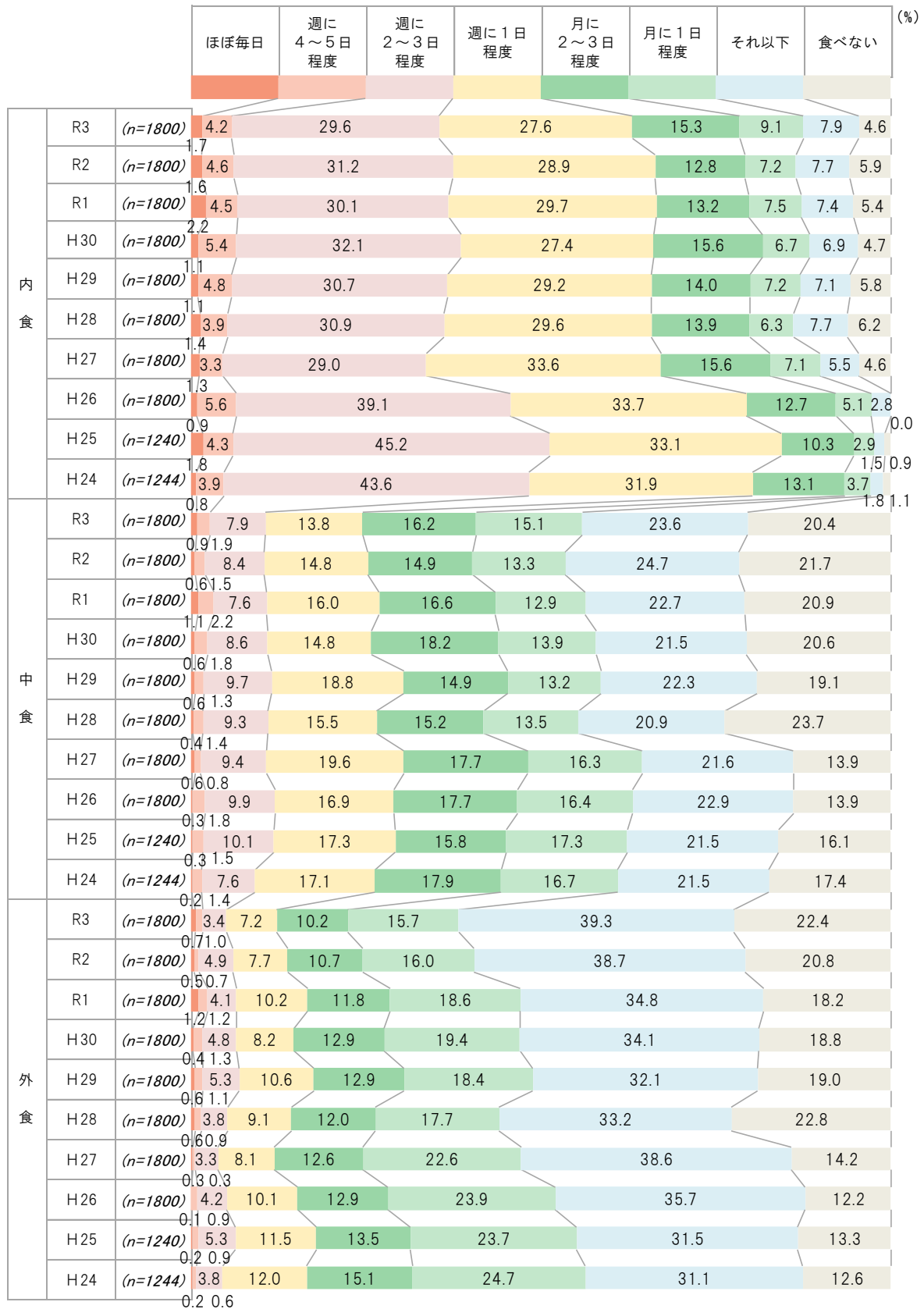
図表 85 牛肉料理の喫食頻度（経年変化）

豚肉料理の内食は昨年度に比べて大きな変化はない。一方、中食では「食べない」が昨年度に比べて減少したが、外食では「食べない」が増加傾向にあり、喫食頻度が減少傾向にある。



図表 86 豚肉料理の喫食頻度（経年変化）

鶏肉料理の内食・昼食は昨年度に比べて大きな変化はない。一方、外食では「食べない」が増加傾向にあり、喫食頻度が減少傾向にある。



図表 87 鶏肉料理の喫食頻度（経年変化）

2) 食肉に対する種類別イメージ (Q5)

- ▶ どの食肉も「たんぱく質が豊富」というイメージが強い。
- ▶ 牛肉は栄養の高さ、豚肉と鶏肉は価格の手頃さや、調理のしやすさや料理メニューの種類が多いイメージも強い。
- ▶ 過年度調査と比較すると、牛肉は昨年度と大きな違いは見られない。豚肉、鶏肉は「たんぱく質が豊富」が昨年度より増加。

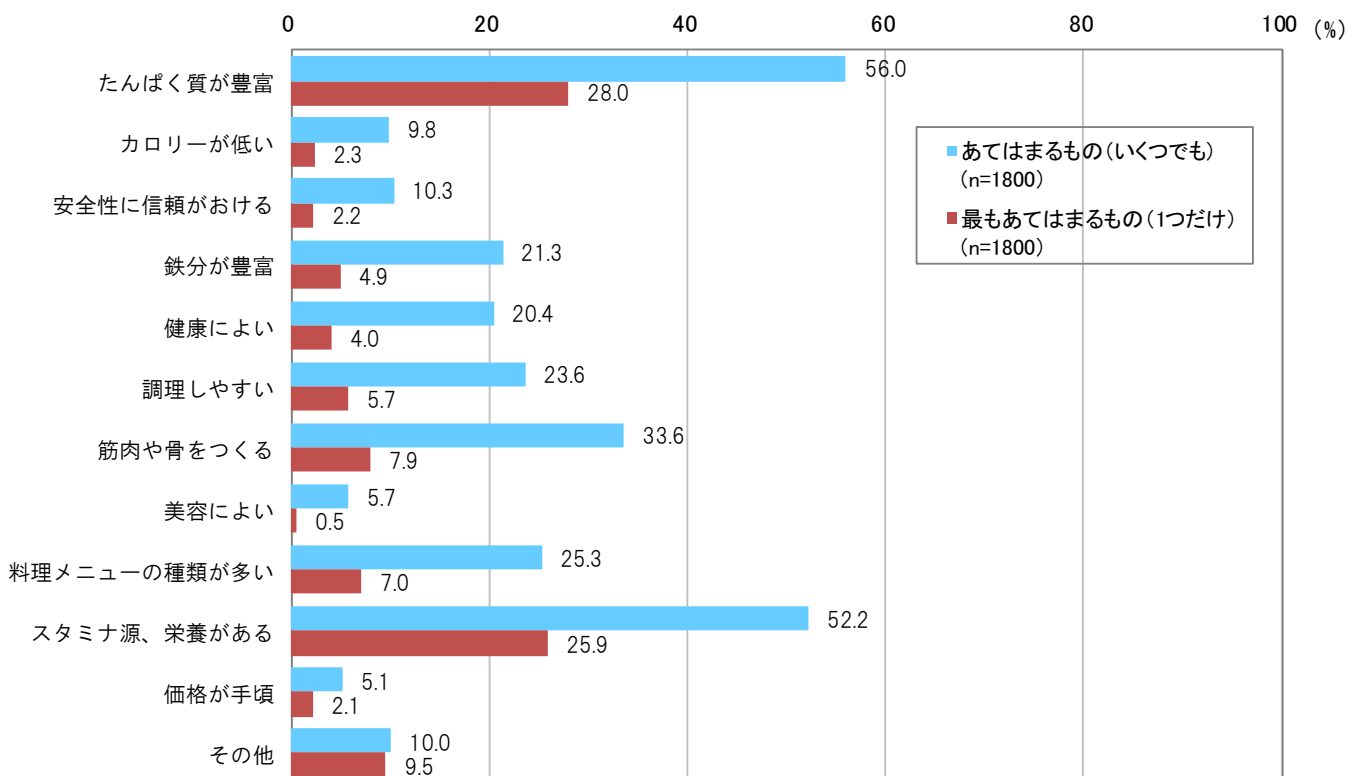
【今年度調査】

牛肉に対するイメージは（複数回答）、「たんぱく質が豊富」56.0%、「スタミナ源、栄養がある」52.2%、「筋肉や骨をつくる」33.6%の順で高い。

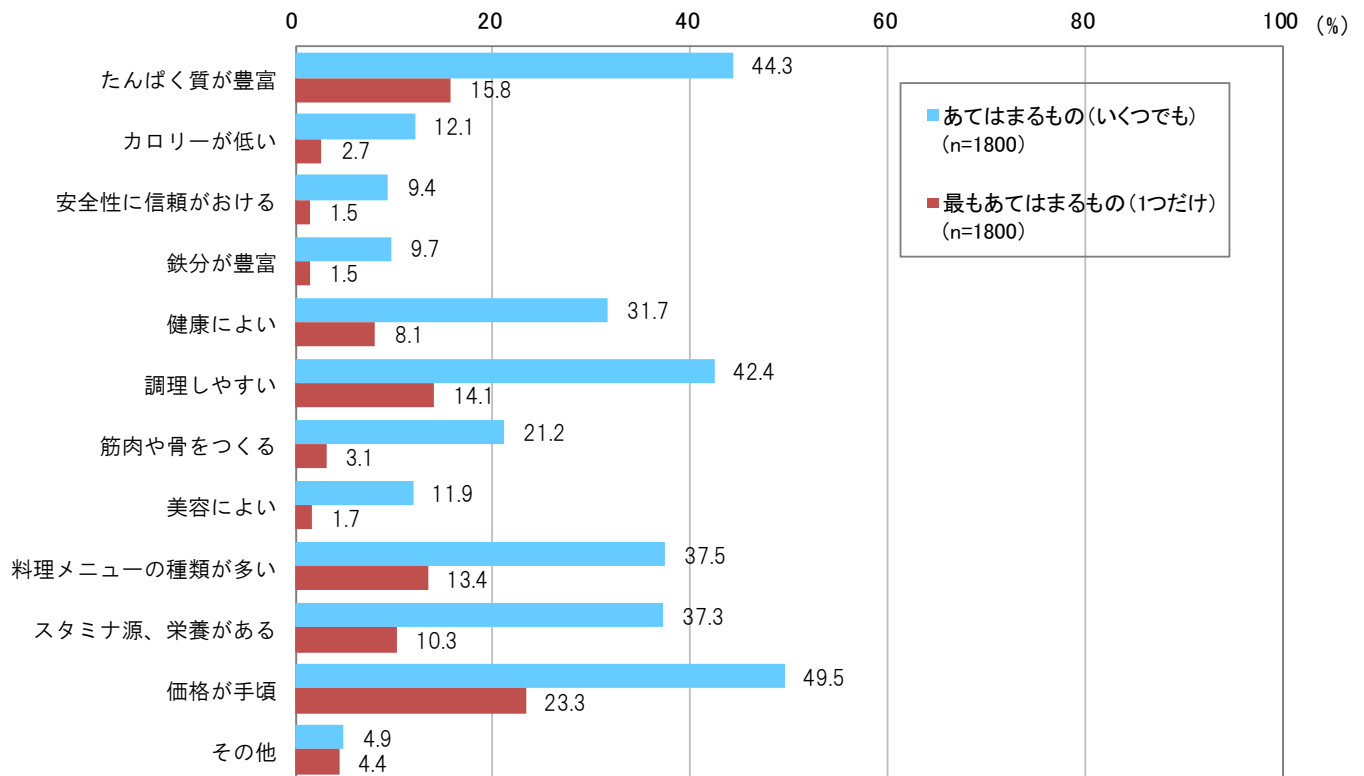
豚肉に対するイメージは（複数回答）、「価格が手頃」49.5%、「たんぱく質が豊富」44.3%、「調理しやすい」42.4%の順で高い。

鶏肉に対するイメージは（複数回答）、「価格が手頃」57.7%、「たんぱく質が豊富」49.6%、「カロリーが低い」44.9%の順で高い。

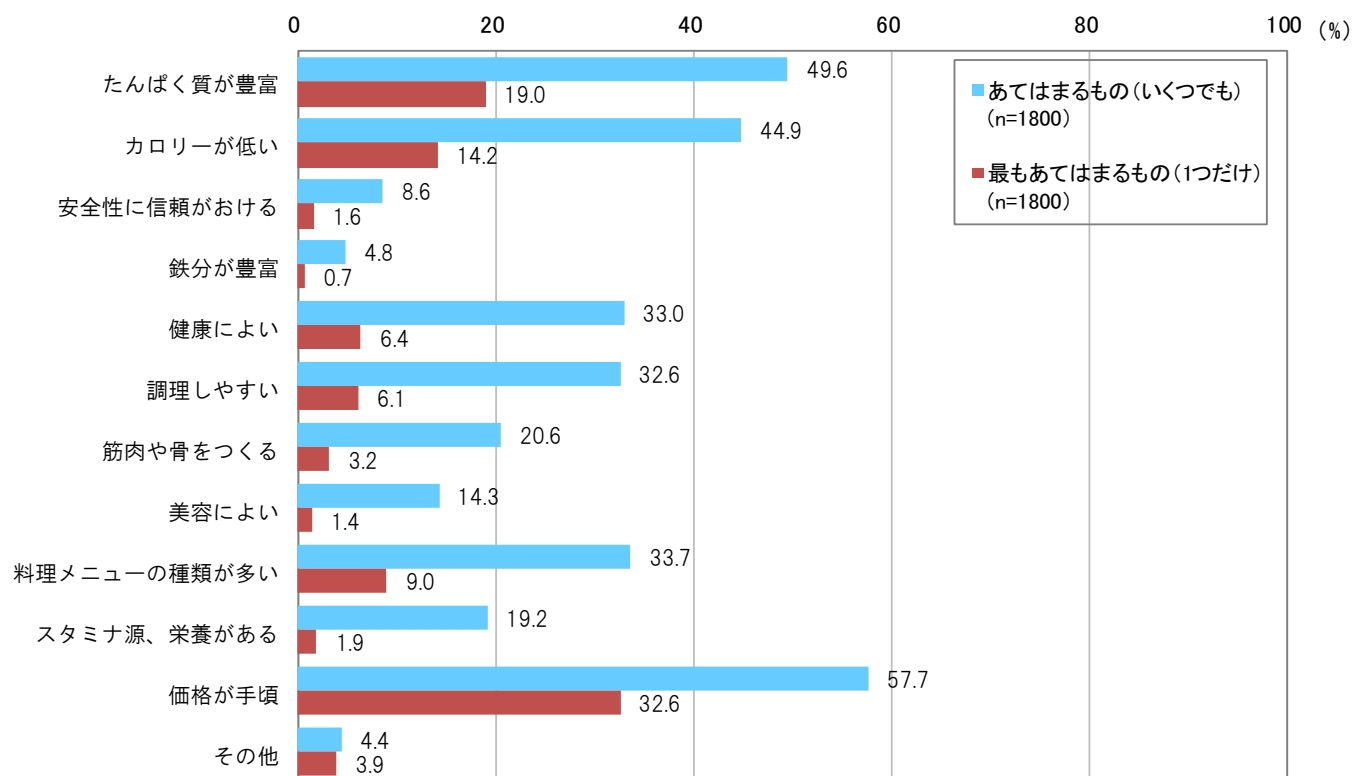
どの食肉も「たんぱく質が豊富」というイメージが **Top2** に入っており、たんぱく源としてのイメージが強い。また、牛肉は栄養の「豊富さ」、豚肉と鶏肉は価格の手頃さや、調理のしやすさや料理メニューの種類が多いイメージも強い。



図表 88 牛肉に対するイメージ



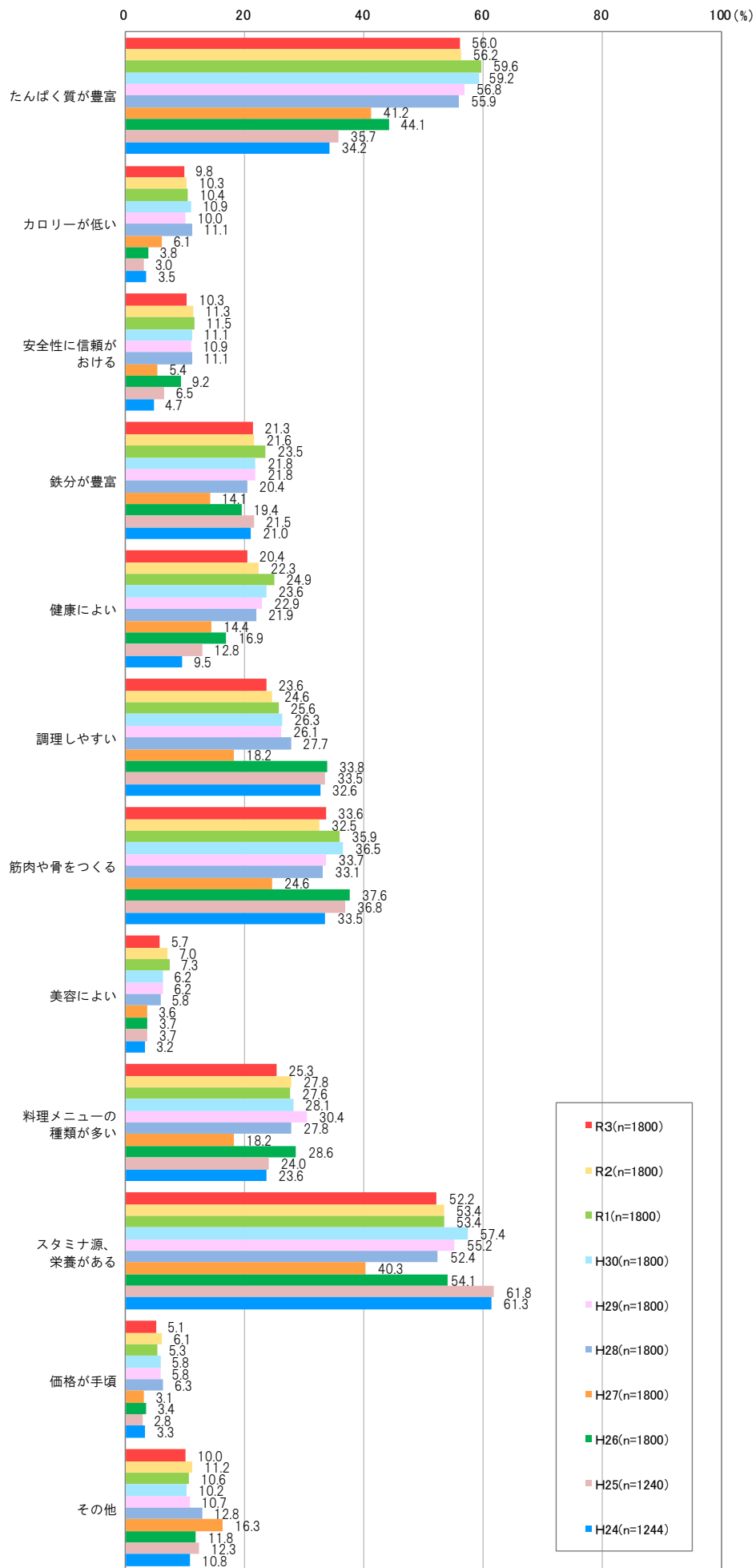
図表 89 豚肉に対するイメージ



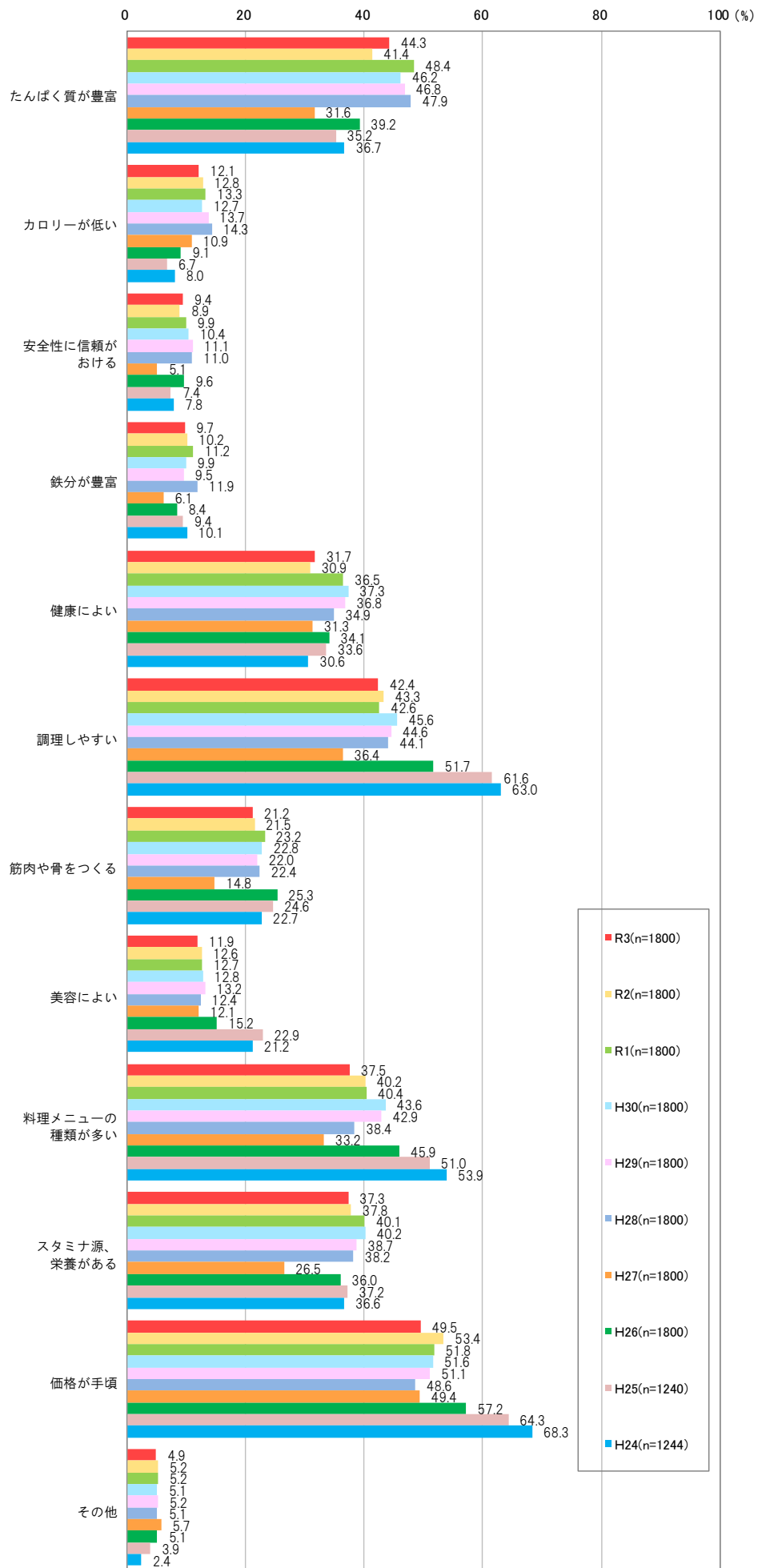
図表 90 鶏肉に対するイメージ

【過年度調査との比較】

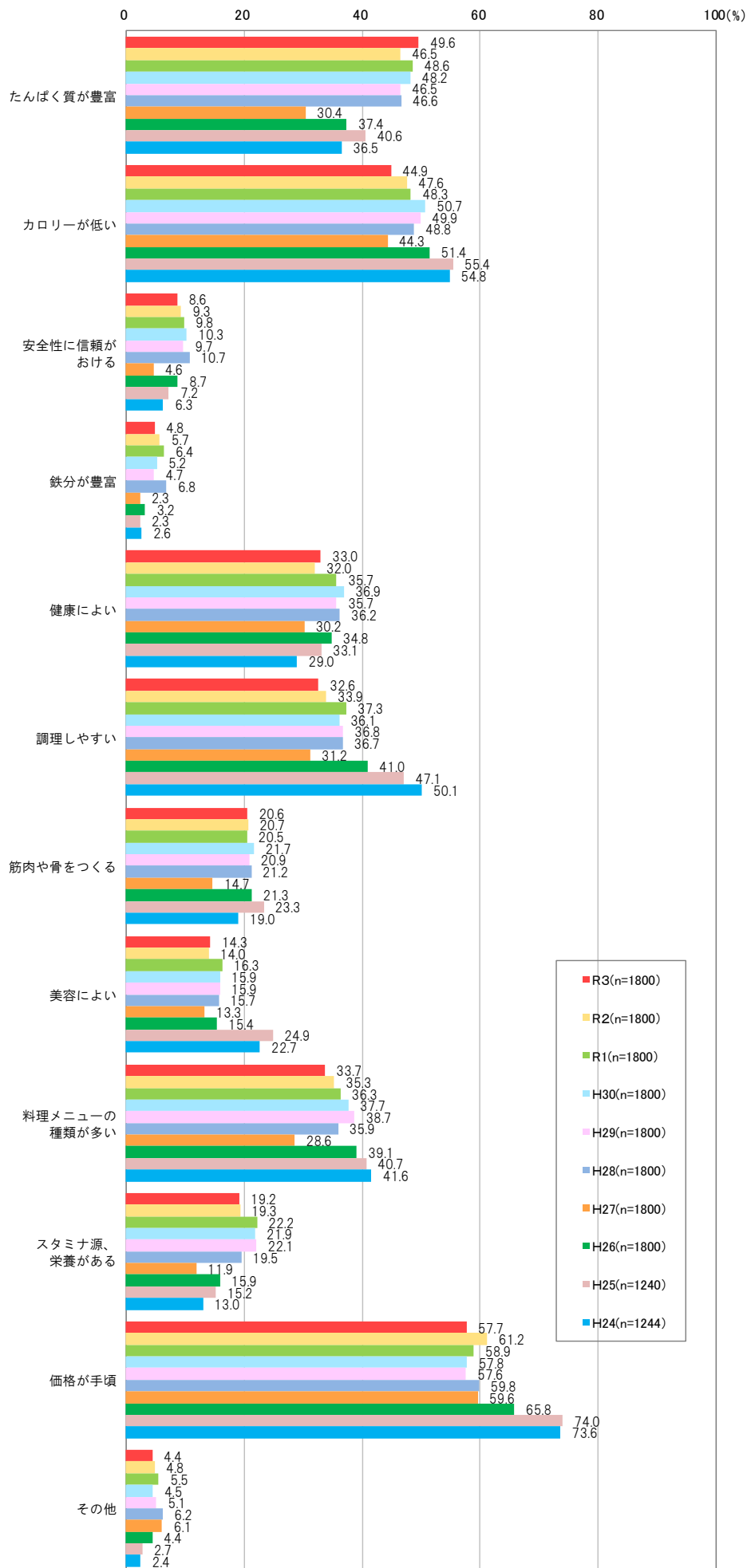
過年度調査と比較すると、牛肉は昨年度と大きな違いは見られない。豚肉、鶏肉は「たんぱく質が豊富」が昨年度より増加している。



図表 91 牛肉に対するイメージ（経年変化）



図表 92 豚肉に対するイメージ（経年変化）



図表 93 鶏肉に対するイメージ（経年変化）

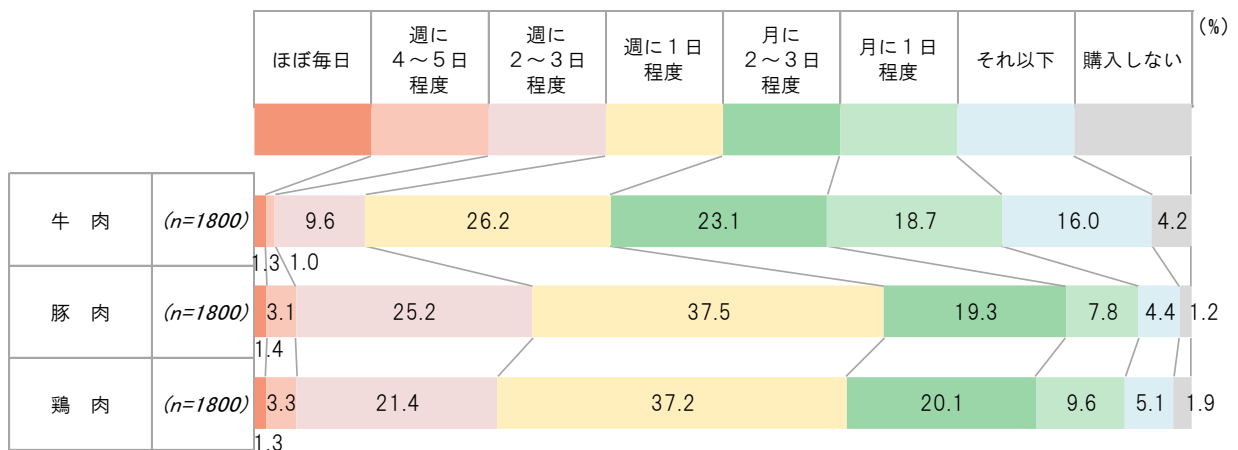
3) 食肉の種類別購入頻度 (Q6)

- ▶ 牛肉は「週に1日程度」と「月に2～3日程度」がボリュームゾーン。
- ▶ 豚肉、鶏肉は「週に1日程度」「週に2～3日程度」がボリュームゾーン。
- ▶ 過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、昨年度と同傾向。

【今年度調査】

牛肉の購入頻度のボリュームゾーンは「週に1日程度」が26.2%、「月に2～3日程度」が23.1%で、合わせて49.3%を占める。他の食肉と比較して低頻度購入のボリュームが大きく、「月に1日程度」が18.7%、「それ以下」が16.0%と他の食肉に比べて高い。

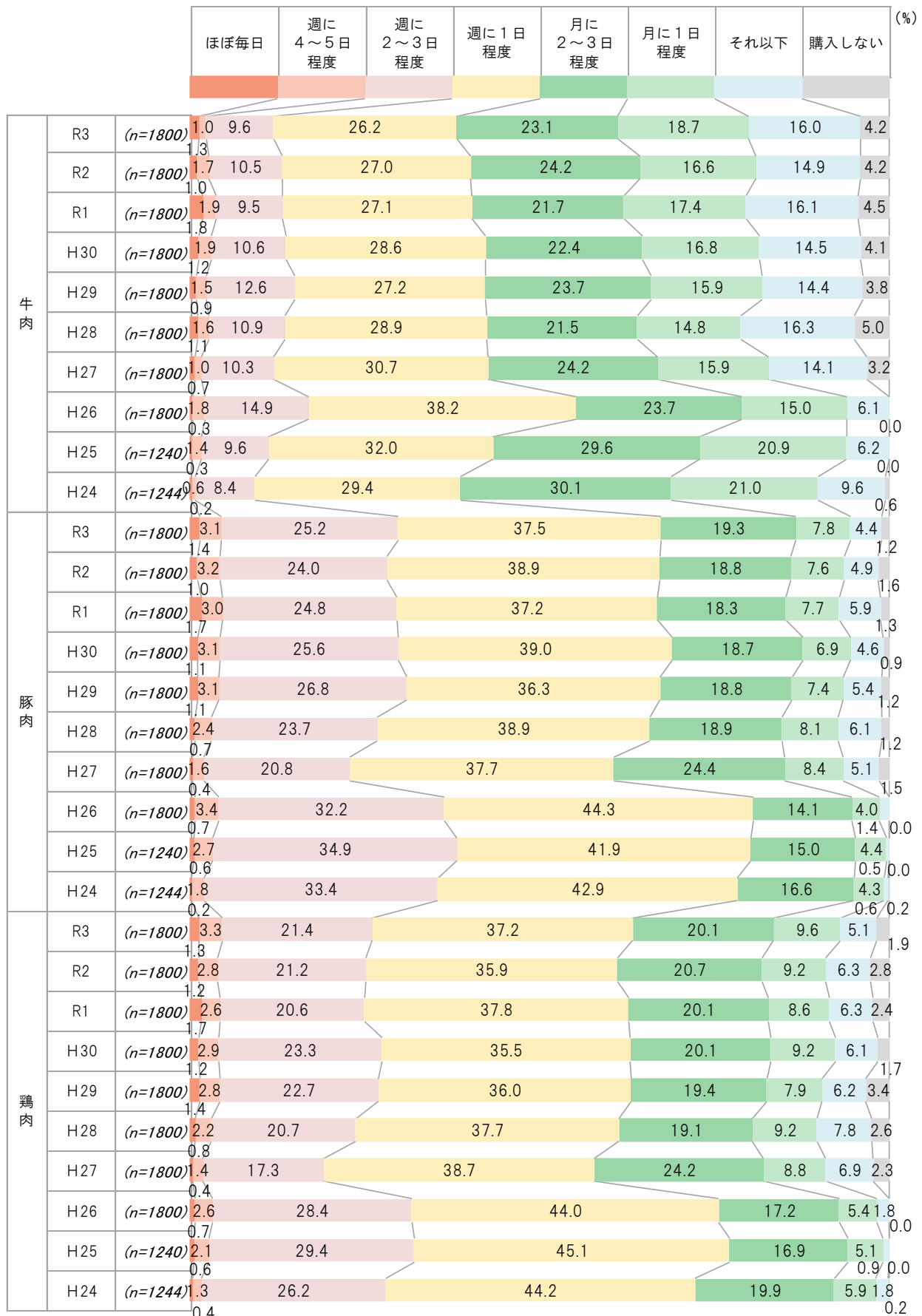
豚肉及び鶏肉の購入頻度のボリュームゾーンは「週に1日程度」と「週に2～3日程度」であり、豚肉は37.5%と25.2%、鶏肉は37.2%と21.4%となっており、いずれの食肉も合計で約6割を占める。



図表 94 食肉の種類別購入頻度

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、昨年度と同傾向である。



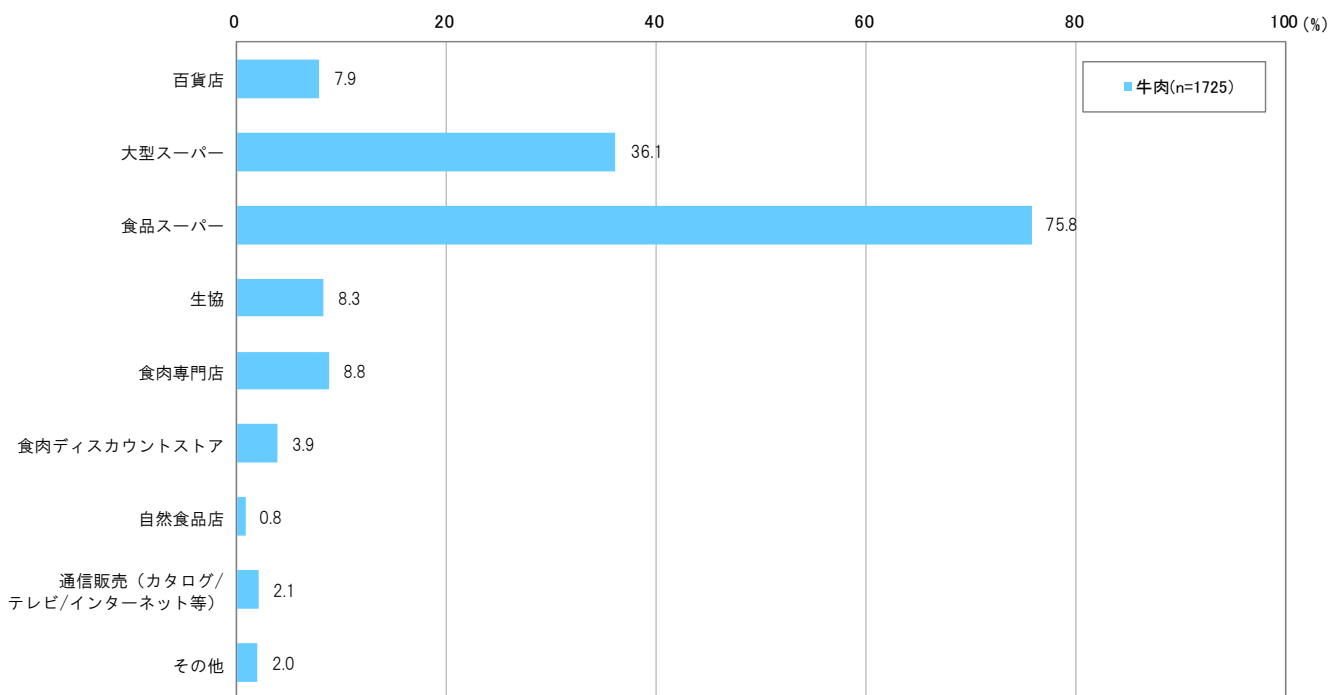
図表 95 食肉の種類別購入頻度（経年変化）

4) 食肉の種類別の主な購入先 (Q7)

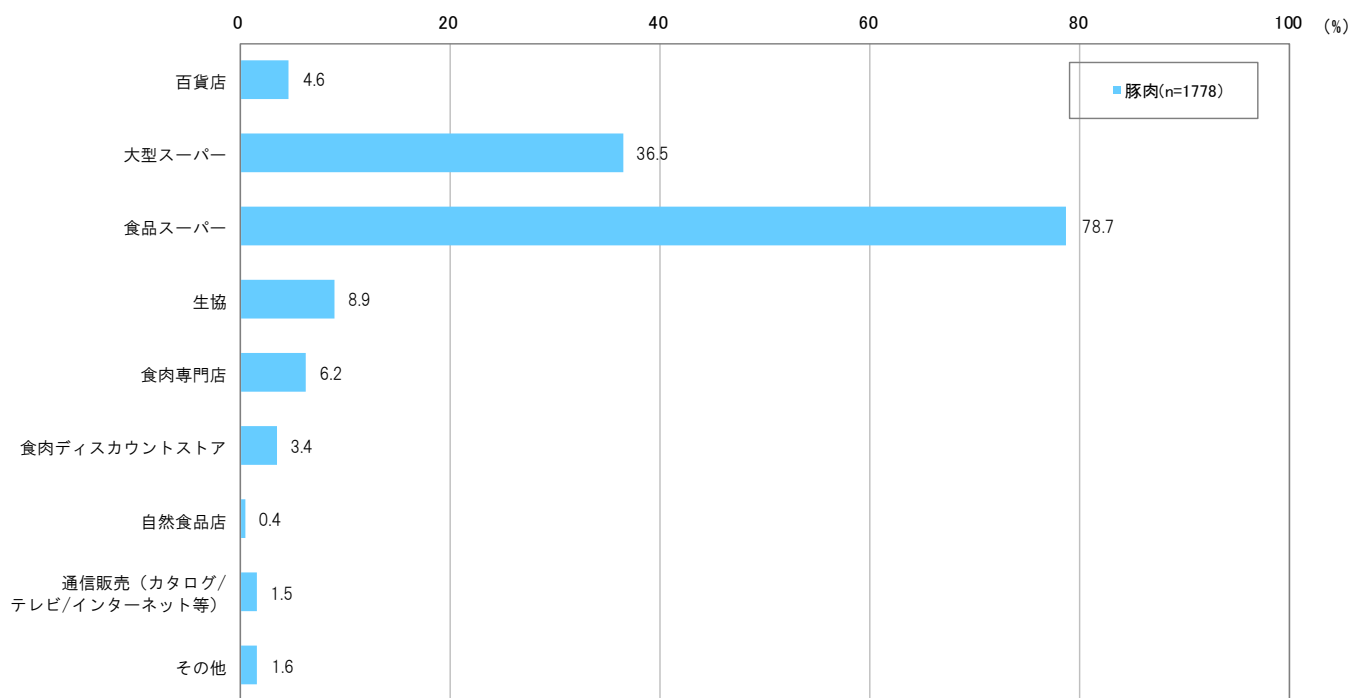
- どの食肉でも 8 割弱が「食品スーパー」で購入、次いで「大型スーパー」。
- 過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、昨年度と同傾向だが、「大型スーパー」が減少傾向。

【今年度調査】

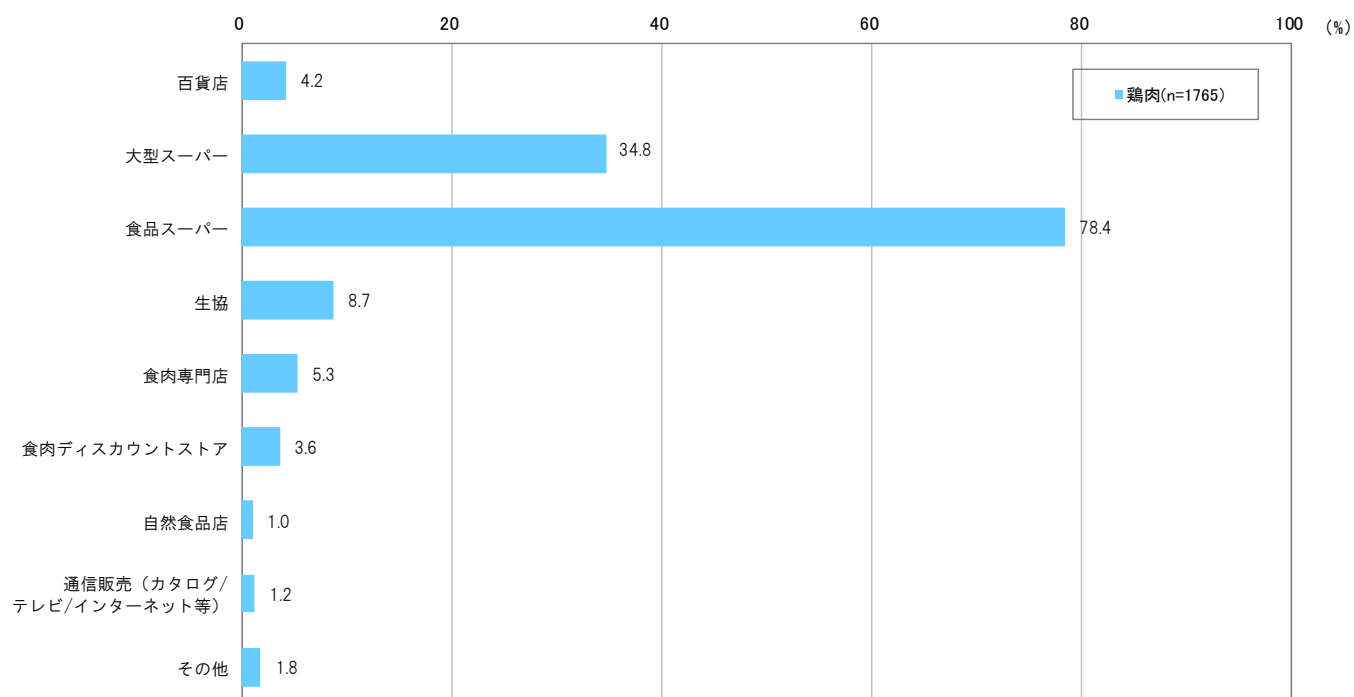
食肉の主な購入先を聞いたところ（複数回答）、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも同様の傾向があり、「食品スーパー」が 8 割弱と圧倒的に多く（牛肉 75.8%、豚肉 78.7%、鶏肉 78.4%）、次いで「大型スーパー」が約 4 割（牛肉 36.1%、豚肉 36.5%、鶏肉 34.8%）となっている。



図表 96 牛肉の主な購入先



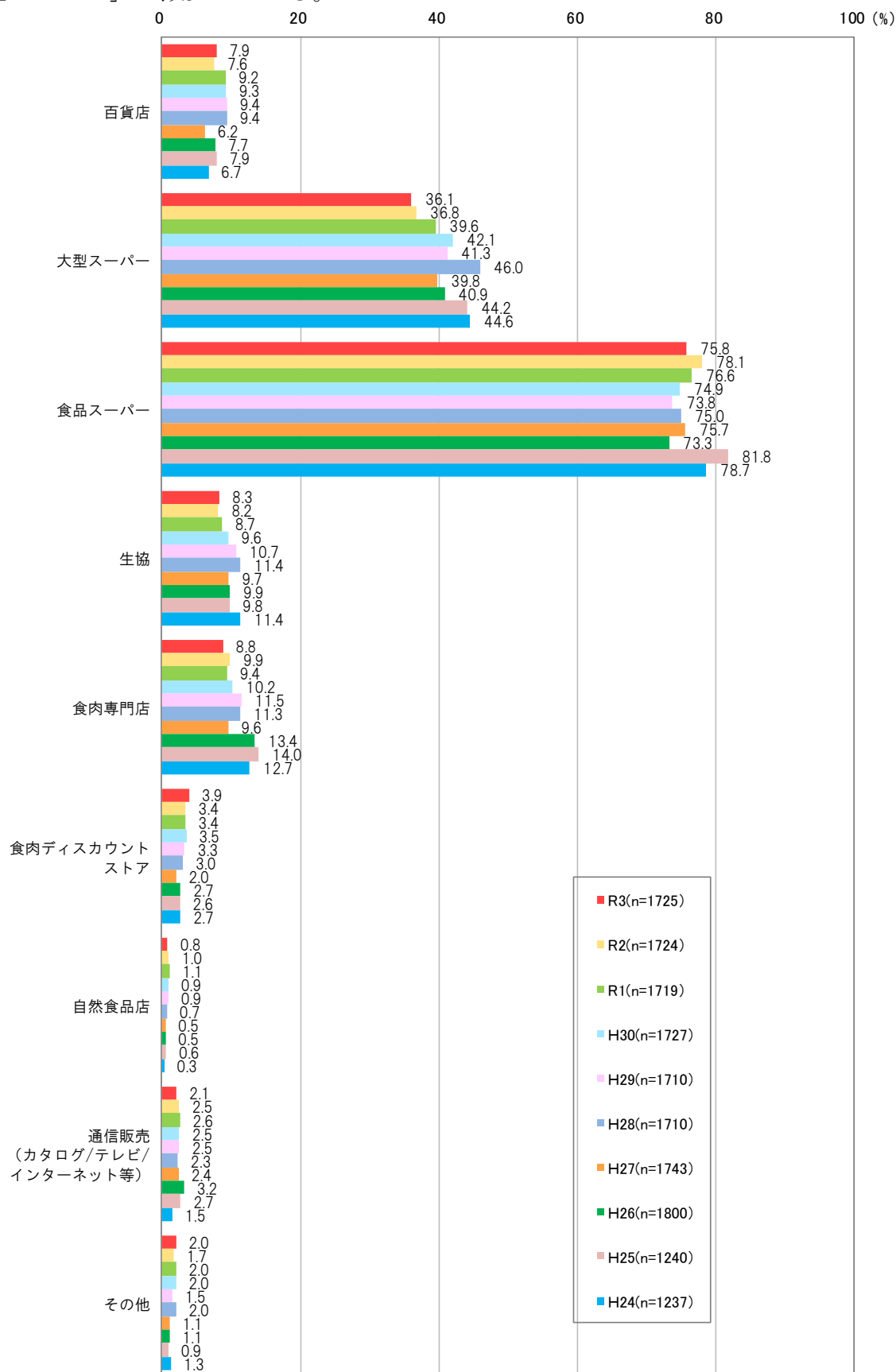
図表 97 豚肉の主な購入先



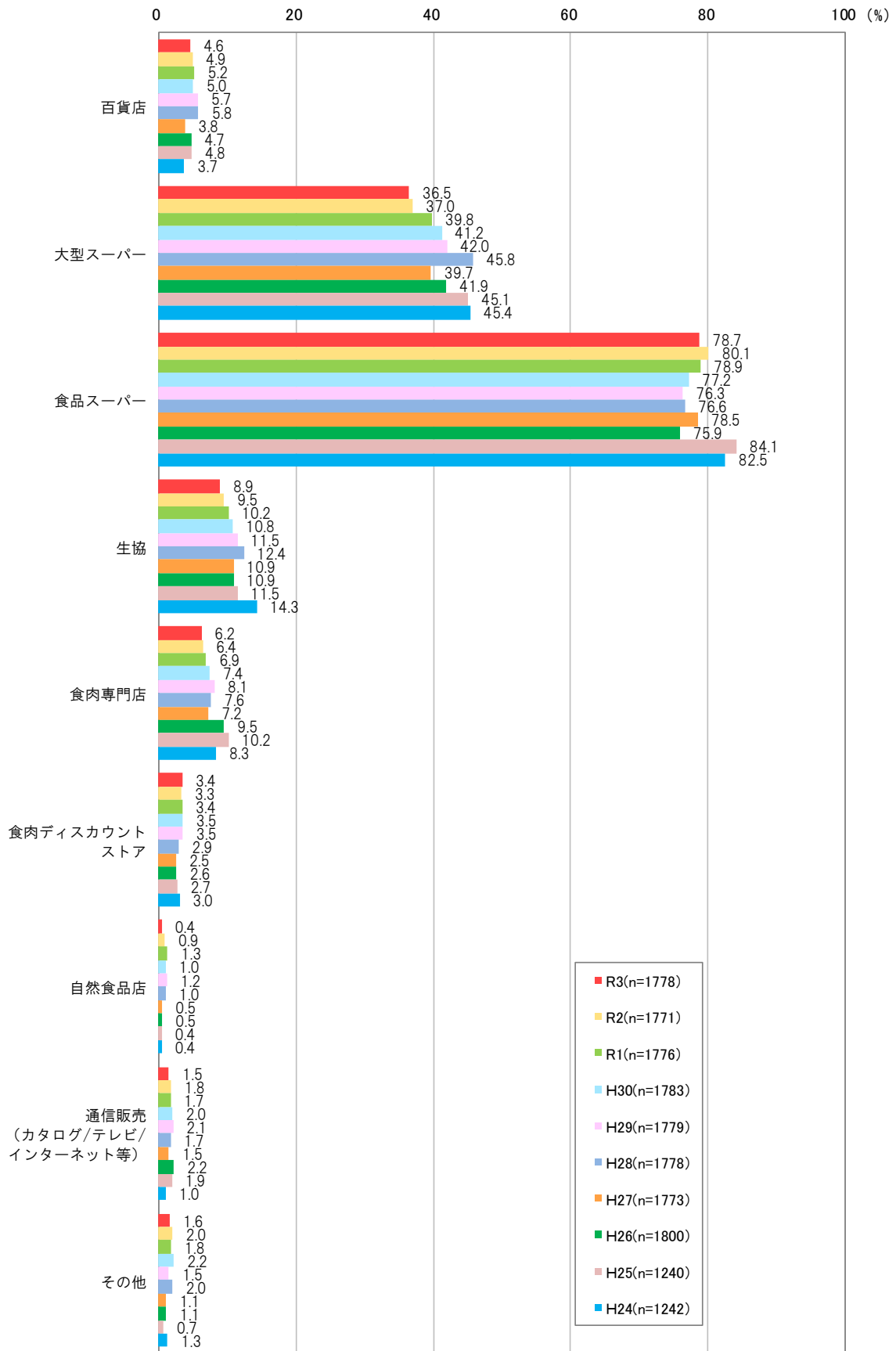
図表 98 鶏肉の主な購入先

【過年度調査との比較】

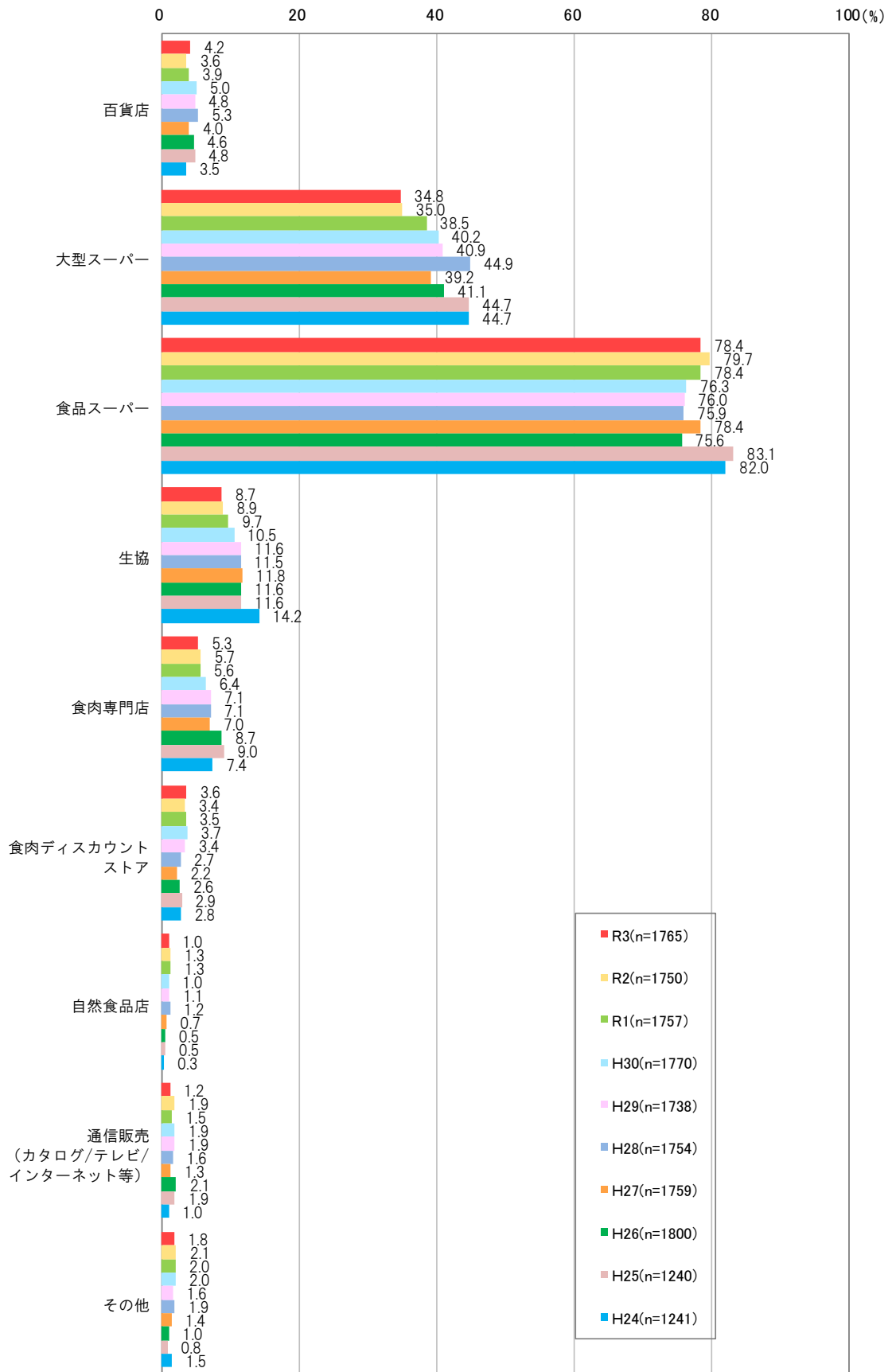
過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、昨年度と同傾向だが、「大型スーパー」が減少している。



図表 99 牛肉の主な購入先（経年変化）



図表 100 豚肉の主な購入先（経年変化）



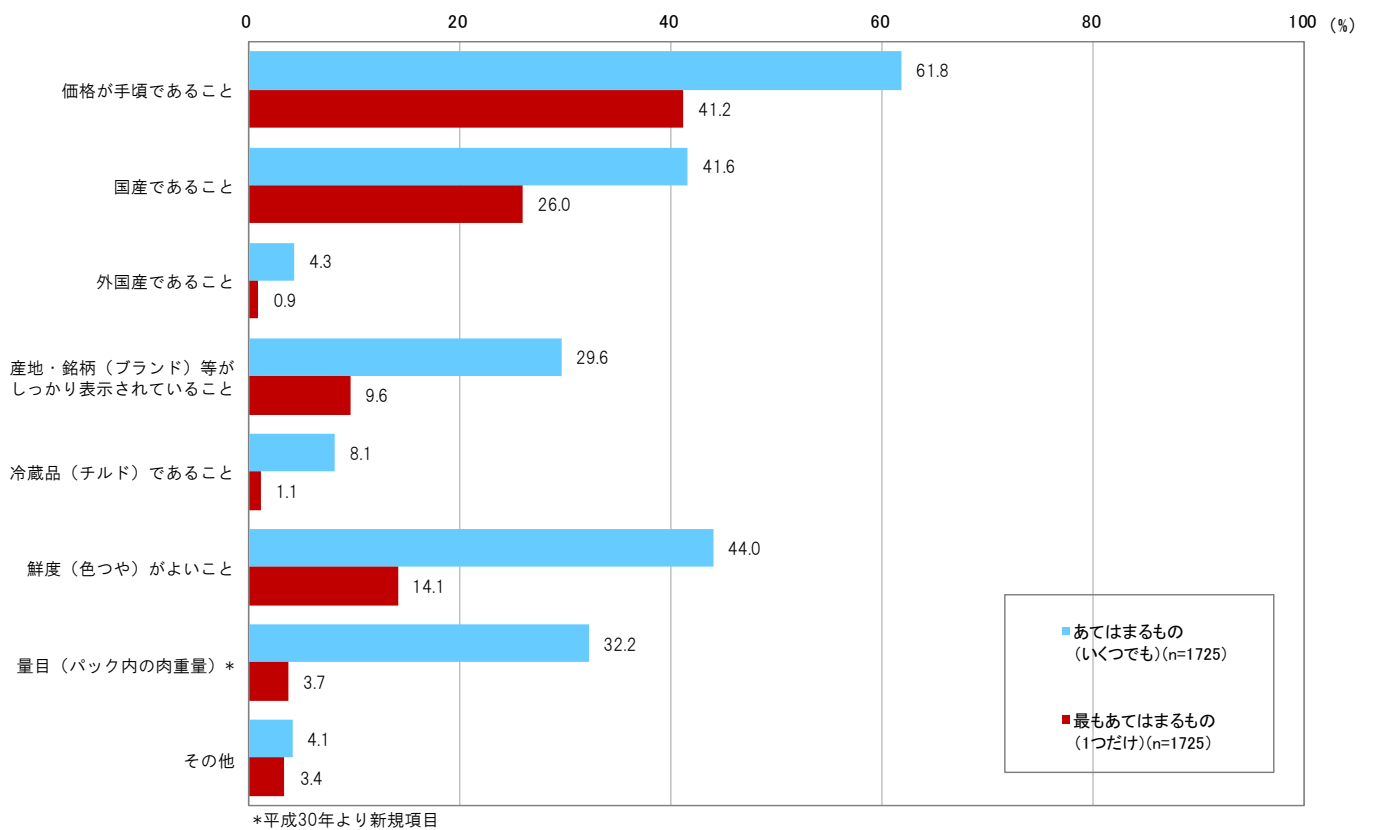
図表 101 鶏肉の主な購入先（経年変化）

5) 食肉購入時に重視する点 (Q8)

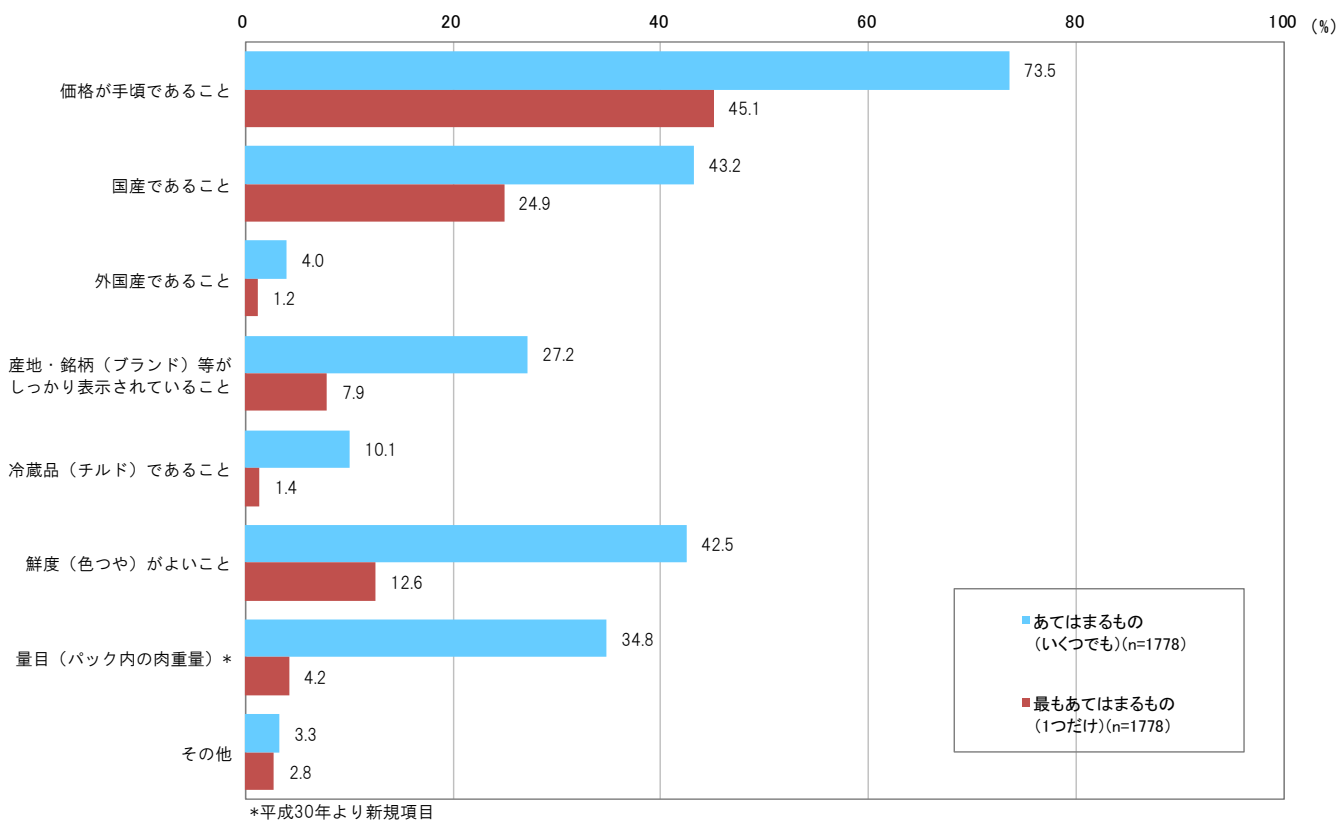
- ▶ どの食肉でも TOP3 は「価格の手頃さ」「国産であること」「鮮度 (色つや) がよいこと」。
- ▶ 過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも、「価格が手頃であること」が昨年度より増加し、「国産であること」「産地・銘柄 (ブランド) 等がしっかり表示されていること」が減少傾向。

【今年度調査】

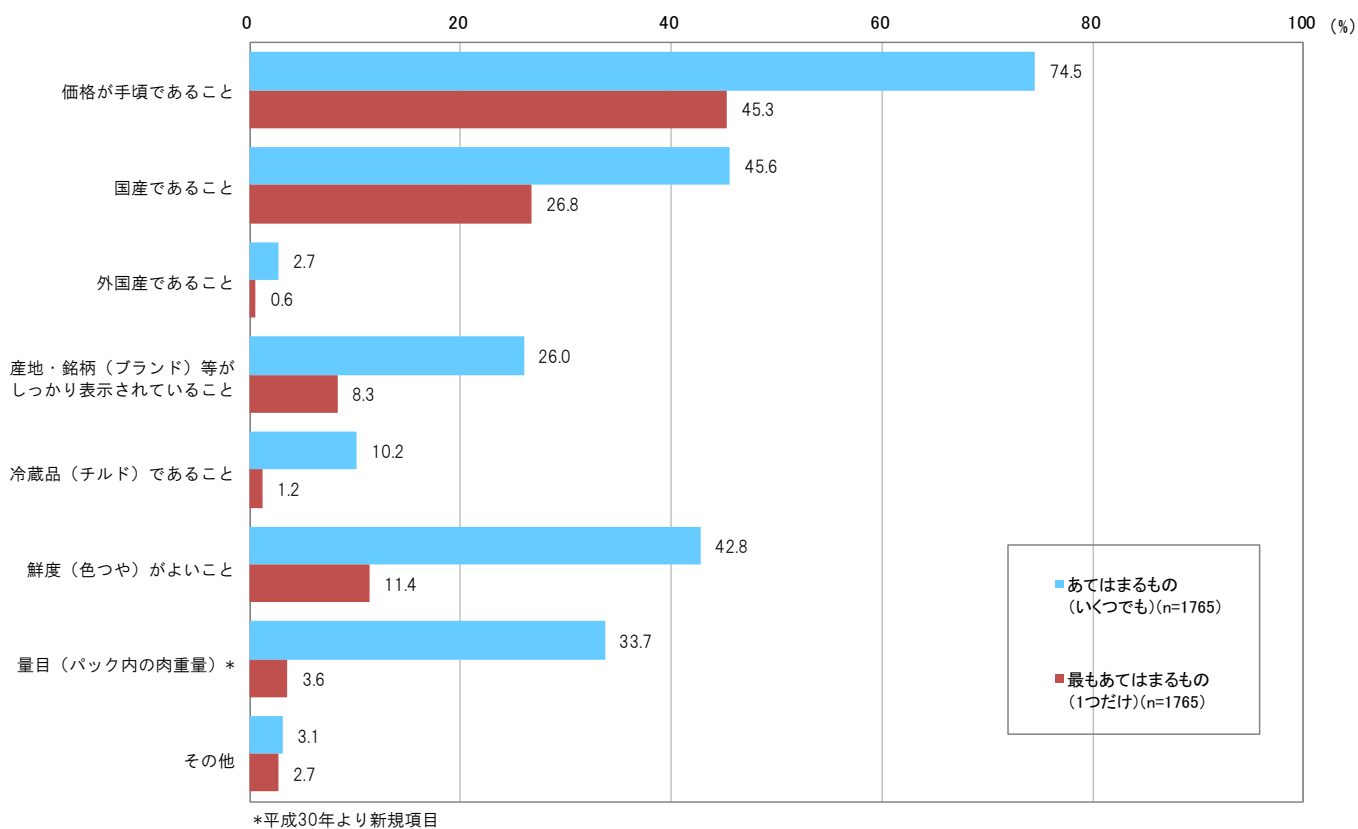
食肉購入時に重視する点 (複数回答) の TOP3 は、どの食肉でも同じで、「価格が手頃であること」(牛肉 61.8%、豚肉 73.5%、鶏肉 74.5%)、「国産であること」(牛肉 41.6%、豚肉 43.2%、鶏肉 45.6%)、「鮮度 (色つや) がよいこと」(牛肉 44.0%、豚肉 42.5%、鶏肉 42.8%)。牛肉は、「国産であること」より「鮮度 (色つや) がよいこと」の方がより重視度が高くなっている。



図表 102 牛肉購入時に重視する項目



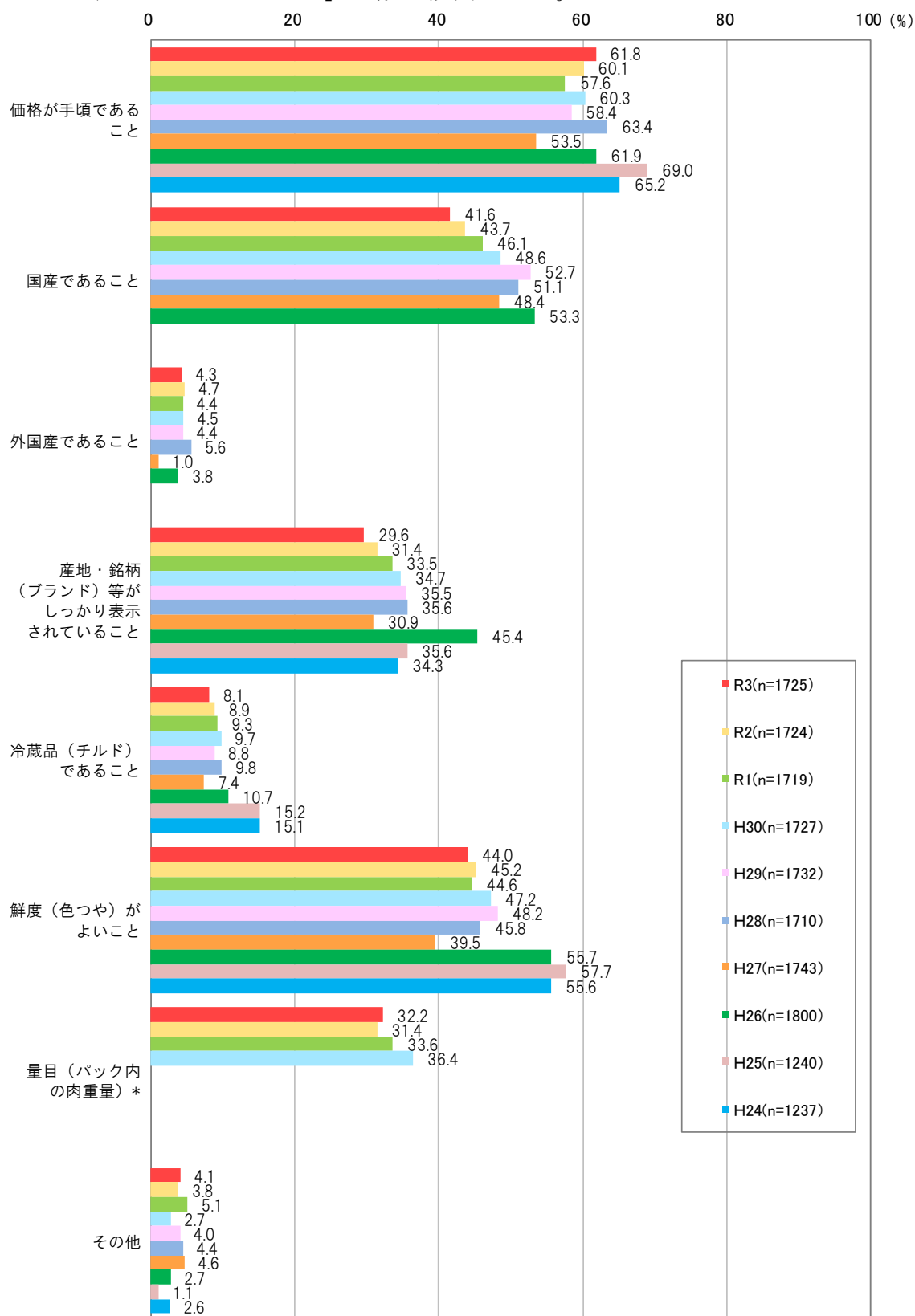
図表 103 豚肉購入時に重視する項目



図表 104 鶏肉購入時に重視する項目

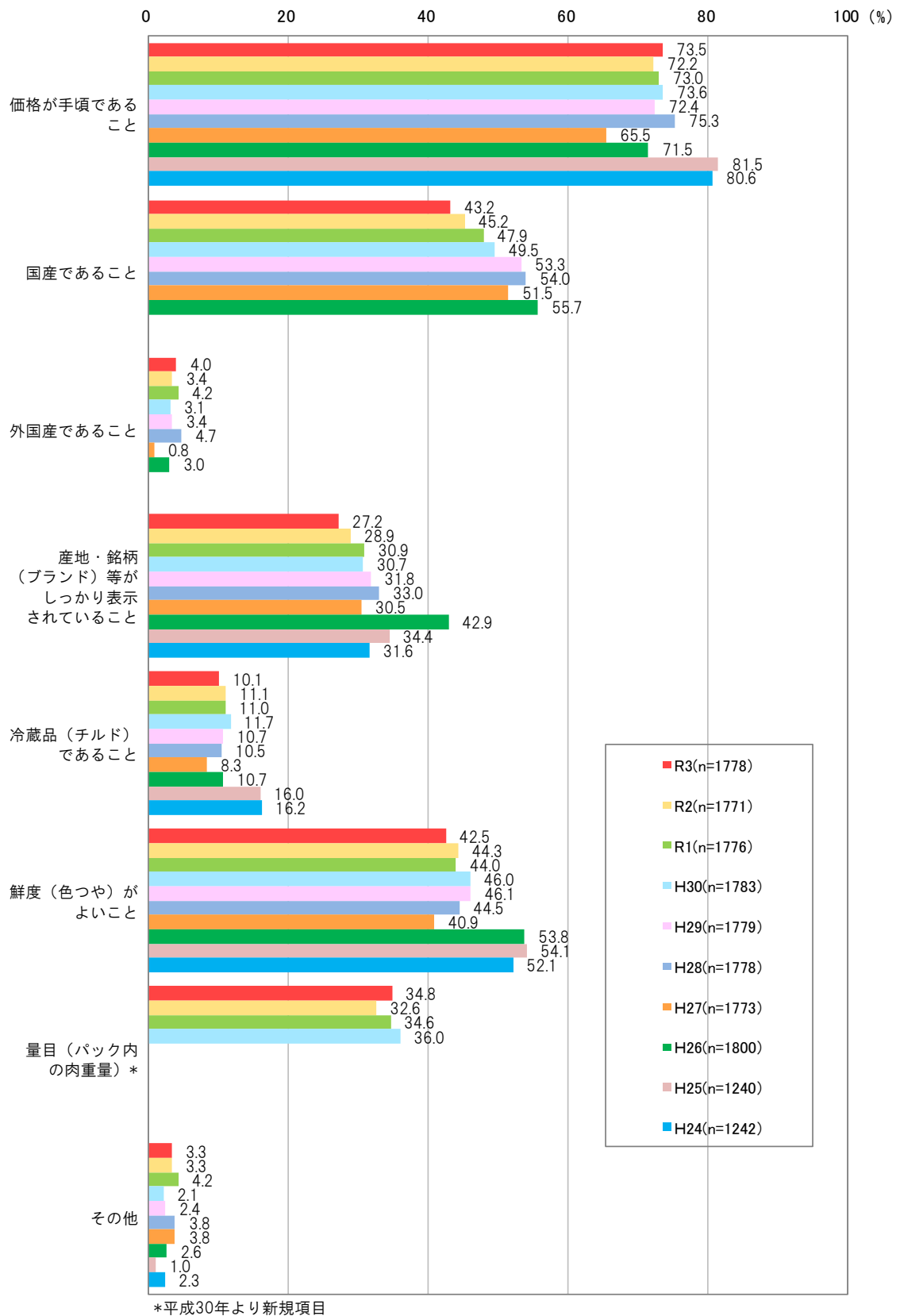
【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも、「価格が手頃であること」が昨年度より増加し、「国産であること」「産地・銘柄（ブランド）等がしっかり表示されていること」が減少傾向にある。

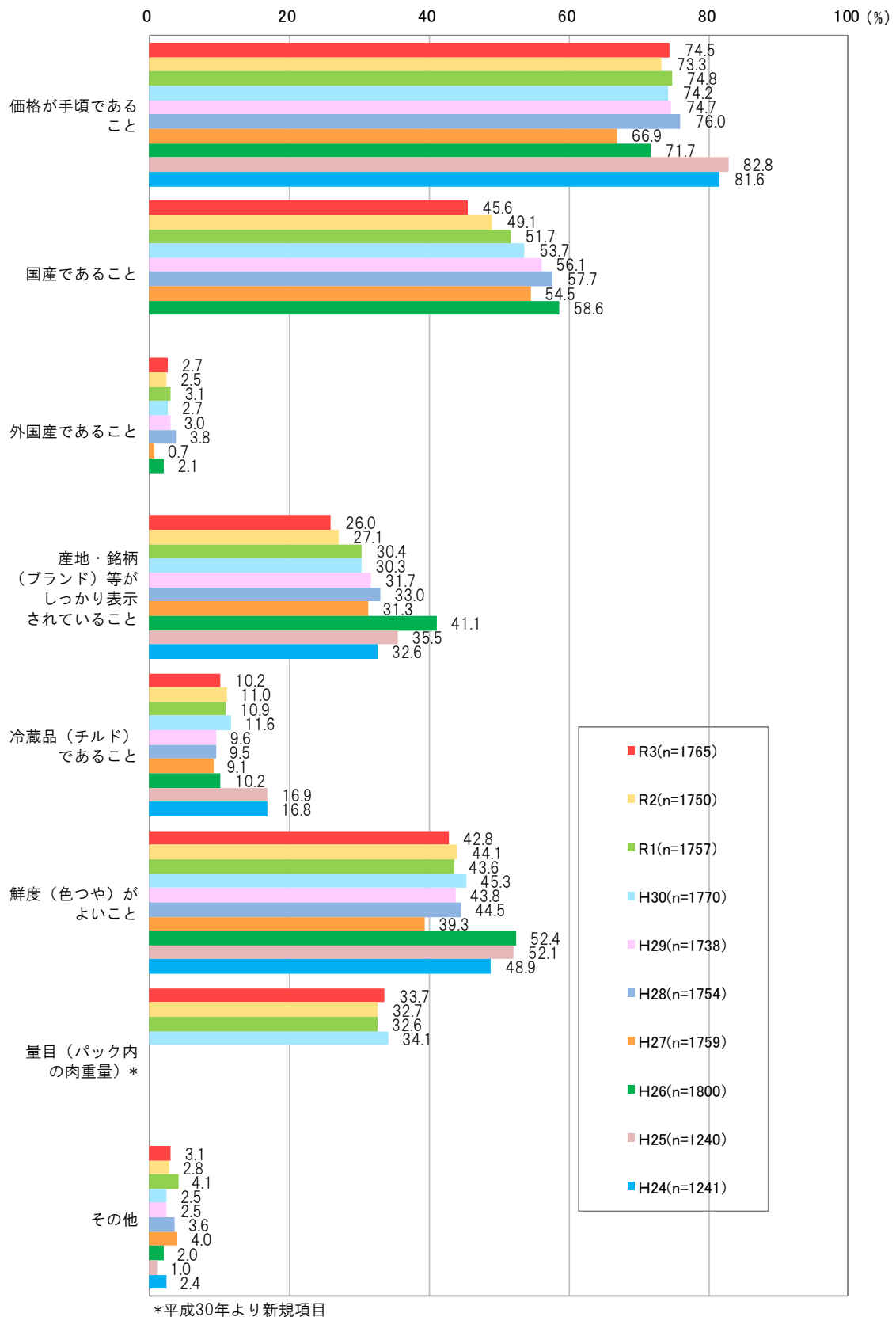


*平成30年より新規項目

図表 105 牛肉購入時に重視する項目（経年変化）



図表 106 豚肉購入時に重視する項目（経年変化）



図表 107 鶏肉購入時に重視する項目（経年変化）

6) 昨年同期と比べた最近 1 か月の食肉購入回数の変化 (Q9)

- 食肉全体で「増えた計」は 12.6%。一方「減った計」は 11.4%。
- 過年度調査と比較すると、昨年度と比べて、食肉全体、食肉の種類別にみても大きな変化は見られない。

【今年度調査】

昨年同期と比べた最近 1 か月間の食肉購入回数の変化を聞いたところ、食肉全体では「増えた計（増えた＋やや増えた）」は 12.6%、「減った計（減った＋やや減った）」は 11.4%。「変わらない」は 70.5%。

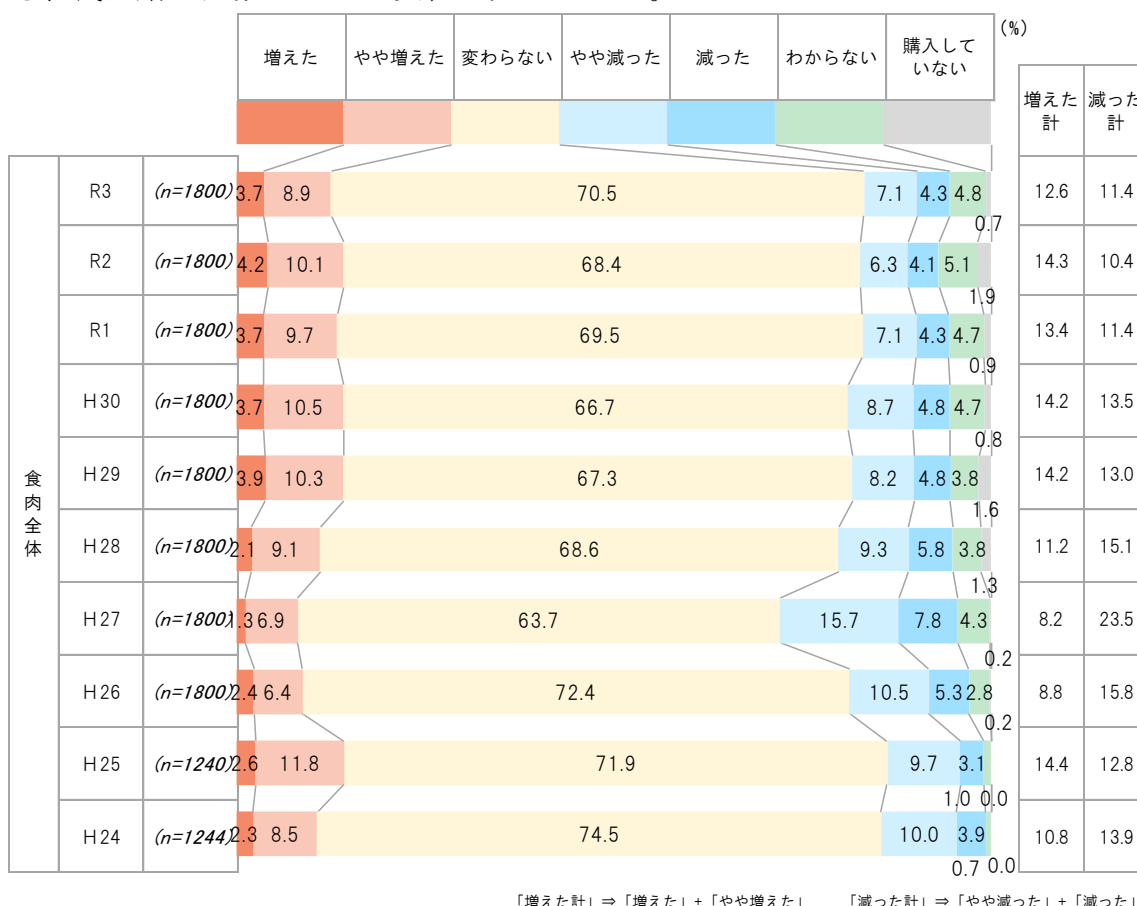
牛肉では、「増えた計」が最も多いのは国産和牛で 8.6%、「減った計」が最も多いのは、輸入牛肉で 16.6%。

豚肉では、「増えた計」が国産豚肉で 11.9%、輸入豚肉では 7.4%。「減った計」は、国産豚肉で 10.7%、輸入豚肉で 11.9%。

鶏肉では、「増えた計」が国産鶏肉で 13.5%、輸入鶏肉では 7.0%。「減った計」は、国産鶏肉で 9.9%、輸入鶏肉で 12.1%。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度と比べて、食肉全体、食肉の種類別にみても、食肉購入回数に大きな変化は見られない。

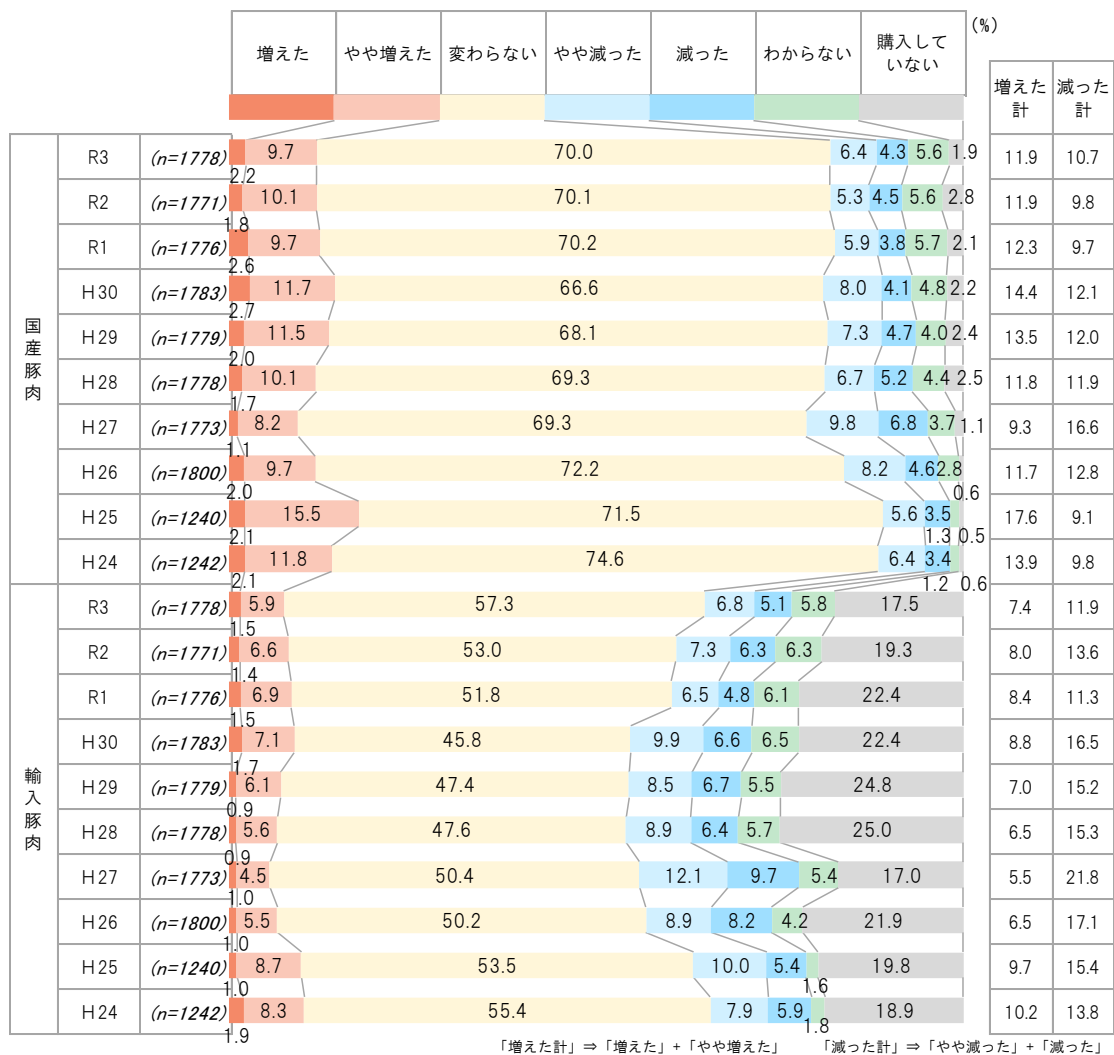


図表 108 昨年同期と比べた最近 1 か月の食肉購入回数の変化 (食肉全体)

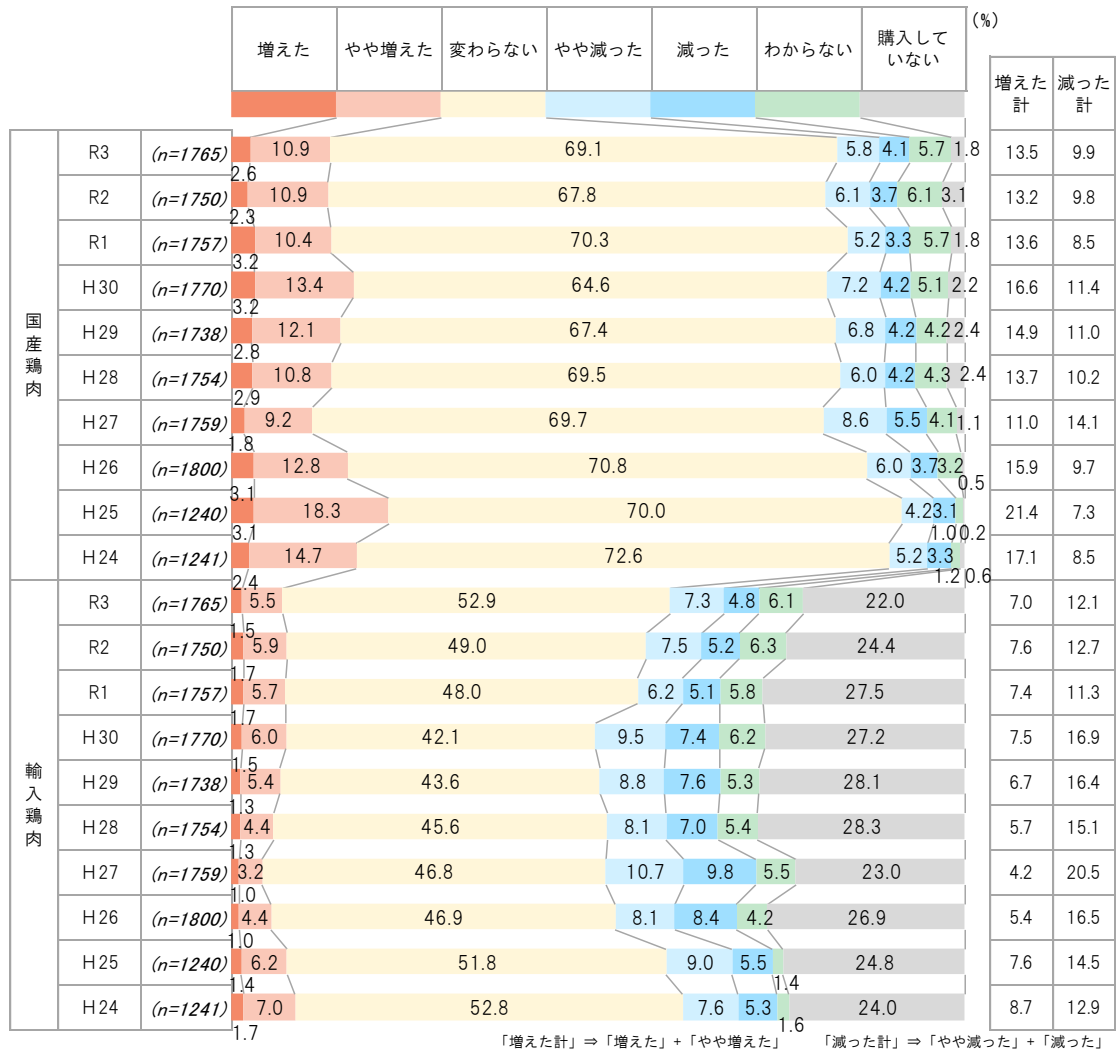
		増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入していない	(%)	増えた計	減った計	
国産和牛	R3 (n=1725)	7.2		60.2			8.2	6.9	5.4	10.7	8.6	15.1
	R2 (n=1724)	7.4		59.5			7.5	6.4	6.0	11.6	9.0	13.9
	R1 (n=1719)	6.7		58.8			9.1	8.2	5.6	9.7	8.4	17.3
	H30 (n=1727)	7.1		55.3			10.7	10.5	5.4	9.4	8.7	21.2
	H29 (n=1732)	7.4		56.5			10.1	9.5	4.2	10.6	9.2	19.6
	H28 (n=1710)	6.7		57.1			10.8	10.0	4.3	9.5	8.3	20.8
	H27 (n=1743)	4.3		58.2			14.9	13.5	4.6	3.2	5.5	28.4
	H26 (n=1800)	5.3		62.8			11.5	10.9	3.7	3.8	7.4	22.4
	H25 (n=1240)	7.7		58.5			13.1	10.0	2.3	6.5	9.5	23.1
	H24 (n=1237)	5.9		63.0			10.2	11.2	2.5	6.1	7.0	21.4
和牛以外の国産牛肉	R3 (n=1725)	4.6		63.8			8.1	6.5	6.7	8.8	6.2	14.6
	R2 (n=1724)	5.3		60.7			8.5	5.7	6.7	11.7	6.6	14.2
	R1 (n=1719)	5.6		59.6			8.7	7.5	6.4	10.7	7.1	16.2
	H30 (n=1727)	6.1		56.2			9.4	10.2	6.7	10.1	7.4	19.6
	H29 (n=1732)	6.1		57.7			10.7	8.8	5.4	10.4	7.0	19.5
	H28 (n=1710)	4.5		57.9			10.6	9.9	5.8	10.2	5.6	20.5
	H27 (n=1743)	2.6		59.0			15.6	12.9	5.3	3.7	3.4	28.5
	H26 (n=1800)	5.1		62.1			11.1	9.4	5.2	6.2	6.0	20.5
	H25 (n=1240)	5.6		63.4			13.1	8.9	2.9	5.1	6.6	22.0
	H24 (n=1237)	4.6		65.8			11.2	9.7	3.6	4.8	4.9	20.9
和牛かどうかわからない国産牛肉	R3 (n=1725)	3.9		57.5		7.0	6.0	8.4	15.9	5.2	13.0	
	R2 (n=1724)	4.1		55.6		7.3	6.2	7.5	18.2	5.3	13.5	
	R1 (n=1719)	4.1		52.6		6.9	6.5	8.3	20.2	5.5	13.4	
	H30 (n=1727)	4.3		49.4		8.3	9.6	8.4	18.9	5.4	17.9	
	H29 (n=1732)	3.4		50.9		10.4	8.3	8.0	18.1	4.4	18.7	
	H28 (n=1710)	3.2		52.6		9.1	8.5	7.5	18.2	4.1	17.6	
	H27 (n=1743)	2.2		50.9		12.9	13.7	8.6	11.2	2.7	26.6	
	H26 (n=1800)	3.3		54.6		9.4	10.1	7.1	14.9	3.9	19.5	
	H25											
	H24											
輸入牛肉	R3 (n=1725)	5.6		55.0		8.9	7.7	5.8	15.5	7.0	16.6	
	R2 (n=1724)	6.7		52.5		8.8	7.7	5.7	17.1	8.3	16.5	
	R1 (n=1719)	8.4		50.1		7.3	7.7	5.9	18.5	10.4	15.0	
	H30 (n=1727)	8.7		46.1		8.4	10.0	5.8	19.8	9.9	18.4	
	H29 (n=1732)	6.9		47.7		9.7	9.5	5.6	19.6	7.8	19.2	
	H28 (n=1710)	6.6		48.2		8.5	9.5	4.9	20.8	8.1	18.0	
	H27 (n=1743)	5.1		47.8		12.3	13.4	6.3	14.2	6.0	25.7	
	H26 (n=1800)	6.8		51.9		8.9	10.9	4.2	16.6	7.5	19.8	
	H25 (n=1240)	9.7		51.5		12.8	9.0	2.0	14.0	10.8	21.8	
	H24 (n=1237)	7.9		54.2		11.6	9.1	2.7	12.8	9.5	20.7	

「増えた計」⇒「増えた」+「やや増えた」 「減った計」⇒「やや減った」+「減った」

図表 109 昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化（牛肉全体）



図表 110 昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化（豚肉全体）



図表 111 昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化（鶏肉全体）

7) 食品の購入回数の変化 (Q10)

- ▶ 最近1カ月間の購入回数が「増えた食品」は、「パン」20.3%、「野菜」20.0%、「米」19.1%、「卵」17.9%、「果物」15.8%。逆に「減った食品」は、「ファストフード」20.9%、「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」15.1%、「弁当・惣菜類」13.2%、「菓子類」11.8%。
- ▶ 過年度調査と比較すると、昨年度より「増えた食品」はないが、「減った食品」では、「米」「弁当・惣菜類」「ファストフード」「菓子類」が減少傾向。

【今年度調査】

昨年同期と比べて最近1カ月間の購入回数が「増えた食品」は、「パン」20.3%、「野菜」20.0%、「米」19.1%、「卵」17.9%、「果物」15.8%の順に多く、次いで「冷凍食品」15.7%、「菓子類」15.5%、「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」15.4%が続く。増えたものは「いずれもない」が46.0%である。

逆に、最近1カ月間の購入回数が「減った食品」は、「ファストフード」20.9%、「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」15.1%、「弁当・惣菜類」13.2%、「菓子類」11.8%の順に多い。減ったものは「いずれもない」が51.8%である。

「増えた計」と「減った計」の差分で見ると、増加率の方が多い食品は、「野菜」13.2%、「卵」12.9%、「パン」9.7%、「米」9.4%である。逆に、減少率の方が多い食品は、「ファストフード」-14.2%、「弁当・惣菜類」-1.6%である。

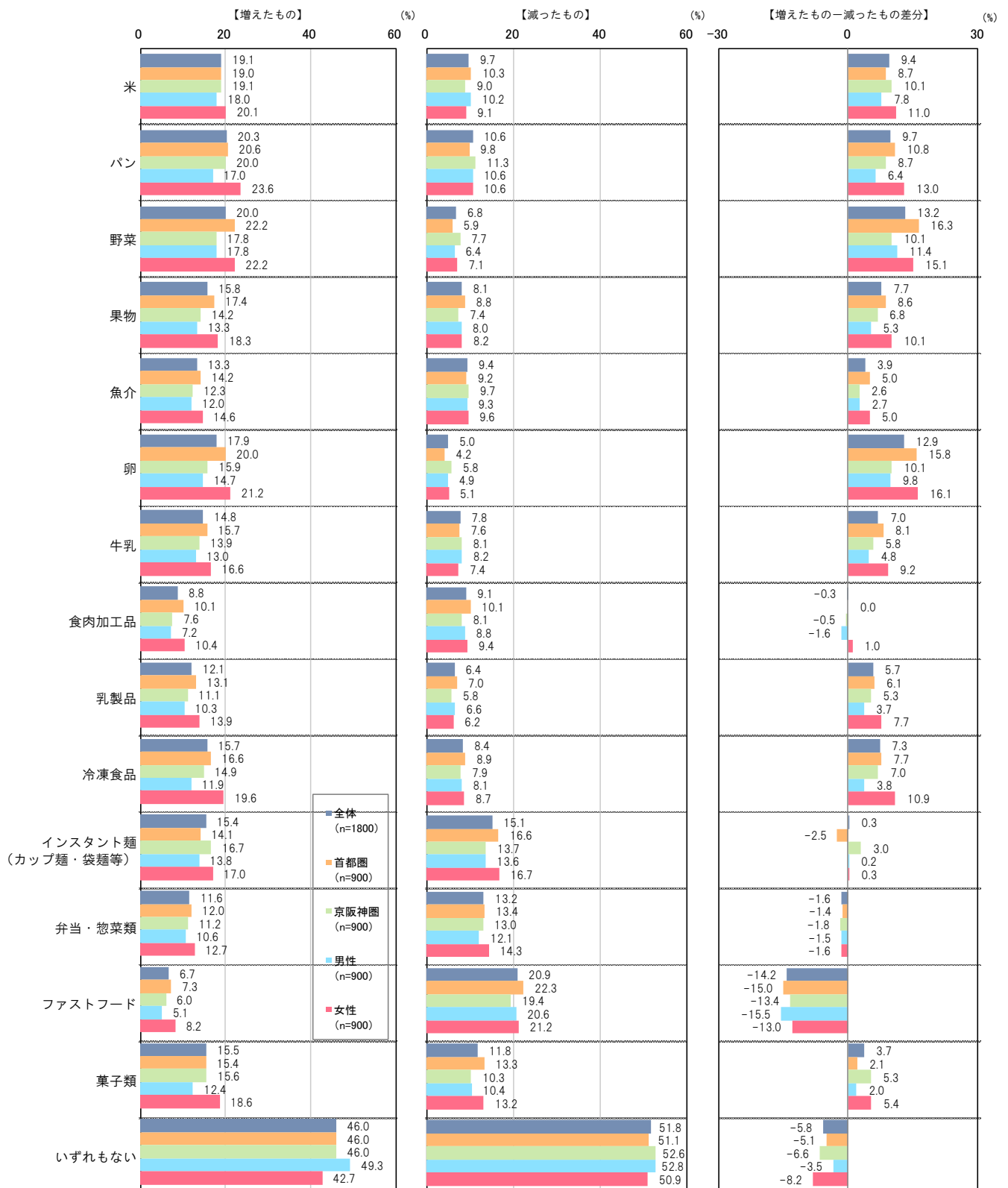
エリア別に見ると、「増えた食品」では、「野菜」（首都圏22.2%>京阪神圏17.8%）、「卵」（首都圏20.0%>京阪神圏15.9%）は京阪神圏より首都圏の方が多し。「減った食品」では、エリア別に大きな違いは見られない。

男女別に見ると、「増えた食品」では、「パン」（男性17.0%<女性23.6%）、「野菜」（男性17.8%<女性22.2%）、「果物」（男性13.3%<女性18.3%）、「卵」（男性14.7%<女性21.2%）、「冷凍食品」（男性11.9%<女性19.6%）、「菓子類」（男性12.4%<女性18.6%）が男性より女性の方が多くなっている。「減った食品」では、「ファストフード」は男性が20.6%、女性が21.2%と差がないが、「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」（男性13.6%<女性16.7%）、「弁当・惣菜類」（男性12.1%<女性14.3%）では男性より女性の方が多い。

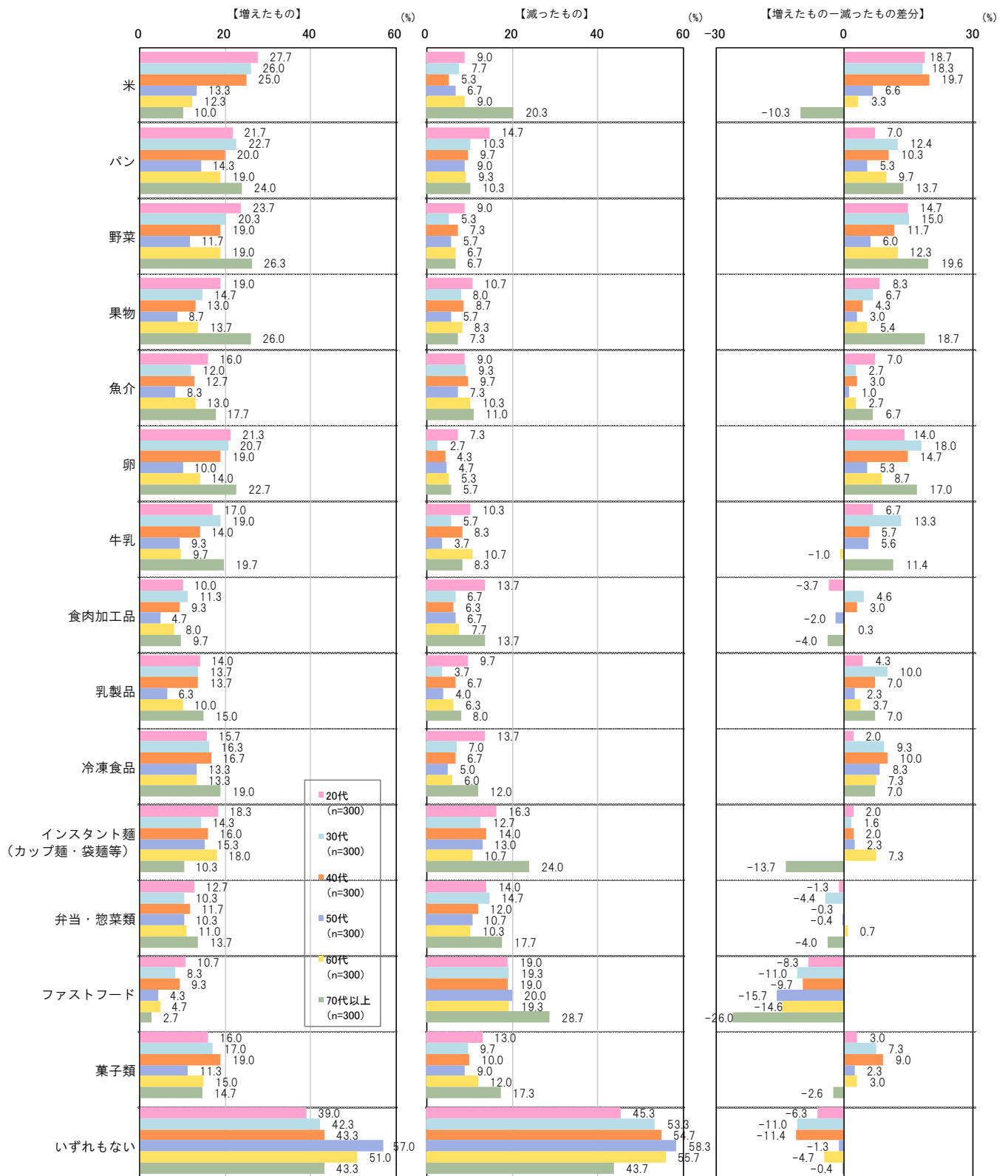
年代別に見ると、「増えた食品」では、「米」は若い世代の方が多くなっており、「パン」「野菜」「果物」「卵」「牛乳」は70代以上で多くなっている。一方、「減った食品」では、「米」「食肉加工品」「ファストフード」「菓子類」以外の食品で20代が最も多く、「米」「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」「弁当・惣菜類」「ファストフード」「菓子類」は70代以上で最も多くなっている。

【過年度調査との比較】

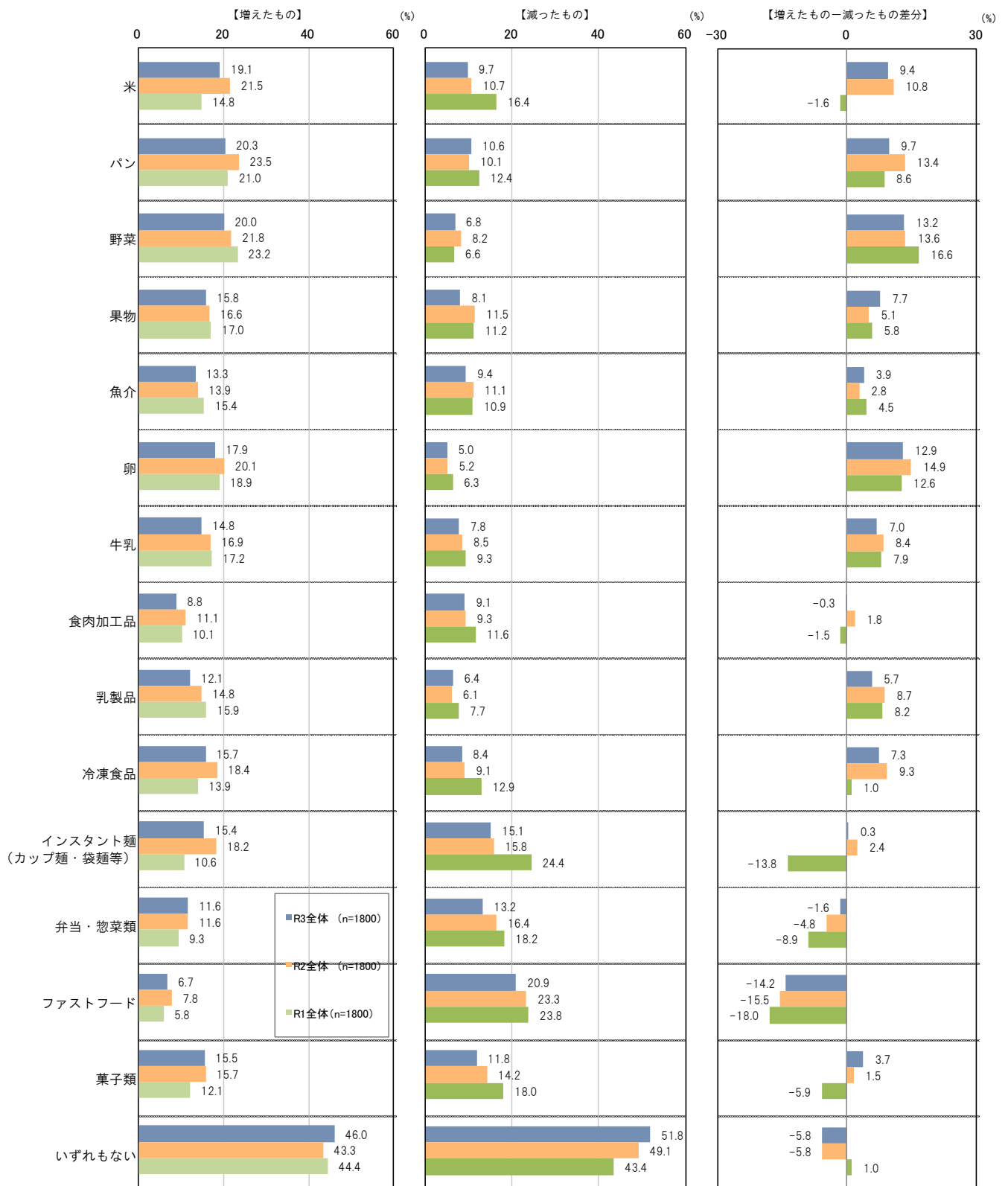
過年度調査と比較すると、昨年度より「増えた食品」はないが、「減った食品」では、「米」「弁当・惣菜類」「ファストフード」「菓子類」が減少傾向にある。



図表 112 昨年同期と比べた最近1か月の食品購入回数の変化
(全体・エリア・性別/複数回答)



図表 113 昨年同期と比べた最近1か月の食品購入回数の変化（年代別／複数回答）



図表 114 昨年同期と比べた最近1か月の食品購入回数の変化（経年変化）

8) 各種牛肉の購入意向 (Q11)

- ▶ 牛肉の購入意向は、「国産和牛」が最も高く 70.8%。次いで「和牛以外の国産牛肉」が 60.9%。
- ▶ 過年度調査と比較すると、「国産和牛」「和牛以外の国産牛肉」「アメリカ産牛肉」「オーストラリア産牛肉」いずれも大きな変化なし。

【今年度調査】

「購入したい（非常に購入したい+購入したい+やや購入したい）」では、「国産和牛」が 70.8%、「和牛以外の国産牛肉」が 60.9%の順で高い。一方で「購入したくない（あまり購入したくない+購入したくない+まったく購入したくない）」は、「アメリカ産牛肉」が 26.9%、「オーストラリア産牛肉」が 22.9%の順で高い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「国産和牛」「和牛以外の国産牛肉」「アメリカ産牛肉」「オーストラリア産牛肉」いずれも大きな変化は見られない。

		n	購入意向 (%)							購入したい計	購入したくない計
			非常に購入したい	購入したい	やや購入したい	どちらでもない	あまり購入したくない	購入したくない	まったく購入したくない		
国産和牛	R3	(n=1800)	17.1	31.1	22.6	22.7	3.7	0.8	70.8	6.7	
	R2	(n=1800)	15.6	29.8	24.2	23.4	3.6	1.0	69.6	7.0	
	R1	(n=1800)	18.9	32.7	21.8	21.0	2.8	0.9	73.4	5.6	
	H30	(n=1800)	21.7	34.0	23.6	15.5	2.4	0.8	79.3	5.1	
	H29	(n=1800)	18.6	33.6	25.0	17.2	2.6	1.1	77.2	5.6	
	H28	(n=1800)	17.4	31.3	25.2	18.4	3.4	1.1	73.9	7.5	
	H27	(n=1800)	5.4	25.7	34.8	28.8	2.9	1.8	65.9	5.2	
和牛以外の国産牛肉	R3	(n=1800)	7.4	25.8	27.7	29.9	4.6	3.2	60.9	9.2	
	R2	(n=1800)	7.1	23.4	28.1	31.2	5.5	3.3	58.6	10.3	
	R1	(n=1800)	8.3	24.6	26.5	29.9	5.1	3.3	59.4	10.7	
	H30	(n=1800)	9.6	27.7	30.4	23.2	4.8	2.9	67.7	9.1	
	H29	(n=1800)	7.3	27.9	30.5	25.1	4.6	2.8	65.7	9.2	
	H28	(n=1800)	6.2	24.1	29.6	28.2	6.3	3.7	59.9	12.0	
	H27	(n=1800)	2.2	13.3	27.0	43.8	8.7	2.6	42.5	13.7	
アメリカ産牛肉	R3	(n=1800)	3.6	12.4	20.8	36.3	13.3	4.9	36.8	26.9	
	R2	(n=1800)	2.2	9.7	23.1	35.4	14.7	5.7	35.0	29.7	
	R1	(n=1800)	4.4	11.8	19.8	33.8	13.3	6.6	36.0	30.2	
	H30	(n=1800)	3.5	10.9	21.6	32.7	14.9	5.8	36.0	31.3	
	H29	(n=1800)	2.9	10.9	21.1	34.0	14.8	6.8	34.9	31.1	
	H28	(n=1800)	2.4	8.8	20.4	34.3	15.1	7.4	31.6	34.1	
	H27	(n=1800)	6.6	19.1	39.9	17.3	7.4	8.2	27.2	32.9	
オーストラリア産牛肉	R3	(n=1800)	3.2	13.6	24.1	36.2	11.7	4.0	40.9	22.9	
	R2	(n=1800)	2.9	11.6	25.3	35.0	13.1	4.6	39.8	25.2	
	R1	(n=1800)	5.3	12.9	23.3	34.9	10.8	5.1	41.5	23.5	
	H30	(n=1800)	4.2	12.9	26.6	31.7	12.2	4.5	43.7	24.6	
	H29	(n=1800)	3.3	13.4	25.7	34.1	11.6	4.7	42.4	23.5	
	H28	(n=1800)	2.9	12.3	24.2	35.4	11.6	5.2	39.4	25.2	
	H27	(n=1800)	7.4	23.7	41.3	13.8	5.9	6.3	32.8	26.0	

「購入したい計」⇒「非常に購入したい」+「購入したい」+「やや購入したい」
 「購入したくない計」⇒「あまり購入したくない」+「購入したくない」+「まったく購入したくない」

図表 115 各種牛肉の購入意向

9) 各種牛肉の購入頻度 (Q12)

- ▶ 各種牛肉の購入頻度は、「週に1日以上購入計」では、国産和牛 23.5% > 和牛以外の国産牛肉 19.9% > アメリカ産牛肉 14.3% > オーストラリア産牛肉 14.2%の順に多い。
- ▶ 過年度調査と比較すると、昨年度と比べて、各種牛肉の購入頻度に大きな変化は見られない。

【今年度調査】

各種牛肉の購入頻度は、国産和牛は、「ほぼ毎日」が 1.3%、「週に4~5日程度」が 0.9%、「週に2~3日」が 6.6%、「週に1日程度」が 14.7%であり、「週に1日以上購入計」が 23.5%となっており、「購入していない」が 14.3%である。

和牛以外の国産牛肉の購入頻度は、「ほぼ毎日」が 1.0%、「週に4~5日程度」が 1.1%、「週に2~3日」が 4.5%、「週に1日程度」が 13.3%であり、「週に1日以上購入計」が 19.9%となっており、「購入していない」が 14.1%である。

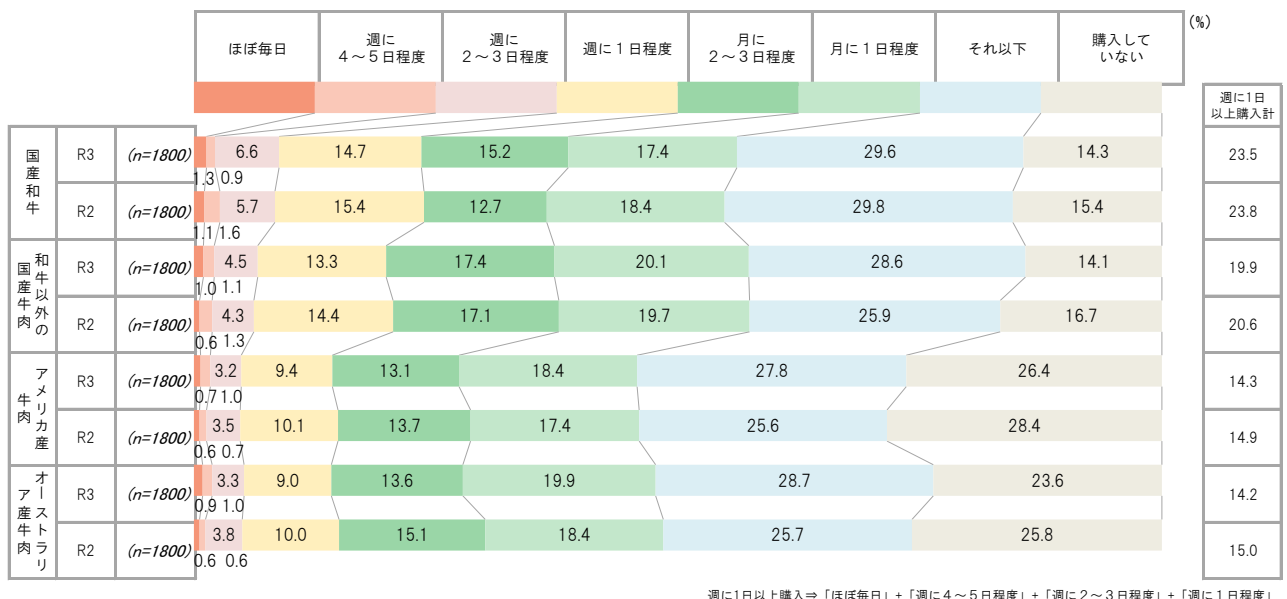
アメリカ産牛肉の購入頻度は、「ほぼ毎日」が 0.7%、「週に4~5日程度」が 1.0%、「週に2~3日」が 3.2%、「週に1日程度」が 9.4%であり、「週に1日以上購入計」が 14.3%となっており、「購入していない」が 26.4%である。

オーストラリア産牛肉の購入頻度は、「ほぼ毎日」が 0.9%、「週に4~5日程度」が 1.0%、「週に2~3日」が 3.3%、「週に1日程度」が 9.0%であり、「週に1日以上購入計」が 14.2%となっており、「購入していない」が 23.6%である。

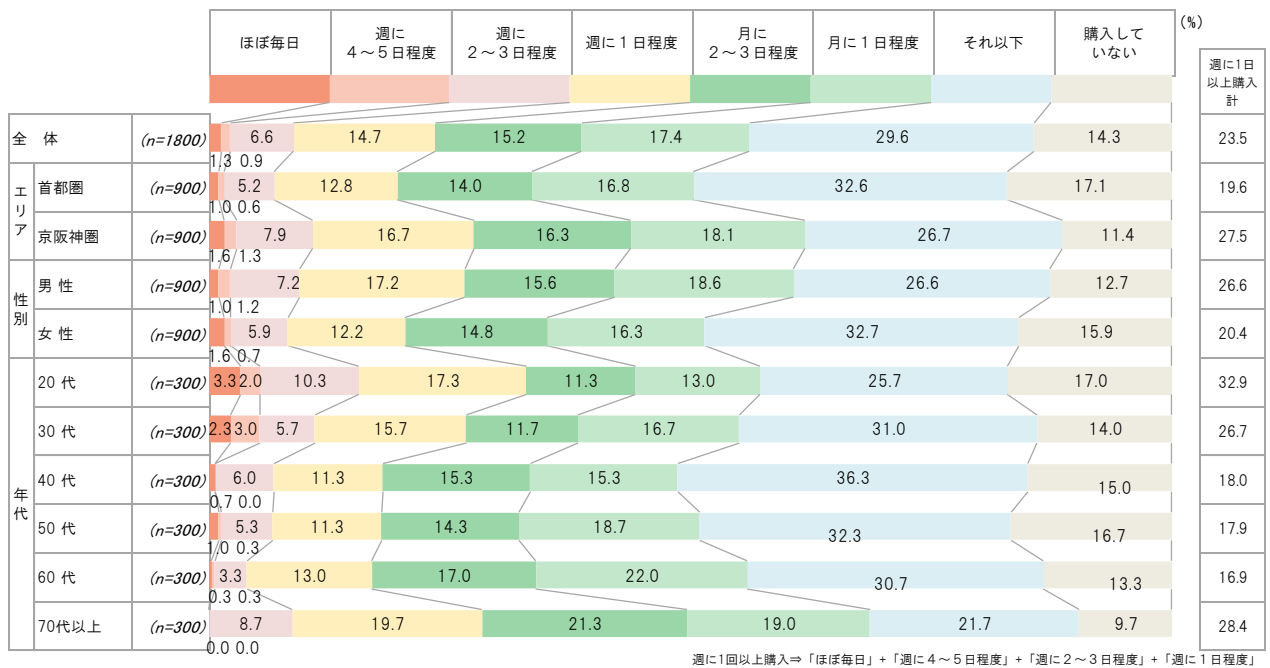
各種牛肉の購入頻度を「週に1日以上購入計」で見ると、国産和牛 23.5% > 和牛以外の国産牛肉 19.9% > アメリカ産牛肉 14.3% > オーストラリア産牛肉 14.2%の順に多くなっている。

【過年度調査との比較】

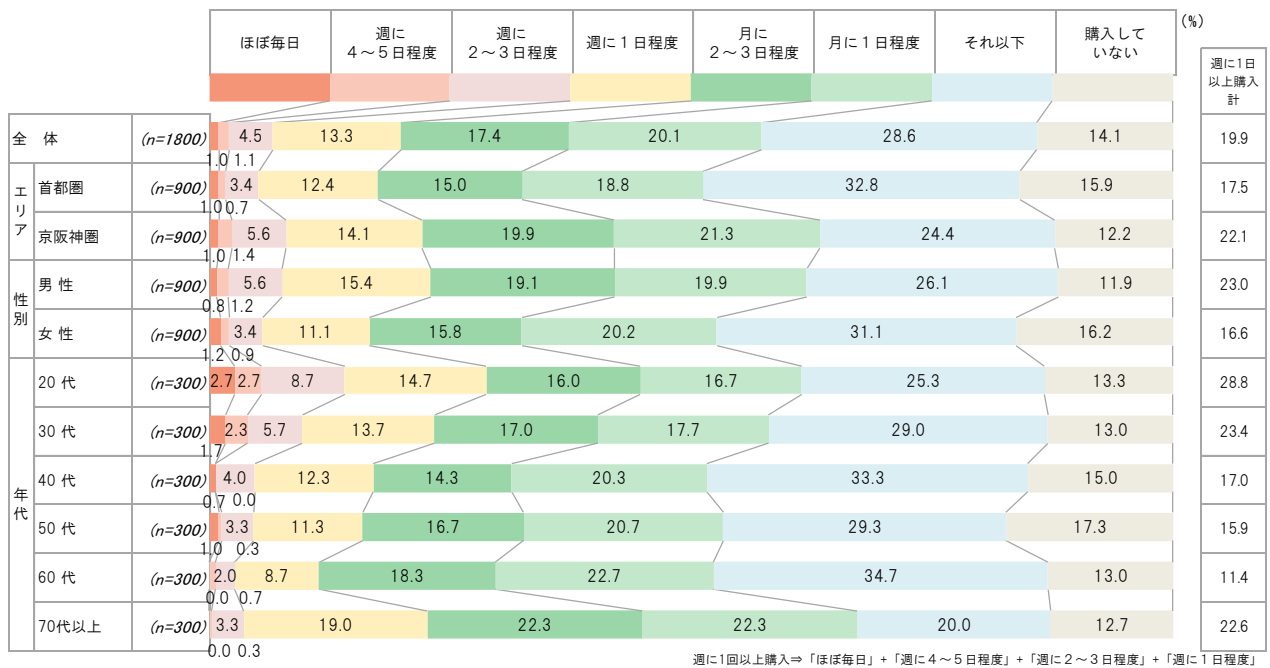
過年度調査と比較すると、昨年度と比べて、各種牛肉の購入頻度に大きな変化は見られない。



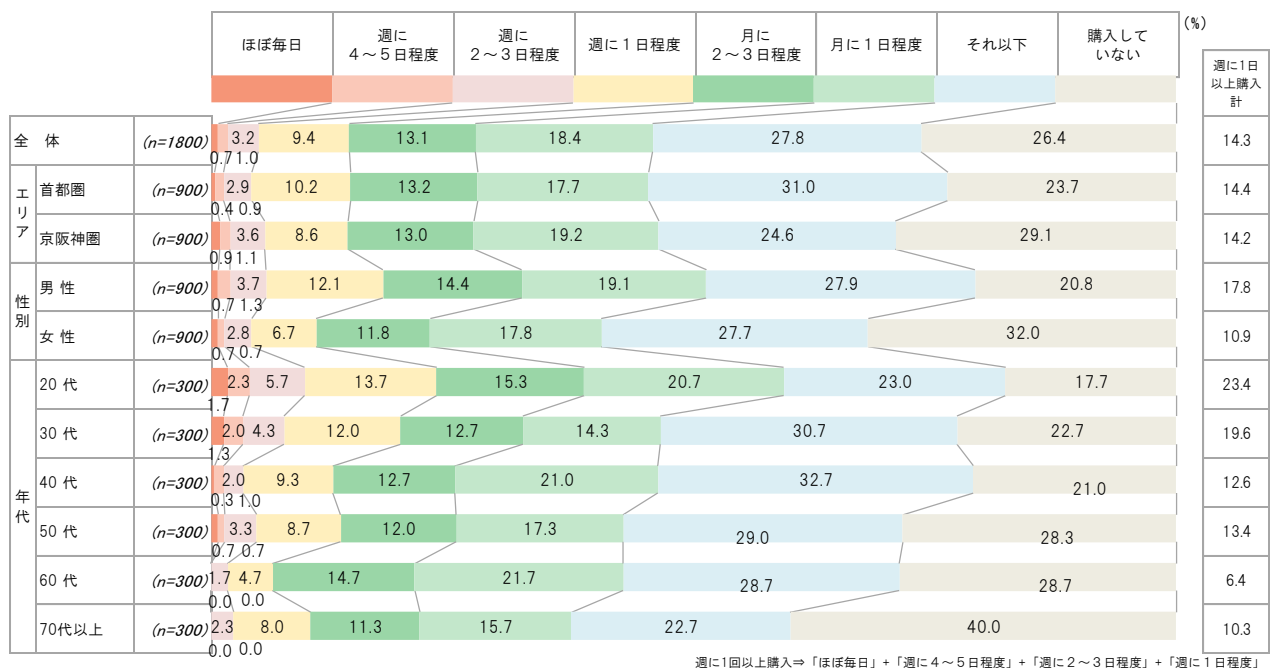
図表 116 国産和牛／和牛以外の国産牛肉と輸入牛肉の購入頻度 (経年変化)



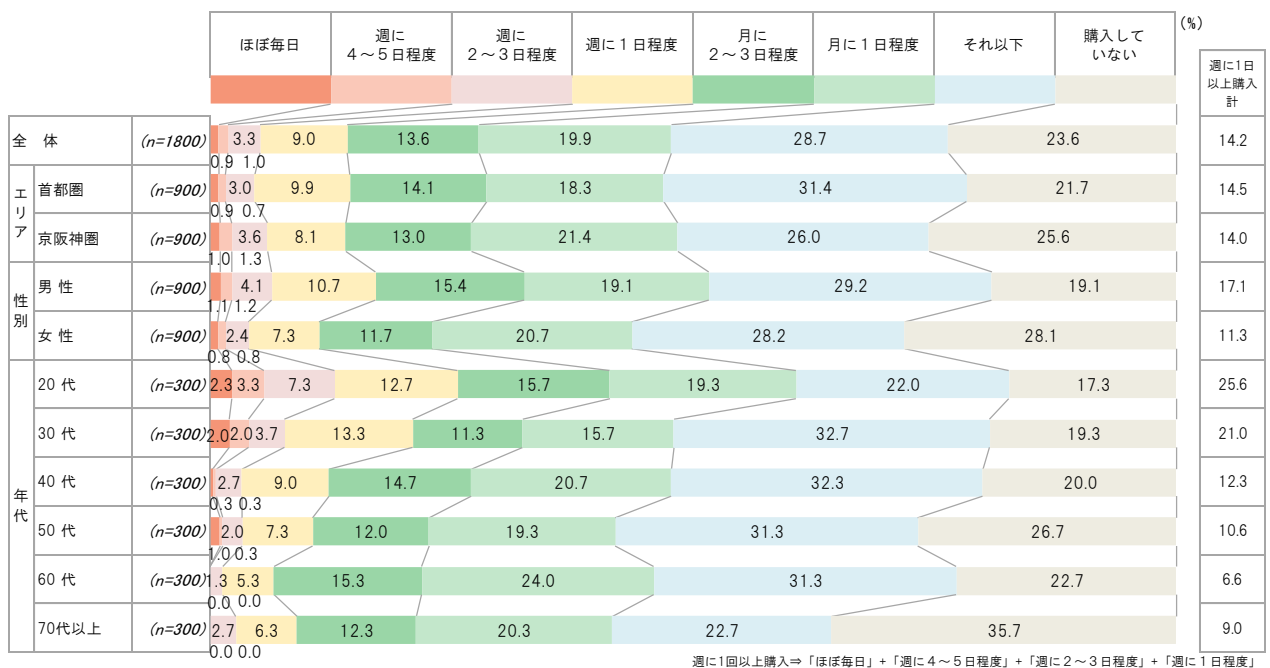
図表 117 国産和牛の購入頻度



図表 118 和牛以外の国産牛肉の購入頻度



図表 119 アメリカ産牛肉の購入頻度



図表 120 オーストラリア産牛肉の購入頻度

10) 各種牛肉のイメージ (Q13)

- ▶ 国産和牛のイメージのTOP3は「柔らかい」「霜降り」「高級品」。
- ▶ 和牛以外の国産牛肉のTOP3は「安心」「安全」「柔らかい」。
- ▶ アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉のTOP3はいずれも「価格が手頃」「特売」「赤身が多い」が多い。
- ▶ 過年度調査と比較すると、昨年度と比べて、各種牛肉のイメージに大きな変化は見られない。

【今年度調査】

各種牛肉のイメージ（複数回答）のTOP3は、国産和牛では「柔らかい」が64.6%、「霜降り」が46.3%、「高級品」が45.2%。

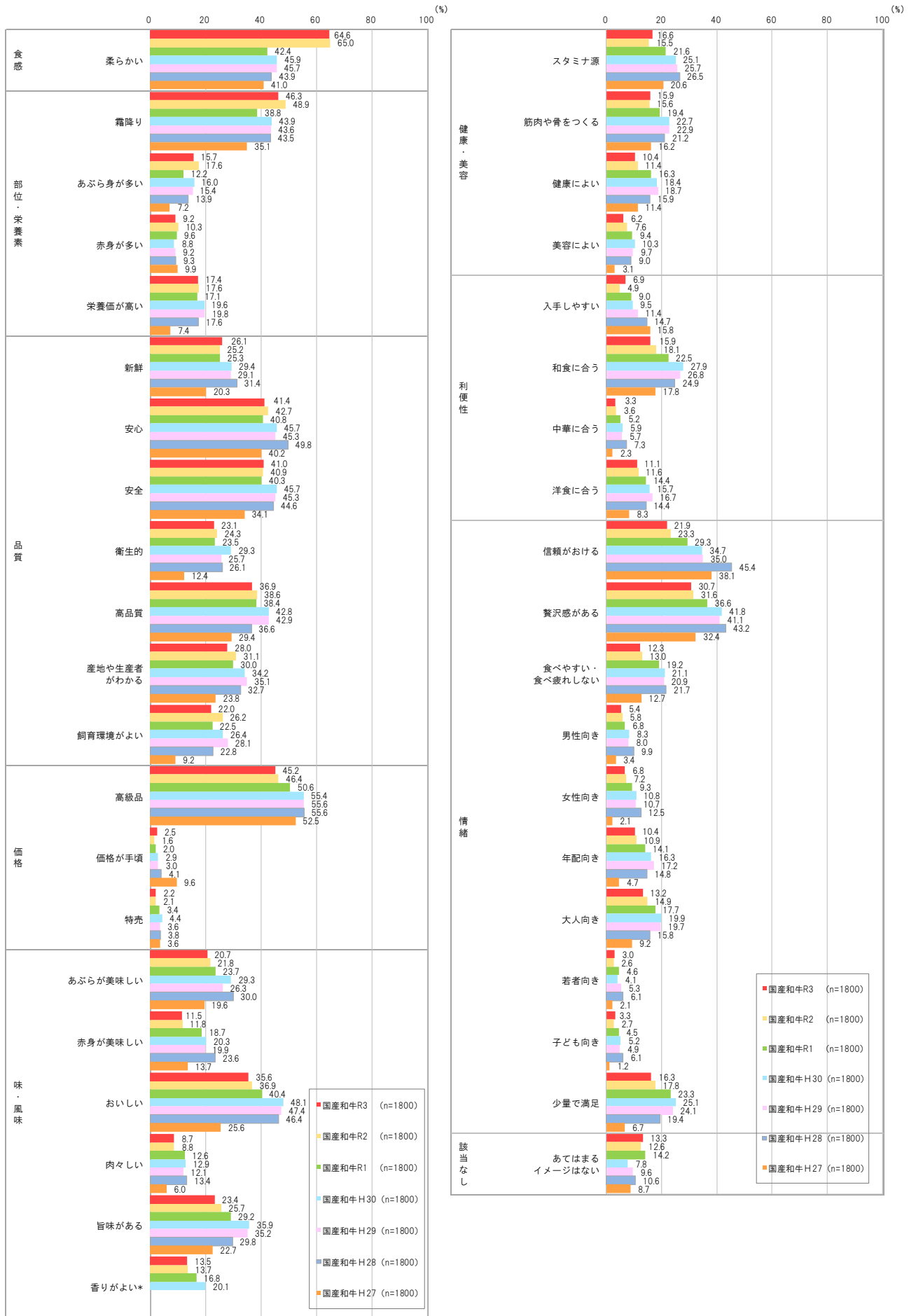
和牛以外の国産牛肉では、「安心」が25.6%、「安全」が23.9%、「柔らかい」が23.3%。

アメリカ産牛肉では「価格が手頃」が44.8%、「特売」が25.5%、「赤身が多い」が25.0%。

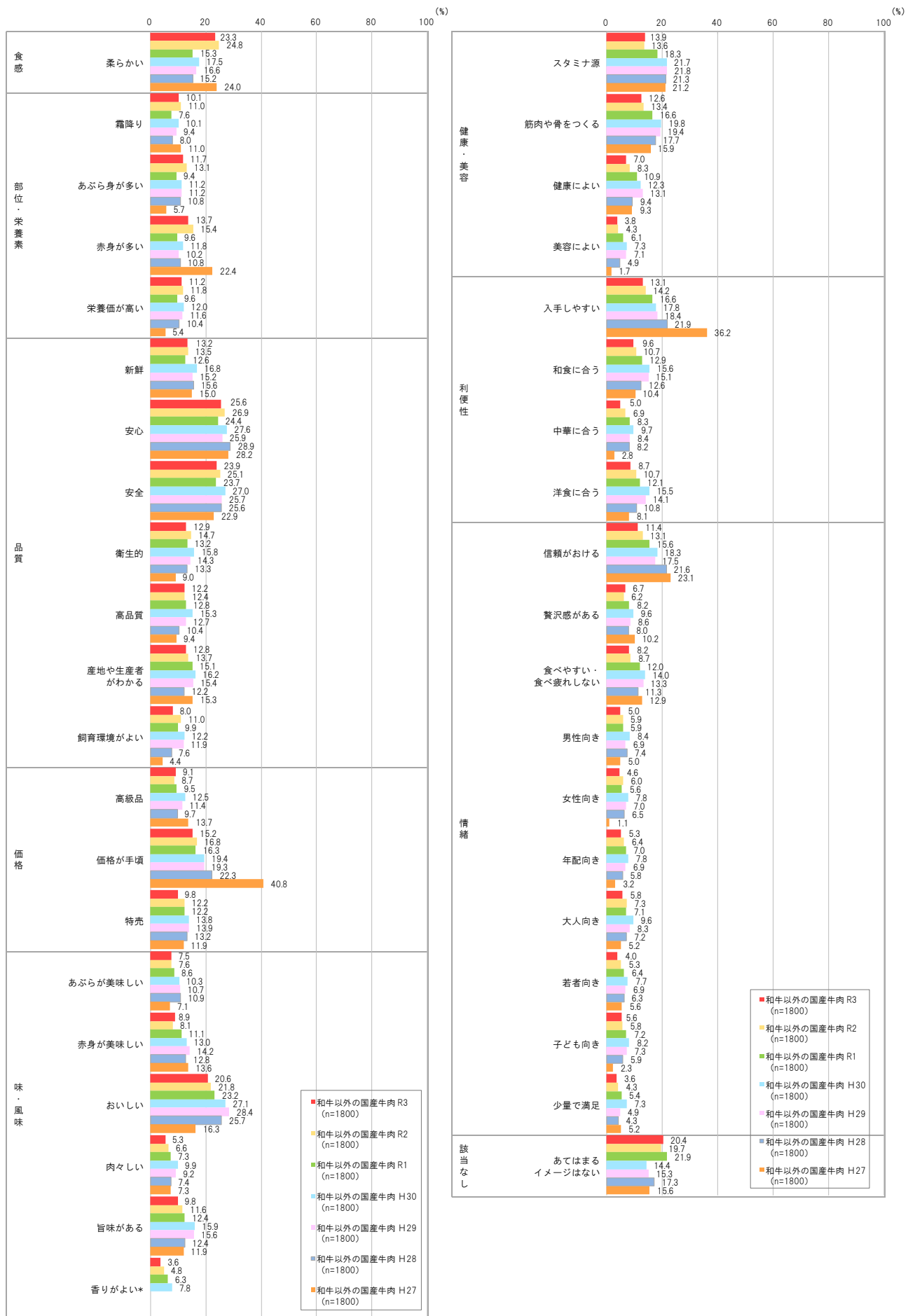
オーストラリア産牛肉ではアメリカ産牛肉と同じく、「価格が手頃」が45.0%、「赤身が多い」が24.7%、「特売」が22.8%。

【過年度調査との比較】

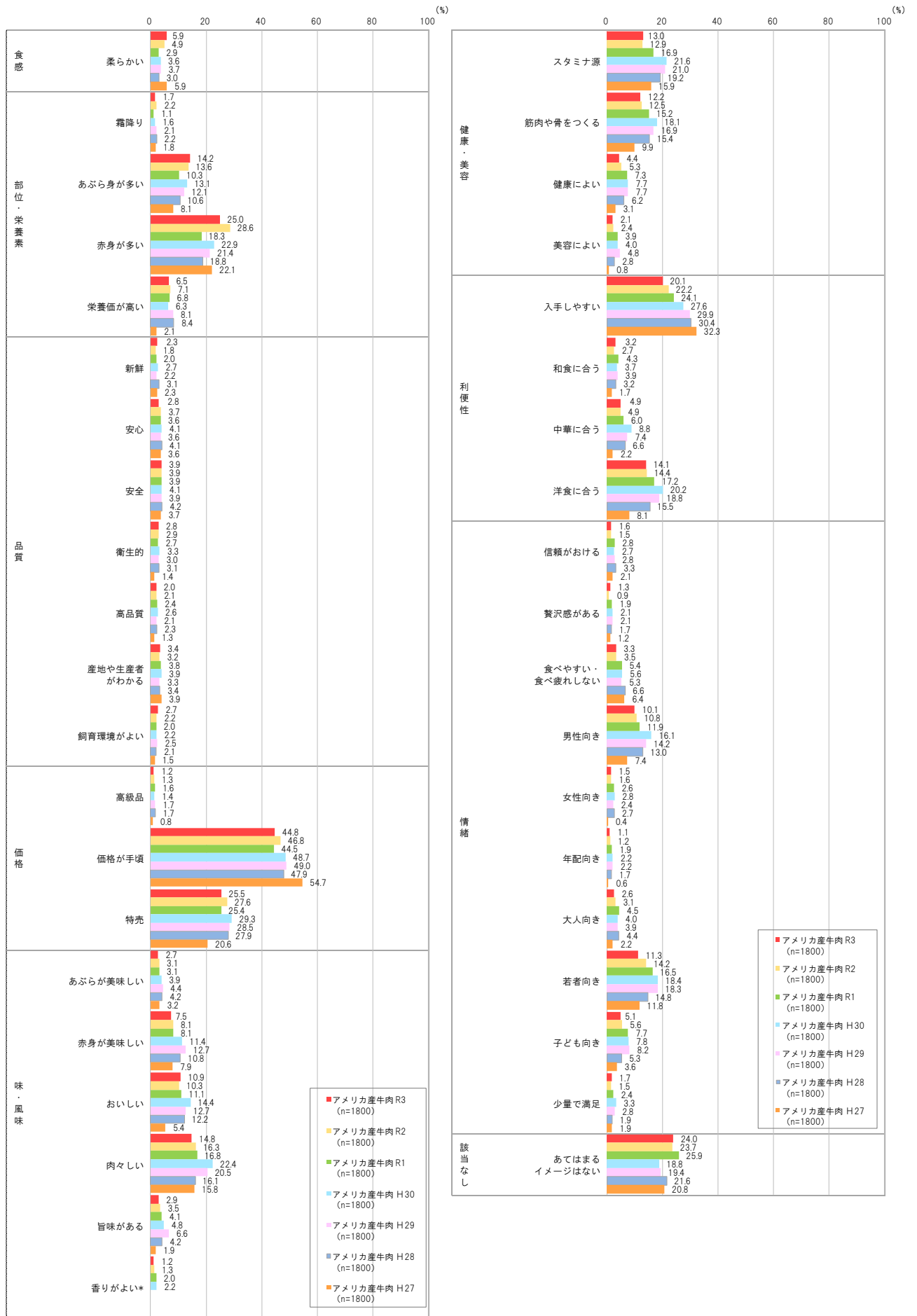
過年度調査と比較すると、昨年度と比べて、各種牛肉のイメージに大きな変化は見られない。



図表 121 国産和牛のイメージ（経年変化）

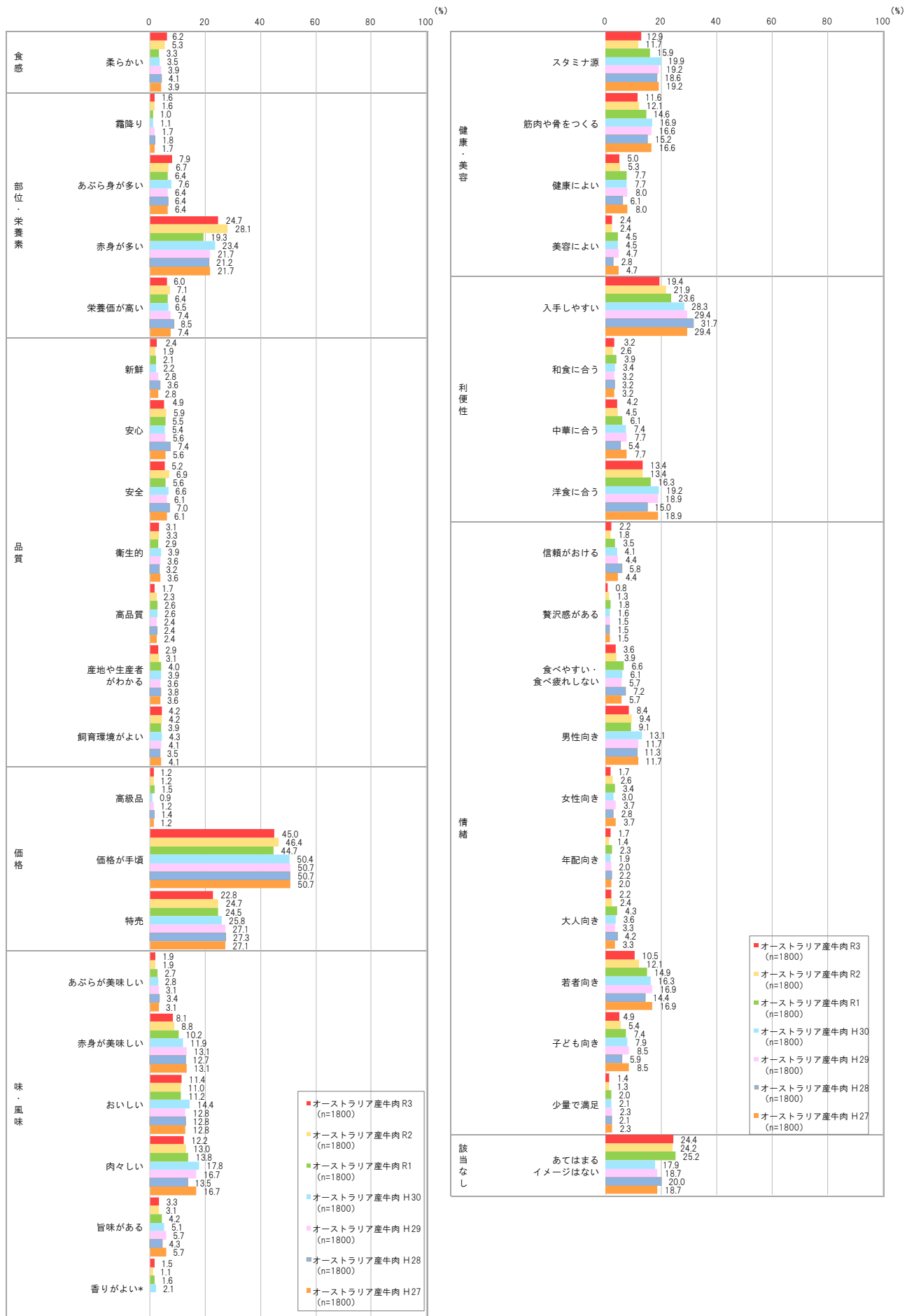


図表 122 和牛以外の国産牛肉のイメージ（経年変化）



*平成30年より新規項目

図表 123 アメリカ産牛肉のイメージ（経年変化）



図表 124 オーストラリア産牛肉のイメージ（経年変化）

11) 国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（Q14）

- 「割高でも国産和牛肉を選ぶ」割合は全体の 53.6%。
- 同等の価格なら国産和牛肉を選ぶ」の割合が最も高く、24.1%。
- 過年度調査と比較すると、「割高でも国産和牛肉を選ぶ」割合は昨年度より減少しており、「同等の価格」が増加。

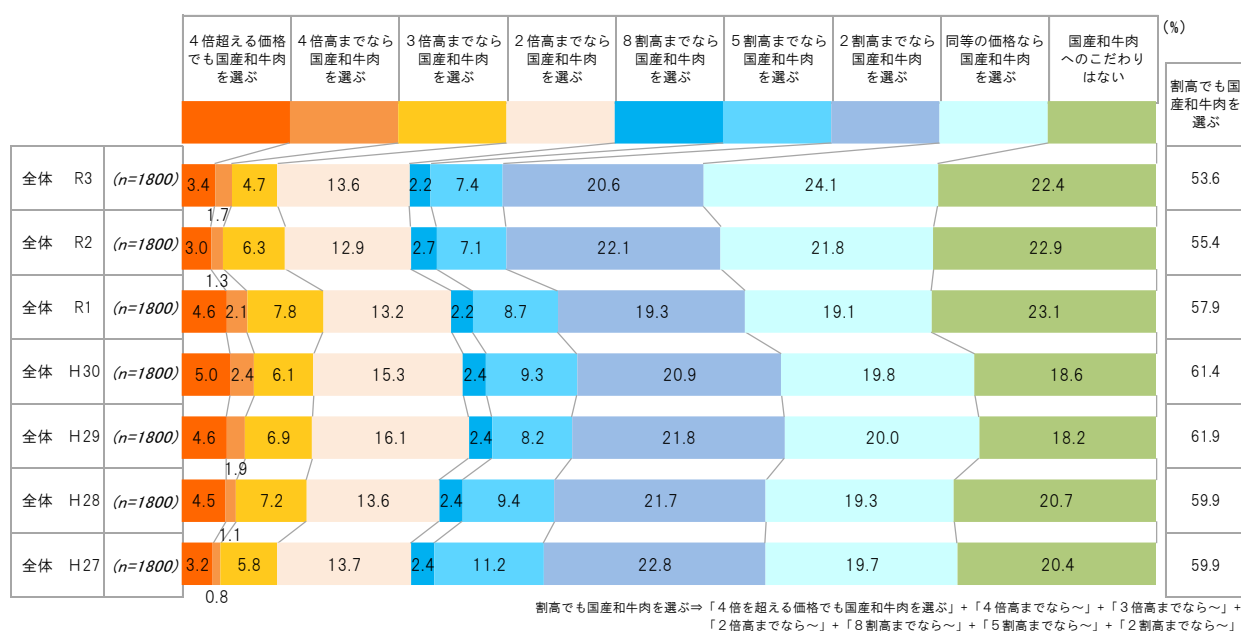
【今年度調査】

「割高でも国産和牛肉を選ぶ（「4倍を超える価格でも国産和牛肉を選ぶ」～「2割高までなら国産和牛肉を選ぶ）」割合は 53.6%。

特に「同等の価格なら国産和牛肉を選ぶ」が 24.1%、「2割高までなら国産和牛肉を選ぶ」が 20.6%の順で高く、合わせて全体の 4割以上を占める。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「割高でも国産和牛肉を選ぶ」割合は昨年度より減少しており、「同等の価格」が増加している。

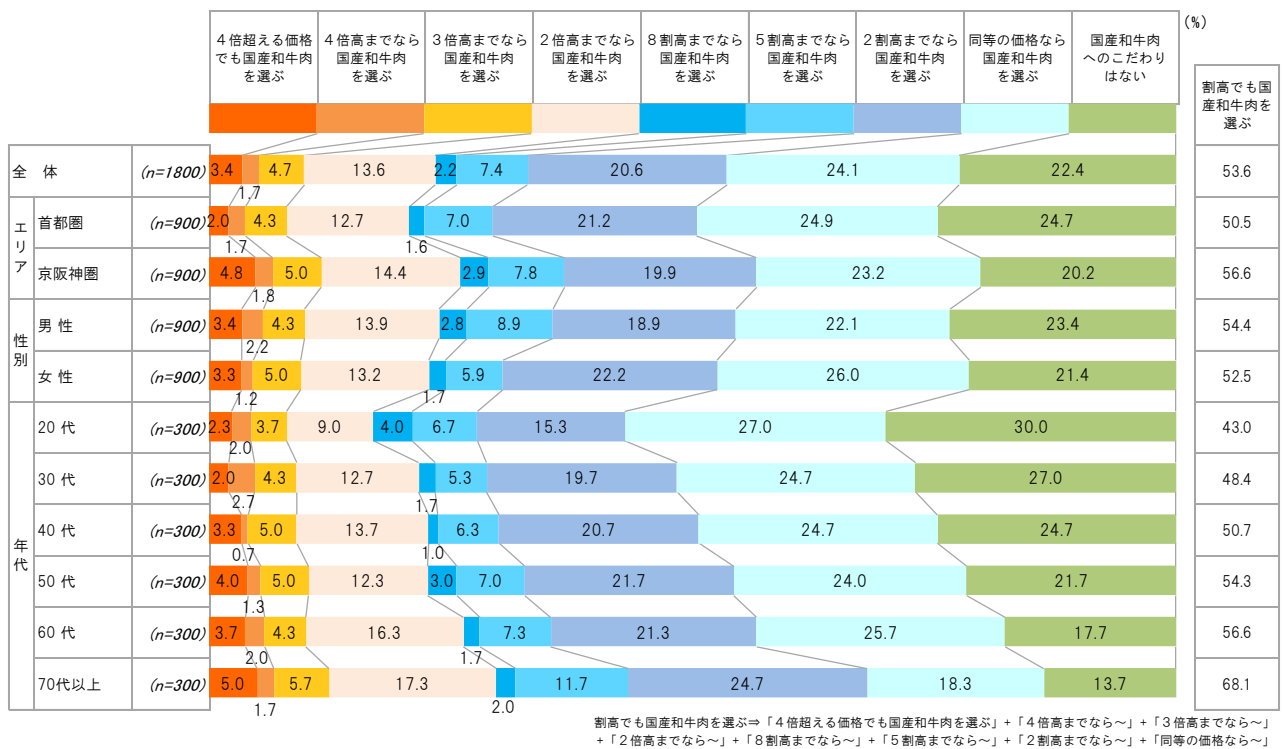


図表 125 国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（経年変化）

「割高でも国産和牛肉を選ぶ」の割合をエリア別に見ると、首都圏は50.5%だが、京阪神圏の方が56.6%と首都圏より京阪神圏の方が多い。

性別に「割高でも国産和牛肉を選ぶ」の割合を見ると、男性が54.4%、女性が52.5%と男性の方がやや多い。

年代別に「割高でも国産和牛肉を選ぶ」の割合を見ると、加齢とともに多くなり、20代は43.0%だが、70代以上は68.1%と多くなり、年代が高い方が国産和牛肉への価格許容度が高い。



図表 126 国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度

12) 和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q15)

- ▶ 「割高でも和牛以外の国産牛肉を選択する割合」は全体の**51.7%**。
- ▶ 「同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」の割合が最も多く、**23.9%**。
- ▶ 過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

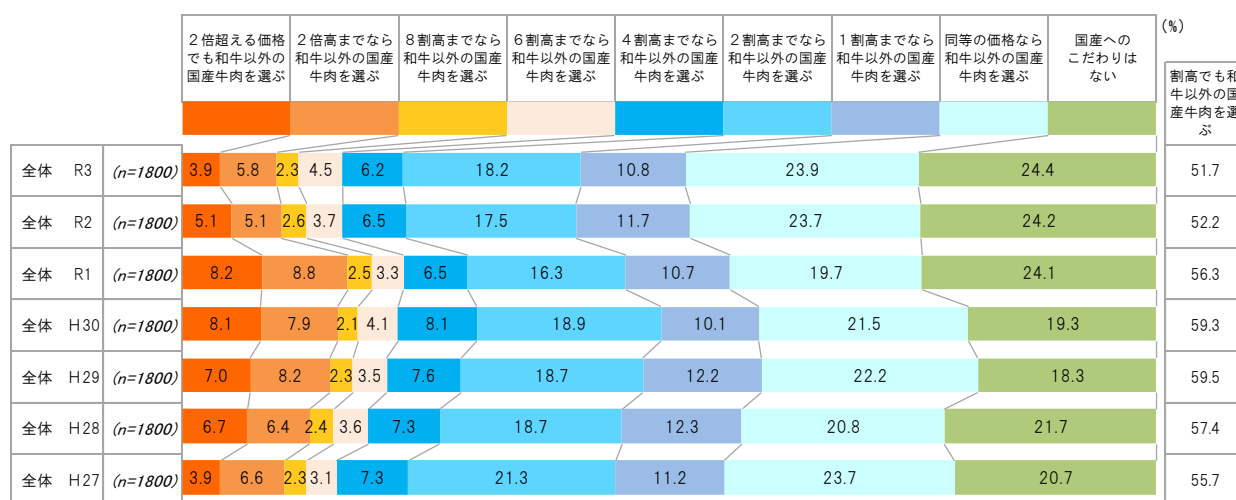
【今年度調査】

「割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ（「2倍を超える価格でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」～「1割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」）割合は**51.7%**。

特に「同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」が**23.9%**、「2割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」が**18.2%**の順で高い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。



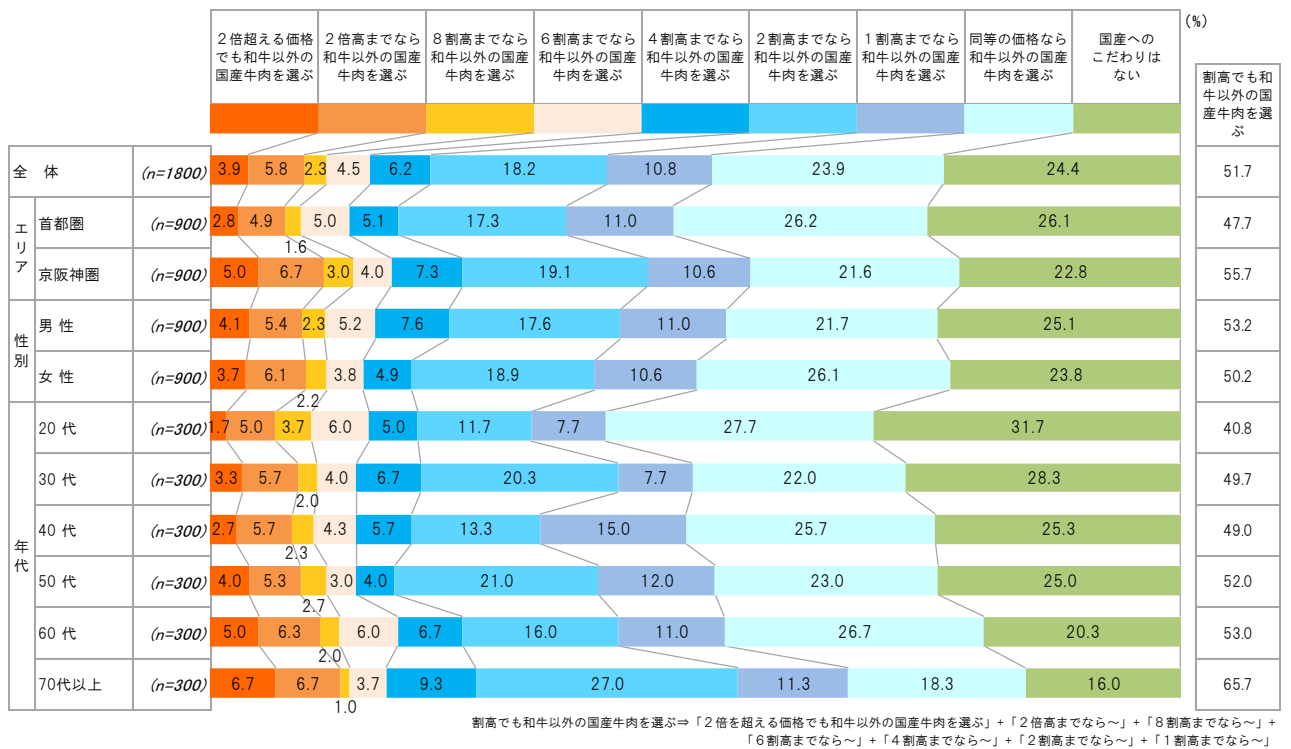
割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ⇒「2倍を超える価格でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」+「2倍高までなら～」+「8割高までなら～」+「6割高までなら～」+「4割高までなら～」+「2割高までなら～」+「1割高までなら～」

図表 127 和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（経年変化）

「割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」の割合をエリア別に見ると、首都圏は47.7%だが、京阪神圏の方が55.7%と首都圏より京阪神圏の方が多い。

性別に「割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」の割合を見ると、男性が53.2%、女性が50.2%と男性の方がやや多い。

年代別に「割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」の割合を見ると、加齢とともに多くなり、20代は40.8%だが、70代以上は65.7%と多くなり、年代が高い方が和牛以外の国産牛肉への価格許容度が高い。



図表 128 和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度

13) 国産和牛肉／和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度：
順序プロビット回帰分析（Q14・Q15）

- ▶ 国産和牛肉における価格許容度の順序プロビット回帰分析
イメージ項目から得られた因子得点では、因子1「安全・安心」、因子3「少量で満足」と因子4「手頃な価格」のイメージが高いほど価格許容度が高くなる。
回答者属性では、首都圏居住者に比べて京阪神圏居住者、年齢で高齢になるほど、世帯年収が高所得層ほど、価格許容度が高くなる傾向がある。
- ▶ 和牛以外の国産牛肉における価格許容度の順序プロビット回帰分析
イメージ項目から得られた因子得点では、因子1「安全・安心」、因子3「少量で満足」と因子4「手頃な価格」のイメージが高いほど価格許容度が高くなる。反対に、因子2「若者向け」のイメージが高いほど価格許容度が低くなる。
回答者属性では、首都圏居住者に比べて京阪神圏居住者、年齢で高齢になるほど、世帯年収が高所得層ほど、価格許容度が高くなる傾向がある。

国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（Q14）ならびに和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（Q15）を目的変数とし、国産牛肉に対するイメージ（Q13）と、回答者属性（性別（Q2）・年齢（Q3）・居住エリア（Q1）・世帯年収（Q57））を説明変数として順序プロビット回帰分析を行った。

ただし、同分析で計測された回帰係数はそのままでは解釈できないため、各説明変数の限界効果を計算し、目的変数に及ぼす効果の大きさを定量的に確認した。

＜順序プロビット回帰分析に用いた目的変数・説明変数＞

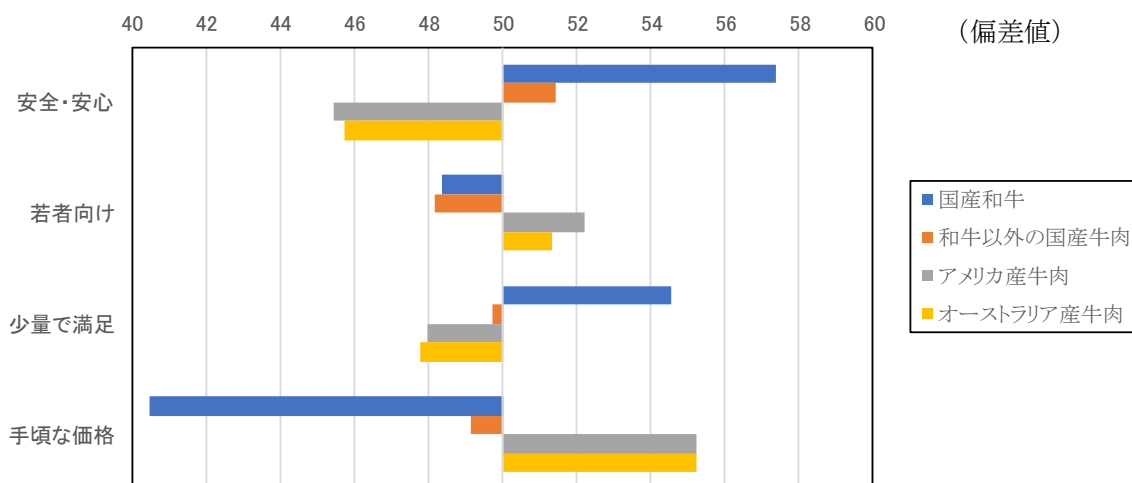
国産牛肉に対する価格許容度に関する設問回答（Q13・Q14）を順序カテゴリカルな目的変数とした。

説明変数には、牛肉に対するイメージ項目と、性別や年齢などの消費者属性を利用する。まず国産和牛肉に対する各イメージ項目（当該イメージなし:0、当該イメージあり:1）」（Q13）は、39項目と多項目になり、順序プロビット回帰分析を行う前に、因子分析を行い、少数の変数に集約する。分析の手順として、国産和牛肉と輸入牛肉も共通したイメージ構造を把握するために、国産和牛、和牛以外の国産牛肉、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉のイメージ項目を併合して分析を行った。イメージ項目は二値の離散変数であり、連続量を仮定する通常の因子分析ではなく、カテゴリカル因子分析を利用した。因子数は、ガットマン基準（テトラコリック相関係数行列の固有値が1以上の数）により4個とした。また推定法には最尤法、因子の回転法にはオブリミン法、因子得点の推定値には事後期待値を用いて標準化を行った。その各項目で絶対値の最も高い因子負荷量をもとに項目を分類した結果を下図に示す。

第1因子は「安全」、「安心」、「新鮮」などの項目の因子負荷量が高く、「安全・安心」因子と解釈した。第2因子は「若者向け」、「男性向け」、「肉々しい」などの項目の因子負荷量が高く、「若者向け」因子と解釈した。第3因子は「子ども向き」、「少量で満足」、「年配向け」などの項目の因子負荷量が高く、「少量で満足」因子と解釈した。第4因子は「価格が手頃」、「高級品」（マイナスの因子負荷）、「特売」などの項目の因子負荷量が高く、「手頃な価格」因子と解釈した。消費者の原産国別の相対的な知覚差異を把握するために、推定した因子得点の平均を偏差値化（平均50、標準偏差10）して、国産和牛、和牛以外の国産牛肉、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉別でみると、図表129のようになる。

因子1 安全・安心	因子2 若者向け	因子3 少量で満足	因子4 手頃な価格
安全(.97)	若者向き(.96)	子ども向き(.78)	価格が手頃(.80)
安心(.94)	男性向き(.84)	少量で満足(.72)	高級品(-.61)
新鮮(.83)	肉々しい(.53)	年配向き(.56)	特売(.57)
衛生的(.82)	大人向き(.39)	女性向き(.55)	入手しやすい(.54)
飼育環境がよい(.75)	あぶら身が多い(.25)	中華に合う(.49)	霜降り(-.51)
高品質(.74)		食べやすい・食べ疲れしない(.46)	赤身が多い(.48)
産地や生産者がわかる(.69)			贅沢感がある(-.46)
信頼がおける(.64)			洋食に合う(.39)
旨味がある(.55)			
おいしい(.53)			
健康によい(.53)			
和食に合う(.51)			
筋肉や骨をつくる(.46)			
スタミナ源(.45)			
美容によい(.45)			
栄養価が高い(.45)			
柔らかい(.44)			
赤身が美味しい(.43)			
香りがよい(.38)			
あぶらが美味しい(.36)			

図表 129 因子分析の結果（括弧内は因子負荷量を示す）



図表 130 偏差値化した原産国別の因子得点の平均

国産和牛は、第1因子の「安全・安心」と第3因子の「少量で満足」が高く、反対にアメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉は低い。和牛以外の国産牛肉はそれらの中間にあることがわかる。反対に、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉は第4因子の「手頃な価格」が高く、国産和牛は低い。第2因子の「若者向け」は外国産の2つが若干高いが大きな差がない。そしてこの分析で得られた因子得点を順序プロビット回帰分析の説明変数に利用する。その限界効果は、因子得点が1（1標準偏差分に相当）増加した場合に回答者が価格許容度に関する各選択肢を選ぶ確率の変化分である。

消費者属性の説明変数として、性別、地域、年齢、世帯年収を利用する。性別（男性:0、女性:1）と居住エリア（京浜圏:0、京阪神:1）は、二値の変数としている。これらの説明変数の限界効果は、当該変数値が0から1に変化した場合に回答者が価格許容度に関する各選択肢を選ぶ確率がどれだけ変化するかを示す。回答者の年齢に関しては1歳刻みの連続変数として説明変数に加えており、その限界効果は、年齢が10歳増加した場合に回答者が価格許容度に関する各選択肢を選ぶ確率の変化分である。

また、世帯年収について「7 答えたくない／わからない」と回答しているサンプルは分析から除外し、残りの6つの世帯年収カテゴリーを二値変数化（当該カテゴリーを非選択:0、当該カテゴリーを選択:1）して分析に用いる。ただし、世帯年収カテゴリー1～6をすべて投入すると識別性の問題によりモデルが推定できなくなるため、世帯年収カテゴリー「2 世帯年収300万円以上500万円未満」変数を除外した上で分析を行った。したがって、各世帯年収カテゴリーの限界効果は「世帯年収300万円以上500万円未満」と比較して、当該世帯年収カテゴリーの回答者が価格許容度に関する各選択肢を選ぶ確率がどれだけ増減するかを示す。

■国産和牛肉における価格許容度の順序プロビット回帰分析

イメージ項目から得られた因子得点と、回答者属性に関する限界効果を下図に示す。イメージ項目から得られた因子得点では、因子1「安全・安心」、因子3「少量で満足」と因子4「手頃な価格」のイメージが高いほど価格許容度が高くなる。

回答者属性に着目すると、首都圏居住者に比べて京阪神圏居住者、年齢で高齢になるほど価格許容度が高くなる。また世帯年収が高所得層ほど、価格許容度が高くなる傾向があることが確認できた。

説明変数	Q14 国産和牛肉の価格許容度								
	1 国産和牛肉へのこだわりはない	2 同等の価格なら国産和牛肉を選ぶ	3 2割高までなら国産和牛肉を選ぶ	4 5割高までなら国産和牛肉を選ぶ	5 8割高までなら国産和牛肉を選ぶ	6 2倍高までなら国産和牛肉を選ぶ	7 3倍高までなら国産和牛肉を選ぶ	8 4倍高までなら国産和牛肉を選ぶ	9 4倍を超える価格でも国産和牛肉を選ぶ
安全・安心	-0.084	-0.031	0.001	0.028	0.016	0.016	0.009	0.026	0.019
若者向け	0.009	0.003	0.000	-0.003	-0.002	-0.002	-0.001	-0.003	-0.002
少量で満足	-0.021	-0.008	0.000	0.007	0.004	0.004	0.002	0.006	0.005
手頃な価格	-0.044	-0.016	0.001	0.014	0.008	0.008	0.005	0.013	0.010
京阪神	-0.067	-0.025	0.001	0.022	0.013	0.013	0.007	0.021	0.015
性別	-0.006	-0.002	0.000	0.002	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001
年齢(10才刻み)	-0.015	-0.006	0.000	0.005	0.003	0.003	0.002	0.005	0.003
世帯年収300万円未満	0.056	0.018	-0.002	-0.019	-0.011	-0.010	-0.006	-0.016	-0.011
世帯年収500～700万円未満	-0.057	-0.024	-0.001	0.017	0.011	0.011	0.007	0.020	0.015
世帯年収700～1000万円未満	-0.053	-0.023	-0.001	0.016	0.011	0.011	0.006	0.018	0.014
世帯年収1000～1500万円未満	-0.139	-0.084	-0.015	0.029	0.028	0.032	0.021	0.065	0.062
世帯年収1500万円以上	-0.155	-0.109	-0.026	0.020	0.031	0.038	0.025	0.085	0.092

*10%水準で有意となったセルを着色、5%水準で有意となったセルを太字にしている

図表 131 国産和牛肉の価格許容度に関する順序プロビット回帰分析の限界効果

■和牛以外の国産牛肉における価格許容度の順序プロビット分析

イメージ項目から得られた因子得点と、回答者属性に関する限界効果を下図に示す。イメージ項目から得られた因子得点では、因子1「安全・安心」、因子3「少量で満足」と因子4「手頃な価格」のイメージが高いほど価格許容度が高くなる。反対に、因子2「若者向け」のイメージが高いほど価格許容度が低くなる。

回答者属性に着目すると、首都圏居住者に比べて京阪神圏居住者、年齢だと高齢になるほど価格許容度が高くなる。また世帯年収が高所得層ほど、価格許容度が高くなる傾向があることが確認できた。

説明変数	Q15 和牛以外の国産牛肉の価格許容度								
	1 国産へのこだわりはない	2 同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	3 1割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	4 2割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	5 4割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	6 6割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	7 8割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	8 2倍高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	9 2倍を超える価格でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ
安全・安心	-0.072	-0.034	0.009	0.012	0.005	0.040	0.017	0.009	0.015
若者向け	0.018	0.009	-0.002	-0.003	-0.001	-0.010	-0.004	-0.002	-0.004
少量で満足	-0.023	-0.011	0.003	0.004	0.001	0.013	0.006	0.003	0.005
手頃な価格	-0.026	-0.012	0.003	0.004	0.002	0.014	0.006	0.003	0.005
京阪神	-0.057	-0.027	0.007	0.010	0.004	0.032	0.014	0.007	0.012
性別	0.003	0.001	0.000	0.000	0.000	-0.002	-0.001	0.000	-0.001
年齢(10才刻み)	-0.012	-0.006	0.001	0.002	0.001	0.007	0.003	0.001	0.002
世帯年収300万円未満	0.047	0.020	-0.007	-0.008	-0.003	-0.025	-0.010	-0.005	-0.008
世帯年収500～700万円未満	-0.053	-0.029	0.004	0.009	0.003	0.031	0.014	0.007	0.013
世帯年収700～1000万円未満	-0.066	-0.037	0.003	0.011	0.004	0.039	0.018	0.009	0.017
世帯年収1000～1500万円未満	-0.127	-0.093	-0.014	0.016	0.007	0.084	0.045	0.026	0.055
世帯年収1500万円以上	-0.151	-0.135	-0.045	0.012	0.007	0.104	0.066	0.041	0.100

* 10%水準で有意となったセルを着色、5%水準で有意となったセルを太字にしている

図表 132 和牛以外の国産牛肉の価格許容度に関する順序プロビット回帰分析の限界効果

14) 産地別牛肉の購入意向 (Q16)

- 牛肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産和牛が 89.2%、和牛以外の国産牛肉が 86.4%、オーストラリア産牛肉が 70.1%、アメリカ産牛肉が 65.6%の順。
- 過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

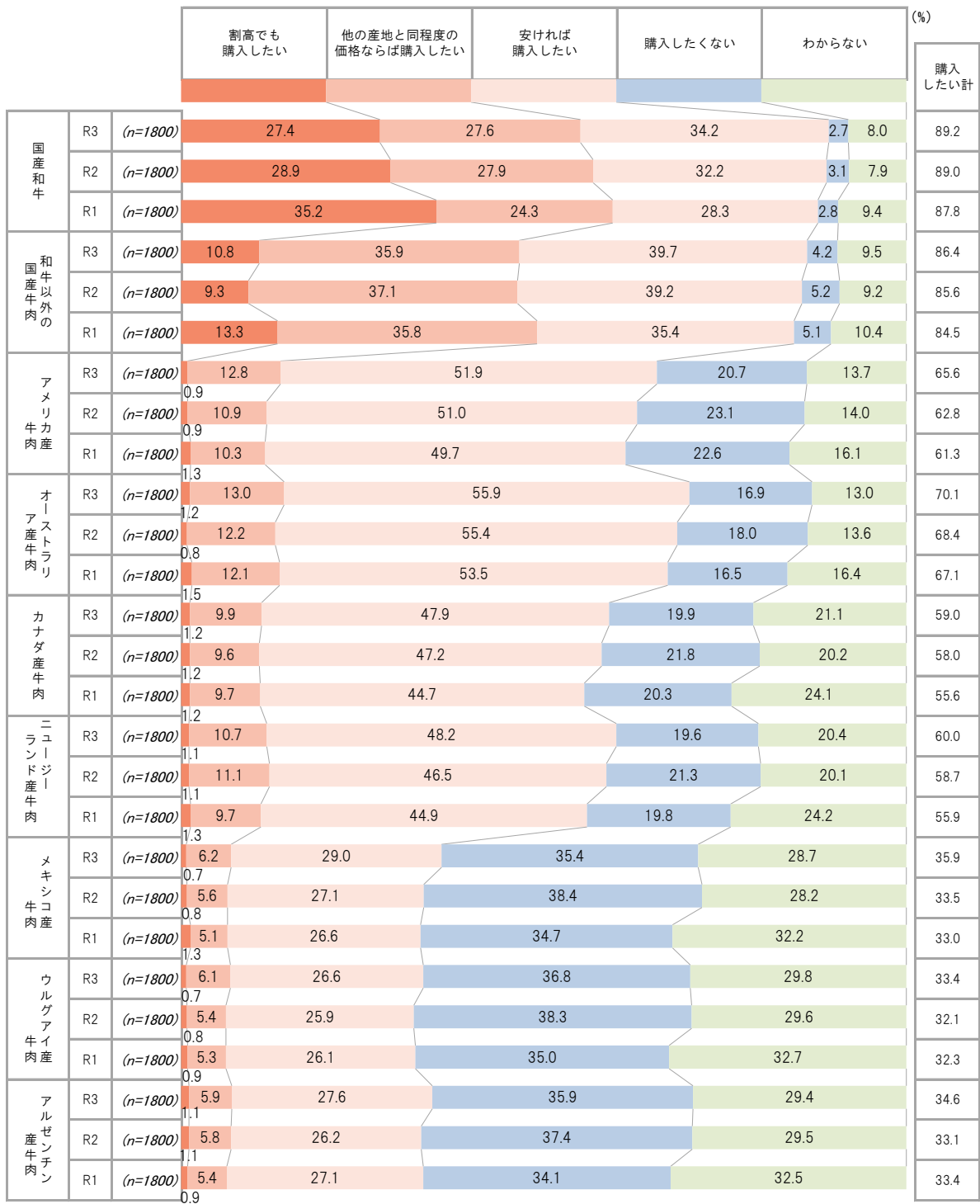
【今年度調査】

牛肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産和牛が 89.2%、和牛以外の国産牛肉が 86.4%、オーストラリア産牛肉が 70.1%、アメリカ産牛肉が 65.6%の順に多い。

「割高でも購入したい」で見ると、国産和牛は 27.4%と高いが、和牛以外の国産牛肉は 10.8%で、オーストラリア産牛肉・アメリカ産牛肉も含めた輸入牛肉はいずれも 2%以下と低い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。



購入したい計⇒「割高でも購入したい」+「他の産地と同程度の価格ならば購入したい」+「安ければ購入したい」

図表 133 牛肉の産地別購入意向

15) 産地別豚肉の購入意向 (Q17)

- ▶ 豚肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産豚肉が 91.6%、アメリカ産豚肉が 66.0%、カナダ産豚肉が 62.4%、スペイン産豚肉が 51.5%の順。
- ▶ 過年度調査と比較すると、いずれも「安ければ購入したい」が増加傾向。

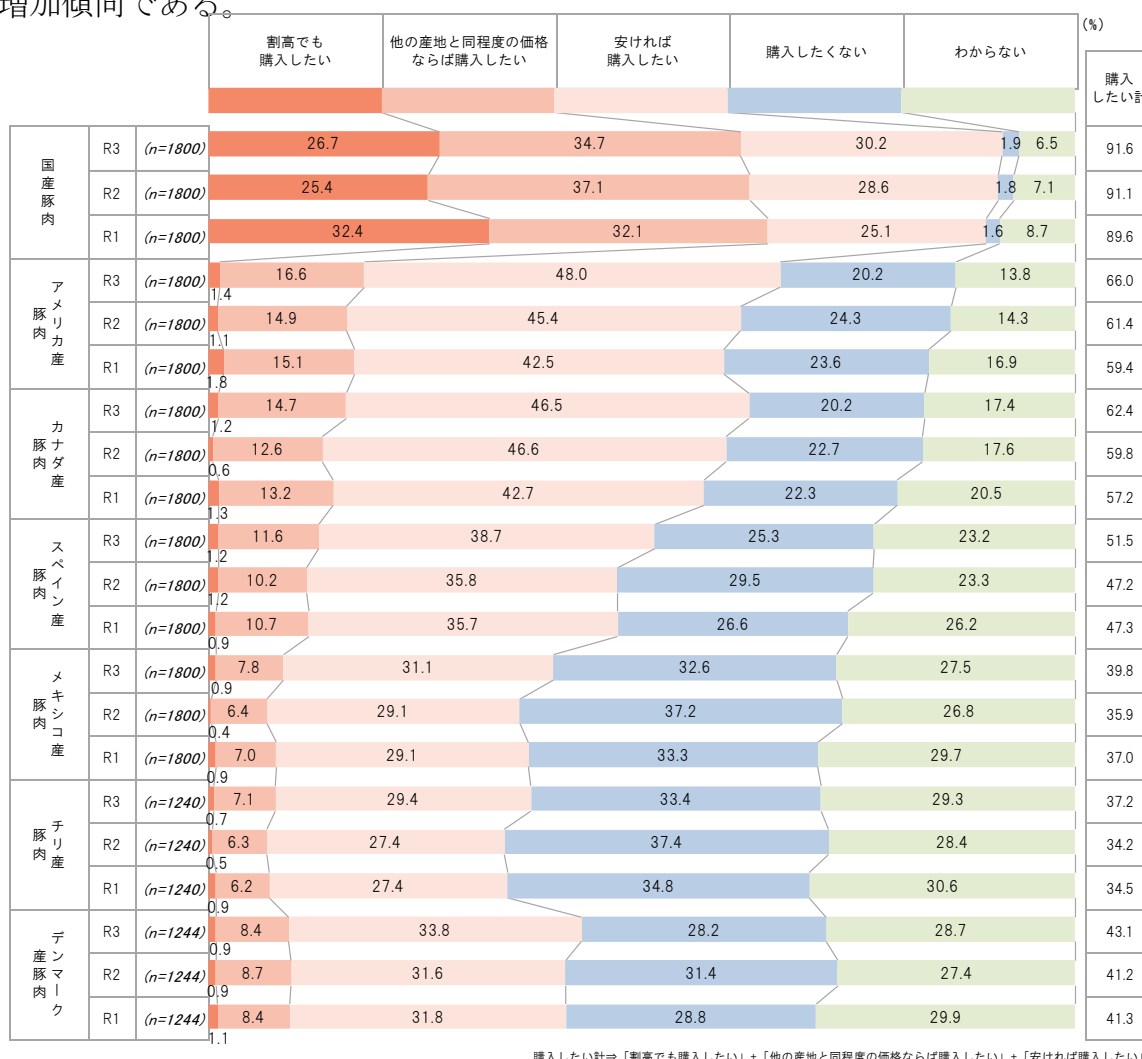
【今年度調査】

豚肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産豚肉が 91.6%、アメリカ産豚肉が 66.0%、カナダ産豚肉が 62.4%、スペイン産豚肉が 51.5%の順に多い。

「割高でも購入したい」で見ると、国産豚肉は 26.7%と高いが、アメリカ産豚肉・カナダ産豚肉・スペイン産豚肉も含め輸入豚肉はいずれも 2%以下と低い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「安ければ購入したい」は、いずれの産地の豚肉も増加傾向である。



購入したい計⇒「割高でも購入したい」+「他の産地と同程度の価格ならば購入したい」+「安ければ購入したい」

図表 134 豚肉の産地別購入意向

16) 産地別鶏肉の購入意向 (Q18)

- 鶏肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産鶏肉が 91.0%、アメリカ産鶏肉が 55.1%、ブラジル産鶏肉が 45.4%、タイ産鶏肉が 39.6%の順。
- 過年度調査と比較すると、いずれも「安ければ購入したい」が増加傾向。

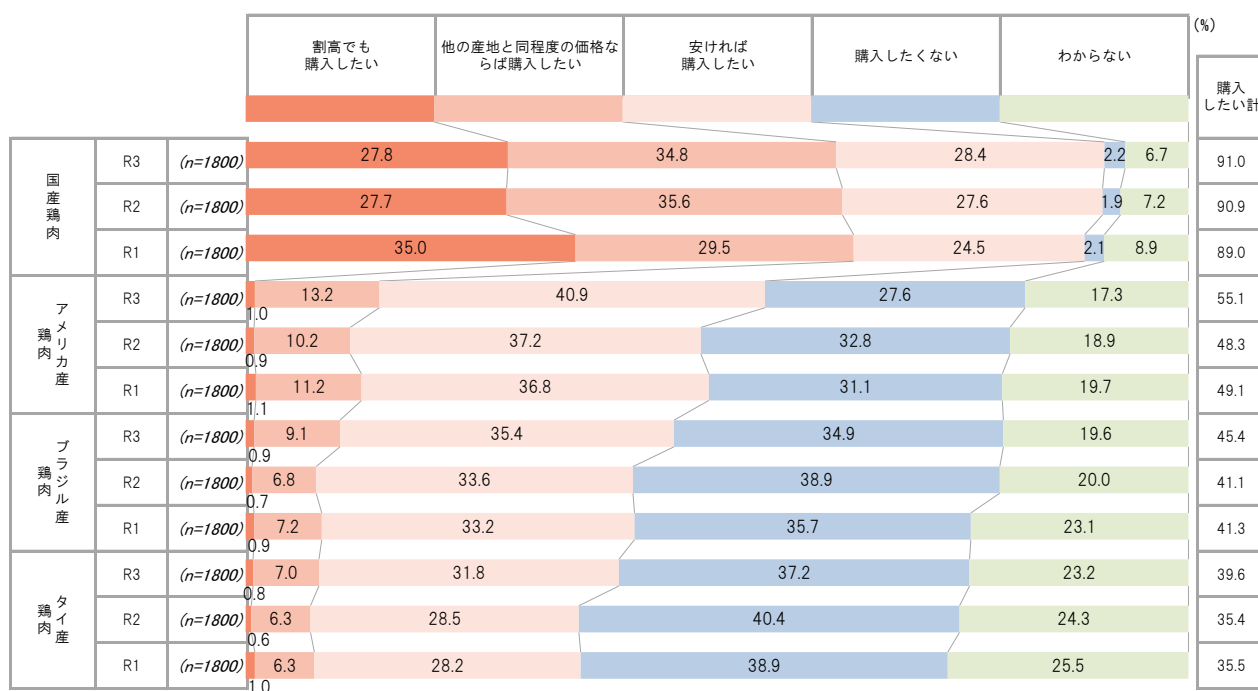
【今年度調査】

鶏肉の産地別購入意向を見ると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、国産鶏肉が 91.0%、アメリカ産鶏肉が 55.1%、ブラジル産鶏肉が 45.4%、タイ産鶏肉が 39.6%の順である。

「割高でも購入したい」で見ると、国産鶏肉は 27.8%と高いが、輸入鶏肉はいずれも 1%以下と低い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「安ければ購入したい」は、いずれの産地の鶏肉も増加傾向である。



購入したい計⇒「割高でも購入したい」+「他の産地と同程度の価格ならば購入したい」+「安ければ購入したい」

図表 135 鶏肉の産地別購入意向

4. 食肉の安全性に関する意識調査

4.1 食品の安全性に関する意識

1) 食品の安全性の不安感 (Q19)

- 「不安を感じる」とする回答割合が高い食品は、「ファストフード」28.1%、「食肉加工品」25.0%「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」23.2%、「弁当・惣菜類」23.0%の順。
- 過年度調査と比較すると、「不安を感じる」割合が増加している食品は特に見られない。

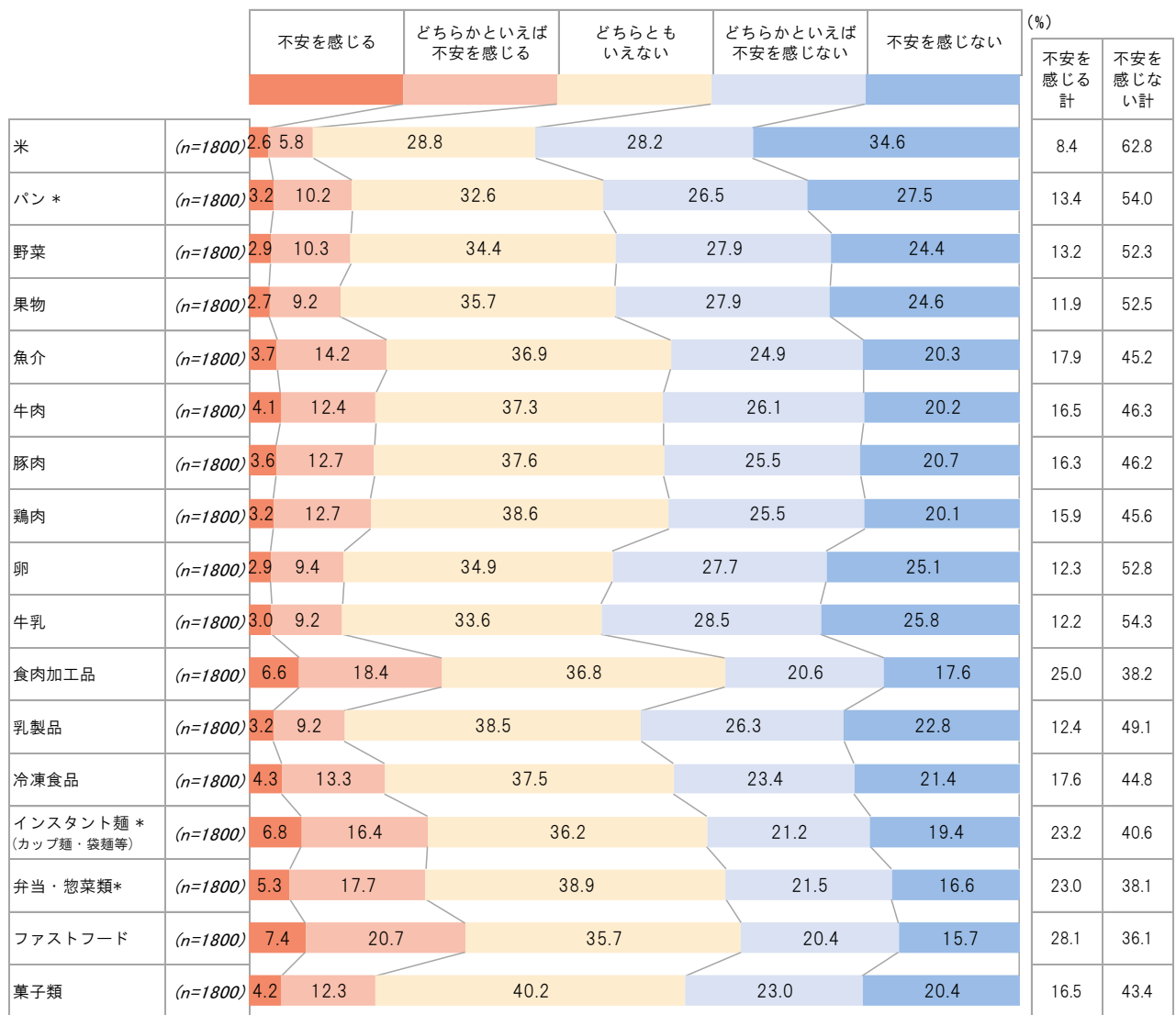
【今年度調査】

17種類の食品（食品群）の安全性について不安を感じるかどうかを聞いたところ、「不安を感じる（不安を感じる+どちらかといえば不安を感じる）」の割合は「ファストフード」28.1%、「食肉加工品」25.0%「インスタント麺（カップ麺・袋麺等）」23.2%、「弁当・惣菜類」23.0%の順で高い。

逆に、「不安を感じない（どちらかといえば不安を感じない+不安を感じない）」の割合は、「米」62.8%、「牛乳」54.3%、「パン」54.0%、「卵」52.8%、「果物」52.5%、「野菜」52.3%、「乳製品」49.1%の順で高い。なお「牛肉」は46.3%、「豚肉」は46.2%、「鶏肉」は45.6%であった。

【過年度調査との比較】

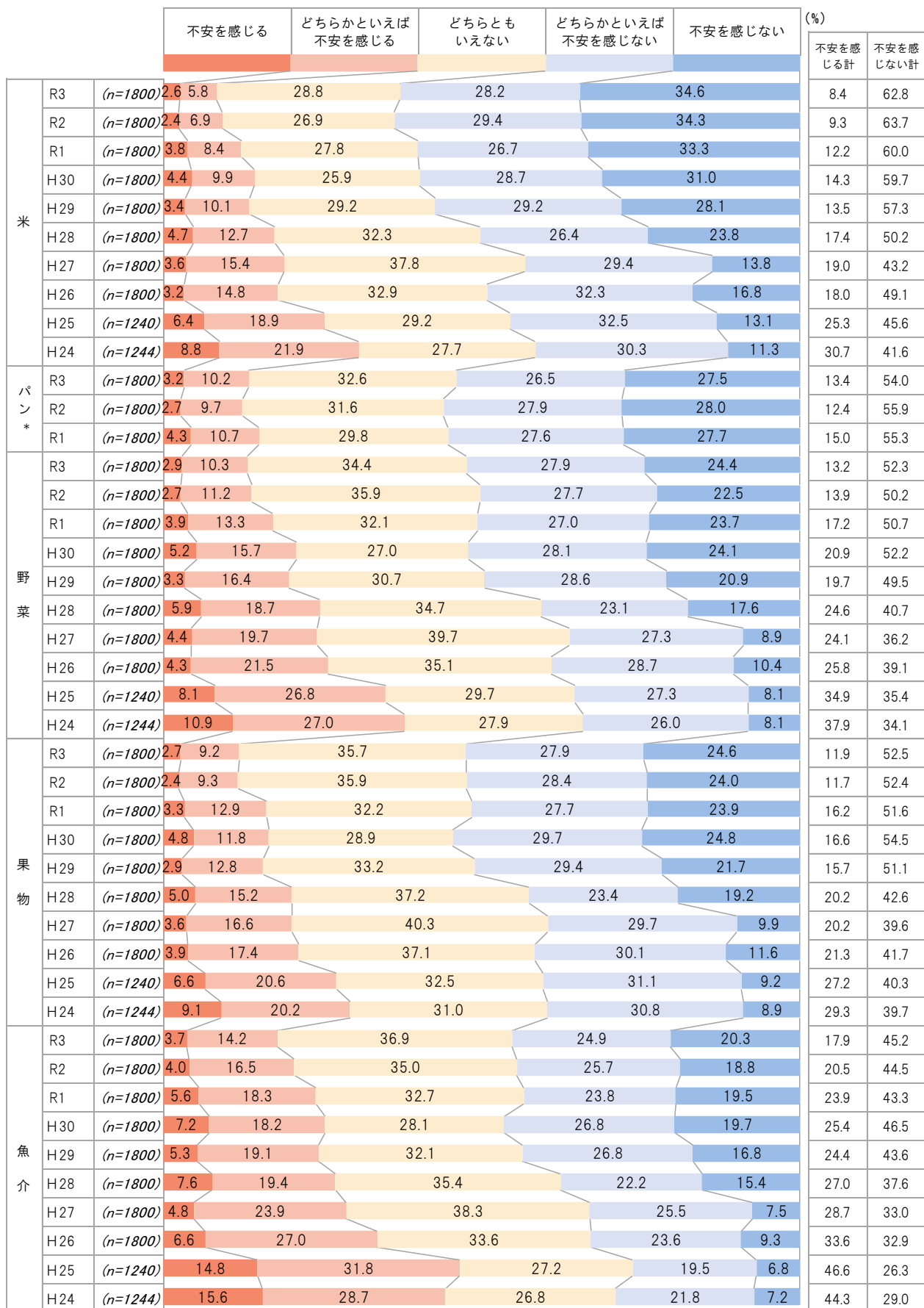
過年度調査と比較すると、「不安を感じる」割合が増加している食品は特に見られない。



*「パン」「インスタント麺(カップ麺・袋麺等)」「弁当・惣菜類」は令和元年からの新規項目

不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」
不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 136 食品の安全性の不安感



* 「パン」は令和元年よりの新規項目

不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」
 不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 137 (その1) 食品の安全性に関する意識調査 (経年変化)

							(%)		
		不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	不安を感じる計	不安を感じない計	
牛肉	R3	(n=1800)	4.1	12.4	37.3	26.1	20.2	16.5	46.3
	R2	(n=1800)	3.6	15.4	36.3	26.4	18.2	19.0	44.6
	R1	(n=1800)	4.7	16.2	35.7	24.7	18.7	20.9	43.4
	H30	(n=1800)	5.7	16.8	31.6	26.7	19.3	22.5	46.0
	H29	(n=1800)	3.8	17.2	34.8	26.8	17.3	21.0	44.1
	H28	(n=1800)	7.4	19.3	36.3	22.4	14.7	26.7	37.1
	H27	(n=1800)	4.1	18.9	44.5	24.9	7.6	23.0	32.5
	H26	(n=1800)	4.9	23.2	39.3	23.9	8.7	28.1	32.6
	H25	(n=1240)	9.0	28.5	34.2	22.0	6.2	37.5	28.2
	H24	(n=1244)	10.5	28.5	31.2	22.8	7.1	39.0	29.9
豚肉	R3	(n=1800)	3.6	12.7	37.6	25.5	20.7	16.3	46.2
	R2	(n=1800)	3.2	14.4	37.4	26.7	18.2	17.6	44.9
	R1	(n=1800)	4.3	16.4	36.3	24.7	18.3	20.7	43.0
	H30	(n=1800)	4.8	15.5	33.4	26.9	19.4	20.3	46.3
	H29	(n=1800)	3.2	16.7	35.7	27.4	17.0	19.9	44.4
	H28	(n=1800)	6.7	17.2	38.4	22.6	15.2	23.9	37.8
	H27	(n=1800)	3.8	17.4	44.6	26.5	7.7	21.2	34.2
	H26	(n=1800)	4.4	20.6	41.1	25.2	8.7	25.0	33.9
	H25	(n=1240)	7.3	24.0	36.0	25.5	7.2	31.3	32.7
	H24	(n=1244)	9.4	23.4	34.5	25.2	7.5	32.8	32.7
鶏肉	R3	(n=1800)	3.2	12.7	38.6	25.5	20.1	15.9	45.6
	R2	(n=1800)	3.4	14.6	37.3	26.0	18.7	18.0	44.7
	R1	(n=1800)	4.2	17.3	35.8	24.4	18.2	21.5	42.6
	H30	(n=1800)	5.4	17.1	32.7	25.2	19.5	22.5	44.7
	H29	(n=1800)	4.3	17.0	36.1	25.9	16.7	21.3	42.6
	H28	(n=1800)	6.7	17.7	37.9	22.6	15.1	24.4	37.7
	H27	(n=1800)	3.9	17.8	43.8	26.8	7.7	21.7	34.5
	H26	(n=1800)	4.9	23.5	39.2	23.8	8.5	28.4	32.3
	H25	(n=1240)	7.3	24.4	36.0	25.3	7.0	31.7	32.3
	H24	(n=1244)	9.2	24.8	33.5	25.2	7.3	34.0	32.5
卵	R3	(n=1800)	2.9	9.4	34.9	27.7	25.1	12.3	52.8
	R2	(n=1800)	2.1	10.9	32.6	29.6	24.8	13.0	54.4
	R1	(n=1800)	3.9	11.9	31.9	29.4	22.9	15.8	52.3
	H30	(n=1800)	4.2	13.1	29.7	28.7	24.4	17.3	53.1
	H29	(n=1800)	2.9	13.1	32.2	29.9	21.9	16.0	51.8
	H28	(n=1800)	5.4	12.8	36.8	25.8	19.2	18.2	45.0
	H27	(n=1800)	3.2	14.2	41.4	30.4	10.8	17.4	41.2
	H26	(n=1800)	2.8	14.9	37.6	31.6	13.1	17.7	44.7
	H25	(n=1240)	5.7	17.1	34.3	32.8	10.1	22.8	42.9
	H24	(n=1244)	7.8	19.5	31.8	31.5	9.5	27.3	41.0

不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」、不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 137 (その2) 食品の安全性に関する意識調査 (経年変化)

		不安を感じる					どちらかといえば不安を感じる		どちらともいえない		どちらかといえば不安を感じない		不安を感じない		(%)	
		不安を感じる		どちらかといえば不安を感じる		どちらともいえない		どちらかといえば不安を感じない		不安を感じない		不安を感じる計	不安を感じない計			
牛乳	R3	(n=1800)	3.0	9.2	33.6		28.5		25.8		12.2	54.3				
	R2	(n=1800)	2.3	8.9	33.9		29.6		25.3		11.2	54.9				
	R1	(n=1800)	4.2	10.4	32.7		28.0		24.7		14.6	52.7				
	H30	(n=1800)	4.3	11.7	30.1		28.2		25.7		16.0	53.9				
	H29	(n=1800)	2.9	11.6	32.6		30.3		22.7		14.5	53.0				
	H28	(n=1800)	5.8	11.4	36.3		26.6		19.8		17.2	46.4				
	H27	(n=1800)	3.7	12.9	40.3		31.4		11.6		16.6	43.0				
	H26	(n=1800)	3.1	14.3	37.6		31.7		13.2		17.4	44.9				
	H25	(n=1240)	5.6	18.5	31.9		33.1		10.9		24.1	44.0				
	H24	(n=1244)	9.6	19.2	29.7		31.7		9.8		28.8	41.5				
食肉加工品	R3	(n=1800)	6.6	18.4	36.8		20.6		17.6		25.0	38.2				
	R2	(n=1800)	6.1	20.4	36.2		20.0		17.3		26.5	37.3				
	R1	(n=1800)	7.5	20.0	35.9		19.3		17.3		27.5	36.6				
	H30	(n=1800)	8.7	20.8	31.4		22.5		16.6		29.5	39.1				
	H29	(n=1800)	8.4	22.4	35.0		20.1		14.1		30.8	34.2				
	H28	(n=1800)	10.7	22.7	36.7		17.2		12.7		33.4	29.9				
	H27	(n=1800)	9.2	29.1	37.3		19.4		5.0		38.3	24.4				
	H26	(n=1800)	13.3	32.3	32.2		16.8		5.4		45.6	22.2				
	H25	(n=1240)	13.9	32.9	29.8		17.9		5.6		46.8	23.5				
	H24	(n=1244)	13.5	28.9	30.9		20.6		6.1		42.4	26.7				
乳製品	R3	(n=1800)	3.2	9.2	38.5		26.3		22.8		12.4	49.1				
	R2	(n=1800)	2.2	9.8	36.7		27.5		23.8		12.0	51.3				
	R1	(n=1800)	3.8	11.4	36.0		26.5		22.3		15.2	48.8				
	H30	(n=1800)	4.2	12.1	32.1		29.6		22.1		16.3	51.7				
	H29	(n=1800)	2.9	11.7	36.7		29.8		18.9		14.6	48.7				
	H28	(n=1800)	5.4	13.9	39.1		24.5		17.2		19.3	41.7				
	H27	(n=1800)	3.6	15.2	43.0		30.1		8.2		18.8	38.3				
	H26	(n=1800)	4.1	16.2	41.8		27.8		10.2		20.3	38.0				
	H25	(n=1240)	6.1	17.6	36.7		30.7		8.9		23.7	39.6				
	H24	(n=1244)	7.8	19.1	33.9		30.3		8.8		26.9	39.1				
冷凍食品	R3	(n=1800)	4.3	13.3	37.5		23.4		21.4		17.6	44.8				
	R2	(n=1800)	4.0	14.6	36.7		24.2		20.6		18.6	44.8				
	R1	(n=1800)	5.7	14.7	37.3		21.9		20.4		20.4	42.3				
	H30	(n=1800)	6.1	18.0	32.7		23.9		19.3		24.1	43.2				
	H29	(n=1800)	6.0	18.2	35.7		23.7		16.4		24.2	40.1				
	H28	(n=1800)	9.1	19.8	37.6		20.4		13.2		28.9	33.6				
	H27	(n=1800)	6.3	22.7	40.9		23.1		7.0		29.0	30.1				
	H26	(n=1800)	12.7	28.8	33.4		19.2		5.9		41.5	25.1				
	H25	(n=1240)	11.9	28.1	32.3		20.2		7.4		40.0	27.6				
	H24	(n=1244)	10.5	25.2	31.1		24.6		8.6		35.7	33.2				

不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」、不安を感じない計⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 137 (その3) 食品の安全性に関する意識調査 (経年変化)

			不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	(%)	
								不安を感じる計	不安を感じない計
袋麺等*	インスタント 麺(カップ麺・ 袋麺)	R3 (n=1800)	6.8	16.4	36.2	21.2	19.4	23.2	40.6
		R2 (n=1800)	6.0	18.0	36.0	20.9	19.1	24.0	40.0
		R1 (n=1800)	7.0	17.0	35.2	21.3	19.4	24.0	40.7
弁当・惣菜類*	弁当・惣菜類*	R3 (n=1800)	5.3	17.7	38.9	21.5	16.6	23.0	38.1
		R2 (n=1800)	6.1	18.3	39.6	21.1	15.1	24.4	36.2
		R1 (n=1800)	7.2	18.6	37.2	20.4	16.6	25.8	37.0
ファーストフード	ファーストフード	R3 (n=1800)	7.4	20.7	35.7	20.4	15.7	28.1	36.1
		R2 (n=1800)	7.9	22.8	36.4	18.5	14.4	30.7	32.9
		R1 (n=1800)	9.6	20.9	36.2	17.9	15.3	30.5	33.2
		H30 (n=1800)	12.3	23.4	30.3	19.1	15.0	35.7	34.1
		H29 (n=1800)	12.6	24.4	33.3	18.1	11.6	37.0	29.7
		H28 (n=1800)	14.9	26.6	33.9	14.7	9.8	41.5	24.5
		H27 (n=1800)	14.6	32.7	35.4	13.7	3.7	47.3	17.4
		H26 (n=1800)	23.6	33.6	28.0	11.3	3.6	57.2	14.9
		H25 (n=1240)	18.5	35.9	26.8	13.7	5.2	54.4	18.9
		H24 (n=1244)	13.8	29.2	31.1	19.1	6.8	43.0	25.9
菓子類	菓子類	R3 (n=1800)	4.2	12.3	40.2	23.0	20.4	16.5	43.4
		R2 (n=1800)	3.9	12.9	40.7	22.3	20.1	16.8	42.4
		R1 (n=1800)	5.0	14.5	38.2	22.4	19.9	19.5	42.3
		H30 (n=1800)	6.2	15.6	34.3	23.2	20.8	21.8	44.0
		H29 (n=1800)	4.8	16.4	37.8	23.0	17.9	21.2	40.9
		H28 (n=1800)	7.2	16.5	40.9	20.2	15.2	23.7	35.4
		H27 (n=1800)	5.1	19.3	44.8	23.1	7.7	24.4	30.8
		H26 (n=1800)	7.3	21.9	41.4	20.2	9.2	29.2	29.4
		H25 (n=1240)	7.2	23.3	36.5	22.9	10.2	30.5	33.1
		H24 (n=1244)	6.8	18.6	33.8	28.2	12.6	25.4	40.8

*「インスタント麺(カップ麺・袋麺等)」「弁当・惣菜類」は令和元年よりの新規項目

不安を感じる計⇒「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」
 「不安を感じない計」⇒「どちらかといえば不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 137 (その4) 食品の安全性に関する意識調査 (経年変化)

2) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (Q20)

- ▶ 関心が高い項目 TOP3 は、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が 57.6%、「鳥インフルエンザ」が 57.5%、「食肉の消費期限改ざん」が 57.3%。
- ▶ 家畜伝染病（牛・豚の口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）に対する「関心がある計（非常に関心がある＋やや関心がある）」の割合は、減少傾向。

【今年度調査】

食肉の安全性に関して聞いたところ、幅広い項目に対して高い関心が寄せられていることがわかった。「関心がある計（非常に関心がある＋やや関心がある）」の割合が最も高かったのは、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が 57.6%、「鳥インフルエンザ」が 57.5%、「食肉の消費期限改ざん」が 57.3%、「食肉の産地偽装」56.0%、「豚肉加工品（ハム・ソーセージ）の発がん性」54.0%、「豚インフルエンザ」53.6%、「牛肉・豚肉の発がん性」52.5%の順で高い。

「牛・豚の口蹄疫」は 47.0%、「豚熱」は 44.2%、「アフリカ豚熱」は 44.5% である。

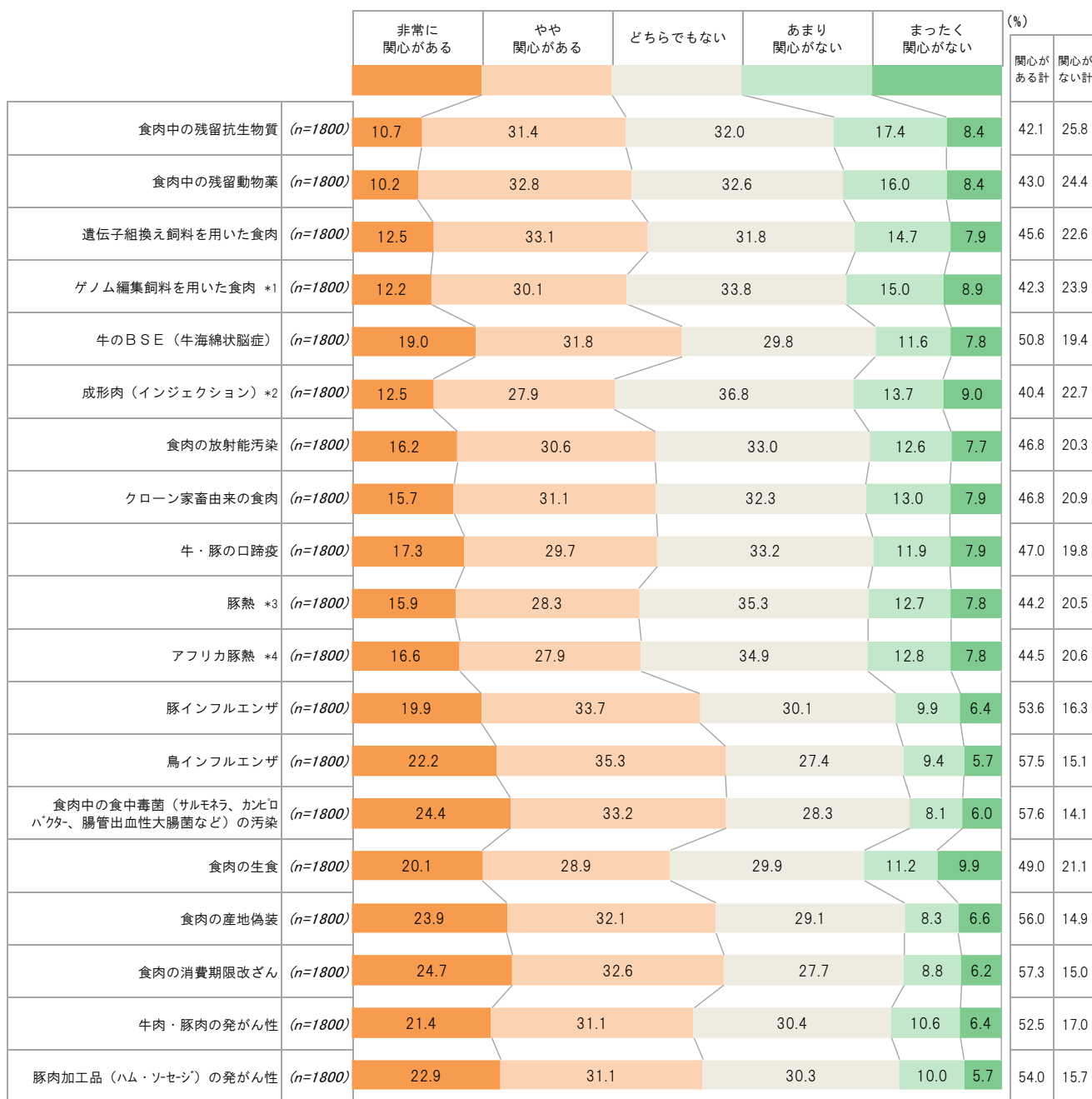
「食肉の放射能汚染」については 46.8%となっており、他の項目に比べて特別に高い関心が寄せられているわけではない。

「非常に関心がある」の割合は、「食肉の消費期限改ざん」が 24.7%、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」が 24.4%、「食肉の産地偽装」が 23.9%の順で高い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、多くの項目で、今年度は昨年度と同傾向であるが、総じて昨年度より関心が減少している。

家畜伝染病（牛・豚の口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザ）に対する「関心がある計（非常に関心がある＋やや関心がある）」の割合は、減少傾向である。



*1 令和元年より新規項目 *2 平成29年の選択肢「成形肉」より変更
 *3 令和元年の選択肢「CSF」より変更 *4 令和元年の選択肢「ASF」より変更
 興味がある計⇒「非常に興味がある」+「やや興味がある」
 興味がない計⇒「あまり興味がない」+「まったく興味がない」

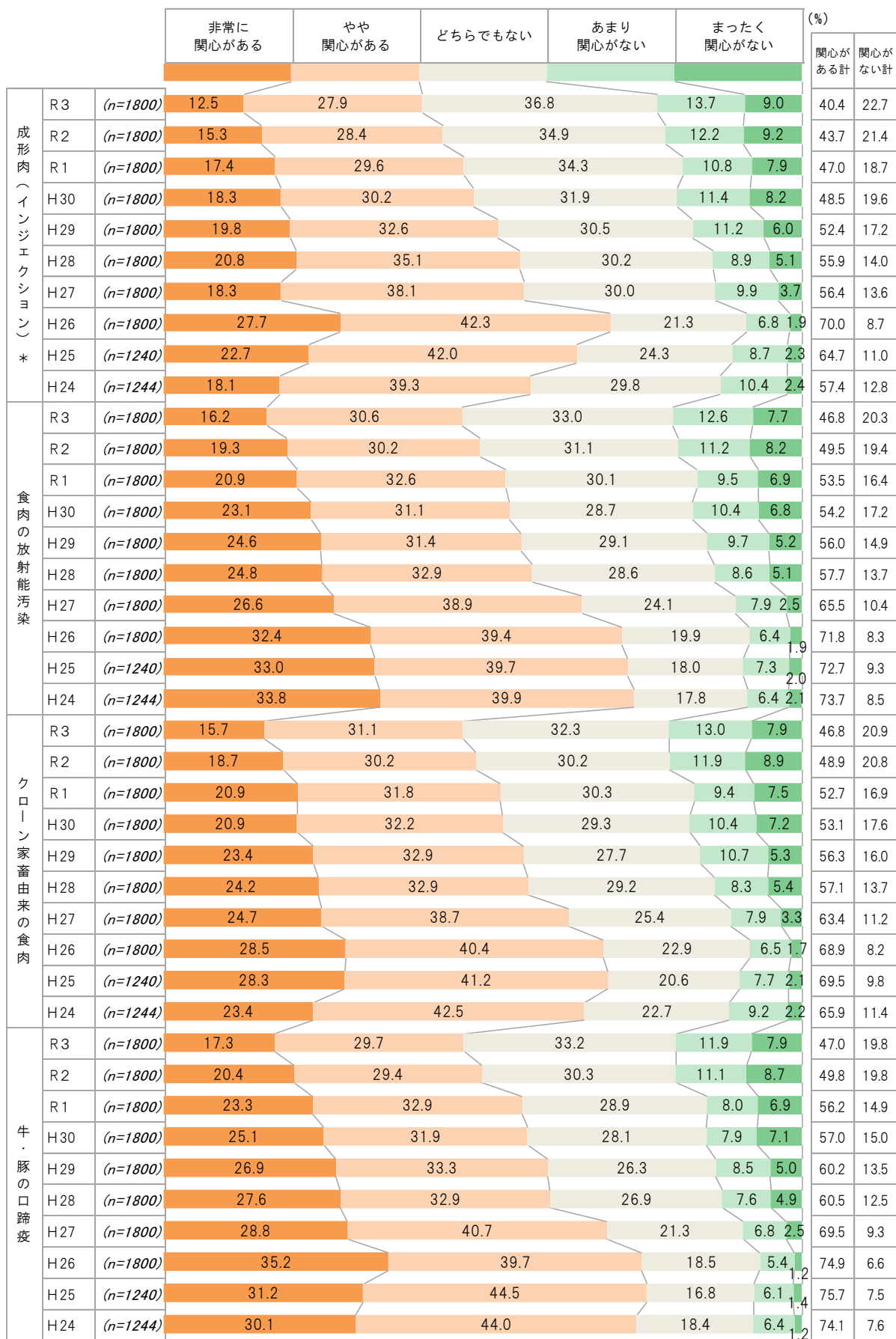
図表 138 食肉の安全性に関する項目別関心度

		n	興味度					合計 (%)	
			非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	関心 がある計	関心 がない計
食肉中の 残留抗生物質	R3	(n=1800)	10.7	31.4	32.0	17.4	8.4	42.1	25.8
	R2	(n=1800)	13.8	33.3	29.7	14.2	9.1	47.1	23.3
	R1	(n=1800)	14.8	35.0	29.1	13.5	7.7	49.8	21.2
	H30	(n=1800)	15.1	33.7	28.8	14.3	8.1	48.8	22.4
	H29	(n=1800)	17.1	34.2	28.4	14.3	6.0	51.3	20.3
	H28	(n=1800)	16.9	34.8	30.6	12.4	5.3	51.7	17.7
	H27	(n=1800)	14.6	41.4	27.8	13.1	3.2	56.0	16.3
	H26	(n=1800)	21.4	44.6	23.3	8.9	1.8	66.0	10.7
	H25	(n=1240)	18.2	44.8	21.9	12.9	2.2	63.0	15.1
	H24	(n=1244)	15.5	39.8	26.5	15.8	2.4	55.3	18.2
食肉中の 残留動物薬	R3	(n=1800)	10.2	32.8	32.6	16.0	8.4	43.0	24.4
	R2	(n=1800)	14.0	32.9	30.3	14.3	8.5	46.9	22.8
	R1	(n=1800)	15.4	34.9	29.7	12.6	7.4	50.3	20.0
	H30	(n=1800)	16.3	33.7	28.1	13.8	8.1	50.0	21.9
	H29	(n=1800)	17.2	33.9	29.3	13.4	6.2	51.1	19.6
	H28	(n=1800)	17.7	35.2	30.2	11.6	5.3	52.9	16.9
	H27	(n=1800)	16.2	41.4	26.9	12.5	3.0	57.6	15.5
	H26	(n=1800)	22.7	43.9	23.8	7.7	1.9	66.6	9.6
	H25	(n=1240)	20.8	48.2	19.7	9.3	2.0	69.0	11.3
	H24	(n=1244)	16.5	47.0	22.8	11.7	2.0	63.5	13.7
遺伝子 組換え飼料を用いた 食肉	R3	(n=1800)	12.5	33.1	31.8	14.7	7.9	45.6	22.6
	R2	(n=1800)	15.9	32.4	30.2	13.3	8.2	48.3	21.5
	R1	(n=1800)	18.6	32.1	30.6	11.3	7.3	50.7	18.6
	H30	(n=1800)	18.7	32.8	28.9	11.8	7.7	51.5	19.5
	H29	(n=1800)	19.0	34.5	28.8	11.9	5.7	53.5	17.6
	H28	(n=1800)	21.0	34.6	28.8	10.2	5.5	55.6	15.7
	H27	(n=1800)	17.7	40.1	27.7	11.8	2.8	57.8	14.6
	H26	(n=1800)	23.1	42.6	24.6	7.8	2.0	65.7	9.8
	H25	(n=1240)	23.5	44.8	19.8	9.8	2.2	68.3	12.0
	H24	(n=1244)	18.4	43.1	24.4	11.6	2.5	61.5	14.1
ゲノム 編集 飼料を用いた 食肉*	R3	(n=1800)	12.2	30.1	33.8	15.0	8.9	42.3	23.9
	R2	(n=1800)	13.8	30.7	32.2	14.0	9.3	44.5	23.3
	R1	(n=1800)	16.6	32.1	31.5	11.7	8.1	48.7	19.8
牛のBSE (牛海綿状脳症)	R3	(n=1800)	19.0	31.8	29.8	11.6	7.8	50.8	19.4
	R2	(n=1800)	22.2	31.7	26.7	11.1	8.4	53.9	19.5
	R1	(n=1800)	25.9	31.2	26.5	9.3	7.1	57.1	16.4
	H30	(n=1800)	26.6	34.2	23.8	9.2	6.3	60.8	15.5
	H29	(n=1800)	29.4	32.7	24.5	8.2	5.1	62.1	13.3
	H28	(n=1800)	30.7	34.4	23.7	6.7	4.5	65.1	11.2
	H27	(n=1800)	31.2	38.7	21.7	6.2	2.2	69.9	8.4
	H26	(n=1800)	35.4	40.9	17.0	5.2	1.4	76.3	6.6
	H25	(n=1240)	35.4	43.8	13.8	5.5	1.5	79.2	7.0
	H24	(n=1244)	32.3	44.3	15.3	6.5	1.6	76.6	8.1

*「ゲノム編集飼料を用いた食肉」は令和元年よりの新規項目

関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」
関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 139 (その1) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (経年変化)



*「成形肉(インジェクション)」平成30年より変更

関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」
関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 139 (その2) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (経年変化)

			非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	(%)	
								関心がある計	関心がない計
豚熱 *1	R3	(n=1800)	15.9	28.3	35.3	12.7	7.8	44.2	20.5
	R2	(n=1800)	18.2	27.9	33.9	11.4	8.6	46.1	20.0
	R1	(n=1800)	27.5	33.8	25.2	7.3	6.3	61.3	13.6
	H30	(n=1800)	25.9	33.8	25.6	8.4	6.3	59.7	14.7
アフリカ豚熱カ *2	R3	(n=1800)	16.6	27.9	34.9	12.8	7.8	44.5	20.6
	R2	(n=1800)	19.1	27.4	33.1	11.2	9.3	46.5	20.5
	R1	(n=1800)	25.9	31.8	28.1	7.1	7.2	57.7	14.3
豚インフルエンザ	R3	(n=1800)	19.9	33.7	30.1	9.9	6.4	53.6	16.3
	R2	(n=1800)	22.7	33.5	28.0	8.6	7.2	56.2	15.8
	R1	(n=1800)	26.6	34.0	26.0	6.9	6.5	60.6	13.4
	H30	(n=1800)	27.6	35.6	24.4	7.3	5.0	63.2	12.3
	H29	(n=1800)	30.8	33.8	23.4	7.8	4.1	64.6	11.9
	H28	(n=1800)	28.8	35.8	24.8	6.4	4.2	64.6	10.6
	H27	(n=1800)	28.8	41.3	20.8	7.0	2.1	70.1	9.1
	H26	(n=1800)	35.9	40.5	17.9	4.5	1.1	76.4	5.6
	H25	(n=1240)	32.0	47.9	13.8	4.8	1.5	79.9	6.3
	H24	(n=1244)	29.1	46.0	17.7	6.4	0.9	75.1	7.3
鳥インフルエンザ	R3	(n=1800)	22.2	35.3	27.4	9.4	5.7	57.5	15.1
	R2	(n=1800)	24.5	34.6	26.3	7.6	7.1	59.1	14.7
	R1	(n=1800)	28.4	35.4	23.8	6.2	6.1	63.8	12.3
	H30	(n=1800)	31.3	36.9	21.3	5.7	4.8	68.2	10.5
	H29	(n=1800)	33.3	35.5	21.4	5.9	3.9	68.8	9.8
	H28	(n=1800)	32.0	36.3	22.1	5.8	3.8	68.3	9.6
	H27	(n=1800)	33.7	41.3	17.7	5.4	1.9	75.0	7.3
	H26	(n=1800)	39.6	39.5	15.8	4.2	0.9	79.1	5.1
	H25	(n=1240)	36.5	46.9	11.5	4.0	1.2	83.4	5.2
	H24	(n=1244)	30.9	46.8	15.8	5.7	0.8	77.7	6.5
食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸炎菌など）の汚染	R3	(n=1800)	24.4	33.2	28.3	8.1	6.0	57.6	14.1
	R2	(n=1800)	27.2	32.8	25.7	7.2	7.1	60.0	14.3
	R1	(n=1800)	30.6	33.3	23.9	6.6	5.7	63.9	12.3
	H30	(n=1800)	31.6	33.8	23.0	6.8	4.8	65.4	11.6
	H29	(n=1800)	35.3	31.9	22.8	5.7	4.3	67.2	10.0
	H28	(n=1800)	31.7	33.2	25.3	5.8	4.0	64.9	9.8
	H27	(n=1800)	34.7	39.7	18.8	4.8	2.0	74.4	6.8
	H26	(n=1800)	40.3	39.1	15.8	3.8	0.9	79.4	4.7
	H25	(n=1240)	37.8	46.9	10.4	4.0	1.0	84.7	5.0
H24	(n=1244)	36.9	44.0	13.6	4.6	1.0	80.9	5.6	

*1 令和元年の選択肢「CSF」より変更
*2 令和元年の選択肢「ASF」より変更

関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」
関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 139（その3） 食肉の安全性に関する項目別関心度（経年変化）

			非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	(%)	
								関心が ある計	関心が ない計
食肉の生食	R3	(n=1800)	20.1	28.9	29.9	11.2	9.9	49.0	21.1
	R2	(n=1800)	21.3	29.0	29.2	10.6	10.0	50.3	20.6
	R1	(n=1800)	25.7	30.7	27.7	7.9	8.0	56.4	15.9
	H30	(n=1800)	26.8	31.1	25.7	8.6	7.8	57.9	16.4
	H29	(n=1800)	29.3	28.7	26.0	8.3	7.7	58.0	16.0
	H28	(n=1800)	25.4	30.3	27.8	8.7	7.7	55.7	16.4
	H27	(n=1800)	24.1	34.3	22.6	10.9	8.1	58.4	19.0
	H26	(n=1800)	31.2	36.3	19.9	8.4	4.1	67.5	12.5
	H25	(n=1240)	29.4	39.6	19.0	8.1	3.9	69.0	12.0
	H24	(n=1244)	26.7	38.2	19.9	10.3	5.0	64.9	15.3
食肉の産地偽装	R3	(n=1800)	23.9	32.1	29.1	8.3	6.6	56.0	14.9
	R2	(n=1800)	25.7	32.3	26.6	8.2	7.2	58.0	15.4
	R1	(n=1800)	31.7	30.0	26.1	6.7	5.5	61.7	12.2
	H30	(n=1800)	31.0	33.1	24.0	6.7	5.2	64.1	11.9
	H29	(n=1800)	31.9	33.3	23.9	6.7	4.2	65.2	10.9
	H28	(n=1800)	32.9	32.6	24.4	5.8	4.2	65.5	10.0
	H27	(n=1800)	31.9	40.1	21.1	5.1	1.8	72.0	6.9
	H26	(n=1800)	42.6	36.3	15.7	4.1	1.3	78.9	5.4
	H25	(n=1240)	38.1	42.5	13.0	5.5	0.9	80.6	6.4
	H24	(n=1244)	35.7	42.2	15.6	5.3	1.2	77.9	6.5
食肉の消費期限改ざん	R3	(n=1800)	24.7	32.6	27.7	8.8	6.2	57.3	15.0
	R2	(n=1800)	26.9	33.9	24.1	7.9	7.1	60.8	15.0
	R1	(n=1800)	31.4	32.1	24.6	6.4	5.4	63.5	11.8
	H30	(n=1800)	31.5	33.6	24.3	6.1	4.5	65.1	10.6
	H29	(n=1800)	32.9	34.3	22.2	6.4	4.1	67.2	10.5
	H28	(n=1800)	34.1	32.8	23.9	5.2	4.1	66.9	9.3
	H27	(n=1800)	35.2	41.1	18.6	3.6	1.6	76.3	5.2
	H26	(n=1800)	45.7	37.1	13.2	2.8	1.2	82.8	4.0
	H25	(n=1240)	38.6	46.4	11.0	3.3	0.7	85.0	4.0
	H24	(n=1244)	36.8	44.9	13.5	3.9	0.9	81.7	4.8
牛肉・豚肉の発がん性	R3	(n=1800)	21.4	31.1	30.4	10.6	6.4	52.5	17.0
	R2	(n=1800)	24.7	30.9	27.4	9.6	7.3	55.6	16.9
	R1	(n=1800)	28.9	31.9	26.1	7.1	6.1	60.8	13.2
	H30	(n=1800)	28.2	30.3	28.1	7.9	5.6	58.5	13.5
	H29	(n=1800)	30.9	30.1	26.6	7.8	4.7	61.0	12.5
	H28	(n=1800)	30.7	31.2	26.8	6.7	4.6	61.9	11.3
ソーセージ(ハム・豚肉加工品)の発がん性	R3	(n=1800)	22.9	31.1	30.3	10.0	5.7	54.0	15.7
	R2	(n=1800)	24.6	32.8	27.1	8.3	7.3	57.4	15.6
	R1	(n=1800)	29.1	32.1	26.3	6.6	5.9	61.2	12.5
	H30	(n=1800)	29.8	31.7	25.6	7.5	5.4	61.5	12.9
	H29	(n=1800)	30.7	30.2	27.4	7.1	4.7	60.9	11.8
	H28	(n=1800)	31.1	31.6	26.2	6.2	4.9	62.7	11.1

関心がある計⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」
関心がない計⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 139 (その4) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (経年変化)

4.2 食肉の安全性に対する社会的な意識

1) 社会全体における食肉の安全性の認識 (Q27)

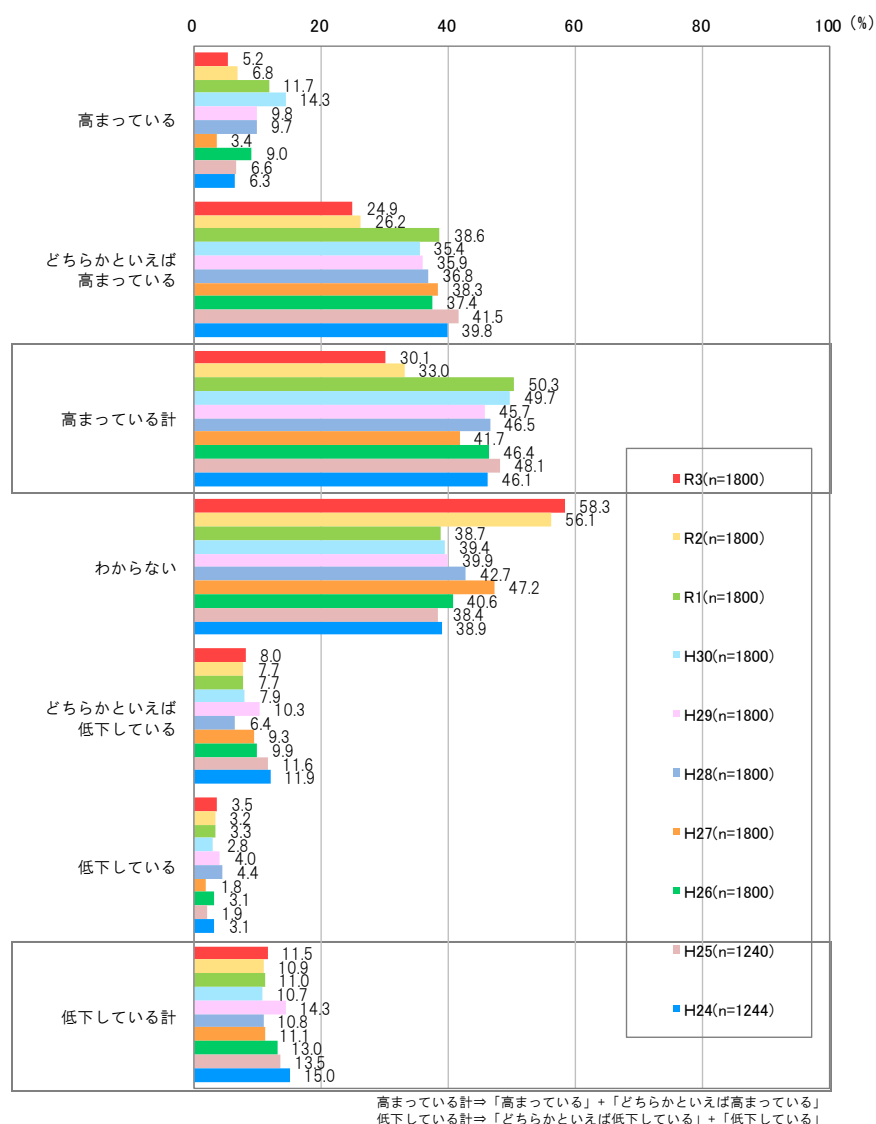
- 社会全体における食肉の安全性の認識は、「高まっている計」の割合が30.1%。
- 過年度調査と比較すると、昨年度と大きな変化は見られない。

【今年度調査】

社会全体における食肉の安全性について聞いたところ、「低下している（低下している+どちらかといえば低下している）」の割合が11.5%であるのに対して、「高まっている（高まっている+どちらかといえば高まっている）」の割合は30.1%である。「わからない」が58.3%と半数以上を占める。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度と大きな変化は見られない。



図表 140 社会全体における食肉の安全性の認識（経年変化）

2) 食肉の情報を得るために用いている主な情報源・信頼できる情報源

①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能 (Q28・Q29)

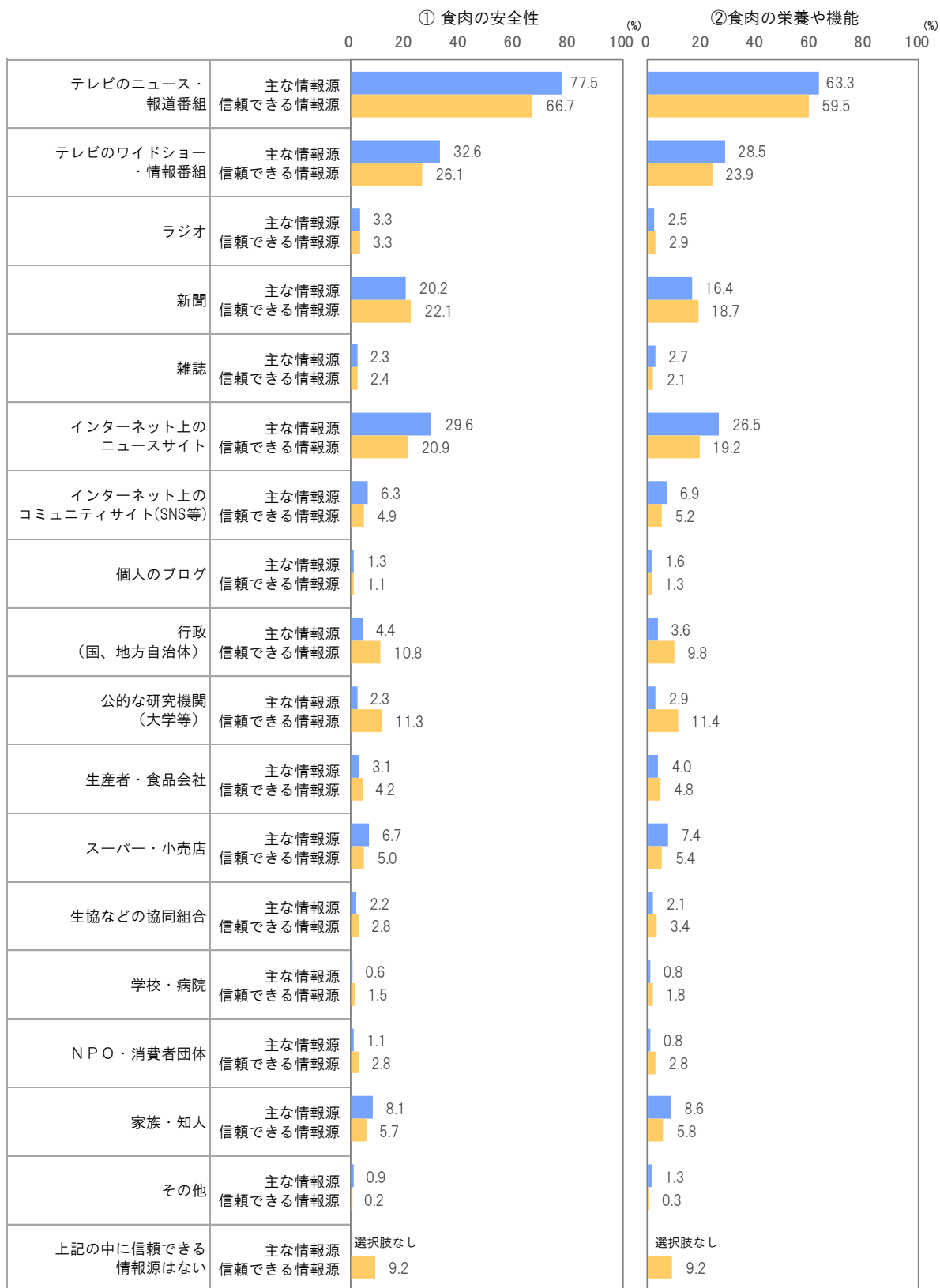
- 「①食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」について情報を得るために用いている主な情報源の TOP3 は、「テレビのニュース・報道番組」「テレビのワイドショー・情報番組」「インターネット上のニュースサイト」。
- 信頼できる情報源も、「テレビのニュース・報道番組」「テレビのワイドショー・情報番組」が TOP2 で、「新聞」「インターネット上のニュースサイト」が続く。

【今年度調査】

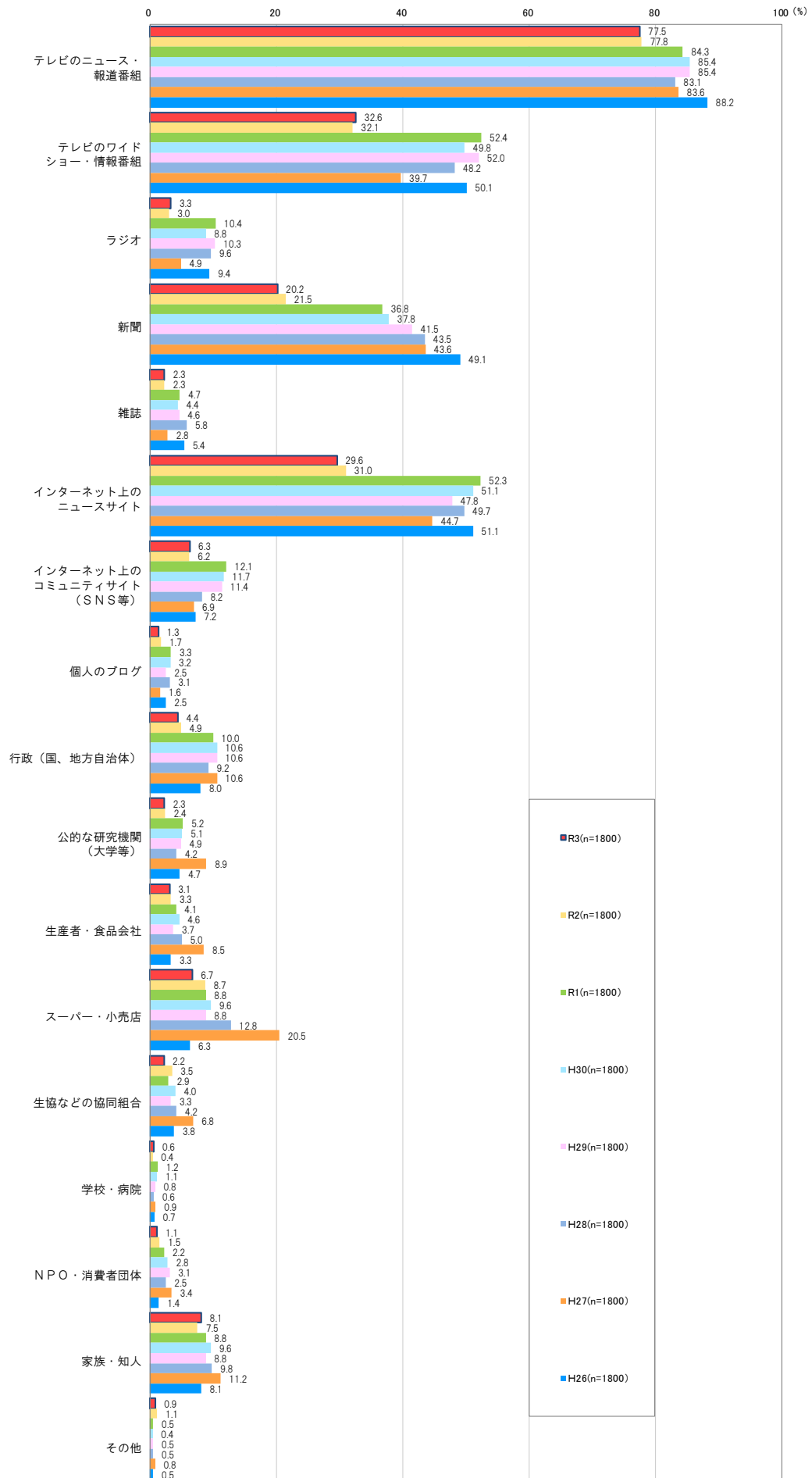
「① 食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」についての情報を得るために用いている主な情報源（上位3つ）は、TOP3 が「テレビのニュース・報道番組」（①77.5%、②63.3%）、「テレビのワイドショー・情報番組」（①32.6%、②28.5%）、「インターネット上のニュースサイト」（①29.6%、②26.5%）。

「① 食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」についての信頼できる情報源（上位3つ）は、TOP2 が「テレビのニュース・報道番組」（①66.7%、②59.5%）、「テレビのワイドショー・情報番組」（①26.1%、②23.9%）で、「新聞」（①22.1%、②18.7%）、「インターネット上のニュースサイト」（①20.9%、②19.2%）が続く。

※令和2年度からは、「主な情報源（上位3つ）：複数回答」として聞いたが、令和元年度以前は「1位」「2位」「3位」（各単一回答（SA））で聞いたため、令和元年度以前のデータ（1位・2位・3位の合計比率）は、参考値として図示するにとどめる。

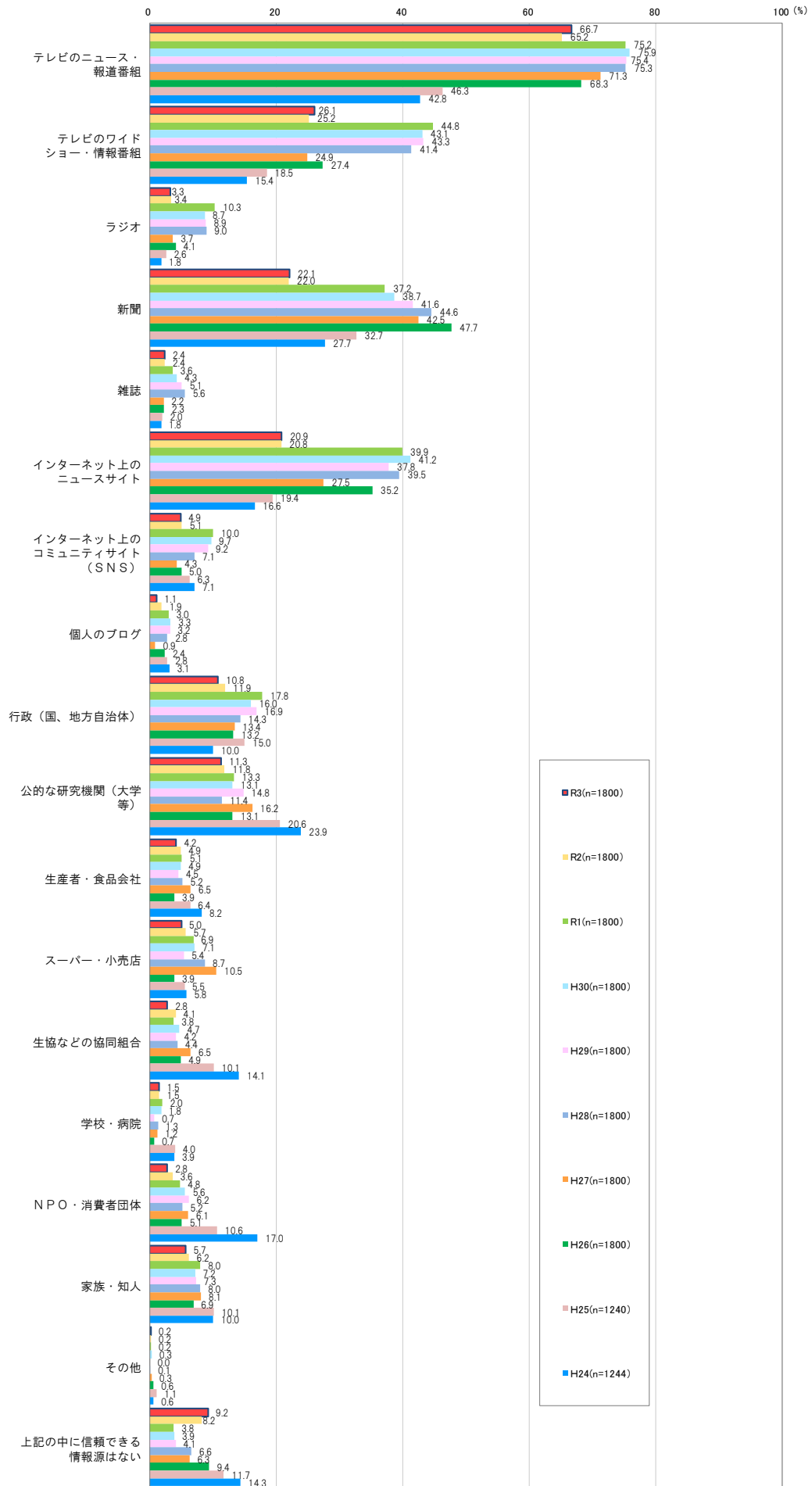


図表 141 食肉の情報を得るために用いている主な情報源・信頼できる情報源
①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能



*令和元年までは1位、2位、3位を選択、令和2年からは上位3つまでを選択(合計の比率)に変更となった

図表 142 食肉の情報を得るために用いている主な情報源 ①食肉の安全性(経年変化※参考値)



*令和元年までは1位、2位、3位を選択、令和2年からは上位3つまでを選択(合計の比率)に変更となった

図表 143 信頼できる情報源 ①食肉の安全性(経年変化※参考値)

3) 各機関の取組に対する信頼性 (Q30)

- ▶ 「信頼できる (信頼できる+どちらかといえば信頼できる)」の割合が高かったのは「農林水産省」「地方自治体」「畜産農家」「厚生労働省」。
- ▶ 過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

【今年度調査】

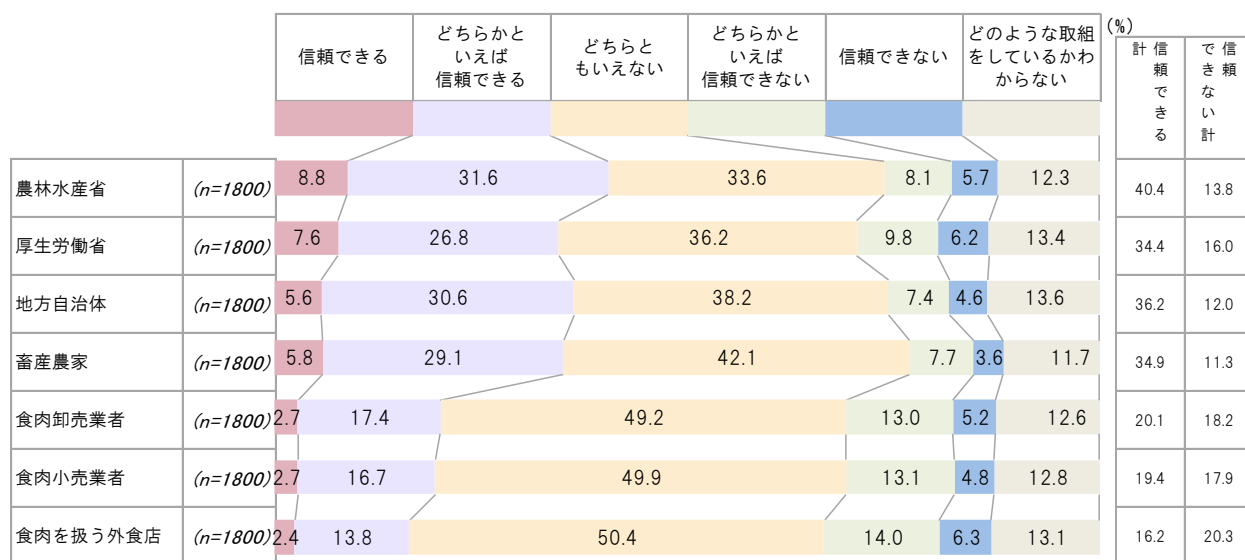
食肉の安全性に関しては、農林水産省、厚生労働省といった国の機関、地方自治体などの機関が様々な取組を行っている。各機関の取組について消費者から見た際、どの機関が信用できるか聞いた。

その結果「信頼できる計 (信頼できる+どちらかといえば信頼できる)」の割合は「農林水産省」が 40.4%、「地方自治体」36.2%、「畜産農家」が 34.9%、「厚生労働省」が 34.4%の順で高い。

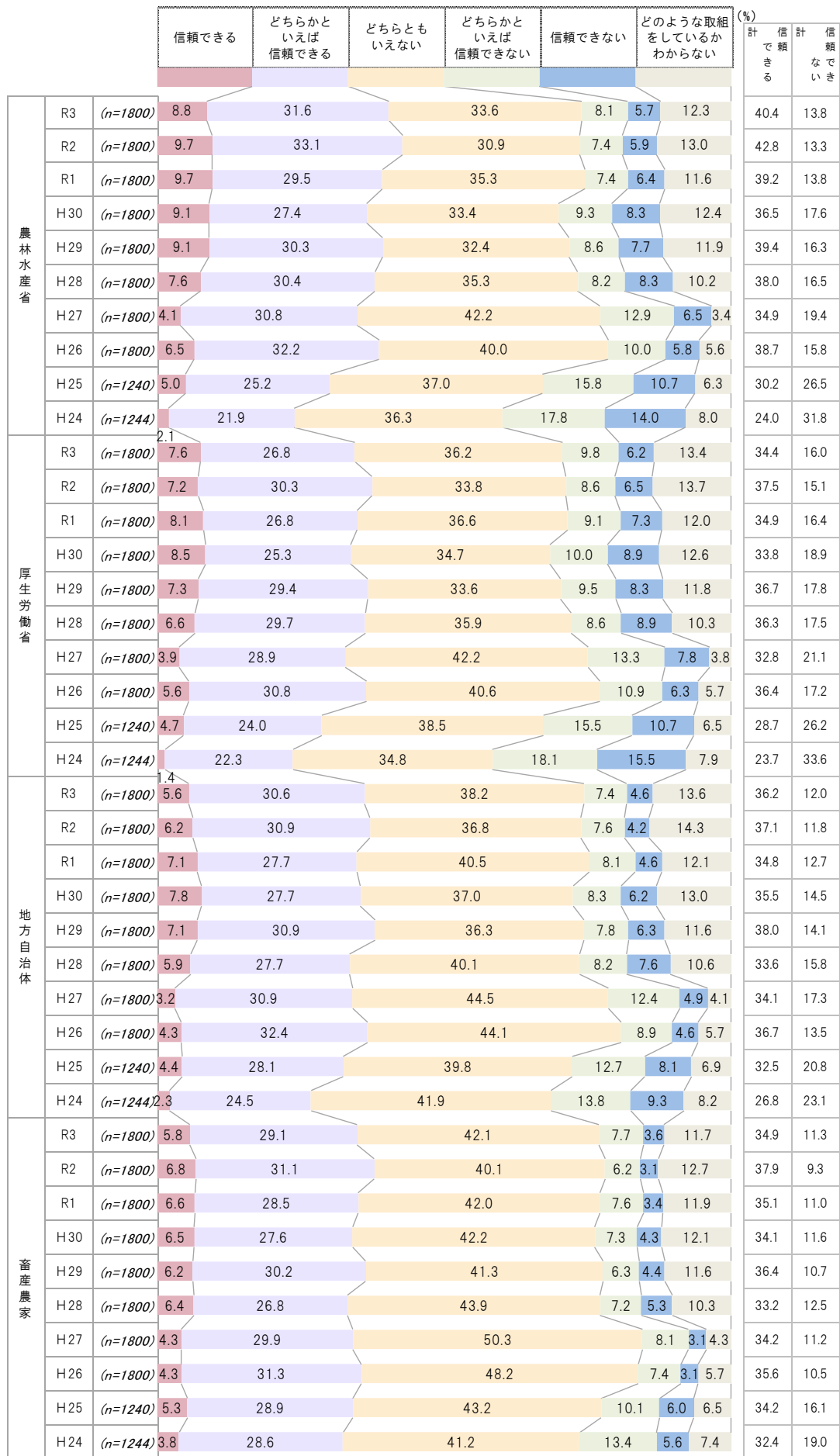
逆に「信頼できない計 (信頼できない+どちらかといえば信頼できない)」の割合は、「食肉を扱う外食店」が 20.3%、「食肉卸売業者」が 18.2%、「食肉小売業者」が 17.9%の順で高い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

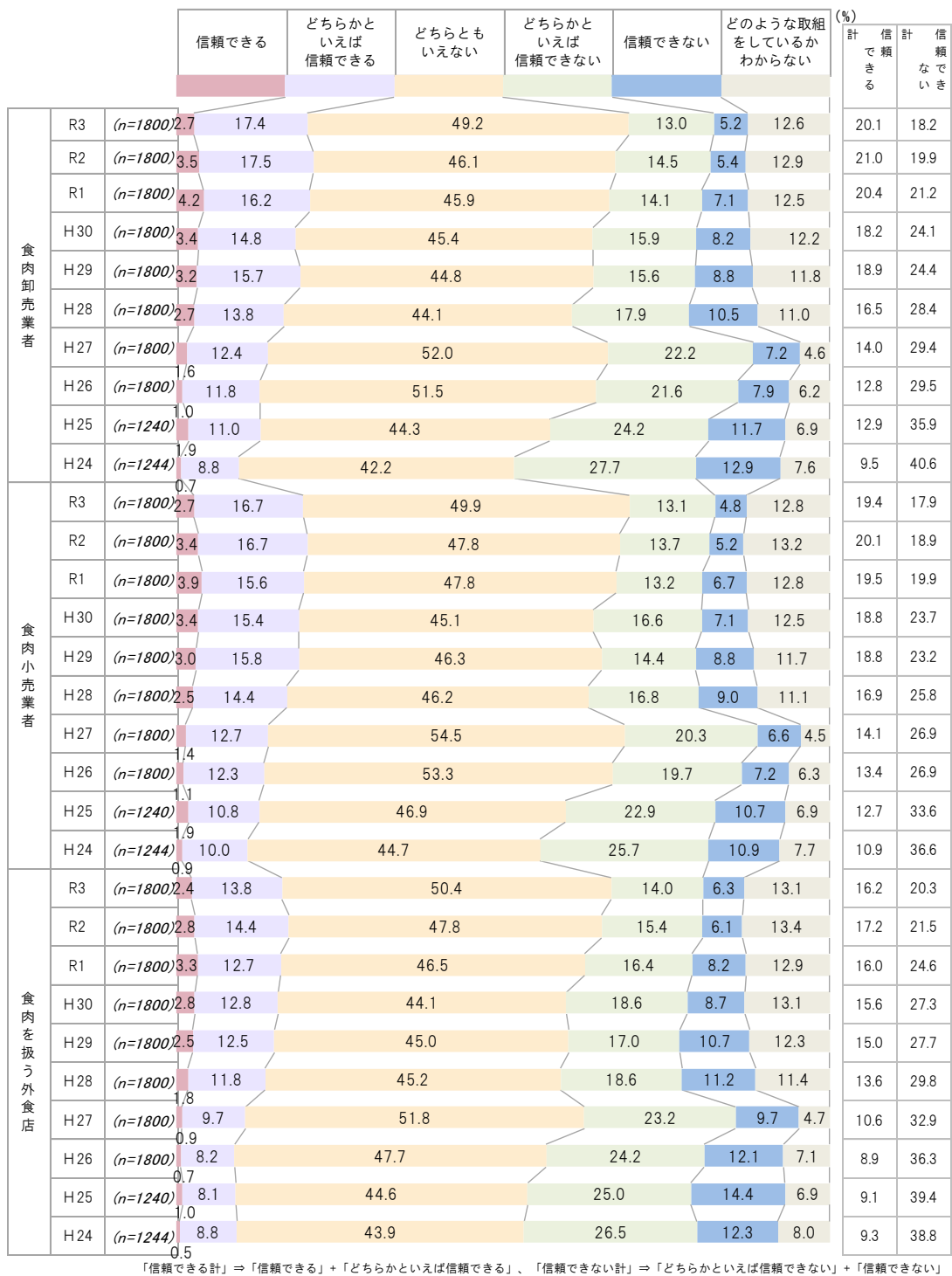


図表 144 各機関の取組に対する信頼性



「信頼できる計」⇒「信頼できる」+「どちらかといえば信頼できる」、「信頼できない計」⇒「どちらかといえば信頼できない」+「信頼できない」

図表 145 行政・農家の取組に対する信頼性（経年変化）



図表 146 民間事業者などの取組に対する信頼性（経年変化）

4) 食肉の情報提供に対する行政への期待 ①食肉の安全性 ②食肉の栄養や機能 (Q31)

- 「①食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」についての情報提供において、行政に期待することのTOP3は、「正確な情報の提供」「わかりやすい情報の提供」「迅速な情報の提供」。
- 過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

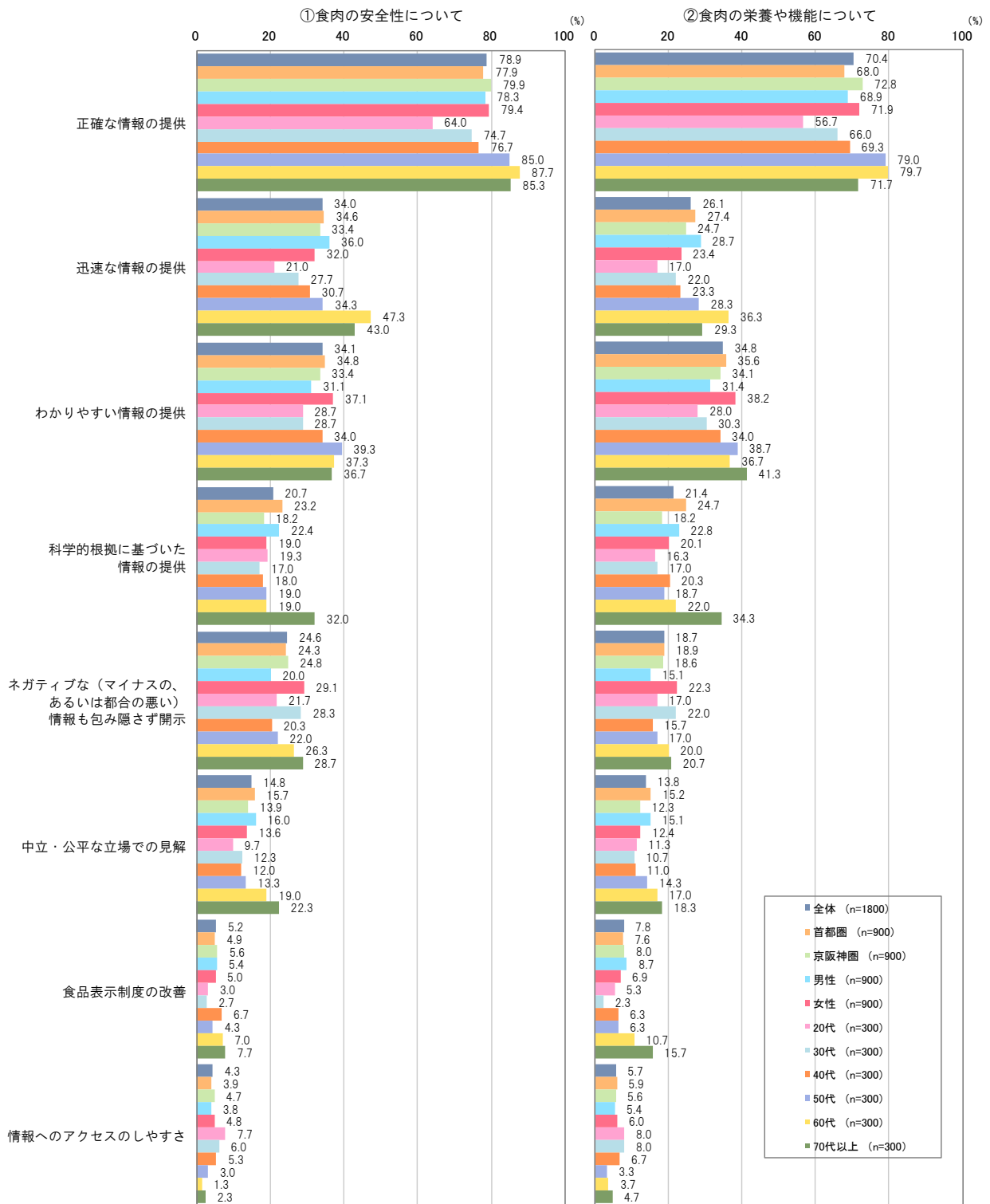
【今年度調査】

「① 食肉の安全性」「②食肉の栄養や機能」についての情報提供において、行政に期待すること（上位3つ）は、TOP3が「正確な情報の提供」（①78.9%、②70.4%）、「わかりやすい情報の提供」（①34.1%、②34.8%）、「迅速な情報の提供」（①34.0%、②26.1%）。

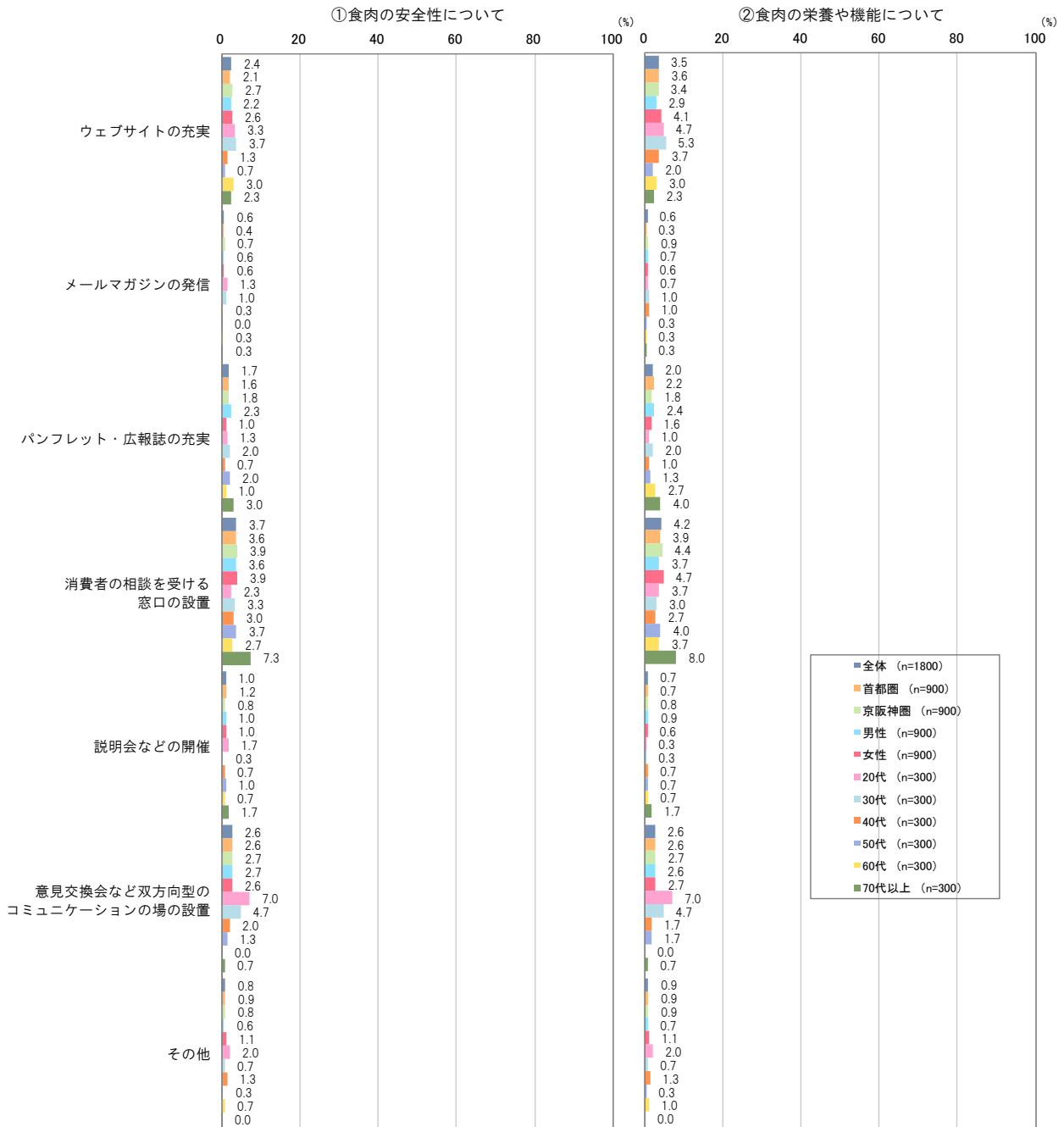
【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

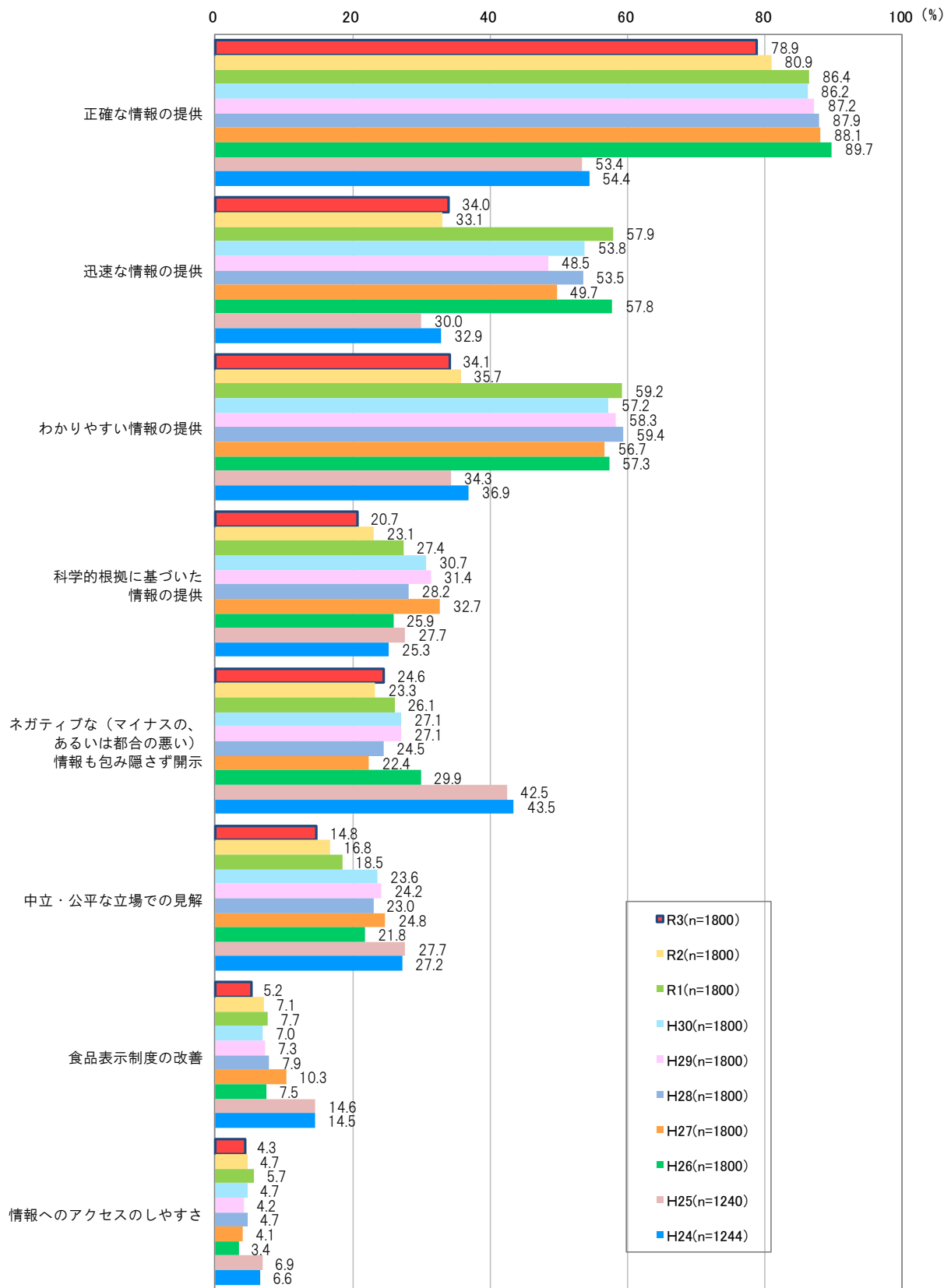
※令和2年度は、「行政に期待すること（上位3つ）：複数回答」として聞いたが、令和元年度以前は「1位」「2位」「3位」（各単一回答（SA））で聞いたため、令和元年度以前のデータ（1位・2位・3位の合計比率）は、参考値として図示するにとどめる。



図表 147（その1） 情報提供に対する行政への期待

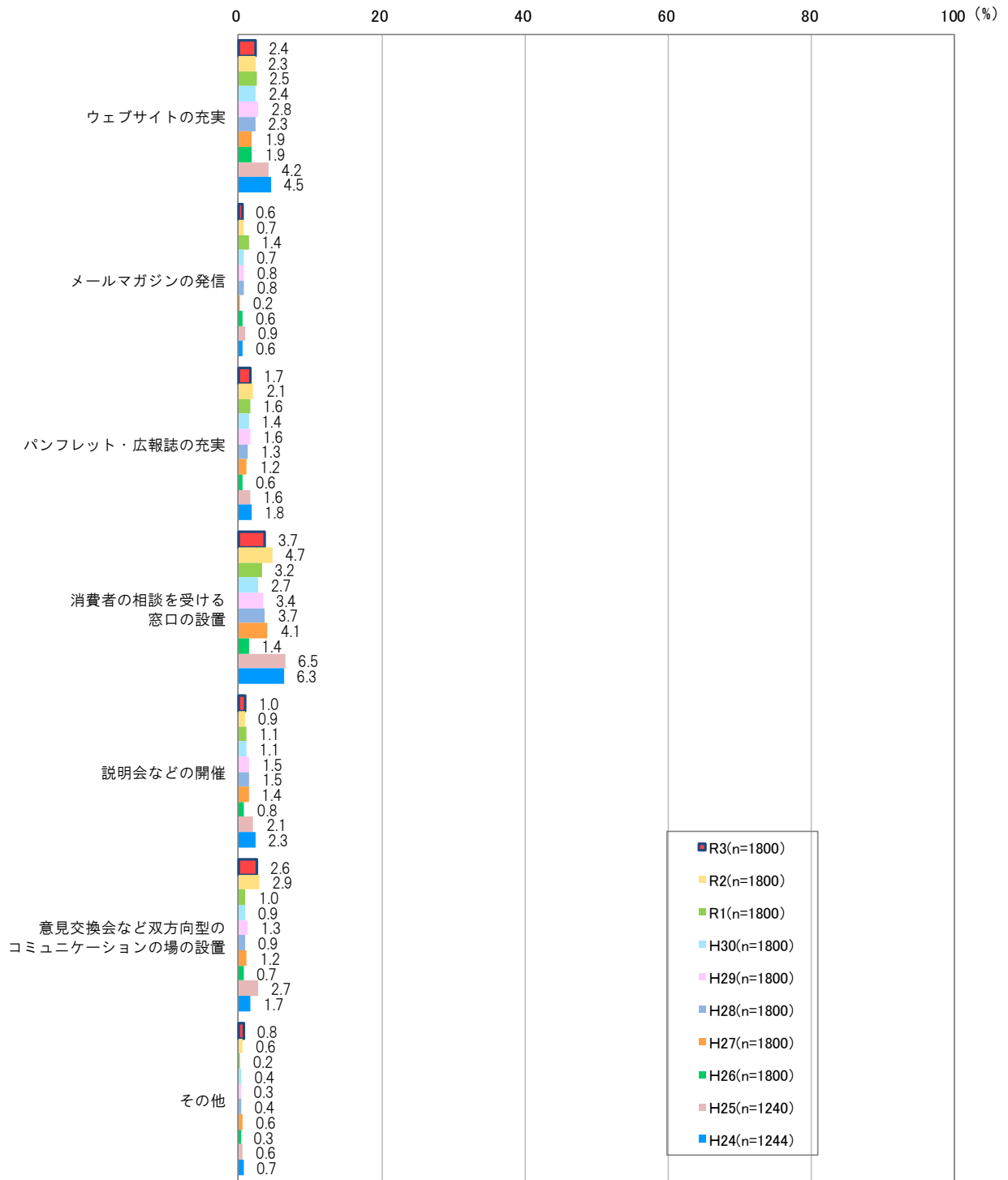


図表 147 (その2) 情報提供に対する行政への期待



* 令和元年までは1位, 2位, 3位を選択、令和2年からは上位3つまでを選択(合計の比率)に変更となった

図表 148 (その1) 情報提供に対する行政への期待 (経年変化※参考値)



*令和元年までは1位, 2位, 3位を選択、令和2年からは上位3つまでを選択(合計の比率)に変更となった

図表 148 (その2) 情報提供に対する行政への期待 (経年変化※参考値)

5. 「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に係わる食生活・購買行動の変化に関する調査

1) 「新型コロナウイルス感染症」についての不安（Q50）

- ▶ 「新型コロナウイルス感染症」についての不安を「不安を感じる計」で見ると、「家族の感染」68.9%、「自分の感染」67.1%が7割弱が多い。次いで、「医療提供体制の逼迫」64.9%、「友人・知人・同僚など身近な人の感染」62.5%、「外食・外出・旅行・娯楽など行動の制限」58.4%、「収入の減少や雇用の不安」55.2%、「友人・知人・同僚などとのコミュニケーション不足・人間関係」53.1%の順。
- ▶ 過年度調査と比較すると、昨年度より「外食・外出・旅行・娯楽など行動の制限」の不安度が減少。

【今年度調査】

「新型コロナウイルス感染症」やそれに伴うことがらについての不安を「不安を感じる計」で見ると、「家族の感染」68.9%、「自分の感染」67.1%が7割弱が多く、次いで、「医療提供体制の逼迫」64.9%、「友人・知人・同僚など身近な人の感染」62.5%、「外食・外出・旅行・娯楽など行動の制限」58.4%、「収入の減少や雇用の不安」55.2%、「友人・知人・同僚などとのコミュニケーション不足・人間関係」53.1%の順である。

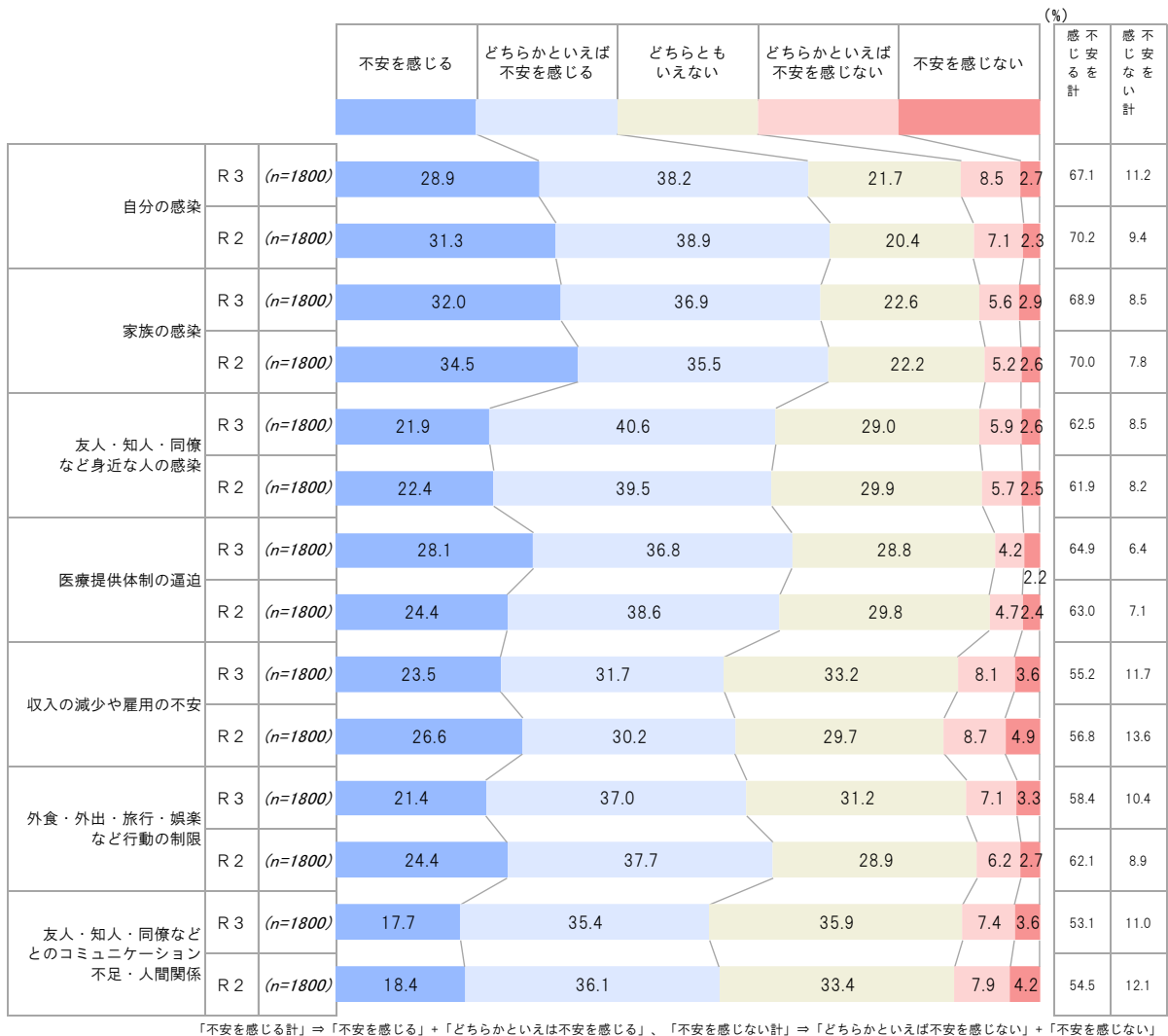
エリア別に「不安を感じる計」を見ると、いずれのことながらも、京阪神圏より首都圏の方が不安度が高い。

男女別に「不安を感じる計」を見ると、いずれのことながらも、男性より女性の方が不安度が高い。

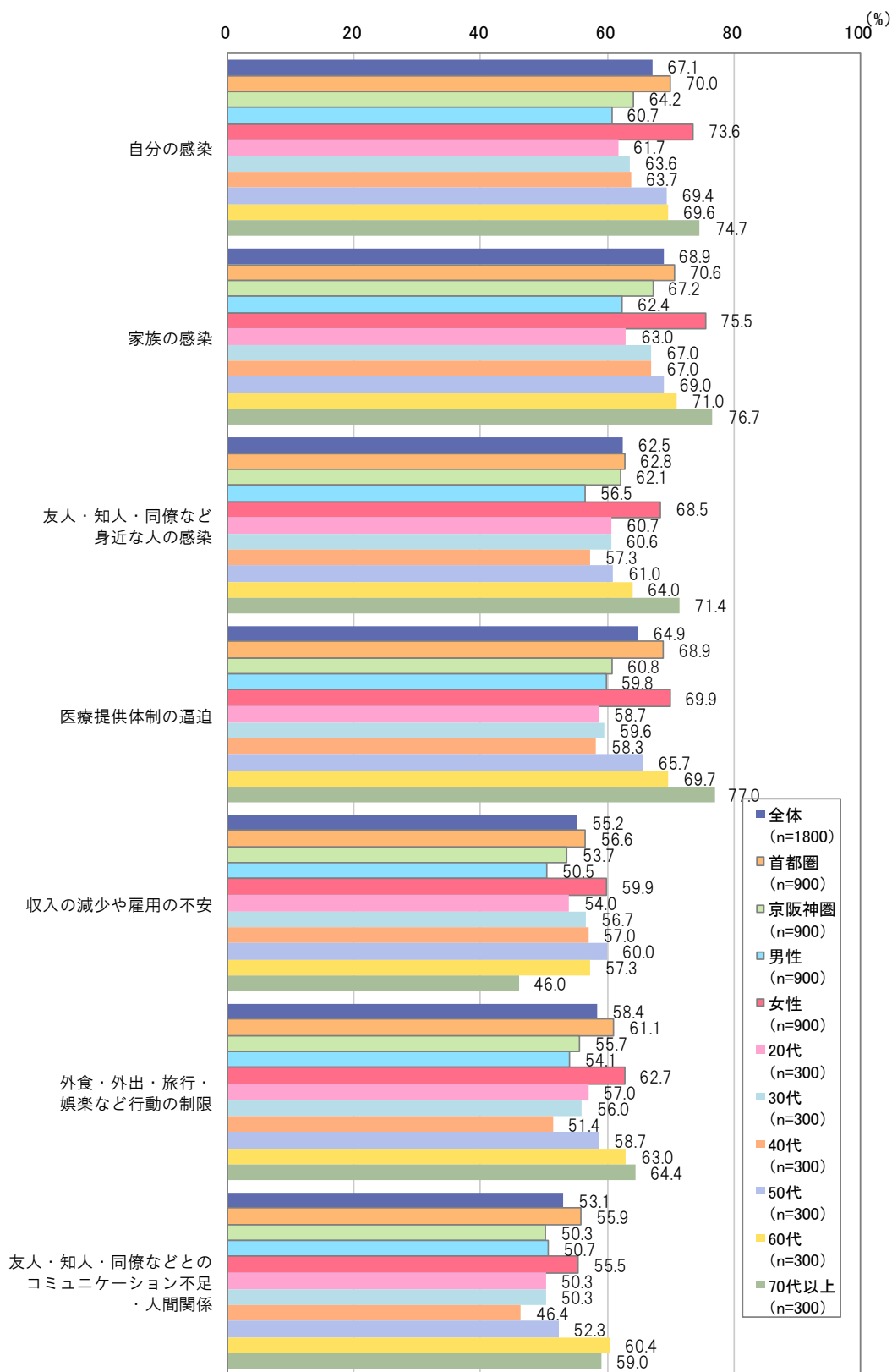
年代別に「不安を感じる計」を見ると、「収入の減少や雇用の不安」は70代以上では不安度が低いが、それ以外のことからは70代以上で不安度が高くなっている。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度より「外食・外出・旅行・娯楽など行動の制限」の不安度は減少したが、それ以外のことからは、大きな変化は見られない。



図表 149 「新型コロナウイルス感染症」についての不安（経年変化）



図表 150 エリア・性・年代別 「新型コロナウイルス感染症」についての不安

2) 「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に係わる食生活・購買行動の変化（Q51）

- 「新型コロナウイルス感染症」の流行による食生活・購買行動の変化は、「外食の機会が減った」が45.1%で最も多く、次いで「自宅で食事する機会が増えた」35.1%、「食肉の購入回数を減らして、まとめて購入するようになった」25.6%、「持ち帰り・テイクアウトの利用が増えた」15.3%、「家族そろって食事する機会が増えた」14.6%、「簡単・時短の肉料理を作るようになった」10.9%の順で多い。「特にない」が28.4%いる。
- 過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。

【今年度調査】

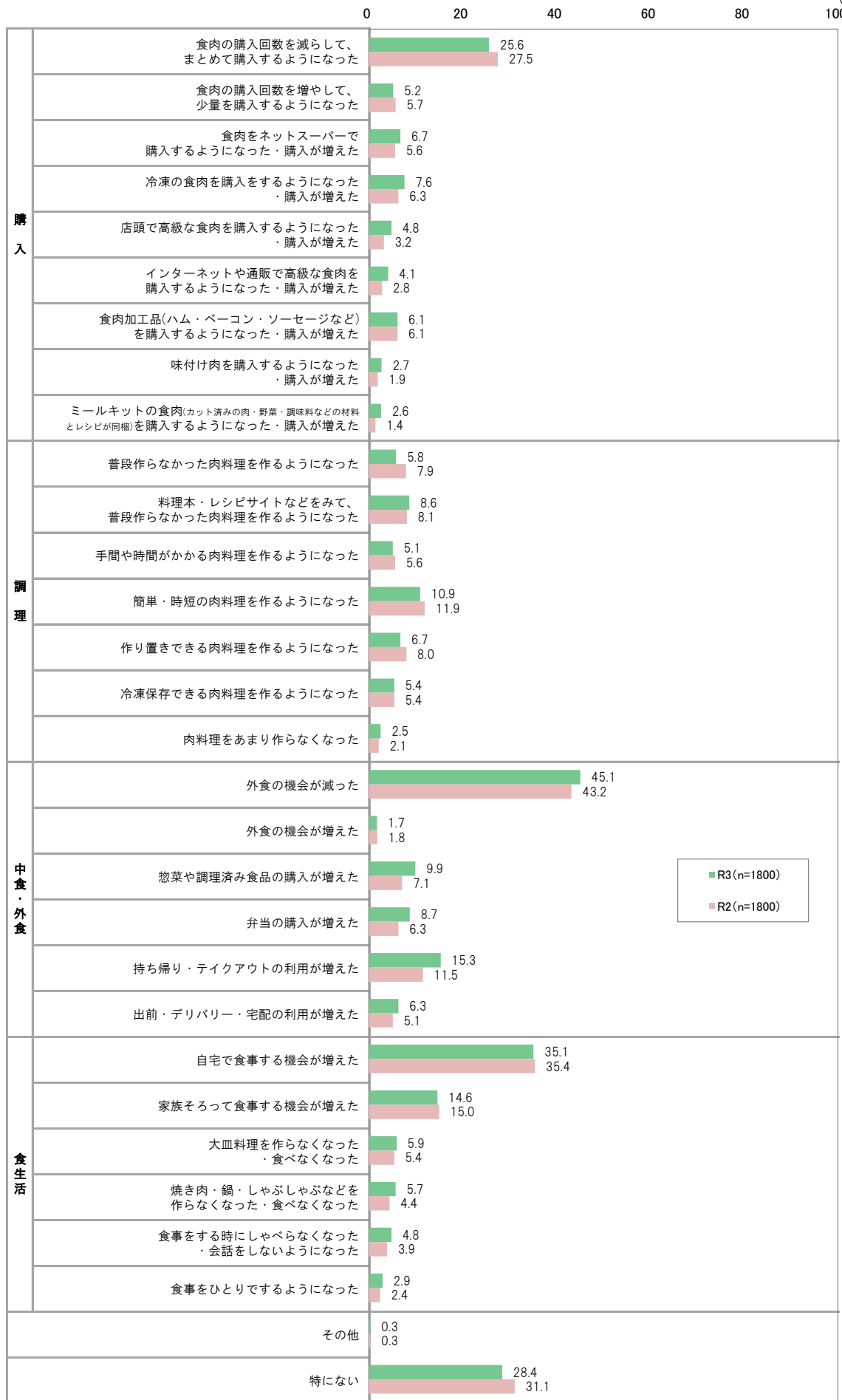
「新型コロナウイルス感染症」の流行による昨年の今頃と比べた食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）の購入や調理、中食や外食などの食生活の変化（Q51）を聞いたところ、「外食の機会が減った」が45.1%で最も多く、次いで「自宅で食事する機会が増えた」35.1%、「食肉の購入回数を減らして、まとめて購入するようになった」25.6%、「持ち帰り・テイクアウトの利用が増えた」15.3%、「家族そろって食事する機会が増えた」14.6%、「簡単・時短の肉料理を作るようになった」10.9%の順で多い。「特にない」が28.4%と食生活や購買行動に変化がない人が3分の1いる。

エリア別に見ると、「外食の機会が減った」（首都圏47.4%＞京阪神圏42.7%）、「持ち帰り・テイクアウトの利用が増えた」（首都圏18.6%＞京阪神圏12.1%）、「自宅で食事する機会が増えた」（首都圏37.8%＞京阪神圏32.4%）、「家族そろって食事する機会が増えた」（首都圏17.2%＞京阪神圏12.0%）は、京阪神圏より首都圏の方が多い。男女別に見ると、「食肉の購入回数を減らして、まとめて購入するようになった」（女性30.6%＞男性20.7%）、「外食の機会が減った」（女性50.0%＞男性40.1%）、「自宅で食事する機会が増えた」（女性37.7%＞男性32.6%）は、男性より女性の方が多い。一方、「特にない」は、男性が33.1%、女性が23.7%と女性より男性の方が多く、昨年度に引き続き、女性の方が、「新型コロナウイルス感染症」の流行により食生活に何らかの変化があった人が多い。年代別に見ると、「外食の機会が減った」「自宅で食事する機会が増えた」「家族そろって食事する機会が増えた」などは70代以上で多く、20代・30代の若い世代では少ない。

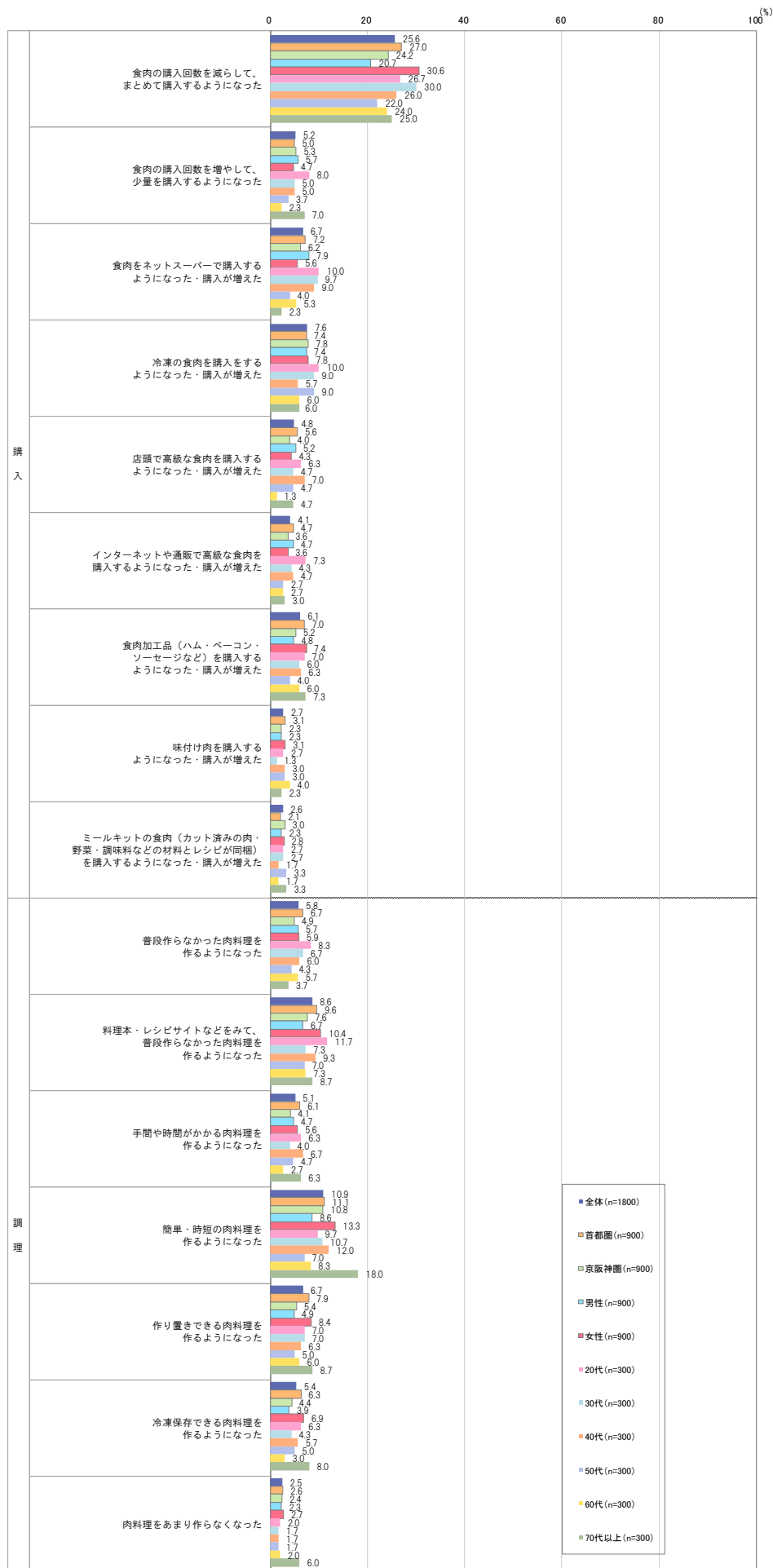
「新型コロナウイルス感染症」への不安度別（図表153）を見ると、「全てのことがらに不安を感じる層」は、食肉や購買行動の変化が多岐に渡っている。一方、「いずれも不安を感じない層」は、「特にない」が70.3%と、食生活や購買行動に変化がない人が非常に多い。

【過年度調査との比較】

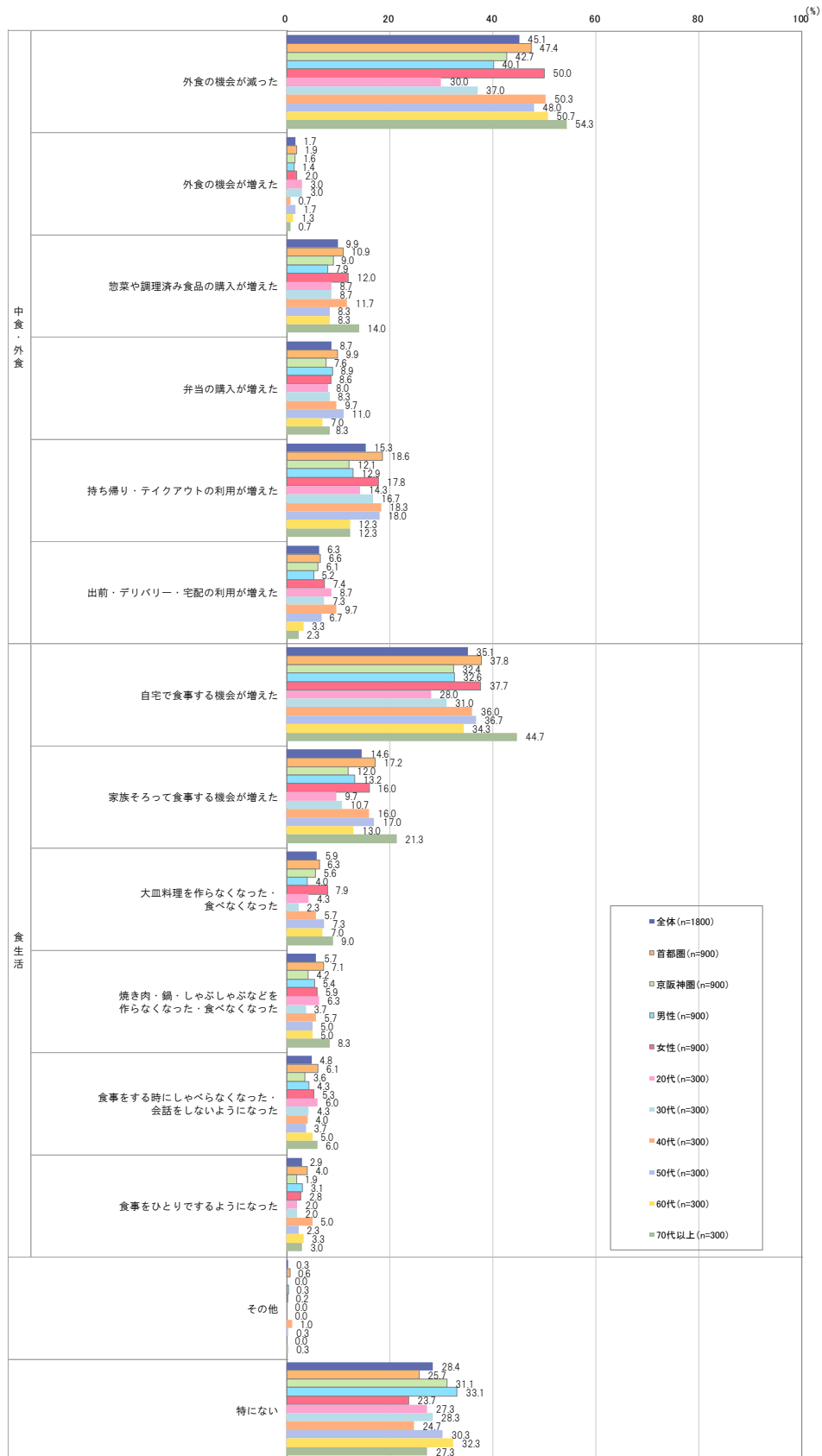
過年度調査と比較すると、大きな変化は見られない。



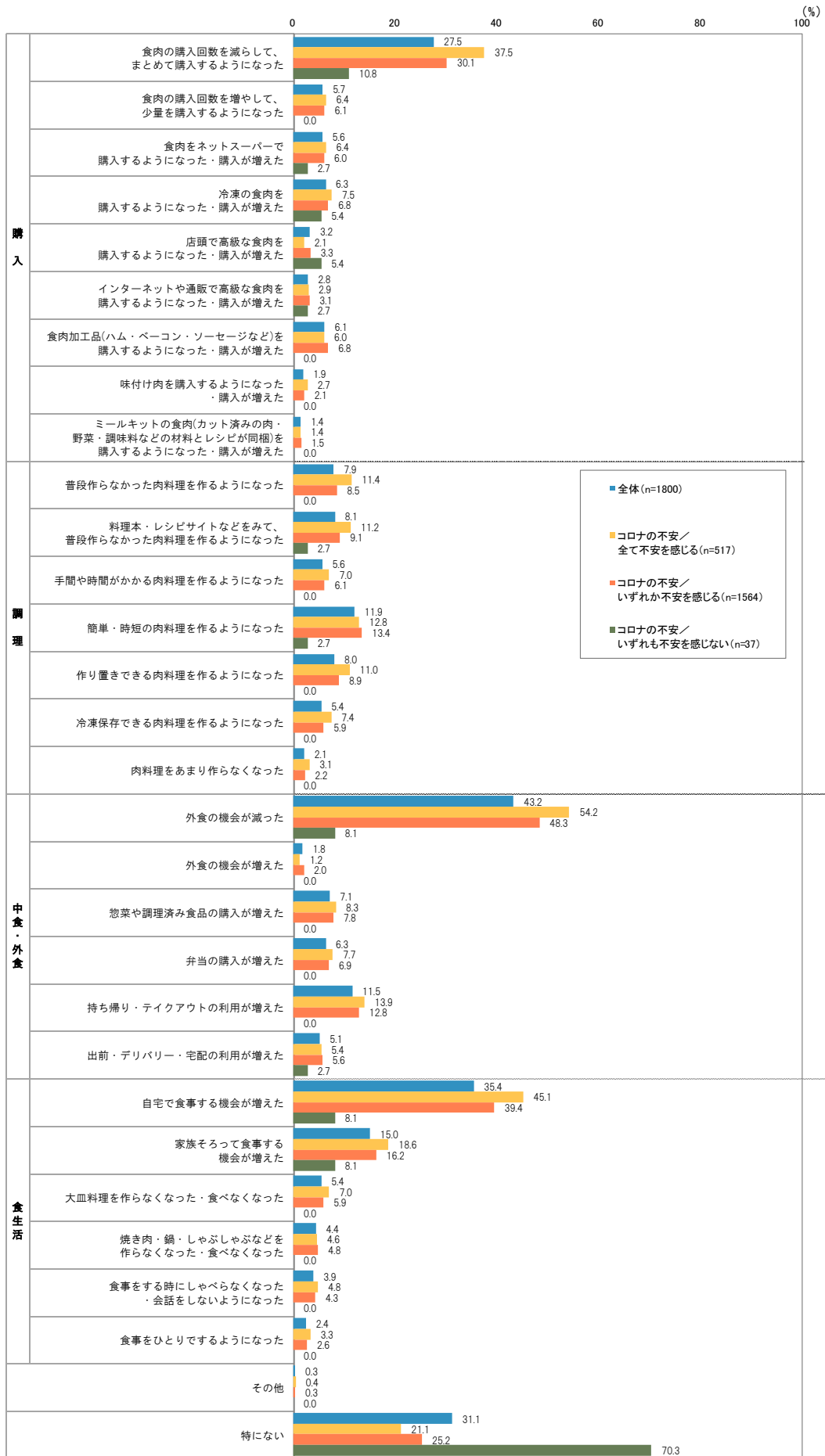
図表 151 「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に係わる食生活・購買行動の変化（経年変化）



図表 152 (その1) エリア・性・年代別「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に係わる食生活・購買行動の変化



図表 152 (その2) エリア・性・年代別「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉(牛肉、豚肉、鶏肉)に係わる食生活・購買行動の変化(続き)



図表 153 「新型コロナウイルス感染症」の不安度別 「新型コロナウイルス感染症」の流行に伴う食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）に係わる食生活・購買行動の変化

集計表

Q4 牛肉、豚肉、鶏肉、魚介料理について、各料理を食べる頻度をお答えください。それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

※中食とは、惣菜や調理済み食品など家庭外で調理された食品を購入し、自宅や職場などで食べる、持ち帰り・テイクアウト、出前・デリバリー・宅配をいいます。肉や魚介を主菜とする弁当のテイクアウトやデリバリーも含まれます。

【1. 牛肉料理】 内食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	21 1.2	30 1.7	238 13.2	488 27.1	335 18.6	257 14.3	325 18.1	106 5.9
地域	首都圏		900 100	8 0.9	12 1.3	100 11.1	224 24.9	166 18.4	142 15.8	192 21.3	56 6.2
	京阪神圏		900 100	13 1.4	18 2.0	138 15.3	264 29.3	169 18.8	115 12.8	133 14.8	50 5.6
年代	20代		300 100	6 2.0	14 4.7	35 11.7	77 25.7	44 14.7	44 14.7	57 19.0	23 7.7
	30代		300 100	5 1.7	8 2.7	32 10.7	72 24.0	52 17.3	44 14.7	65 21.7	22 7.3
	40代		300 100	3 1.0	3 1.0	42 14.0	62 20.7	63 21.0	52 17.3	65 21.7	10 3.3
	50代		300 100	4 1.3	2 0.7	35 11.7	74 24.7	53 17.7	45 15.0	68 22.7	19 6.3
	60代		300 100	2 0.7	0 0.0	40 13.3	98 32.7	63 21.0	35 11.7	42 14.0	20 6.7
	70代以上		300 100	1 0.3	3 1.0	54 18.0	105 35.0	60 20.0	37 12.3	28 9.3	12 4.0

【2. 牛肉料理】 中食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	16 0.9	19 1.1	81 4.5	207 11.5	216 12.0	273 15.2	546 30.3	442 24.6
地域	首都圏		900 100	7 0.8	7 0.8	42 4.7	95 10.6	106 11.8	141 15.7	280 31.1	222 24.7
	京阪神圏		900 100	9 1.0	12 1.3	39 4.3	112 12.4	110 12.2	132 14.7	266 29.6	220 24.4
年代	20代		300 100	6 2.0	11 3.7	19 6.3	49 16.3	52 17.3	50 16.7	67 22.3	46 15.3
	30代		300 100	4 1.3	5 1.7	19 6.3	41 13.7	38 12.7	53 17.7	89 29.7	51 17.0
	40代		300 100	2 0.7	2 0.7	18 6.0	35 11.7	34 11.3	48 16.0	105 35.0	56 18.7
	50代		300 100	4 1.3	1 0.3	8 2.7	36 12.0	35 11.7	35 11.7	113 37.7	68 22.7
	60代		300 100	0 0.0	0 0.0	7 2.3	23 7.7	27 9.0	44 14.7	95 31.7	104 34.7
	70代以上		300 100	0 0.0	0 0.0	10 3.3	23 7.7	30 10.0	43 14.3	77 25.7	117 39.0

【3. 牛肉料理】 外食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	13 0.7	15 0.8	42 2.3	131 7.3	159 8.8	313 17.4	780 43.3	347 19.3
地域	首都圏		900 100	6 0.7	7 0.8	22 2.4	69 7.7	87 9.7	149 16.6	386 42.9	174 19.3
	京阪神圏		900 100	7 0.8	8 0.9	20 2.2	62 6.9	72 8.0	164 18.2	394 43.8	173 19.2
年代	20代		300 100	7 2.3	6 2.0	14 4.7	38 12.7	42 14.0	72 24.0	86 28.7	35 11.7
	30代		300 100	2 0.7	4 1.3	10 3.3	26 8.7	43 14.3	53 17.7	117 39.0	45 15.0
	40代		300 100	2 0.7	3 1.0	7 2.3	29 9.7	24 8.0	50 16.7	141 47.0	44 14.7
	50代		300 100	2 0.7	2 0.7	4 1.3	15 5.0	27 9.0	46 15.3	156 52.0	48 16.0
	60代		300 100	0 0.0	0 0.0	6 2.0	13 4.3	11 3.7	38 12.7	147 49.0	85 28.3
	70代以上		300 100	0 0.0	0 0.0	1 0.3	10 3.3	12 4.0	54 18.0	133 44.3	90 30.0

【4. 豚肉料理】 肉食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	30 1.7	107 5.9	592 32.9	500 27.8	230 12.8	140 7.8	135 7.5	66 3.7
地域	首都圏		900 100	13 1.4	59 6.6	302 33.6	247 27.4	116 12.9	63 7.0	68 7.6	32 3.6
	京阪神圏		900 100	17 1.9	48 5.3	290 32.2	253 28.1	114 12.7	77 8.6	67 7.4	34 3.8
年代	20代		300 100	6 2.0	24 8.0	66 22.0	87 29.0	45 15.0	35 11.7	23 7.7	14 4.7
	30代		300 100	6 2.0	22 7.3	95 31.7	69 23.0	37 12.3	32 10.7	29 9.7	10 3.3
	40代		300 100	7 2.3	9 3.0	120 40.0	67 22.3	41 13.7	22 7.3	26 8.7	8 2.7
	50代		300 100	4 1.3	19 6.3	105 35.0	79 26.3	34 11.3	22 7.3	26 8.7	11 3.7
	60代		300 100	4 1.3	15 5.0	102 34.0	104 34.7	34 11.3	14 4.7	15 5.0	12 4.0
	70代以上		300 100	3 1.0	18 6.0	104 34.7	94 31.3	39 13.0	15 5.0	16 5.3	11 3.7

【5. 豚肉料理】 中食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	14 0.8	27 1.5	137 7.6	238 13.2	241 13.4	269 14.9	493 27.4	381 21.2
地域	首都圏		900 100	7 0.8	12 1.3	74 8.2	122 13.6	115 12.8	143 15.9	247 27.4	180 20.0
	京阪神圏		900 100	7 0.8	15 1.7	63 7.0	116 12.9	126 14.0	126 14.0	246 27.3	201 22.3
年代	20代		300 100	4 1.3	10 3.3	28 9.3	50 16.7	49 16.3	45 15.0	68 22.7	46 15.3
	30代		300 100	5 1.7	6 2.0	30 10.0	44 14.7	36 12.0	60 20.0	81 27.0	38 12.7
	40代		300 100	3 1.0	2 0.7	29 9.7	43 14.3	49 16.3	43 14.3	88 29.3	43 14.3
	50代		300 100	2 0.7	5 1.7	21 7.0	41 13.7	36 12.0	41 13.7	97 32.3	57 19.0
	60代		300 100	0 0.0	2 0.7	12 4.0	30 10.0	36 12.0	41 13.7	88 29.3	91 30.3
	70代以上		300 100	0 0.0	2 0.7	17 5.7	30 10.0	35 11.7	39 13.0	71 23.7	106 35.3

【6. 豚肉料理】 外食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	13 0.7	21 1.2	50 2.8	141 7.8	164 9.1	294 16.3	730 40.6	387 21.5
地域	首都圏		900 100	4 0.4	9 1.0	25 2.8	82 9.1	102 11.3	145 16.1	353 39.2	180 20.0
	京阪神圏		900 100	9 1.0	12 1.3	25 2.8	59 6.6	62 6.9	149 16.6	377 41.9	207 23.0
年代	20代		300 100	5 1.7	12 4.0	15 5.0	49 16.3	36 12.0	54 18.0	90 30.0	39 13.0
	30代		300 100	3 1.0	4 1.3	8 2.7	28 9.3	51 17.0	52 17.3	105 35.0	49 16.3
	40代		300 100	2 0.7	3 1.0	9 3.0	29 9.7	27 9.0	53 17.7	126 42.0	51 17.0
	50代		300 100	3 1.0	1 0.3	8 2.7	17 5.7	23 7.7	49 16.3	150 50.0	49 16.3
	60代		300 100	0 0.0	1 0.3	8 2.7	13 4.3	12 4.0	39 13.0	137 45.7	90 30.0
	70代以上		300 100	0 0.0	0 0.0	2 0.7	5 1.7	15 5.0	47 15.7	122 40.7	109 36.3

【7. 鶏肉料理】 内食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	31 1.7	76 4.2	532 29.6	496 27.6	275 15.3	164 9.1	143 7.9	83 4.6
地域	首都圏		900 100	12 1.3	31 3.4	271 30.1	249 27.7	145 16.1	84 9.3	70 7.8	38 4.2
	京阪神圏		900 100	19 2.1	45 5.0	261 29.0	247 27.4	130 14.4	80 8.9	73 8.1	45 5.0
年代	20代		300 100	8 2.7	16 5.3	75 25.0	69 23.0	57 19.0	34 11.3	28 9.3	13 4.3
	30代		300 100	7 2.3	18 6.0	87 29.0	68 22.7	49 16.3	35 11.7	25 8.3	11 3.7
	40代		300 100	6 2.0	13 4.3	97 32.3	84 28.0	33 11.0	29 9.7	30 10.0	8 2.7
	50代		300 100	7 2.3	6 2.0	101 33.7	78 26.0	38 12.7	27 9.0	31 10.3	12 4.0
	60代		300 100	1 0.3	15 5.0	90 30.0	99 33.0	45 15.0	20 6.7	13 4.3	17 5.7
	70代以上		300 100	2 0.7	8 2.7	82 27.3	98 32.7	53 17.7	19 6.3	16 5.3	22 7.3

【8. 鶏肉料理】 中食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	17 0.9	35 1.9	143 7.9	249 13.8	291 16.2	272 15.1	425 23.6	368 20.4
地域	首都圏		900 100	7 0.8	18 2.0	72 8.0	124 13.8	150 16.7	137 15.2	217 24.1	175 19.4
	京阪神圏		900 100	10 1.1	17 1.9	71 7.9	125 13.9	141 15.7	135 15.0	208 23.1	193 21.4
年代	20代		300 100	6 2.0	11 3.7	33 11.0	54 18.0	51 17.0	48 16.0	59 19.7	38 12.7
	30代		300 100	2 0.7	11 3.7	31 10.3	47 15.7	50 16.7	56 18.7	66 22.0	37 12.3
	40代		300 100	3 1.0	7 2.3	31 10.3	47 15.7	54 18.0	45 15.0	77 25.7	36 12.0
	50代		300 100	4 1.3	1 0.3	24 8.0	37 12.3	51 17.0	41 13.7	86 28.7	56 18.7
	60代		300 100	0 0.0	3 1.0	10 3.3	39 13.0	47 15.7	41 13.7	78 26.0	82 27.3
	70代以上		300 100	2 0.7	2 0.7	14 4.7	25 8.3	38 12.7	41 13.7	59 19.7	119 39.7

【9. 鶏肉料理】 外食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	12 0.7	18 1.0	62 3.4	130 7.2	184 10.2	283 15.7	708 39.3	403 22.4
地域	首都圏		900 100	5 0.6	12 1.3	29 3.2	68 7.6	108 12.0	143 15.9	344 38.2	191 21.2
	京阪神圏		900 100	7 0.8	6 0.7	33 3.7	62 6.9	76 8.4	140 15.6	364 40.4	212 23.6
年代	20代		300 100	5 1.7	10 3.3	20 6.7	40 13.3	45 15.0	55 18.3	89 29.7	36 12.0
	30代		300 100	1 0.3	5 1.7	10 3.3	29 9.7	48 16.0	54 18.0	110 36.7	43 14.3
	40代		300 100	3 1.0	1 0.3	12 4.0	30 10.0	31 10.3	52 17.3	125 41.7	46 15.3
	50代		300 100	3 1.0	1 0.3	12 4.0	16 5.3	23 7.7	46 15.3	148 49.3	51 17.0
	60代		300 100	0 0.0	0 0.0	7 2.3	8 2.7	20 6.7	42 14.0	124 41.3	99 33.0
	70代以上		300 100	0 0.0	1 0.3	1 0.3	7 2.3	17 5.7	34 11.3	112 37.3	128 42.7

【10. 魚介料理】 内食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	46 2.6	79 4.4	480 26.7	510 28.3	255 14.2	156 8.7	186 10.3	88 4.9
地域	首都圏		900 100	25 2.8	42 4.7	239 26.6	246 27.3	126 14.0	85 9.4	92 10.2	45 5.0
	京阪神圏		900 100	21 2.3	37 4.1	241 26.8	264 29.3	129 14.3	71 7.9	94 10.4	43 4.8
年代	20代		300 100	8 2.7	8 2.7	49 16.3	92 30.7	45 15.0	35 11.7	41 13.7	22 7.3
	30代		300 100	5 1.7	10 3.3	59 19.7	76 25.3	45 15.0	39 13.0	46 15.3	20 6.7
	40代		300 100	6 2.0	5 1.7	69 23.0	97 32.3	45 15.0	26 8.7	40 13.3	12 4.0
	50代		300 100	6 2.0	6 2.0	81 27.0	88 29.3	45 15.0	26 8.7	35 11.7	13 4.3
	60代		300 100	8 2.7	20 6.7	97 32.3	90 30.0	43 14.3	16 5.3	14 4.7	12 4.0
	70代以上		300 100	13 4.3	30 10.0	125 41.7	67 22.3	32 10.7	14 4.7	10 3.3	9 3.0

【11. 魚介料理】 中食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	18 1.0	28 1.6	116 6.4	237 13.2	262 14.6	246 13.7	480 26.7	413 22.9
地域	首都圏		900 100	7 0.8	12 1.3	53 5.9	116 12.9	137 15.2	127 14.1	239 26.6	209 23.2
	京阪神圏		900 100	11 1.2	16 1.8	63 7.0	121 13.4	125 13.9	119 13.2	241 26.8	204 22.7
年代	20代		300 100	7 2.3	9 3.0	20 6.7	49 16.3	58 19.3	42 14.0	63 21.0	52 17.3
	30代		300 100	1 0.3	5 1.7	26 8.7	45 15.0	43 14.3	42 14.0	91 30.3	47 15.7
	40代		300 100	3 1.0	6 2.0	20 6.7	52 17.3	38 12.7	41 13.7	88 29.3	52 17.3
	50代		300 100	4 1.3	2 0.7	14 4.7	36 12.0	47 15.7	38 12.7	98 32.7	61 20.3
	60代		300 100	0 0.0	2 0.7	12 4.0	29 9.7	37 12.3	49 16.3	83 27.7	88 29.3
	70代以上		300 100	3 1.0	4 1.3	24 8.0	26 8.7	39 13.0	34 11.3	57 19.0	113 37.7

【12. 魚介料理】 外食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	9 0.5	15 0.8	65 3.6	135 7.5	174 9.7	314 17.4	692 38.4	396 22.0
地域	首都圏		900 100	4 0.4	9 1.0	28 3.1	72 8.0	102 11.3	152 16.9	341 37.9	192 21.3
	京阪神圏		900 100	5 0.6	6 0.7	37 4.1	63 7.0	72 8.0	162 18.0	351 39.0	204 22.7
年代	20代		300 100	3 1.0	6 2.0	21 7.0	49 16.3	45 15.0	56 18.7	74 24.7	46 15.3
	30代		300 100	2 0.7	4 1.3	14 4.7	20 6.7	38 12.7	61 20.3	107 35.7	54 18.0
	40代		300 100	2 0.7	1 0.3	15 5.0	24 8.0	33 11.0	54 18.0	116 38.7	55 18.3
	50代		300 100	2 0.7	1 0.3	5 1.7	18 6.0	28 9.3	44 14.7	152 50.7	50 16.7
	60代		300 100	0 0.0	1 0.3	6 2.0	14 4.7	15 5.0	45 15.0	138 46.0	81 27.0
	70代以上		300 100	0 0.0	2 0.7	4 1.3	10 3.3	15 5.0	54 18.0	105 35.0	110 36.7

Q5 牛肉、豚肉、鶏肉について、どのようなイメージをお持ちですか。それぞれの事項について、あてはまるものを全てお選びください。また、その中で最もあてはまるものをお選びください。

【1.牛肉】 あてはまるもの（いくつでも）

	度数 横%													
		全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニュー の種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	1800 100	1008 56.0	177 9.8	186 10.3	383 21.3	367 20.4	425 23.6	604 33.6	103 5.7	455 25.3	940 52.2	92 5.1	180 10.0	
地域	首都圏	900 100	485 53.9	100 11.1	97 10.8	214 23.8	192 21.3	308 34.2	58 6.4	227 25.2	476 52.9	40 4.4	105 11.7	
	京阪神圏	900 100	523 58.1	77 8.6	89 9.9	169 18.8	175 19.4	213 23.7	296 32.9	45 5.0	228 25.3	464 51.6	52 5.8	75 8.3
年代	20代	300 100	147 49.0	37 12.3	44 14.7	72 24.0	60 20.0	71 23.7	71 23.7	30 10.0	67 22.3	118 39.3	27 9.0	34 11.3
	30代	300 100	140 46.7	33 11.0	30 10.0	71 23.7	46 15.3	56 18.7	70 23.3	20 6.7	62 20.7	138 46.0	12 4.0	38 12.7
	40代	300 100	147 49.0	23 7.7	25 8.3	54 18.0	45 15.0	57 19.0	98 32.7	14 4.7	66 22.0	155 51.7	12 4.0	31 10.3
	50代	300 100	155 51.7	26 8.7	23 7.7	53 17.7	47 15.7	75 25.0	85 28.3	14 4.7	70 23.3	165 55.0	15 5.0	36 12.0
	60代	300 100	200 66.7	26 8.7	20 6.7	51 17.0	58 19.3	76 25.3	115 38.3	6 2.0	83 27.7	172 57.3	10 3.3	27 9.0
	70代以上	300 100	219 73.0	32 10.7	44 14.7	82 27.3	111 37.0	90 30.0	165 55.0	19 6.3	107 35.7	192 64.0	16 5.3	14 4.7

【2.牛肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

	度数 横%													
		全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニュー の種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	1800 100	504 28.0	41 2.3	40 2.2	88 4.9	72 4.0	102 5.7	143 7.9	9 0.5	126 7.0	466 25.9	38 2.1	171 9.5	
地域	首都圏	900 100	257 28.6	24 2.7	17 1.9	39 4.3	35 3.9	54 6.0	66 7.3	4 0.4	57 6.3	235 26.1	12 1.3	100 11.1
	京阪神圏	900 100	247 27.4	17 1.9	23 2.6	49 5.4	37 4.1	48 5.3	77 8.6	5 0.6	69 7.7	231 25.7	26 2.9	71 7.9
年代	20代	300 100	77 25.7	12 4.0	11 3.7	17 5.7	13 4.3	17 5.7	18 6.0	4 1.3	23 7.7	62 20.7	14 4.7	32 10.7
	30代	300 100	77 25.7	10 3.3	8 2.7	27 9.0	9 3.0	14 4.7	19 6.3	1 0.3	17 5.7	75 25.0	6 2.0	37 12.3
	40代	300 100	79 26.3	5 1.7	9 3.0	18 6.0	11 3.7	17 5.7	21 7.0	2 0.7	18 6.0	85 28.3	6 2.0	29 9.7
	50代	300 100	69 23.0	5 1.7	6 2.0	11 3.7	8 2.7	21 7.0	23 7.7	1 0.3	17 5.7	96 32.0	7 2.3	36 12.0
	60代	300 100	98 32.7	7 2.3	3 1.0	5 1.7	12 4.0	19 6.3	20 6.7	0 0.0	27 9.0	80 26.7	4 1.3	25 8.3
	70代以上	300 100	104 34.7	2 0.7	3 1.0	10 3.3	19 6.3	14 4.7	42 14.0	1 0.3	24 8.0	68 22.7	1 0.3	12 4.0

【3.豚肉】 あてはまるもの（いくつでも）

	度数 横%													
		全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニュー の種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	1800 100	797 44.3	217 12.1	169 9.4	174 9.7	570 31.7	763 42.4	382 21.2	215 11.9	675 37.5	671 37.3	891 49.5	89 4.9	
地域	首都圏	900 100	408 45.3	88 9.8	97 10.8	94 10.4	302 33.6	411 45.7	224 12.8	115 12.8	375 41.7	359 39.9	432 48.0	47 5.2
	京阪神圏	900 100	389 43.2	129 14.3	72 8.0	80 8.9	268 29.8	352 39.1	158 17.6	100 11.1	300 33.3	312 34.7	459 51.0	42 4.7
年代	20代	300 100	92 30.7	30 10.0	28 9.3	22 7.3	60 20.0	117 39.0	56 18.7	44 14.7	85 28.3	81 27.0	119 39.7	24 8.0
	30代	300 100	106 35.3	29 9.7	25 8.3	26 8.7	76 25.3	127 42.3	38 12.7	42 14.0	107 35.7	85 28.3	126 42.0	23 7.7
	40代	300 100	121 40.3	31 10.3	22 7.3	28 9.3	79 26.3	109 36.3	56 18.7	40 13.3	95 31.7	120 40.0	143 47.7	12 4.0
	50代	300 100	136 45.3	32 10.7	26 8.7	23 7.7	91 30.3	114 38.0	62 20.7	41 13.7	105 35.0	121 40.3	155 51.7	12 4.0
	60代	300 100	155 51.7	45 15.0	25 8.3	32 10.7	102 34.0	142 47.3	66 22.0	23 7.7	130 43.3	122 40.7	164 54.7	13 4.3
	70代以上	300 100	187 62.3	50 16.7	43 14.3	43 14.3	162 54.0	154 51.3	104 34.7	25 8.3	153 51.0	142 47.3	184 61.3	5 1.7

【4. 豚肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

	度数 横%	属性											
		全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニュー の種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃
全 体	1800 100	285 15.8	48 2.7	27 1.5	27 1.5	146 8.1	254 14.1	56 3.1	31 1.7	241 13.4	185 10.3	420 23.3	80 4.4
地域													
首都圏	900 100	148 16.4	17 1.9	12 1.3	11 1.2	72 8.0	145 16.1	26 2.9	15 1.7	125 13.9	95 10.6	194 21.6	40 4.4
京阪神圏	900 100	137 15.2	31 3.4	15 1.7	16 1.8	74 8.2	109 12.1	30 3.3	16 1.8	116 12.9	90 10.0	226 25.1	40 4.4
年代													
20代	300 100	43 14.3	6 2.0	9 3.0	4 1.3	15 5.0	62 20.7	12 4.0	10 3.3	37 12.3	17 5.7	61 20.3	24 8.0
30代	300 100	56 18.7	10 3.3	7 2.3	5 1.7	20 6.7	55 18.3	7 2.3	4 1.3	42 14.0	19 6.3	55 18.3	20 6.7
40代	300 100	43 14.3	8 2.7	4 1.3	4 2.7	8 9.7	29 13.0	10 3.3	7 2.3	34 11.3	41 13.7	67 22.3	10 3.3
50代	300 100	50 16.7	3 1.0	2 0.7	2 1.3	4 7.7	23 12.0	8 2.7	7 2.3	37 12.3	38 12.7	81 27.0	11 3.7
60代	300 100	47 15.7	11 3.7	3 1.0	3 1.3	4 7.3	22 10.7	6 2.0	3 1.0	47 15.7	37 12.3	77 25.7	11 3.7
70代以上	300 100	46 15.3	10 3.3	2 0.7	2 0.7	37 12.3	30 10.0	13 4.3	0 0.0	44 14.7	33 11.0	79 26.3	4 1.3

【5. 鶏肉】 あてはまるもの（いくつでも）

	度数 横%	属性											
		全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニュー の種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃
全 体	1800 100	893 49.6	809 44.9	154 8.6	87 4.8	594 33.0	587 32.6	370 20.6	258 14.3	607 33.7	346 19.2	1039 57.7	79 4.4
地域													
首都圏	900 100	462 51.3	424 47.1	79 8.8	47 5.2	307 34.1	313 34.8	205 22.8	148 16.4	319 35.4	183 20.3	516 57.3	43 4.8
京阪神圏	900 100	431 47.9	385 42.8	75 8.3	40 4.4	287 31.9	274 30.4	165 18.3	110 12.2	288 32.0	163 18.1	523 58.1	36 4.0
年代													
20代	300 100	150 50.0	113 37.7	29 9.7	25 8.3	74 24.7	74 24.7	64 21.3	51 17.0	82 27.3	63 21.0	115 38.3	20 6.7
30代	300 100	138 46.0	112 37.3	27 9.0	13 4.3	71 23.7	84 28.0	43 14.3	51 17.0	85 28.3	47 15.7	148 49.3	20 6.7
40代	300 100	152 50.7	114 38.0	17 5.7	12 4.0	82 27.3	101 33.7	59 19.7	39 13.0	102 34.0	52 17.3	169 56.3	13 4.3
50代	300 100	148 49.3	122 40.7	24 8.0	17 5.7	82 27.3	89 29.7	52 17.3	46 15.3	99 33.0	59 19.7	173 57.7	10 3.3
60代	300 100	149 49.7	167 55.7	21 7.0	8 2.7	121 40.3	122 40.7	63 21.0	35 11.7	118 39.3	59 19.7	202 67.3	12 4.0
70代以上	300 100	156 52.0	181 60.3	36 12.0	12 4.0	164 54.7	117 39.0	89 29.7	36 12.0	121 40.3	66 22.0	232 77.3	4 1.3

【6. 鶏肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

	度数 横%	属性											
		全 体	たんぱく質 が豊富	カロリー が低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニュー の種類が 多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃
全 体	1800 100	342 19.0	255 14.2	29 1.6	13 0.7	115 6.4	110 6.1	58 3.2	25 1.4	162 9.0	35 1.9	586 32.6	70 3.9
地域													
首都圏	900 100	184 20.4	136 15.1	11 1.2	7 0.8	59 6.6	59 6.6	29 3.2	13 1.4	75 8.3	15 1.7	275 30.6	37 4.1
京阪神圏	900 100	158 17.6	119 13.2	18 2.0	6 0.7	56 6.2	51 5.7	29 3.2	12 1.3	87 9.7	20 2.2	311 34.6	33 3.7
年代													
20代	300 100	77 25.7	36 12.0	9 3.0	4 1.3	16 5.3	17 5.7	11 3.7	7 2.3	22 7.3	6 2.0	75 25.0	20 6.7
30代	300 100	73 24.3	39 13.0	9 3.0	4 1.3	13 4.3	22 7.3	8 2.7	3 1.0	22 7.3	4 1.3	86 28.7	17 5.7
40代	300 100	64 21.3	35 11.7	4 1.3	2 0.7	21 7.0	26 8.7	9 3.0	3 1.0	32 10.7	3 1.0	89 29.7	12 4.0
50代	300 100	49 16.3	38 12.7	5 1.7	2 0.7	12 4.0	20 6.7	7 2.3	6 2.0	32 10.7	13 4.3	108 36.0	8 2.7
60代	300 100	44 14.7	49 16.3	0 0.0	1 0.3	25 8.3	12 4.0	12 4.0	5 1.7	26 8.7	5 1.7	110 36.7	11 3.7
70代以上	300 100	35 11.7	58 19.3	2 0.7	0 0.0	28 9.3	13 4.3	11 3.7	1 0.3	28 9.3	4 1.3	118 39.3	2 0.7

Q6 牛肉、豚肉、鶏肉について、それぞれのどれくらいの頻度で購入していますか。それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

【1. 牛肉】

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体			1800 100	24 1.3	18 1.0	172 9.6	471 26.2	415 23.1	337 18.7	288 16.0	75 4.2
地域	首都圏		900 100	10 1.1	7 0.8	76 8.4	219 24.3	210 23.3	155 17.2	179 19.9	44 4.9
	京阪神圏		900 100	14 1.6	11 1.2	96 10.7	252 28.0	205 22.8	182 20.2	109 12.1	31 3.4
年代	20代		300 100	10 3.3	11 3.7	43 14.3	67 22.3	57 19.0	42 14.0	55 18.3	15 5.0
	30代		300 100	6 2.0	4 1.3	34 11.3	70 23.3	63 21.0	64 21.3	49 16.3	10 3.3
	40代		300 100	3 1.0	1 0.3	24 8.0	67 22.3	72 24.0	60 20.0	63 21.0	10 3.3
	50代		300 100	4 1.3	0 0.0	25 8.3	75 25.0	70 23.3	62 20.7	49 16.3	15 5.0
	60代		300 100	1 0.3	1 0.3	17 5.7	88 29.3	73 24.3	60 20.0	44 14.7	16 5.3
	70代以上		300 100	0 0.0	1 0.3	29 9.7	104 34.7	80 26.7	49 16.3	28 9.3	9 3.0

【2. 豚肉】

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体			1800 100	26 1.4	55 3.1	454 25.2	675 37.5	348 19.3	141 7.8	79 4.4	22 1.2
地域	首都圏		900 100	13 1.4	24 2.7	230 25.6	336 37.3	176 19.6	68 7.6	43 4.8	10 1.1
	京阪神圏		900 100	13 1.4	31 3.4	224 24.9	339 37.7	172 19.1	73 8.1	36 4.0	12 1.3
年代	20代		300 100	7 2.3	17 5.7	60 20.0	109 36.3	52 17.3	31 10.3	20 6.7	4 1.3
	30代		300 100	7 2.3	17 5.7	74 24.7	100 33.3	61 20.3	28 9.3	10 3.3	3 1.0
	40代		300 100	4 1.3	7 2.3	76 25.3	114 38.0	58 19.3	25 8.3	13 4.3	3 1.0
	50代		300 100	5 1.7	5 1.7	81 27.0	111 37.0	56 18.7	22 7.3	14 4.7	6 2.0
	60代		300 100	1 0.3	3 1.0	70 23.3	131 43.7	63 21.0	14 4.7	14 4.7	4 1.3
	70代以上		300 100	2 0.7	6 2.0	93 31.0	110 36.7	58 19.3	21 7.0	8 2.7	2 0.7

【3. 鶏肉】

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体			1800 100	24 1.3	59 3.3	386 21.4	670 37.2	362 20.1	172 9.6	92 5.1	35 1.9
地域	首都圏		900 100	11 1.2	26 2.9	189 21.0	347 38.6	175 19.4	84 9.3	54 6.0	14 1.6
	京阪神圏		900 100	13 1.4	33 3.7	197 21.9	323 35.9	187 20.8	88 9.8	38 4.2	21 2.3
年代	20代		300 100	8 2.7	18 6.0	70 23.3	97 32.3	50 16.7	37 12.3	18 6.0	2 0.7
	30代		300 100	7 2.3	9 3.0	74 24.7	97 32.3	66 22.0	29 9.7	15 5.0	3 1.0
	40代		300 100	3 1.0	11 3.7	67 22.3	122 40.7	52 17.3	29 9.7	12 4.0	4 1.3
	50代		300 100	6 2.0	10 3.3	60 20.0	106 35.3	67 22.3	26 8.7	18 6.0	7 2.3
	60代		300 100	0 0.0	5 1.7	50 16.7	132 44.0	65 21.7	22 7.3	17 5.7	9 3.0
	70代以上		300 100	0 0.0	6 2.0	65 21.7	116 38.7	62 20.7	29 9.7	12 4.0	10 3.3

Q7 牛肉、豚肉、鶏肉を購入する際、主にどこで購入されますか。それぞれの事項について、あてはまるものを全てお選びください。

※大型スーパー：食品以外に衣料品などを取り扱っているスーパー

※食品スーパー：食品中心の品揃えのスーパー

【1. 牛肉】 <Q6[1.牛肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	百貨店	大型スーパー	食品スーパー	生協	食肉専門店	食肉ディス カウントストア	自然食品店	通信販売(カ ラ、テレビ、 インターネット等)	その他
全 体		1725 100	137 7.9	622 36.1	1308 75.8	144 8.3	152 8.8	67 3.9	14 0.8	37 2.1	34 2.0
地域	首都圏	856 100	66 7.7	312 36.4	662 77.3	60 7.0	71 8.3	29 3.4	6 0.7	22 2.6	19 2.2
	京阪神圏	869 100	71 8.2	310 35.7	646 74.3	84 9.7	81 9.3	38 4.4	8 0.9	15 1.7	15 1.7
年代	20代	285 100	30 10.5	104 36.5	191 67.0	13 4.6	27 9.5	10 3.5	7 2.5	5 1.8	12 4.2
	30代	290 100	16 5.5	89 30.7	225 77.6	17 5.9	22 7.6	14 4.8	2 0.7	4 1.4	4 1.4
	40代	290 100	21 7.2	100 34.5	234 80.7	18 6.2	25 8.6	10 3.4	3 1.0	11 3.8	4 1.4
	50代	285 100	21 7.4	104 36.5	222 77.9	16 5.6	25 8.8	14 4.9	2 0.7	6 2.1	4 1.4
	60代	284 100	22 7.7	109 38.4	221 77.8	33 11.6	29 10.2	10 3.5	0 0.0	7 2.5	4 1.4
	70代以上	291 100	27 9.3	116 39.9	215 73.9	47 16.2	24 8.2	9 3.1	0 0.0	4 1.4	6 2.1

【2. 豚肉】 <Q6[2.豚肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	百貨店	大型スーパー	食品スーパー	生協	食肉専門店	食肉ディス カウントストア	自然食品店	通信販売(カ ラ、テレビ、 インターネット等)	その他
全 体		1778 100	82 4.6	649 36.5	1400 78.7	159 8.9	110 6.2	60 3.4	8 0.4	27 1.5	28 1.6
地域	首都圏	890 100	47 5.3	329 37.0	714 80.2	73 8.2	57 6.4	27 3.0	5 0.6	17 1.9	14 1.6
	京阪神圏	888 100	35 3.9	320 36.0	686 77.3	86 9.7	53 6.0	33 3.7	3 0.3	10 1.1	14 1.6
年代	20代	296 100	21 7.1	106 35.8	208 70.3	16 5.4	23 7.8	9 3.0	2 0.7	9 3.0	9 3.0
	30代	297 100	11 3.7	96 32.3	234 78.8	20 6.7	16 5.4	12 4.0	1 0.3	3 1.0	2 0.7
	40代	297 100	15 5.1	99 33.3	248 83.5	16 5.4	23 7.7	10 3.4	2 0.7	5 1.7	3 1.0
	50代	294 100	11 3.7	111 37.8	245 83.3	23 7.8	12 4.1	11 3.7	2 0.7	3 1.0	5 1.7
	60代	296 100	15 5.1	112 37.8	236 79.7	34 11.5	24 8.1	11 3.7	0 0.0	4 1.4	3 1.0
	70代以上	298 100	9 3.0	125 41.9	229 76.8	50 16.8	12 4.0	7 2.3	1 0.3	3 1.0	6 2.0

【3. 鶏肉】 <Q6[3.鶏肉]「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	百貨店	大型スーパー	食品スーパー	生協	食肉専門店	食肉ディス カウントストア	自然食品店	通信販売(カ ラ、テレビ、 インターネット等)	その他
全 体		1765 100	75 4.2	615 34.8	1383 78.4	154 8.7	94 5.3	64 3.6	18 1.0	21 1.2	31 1.8
地域	首都圏	886 100	38 4.3	313 35.3	706 79.7	72 8.1	48 5.4	30 3.4	10 1.1	14 1.6	16 1.8
	京阪神圏	879 100	37 4.2	302 34.4	677 77.0	82 9.3	46 5.2	34 3.9	8 0.9	7 0.8	15 1.7
年代	20代	298 100	16 5.4	102 34.2	207 69.5	18 6.0	19 6.4	16 5.4	7 2.3	5 1.7	10 3.4
	30代	297 100	10 3.4	91 30.6	236 79.5	22 7.4	17 5.7	9 3.0	3 1.0	4 1.3	3 1.0
	40代	296 100	14 4.7	97 32.8	246 83.1	17 5.7	16 5.4	10 3.4	4 1.4	5 1.7	3 1.0
	50代	293 100	12 4.1	106 36.2	240 81.9	21 7.2	9 3.1	12 4.1	2 0.7	2 0.7	5 1.7
	60代	291 100	14 4.8	108 37.1	231 79.4	31 10.7	22 7.6	11 3.8	1 0.3	1 0.3	4 1.4
	70代以上	290 100	9 3.1	111 38.3	223 76.9	45 15.5	11 3.8	6 2.1	1 0.3	4 1.4	6 2.1

Q8 牛肉、豚肉、鶏肉を購入する際、重視する点は何ですか。それぞれの事項について、あてはまるものを全てお選びください。また、最もあてはまるものをお選びください。

【1.牛肉】 あてはまるもの（いくつでも）

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%	全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄 (ブランド)等が しっかり表示 されていること	冷蔵品(チルド) であること	鮮度(色つや) がよいこと	量目(パック内 の肉重量)	その他	
全 体	1725 100	1066 61.8	718 41.6	74 4.3	510 29.6	140 8.1	759 44.0	555 32.2	70 4.1	
地域	首都圏	856 100	532 62.1	321 37.5	43 5.0	275 32.1	66 7.7	398 46.5	303 35.4	38 4.4
	京阪神圏	869 100	534 61.4	397 45.7	31 3.6	235 27.0	74 8.5	361 41.5	252 29.0	32 3.7
年代	20代	285 100	172 60.4	91 31.9	24 8.4	58 20.4	24 8.4	98 34.4	75 26.3	20 7.0
	30代	290 100	186 64.1	115 39.7	10 3.4	61 21.0	16 5.5	97 33.4	67 23.1	21 7.2
	40代	290 100	186 64.1	104 35.9	8 2.8	77 26.6	23 7.9	119 41.0	88 30.3	9 3.1
	50代	285 100	183 64.2	114 40.0	12 4.2	72 25.3	22 7.7	132 46.3	88 30.9	12 4.2
	60代	284 100	178 62.7	122 43.0	6 2.1	99 34.9	23 8.1	142 50.0	105 37.0	6 2.1
	70代以上	291 100	161 55.3	172 59.1	14 4.8	143 49.1	32 11.0	171 58.8	132 45.4	2 0.7

【2.牛肉】 最もあてはまるもの（1つだけ）

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%	全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄 (ブランド)等が しっかり表示 されていること	冷蔵品(チルド) であること	鮮度(色つや) がよいこと	量目(パック内 の肉重量)	その他	
全 体	1725 100	710 41.2	449 26.0	16 0.9	165 9.6	19 1.1	244 14.1	64 3.7	58 3.4	
地域	首都圏	856 100	363 42.4	196 22.9	8 0.9	85 9.9	9 1.1	133 15.5	34 4.0	28 3.3
	京阪神圏	869 100	347 39.9	253 29.1	8 0.9	80 9.2	10 1.2	111 12.8	30 3.5	30 3.5
年代	20代	285 100	119 41.8	57 20.0	7 2.5	26 9.1	6 2.1	42 14.7	10 3.5	18 6.3
	30代	290 100	128 44.1	73 25.2	0 0.0	24 8.3	2 0.7	36 12.4	8 2.8	19 6.6
	40代	290 100	135 46.6	61 21.0	2 0.7	31 10.7	3 1.0	42 14.5	9 3.1	7 2.4
	50代	285 100	127 44.6	79 27.7	4 1.4	14 4.9	3 1.1	36 12.6	13 4.6	9 3.2
	60代	284 100	115 40.5	70 24.6	2 0.7	31 10.9	3 1.1	49 17.3	10 3.5	4 1.4
	70代以上	291 100	86 29.6	109 37.5	1 0.3	39 13.4	2 0.7	39 13.4	14 4.8	1 0.3

【3. 豚肉】 あてはまるもの (いくつでも)

<Q6【2.豚肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数横%		全 体	価格が手頃であること	国産であること	外国産であること	産地・銘柄(ブランド)等がしっかり表示されていること	冷蔵品(チルド)であること	鮮度(色つや)がよいこと	量目(パック内の肉重量)	その他
全 体		1778 100	1307 73.5	768 43.2	71 4.0	484 27.2	180 10.1	755 42.5	619 34.8	59 3.3
地域	首都圏	890 100	665 74.7	361 40.6	34 3.8	261 29.3	86 9.7	411 46.2	354 39.8	34 3.8
	京阪神圏	888 100	642 72.3	407 45.8	37 4.2	223 25.1	94 10.6	344 38.7	265 29.8	25 2.8
年代	20代	296 100	201 67.9	92 31.1	24 8.1	56 18.9	28 9.5	97 32.8	88 29.7	15 5.1
	30代	297 100	215 72.4	113 38.0	12 4.0	54 18.2	30 10.1	94 31.6	72 24.2	17 5.7
	40代	297 100	214 72.1	122 41.1	12 4.0	63 21.2	26 8.8	127 42.8	98 33.0	8 2.7
	50代	294 100	228 77.6	133 45.2	10 3.4	70 23.8	28 9.5	138 46.9	93 31.6	6 2.0
	60代	296 100	224 75.7	134 45.3	7 2.4	99 33.4	31 10.5	143 48.3	112 37.8	5 1.7
	70代以上	298 100	225 75.5	174 58.4	6 2.0	142 47.7	37 12.4	156 52.3	156 52.3	8 2.7

【4. 豚肉】 最もあてはまるもの (1つだけ)

<Q6【2.豚肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数横%		全 体	価格が手頃であること	国産であること	外国産であること	産地・銘柄(ブランド)等がしっかり表示されていること	冷蔵品(チルド)であること	鮮度(色つや)がよいこと	量目(パック内の肉重量)	その他
全 体		1778 100	801 45.1	442 24.9	22 1.2	141 7.9	25 1.4	224 12.6	74 4.2	49 2.8
地域	首都圏	890 100	408 45.8	192 21.6	13 1.5	76 8.5	12 1.3	121 13.6	42 4.7	26 2.9
	京阪神圏	888 100	393 44.3	250 28.2	9 1.0	65 7.3	13 1.5	103 11.6	32 3.6	23 2.6
年代	20代	296 100	142 48.0	58 19.6	11 3.7	20 6.8	11 3.7	29 9.8	11 3.7	14 4.7
	30代	297 100	148 49.8	61 20.5	7 2.4	19 6.4	6 2.0	29 9.8	11 3.7	16 5.4
	40代	297 100	145 48.8	70 23.6	3 1.0	17 5.7	3 1.0	42 14.1	10 3.4	7 2.4
	50代	294 100	136 46.3	86 29.3	1 0.3	15 5.1	0 0.0	39 13.3	12 4.1	5 1.7
	60代	296 100	124 41.9	72 24.3	0 0.0	31 10.5	4 1.4	48 16.2	13 4.4	4 1.4
	70代以上	298 100	106 35.6	95 31.9	0 0.0	39 13.1	1 0.3	37 12.4	17 5.7	3 1.0

【5. 鶏肉】 あてはまるもの (いくつでも)

<Q6【3.鶏肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数横%		全 体	価格が手頃であること	国産であること	外国産であること	産地・銘柄(ブランド)等がしっかり表示されていること	冷蔵品(チルド)であること	鮮度(色つや)がよいこと	量目(パック内の肉重量)	その他
全 体		1765 100	1315 74.5	805 45.6	47 2.7	459 26.0	180 10.2	755 42.8	594 33.7	55 3.1
地域	首都圏	886 100	672 75.8	373 42.1	22 2.5	248 28.0	89 10.0	401 45.3	330 37.2	29 3.3
	京阪神圏	879 100	643 73.2	432 49.1	25 2.8	211 24.0	91 10.4	354 40.3	264 30.0	26 3.0
年代	20代	298 100	204 68.5	95 31.9	10 3.4	58 19.5	28 9.4	96 32.2	94 31.5	19 6.4
	30代	297 100	223 75.1	121 40.7	9 3.0	53 17.8	22 7.4	98 33.0	72 24.2	18 6.1
	40代	296 100	212 71.6	129 43.6	9 3.0	69 23.3	29 9.8	129 43.6	95 32.1	7 2.4
	50代	293 100	228 77.8	137 46.8	9 3.1	67 22.9	26 8.9	130 44.4	91 31.1	6 2.0
	60代	291 100	223 76.6	144 49.5	5 1.7	86 29.6	35 12.0	142 48.8	105 36.1	5 1.7
	70代以上	290 100	225 77.6	179 61.7	5 1.7	126 43.4	40 13.8	160 55.2	137 47.2	0 0.0

【6. 鶏肉】 最もあてはまるもの (1つだけ)

<Q6【3.鶏肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数横%		全 体	価格が手頃であること	国産であること	外国産であること	産地・銘柄(ブランド)等がしっかり表示されていること	冷蔵品(チルド)であること	鮮度(色つや)がよいこと	量目(パック内の肉重量)	その他
全 体		1765 100	799 45.3	473 26.8	11 0.6	147 8.3	22 1.2	202 11.4	63 3.6	48 2.7
地域	首都圏	886 100	406 45.8	217 24.5	5 0.6	70 7.9	14 1.6	115 13.0	34 3.8	25 2.8
	京阪神圏	879 100	393 44.7	256 29.1	6 0.7	77 8.8	8 0.9	87 9.9	29 3.3	23 2.6
年代	20代	298 100	141 47.3	59 19.8	2 0.7	25 8.4	11 3.7	29 9.7	15 5.0	16 5.4
	30代	297 100	140 47.1	73 24.6	3 1.0	19 6.4	4 1.3	31 10.4	10 3.4	17 5.7
	40代	296 100	139 47.0	81 27.4	2 0.7	20 6.8	2 0.7	36 12.2	10 3.4	6 2.0
	50代	293 100	143 48.8	86 29.4	2 0.7	21 7.2	2 0.7	30 10.2	5 1.7	4 1.4
	60代	291 100	124 42.6	76 26.1	1 0.3	27 9.3	3 1.0	45 15.5	10 3.4	5 1.7
	70代以上	290 100	112 38.6	98 33.8	1 0.3	35 12.1	0 0.0	31 10.7	13 4.5	0 0.0

Q9 ここ1カ月の食肉の購入について伺います。昨年の今頃と比べ、購入回数に変化がありますか。それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

【1. 食肉全体】

度数 横%		全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体		1800 100	67 3.7	160 8.9	1269 70.5	127 7.1	78 4.3	87 4.8	12 0.7
地域	首都圏	900 100	31 3.4	87 9.7	637 70.8	59 6.6	42 4.7	36 4.0	8 0.9
	京阪神圏	900 100	36 4.0	73 8.1	632 70.2	68 7.6	36 4.0	51 5.7	4 0.4
年代	20代	300 100	18 6.0	37 12.3	166 55.3	26 8.7	23 7.7	26 8.7	4 1.3
	30代	300 100	21 7.0	31 10.3	198 66.0	18 6.0	11 3.7	19 6.3	2 0.7
	40代	300 100	11 3.7	25 8.3	218 72.7	15 5.0	15 5.0	13 4.3	3 1.0
	50代	300 100	9 3.0	19 6.3	226 75.3	17 5.7	16 5.3	12 4.0	1 0.3
	60代	300 100	5 1.7	21 7.0	235 78.3	22 7.3	7 2.3	8 2.7	2 0.7
	70代以上	300 100	3 1.0	27 9.0	226 75.3	29 9.7	6 2.0	9 3.0	0 0.0

【2. 牛肉】 国産和牛

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体		1725 100	25 1.4	124 7.2	1038 60.2	142 8.2	119 6.9	93 5.4	184 10.7
地域	首都圏	856 100	12 1.4	55 6.4	503 58.8	66 7.7	57 6.7	43 5.0	120 14.0
	京阪神圏	869 100	13 1.5	69 7.9	535 61.6	76 8.7	62 7.1	50 5.8	64 7.4
年代	20代	285 100	10 3.5	22 7.7	141 49.5	26 9.1	25 8.8	29 10.2	32 11.2
	30代	290 100	7 2.4	26 9.0	164 56.6	18 6.2	16 5.5	24 8.3	35 12.1
	40代	290 100	3 1.0	25 8.6	175 60.3	21 7.2	22 7.6	12 4.1	32 11.0
	50代	285 100	2 0.7	15 5.3	182 63.9	25 8.8	15 5.3	12 4.2	34 11.9
	60代	284 100	1 0.4	17 6.0	186 65.5	29 10.2	18 6.3	7 2.5	26 9.2
	70代以上	291 100	2 0.7	19 6.5	190 65.3	23 7.9	23 7.9	9 3.1	25 8.6

【3. 牛肉】和牛以外の国産牛肉

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体		1725 100	27 1.6	80 4.6	1100 63.8	139 8.1	112 6.5	116 6.7	151 8.8
地域	首都圏	856 100	12 1.4	34 4.0	542 63.3	61 7.1	61 7.1	52 6.1	94 11.0
	京阪神圏	869 100	15 1.7	46 5.3	558 64.2	78 9.0	51 5.9	64 7.4	57 6.6
年代	20代	285 100	10 3.5	16 5.6	158 55.4	29 10.2	19 6.7	30 10.5	23 8.1
	30代	290 100	9 3.1	14 4.8	174 60.0	23 7.9	17 5.9	27 9.3	26 9.0
	40代	290 100	5 1.7	15 5.2	186 64.1	21 7.2	20 6.9	17 5.9	26 9.0
	50代	285 100	2 0.7	14 4.9	193 67.7	15 5.3	20 7.0	16 5.6	25 8.8
	60代	284 100	1 0.4	10 3.5	197 69.4	26 9.2	14 4.9	12 4.2	24 8.5
	70代以上	291 100	0 0.0	11 3.8	192 66.0	25 8.6	22 7.6	14 4.8	27 9.3

【4. 牛肉】和牛かどうかわからない国産牛肉

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体		1725 100	23 1.3	68 3.9	992 57.5	120 7.0	103 6.0	145 8.4	274 15.9
地域	首都圏	856 100	10 1.2	28 3.3	499 58.3	51 6.0	50 5.8	69 8.1	149 17.4
	京阪神圏	869 100	13 1.5	40 4.6	493 56.7	69 7.9	53 6.1	76 8.7	125 14.4
年代	20代	285 100	10 3.5	22 7.7	147 51.6	22 7.7	17 6.0	29 10.2	38 13.3
	30代	290 100	8 2.8	16 5.5	162 55.9	18 6.2	12 4.1	34 11.7	40 13.8
	40代	290 100	1 0.3	14 4.8	171 59.0	20 6.9	19 6.6	18 6.2	47 16.2
	50代	285 100	3 1.1	4 1.4	179 62.8	13 4.6	19 6.7	21 7.4	46 16.1
	60代	284 100	1 0.4	6 2.1	171 60.2	27 9.5	18 6.3	19 6.7	42 14.8
	70代以上	291 100	0 0.0	6 2.1	162 55.7	20 6.9	18 6.2	24 8.2	61 21.0

【5. 牛肉】 輸入牛肉

<Q6【1.牛肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

度数 横%		全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体		1725 100	25 1.4	97 5.6	949 55.0	154 8.9	132 7.7	100 5.8	268 15.5
地域	首都圏	856 100	10 1.2	44 5.1	498 58.2	72 8.4	69 8.1	45 5.3	118 13.8
	京阪神圏	869 100	15 1.7	53 6.1	451 51.9	82 9.4	63 7.2	55 6.3	150 17.3
年代	20代	285 100	10 3.5	23 8.1	145 50.9	30 10.5	23 8.1	31 10.9	23 8.1
	30代	290 100	7 2.4	23 7.9	166 57.2	22 7.6	17 5.9	23 7.9	32 11.0
	40代	290 100	2 0.7	17 5.9	173 59.7	25 8.6	26 9.0	11 3.8	36 12.4
	50代	285 100	4 1.4	13 4.6	167 58.6	22 7.7	21 7.4	10 3.5	48 16.8
	60代	284 100	2 0.7	10 3.5	158 55.6	31 10.9	24 8.5	8 2.8	51 18.0
	70代以上	291 100	0 0.0	11 3.8	140 48.1	24 8.2	21 7.2	17 5.8	78 26.8

【6. 豚肉】 国産豚肉

<Q6【2.豚肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体			1778	39	173	1244	113	77	99	33
			100	2.2	9.7	70.0	6.4	4.3	5.6	1.9
地域	首都圏		890	16	93	619	58	42	44	18
			100	1.8	10.4	69.6	6.5	4.7	4.9	2.0
	京阪神圏		888	23	80	625	55	35	55	15
			100	2.6	9.0	70.4	6.2	3.9	6.2	1.7
年代	20代		296	9	34	162	29	19	34	9
			100	3.0	11.5	54.7	9.8	6.4	11.5	3.0
	30代		297	14	29	197	15	14	22	6
			100	4.7	9.8	66.3	5.1	4.7	7.4	2.0
	40代		297	4	27	216	22	11	10	7
			100	1.3	9.1	72.7	7.4	3.7	3.4	2.4
	50代		294	5	24	219	17	13	10	6
		100	1.7	8.2	74.5	5.8	4.4	3.4	2.0	
60代		296	4	29	224	17	9	9	4	
		100	1.4	9.8	75.7	5.7	3.0	3.0	1.4	
70代以上		298	3	30	226	13	11	14	1	
		100	1.0	10.1	75.8	4.4	3.7	4.7	0.3	

【7. 豚肉】 輸入豚肉

<Q6【2.豚肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体			1778	27	105	1019	121	91	104	311
			100	1.5	5.9	57.3	6.8	5.1	5.8	17.5
地域	首都圏		890	15	48	538	53	47	47	142
			100	1.7	5.4	60.4	6.0	5.3	5.3	16.0
	京阪神圏		888	12	57	481	68	44	57	169
			100	1.4	6.4	54.2	7.7	5.0	6.4	19.0
年代	20代		296	6	30	161	22	18	32	27
			100	2.0	10.1	54.4	7.4	6.1	10.8	9.1
	30代		297	10	24	171	18	16	21	37
			100	3.4	8.1	57.6	6.1	5.4	7.1	12.5
	40代		297	4	13	180	22	20	13	45
			100	1.3	4.4	60.6	7.4	6.7	4.4	15.2
	50代		294	4	12	183	15	14	12	54
		100	1.4	4.1	62.2	5.1	4.8	4.1	18.4	
60代		296	2	16	182	17	12	10	57	
		100	0.7	5.4	61.5	5.7	4.1	3.4	19.3	
70代以上		298	1	10	142	27	11	16	91	
		100	0.3	3.4	47.7	9.1	3.7	5.4	30.5	

【8. 鶏肉】国産鶏肉

<Q6【3.鶏肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体			1765 100	46 2.6	192 10.9	1220 69.1	102 5.8	73 4.1	101 5.7	31 1.8
地域	首都圏		886 100	22 2.5	101 11.4	609 68.7	46 5.2	43 4.9	43 4.9	22 2.5
	京阪神圏		879 100	24 2.7	91 10.4	611 69.5	56 6.4	30 3.4	58 6.6	9 1.0
年代	20代		298 100	10 3.4	41 13.8	160 53.7	28 9.4	19 6.4	31 10.4	9 3.0
	30代		297 100	18 6.1	28 9.4	194 65.3	14 4.7	16 5.4	22 7.4	5 1.7
	40代		296 100	4 1.4	36 12.2	211 71.3	18 6.1	11 3.7	12 4.1	4 1.4
	50代		293 100	8 2.7	24 8.2	216 73.7	14 4.8	11 3.8	12 4.1	8 2.7
	60代		291 100	2 0.7	29 10.0	227 78.0	12 4.1	9 3.1	9 3.1	3 1.0
	70代以上		290 100	4 1.4	34 11.7	212 73.1	16 5.5	7 2.4	15 5.2	2 0.7

【9. 鶏肉】輸入鶏肉

<Q6【3.鶏肉】「ほぼ毎日」～「それ以下」回答者>

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体			1765 100	26 1.5	97 5.5	933 52.9	128 7.3	85 4.8	107 6.1	389 22.0
地域	首都圏		886 100	13 1.5	45 5.1	496 56.0	68 7.7	44 5.0	47 5.3	173 19.5
	京阪神圏		879 100	13 1.5	52 5.9	437 49.7	60 6.8	41 4.7	60 6.8	216 24.6
年代	20代		298 100	9 3.0	34 11.4	142 47.7	30 10.1	18 6.0	37 12.4	28 9.4
	30代		297 100	9 3.0	18 6.1	169 56.9	19 6.4	13 4.4	20 6.7	49 16.5
	40代		296 100	3 1.0	18 6.1	165 55.7	18 6.1	17 5.7	11 3.7	64 21.6
	50代		293 100	4 1.4	14 4.8	164 56.0	17 5.8	13 4.4	11 3.8	70 23.9
	60代		291 100	1 0.3	5 1.7	169 58.1	21 7.2	10 3.4	11 3.8	74 25.4
	70代以上		290 100	0 0.0	8 2.8	124 42.8	23 7.9	14 4.8	17 5.9	104 35.9

Q10 ここ1カ月の食品の購入について伺います。昨年の今頃と比べ、購入回数に変化がありますか。購入回数が「増えた食品」「減った食品」について、あてはまるものを全てお選びください。

【1. 増えた食品】

		度数 横%	全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	卵	牛乳	食肉加工品
全 体			1800 100	343 19.1	365 20.3	360 20.0	285 15.8	239 13.3	323 17.9	266 14.8	159 8.8
地域	首都圏		900 100	171 19.0	185 20.6	200 22.2	157 17.4	128 14.2	180 20.0	141 15.7	91 10.1
	京阪神圏		900 100	172 19.1	180 20.0	160 17.8	128 14.2	111 12.3	143 15.9	125 13.9	68 7.6
年代	20代		300 100	83 27.7	65 21.7	71 23.7	57 19.0	48 16.0	64 21.3	51 17.0	30 10.0
	30代		300 100	78 26.0	68 22.7	61 20.3	44 14.7	36 12.0	62 20.7	57 19.0	34 11.3
	40代		300 100	75 25.0	60 20.0	57 19.0	39 13.0	38 12.7	57 19.0	42 14.0	28 9.3
	50代		300 100	40 13.3	43 14.3	35 11.7	26 8.7	25 8.3	30 10.0	28 9.3	14 4.7
	60代		300 100	37 12.3	57 19.0	57 19.0	41 13.7	39 13.0	42 14.0	29 9.7	24 8.0
	70代以上		300 100	30 10.0	72 24.0	79 26.3	78 26.0	53 17.7	68 22.7	59 19.7	29 9.7

		度数 横%	全 体	乳製品	冷凍食品	インスタント麺 (カップ麺・ 袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体			1800 100	218 12.1	283 15.7	277 15.4	209 11.6	120 6.7	279 15.5	828 46.0
地域	首都圏		900 100	118 13.1	149 16.6	127 14.1	108 12.0	66 7.3	139 15.4	414 46.0
	京阪神圏		900 100	100 11.1	134 14.9	150 16.7	101 11.2	54 6.0	140 15.6	414 46.0
年代	20代		300 100	42 14.0	47 15.7	55 18.3	38 12.7	32 10.7	48 16.0	117 39.0
	30代		300 100	41 13.7	49 16.3	43 14.3	31 10.3	25 8.3	51 17.0	127 42.3
	40代		300 100	41 13.7	50 16.7	48 16.0	35 11.7	28 9.3	57 19.0	130 43.3
	50代		300 100	19 6.3	40 13.3	46 15.3	31 10.3	13 4.3	34 11.3	171 57.0
	60代		300 100	30 10.0	40 13.3	54 18.0	33 11.0	14 4.7	45 15.0	153 51.0
	70代以上		300 100	45 15.0	57 19.0	31 10.3	41 13.7	8 2.7	44 14.7	130 43.3

【2. 減った食品】

度数 横%		全 体	米	パン	野菜	果物	魚介	卵	牛乳	食肉加工品
全 体		1800 100	174 9.7	190 10.6	122 6.8	146 8.1	170 9.4	90 5.0	141 7.8	164 9.1
地域	首都圏	900 100	93 10.3	88 9.8	53 5.9	79 8.8	83 9.2	38 4.2	68 7.6	91 10.1
	京阪神圏	900 100	81 9.0	102 11.3	69 7.7	67 7.4	87 9.7	52 5.8	73 8.1	73 8.1
年代	20代	300 100	27 9.0	44 14.7	27 9.0	32 10.7	27 9.0	22 7.3	31 10.3	41 13.7
	30代	300 100	23 7.7	31 10.3	16 5.3	24 8.0	28 9.3	8 2.7	17 5.7	20 6.7
	40代	300 100	16 5.3	29 9.7	22 7.3	26 8.7	29 9.7	13 4.3	25 8.3	19 6.3
	50代	300 100	20 6.7	27 9.0	17 5.7	17 5.7	22 7.3	14 4.7	11 3.7	20 6.7
	60代	300 100	27 9.0	28 9.3	20 6.7	25 8.3	31 10.3	16 5.3	32 10.7	23 7.7
	70代以上	300 100	61 20.3	31 10.3	20 6.7	22 7.3	33 11.0	17 5.7	25 8.3	41 13.7

度数 横%		全 体	乳製品	冷凍食品	インスタント麺 (カップ麺・ 袋麺等)	弁当・惣菜類	ファストフード	菓子類	いずれもない
全 体		1800 100	115 6.4	151 8.4	272 15.1	238 13.2	376 20.9	213 11.8	933 51.8
地域	首都圏	900 100	63 7.0	80 8.9	149 16.6	121 13.4	201 22.3	120 13.3	460 51.1
	京阪神圏	900 100	52 5.8	71 7.9	123 13.7	117 13.0	175 19.4	93 10.3	473 52.6
年代	20代	300 100	29 9.7	41 13.7	49 16.3	42 14.0	57 19.0	39 13.0	136 45.3
	30代	300 100	11 3.7	21 7.0	38 12.7	44 14.7	58 19.3	29 9.7	160 53.3
	40代	300 100	20 6.7	20 6.7	42 14.0	36 12.0	57 19.0	30 10.0	164 54.7
	50代	300 100	12 4.0	15 5.0	39 13.0	32 10.7	60 20.0	27 9.0	175 58.3
	60代	300 100	19 6.3	18 6.0	32 10.7	31 10.3	58 19.3	36 12.0	167 55.7
	70代以上	300 100	24 8.0	36 12.0	72 24.0	53 17.7	86 28.7	52 17.3	131 43.7

Q11 下記の牛肉について、あなたはどの程度購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 国産和牛】

度数 横%		全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体		1800 100	307 17.1	559 31.1	406 22.6	409 22.7	66 3.7	14 0.8	39 2.2
地域	首都圏	900 100	145 16.1	273 30.3	193 21.4	226 25.1	29 3.2	7 0.8	27 3.0
	京阪神圏	900 100	162 18.0	286 31.8	213 23.7	183 20.3	37 4.1	7 0.8	12 1.3
年代	20代	300 100	49 16.3	68 22.7	74 24.7	82 27.3	21 7.0	1 0.3	5 1.7
	30代	300 100	58 19.3	87 29.0	65 21.7	75 25.0	11 3.7	1 0.3	3 1.0
	40代	300 100	56 18.7	69 23.0	75 25.0	80 26.7	11 3.7	4 1.3	5 1.7
	50代	300 100	55 18.3	103 34.3	58 19.3	64 21.3	6 2.0	2 0.7	12 4.0
	60代	300 100	41 13.7	108 36.0	71 23.7	59 19.7	7 2.3	4 1.3	10 3.3
	70代以上	300 100	48 16.0	124 41.3	63 21.0	49 16.3	10 3.3	2 0.7	4 1.3

【2. 和牛以外の国産牛肉】

度数 横%		全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体		1800 100	134 7.4	464 25.8	498 27.7	539 29.9	82 4.6	26 1.4	57 3.2
地域	首都圏	900 100	70 7.8	222 24.7	245 27.2	273 30.3	42 4.7	14 1.6	34 3.8
	京阪神圏	900 100	64 7.1	242 26.9	253 28.1	266 29.6	40 4.4	12 1.3	23 2.6
年代	20代	300 100	31 10.3	64 21.3	79 26.3	98 32.7	15 5.0	6 2.0	7 2.3
	30代	300 100	30 10.0	75 25.0	72 24.0	103 34.3	12 4.0	1 0.3	7 2.3
	40代	300 100	29 9.7	73 24.3	68 22.7	103 34.3	11 3.7	7 2.3	9 3.0
	50代	300 100	21 7.0	85 28.3	79 26.3	84 28.0	11 3.7	4 1.3	16 5.3
	60代	300 100	9 3.0	81 27.0	99 33.0	79 26.3	18 6.0	4 1.3	10 3.3
	70代以上	300 100	14 4.7	86 28.7	101 33.7	72 24.0	15 5.0	4 1.3	8 2.7

【3. アメリカ産牛肉】

度数 横%		全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体		1800 100	64 3.6	224 12.4	374 20.8	654 36.3	240 13.3	88 4.9	156 8.7
地域	首都圏	900 100	37 4.1	128 14.2	209 23.2	328 36.4	94 10.4	46 5.1	58 6.4
	京阪神圏	900 100	27 3.0	96 10.7	165 18.3	326 36.2	146 16.2	42 4.7	98 10.9
年代	20代	300 100	14 4.7	35 11.7	65 21.7	129 43.0	35 11.7	12 4.0	10 3.3
	30代	300 100	17 5.7	45 15.0	47 15.7	120 40.0	39 13.0	8 2.7	24 8.0
	40代	300 100	12 4.0	33 11.0	72 24.0	113 37.7	44 14.7	6 2.0	20 6.7
	50代	300 100	15 5.0	39 13.0	60 20.0	106 35.3	30 10.0	14 4.7	36 12.0
	60代	300 100	4 1.3	43 14.3	73 24.3	89 29.7	48 16.0	16 5.3	27 9.0
	70代以上	300 100	2 0.7	29 9.7	57 19.0	97 32.3	44 14.7	32 10.7	39 13.0

【4. オーストラリア産牛肉】

度数 横%		全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体		1800 100	58 3.2	245 13.6	434 24.1	651 36.2	211 11.7	72 4.0	129 7.2
地域	首都圏	900 100	37 4.1	139 15.4	236 26.2	322 35.8	79 8.8	33 3.7	54 6.0
	京阪神圏	900 100	21 2.3	106 11.8	198 22.0	329 36.6	132 14.7	39 4.3	75 8.3
年代	20代	300 100	11 3.7	40 13.3	76 25.3	122 40.7	30 10.0	11 3.7	10 3.3
	30代	300 100	14 4.7	41 13.7	57 19.0	127 42.3	31 10.3	6 2.0	24 8.0
	40代	300 100	14 4.7	40 13.3	80 26.7	110 36.7	31 10.3	8 2.7	17 5.7
	50代	300 100	12 4.0	47 15.7	60 20.0	108 36.0	35 11.7	9 3.0	29 9.7
	60代	300 100	5 1.7	46 15.3	88 29.3	87 29.0	40 13.3	12 4.0	22 7.3
	70代以上	300 100	2 0.7	31 10.3	73 24.3	97 32.3	44 14.7	26 8.7	27 9.0

Q12 下記の牛肉について、それぞれどのくらいの頻度で購入していますか。それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

【1. 国産和牛】

度数 横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体		1800 100	23 1.3	17 0.9	118 6.6	265 14.7	273 15.2	314 17.4	533 29.6	257 14.3
地域	首都圏	900 100	9 1.0	5 0.6	47 5.2	115 12.8	126 14.0	151 16.8	293 32.6	154 17.1
	京阪神圏	900 100	14 1.6	12 1.3	71 7.9	150 16.7	147 16.3	163 18.1	240 26.7	103 11.4
年代	20代	300 100	10 3.3	6 2.0	31 10.3	52 17.3	34 11.3	39 13.0	77 25.7	51 17.0
	30代	300 100	7 2.3	9 3.0	17 5.7	47 15.7	35 11.7	50 16.7	93 31.0	42 14.0
	40代	300 100	2 0.7	0 0.0	18 6.0	34 11.3	46 15.3	46 15.3	109 36.3	45 15.0
	50代	300 100	3 1.0	1 0.3	16 5.3	34 11.3	43 14.3	56 18.7	97 32.3	50 16.7
	60代	300 100	1 0.3	1 0.3	10 3.3	39 13.0	51 17.0	66 22.0	92 30.7	40 13.3
	70代以上	300 100	0 0.0	0 0.0	26 8.7	59 19.7	64 21.3	57 19.0	65 21.7	29 9.7

【2. 和牛以外の国産牛肉】

度数 横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体		1800 100	18 1.0	19 1.1	81 4.5	239 13.3	314 17.4	361 20.1	515 28.6	253 14.1
地域	首都圏	900 100	9 1.0	6 0.7	31 3.4	112 12.4	135 15.0	169 18.8	295 32.8	143 15.9
	京阪神圏	900 100	9 1.0	13 1.4	50 5.6	127 14.1	179 19.9	192 21.3	220 24.4	110 12.2
年代	20代	300 100	8 2.7	8 2.7	26 8.7	44 14.7	48 16.0	50 16.7	76 25.3	40 13.3
	30代	300 100	5 1.7	7 2.3	17 5.7	41 13.7	51 17.0	53 17.7	87 29.0	39 13.0
	40代	300 100	2 0.7	0 0.0	12 4.0	37 12.3	43 14.3	61 20.3	100 33.3	45 15.0
	50代	300 100	3 1.0	1 0.3	10 3.3	34 11.3	50 16.7	62 20.7	88 29.3	52 17.3
	60代	300 100	0 0.0	2 0.7	6 2.0	26 8.7	55 18.3	68 22.7	104 34.7	39 13.0
	70代以上	300 100	0 0.0	1 0.3	10 3.3	57 19.0	67 22.3	67 22.3	60 20.0	38 12.7

【3. アメリカ産牛肉】

度数 横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体		1800 100	12 0.7	18 1.0	58 3.2	169 9.4	236 13.1	332 18.4	500 27.8	475 26.4
地域	首都圏	900 100	4 0.4	8 0.9	26 2.9	92 10.2	119 13.2	159 17.7	279 31.0	213 23.7
	京阪神圏	900 100	8 0.9	10 1.1	32 3.6	77 8.6	117 13.0	173 19.2	221 24.6	262 29.1
年代	20代	300 100	5 1.7	7 2.3	17 5.7	41 13.7	46 15.3	62 20.7	69 23.0	53 17.7
	30代	300 100	4 1.3	6 2.0	13 4.3	36 12.0	38 12.7	43 14.3	92 30.7	68 22.7
	40代	300 100	1 0.3	3 1.0	6 2.0	28 9.3	38 12.7	63 21.0	98 32.7	63 21.0
	50代	300 100	2 0.7	2 0.7	10 3.3	26 8.7	36 12.0	52 17.3	87 29.0	85 28.3
	60代	300 100	0 0.0	0 0.0	5 1.7	14 4.7	44 14.7	65 21.7	86 28.7	86 28.7
	70代以上	300 100	0 0.0	0 0.0	7 2.3	24 8.0	34 11.3	47 15.7	68 22.7	120 40.0

【4. オーストラリア産牛肉】

度数 横%		全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体		1800 100	17 0.9	18 1.0	59 3.3	162 9.0	244 13.6	358 19.9	517 28.7	425 23.6
地域	首都圏	900 100	8 0.9	6 0.7	27 3.0	89 9.9	127 14.1	165 18.3	283 31.4	195 21.7
	京阪神圏	900 100	9 1.0	12 1.3	32 3.6	73 8.1	117 13.0	193 21.4	234 26.0	230 25.6
年代	20代	300 100	7 2.3	10 3.3	22 7.3	38 12.7	47 15.7	58 19.3	66 22.0	52 17.3
	30代	300 100	6 2.0	6 2.0	11 3.7	40 13.3	34 11.3	47 15.7	98 32.7	58 19.3
	40代	300 100	1 0.3	1 0.3	8 2.7	27 9.0	44 14.7	62 20.7	97 32.3	60 20.0
	50代	300 100	3 1.0	1 0.3	6 2.0	22 7.3	36 12.0	58 19.3	94 31.3	80 26.7
	60代	300 100	0 0.0	0 0.0	4 1.3	16 5.3	46 15.3	72 24.0	94 31.3	68 22.7
	70代以上	300 100	0 0.0	0 0.0	8 2.7	19 6.3	37 12.3	61 20.3	68 22.7	107 35.7

Q13 下記の牛肉について、それぞれあてはまるイメージを全てお選びください。

	度数 横%	全体	食感 ／柔らかい	部位・栄養素 ／霜降り	／あぶら身が多い	／赤身が多い	／栄養価が高い	品質 ／新鮮	／安心	／安全
		(1) 国産和牛	1800 100	1162 64.6	834 46.3	283 15.7	166 9.2	314 17.4	469 26.1	746 41.4
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	420 23.3	181 10.1	211 11.7	246 13.7	202 11.2	238 13.2	460 25.6	431 23.9	
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	106 5.9	31 1.7	255 14.2	450 25.0	117 6.5	41 2.3	51 2.8	70 3.9	
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	112 6.2	28 1.6	142 7.9	445 24.7	108 6.0	44 2.4	88 4.9	93 5.2	

	度数 横%	全体	品質 ／衛生的	／高品質	／産地や生産 者がわかる	／飼育環境が よい	価格 ／高級品	／価格が手頃	／特売	味・風味 ／あぶらが美味 しい
		(1) 国産和牛	1800 100	416 23.1	665 36.9	504 28.0	396 22.0	814 45.2	45 2.5	40 2.2
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	233 12.9	220 12.2	231 12.8	144 8.0	164 9.1	274 15.2	176 9.8	135 7.5	
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	50 2.8	36 2.0	61 3.4	49 2.7	22 1.2	807 44.8	459 25.5	49 2.7	
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	55 3.1	31 1.7	53 2.9	76 4.2	22 1.2	810 45.0	410 22.8	35 1.9	

	度数 横%	全体	味・風味 ／赤身が美味 しい	／おいしい	／肉々しい	／旨味がある	／香りがよい	健康・美容 ／スタミナ源	／筋肉や骨を つくる	／健康によい
		(1) 国産和牛	1800 100	207 11.5	640 35.6	157 8.7	422 23.4	243 13.5	299 16.6	287 15.9
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	160 8.9	370 20.6	95 5.3	177 9.8	65 3.6	250 13.9	227 12.6	126 7.0	
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	135 7.5	197 10.9	266 14.8	53 2.9	21 1.2	234 13.0	220 12.2	79 4.4	
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	145 8.1	206 11.4	219 12.2	60 3.3	27 1.5	233 12.9	208 11.6	90 5.0	

	度数 横%	全体	健康・美容 ／美容によい	利便性 ／入手しやすい	／和食に合う	／中華に合う	／洋食に合う	情緒 ／信頼がおける	／贅沢感があ る	／食べやすい・ 食べ疲れしない
		(1) 国産和牛	1800 100	111 6.2	125 6.9	286 15.9	60 3.3	199 11.1	394 21.9	552 30.7
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	68 3.8	236 13.1	173 9.6	90 5.0	157 8.7	206 11.4	120 6.7	148 8.2	
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	38 2.1	361 20.1	58 3.2	88 4.9	254 14.1	28 1.6	24 1.3	59 3.3	
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	44 2.4	349 19.4	58 3.2	76 4.2	241 13.4	39 2.2	14 0.8	64 3.6	

	度数 横%	全体	情緒 ／男性向き	／女性向き	／年配向き	／大人向き	／若者向き	／子ども向き	／少量で満足	該当なし／あて はまるイメージは ない
		(1) 国産和牛	1800 100	98 5.4	123 6.8	188 10.4	238 13.2	54 3.0	59 3.3	293 16.3
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	90 5.0	82 4.6	96 5.3	105 5.8	72 4.0	101 5.6	64 3.6	368 20.4	
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	182 10.1	27 1.5	19 1.1	46 2.6	203 11.3	91 5.1	31 1.7	432 24.0	
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	151 8.4	31 1.7	30 1.7	40 2.2	189 10.5	89 4.9	25 1.4	439 24.4	

Q14 あなたは、輸入牛肉と比べ、どのくらいの価格レベルまでなら、国産和牛肉を選びますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

		度数 横%	全 体	4倍を超える 価格でも国産 和牛肉を選ぶ	4倍高までな ら国産和牛肉 を選ぶ	3倍高までな ら国産和牛肉 を選ぶ	2倍高までな ら国産和牛肉 を選ぶ	8割高までな ら国産和牛肉 を選ぶ	5割高までな ら国産和牛肉 を選ぶ	2割高までな ら国産和牛肉 を選ぶ	同等の価格な ら国産和牛肉 を選ぶ	国産和牛肉 へのこだわり はない
全 体			1800 100	61 3.4	31 1.7	84 4.7	244 13.6	40 2.2	133 7.4	370 20.6	433 24.1	404 22.4
地域	首都圏		900 100	18 2.0	15 1.7	39 4.3	114 12.7	14 1.6	63 7.0	191 21.2	224 24.9	222 24.7
	京阪神圏		900 100	43 4.8	16 1.8	45 5.0	130 14.4	26 2.9	70 7.8	179 19.9	209 23.2	182 20.2
年代	20代		300 100	7 2.3	6 2.0	11 3.7	27 9.0	12 4.0	20 6.7	46 15.3	81 27.0	90 30.0
	30代		300 100	6 2.0	8 2.7	13 4.3	38 12.7	5 1.7	16 5.3	59 19.7	74 24.7	81 27.0
	40代		300 100	10 3.3	2 0.7	15 5.0	41 13.7	3 1.0	19 6.3	62 20.7	74 24.7	74 24.7
	50代		300 100	12 4.0	4 1.3	15 5.0	37 12.3	9 3.0	21 7.0	65 21.7	72 24.0	65 21.7
	60代		300 100	11 3.7	6 2.0	13 4.3	49 16.3	5 1.7	22 7.3	64 21.3	77 25.7	53 17.7
	70代以上		300 100	15 5.0	5 1.7	17 5.7	52 17.3	6 2.0	35 11.7	74 24.7	55 18.3	41 13.7

Q15 あなたは、輸入牛肉と比べ、どのくらいの価格レベルまでなら、和牛以外の国産牛肉を選びますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

		度数 横%	全 体	2倍を超える 価格でも和牛 以外の国産 牛肉を選ぶ	2倍高までな ら和牛以外の 国産牛肉を 選ぶ	8割高までな ら和牛以外の 国産牛肉を 選ぶ	6割高までな ら和牛以外の 国産牛肉を 選ぶ	4割高までな ら和牛以外の 国産牛肉を 選ぶ	2割高までな ら和牛以外の 国産牛肉を 選ぶ	1割高までな ら和牛以外の 国産牛肉を 選ぶ	同等の価格 なら和牛以外 の国産牛肉 を選ぶ	国産への こだわりは ない
全 体			1800 100	70 3.9	104 5.8	41 2.3	81 4.5	112 6.2	328 18.2	194 10.8	430 23.9	440 24.4
地域	首都圏		900 100	25 2.8	44 4.9	14 1.6	45 5.0	46 5.1	156 17.3	99 11.0	236 26.2	235 26.1
	京阪神圏		900 100	45 5.0	60 6.7	27 3.0	36 4.0	66 7.3	172 19.1	95 10.6	194 21.6	205 22.8
年代	20代		300 100	5 1.7	15 5.0	11 3.7	18 6.0	15 5.0	35 11.7	23 7.7	83 27.7	95 31.7
	30代		300 100	10 3.3	17 5.7	6 2.0	12 4.0	20 6.7	61 20.3	23 7.7	66 22.0	85 28.3
	40代		300 100	8 2.7	17 5.7	7 2.3	13 4.3	17 5.7	40 13.3	45 15.0	77 25.7	76 25.3
	50代		300 100	12 4.0	16 5.3	8 2.7	9 3.0	12 4.0	63 21.0	36 12.0	69 23.0	75 25.0
	60代		300 100	15 5.0	19 6.3	6 2.0	18 6.0	20 6.7	48 16.0	33 11.0	80 26.7	61 20.3
	70代以上		300 100	20 6.7	20 6.7	3 1.0	11 3.7	28 9.3	81 27.0	34 11.3	55 18.3	48 16.0

Q16 牛肉について伺います。下記の原産地の牛肉を購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 国産和牛】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	494 27.4	497 27.6	616 34.2	49 2.7	144 8.0
地域	首都圏	900 100	213 23.7	262 29.1	319 35.4	27 3.0	79 8.8
	京阪神圏	900 100	281 31.2	235 26.1	297 33.0	22 2.4	65 7.2
年代	20代	300 100	55 18.3	78 26.0	115 38.3	6 2.0	46 15.3
	30代	300 100	72 24.0	79 26.3	99 33.0	11 3.7	39 13.0
	40代	300 100	74 24.7	86 28.7	103 34.3	13 4.3	24 8.0
	50代	300 100	83 27.7	77 25.7	118 39.3	7 2.3	15 5.0
	60代	300 100	96 32.0	88 29.3	97 32.3	7 2.3	12 4.0
	70代以上	300 100	114 38.0	89 29.7	84 28.0	5 1.7	8 2.7

【2. 和牛以外の国産牛肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	194 10.8	646 35.9	714 39.7	75 4.2	171 9.5
地域	首都圏	900 100	90 10.0	316 35.1	364 40.4	35 3.9	95 10.6
	京阪神圏	900 100	104 11.6	330 36.7	350 38.9	40 4.4	76 8.4
年代	20代	300 100	31 10.3	96 32.0	115 38.3	8 2.7	50 16.7
	30代	300 100	30 10.0	106 35.3	107 35.7	12 4.0	45 15.0
	40代	300 100	34 11.3	111 37.0	115 38.3	14 4.7	26 8.7
	50代	300 100	29 9.7	95 31.7	137 45.7	19 6.3	20 6.7
	60代	300 100	33 11.0	116 38.7	124 41.3	12 4.0	15 5.0
	70代以上	300 100	37 12.3	122 40.7	116 38.7	10 3.3	15 5.0

【3. アメリカ産牛肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	17 0.9	230 12.8	934 51.9	372 20.7	247 13.7
地域	首都圏	900 100	10 1.1	132 14.7	476 52.9	149 16.6	133 14.8
	京阪神圏	900 100	7 0.8	98 10.9	458 50.9	223 24.8	114 12.7
年代	20代	300 100	5 1.7	61 20.3	145 48.3	31 10.3	58 19.3
	30代	300 100	6 2.0	46 15.3	132 44.0	55 18.3	61 20.3
	40代	300 100	2 0.7	31 10.3	170 56.7	54 18.0	43 14.3
	50代	300 100	2 0.7	24 8.0	182 60.7	65 21.7	27 9.0
	60代	300 100	1 0.3	38 12.7	174 58.0	61 20.3	26 8.7
	70代以上	300 100	1 0.3	30 10.0	131 43.7	106 35.3	32 10.7

【4. オーストラリア産牛肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	21 1.2	234 13.0	1007 55.9	304 16.9	234 13.0
地域	首都圏	900 100	9 1.0	125 13.9	526 58.4	114 12.7	126 14.0
	京阪神圏	900 100	12 1.3	109 12.1	481 53.4	190 21.1	108 12.0
年代	20代	300 100	9 3.0	53 17.7	150 50.0	29 9.7	59 19.7
	30代	300 100	3 1.0	45 15.0	141 47.0	54 18.0	57 19.0
	40代	300 100	3 1.0	38 12.7	186 62.0	39 13.0	34 11.3
	50代	300 100	3 1.0	27 9.0	187 62.3	57 19.0	26 8.7
	60代	300 100	3 1.0	40 13.3	181 60.3	50 16.7	26 8.7
	70代以上	300 100	0 0.0	31 10.3	162 54.0	75 25.0	32 10.7

【5. カナダ産牛肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	21 1.2	178 9.9	862 47.9	359 19.9	380 21.1
地域	首都圏	900 100	13 1.4	99 11.0	463 51.4	129 14.3	196 21.8
	京阪神圏	900 100	8 0.9	79 8.8	399 44.3	230 25.6	184 20.4
年代	20代	300 100	10 3.3	38 12.7	148 49.3	36 12.0	68 22.7
	30代	300 100	4 1.3	36 12.0	118 39.3	58 19.3	84 28.0
	40代	300 100	2 0.7	27 9.0	163 54.3	50 16.7	58 19.3
	50代	300 100	3 1.0	20 6.7	150 50.0	72 24.0	55 18.3
	60代	300 100	2 0.7	31 10.3	156 52.0	56 18.7	55 18.3
	70代以上	300 100	0 0.0	26 8.7	127 42.3	87 29.0	60 20.0

【6. ニュージーランド産牛肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	20 1.1	193 10.7	867 48.2	353 19.6	367 20.4
地域	首都圏	900 100	9 1.0	107 11.9	461 51.2	130 14.4	193 21.4
	京阪神圏	900 100	11 1.2	86 9.6	406 45.1	223 24.8	174 19.3
年代	20代	300 100	6 2.0	46 15.3	140 46.7	39 13.0	69 23.0
	30代	300 100	4 1.3	33 11.0	118 39.3	59 19.7	86 28.7
	40代	300 100	5 1.7	34 11.3	150 50.0	55 18.3	56 18.7
	50代	300 100	3 1.0	20 6.7	161 53.7	65 21.7	51 17.0
	60代	300 100	1 0.3	35 11.7	157 52.3	57 19.0	50 16.7
	70代以上	300 100	1 0.3	25 8.3	141 47.0	78 26.0	55 18.3

【7. メキシコ産牛肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	13 0.7	111 6.2	522 29.0	637 35.4	517 28.7
地域	首都圏	900 100	6 0.7	62 6.9	287 31.9	260 28.9	285 31.7
	京阪神圏	900 100	7 0.8	49 5.4	235 26.1	377 41.9	232 25.8
年代	20代	300 100	4 1.3	36 12.0	110 36.7	61 20.3	89 29.7
	30代	300 100	3 1.0	22 7.3	79 26.3	98 32.7	98 32.7
	40代	300 100	2 0.7	18 6.0	101 33.7	111 37.0	68 22.7
	50代	300 100	3 1.0	7 2.3	85 28.3	118 39.3	87 29.0
	60代	300 100	1 0.3	13 4.3	92 30.7	115 38.3	79 26.3
	70代以上	300 100	0 0.0	15 5.0	55 18.3	134 44.7	96 32.0

【8. ウルグアイ産牛肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	13 0.7	109 6.1	479 26.6	663 36.8	536 29.8
地域	首都圏	900 100	8 0.9	62 6.9	268 29.8	267 29.7	295 32.8
	京阪神圏	900 100	5 0.6	47 5.2	211 23.4	396 44.0	241 26.8
年代	20代	300 100	4 1.3	28 9.3	106 35.3	67 22.3	95 31.7
	30代	300 100	2 0.7	25 8.3	78 26.0	96 32.0	99 33.0
	40代	300 100	4 1.3	19 6.3	84 28.0	120 40.0	73 24.3
	50代	300 100	2 0.7	10 3.3	76 25.3	123 41.0	89 29.7
	60代	300 100	1 0.3	13 4.3	84 28.0	118 39.3	84 28.0
	70代以上	300 100	0 0.0	14 4.7	51 17.0	139 46.3	96 32.0

【9. アルゼンチン産牛肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	20 1.1	107 5.9	497 27.6	647 35.9	529 29.4
地域	首都圏	900 100	10 1.1	61 6.8	277 30.8	262 29.1	290 32.2
	京阪神圏	900 100	10 1.1	46 5.1	220 24.4	385 42.8	239 26.6
年代	20代	300 100	8 2.7	34 11.3	98 32.7	67 22.3	93 31.0
	30代	300 100	4 1.3	19 6.3	81 27.0	96 32.0	100 33.3
	40代	300 100	3 1.0	16 5.3	95 31.7	113 37.7	73 24.3
	50代	300 100	4 1.3	9 3.0	82 27.3	120 40.0	85 28.3
	60代	300 100	1 0.3	14 4.7	89 29.7	114 38.0	82 27.3
	70代以上	300 100	0 0.0	15 5.0	52 17.3	137 45.7	96 32.0

Q17 豚肉について伺います。下記の原産地の豚肉を購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 国産豚肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	480 26.7	625 34.7	544 30.2	34 1.9	117 6.5
地域	首都圏	900 100	223 24.8	324 36.0	276 30.7	13 1.4	64 7.1
	京阪神圏	900 100	257 28.6	301 33.4	268 29.8	21 2.3	53 5.9
年代	20代	300 100	51 17.0	95 31.7	103 34.3	11 3.7	40 13.3
	30代	300 100	66 22.0	100 33.3	94 31.3	9 3.0	31 10.3
	40代	300 100	76 25.3	96 32.0	104 34.7	8 2.7	16 5.3
	50代	300 100	87 29.0	94 31.3	105 35.0	2 0.7	12 4.0
	60代	300 100	87 29.0	118 39.3	82 27.3	3 1.0	10 3.3
	70代以上	300 100	113 37.7	122 40.7	56 18.7	1 0.3	8 2.7

【2. アメリカ産豚肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	26 1.4	299 16.6	864 48.0	363 20.2	248 13.8
地域	首都圏	900 100	10 1.1	170 18.9	432 48.0	157 17.4	131 14.6
	京阪神圏	900 100	16 1.8	129 14.3	432 48.0	206 22.9	117 13.0
年代	20代	300 100	9 3.0	60 20.0	138 46.0	36 12.0	57 19.0
	30代	300 100	8 2.7	49 16.3	134 44.7	56 18.7	53 17.7
	40代	300 100	3 1.0	50 16.7	156 52.0	56 18.7	35 11.7
	50代	300 100	3 1.0	42 14.0	158 52.7	62 20.7	35 11.7
	60代	300 100	2 0.7	55 18.3	147 49.0	64 21.3	32 10.7
	70代以上	300 100	1 0.3	43 14.3	131 43.7	89 29.7	36 12.0

【3. カナダ産豚肉】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	21 1.2	265 14.7	837 46.5	363 20.2	314 17.4
地域	首都圏	900 100	9 1.0	159 17.7	436 48.4	142 15.8	154 17.1
	京阪神圏	900 100	12 1.3	106 11.8	401 44.6	221 24.6	160 17.8
年代	20代	300 100	10 3.3	52 17.3	135 45.0	37 12.3	66 22.0
	30代	300 100	6 2.0	45 15.0	123 41.0	67 22.3	59 19.7
	40代	300 100	2 0.7	45 15.0	150 50.0	49 16.3	54 18.0
	50代	300 100	2 0.7	40 13.3	144 48.0	65 21.7	49 16.3
	60代	300 100	0 0.0	48 16.0	149 49.7	57 19.0	46 15.3
	70代以上	300 100	1 0.3	35 11.7	136 45.3	88 29.3	40 13.3

【4. スペイン産豚肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	22 1.2	208 11.6	696 38.7	456 25.3	418 23.2
地域	首都圏	900 100	11 1.2	124 13.8	372 41.3	187 20.8	206 22.9
	京阪神圏	900 100	11 1.2	84 9.3	324 36.0	269 29.9	212 23.6
年代	20代	300 100	7 2.3	39 13.0	129 43.0	46 15.3	79 26.3
	30代	300 100	2 0.7	43 14.3	114 38.0	71 23.7	70 23.3
	40代	300 100	7 2.3	44 14.7	130 43.3	60 20.0	59 19.7
	50代	300 100	3 1.0	21 7.0	118 39.3	84 28.0	74 24.7
	60代	300 100	2 0.7	37 12.3	110 36.7	84 28.0	67 22.3
	70代以上	300 100	1 0.3	24 8.0	95 31.7	111 37.0	69 23.0

【5. メキシコ産豚肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	17 0.9	141 7.8	560 31.1	587 32.6	495 27.5
地域	首都圏	900 100	8 0.9	91 10.1	300 33.3	243 27.0	258 28.7
	京阪神圏	900 100	9 1.0	50 5.6	260 28.9	344 38.2	237 26.3
年代	20代	300 100	7 2.3	39 13.0	110 36.7	56 18.7	88 29.3
	30代	300 100	3 1.0	26 8.7	101 33.7	92 30.7	78 26.0
	40代	300 100	4 1.3	27 9.0	97 32.3	98 32.7	74 24.7
	50代	300 100	2 0.7	13 4.3	95 31.7	104 34.7	86 28.7
	60代	300 100	1 0.3	19 6.3	91 30.3	106 35.3	83 27.7
	70代以上	300 100	0 0.0	17 5.7	66 22.0	131 43.7	86 28.7

【6. チリ産豚肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	13 0.7	128 7.1	530 29.4	601 33.4	528 29.3
地域	首都圏	900 100	7 0.8	83 9.2	281 31.2	252 28.0	277 30.8
	京阪神圏	900 100	6 0.7	45 5.0	249 27.7	349 38.8	251 27.9
年代	20代	300 100	5 1.7	36 12.0	100 33.3	60 20.0	99 33.0
	30代	300 100	3 1.0	25 8.3	91 30.3	101 33.7	80 26.7
	40代	300 100	2 0.7	19 6.3	100 33.3	95 31.7	84 28.0
	50代	300 100	3 1.0	11 3.7	90 30.0	107 35.7	89 29.7
	60代	300 100	0 0.0	21 7.0	88 29.3	104 34.7	87 29.0
	70代以上	300 100	0 0.0	16 5.3	61 20.3	134 44.7	89 29.7

【7. デンマーク産豚肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	17 0.9	151 8.4	608 33.8	507 28.2	517 28.7
地域	首都圏	900 100	10 1.1	92 10.2	326 36.2	209 23.2	263 29.2
	京阪神圏	900 100	7 0.8	59 6.6	282 31.3	298 33.1	254 28.2
年代	20代	300 100	5 1.7	34 11.3	107 35.7	56 18.7	98 32.7
	30代	300 100	5 1.7	26 8.7	99 33.0	86 28.7	84 28.0
	40代	300 100	3 1.0	30 10.0	101 33.7	79 26.3	87 29.0
	50代	300 100	4 1.3	12 4.0	106 35.3	89 29.7	89 29.7
	60代	300 100	0 0.0	29 9.7	105 35.0	86 28.7	80 26.7
	70代以上	300 100	0 0.0	20 6.7	90 30.0	111 37.0	79 26.3

Q18 鶏肉について伺います。下記の原産地の鶏肉を購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 国産鶏肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	501 27.8	627 34.8	512 28.4	40 2.2	120 6.7
地域	首都圏	900 100	238 26.4	327 36.3	253 28.1	15 1.7	67 7.4
	京阪神圏	900 100	263 29.2	300 33.3	259 28.8	25 2.8	53 5.9
年代	20代	300 100	56 18.7	95 31.7	101 33.7	9 3.0	39 13.0
	30代	300 100	71 23.7	97 32.3	89 29.7	7 2.3	36 12.0
	40代	300 100	77 25.7	104 34.7	95 31.7	8 2.7	16 5.3
	50代	300 100	86 28.7	97 32.3	100 33.3	6 2.0	11 3.7
	60代	300 100	96 32.0	120 40.0	71 23.7	3 1.0	10 3.3
	70代以上	300 100	115 38.3	114 38.0	56 18.7	7 2.3	8 2.7

【2. アメリカ産鶏肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	18 1.0	238 13.2	736 40.9	496 27.6	312 17.3
地域	首都圏	900 100	9 1.0	133 14.8	388 43.1	209 23.2	161 17.9
	京阪神圏	900 100	9 1.0	105 11.7	348 38.7	287 31.9	151 16.8
年代	20代	300 100	7 2.3	54 18.0	145 48.3	37 12.3	57 19.0
	30代	300 100	4 1.3	45 15.0	114 38.0	74 24.7	63 21.0
	40代	300 100	3 1.0	38 12.7	115 38.3	89 29.7	55 18.3
	50代	300 100	2 0.7	29 9.7	134 44.7	87 29.0	48 16.0
	60代	300 100	1 0.3	42 14.0	129 43.0	86 28.7	42 14.0
	70代以上	300 100	1 0.3	30 10.0	99 33.0	123 41.0	47 15.7

【3. ブラジル産鶏肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	16 0.9	164 9.1	638 35.4	629 34.9	353 19.6
地域	首都圏	900 100	8 0.9	98 10.9	346 38.4	260 28.9	188 20.9
	京阪神圏	900 100	8 0.9	66 7.3	292 32.4	369 41.0	165 18.3
年代	20代	300 100	6 2.0	35 11.7	131 43.7	51 17.0	77 25.7
	30代	300 100	4 1.3	36 12.0	101 33.7	97 32.3	62 20.7
	40代	300 100	3 1.0	31 10.3	106 35.3	108 36.0	52 17.3
	50代	300 100	3 1.0	16 5.3	110 36.7	112 37.3	59 19.7
	60代	300 100	0 0.0	26 8.7	110 36.7	118 39.3	46 15.3
	70代以上	300 100	0 0.0	20 6.7	80 26.7	143 47.7	57 19.0

【4. タイ産鶏肉】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度の 価格ならば購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	14 0.8	126 7.0	573 31.8	670 37.2	417 23.2
地域	首都圏	900 100	6 0.7	77 8.6	333 37.0	274 30.4	210 23.3
	京阪神圏	900 100	8 0.9	49 5.4	240 26.7	396 44.0	207 23.0
年代	20代	300 100	4 1.3	24 8.0	122 40.7	65 21.7	85 28.3
	30代	300 100	4 1.3	30 10.0	92 30.7	102 34.0	72 24.0
	40代	300 100	3 1.0	24 8.0	86 28.7	117 39.0	70 23.3
	50代	300 100	3 1.0	11 3.7	101 33.7	114 38.0	71 23.7
	60代	300 100	0 0.0	21 7.0	99 33.0	123 41.0	57 19.0
	70代以上	300 100	0 0.0	16 5.3	73 24.3	149 49.7	62 20.7

Q19 あなたは下記の各食品の安全性について不安を感じますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 米】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	47 2.6	105 5.8	518 28.8	507 28.2	623 34.6
地域	首都圏		900 100	23 2.6	43 4.8	251 27.9	242 26.9	341 37.9
	京阪神圏		900 100	24 2.7	62 6.9	267 29.7	265 29.4	282 31.3
年代	20代		300 100	11 3.7	31 10.3	84 28.0	65 21.7	109 36.3
	30代		300 100	12 4.0	11 3.7	105 35.0	65 21.7	107 35.7
	40代		300 100	8 2.7	15 5.0	95 31.7	93 31.0	89 29.7
	50代		300 100	6 2.0	19 6.3	91 30.3	80 26.7	104 34.7
	60代		300 100	7 2.3	15 5.0	77 25.7	104 34.7	97 32.3
	70代以上		300 100	3 1.0	14 4.7	66 22.0	100 33.3	117 39.0

【2. パン】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	57 3.2	184 10.2	587 32.6	477 26.5	495 27.5
地域	首都圏		900 100	28 3.1	82 9.1	276 30.7	241 26.8	273 30.3
	京阪神圏		900 100	29 3.2	102 11.3	311 34.6	236 26.2	222 24.7
年代	20代		300 100	13 4.3	28 9.3	104 34.7	65 21.7	90 30.0
	30代		300 100	13 4.3	35 11.7	103 34.3	66 22.0	83 27.7
	40代		300 100	8 2.7	43 14.3	101 33.7	75 25.0	73 24.3
	50代		300 100	8 2.7	25 8.3	108 36.0	74 24.7	85 28.3
	60代		300 100	7 2.3	27 9.0	90 30.0	98 32.7	78 26.0
	70代以上		300 100	8 2.7	26 8.7	81 27.0	99 33.0	86 28.7

【3. 野菜】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	53 2.9	186 10.3	619 34.4	502 27.9	440 24.4
地域	首都圏		900 100	23 2.6	94 10.4	286 31.8	252 28.0	245 27.2
	京阪神圏		900 100	30 3.3	92 10.2	333 37.0	250 27.8	195 21.7
年代	20代		300 100	15 5.0	40 13.3	103 34.3	72 24.0	70 23.3
	30代		300 100	12 4.0	34 11.3	111 37.0	68 22.7	75 25.0
	40代		300 100	7 2.3	34 11.3	117 39.0	81 27.0	61 20.3
	50代		300 100	7 2.3	26 8.7	110 36.7	84 28.0	73 24.3
	60代		300 100	8 2.7	24 8.0	97 32.3	96 32.0	75 25.0
	70代以上		300 100	4 1.3	28 9.3	81 27.0	101 33.7	86 28.7

【4. 果物】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800	48	165	642	503	442
			100	2.7	9.2	35.7	27.9	24.6
地域	首都圏		900	19	92	294	257	238
			100	2.1	10.2	32.7	28.6	26.4
	京阪神圏		900	29	73	348	246	204
			100	3.2	8.1	38.7	27.3	22.7
年代	20代		300	15	39	107	66	73
			100	5.0	13.0	35.7	22.0	24.3
	30代		300	9	23	119	71	78
			100	3.0	7.7	39.7	23.7	26.0
	40代		300	5	32	126	80	57
			100	1.7	10.7	42.0	26.7	19.0
	50代		300	9	24	113	80	74
		100	3.0	8.0	37.7	26.7	24.7	
	60代		300	6	22	100	100	72
			100	2.0	7.3	33.3	33.3	24.0
	70代以上		300	4	25	77	106	88
			100	1.3	8.3	25.7	35.3	29.3

【5. 魚介】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800	67	255	664	449	365
			100	3.7	14.2	36.9	24.9	20.3
地域	首都圏		900	29	127	315	228	201
			100	3.2	14.1	35.0	25.3	22.3
	京阪神圏		900	38	128	349	221	164
			100	4.2	14.2	38.8	24.6	18.2
年代	20代		300	18	52	113	51	66
			100	6.0	17.3	37.7	17.0	22.0
	30代		300	17	56	113	58	56
			100	5.7	18.7	37.7	19.3	18.7
	40代		300	8	44	126	68	54
			100	2.7	14.7	42.0	22.7	18.0
	50代		300	12	39	113	75	61
		100	4.0	13.0	37.7	25.0	20.3	
	60代		300	7	36	99	98	60
			100	2.3	12.0	33.0	32.7	20.0
	70代以上		300	5	28	100	99	68
			100	1.7	9.3	33.3	33.0	22.7

【6. 牛肉】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800	73	224	671	469	363
			100	4.1	12.4	37.3	26.1	20.2
地域	首都圏		900	32	103	321	242	202
			100	3.6	11.4	35.7	26.9	22.4
	京阪神圏		900	41	121	350	227	161
			100	4.6	13.4	38.9	25.2	17.9
年代	20代		300	15	59	104	56	66
			100	5.0	19.7	34.7	18.7	22.0
	30代		300	21	37	120	61	61
			100	7.0	12.3	40.0	20.3	20.3
	40代		300	9	42	120	75	54
			100	3.0	14.0	40.0	25.0	18.0
	50代		300	14	29	121	77	59
		100	4.7	9.7	40.3	25.7	19.7	
	60代		300	9	33	99	103	56
			100	3.0	11.0	33.0	34.3	18.7
	70代以上		300	5	24	107	97	67
			100	1.7	8.0	35.7	32.3	22.3

【7. 豚肉】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	65 3.6	228 12.7	676 37.6	459 25.5	372 20.7
地域	首都圏		900 100	28 3.1	102 11.3	323 35.9	244 27.1	203 22.6
	京阪神圏		900 100	37 4.1	126 14.0	353 39.2	215 23.9	169 18.8
年代	20代		300 100	21 7.0	55 18.3	104 34.7	52 17.3	68 22.7
	30代		300 100	18 6.0	39 13.0	119 39.7	61 20.3	63 21.0
	40代		300 100	6 2.0	39 13.0	133 44.3	67 22.3	55 18.3
	50代		300 100	9 3.0	34 11.3	120 40.0	76 25.3	61 20.3
	60代		300 100	7 2.3	32 10.7	106 35.3	97 32.3	58 19.3
	70代以上		300 100	4 1.3	29 9.7	94 31.3	106 35.3	67 22.3

【8. 鶏肉】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	58 3.2	228 12.7	694 38.6	459 25.5	361 20.1
地域	首都圏		900 100	25 2.8	108 12.0	327 36.3	244 27.1	196 21.8
	京阪神圏		900 100	33 3.7	120 13.3	367 40.8	215 23.9	165 18.3
年代	20代		300 100	15 5.0	48 16.0	114 38.0	58 19.3	65 21.7
	30代		300 100	14 4.7	44 14.7	124 41.3	56 18.7	62 20.7
	40代		300 100	7 2.3	44 14.7	125 41.7	71 23.7	53 17.7
	50代		300 100	10 3.3	31 10.3	125 41.7	77 25.7	57 19.0
	60代		300 100	8 2.7	33 11.0	111 37.0	89 29.7	59 19.7
	70代以上		300 100	4 1.3	28 9.3	95 31.7	108 36.0	65 21.7

【9. 卵】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	53 2.9	169 9.4	628 34.9	499 27.7	451 25.1
地域	首都圏		900 100	21 2.3	79 8.8	302 33.6	250 27.8	248 27.6
	京阪神圏		900 100	32 3.6	90 10.0	326 36.2	249 27.7	203 22.6
年代	20代		300 100	15 5.0	35 11.7	111 37.0	62 20.7	77 25.7
	30代		300 100	12 4.0	32 10.7	117 39.0	61 20.3	78 26.0
	40代		300 100	9 3.0	31 10.3	110 36.7	88 29.3	62 20.7
	50代		300 100	8 2.7	25 8.3	105 35.0	85 28.3	77 25.7
	60代		300 100	6 2.0	25 8.3	100 33.3	93 31.0	76 25.3
	70代以上		300 100	3 1.0	21 7.0	85 28.3	110 36.7	81 27.0

【10. 牛乳】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	54 3.0	165 9.2	604 33.6	513 28.5	464 25.8
地域	首都圏	900 100	19 2.1	72 8.0	292 32.4	267 29.7	250 27.8
	京阪神圏	900 100	35 3.9	93 10.3	312 34.7	246 27.3	214 23.8
年代	20代	300 100	11 3.7	37 12.3	105 35.0	64 21.3	83 27.7
	30代	300 100	13 4.3	27 9.0	109 36.3	79 26.3	72 24.0
	40代	300 100	7 2.3	32 10.7	106 35.3	83 27.7	72 24.0
	50代	300 100	10 3.3	20 6.7	109 36.3	85 28.3	76 25.3
	60代	300 100	8 2.7	23 7.7	96 32.0	94 31.3	79 26.3
	70代以上	300 100	5 1.7	26 8.7	79 26.3	108 36.0	82 27.3

【11. 食肉加工品】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	119 6.6	332 18.4	662 36.8	371 20.6	316 17.6
地域	首都圏	900 100	55 6.1	158 17.6	314 34.9	202 22.4	171 19.0
	京阪神圏	900 100	64 7.1	174 19.3	348 38.7	169 18.8	145 16.1
年代	20代	300 100	19 6.3	54 18.0	111 37.0	49 16.3	67 22.3
	30代	300 100	28 9.3	52 17.3	118 39.3	45 15.0	57 19.0
	40代	300 100	19 6.3	56 18.7	114 38.0	60 20.0	51 17.0
	50代	300 100	21 7.0	51 17.0	126 42.0	55 18.3	47 15.7
	60代	300 100	16 5.3	66 22.0	97 32.3	74 24.7	47 15.7
	70代以上	300 100	16 5.3	53 17.7	96 32.0	88 29.3	47 15.7

【12. 乳製品】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	58 3.2	165 9.2	693 38.5	474 26.3	410 22.8
地域	首都圏	900 100	22 2.4	70 7.8	321 35.7	259 28.8	228 25.3
	京阪神圏	900 100	36 4.0	95 10.6	372 41.3	215 23.9	182 20.2
年代	20代	300 100	16 5.3	37 12.3	113 37.7	54 18.0	80 26.7
	30代	300 100	13 4.3	34 11.3	121 40.3	63 21.0	69 23.0
	40代	300 100	8 2.7	27 9.0	128 42.7	80 26.7	57 19.0
	50代	300 100	10 3.3	20 6.7	125 41.7	79 26.3	66 22.0
	60代	300 100	8 2.7	24 8.0	104 34.7	99 33.0	65 21.7
	70代以上	300 100	3 1.0	23 7.7	102 34.0	99 33.0	73 24.3

【13. 冷凍食品】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	78 4.3	240 13.3	675 37.5	422 23.4	385 21.4
地域	首都圏	900 100	39 4.3	111 12.3	312 34.7	223 24.8	215 23.9
	京阪神圏	900 100	39 4.3	129 14.3	363 40.3	199 22.1	170 18.9
年代	20代	300 100	13 4.3	47 15.7	109 36.3	54 18.0	77 25.7
	30代	300 100	22 7.3	41 13.7	128 42.7	42 14.0	67 22.3
	40代	300 100	17 5.7	33 11.0	118 39.3	75 25.0	57 19.0
	50代	300 100	11 3.7	39 13.0	117 39.0	72 24.0	61 20.3
	60代	300 100	11 3.7	39 13.0	101 33.7	88 29.3	61 20.3
	70代以上	300 100	4 1.3	41 13.7	102 34.0	91 30.3	62 20.7

【14. インスタント麺（カップ麺・袋麺等）】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	122 6.8	296 16.4	651 36.2	381 21.2	350 19.4
地域	首都圏	900 100	61 6.8	141 15.7	311 34.6	194 21.6	193 21.4
	京阪神圏	900 100	61 6.8	155 17.2	340 37.8	187 20.8	157 17.4
年代	20代	300 100	18 6.0	48 16.0	111 37.0	55 18.3	68 22.7
	30代	300 100	32 10.7	57 19.0	105 35.0	48 16.0	58 19.3
	40代	300 100	30 10.0	43 14.3	118 39.3	59 19.7	50 16.7
	50代	300 100	14 4.7	54 18.0	120 40.0	61 20.3	51 17.0
	60代	300 100	17 5.7	50 16.7	88 29.3	82 27.3	63 21.0
	70代以上	300 100	11 3.7	44 14.7	109 36.3	76 25.3	60 20.0

【15. 弁当・惣菜類】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	95 5.3	319 17.7	700 38.9	387 21.5	299 16.6
地域	首都圏	900 100	47 5.2	147 16.3	328 36.4	199 22.1	179 19.9
	京阪神圏	900 100	48 5.3	172 19.1	372 41.3	188 20.9	120 13.3
年代	20代	300 100	19 6.3	53 17.7	111 37.0	56 18.7	61 20.3
	30代	300 100	21 7.0	54 18.0	123 41.0	49 16.3	53 17.7
	40代	300 100	22 7.3	51 17.0	116 38.7	63 21.0	48 16.0
	50代	300 100	13 4.3	49 16.3	131 43.7	62 20.7	45 15.0
	60代	300 100	13 4.3	52 17.3	115 38.3	73 24.3	47 15.7
	70代以上	300 100	7 2.3	60 20.0	104 34.7	84 28.0	45 15.0

【16. ファストフード】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	133 7.4	373 20.7	643 35.7	368 20.4	283 15.7
地域	首都圏		900 100	65 7.2	186 20.7	298 33.1	195 21.7	156 17.3
	京阪神圏		900 100	68 7.6	187 20.8	345 38.3	173 19.2	127 14.1
年代	20代		300 100	19 6.3	61 20.3	94 31.3	66 22.0	60 20.0
	30代		300 100	26 8.7	64 21.3	115 38.3	44 14.7	51 17.0
	40代		300 100	30 10.0	63 21.0	110 36.7	54 18.0	43 14.3
	50代		300 100	18 6.0	59 19.7	119 39.7	61 20.3	43 14.3
	60代		300 100	26 8.7	59 19.7	97 32.3	73 24.3	45 15.0
	70代以上		300 100	14 4.7	67 22.3	108 36.0	70 23.3	41 13.7

【17. 菓子類】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	75 4.2	221 12.3	723 40.2	414 23.0	367 20.4
地域	首都圏		900 100	34 3.8	106 11.8	340 37.8	223 24.8	197 21.9
	京阪神圏		900 100	41 4.6	115 12.8	383 42.6	191 21.2	170 18.9
年代	20代		300 100	11 3.7	45 15.0	116 38.7	60 20.0	68 22.7
	30代		300 100	24 8.0	41 13.7	120 40.0	48 16.0	67 22.3
	40代		300 100	16 5.3	35 11.7	138 46.0	59 19.7	52 17.3
	50代		300 100	9 3.0	36 12.0	131 43.7	67 22.3	57 19.0
	60代		300 100	10 3.3	36 12.0	112 37.3	77 25.7	65 21.7
	70代以上		300 100	5 1.7	28 9.3	106 35.3	103 34.3	58 19.3

Q20 次にあげる食肉の安全性の問題について、あなたはどの程度関心がありますか。
それぞれの事項について、最もあてはまるものを1つお選びください。

【1. 食肉中の残留抗生物質】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	193 10.7	566 31.4	576 32.0	313 17.4	152 8.4
地域	首都圏		900 100	96 10.7	287 31.9	283 31.4	160 17.8	74 8.2
	京阪神圏		900 100	97 10.8	279 31.0	293 32.6	153 17.0	78 8.7
年代	20代		300 100	22 7.3	68 22.7	94 31.3	67 22.3	49 16.3
	30代		300 100	19 6.3	81 27.0	108 36.0	59 19.7	33 11.0
	40代		300 100	32 10.7	79 26.3	107 35.7	59 19.7	23 7.7
	50代		300 100	28 9.3	102 34.0	100 33.3	46 15.3	24 8.0
	60代		300 100	39 13.0	116 38.7	90 30.0	40 13.3	15 5.0
	70代以上		300 100	53 17.7	120 40.0	77 25.7	42 14.0	8 2.7

【2. 食肉中の残留動物薬】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	184 10.2	590 32.8	586 32.6	288 16.0	152 8.4
地域	首都圏		900 100	93 10.3	296 32.9	283 31.4	149 16.6	79 8.8
	京阪神圏		900 100	91 10.1	294 32.7	303 33.7	139 15.4	73 8.1
年代	20代		300 100	20 6.7	81 27.0	101 33.7	52 17.3	46 15.3
	30代		300 100	18 6.0	87 29.0	104 34.7	59 19.7	32 10.7
	40代		300 100	33 11.0	76 25.3	109 36.3	52 17.3	30 10.0
	50代		300 100	24 8.0	104 34.7	108 36.0	41 13.7	23 7.7
	60代		300 100	40 13.3	114 38.0	93 31.0	38 12.7	15 5.0
	70代以上		300 100	49 16.3	128 42.7	71 23.7	46 15.3	6 2.0

【3. 遺伝子組換え飼料を用いた食肉】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	225 12.5	596 33.1	572 31.8	264 14.7	143 7.9
地域	首都圏		900 100	116 12.9	287 31.9	287 31.9	139 15.4	71 7.9
	京阪神圏		900 100	109 12.1	309 34.3	285 31.7	125 13.9	72 8.0
年代	20代		300 100	25 8.3	77 25.7	106 35.3	49 16.3	43 14.3
	30代		300 100	24 8.0	87 29.0	110 36.7	47 15.7	32 10.7
	40代		300 100	33 11.0	85 28.3	105 35.0	53 17.7	24 8.0
	50代		300 100	35 11.7	107 35.7	97 32.3	39 13.0	22 7.3
	60代		300 100	48 16.0	112 37.3	83 27.7	42 14.0	15 5.0
	70代以上		300 100	60 20.0	128 42.7	71 23.7	34 11.3	7 2.3

【4. ゲノム編集飼料を用いた食肉】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	220 12.2	542 30.1	608 33.8	270 15.0	160 8.9
地域	首都圏	900 100	114 12.7	264 29.3	312 34.7	130 14.4	80 8.9
	京阪神圏	900 100	106 11.8	278 30.9	296 32.9	140 15.6	80 8.9
年代	20代	300 100	25 8.3	65 21.7	113 37.7	49 16.3	48 16.0
	30代	300 100	24 8.0	83 27.7	110 36.7	45 15.0	38 12.7
	40代	300 100	34 11.3	69 23.0	114 38.0	56 18.7	27 9.0
	50代	300 100	36 12.0	97 32.3	109 36.3	36 12.0	22 7.3
	60代	300 100	49 16.3	99 33.0	89 29.7	47 15.7	16 5.3
	70代以上	300 100	52 17.3	129 43.0	73 24.3	37 12.3	9 3.0

【5. 牛の B S E（牛海綿状脳症）】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	342 19.0	573 31.8	537 29.8	208 11.6	140 7.8
地域	首都圏	900 100	166 18.4	282 31.3	276 30.7	108 12.0	68 7.6
	京阪神圏	900 100	176 19.6	291 32.3	261 29.0	100 11.1	72 8.0
年代	20代	300 100	30 10.0	76 25.3	106 35.3	42 14.0	46 15.3
	30代	300 100	35 11.7	82 27.3	116 38.7	36 12.0	31 10.3
	40代	300 100	45 15.0	85 28.3	96 32.0	47 15.7	27 9.0
	50代	300 100	65 21.7	101 33.7	93 31.0	25 8.3	16 5.3
	60代	300 100	69 23.0	110 36.7	75 25.0	33 11.0	13 4.3
	70代以上	300 100	98 32.7	119 39.7	51 17.0	25 8.3	7 2.3

【6. 成形肉（インジェクション）】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	225 12.5	503 27.9	663 36.8	247 13.7	162 9.0
地域	首都圏	900 100	114 12.7	238 26.4	331 36.8	134 14.9	83 9.2
	京阪神圏	900 100	111 12.3	265 29.4	332 36.9	113 12.6	79 8.8
年代	20代	300 100	26 8.7	57 19.0	119 39.7	49 16.3	49 16.3
	30代	300 100	25 8.3	67 22.3	123 41.0	48 16.0	37 12.3
	40代	300 100	34 11.3	82 27.3	115 38.3	40 13.3	29 9.7
	50代	300 100	40 13.3	76 25.3	133 44.3	31 10.3	20 6.7
	60代	300 100	46 15.3	105 35.0	91 30.3	42 14.0	16 5.3
	70代以上	300 100	54 18.0	116 38.7	82 27.3	37 12.3	11 3.7

【7. 食肉の放射能汚染】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	292 16.2	550 30.6	594 33.0	226 12.6	138 7.7
地域	首都圏	900 100	136 15.1	273 30.3	299 33.2	121 13.4	71 7.9
	京阪神圏	900 100	156 17.3	277 30.8	295 32.8	105 11.7	67 7.4
年代	20代	300 100	34 11.3	70 23.3	112 37.3	43 14.3	41 13.7
	30代	300 100	29 9.7	86 28.7	117 39.0	36 12.0	32 10.7
	40代	300 100	38 12.7	82 27.3	112 37.3	44 14.7	24 8.0
	50代	300 100	53 17.7	95 31.7	100 33.3	33 11.0	19 6.3
	60代	300 100	55 18.3	112 37.3	83 27.7	37 12.3	13 4.3
	70代以上	300 100	83 27.7	105 35.0	70 23.3	33 11.0	9 3.0

【8. クローン家畜由来の食肉】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	282 15.7	560 31.1	581 32.3	234 13.0	143 7.9
地域	首都圏	900 100	142 15.8	262 29.1	301 33.4	122 13.6	73 8.1
	京阪神圏	900 100	140 15.6	298 33.1	280 31.1	112 12.4	70 7.8
年代	20代	300 100	26 8.7	68 22.7	112 37.3	51 17.0	43 14.3
	30代	300 100	25 8.3	78 26.0	114 38.0	46 15.3	37 12.3
	40代	300 100	39 13.0	87 29.0	108 36.0	44 14.7	22 7.3
	50代	300 100	55 18.3	90 30.0	104 34.7	33 11.0	18 6.0
	60代	300 100	56 18.7	113 37.7	86 28.7	29 9.7	16 5.3
	70代以上	300 100	81 27.0	124 41.3	57 19.0	31 10.3	7 2.3

【9. 牛・豚の口蹄疫】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	311 17.3	535 29.7	598 33.2	214 11.9	142 7.9
地域	首都圏	900 100	156 17.3	262 29.1	300 33.3	106 11.8	76 8.4
	京阪神圏	900 100	155 17.2	273 30.3	298 33.1	108 12.0	66 7.3
年代	20代	300 100	25 8.3	59 19.7	127 42.3	43 14.3	46 15.3
	30代	300 100	31 10.3	69 23.0	120 40.0	43 14.3	37 12.3
	40代	300 100	36 12.0	76 25.3	118 39.3	46 15.3	24 8.0
	50代	300 100	51 17.0	100 33.3	102 34.0	29 9.7	18 6.0
	60代	300 100	61 20.3	121 40.3	77 25.7	30 10.0	11 3.7
	70代以上	300 100	107 35.7	110 36.7	54 18.0	23 7.7	6 2.0

【10. 豚熱】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	286 15.9	510 28.3	635 35.3	228 12.7	141 7.8
地域	首都圏		900 100	147 16.3	257 28.6	307 34.1	117 13.0	72 8.0
	京阪神圏		900 100	139 15.4	253 28.1	328 36.4	111 12.3	69 7.7
年代	20代		300 100	30 10.0	66 22.0	109 36.3	53 17.7	42 14.0
	30代		300 100	30 10.0	64 21.3	126 42.0	43 14.3	37 12.3
	40代		300 100	33 11.0	68 22.7	133 44.3	42 14.0	24 8.0
	50代		300 100	43 14.3	88 29.3	119 39.7	32 10.7	18 6.0
	60代		300 100	54 18.0	116 38.7	84 28.0	34 11.3	12 4.0
	70代以上		300 100	96 32.0	108 36.0	64 21.3	24 8.0	8 2.7

【11. アフリカ豚熱】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	298 16.6	502 27.9	628 34.9	231 12.8	141 7.8
地域	首都圏		900 100	154 17.1	247 27.4	308 34.2	117 13.0	74 8.2
	京阪神圏		900 100	144 16.0	255 28.3	320 35.6	114 12.7	67 7.4
年代	20代		300 100	27 9.0	68 22.7	108 36.0	55 18.3	42 14.0
	30代		300 100	29 9.7	68 22.7	130 43.3	37 12.3	36 12.0
	40代		300 100	35 11.7	75 25.0	120 40.0	46 15.3	24 8.0
	50代		300 100	49 16.3	78 26.0	122 40.7	33 11.0	18 6.0
	60代		300 100	55 18.3	111 37.0	86 28.7	36 12.0	12 4.0
	70代以上		300 100	103 34.3	102 34.0	62 20.7	24 8.0	9 3.0

【12. 豚インフルエンザ】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	359 19.9	606 33.7	542 30.1	178 9.9	115 6.4
地域	首都圏		900 100	180 20.0	292 32.4	275 30.6	95 10.6	58 6.4
	京阪神圏		900 100	179 19.9	314 34.9	267 29.7	83 9.2	57 6.3
年代	20代		300 100	31 10.3	74 24.7	120 40.0	35 11.7	40 13.3
	30代		300 100	39 13.0	94 31.3	105 35.0	33 11.0	29 9.7
	40代		300 100	42 14.0	93 31.0	108 36.0	37 12.3	20 6.7
	50代		300 100	67 22.3	94 31.3	97 32.3	28 9.3	14 4.7
	60代		300 100	72 24.0	127 42.3	68 22.7	25 8.3	8 2.7
	70代以上		300 100	108 36.0	124 41.3	44 14.7	20 6.7	4 1.3

【13. 鳥インフルエンザ】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	399 22.2	636 35.3	493 27.4	169 9.4	103 5.7
地域	首都圏	900 100	203 22.6	301 33.4	253 28.1	94 10.4	49 5.4
	京阪神圏	900 100	196 21.8	335 37.2	240 26.7	75 8.3	54 6.0
年代	20代	300 100	36 12.0	85 28.3	99 33.0	46 15.3	34 11.3
	30代	300 100	44 14.7	100 33.3	99 33.0	31 10.3	26 8.7
	40代	300 100	46 15.3	101 33.7	106 35.3	30 10.0	17 5.7
	50代	300 100	72 24.0	106 35.3	85 28.3	24 8.0	13 4.3
	60代	300 100	81 27.0	129 43.0	60 20.0	22 7.3	8 2.7
	70代以上	300 100	120 40.0	115 38.3	44 14.7	16 5.3	5 1.7

【14. 食肉中の食中毒菌
(サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など) の汚染】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	439 24.4	598 33.2	510 28.3	145 8.1	108 6.0
地域	首都圏	900 100	222 24.7	296 32.9	259 28.8	71 7.9	52 5.8
	京阪神圏	900 100	217 24.1	302 33.6	251 27.9	74 8.2	56 6.2
年代	20代	300 100	43 14.3	88 29.3	99 33.0	29 9.7	41 13.7
	30代	300 100	48 16.0	96 32.0	111 37.0	23 7.7	22 7.3
	40代	300 100	57 19.0	91 30.3	101 33.7	36 12.0	15 5.0
	50代	300 100	79 26.3	99 33.0	89 29.7	20 6.7	13 4.3
	60代	300 100	89 29.7	118 39.3	64 21.3	17 5.7	12 4.0
	70代以上	300 100	123 41.0	106 35.3	46 15.3	20 6.7	5 1.7

【15. 食肉の生食】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	362 20.1	520 28.9	538 29.9	201 11.2	179 9.9
地域	首都圏	900 100	171 19.0	261 29.0	264 29.3	111 12.3	93 10.3
	京阪神圏	900 100	191 21.2	259 28.8	274 30.4	90 10.0	86 9.6
年代	20代	300 100	39 13.0	90 30.0	94 31.3	41 13.7	36 12.0
	30代	300 100	50 16.7	80 26.7	106 35.3	29 9.7	35 11.7
	40代	300 100	47 15.7	86 28.7	103 34.3	39 13.0	25 8.3
	50代	300 100	62 20.7	91 30.3	92 30.7	28 9.3	27 9.0
	60代	300 100	68 22.7	82 27.3	88 29.3	36 12.0	26 8.7
	70代以上	300 100	96 32.0	91 30.3	55 18.3	28 9.3	30 10.0

【16. 食肉の産地偽装】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	431 23.9	577 32.1	524 29.1	149 8.3	119 6.6
地域	首都圏	900 100	210 23.3	286 31.8	268 29.8	77 8.6	59 6.6
	京阪神圏	900 100	221 24.6	291 32.3	256 28.4	72 8.0	60 6.7
年代	20代	300 100	33 11.0	81 27.0	107 35.7	42 14.0	37 12.3
	30代	300 100	44 14.7	86 28.7	113 37.7	27 9.0	30 10.0
	40代	300 100	59 19.7	85 28.3	102 34.0	35 11.7	19 6.3
	50代	300 100	71 23.7	109 36.3	91 30.3	14 4.7	15 5.0
	60代	300 100	96 32.0	107 35.7	70 23.3	16 5.3	11 3.7
	70代以上	300 100	128 42.7	109 36.3	41 13.7	15 5.0	7 2.3

【17. 食肉の消費期限改ざん】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	444 24.7	587 32.6	498 27.7	159 8.8	112 6.2
地域	首都圏	900 100	214 23.8	294 32.7	250 27.8	88 9.8	54 6.0
	京阪神圏	900 100	230 25.6	293 32.6	248 27.6	71 7.9	58 6.4
年代	20代	300 100	35 11.7	87 29.0	104 34.7	37 12.3	37 12.3
	30代	300 100	56 18.7	78 26.0	108 36.0	32 10.7	26 8.7
	40代	300 100	56 18.7	101 33.7	88 29.3	39 13.0	16 5.3
	50代	300 100	78 26.0	94 31.3	95 31.7	17 5.7	16 5.3
	60代	300 100	96 32.0	111 37.0	63 21.0	19 6.3	11 3.7
	70代以上	300 100	123 41.0	116 38.7	40 13.3	15 5.0	6 2.0

【18. 牛肉・豚肉の発がん性】

度数 横%		全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体		1800 100	386 21.4	560 31.1	548 30.4	191 10.6	115 6.4
地域	首都圏	900 100	189 21.0	273 30.3	280 31.1	102 11.3	56 6.2
	京阪神圏	900 100	197 21.9	287 31.9	268 29.8	89 9.9	59 6.6
年代	20代	300 100	32 10.7	71 23.7	116 38.7	45 15.0	36 12.0
	30代	300 100	40 13.3	87 29.0	107 35.7	38 12.7	28 9.3
	40代	300 100	52 17.3	93 31.0	102 34.0	39 13.0	14 4.7
	50代	300 100	63 21.0	97 32.3	95 31.7	28 9.3	17 5.7
	60代	300 100	83 27.7	108 36.0	77 25.7	19 6.3	13 4.3
	70代以上	300 100	116 38.7	104 34.7	51 17.0	22 7.3	7 2.3

【19. 豚肉加工品（ハム・ソーセージ）の発がん性】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	412 22.9	559 31.1	546 30.3	180 10.0	103 5.7
地域	首都圏		900 100	205 22.8	273 30.3	273 30.3	98 10.9	51 5.7
	京阪神圏		900 100	207 23.0	286 31.8	273 30.3	82 9.1	52 5.8
年代	20代		300 100	37 12.3	73 24.3	119 39.7	39 13.0	32 10.7
	30代		300 100	52 17.3	73 24.3	110 36.7	38 12.7	27 9.0
	40代		300 100	56 18.7	86 28.7	107 35.7	37 12.3	14 4.7
	50代		300 100	65 21.7	107 35.7	90 30.0	24 8.0	14 4.7
	60代		300 100	85 28.3	115 38.3	69 23.0	21 7.0	10 3.3
	70代以上		300 100	117 39.0	105 35.0	51 17.0	21 7.0	6 2.0

Q21 では、次にあげる食肉の安全性の問題について、あなたはどの程度不安を感じますか。不安を感じるものを3つまでお選びください。

	度数 横%	全 体	食肉中の 残留抗生物質	食肉中の 残留動物薬	遺伝子組換え飼 料を用いた食肉	ゲノム編集飼料を 用いた食肉	牛のBSE (牛海绵状脳症)	成形肉 (インジェクション)	食肉の 放射能汚染
全 体		1800 100	334 18.6	214 11.9	258 14.3	163 9.1	395 21.9	99 5.5	187 10.4
地域	首都圏	900 100	165 18.3	108 12.0	132 14.7	71 7.9	192 21.3	37 4.1	91 10.1
	京阪神圏	900 100	169 18.8	106 11.8	126 14.0	92 10.2	203 22.6	62 6.9	96 10.7
年代	20代	300 100	32 10.7	29 9.7	31 10.3	21 7.0	37 12.3	17 5.7	25 8.3
	30代	300 100	44 14.7	28 9.3	34 11.3	24 8.0	42 14.0	16 5.3	33 11.0
	40代	300 100	47 15.7	26 8.7	39 13.0	26 8.7	54 18.0	21 7.0	18 6.0
	50代	300 100	58 19.3	39 13.0	43 14.3	27 9.0	75 25.0	18 6.0	31 10.3
	60代	300 100	62 20.7	38 12.7	50 16.7	29 9.7	87 29.0	13 4.3	37 12.3
	70代以上	300 100	91 30.3	54 18.0	61 20.3	36 12.0	100 33.3	14 4.7	43 14.3

	度数 横%	全 体	クローン家畜 由来の食肉	牛・豚の口蹄疫	豚熱	アフリカ豚熱	豚インフルエンザ	鳥インフルエンザ	食肉中の食中毒 菌の汚染*
全 体		1800 100	163 9.1	141 7.8	48 2.7	38 2.1	181 10.1	353 19.6	401 22.3
地域	首都圏	900 100	81 9.0	70 7.8	29 3.2	16 1.8	84 9.3	173 19.2	217 24.1
	京阪神圏	900 100	82 9.1	71 7.9	19 2.1	22 2.4	97 10.8	180 20.0	184 20.4
年代	20代	300 100	20 6.7	12 4.0	10 3.3	2 0.7	28 9.3	44 14.7	60 20.0
	30代	300 100	23 7.7	15 5.0	12 4.0	8 2.7	33 11.0	54 18.0	64 21.3
	40代	300 100	30 10.0	19 6.3	7 2.3	7 2.3	28 9.3	57 19.0	69 23.0
	50代	300 100	31 10.3	20 6.7	7 2.3	5 1.7	32 10.7	61 20.3	69 23.0
	60代	300 100	36 12.0	31 10.3	7 2.3	5 1.7	30 10.0	69 23.0	84 28.0
	70代以上	300 100	23 7.7	44 14.7	5 1.7	11 3.7	30 10.0	68 22.7	55 18.3

	度数 横%	全 体	食肉の生食	食肉の産地偽装	食肉の消費 期限改ざん	牛肉・豚肉の 発がん性	豚肉加工品 (ハム・ソーセージ) の発がん性	不安に感じる ものはない
全 体		1800 100	163 9.1	183 10.2	243 13.5	175 9.7	293 16.3	303 16.8
地域	首都圏	900 100	79 8.8	89 9.9	136 15.1	87 9.7	159 17.7	154 17.1
	京阪神圏	900 100	84 9.3	94 10.4	107 11.9	88 9.8	134 14.9	149 16.6
年代	20代	300 100	26 8.7	21 7.0	36 12.0	22 7.3	39 13.0	94 31.3
	30代	300 100	27 9.0	22 7.3	42 14.0	35 11.7	58 19.3	64 21.3
	40代	300 100	24 8.0	32 10.7	48 16.0	38 12.7	52 17.3	55 18.3
	50代	300 100	29 9.7	31 10.3	38 12.7	25 8.3	49 16.3	44 14.7
	60代	300 100	25 8.3	34 11.3	41 13.7	27 9.0	59 19.7	23 7.7
	70代以上	300 100	32 10.7	43 14.3	38 12.7	28 9.3	36 12.0	23 7.7

* 食肉中の食中毒菌(サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など)の汚染

Q22 「家畜伝染病」についてお伺いします。

悪性の家畜伝染病である口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、鳥インフルエンザなどは、感染力が強く、有効な予防法と治療法がないことから、発生した場合、他の農場へのまん延防止をはかるため、感染した牛や豚や鶏を殺処分することが法律に定められています。あなたは、このこと（家畜伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに全頭殺処分すること）をどの程度ご存じですか。最も近いものを1つだけお選びください。

		度数 横%	全 体	詳しく 知っている	ある程度 知っている	何となく 知っている	あまりよく 知らない	知らない	全く知らない
全 体			1800 100	60 3.3	468 26.0	575 31.9	366 20.3	126 7.0	205 11.4
地域	首都圏		900 100	29 3.2	245 27.2	281 31.2	175 19.4	65 7.2	105 11.7
	京阪神圏		900 100	31 3.4	223 24.8	294 32.7	191 21.2	61 6.8	100 11.1
年代	20代		300 100	17 5.7	56 18.7	71 23.7	63 21.0	27 9.0	66 22.0
	30代		300 100	12 4.0	52 17.3	98 32.7	57 19.0	25 8.3	56 18.7
	40代		300 100	9 3.0	58 19.3	101 33.7	77 25.7	20 6.7	35 11.7
	50代		300 100	7 2.3	65 21.7	114 38.0	66 22.0	20 6.7	28 9.3
	60代		300 100	4 1.3	107 35.7	102 34.0	58 19.3	17 5.7	12 4.0
	70代以上		300 100	11 3.7	130 43.3	89 29.7	45 15.0	17 5.7	8 2.7

Q23 口蹄疫について知っている事柄が下記の中にありますか。あてはまるものを全てお選びください。

※家畜伝染病である「口蹄疫」は、アジア地域で発生が拡大し、対象家畜に対する伝染力が強いため、法律によって、この伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに殺処分することとされています。

度数横%		全 体	口蹄疫は、牛や豚などの病気であり、人に感染することはない	口蹄疫は、防疫措置が講じられているので感染牛・豚の肉が市場に出回ることはない	日本では、この10年間は、口蹄疫が発生していない	アジアなど日本の周辺国では、口蹄疫が引き続き発生している	仮に口蹄疫にかかった牛や豚の肉等を食べても人体に影響はない	その他	知っているものはない
全 体		1800 100	363 20.2	371 20.6	223 12.4	253 14.1	136 7.6	0 0.0	1018 56.6
地域	首都圏	900 100	186 20.7	196 21.8	112 12.4	133 14.8	77 8.6	0 0.0	497 55.2
	京阪神圏	900 100	177 19.7	175 19.4	111 12.3	120 13.3	59 6.6	0 0.0	521 57.9
年代	20代	300 100	29 9.7	43 14.3	26 8.7	41 13.7	17 5.7	0 0.0	197 65.7
	30代	300 100	39 13.0	53 17.7	27 9.0	39 13.0	17 5.7	0 0.0	196 65.3
	40代	300 100	53 17.7	41 13.7	33 11.0	41 13.7	15 5.0	0 0.0	186 62.0
	50代	300 100	65 21.7	53 17.7	40 13.3	30 10.0	22 7.3	0 0.0	172 57.3
	60代	300 100	89 29.7	84 28.0	46 15.3	49 16.3	31 10.3	0 0.0	137 45.7
	70代以上	300 100	88 29.3	97 32.3	51 17.0	53 17.7	34 11.3	0 0.0	130 43.3

Q24 豚熱について知っている事柄が下記の中にありますか。あてはまるものを全てお選びください。

※家畜伝染病である「豚熱」は、アジア地域で発生が拡大し、対象家畜に対する伝染力が強いため、法律によって、この伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに殺処分することとされています。

度数横%		全 体	豚熱は、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない	豚熱は、防疫措置が講じられているので感染豚の肉が市場に出回ることはない	仮に豚熱にかかった豚の肉等を食べても人体に影響はない	豚熱のワクチンを接種した豚の肉等を食べても人体に影響はない	豚熱の予防ワクチンはあるが、有効な治療法は今のところはない	その他	知っているものはない
全 体		1800 100	306 17.0	292 16.2	176 9.8	138 7.7	130 7.2	0 0.0	1170 65.0
地域	首都圏	900 100	153 17.0	157 17.4	86 9.6	73 8.1	79 8.8	0 0.0	580 64.4
	京阪神圏	900 100	153 17.0	135 15.0	90 10.0	65 7.2	51 5.7	0 0.0	590 65.6
年代	20代	300 100	26 8.7	44 14.7	27 9.0	29 9.7	16 5.3	0 0.0	200 66.7
	30代	300 100	38 12.7	48 16.0	24 8.0	23 7.7	18 6.0	0 0.0	204 68.0
	40代	300 100	51 17.0	43 14.3	22 7.3	20 6.7	23 7.7	0 0.0	201 67.0
	50代	300 100	55 18.3	35 11.7	34 11.3	21 7.0	14 4.7	0 0.0	203 67.7
	60代	300 100	72 24.0	55 18.3	33 11.0	27 9.0	26 8.7	0 0.0	181 60.3
	70代以上	300 100	64 21.3	67 22.3	36 12.0	18 6.0	33 11.0	0 0.0	181 60.3

Q25 アフリカ豚熱について知っている事柄が下記の中にありますか。あてはまるものを全てお選びください。

※家畜伝染病である「アフリカ豚熱」は、アジア地域で発生が拡大し、対象家畜に対する伝染力が強いと、法律によって、この伝染病に感染したか感染したおそれのある家畜を直ちに殺処分することとされています。

度数 横%		全 体	アフリカ豚熱は、 豚やイノシシの 病気であり、人 に感染すること はない	アフリカ豚熱は、 日本ではこれま で発生が確認 されて いない	仮にアフリカ 豚熱にかかった 豚の肉等を食 べても人体に 影響はない	アフリカ豚熱は、 豚熱とは全く別 の病気で ある	アフリカ豚熱に 有効なワクチン や治療法は今 のところない	その他	知っている ものはない
全 体		1800 100	194 10.8	204 11.3	118 6.6	93 5.2	86 4.8	0 0.0	1357 75.4
地域	首都圏	900 100	101 11.2	103 11.4	59 6.6	59 6.6	53 5.9	0 0.0	676 75.1
	京阪神圏	900 100	93 10.3	101 11.2	59 6.6	34 3.8	33 3.7	0 0.0	681 75.7
年代	20代	300 100	28 9.3	42 14.0	26 8.7	15 5.0	12 4.0	0 0.0	214 71.3
	30代	300 100	27 9.0	33 11.0	22 7.3	13 4.3	10 3.3	0 0.0	227 75.7
	40代	300 100	30 10.0	24 8.0	16 5.3	20 6.7	9 3.0	0 0.0	241 80.3
	50代	300 100	35 11.7	33 11.0	18 6.0	13 4.3	11 3.7	0 0.0	226 75.3
	60代	300 100	38 12.7	34 11.3	20 6.7	17 5.7	17 5.7	0 0.0	227 75.7
	70代以上	300 100	36 12.0	38 12.7	16 5.3	15 5.0	27 9.0	0 0.0	222 74.0

Q26 鳥インフルエンザについて知っている事柄が下記の中にありますか。あてはまるものを全てお選びください。

※家畜伝染病である「高病原性鳥インフルエンザ」は、世界中で発生が確認され、家きん（鶏など）に対する伝染力が強いと、法律によって、この伝染病に感染したか感染したおそれのある家きんを直ちに殺処分することとされています。

度数 横%		全 体	これまで鶏肉や鶏卵 を食べた人に感染し た例はない	鳥インフルエンザウ イルスに付着した鶏肉 や鶏卵を食べても人 に感染することはない	市場に出荷される鶏 肉、鶏卵には鳥イン フルエンザウイルスの付 着を防ぐ安全のため の措置がとられている	その他	知っている ものはない
全 体		1800 100	396 22.0	372 20.7	412 22.9	1 0.1	952 52.9
地域	首都圏	900 100	199 22.1	172 19.1	212 23.6	1 0.1	486 54.0
	京阪神圏	900 100	197 21.9	200 22.2	200 22.2	0 0.0	466 51.8
年代	20代	300 100	38 12.7	55 18.3	57 19.0	0 0.0	182 60.7
	30代	300 100	48 16.0	54 18.0	62 20.7	0 0.0	175 58.3
	40代	300 100	55 18.3	59 19.7	57 19.0	1 0.3	176 58.7
	50代	300 100	81 27.0	59 19.7	52 17.3	0 0.0	158 52.7
	60代	300 100	84 28.0	73 24.3	85 28.3	0 0.0	136 45.3
	70代以上	300 100	90 30.0	72 24.0	99 33.0	0 0.0	125 41.7

Q27 あなたは、個々の問題はあるにしても全体的にみれば、食肉の安全性は高まっていると思いますか、低下していると思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

度数 横%		全 体	高まっている	どちらかといえば 高まっている	わからない	どちらかといえば 低下している	低下している
全 体		1800 100	94 5.2	449 24.9	1050 58.3	144 8.0	63 3.5
地域	首都圏	900 100	49 5.4	208 23.1	534 59.3	82 9.1	27 3.0
	京阪神圏	900 100	45 5.0	241 26.8	516 57.3	62 6.9	36 4.0
年代	20代	300 100	22 7.3	75 25.0	161 53.7	26 8.7	16 5.3
	30代	300 100	12 4.0	70 23.3	169 56.3	30 10.0	19 6.3
	40代	300 100	13 4.3	76 25.3	184 61.3	18 6.0	9 3.0
	50代	300 100	16 5.3	63 21.0	199 66.3	16 5.3	6 2.0
	60代	300 100	14 4.7	77 25.7	173 57.7	27 9.0	9 3.0
	70代以上	300 100	17 5.7	88 29.3	164 54.7	27 9.0	4 1.3

Q28 現在、あなたが食肉の情報を得るために用いている主な情報源（上位3つ）をそれぞれについてお選びください。

(1) 食肉の安全性について

	度数 横%	全 体	テレビのニュース ・報道番組	テレビのワイド ショー・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット上 のニュースサイト
全 体		1800 100	1395 77.5	587 32.6	60 3.3	364 20.2	42 2.3	533 29.6
地域	首都圏	900 100	701 77.9	299 33.2	29 3.2	188 20.9	24 2.7	283 31.4
	京阪神圏	900 100	694 77.1	288 32.0	31 3.4	176 19.6	18 2.0	250 27.8
年代	20代	300 100	188 62.7	71 23.7	10 3.3	17 5.7	8 2.7	78 26.0
	30代	300 100	215 71.7	91 30.3	7 2.3	15 5.0	6 2.0	91 30.3
	40代	300 100	228 76.0	89 29.7	4 1.3	40 13.3	10 3.3	115 38.3
	50代	300 100	244 81.3	105 35.0	13 4.3	59 19.7	7 2.3	87 29.0
	60代	300 100	261 87.0	120 40.0	13 4.3	85 28.3	5 1.7	90 30.0
	70代以上	300 100	259 86.3	111 37.0	13 4.3	148 49.3	6 2.0	72 24.0

	度数 横%	全 体	インターネット上の コミュニティサイト (SNS等)	個人のブログ	行政（国、 地方自治体）	公的な研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・小売店
全 体		1800 100	114 6.3	23 1.3	79 4.4	41 2.3	55 3.1	121 6.7
地域	首都圏	900 100	55 6.1	7 0.8	43 4.8	18 2.0	23 2.6	58 6.4
	京阪神圏	900 100	59 6.6	16 1.8	36 4.0	23 2.6	32 3.6	63 7.0
年代	20代	300 100	42 14.0	4 1.3	19 6.3	9 3.0	10 3.3	17 5.7
	30代	300 100	34 11.3	8 2.7	4 1.3	6 2.0	9 3.0	15 5.0
	40代	300 100	16 5.3	5 1.7	5 1.7	5 1.7	10 3.3	24 8.0
	50代	300 100	9 3.0	1 0.3	11 3.7	9 3.0	4 1.3	23 7.7
	60代	300 100	12 4.0	3 1.0	10 3.3	3 1.0	9 3.0	20 6.7
	70代以上	300 100	1 0.3	2 0.7	30 10.0	9 3.0	13 4.3	22 7.3

	度数 横%	全 体	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他
全 体		1800 100	40 2.2	11 0.6	20 1.1	145 8.1	16 0.9
地域	首都圏	900 100	20 2.2	6 0.7	12 1.3	60 6.7	10 1.1
	京阪神圏	900 100	20 2.2	5 0.6	8 0.9	85 9.4	6 0.7
年代	20代	300 100	1 0.3	5 1.7	3 1.0	38 12.7	2 0.7
	30代	300 100	6 2.0	3 1.0	3 1.0	27 9.0	3 1.0
	40代	300 100	7 2.3	1 0.3	0 0.0	22 7.3	3 1.0
	50代	300 100	5 1.7	2 0.7	2 0.7	20 6.7	4 1.3
	60代	300 100	10 3.3	0 0.0	8 2.7	17 5.7	1 0.3
	70代以上	300 100	11 3.7	0 0.0	4 1.3	21 7.0	3 1.0

(2) 食肉の栄養や機能について

度数 横%		全 体	テレビのニュース ・報道番組	テレビのワイド ショー・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット上 のニュースサイト
全 体		1800 100	1139 63.3	513 28.5	45 2.5	296 16.4	48 2.7	477 26.5
地域	首都圏	900 100	570 63.3	265 29.4	24 2.7	154 17.1	26 2.9	265 29.4
	京阪神圏	900 100	569 63.2	248 27.6	21 2.3	142 15.8	22 2.4	212 23.6
年代	20代	300 100	156 52.0	59 19.7	8 2.7	11 3.7	10 3.3	71 23.7
	30代	300 100	189 63.0	80 26.7	4 1.3	14 4.7	9 3.0	83 27.7
	40代	300 100	182 60.7	72 24.0	6 2.0	26 8.7	8 2.7	97 32.3
	50代	300 100	208 69.3	81 27.0	11 3.7	45 15.0	5 1.7	79 26.3
	60代	300 100	207 69.0	115 38.3	10 3.3	77 25.7	6 2.0	85 28.3
	70代以上	300 100	197 65.7	106 35.3	6 2.0	123 41.0	10 3.3	62 20.7

度数 横%		全 体	インターネット上の コミュニティサイト (SNS等)	個人のブログ	行政(国、 地方自治体)	公的な研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・小売店
全 体		1800 100	124 6.9	28 1.6	65 3.6	52 2.9	72 4.0	134 7.4
地域	首都圏	900 100	60 6.7	10 1.1	32 3.6	25 2.8	35 3.9	65 7.2
	京阪神圏	900 100	64 7.1	18 2.0	33 3.7	27 3.0	37 4.1	69 7.7
年代	20代	300 100	40 13.3	3 1.0	17 5.7	11 3.7	9 3.0	25 8.3
	30代	300 100	36 12.0	7 2.3	6 2.0	3 1.0	7 2.3	14 4.7
	40代	300 100	19 6.3	11 3.7	6 2.0	5 1.7	14 4.7	33 11.0
	50代	300 100	12 4.0	2 0.7	13 4.3	8 2.7	7 2.3	23 7.7
	60代	300 100	14 4.7	3 1.0	5 1.7	6 2.0	15 5.0	16 5.3
	70代以上	300 100	3 1.0	2 0.7	18 6.0	19 6.3	20 6.7	23 7.7

度数 横%		全 体	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他
全 体		1800 100	38 2.1	14 0.8	15 0.8	155 8.6	23 1.3
地域	首都圏	900 100	20 2.2	7 0.8	9 1.0	69 7.7	14 1.6
	京阪神圏	900 100	18 2.0	7 0.8	6 0.7	86 9.6	9 1.0
年代	20代	300 100	1 0.3	6 2.0	2 0.7	41 13.7	3 1.0
	30代	300 100	3 1.0	4 1.3	4 1.3	28 9.3	3 1.0
	40代	300 100	3 1.0	2 0.7	1 0.3	25 8.3	5 1.7
	50代	300 100	5 1.7	2 0.7	1 0.3	19 6.3	5 1.7
	60代	300 100	9 3.0	0 0.0	5 1.7	18 6.0	3 1.0
	70代以上	300 100	17 5.7	0 0.0	2 0.7	24 8.0	4 1.3

Q29 では、あなたが信頼できる情報源（上位3つ）をそれぞれについてお選びください。

(1) 食肉の安全性について

	度数 横%	全 体	テレビのニュース ・報道番組	テレビのワイド ショー・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット上 のニュースサイト
		全 体	1800 100	1200 66.7	470 26.1	59 3.3	398 22.1	43 2.4
地域	首都圏	900 100	596 66.2	238 26.4	31 3.4	201 22.3	22 2.4	198 22.0
	京阪神圏	900 100	604 67.1	232 25.8	28 3.1	197 21.9	21 2.3	179 19.9
年代	20代	300 100	155 51.7	65 21.7	13 4.3	24 8.0	7 2.3	54 18.0
	30代	300 100	185 61.7	78 26.0	5 1.7	21 7.0	9 3.0	63 21.0
	40代	300 100	187 62.3	63 21.0	4 1.3	48 16.0	10 3.3	83 27.7
	50代	300 100	210 70.0	81 27.0	12 4.0	66 22.0	6 2.0	62 20.7
	60代	300 100	226 75.3	89 29.7	10 3.3	95 31.7	5 1.7	70 23.3
	70代以上	300 100	237 79.0	94 31.3	15 5.0	144 48.0	6 2.0	45 15.0

	度数 横%	全 体	インターネット上の コミュニティサイト (SNS等)	個人のブログ	行政（国、 地方自治体）	公的な研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・小売店
		全 体	1800 100	88 4.9	20 1.1	195 10.8	203 11.3	76 4.2
地域	首都圏	900 100	45 5.0	7 0.8	100 11.1	107 11.9	41 4.6	46 5.1
	京阪神圏	900 100	43 4.8	13 1.4	95 10.6	96 10.7	35 3.9	44 4.9
年代	20代	300 100	29 9.7	7 2.3	29 9.7	27 9.0	15 5.0	13 4.3
	30代	300 100	28 9.3	3 1.0	21 7.0	26 8.7	18 6.0	16 5.3
	40代	300 100	14 4.7	4 1.3	22 7.3	27 9.0	13 4.3	18 6.0
	50代	300 100	5 1.7	1 0.3	31 10.3	38 12.7	10 3.3	19 6.3
	60代	300 100	11 3.7	4 1.3	36 12.0	31 10.3	14 4.7	14 4.7
	70代以上	300 100	1 0.3	1 0.3	56 18.7	54 18.0	6 2.0	10 3.3

	度数 横%	全 体	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他	上記の中に信頼で きる情報源はない
		全 体	1800 100	50 2.8	27 1.5	51 2.8	103 5.7	4 0.2
地域	首都圏	900 100	27 3.0	9 1.0	32 3.6	44 4.9	3 0.3	79 8.8
	京阪神圏	900 100	23 2.6	18 2.0	19 2.1	59 6.6	1 0.1	86 9.6
年代	20代	300 100	7 2.3	4 1.3	10 3.3	27 9.0	1 0.3	36 12.0
	30代	300 100	6 2.0	5 1.7	7 2.3	17 5.7	0 0.0	36 12.0
	40代	300 100	5 1.7	3 1.0	4 1.3	17 5.7	3 1.0	33 11.0
	50代	300 100	6 2.0	7 2.3	5 1.7	17 5.7	0 0.0	25 8.3
	60代	300 100	14 4.7	3 1.0	10 3.3	10 3.3	0 0.0	18 6.0
	70代以上	300 100	12 4.0	5 1.7	15 5.0	15 5.0	0 0.0	17 5.7

(2) 食肉の栄養や機能について

		度数 横%	全 体	テレビのニュース ・報道番組	テレビのワイド ショー・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット上 のニュースサイト
全 体			1800 100	1071 59.5	430 23.9	53 2.9	337 18.7	38 2.1	345 19.2
地域	首都圏		900 100	519 57.7	222 24.7	27 3.0	176 19.6	22 2.4	177 19.7
	京阪神圏		900 100	552 61.3	208 23.1	26 2.9	161 17.9	16 1.8	168 18.7
年代	20代		300 100	143 47.7	50 16.7	10 3.3	18 6.0	8 2.7	46 15.3
	30代		300 100	172 57.3	70 23.3	6 2.0	22 7.3	2 0.7	63 21.0
	40代		300 100	166 55.3	60 20.0	6 2.0	37 12.3	10 3.3	79 26.3
	50代		300 100	190 63.3	69 23.0	11 3.7	54 18.0	3 1.0	57 19.0
	60代		300 100	196 65.3	91 30.3	10 3.3	82 27.3	7 2.3	57 19.0
	70代以上		300 100	204 68.0	90 30.0	10 3.3	124 41.3	8 2.7	43 14.3

		度数 横%	全 体	インターネット上の コミュニティサイト (SNS等)	個人のブログ	行政(国、 地方自治体)	公的な研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・小売店
全 体			1800 100	93 5.2	24 1.3	176 9.8	205 11.4	86 4.8	97 5.4
地域	首都圏		900 100	50 5.6	11 1.2	89 9.9	106 11.8	50 5.6	49 5.4
	京阪神圏		900 100	43 4.8	13 1.4	87 9.7	99 11.0	36 4.0	48 5.3
年代	20代		300 100	30 10.0	6 2.0	28 9.3	30 10.0	15 5.0	17 5.7
	30代		300 100	24 8.0	6 2.0	19 6.3	22 7.3	17 5.7	17 5.7
	40代		300 100	16 5.3	5 1.7	19 6.3	25 8.3	13 4.3	19 6.3
	50代		300 100	8 2.7	2 0.7	27 9.0	37 12.3	12 4.0	18 6.0
	60代		300 100	9 3.0	4 1.3	35 11.7	35 11.7	17 5.7	13 4.3
	70代以上		300 100	6 2.0	1 0.3	48 16.0	56 18.7	12 4.0	13 4.3

		度数 横%	全 体	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他	上記の中に信頼で きる情報源はない
全 体			1800 100	62 3.4	32 1.8	50 2.8	105 5.8	5 0.3	166 9.2
地域	首都圏		900 100	30 3.3	13 1.4	31 3.4	46 5.1	3 0.3	80 8.9
	京阪神圏		900 100	32 3.6	19 2.1	19 2.1	59 6.6	2 0.2	86 9.6
年代	20代		300 100	9 3.0	6 2.0	10 3.3	26 8.7	1 0.3	37 12.3
	30代		300 100	5 1.7	6 2.0	8 2.7	17 5.7	0 0.0	36 12.0
	40代		300 100	5 1.7	4 1.3	4 1.3	17 5.7	3 1.0	34 11.3
	50代		300 100	6 2.0	7 2.3	8 2.7	18 6.0	1 0.3	24 8.0
	60代		300 100	19 6.3	3 1.0	7 2.3	12 4.0	0 0.0	18 6.0
	70代以上		300 100	18 6.0	6 2.0	13 4.3	15 5.0	0 0.0	17 5.7

Q30 あなたは、次の各機関や事業者などが行っている食肉の安全性を確保するために
行っている取組についてどの程度信頼できますか。それぞれの事項について、あなた
の考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 農林水産省】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	158 8.8	569 31.6	604 33.6	146 8.1	102 5.7	221 12.3
地域	首都圏	900 100	86 9.6	296 32.9	299 33.2	69 7.7	48 5.3	102 11.3
	京阪神圏	900 100	72 8.0	273 30.3	305 33.9	77 8.6	54 6.0	119 13.2
年代	20代	300 100	38 12.7	77 25.7	88 29.3	26 8.7	13 4.3	58 19.3
	30代	300 100	33 11.0	74 24.7	104 34.7	20 6.7	21 7.0	48 16.0
	40代	300 100	18 6.0	100 33.3	103 34.3	23 7.7	18 6.0	38 12.7
	50代	300 100	21 7.0	95 31.7	114 38.0	21 7.0	16 5.3	33 11.0
	60代	300 100	20 6.7	107 35.7	99 33.0	28 9.3	20 6.7	26 8.7
	70代以上	300 100	28 9.3	116 38.7	96 32.0	28 9.3	14 4.7	18 6.0

【2. 厚生労働省】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	136 7.6	483 26.8	652 36.2	177 9.8	111 6.2	241 13.4
地域	首都圏	900 100	72 8.0	249 27.7	335 37.2	84 9.3	50 5.6	110 12.2
	京阪神圏	900 100	64 7.1	234 26.0	317 35.2	93 10.3	61 6.8	131 14.6
年代	20代	300 100	33 11.0	74 24.7	102 34.0	25 8.3	7 2.3	59 19.7
	30代	300 100	31 10.3	65 21.7	105 35.0	29 9.7	19 6.3	51 17.0
	40代	300 100	12 4.0	78 26.0	117 39.0	23 7.7	25 8.3	45 15.0
	50代	300 100	20 6.7	77 25.7	127 42.3	24 8.0	19 6.3	33 11.0
	60代	300 100	15 5.0	91 30.3	106 35.3	36 12.0	21 7.0	31 10.3
	70代以上	300 100	25 8.3	98 32.7	95 31.7	40 13.3	20 6.7	22 7.3

【3. 地方自治体】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	101 5.6	550 30.6	688 38.2	133 7.4	83 4.6	245 13.6
地域	首都圏	900 100	54 6.0	290 32.2	339 37.7	63 7.0	39 4.3	115 12.8
	京阪神圏	900 100	47 5.2	260 28.9	349 38.8	70 7.8	44 4.9	130 14.4
年代	20代	300 100	21 7.0	81 27.0	96 32.0	29 9.7	12 4.0	61 20.3
	30代	300 100	19 6.3	71 23.7	115 38.3	30 10.0	17 5.7	48 16.0
	40代	300 100	15 5.0	91 30.3	119 39.7	16 5.3	15 5.0	44 14.7
	50代	300 100	13 4.3	88 29.3	133 44.3	18 6.0	15 5.0	33 11.0
	60代	300 100	17 5.7	97 32.3	120 40.0	17 5.7	15 5.0	34 11.3
	70代以上	300 100	16 5.3	122 40.7	105 35.0	23 7.7	9 3.0	25 8.3

【4. 畜産農家】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	105 5.8	523 29.1	758 42.1	139 7.7	64 3.6	211 11.7
地域	首都圏	900 100	61 6.8	284 31.6	369 41.0	56 6.2	27 3.0	103 11.4
	京阪神圏	900 100	44 4.9	239 26.6	389 43.2	83 9.2	37 4.1	108 12.0
年代	20代	300 100	24 8.0	80 26.7	107 35.7	21 7.0	10 3.3	58 19.3
	30代	300 100	21 7.0	72 24.0	122 40.7	27 9.0	13 4.3	45 15.0
	40代	300 100	15 5.0	96 32.0	118 39.3	23 7.7	12 4.0	36 12.0
	50代	300 100	17 5.7	76 25.3	145 48.3	19 6.3	12 4.0	31 10.3
	60代	300 100	16 5.3	101 33.7	125 41.7	24 8.0	9 3.0	25 8.3
	70代以上	300 100	12 4.0	98 32.7	141 47.0	25 8.3	8 2.7	16 5.3

【5. 食肉卸売業者】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	48 2.7	313 17.4	885 49.2	234 13.0	94 5.2	226 12.6
地域	首都圏	900 100	26 2.9	164 18.2	449 49.9	112 12.4	39 4.3	110 12.2
	京阪神圏	900 100	22 2.4	149 16.6	436 48.4	122 13.6	55 6.1	116 12.9
年代	20代	300 100	18 6.0	60 20.0	124 41.3	31 10.3	10 3.3	57 19.0
	30代	300 100	13 4.3	49 16.3	146 48.7	23 7.7	19 6.3	50 16.7
	40代	300 100	6 2.0	57 19.0	144 48.0	36 12.0	17 5.7	40 13.3
	50代	300 100	5 1.7	35 11.7	171 57.0	40 13.3	18 6.0	31 10.3
	60代	300 100	4 1.3	59 19.7	145 48.3	47 15.7	16 5.3	29 9.7
	70代以上	300 100	2 0.7	53 17.7	155 51.7	57 19.0	14 4.7	19 6.3

【6. 食肉小売業者】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	48 2.7	300 16.7	899 49.9	236 13.1	87 4.8	230 12.8
地域	首都圏	900 100	27 3.0	160 17.8	457 50.8	109 12.1	34 3.8	113 12.6
	京阪神圏	900 100	21 2.3	140 15.6	442 49.1	127 14.1	53 5.9	117 13.0
年代	20代	300 100	15 5.0	57 19.0	122 40.7	41 13.7	6 2.0	59 19.7
	30代	300 100	14 4.7	39 13.0	144 48.0	32 10.7	21 7.0	50 16.7
	40代	300 100	6 2.0	47 15.7	150 50.0	39 13.0	17 5.7	41 13.7
	50代	300 100	5 1.7	36 12.0	178 59.3	35 11.7	15 5.0	31 10.3
	60代	300 100	5 1.7	62 20.7	152 50.7	38 12.7	14 4.7	29 9.7
	70代以上	300 100	3 1.0	59 19.7	153 51.0	51 17.0	14 4.7	20 6.7

【7. 食肉を扱う外食店】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	44 2.4	248 13.8	907 50.4	252 14.0	113 6.3	236 13.1
地域	首都圏	900 100	27 3.0	126 14.0	467 51.9	115 12.8	49 5.4	116 12.9
	京阪神圏	900 100	17 1.9	122 13.6	440 48.9	137 15.2	64 7.1	120 13.3
年代	20代	300 100	12 4.0	49 16.3	121 40.3	47 15.7	14 4.7	57 19.0
	30代	300 100	15 5.0	35 11.7	143 47.7	32 10.7	22 7.3	53 17.7
	40代	300 100	7 2.3	38 12.7	151 50.3	42 14.0	20 6.7	42 14.0
	50代	300 100	4 1.3	36 12.0	174 58.0	34 11.3	20 6.7	32 10.7
	60代	300 100	3 1.0	45 15.0	158 52.7	45 15.0	17 5.7	32 10.7
	70代以上	300 100	3 1.0	45 15.0	160 53.3	52 17.3	20 6.7	20 6.7

Q31 情報提供において、あなたが行政に期待すること（上位3つ）をそれぞれについてお選びください。

(1) 食肉の安全性について

度数横%		全 体	正確な情報の提供	迅速な情報の提供	わかりやすい情報の提供	科学的根拠に基づいた情報の提供	ネガティブな(マイナスの、あるいは都合の悪い)情報も包み隠さず開示	中立・公平な立場での見解	食品表示制度の改善	情報へのアクセスのしやすさ
全 体		1800 100	1420 78.9	612 34.0	614 34.1	373 20.7	442 24.6	266 14.8	94 5.2	77 4.3
地域	首都圏	900 100	701 77.9	311 34.6	313 34.8	209 23.2	219 24.3	141 15.7	44 4.9	35 3.9
	京阪神圏	900 100	719 79.9	301 33.4	301 33.4	164 18.2	223 24.8	125 13.9	50 5.6	42 4.7
年代	20代	300 100	192 64.0	63 21.0	86 28.7	58 19.3	65 21.7	29 9.7	9 3.0	23 7.7
	30代	300 100	224 74.7	83 27.7	86 28.7	51 17.0	85 28.3	37 12.3	8 2.7	18 6.0
	40代	300 100	230 76.7	92 30.7	102 34.0	54 18.0	61 20.3	36 12.0	20 6.7	16 5.3
	50代	300 100	255 85.0	103 34.3	118 39.3	57 19.0	66 22.0	40 13.3	13 4.3	9 3.0
	60代	300 100	263 87.7	142 47.3	112 37.3	57 19.0	79 26.3	57 19.0	21 7.0	4 1.3
	70代以上	300 100	256 85.3	129 43.0	110 36.7	96 32.0	86 28.7	67 22.3	23 7.7	7 2.3

度数横%		全 体	ウェブサイトの充実	メールマガジンの発信	パンフレット・広報誌の充実	消費者の相談を受けける窓口の設置	説明会などの開催	意見交換会など双方向型のコミュニケーションの場の設置	その他
全 体		1800 100	43 2.4	10 0.6	30 1.7	67 3.7	18 1.0	47 2.6	15 0.8
地域	首都圏	900 100	19 2.1	4 0.4	14 1.6	32 3.6	11 1.2	23 2.6	8 0.9
	京阪神圏	900 100	24 2.7	6 0.7	16 1.8	35 3.9	7 0.8	24 2.7	7 0.8
年代	20代	300 100	10 3.3	4 1.3	4 1.3	7 2.3	5 1.7	21 7.0	6 2.0
	30代	300 100	11 3.7	3 1.0	6 2.0	10 3.3	1 0.3	14 4.7	2 0.7
	40代	300 100	4 1.3	1 0.3	2 0.7	9 3.0	2 0.7	6 2.0	4 1.3
	50代	300 100	2 0.7	0 0.0	6 2.0	11 3.7	3 1.0	4 1.3	1 0.3
	60代	300 100	9 3.0	1 0.3	3 1.0	8 2.7	2 0.7	0 0.0	2 0.7
	70代以上	300 100	7 2.3	1 0.3	9 3.0	22 7.3	5 1.7	2 0.7	0 0.0

(2) 食肉の栄養や機能について

度数 横%		全 体	正確な情報 の提供	迅速な情報 の提供	わかりやすい 情報の提供	科学的根拠 に基づいた 情報の提供	ネガティブな(マ イナスの、ある いは都合の悪い)情報も包 み隠さず開示	中立・公平な 立場での見解	食品表示制 度の改善	情報へのアクセ スのしやすさ
全 体		1800 100	1267 70.4	469 26.1	627 34.8	386 21.4	337 18.7	248 13.8	140 7.8	103 5.7
地域	首都圏	900 100	612 68.0	247 27.4	320 35.6	222 24.7	170 18.9	137 15.2	68 7.6	53 5.9
	京阪神圏	900 100	655 72.8	222 24.7	307 34.1	164 18.2	167 18.6	111 12.3	72 8.0	50 5.6
年代	20代	300 100	170 56.7	51 17.0	84 28.0	49 16.3	51 17.0	34 11.3	16 5.3	24 8.0
	30代	300 100	198 66.0	66 22.0	91 30.3	51 17.0	66 22.0	32 10.7	7 2.3	24 8.0
	40代	300 100	208 69.3	70 23.3	102 34.0	61 20.3	47 15.7	33 11.0	19 6.3	20 6.7
	50代	300 100	237 79.0	85 28.3	116 38.7	56 18.7	51 17.0	43 14.3	19 6.3	10 3.3
	60代	300 100	239 79.7	109 36.3	110 36.7	66 22.0	60 20.0	51 17.0	32 10.7	11 3.7
	70代以上	300 100	215 71.7	88 29.3	124 41.3	103 34.3	62 20.7	55 18.3	47 15.7	14 4.7

度数 横%		全 体	ウェブサイトの 充実	メールマガジ ンの発信	パンフレット・ 広報誌の 充実	消費者の 相談を受ける 窓口の設置	説明会などの 開催	意見交換会 など双方向型 のコミュニケ ーションの場 の設置	その他
全 体		1800 100	63 3.5	11 0.6	36 2.0	75 4.2	13 0.7	47 2.6	16 0.9
地域	首都圏	900 100	32 3.6	3 0.3	20 2.2	35 3.9	6 0.7	23 2.6	8 0.9
	京阪神圏	900 100	31 3.4	8 0.9	16 1.8	40 4.4	7 0.8	24 2.7	8 0.9
年代	20代	300 100	14 4.7	2 0.7	3 1.0	11 3.7	1 0.3	21 7.0	6 2.0
	30代	300 100	16 5.3	3 1.0	6 2.0	9 3.0	1 0.3	14 4.7	2 0.7
	40代	300 100	11 3.7	3 1.0	3 1.0	8 2.7	2 0.7	5 1.7	4 1.3
	50代	300 100	6 2.0	1 0.3	4 1.3	12 4.0	2 0.7	5 1.7	1 0.3
	60代	300 100	9 3.0	1 0.3	8 2.7	11 3.7	2 0.7	0 0.0	3 1.0
	70代以上	300 100	7 2.3	1 0.3	12 4.0	24 8.0	5 1.7	2 0.7	0 0.0

Q32 あなた自身を含めて現在、あなたが（一緒に）お住まいの世帯の方が、「食中毒」にかかったことはありますか。「食中毒」にかかったことがある方は、かかった時期をお知らせください（複数の方 又は 複数回かかった場合は、最も直近の時期をお知らせください）。かかったことがない場合は、「食中毒にかかったことがない」をお選びください。

【1. 生卵・オムレツなど十分加熱していない卵】

		度数 横%	全 体	～半年以内	～1年以内	～3年以内	～5年以内	～10年以内	それ以前	食中毒にかっ たことがない	よくわからない 覚えていない
全 体			1800 100	29 1.6	21 1.2	25 1.4	32 1.8	25 1.4	31 1.7	1492 82.9	145 8.1
地域	首都圏		900 100	12 1.3	8 0.9	12 1.3	16 1.8	13 1.4	13 1.4	759 84.3	67 7.4
	京阪神圏		900 100	17 1.9	13 1.4	13 1.4	16 1.8	12 1.3	18 2.0	733 81.4	78 8.7
年代	20代		300 100	11 3.7	7 2.3	11 3.7	16 5.3	12 4.0	8 2.7	205 68.3	30 10.0
	30代		300 100	8 2.7	6 2.0	9 3.0	7 2.3	6 2.0	3 1.0	233 77.7	28 9.3
	40代		300 100	1 0.3	3 1.0	2 0.7	5 1.7	4 1.3	8 2.7	249 83.0	28 9.3
	50代		300 100	6 2.0	2 0.7	2 0.7	2 0.7	1 0.3	4 1.3	259 86.3	24 8.0
	60代		300 100	3 1.0	1 0.3	0 0.0	2 0.7	1 0.3	5 1.7	276 92.0	12 4.0
	70代以上		300 100	0 0.0	2 0.7	1 0.3	0 0.0	1 0.3	3 1.0	270 90.0	23 7.7

【2. 十分に加熱していない牛肉や牛肉のたたき・レバ刺しなどの生の牛肉】

		度数 横%	全 体	～半年以内	～1年以内	～3年以内	～5年以内	～10年以内	それ以前	食中毒にかっ たことがない	よくわからない 覚えていない
全 体			1800 100	16 0.9	28 1.6	33 1.8	41 2.3	22 1.2	27 1.5	1481 82.3	152 8.4
地域	首都圏		900 100	7 0.8	8 0.9	23 2.6	17 1.9	10 1.1	17 1.9	749 83.2	69 7.7
	京阪神圏		900 100	9 1.0	20 2.2	10 1.1	24 2.7	12 1.3	10 1.1	732 81.3	83 9.2
年代	20代		300 100	6 2.0	12 4.0	12 4.0	17 5.7	11 3.7	8 2.7	206 68.7	28 9.3
	30代		300 100	3 1.0	11 3.7	10 3.3	11 3.7	3 1.0	6 2.0	227 75.7	29 9.7
	40代		300 100	1 0.3	2 0.7	6 2.0	4 1.3	5 1.7	4 1.3	245 81.7	33 11.0
	50代		300 100	4 1.3	1 0.3	3 1.0	3 1.0	2 0.7	2 0.7	260 86.7	25 8.3
	60代		300 100	2 0.7	2 0.7	2 0.7	4 1.3	0 0.0	3 1.0	274 91.3	13 4.3
	70代以上		300 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.7	1 0.3	4 1.3	269 89.7	24 8.0

【3. 十分に加熱していない豚肉や豚レバ刺しなどの生の豚肉】

		度数 横%	全 体	～半年以内	～1年以内	～3年以内	～5年以内	～10年以内	それ以前	食中毒にか つたことが ない	よくわら ない 覚えてい ない
全 体			1800 100	19 1.1	20 1.1	27 1.5	39 2.2	26 1.4	31 1.7	1472 81.8	166 9.2
地域	首都圏		900 100	8 0.9	8 0.9	12 1.3	23 2.6	15 1.7	14 1.6	745 82.8	75 8.3
	京阪神圏		900 100	11 1.2	12 1.3	15 1.7	16 1.8	11 1.2	17 1.9	727 80.8	91 10.1
年代	20代		300 100	6 2.0	11 3.7	15 5.0	16 5.3	7 2.3	10 3.3	206 68.7	29 9.7
	30代		300 100	3 1.0	5 1.7	8 2.7	12 4.0	8 2.7	6 2.0	227 75.7	31 10.3
	40代		300 100	2 0.7	1 0.3	2 0.7	6 2.0	3 1.0	7 2.3	246 82.0	33 11.0
	50代		300 100	5 1.7	2 0.7	0 0.0	3 1.0	4 1.3	2 0.7	257 85.7	27 9.0
	60代		300 100	3 1.0	1 0.3	1 0.3	2 0.7	1 0.3	5 1.7	270 90.0	17 5.7
	70代以上		300 100	0 0.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0	3 1.0	1 0.3	266 88.7	29 9.7

【4. 十分に加熱していない鶏肉や鶏刺しなどの生の鶏肉】

		度数 横%	全 体	～半年以内	～1年以内	～3年以内	～5年以内	～10年以内	それ以前	食中毒にか つたことが ない	よくわら ない 覚えてい ない
全 体			1800 100	12 0.7	22 1.2	41 2.3	38 2.1	33 1.8	36 2.0	1463 81.3	155 8.6
地域	首都圏		900 100	5 0.6	10 1.1	20 2.2	16 1.8	18 2.0	17 1.9	741 82.3	73 8.1
	京阪神圏		900 100	7 0.8	12 1.3	21 2.3	22 2.4	15 1.7	19 2.1	722 80.2	82 9.1
年代	20代		300 100	5 1.7	11 3.7	20 6.7	14 4.7	13 4.3	6 2.0	203 67.7	28 9.3
	30代		300 100	1 0.3	5 1.7	14 4.7	10 3.3	7 2.3	9 3.0	225 75.0	29 9.7
	40代		300 100	1 0.3	2 0.7	5 1.7	7 2.3	4 1.3	5 1.7	245 81.7	31 10.3
	50代		300 100	4 1.3	2 0.7	2 0.7	2 0.7	5 1.7	7 2.3	252 84.0	26 8.7
	60代		300 100	1 0.3	2 0.7	0 0.0	4 1.3	2 0.7	6 2.0	271 90.3	14 4.7
	70代以上		300 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	2 0.7	3 1.0	267 89.0	27 9.0

【5. さしみ・寿司など生の魚】

		度数 横%	全 体	～半年以内	～1年以内	～3年以内	～5年以内	～10年以内	それ以前	食中毒にか つたことが ない	よくわら ない 覚えてい ない
全 体			1800 100	21 1.2	27 1.5	33 1.8	37 2.1	36 2.0	45 2.5	1465 81.4	136 7.6
地域	首都圏		900 100	9 1.0	14 1.6	13 1.4	14 1.6	22 2.4	23 2.6	747 83.0	58 6.4
	京阪神圏		900 100	12 1.3	13 1.4	20 2.2	23 2.6	14 1.6	22 2.4	718 79.8	78 8.7
年代	20代		300 100	9 3.0	10 3.3	14 4.7	18 6.0	10 3.3	7 2.3	205 68.3	27 9.0
	30代		300 100	3 1.0	8 2.7	12 4.0	9 3.0	7 2.3	8 2.7	229 76.3	24 8.0
	40代		300 100	1 0.3	3 1.0	1 0.3	4 1.3	11 3.7	6 2.0	246 82.0	28 9.3
	50代		300 100	4 1.3	2 0.7	3 1.0	1 0.3	5 1.7	13 4.3	247 82.3	25 8.3
	60代		300 100	2 0.7	2 0.7	1 0.3	2 0.7	2 0.7	9 3.0	270 90.0	12 4.0
	70代以上		300 100	2 0.7	2 0.7	2 0.7	3 1.0	1 0.3	2 0.7	268 89.3	20 6.7

【6. カキ・アサリ・シジミなど生の貝類】

		度数 横%	全 体	～半年以内	～1年以内	～3年以内	～5年以内	～10年以内	それ以前	食中毒にかっ たことがない	よくわからない・ 覚えていない
全 体			1800	17	29	32	43	49	92	1386	152
			100	0.9	1.6	1.8	2.4	2.7	5.1	77.0	8.4
地域	首都圏		900	7	12	15	18	30	50	700	68
			100	0.8	1.3	1.7	2.0	3.3	5.6	77.8	7.6
	京阪神圏		900	10	17	17	25	19	42	686	84
			100	1.1	1.9	1.9	2.8	2.1	4.7	76.2	9.3
年代	20代		300	7	14	10	18	12	11	201	27
			100	2.3	4.7	3.3	6.0	4.0	3.7	67.0	9.0
	30代		300	3	7	6	12	17	8	221	26
			100	1.0	2.3	2.0	4.0	5.7	2.7	73.7	8.7
	40代		300	1	1	9	6	8	16	227	32
			100	0.3	0.3	3.0	2.0	2.7	5.3	75.7	10.7
	50代		300	3	6	2	1	7	16	236	29
			100	1.0	2.0	0.7	0.3	2.3	5.3	78.7	9.7
60代		300	2	0	3	3	2	24	253	13	
		100	0.7	0.0	1.0	1.0	0.7	8.0	84.3	4.3	
70代以上		300	1	1	2	3	3	17	248	25	
		100	0.3	0.3	0.7	1.0	1.0	5.7	82.7	8.3	

【7. よく洗っていない野菜】

		度数 横%	全 体	～半年以内	～1年以内	～3年以内	～5年以内	～10年以内	それ以前	食中毒にかっ たことがない	よくわからない・ 覚えていない
全 体			1800	15	19	34	35	19	19	1502	157
			100	0.8	1.1	1.9	1.9	1.1	1.1	83.4	8.7
地域	首都圏		900	7	7	17	20	11	8	757	73
			100	0.8	0.8	1.9	2.2	1.2	0.9	84.1	8.1
	京阪神圏		900	8	12	17	15	8	11	745	84
			100	0.9	1.3	1.9	1.7	0.9	1.2	82.8	9.3
年代	20代		300	7	7	15	20	7	6	212	26
			100	2.3	2.3	5.0	6.7	2.3	2.0	70.7	8.7
	30代		300	3	7	9	7	8	4	230	32
			100	1.0	2.3	3.0	2.3	2.7	1.3	76.7	10.7
	40代		300	1	1	4	4	2	4	254	30
			100	0.3	0.3	1.3	1.3	0.7	1.3	84.7	10.0
	50代		300	3	2	3	2	1	3	259	27
			100	1.0	0.7	1.0	0.7	0.3	1.0	86.3	9.0
60代		300	1	1	1	2	1	2	277	15	
		100	0.3	0.3	0.3	0.7	0.3	0.7	92.3	5.0	
70代以上		300	0	1	2	0	0	0	270	27	
		100	0.0	0.3	0.7	0.0	0.0	0.0	90.0	9.0	

【8. おにぎり・お弁当・調理パンなど】

		度数 横%	全 体	～半年以内	～1年以内	～3年以内	～5年以内	～10年以内	それ以前	食中毒にかっ たことがない	よくわからない・ 覚えていない
全 体			1800	22	22	27	32	30	31	1474	162
			100	1.2	1.2	1.5	1.8	1.7	1.7	81.9	9.0
地域	首都圏		900	8	11	15	17	17	16	741	75
			100	0.9	1.2	1.7	1.9	1.9	1.8	82.3	8.3
	京阪神圏		900	14	11	12	15	13	15	733	87
			100	1.6	1.2	1.3	1.7	1.4	1.7	81.4	9.7
年代	20代		300	10	9	14	10	14	3	212	28
			100	3.3	3.0	4.7	3.3	4.7	1.0	70.7	9.3
	30代		300	4	8	7	11	7	8	221	34
			100	1.3	2.7	2.3	3.7	2.3	2.7	73.7	11.3
	40代		300	2	2	3	3	6	5	248	31
			100	0.7	0.7	1.0	1.0	2.0	1.7	82.7	10.3
	50代		300	3	3	1	3	2	6	255	27
			100	1.0	1.0	0.3	1.0	0.7	2.0	85.0	9.0
60代		300	2	0	1	3	0	7	269	18	
		100	0.7	0.0	0.3	1.0	0.0	2.3	89.7	6.0	
70代以上		300	1	0	1	2	1	2	269	24	
		100	0.3	0.0	0.3	0.7	0.3	0.7	89.7	8.0	

Q33 あなたが、「食中毒予防」としてふだん実施している事柄を全てお選びください。

度数 横%	全 体	食品の購入時							
		評判の店でも 不衛生に見え たら買わない	消費期限・ 賞味期限を 確認する	保存方法(要冷 蔵、直射日光を さけて保存等)を 確認する	産地を確認 する	生鮮食材は 鮮度のよい ものを選ぶ	肉や魚などは他 の食材と分けて ポリ袋にいれる	日用品用と食 品用は、マイ バック・買い物 袋を分ける	
全 体	1800 100	775 43.1	1051 58.4	774 43.0	442 24.6	740 41.1	417 23.2	204 11.3	
地域	首都圏	900 100	392 43.6	540 60.0	403 44.8	226 25.1	385 42.8	217 24.1	103 11.4
	京阪神圏	900 100	383 42.6	511 56.8	371 41.2	216 24.0	355 39.4	200 22.2	101 11.2
年代	20代	300 100	103 34.3	133 44.3	101 33.7	45 15.0	79 26.3	57 19.0	25 8.3
	30代	300 100	129 43.0	151 50.3	106 35.3	64 21.3	96 32.0	64 21.3	33 11.0
	40代	300 100	137 45.7	174 58.0	113 37.7	62 20.7	106 35.3	53 17.7	28 9.3
	50代	300 100	148 49.3	183 61.0	141 47.0	81 27.0	129 43.0	71 23.7	35 11.7
	60代	300 100	122 40.7	195 65.0	140 46.7	85 28.3	154 51.3	71 23.7	40 13.3
	70代以上	300 100	136 45.3	215 71.7	173 57.7	105 35.0	176 58.7	101 33.7	43 14.3

度数 横%	全 体	食品の購入時				調理時			
		冷たい食品用と 温かい食品用 は、マイバック・買 い物袋を分ける	肉や魚や要冷品 には保冷効果の あるマイバッグを 使う	肉や魚や要冷品 には保冷剤・氷 を使う	食品を入れて 長時間持ち 歩かない	食材は使用前に よく洗う	生で食べる野菜 や果物を先に、 肉や魚は最後に 切る	生の肉や魚を 切ったまな板・包 丁は、熱湯や塩 素系漂白剤で 消毒する	
全 体	1800 100	400 22.2	255 14.2	315 17.5	659 36.6	678 37.7	582 32.3	369 20.5	
地域	首都圏	900 100	199 22.1	136 15.1	150 16.7	355 39.4	344 38.2	302 33.6	198 22.0
	京阪神圏	900 100	201 22.3	119 13.2	165 18.3	304 33.8	334 37.1	280 31.1	171 19.0
年代	20代	300 100	40 13.3	30 10.0	32 10.7	81 27.0	86 28.7	69 23.0	47 15.7
	30代	300 100	52 17.3	31 10.3	43 14.3	92 30.7	112 37.3	90 30.0	42 14.0
	40代	300 100	50 16.7	33 11.0	34 11.3	99 33.0	100 33.3	92 30.7	51 17.0
	50代	300 100	66 22.0	36 12.0	56 18.7	118 39.3	104 34.7	104 34.7	57 19.0
	60代	300 100	86 28.7	60 20.0	65 21.7	120 40.0	121 40.3	101 33.7	78 26.0
	70代以上	300 100	106 35.3	65 21.7	85 28.3	149 49.7	155 51.7	126 42.0	94 31.3

度数 横%	全 体	調理時		食事時・家庭内		食事時・家庭内			
		生の肉や魚を調理する箸・トングは専用のものを使い、他の調理は別の清潔な箸・トングを使う	生の肉や魚を触った後は、洗剤を使って手洗いをする	トイレの後に手洗いをする	食べる前に手洗いをする	落ちたものは食べない	食べる前に臭いや色を確認する	生肉料理は食べない	
全 体	1800 100	349 19.4	589 32.7	1062 59.0	830 46.1	675 37.5	630 35.0	693 38.5	
地域	首都圏	900 100	186 20.7	309 34.3	546 60.7	441 49.0	345 38.3	343 38.1	363 40.3
	京阪神圏	900 100	163 18.1	280 31.1	516 57.3	389 43.2	330 36.7	287 31.9	330 36.7
年代	20代	300 100	45 15.0	73 24.3	111 37.0	88 29.3	82 27.3	85 28.3	66 22.0
	30代	300 100	53 17.7	93 31.0	149 49.7	109 36.3	95 31.7	87 29.0	86 28.7
	40代	300 100	56 18.7	95 31.7	173 57.7	137 45.7	106 35.3	105 35.0	97 32.3
	50代	300 100	65 21.7	120 40.0	189 63.0	151 50.3	120 40.0	114 38.0	119 39.7
	60代	300 100	57 19.0	98 32.7	204 68.0	158 52.7	123 41.0	123 41.0	146 48.7
	70代以上	300 100	73 24.3	110 36.7	236 78.7	187 62.3	149 49.7	116 38.7	179 59.7

度数 横%	全 体	食事時・家庭内			外食時				
		肉料理は中心部までよく加熱する	一度冷めたものを食べる前にはアツアツになるまで加熱する	食べ残した料理はすぐに冷蔵庫などに保存するか捨てる	評判の店でも不衛生に見えたら入らない	食べる前に手洗いをする（おしぼりでの拭きは除く）	使用食材の産地、品質表示などを確認する	衛生管理に関する表示などを確認する	
全 体	1800 100	693 38.5	320 17.8	579 32.2	665 36.9	487 27.1	140 7.8	170 9.4	
地域	首都圏	900 100	369 41.0	162 18.0	297 33.0	346 38.4	268 29.8	72 8.0	91 10.1
	京阪神圏	900 100	324 36.0	158 17.6	282 31.3	319 35.4	219 24.3	68 7.6	79 8.8
年代	20代	300 100	85 28.3	40 13.3	56 18.7	71 23.7	55 18.3	16 5.3	26 8.7
	30代	300 100	95 31.7	52 17.3	93 31.0	98 32.7	63 21.0	19 6.3	16 5.3
	40代	300 100	116 38.7	55 18.3	82 27.3	103 34.3	75 25.0	20 6.7	21 7.0
	50代	300 100	126 42.0	63 21.0	102 34.0	128 42.7	96 32.0	32 10.7	40 13.3
	60代	300 100	126 42.0	57 19.0	114 38.0	122 40.7	80 26.7	27 9.0	28 9.3
	70代以上	300 100	145 48.3	53 17.7	132 44.0	143 47.7	118 39.3	26 8.7	39 13.0

度数 横%	全 体	外食時			その他	特にない	
		メニューに載っていても生肉料理は食べない	肉が生焼けの時は店に申し出る	生の肉を取り扱う箸・トングは専用のものを使い、食べる箸は別の清潔な箸を使う			
全 体	1800 100	476 26.4	338 18.8	385 21.4	12 0.7	209 11.6	
地域	首都圏	900 100	243 27.0	190 21.1	208 23.1	6 0.7	90 10.0
	京阪神圏	900 100	233 25.9	148 16.4	177 19.7	6 0.7	119 13.2
年代	20代	300 100	44 14.7	34 11.3	52 17.3	1 0.3	60 20.0
	30代	300 100	46 15.3	52 17.3	66 22.0	2 0.7	42 14.0
	40代	300 100	54 18.0	47 15.7	60 20.0	4 1.3	32 10.7
	50代	300 100	85 28.3	71 23.7	77 25.7	2 0.7	36 12.0
	60代	300 100	103 34.3	61 20.3	54 18.0	1 0.3	23 7.7
	70代以上	300 100	144 48.0	73 24.3	76 25.3	2 0.7	16 5.3

Q34 「食中毒」に関する情報として、以下の中から、あなたが正しいと思うものを選んでください。

※以下では、細菌、ウイルス、寄生虫等、食中毒を起こす微生物を「菌」と表現しています。

度数横%	全体	食中毒は、夏場の発生件数が多い	食中毒の起こりやすさは、家庭>中食>外食の順である	食中毒は、食後、2～3時間以内に発症することが多い	食中毒の症状は一過性であり、後遺症はない	食中毒にならない体質の人がいる	食中毒は、もともと食材についていた菌によって引き起こされる	食中毒予防のためには、生もの（生肉、生魚等）の取扱いに注意が必要だ	菌が増えなければ、食中毒にはならない	新鮮な食材を選べば、食中毒にならない	
全体	1800 100	942 52.3	254 14.1	380 21.1	170 9.4	112 6.2	360 20.0	843 46.8	159 8.8	99 5.5	
地域	首都圏	900 100	463 51.4	134 14.9	200 22.2	91 10.1	50 5.6	194 21.6	447 49.7	76 8.4	52 5.8
	京阪神圏	900 100	479 53.2	120 13.3	180 20.0	79 8.8	62 6.9	166 18.4	396 44.0	83 9.2	47 5.2
年代	20代	300 100	144 48.0	46 15.3	56 18.7	22 7.3	21 7.0	35 11.7	91 30.3	19 6.3	8 2.7
	30代	300 100	181 60.3	41 13.7	56 18.7	26 8.7	16 5.3	35 11.7	113 37.7	20 6.7	13 4.3
	40代	300 100	177 59.0	40 13.3	51 17.0	27 9.0	11 3.7	43 14.3	118 39.3	24 8.0	14 4.7
	50代	300 100	142 47.3	39 13.0	56 18.7	31 10.3	18 6.0	62 20.7	142 47.3	21 7.0	16 5.3
	60代	300 100	140 46.7	45 15.0	73 24.3	26 8.7	28 9.3	74 24.7	171 57.0	32 10.7	11 3.7
	70代以上	300 100	158 52.7	43 14.3	88 29.3	38 12.7	18 6.0	111 37.0	208 69.3	43 14.3	37 12.3

度数横%	全体	一度加熱すれば、食中毒の心配はない	冷凍しても、菌は死なない	冷蔵すれば、菌は増えない	菌が増えていれば、臭いでわかる	皮をむいてから食べる果物、野菜は、洗う必要がない	肉は菌を取り除くため事前に水で洗ったほうがよい	使用後のスポンジは、洗ったほうがよい	食べる前に電子レンジで温めれば、菌は死ぬ	特にない	
全体	1800 100	160 8.9	545 30.3	119 6.6	104 5.8	59 3.3	88 4.9	659 36.6	61 3.4	263 14.6	
地域	首都圏	900 100	83 9.2	286 31.8	64 7.1	57 6.3	34 3.8	48 5.3	347 38.6	33 3.7	125 13.9
	京阪神圏	900 100	77 8.6	259 28.8	55 6.1	47 5.2	25 2.8	40 4.4	312 34.7	28 3.1	138 15.3
年代	20代	300 100	25 8.3	54 18.0	17 5.7	15 5.0	14 4.7	14 4.7	67 22.3	12 4.0	67 22.3
	30代	300 100	8 2.7	52 17.3	18 6.0	22 7.3	7 2.3	13 4.3	92 30.7	10 3.3	45 15.0
	40代	300 100	19 6.3	65 21.7	16 5.3	11 3.7	10 3.3	7 2.3	93 31.0	8 2.7	49 16.3
	50代	300 100	29 9.7	104 34.7	22 7.3	21 7.0	6 2.0	16 5.3	119 39.7	9 3.0	50 16.7
	60代	300 100	25 8.3	129 43.0	19 6.3	14 4.7	7 2.3	17 5.7	140 46.7	11 3.7	27 9.0
	70代以上	300 100	54 18.0	141 47.0	27 9.0	21 7.0	15 5.0	21 7.0	148 49.3	11 3.7	25 8.3

Q36 「植物由来の代替肉<植物肉>」についてお伺いします。

植物肉は、大豆などから抽出した植物性たんぱくを主原料に使い、食肉の風味と食感を再現した食品です。

ハンバーグ、バーガー・パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビなどが国内外で販売され、外食店や小売店等で見かけることが増えています。最近では、うまみとなるアミノ酸を増やした発芽大豆を原料に、添加物なしに風味を向上させた植物肉も開発・販売されています。

植物肉について、あなたはどの程度ご存じですか。最も近いものを1つだけお選びください。

度数 横%		全 体	詳しく 知っている	ある程度 知っている	何となく 知っている	あまりよく 知らない	知らない	全く知らない
全 体		1800 100	44 2.4	286 15.9	564 31.3	435 24.2	211 11.7	260 14.4
地域	首都圏	900 100	18 2.0	148 16.4	308 34.2	210 23.3	92 10.2	124 13.8
	京阪神圏	900 100	26 2.9	138 15.3	256 28.4	225 25.0	119 13.2	136 15.1
年代	20代	300 100	13 4.3	43 14.3	75 25.0	72 24.0	36 12.0	61 20.3
	30代	300 100	13 4.3	35 11.7	84 28.0	68 22.7	30 10.0	70 23.3
	40代	300 100	6 2.0	44 14.7	85 28.3	79 26.3	45 15.0	41 13.7
	50代	300 100	4 1.3	51 17.0	92 30.7	71 23.7	38 12.7	44 14.7
	60代	300 100	6 2.0	51 17.0	117 39.0	71 23.7	28 9.3	27 9.0
	70代以上	300 100	2 0.7	62 20.7	111 37.0	74 24.7	34 11.3	17 5.7

Q37 「植物由来の代替肉<植物肉>」についてお伺いします。

植物肉は、大豆などから抽出した植物性たんぱくを主原料に使い、食肉の風味と食感を再現した食品です。

ハンバーグ、バーガー・パテ、大豆ミート、牛丼、焼き肉用カルビなどが国内外で販売され、外食店や小売店等で見かけることが増えています。最近では、うまみとなるアミノ酸を増やした発芽大豆を原料に、添加物なしに風味を向上させた植物肉も開発・販売されています。

あなたは、植物肉を食べたことがありますか。

度数横%		全 体	3か月以内に 食べたことがある	半年以内に 食べたことがある	1年以内に 食べたことがある	それ以前に 食べたことがある	店頭で見たことは あるが、食べたこと はない	店頭で見たことも なく、食べたことも ない
全 体		1800 100	136 7.6	109 6.1	113 6.3	173 9.6	348 19.3	921 51.2
地域	首都圏	900 100	76 8.4	57 6.3	58 6.4	87 9.7	170 18.9	452 50.2
	京阪神圏	900 100	60 6.7	52 5.8	55 6.1	86 9.6	178 19.8	469 52.1
年代	20代	300 100	24 8.0	21 7.0	34 11.3	31 10.3	61 20.3	129 43.0
	30代	300 100	21 7.0	18 6.0	20 6.7	28 9.3	61 20.3	152 50.7
	40代	300 100	20 6.7	23 7.7	21 7.0	23 7.7	53 17.7	160 53.3
	50代	300 100	21 7.0	15 5.0	12 4.0	28 9.3	61 20.3	163 54.3
	60代	300 100	31 10.3	16 5.3	17 5.7	27 9.0	63 21.0	146 48.7
	70代以上	300 100	19 6.3	16 5.3	9 3.0	36 12.0	49 16.3	171 57.0

Q38 「食べ物」についてお伺いします。

それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 常に新しい食品、違う食品を試している】

		度数 横%	全 体	非常にあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない
全 体			1800 100	58 3.2	221 12.3	716 39.8	582 32.3	223 12.4
地域	首都圏		900 100	30 3.3	106 11.8	361 40.1	286 31.8	117 13.0
	京阪神圏		900 100	28 3.1	115 12.8	355 39.4	296 32.9	106 11.8
年代	20代		300 100	15 5.0	57 19.0	114 38.0	87 29.0	27 9.0
	30代		300 100	16 5.3	45 15.0	120 40.0	77 25.7	42 14.0
	40代		300 100	12 4.0	42 14.0	117 39.0	83 27.7	46 15.3
	50代		300 100	6 2.0	31 10.3	136 45.3	96 32.0	31 10.3
	60代		300 100	6 2.0	22 7.3	121 40.3	109 36.3	42 14.0
	70代以上		300 100	3 1.0	24 8.0	108 36.0	130 43.3	35 11.7

【2. 目新しい食品は信用できない】

		度数 横%	全 体	非常にあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない
全 体			1800 100	51 2.8	230 12.8	1054 58.6	376 20.9	89 4.9
地域	首都圏		900 100	29 3.2	111 12.3	518 57.6	188 20.9	54 6.0
	京阪神圏		900 100	22 2.4	119 13.2	536 59.6	188 20.9	35 3.9
年代	20代		300 100	12 4.0	59 19.7	137 45.7	64 21.3	28 9.3
	30代		300 100	12 4.0	46 15.3	159 53.0	66 22.0	17 5.7
	40代		300 100	10 3.3	45 15.0	154 51.3	73 24.3	18 6.0
	50代		300 100	5 1.7	22 7.3	205 68.3	56 18.7	12 4.0
	60代		300 100	7 2.3	29 9.7	194 64.7	61 20.3	9 3.0
	70代以上		300 100	5 1.7	29 9.7	205 68.3	56 18.7	5 1.7

【3. 原材料のわからない食品は食べない】

		度数 横%	全 体	非常にあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない
全 体			1800 100	201 11.2	595 33.1	750 41.7	199 11.1	55 3.1
地域	首都圏		900 100	107 11.9	294 32.7	377 41.9	90 10.0	32 3.6
	京阪神圏		900 100	94 10.4	301 33.4	373 41.4	109 12.1	23 2.6
年代	20代		300 100	31 10.3	75 25.0	133 44.3	39 13.0	22 7.3
	30代		300 100	38 12.7	82 27.3	128 42.7	39 13.0	13 4.3
	40代		300 100	34 11.3	86 28.7	139 46.3	36 12.0	5 1.7
	50代		300 100	37 12.3	96 32.0	131 43.7	28 9.3	8 2.7
	60代		300 100	32 10.7	120 40.0	115 38.3	29 9.7	4 1.3
	70代以上		300 100	29 9.7	136 45.3	104 34.7	28 9.3	3 1.0

【4. いろいろな国の食べ物が好きだ】

度数 横%		全 体	非常にあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない
全 体		1800 100	105 5.8	366 20.3	743 41.3	392 21.8	194 10.8
地域	首都圏	900 100	64 7.1	204 22.7	367 40.8	172 19.1	93 10.3
	京阪神圏	900 100	41 4.6	162 18.0	376 41.8	220 24.4	101 11.2
年代	20代	300 100	24 8.0	80 26.7	120 40.0	46 15.3	30 10.0
	30代	300 100	19 6.3	60 20.0	128 42.7	55 18.3	38 12.7
	40代	300 100	20 6.7	74 24.7	120 40.0	60 20.0	26 8.7
	50代	300 100	22 7.3	53 17.7	149 49.7	45 15.0	31 10.3
	60代	300 100	13 4.3	49 16.3	127 42.3	75 25.0	36 12.0
	70代以上	300 100	7 2.3	50 16.7	99 33.0	111 37.0	33 11.0

【5. エスニック料理（アジア・アフリカ・中南米などの料理）は苦手だ】

度数 横%		全 体	非常にあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない
全 体		1800 100	220 12.2	439 24.4	684 38.0	312 17.3	145 8.1
地域	首都圏	900 100	106 11.8	213 23.7	334 37.1	155 17.2	92 10.2
	京阪神圏	900 100	114 12.7	226 25.1	350 38.9	157 17.4	53 5.9
年代	20代	300 100	32 10.7	70 23.3	117 39.0	52 17.3	29 9.7
	30代	300 100	40 13.3	63 21.0	122 40.7	51 17.0	24 8.0
	40代	300 100	32 10.7	51 17.0	118 39.3	64 21.3	35 11.7
	50代	300 100	40 13.3	61 20.3	125 41.7	46 15.3	28 9.3
	60代	300 100	39 13.0	84 28.0	107 35.7	52 17.3	18 6.0
	70代以上	300 100	37 12.3	110 36.7	95 31.7	47 15.7	11 3.7

【6. 宴会やパーティでは、できるだけ食べたことのない料理を試している】

度数 横%		全 体	非常にあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない
全 体		1800 100	69 3.8	299 16.6	827 45.9	427 23.7	178 9.9
地域	首都圏	900 100	38 4.2	149 16.6	421 46.8	190 21.1	102 11.3
	京阪神圏	900 100	31 3.4	150 16.7	406 45.1	237 26.3	76 8.4
年代	20代	300 100	23 7.7	67 22.3	125 41.7	64 21.3	21 7.0
	30代	300 100	19 6.3	56 18.7	133 44.3	56 18.7	36 12.0
	40代	300 100	12 4.0	49 16.3	141 47.0	64 21.3	34 11.3
	50代	300 100	10 3.3	47 15.7	157 52.3	53 17.7	33 11.0
	60代	300 100	3 1.0	44 14.7	140 46.7	89 29.7	24 8.0
	70代以上	300 100	2 0.7	36 12.0	131 43.7	101 33.7	30 10.0

【7. これまでに食べたことがないものは、食べたくない】

度数 横%		全 体	非常にあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない
全 体		1800 100	98 5.4	361 20.1	818 45.4	392 21.8	131 7.3
地域	首都圏	900 100	48 5.3	173 19.2	394 43.8	206 22.9	79 8.8
	京阪神圏	900 100	50 5.6	188 20.9	424 47.1	186 20.7	52 5.8
年代	20代	300 100	24 8.0	67 22.3	121 40.3	67 22.3	21 7.0
	30代	300 100	14 4.7	55 18.3	136 45.3	63 21.0	32 10.7
	40代	300 100	10 3.3	47 15.7	150 50.0	65 21.7	28 9.3
	50代	300 100	18 6.0	39 13.0	153 51.0	63 21.0	27 9.0
	60代	300 100	14 4.7	68 22.7	143 47.7	61 20.3	14 4.7
	70代以上	300 100	18 6.0	85 28.3	115 38.3	73 24.3	9 3.0

【8. 食べ物のえり好み激しい方だ】

度数 横%		全 体	非常にあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない
全 体		1800 100	112 6.2	293 16.3	664 36.9	492 27.3	239 13.3
地域	首都圏	900 100	48 5.3	138 15.3	329 36.6	244 27.1	141 15.7
	京阪神圏	900 100	64 7.1	155 17.2	335 37.2	248 27.6	98 10.9
年代	20代	300 100	33 11.0	67 22.3	113 37.7	52 17.3	35 11.7
	30代	300 100	27 9.0	53 17.7	110 36.7	75 25.0	35 11.7
	40代	300 100	15 5.0	41 13.7	114 38.0	85 28.3	45 15.0
	50代	300 100	17 5.7	38 12.7	126 42.0	79 26.3	40 13.3
	60代	300 100	9 3.0	49 16.3	93 31.0	106 35.3	43 14.3
	70代以上	300 100	11 3.7	45 15.0	108 36.0	95 31.7	41 13.7

【9. 食べ物の好き嫌いはほとんどない】

度数 横%		全 体	非常にあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない
全 体		1800 100	274 15.2	513 28.5	595 33.1	257 14.3	161 8.9
地域	首都圏	900 100	156 17.3	254 28.2	300 33.3	119 13.2	71 7.9
	京阪神圏	900 100	118 13.1	259 28.8	295 32.8	138 15.3	90 10.0
年代	20代	300 100	46 15.3	71 23.7	107 35.7	43 14.3	33 11.0
	30代	300 100	45 15.0	72 24.0	108 36.0	38 12.7	37 12.3
	40代	300 100	52 17.3	75 25.0	108 36.0	44 14.7	21 7.0
	50代	300 100	42 14.0	88 29.3	106 35.3	41 13.7	23 7.7
	60代	300 100	41 13.7	105 35.0	88 29.3	40 13.3	26 8.7
	70代以上	300 100	48 16.0	102 34.0	78 26.0	51 17.0	21 7.0

【10. 新しいエスニック料理（アジア・アフリカ・中南米などの料理）の店に入ってみることが好きだ】

度数 横%		全 体	非常にあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない
全 体		1800 100	87 4.8	240 13.3	698 38.8	455 25.3	320 17.8
地域	首都圏	900 100	51 5.7	137 15.2	341 37.9	214 23.8	157 17.4
	京阪神圏	900 100	36 4.0	103 11.4	357 39.7	241 26.8	163 18.1
年代	20代	300 100	27 9.0	58 19.3	118 39.3	47 15.7	50 16.7
	30代	300 100	13 4.3	50 16.7	118 39.3	69 23.0	50 16.7
	40代	300 100	20 6.7	47 15.7	126 42.0	55 18.3	52 17.3
	50代	300 100	15 5.0	34 11.3	133 44.3	66 22.0	52 17.3
	60代	300 100	6 2.0	31 10.3	117 39.0	90 30.0	56 18.7
	70代以上	300 100	6 2.0	20 6.7	86 28.7	128 42.7	60 20.0

Q39 「新しい食品技術」についてお伺いします。

それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 美味しい食品は十分にあるので、新しい食品技術を用いて新食品をこれ以上作る必要はない】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	62 3.4	261 14.5	867 48.2	479 26.6	131 7.3
地域	首都圏		900 100	23 2.6	132 14.7	426 47.3	244 27.1	75 8.3
	京阪神圏		900 100	39 4.3	129 14.3	441 49.0	235 26.1	56 6.2
年代	20代		300 100	22 7.3	52 17.3	126 42.0	75 25.0	25 8.3
	30代		300 100	12 4.0	52 17.3	136 45.3	74 24.7	26 8.7
	40代		300 100	7 2.3	36 12.0	159 53.0	77 25.7	21 7.0
	50代		300 100	10 3.3	40 13.3	158 52.7	74 24.7	18 6.0
	60代		300 100	4 1.3	39 13.0	147 49.0	89 29.7	21 7.0
	70代以上		300 100	7 2.3	42 14.0	141 47.0	90 30.0	20 6.7

【2. 新しい食品技術のメリットは、しばしば大きさに誇張されることが多い】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	98 5.4	505 28.1	979 54.4	167 9.3	51 2.8
地域	首都圏		900 100	36 4.0	260 28.9	484 53.8	86 9.6	34 3.8
	京阪神圏		900 100	62 6.9	245 27.2	495 55.0	81 9.0	17 1.9
年代	20代		300 100	19 6.3	95 31.7	142 47.3	32 10.7	12 4.0
	30代		300 100	26 8.7	73 24.3	152 50.7	32 10.7	17 5.7
	40代		300 100	15 5.0	64 21.3	182 60.7	32 10.7	7 2.3
	50代		300 100	13 4.3	69 23.0	184 61.3	27 9.0	7 2.3
	60代		300 100	15 5.0	98 32.7	163 54.3	19 6.3	5 1.7
	70代以上		300 100	10 3.3	106 35.3	156 52.0	25 8.3	3 1.0

【3. 新しい食品技術は、食品本来の品質を低下させる】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	45 2.5	207 11.5	1023 56.8	438 24.3	87 4.8
地域	首都圏		900 100	22 2.4	81 9.0	519 57.7	223 24.8	55 6.1
	京阪神圏		900 100	23 2.6	126 14.0	504 56.0	215 23.9	32 3.6
年代	20代		300 100	16 5.3	49 16.3	152 50.7	66 22.0	17 5.7
	30代		300 100	9 3.0	41 13.7	150 50.0	75 25.0	25 8.3
	40代		300 100	8 2.7	28 9.3	181 60.3	71 23.7	12 4.0
	50代		300 100	5 1.7	31 10.3	178 59.3	72 24.0	14 4.7
	60代		300 100	3 1.0	27 9.0	187 62.3	72 24.0	11 3.7
	70代以上		300 100	4 1.3	31 10.3	175 58.3	82 27.3	8 2.7

【4. 私たちが食べている食品はすでに十分な品質なので、ハイテク食品を試しても意味がない】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	55 3.1	239 13.3	972 54.0	434 24.1	100 5.6
地域	首都圏		900 100	28 3.1	113 12.6	473 52.6	226 25.1	60 6.7
	京阪神圏		900 100	27 3.0	126 14.0	499 55.4	208 23.1	40 4.4
年代	20代		300 100	17 5.7	63 21.0	143 47.7	61 20.3	16 5.3
	30代		300 100	11 3.7	52 17.3	149 49.7	64 21.3	24 8.0
	40代		300 100	9 3.0	29 9.7	180 60.0	62 20.7	20 6.7
	50代		300 100	7 2.3	32 10.7	180 60.0	67 22.3	14 4.7
	60代		300 100	5 1.7	36 12.0	168 56.0	77 25.7	14 4.7
	70代以上		300 100	6 2.0	27 9.0	152 50.7	103 34.3	12 4.0

【5. 新しい食品は、伝統的な食べ物ほど健康的ではない】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	62 3.4	237 13.2	1019 56.6	392 21.8	90 5.0
地域	首都圏		900 100	30 3.3	113 12.6	514 57.1	187 20.8	56 6.2
	京阪神圏		900 100	32 3.6	124 13.8	505 56.1	205 22.8	34 3.8
年代	20代		300 100	16 5.3	47 15.7	152 50.7	66 22.0	19 6.3
	30代		300 100	13 4.3	38 12.7	165 55.0	61 20.3	23 7.7
	40代		300 100	8 2.7	40 13.3	186 62.0	55 18.3	11 3.7
	50代		300 100	9 3.0	32 10.7	183 61.0	64 21.3	12 4.0
	60代		300 100	8 2.7	38 12.7	169 56.3	69 23.0	16 5.3
	70代以上		300 100	8 2.7	42 14.0	164 54.7	77 25.7	9 3.0

【6. 新しい食品技術は、長期的に環境に悪影響を与える可能性がある】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	56 3.1	254 14.1	1114 61.9	296 16.4	80 4.4
地域	首都圏		900 100	23 2.6	120 13.3	559 62.1	151 16.8	47 5.2
	京阪神圏		900 100	33 3.7	134 14.9	555 61.7	145 16.1	33 3.7
年代	20代		300 100	15 5.0	53 17.7	162 54.0	54 18.0	16 5.3
	30代		300 100	10 3.3	53 17.7	160 53.3	54 18.0	23 7.7
	40代		300 100	11 3.7	29 9.7	208 69.3	42 14.0	10 3.3
	50代		300 100	9 3.0	37 12.3	207 69.0	37 12.3	10 3.3
	60代		300 100	8 2.7	41 13.7	195 65.0	44 14.7	12 4.0
	70代以上		300 100	3 1.0	41 13.7	182 60.7	65 21.7	9 3.0

【7. 新しい食品技術に急速に切り替えるのは危険だ】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	113 6.3	449 24.9	997 55.4	180 10.0	61 3.4
地域	首都圏		900 100	51 5.7	219 24.3	511 56.8	85 9.4	34 3.8
	京阪神圏		900 100	62 6.9	230 25.6	486 54.0	95 10.6	27 3.0
年代	20代		300 100	27 9.0	61 20.3	146 48.7	51 17.0	15 5.0
	30代		300 100	23 7.7	72 24.0	153 51.0	29 9.7	23 7.7
	40代		300 100	18 6.0	67 22.3	180 60.0	28 9.3	7 2.3
	50代		300 100	14 4.7	72 24.0	184 61.3	22 7.3	8 2.7
	60代		300 100	15 5.0	92 30.7	168 56.0	22 7.3	3 1.0
	70代以上		300 100	16 5.3	85 28.3	166 55.3	28 9.3	5 1.7

【8. 新しい食品技術を用いた新製品は、人々がバランスの取れた食事をするのに役立つ】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	65 3.6	423 23.5	1148 63.8	120 6.7	44 2.4
地域	首都圏		900 100	35 3.9	211 23.4	564 62.7	61 6.8	29 3.2
	京阪神圏		900 100	30 3.3	212 23.6	584 64.9	59 6.6	15 1.7
年代	20代		300 100	22 7.3	85 28.3	156 52.0	27 9.0	10 3.3
	30代		300 100	16 5.3	80 26.7	166 55.3	24 8.0	14 4.7
	40代		300 100	10 3.3	52 17.3	212 70.7	21 7.0	5 1.7
	50代		300 100	6 2.0	58 19.3	216 72.0	14 4.7	6 2.0
	60代		300 100	6 2.0	63 21.0	208 69.3	19 6.3	4 1.3
	70代以上		300 100	5 1.7	85 28.3	190 63.3	15 5.0	5 1.7

【9. 新しい食品技術によって、人々は食品の選択を自らの力でもっとコントロールできるようになる】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	61 3.4	465 25.8	1099 61.1	131 7.3	44 2.4
地域	首都圏		900 100	27 3.0	224 24.9	556 61.8	65 7.2	28 3.1
	京阪神圏		900 100	34 3.8	241 26.8	543 60.3	66 7.3	16 1.8
年代	20代		300 100	17 5.7	78 26.0	158 52.7	38 12.7	9 3.0
	30代		300 100	11 3.7	82 27.3	167 55.7	24 8.0	16 5.3
	40代		300 100	11 3.7	66 22.0	194 64.7	23 7.7	6 2.0
	50代		300 100	9 3.0	66 22.0	201 67.0	19 6.3	5 1.7
	60代		300 100	7 2.3	71 23.7	209 69.7	10 3.3	3 1.0
	70代以上		300 100	6 2.0	102 34.0	170 56.7	17 5.7	5 1.7

【10. メディアは通常、新しい食品技術についてバランスのとれた偏見のない見方を提供する】

		度数						
		横%	全体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全体			1800 100	69 3.8	296 16.4	1113 61.8	242 13.4	80 4.4
地域	首都圏		900 100	32 3.6	132 14.7	564 62.7	130 14.4	42 4.7
	京阪神圏		900 100	37 4.1	164 18.2	549 61.0	112 12.4	38 4.2
年代	20代		300 100	23 7.7	66 22.0	157 52.3	41 13.7	13 4.3
	30代		300 100	14 4.7	63 21.0	169 56.3	30 10.0	24 8.0
	40代		300 100	9 3.0	43 14.3	194 64.7	39 13.0	15 5.0
	50代		300 100	11 3.7	38 12.7	202 67.3	38 12.7	11 3.7
	60代		300 100	8 2.7	35 11.7	204 68.0	46 15.3	7 2.3
	70代以上		300 100	4 1.3	51 17.0	187 62.3	48 16.0	10 3.3

Q40 「健康的な食事」についてお伺いします。

それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 健康的な食事は、私の食品選択にほとんど影響しない】

		度数 横%	全 体	非常にあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない
全 体			1800 100	59 3.3	328 18.2	896 49.8	422 23.4	95 5.3
地域	首都圏		900 100	28 3.1	169 18.8	432 48.0	212 23.6	59 6.6
	京阪神圏		900 100	31 3.4	159 17.7	464 51.6	210 23.3	36 4.0
年代	20代		300 100	17 5.7	52 17.3	142 47.3	73 24.3	16 5.3
	30代		300 100	15 5.0	51 17.0	142 47.3	67 22.3	25 8.3
	40代		300 100	7 2.3	54 18.0	169 56.3	55 18.3	15 5.0
	50代		300 100	10 3.3	52 17.3	155 51.7	69 23.0	14 4.7
	60代		300 100	5 1.7	51 17.0	154 51.3	76 25.3	14 4.7
	70代以上		300 100	5 1.7	68 22.7	134 44.7	82 27.3	11 3.7

【2. 健康的な食事にこだわりがある】

		度数 横%	全 体	非常にあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない
全 体			1800 100	135 7.5	548 30.4	822 45.7	252 14.0	43 2.4
地域	首都圏		900 100	72 8.0	289 32.1	381 42.3	135 15.0	23 2.6
	京阪神圏		900 100	63 7.0	259 28.8	441 49.0	117 13.0	20 2.2
年代	20代		300 100	29 9.7	78 26.0	135 45.0	51 17.0	7 2.3
	30代		300 100	26 8.7	83 27.7	145 48.3	36 12.0	10 3.3
	40代		300 100	14 4.7	76 25.3	136 45.3	63 21.0	11 3.7
	50代		300 100	25 8.3	76 25.3	157 52.3	33 11.0	9 3.0
	60代		300 100	18 6.0	97 32.3	144 48.0	35 11.7	6 2.0
	70代以上		300 100	23 7.7	138 46.0	105 35.0	34 11.3	0 0.0

【3. 好きなものを食べているので、健康的な食事はあまり気にしていない】

		度数 横%	全 体	非常にあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない
全 体			1800 100	72 4.0	370 20.6	832 46.2	429 23.8	97 5.4
地域	首都圏		900 100	35 3.9	188 20.9	402 44.7	215 23.9	60 6.7
	京阪神圏		900 100	37 4.1	182 20.2	430 47.8	214 23.8	37 4.1
年代	20代		300 100	23 7.7	79 26.3	140 46.7	48 16.0	10 3.3
	30代		300 100	17 5.7	63 21.0	144 48.0	58 19.3	18 6.0
	40代		300 100	13 4.3	69 23.0	151 50.3	52 17.3	15 5.0
	50代		300 100	9 3.0	47 15.7	156 52.0	70 23.3	18 6.0
	60代		300 100	7 2.3	58 19.3	122 40.7	94 31.3	19 6.3
	70代以上		300 100	3 1.0	54 18.0	119 39.7	107 35.7	17 5.7

Q41 「家畜福祉」についてお伺いします。

それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 家畜がより快適性に配慮して飼養管理されるなら、いまより割高な価格で畜産食品を購入したい】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	67 3.7	415 23.1	994 55.2	244 13.6	80 4.4
地域	首都圏		900 100	35 3.9	218 24.2	479 53.2	115 12.8	53 5.9
	京阪神圏		900 100	32 3.6	197 21.9	515 57.2	129 14.3	27 3.0
年代	20代		300 100	19 6.3	49 16.3	166 55.3	48 16.0	18 6.0
	30代		300 100	15 5.0	64 21.3	162 54.0	41 13.7	18 6.0
	40代		300 100	12 4.0	59 19.7	170 56.7	44 14.7	15 5.0
	50代		300 100	11 3.7	56 18.7	184 61.3	38 12.7	11 3.7
	60代		300 100	7 2.3	86 28.7	163 54.3	34 11.3	10 3.3
	70代以上		300 100	3 1.0	101 33.7	149 49.7	39 13.0	8 2.7

【2. 私は、家畜が苦しまなければならなかった畜産食品を購入しない】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	67 3.7	273 15.2	1021 56.7	320 17.8	119 6.6
地域	首都圏		900 100	28 3.1	142 15.8	506 56.2	146 16.2	78 8.7
	京阪神圏		900 100	39 4.3	131 14.6	515 57.2	174 19.3	41 4.6
年代	20代		300 100	23 7.7	54 18.0	172 57.3	30 10.0	21 7.0
	30代		300 100	16 5.3	61 20.3	154 51.3	43 14.3	26 8.7
	40代		300 100	8 2.7	40 13.3	184 61.3	48 16.0	20 6.7
	50代		300 100	8 2.7	46 15.3	178 59.3	49 16.3	19 6.3
	60代		300 100	8 2.7	42 14.0	170 56.7	61 20.3	19 6.3
	70代以上		300 100	4 1.3	30 10.0	163 54.3	89 29.7	14 4.7

【3. 感受性を持つ生き物である家畜を苦しませたくない】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	133 7.4	442 24.6	948 52.7	196 10.9	81 4.5
地域	首都圏		900 100	66 7.3	224 24.9	463 51.4	92 10.2	55 6.1
	京阪神圏		900 100	67 7.4	218 24.2	485 53.9	104 11.6	29 2.9
年代	20代		300 100	30 10.0	60 20.0	165 55.0	29 9.7	16 5.3
	30代		300 100	27 9.0	79 26.3	149 49.7	29 9.7	16 5.3
	40代		300 100	17 5.7	64 21.3	169 56.3	32 10.7	18 6.0
	50代		300 100	20 6.7	60 20.0	176 58.7	29 9.7	15 5.0
	60代		300 100	22 7.3	87 29.0	146 48.7	36 12.0	9 3.0
	70代以上		300 100	17 5.7	92 30.7	143 47.7	41 13.7	7 2.3

Q42 「食品と環境の影響」についてお伺いします。

それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 食品を購入する際、自分がその食品を使用することで地球環境にどの様な影響を与えるか考えるようにしている】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	65 3.6	290 16.1	895 49.7	414 23.0	136 7.6
地域	首都圏		900 100	36 4.0	152 16.9	453 50.3	177 19.7	82 9.1
	京阪神圏		900 100	29 3.2	138 15.3	442 49.1	237 26.3	54 6.0
年代	20代		300 100	19 6.3	57 19.0	138 46.0	58 19.3	28 9.3
	30代		300 100	19 6.3	50 16.7	130 43.3	68 22.7	33 11.0
	40代		300 100	10 3.3	46 15.3	158 52.7	62 20.7	24 8.0
	50代		300 100	10 3.3	39 13.0	165 55.0	63 21.0	23 7.7
	60代		300 100	5 1.7	43 14.3	155 51.7	80 26.7	17 5.7
	70代以上		300 100	2 0.7	55 18.3	149 49.7	83 27.7	11 3.7

【2. 現在地球に住んでいる全ての人に必要な栄養を供給できる能力を人類が持っているかどうか心配だ】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	108 6.0	490 27.2	922 51.2	194 10.8	86 4.8
地域	首都圏		900 100	66 7.3	260 28.9	436 48.4	84 9.3	54 6.0
	京阪神圏		900 100	42 4.7	230 25.6	486 54.0	110 12.2	32 3.6
年代	20代		300 100	27 9.0	78 26.0	144 48.0	35 11.7	16 5.3
	30代		300 100	19 6.3	70 23.3	146 48.7	40 13.3	25 8.3
	40代		300 100	16 5.3	73 24.3	170 56.7	26 8.7	15 5.0
	50代		300 100	13 4.3	62 20.7	175 58.3	32 10.7	18 6.0
	60代		300 100	17 5.7	91 30.3	154 51.3	30 10.0	8 2.7
	70代以上		300 100	16 5.3	116 38.7	133 44.3	31 10.3	4 1.3

【3. 地球上の全ての人を養うために、2050年までに何か劇的な変化が必要だ】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	123 6.8	534 29.7	937 52.1	148 8.2	58 3.2
地域	首都圏		900 100	72 8.0	264 29.3	463 51.4	68 7.6	33 3.7
	京阪神圏		900 100	51 5.7	270 30.0	474 52.7	80 8.9	25 2.8
年代	20代		300 100	27 9.0	85 28.3	141 47.0	33 11.0	14 4.7
	30代		300 100	17 5.7	81 27.0	160 53.3	29 9.7	13 4.3
	40代		300 100	17 5.7	84 28.0	160 53.3	28 9.3	11 3.7
	50代		300 100	18 6.0	74 24.7	175 58.3	22 7.3	11 3.7
	60代		300 100	25 8.3	93 31.0	155 51.7	20 6.7	7 2.3
	70代以上		300 100	19 6.3	117 39.0	146 48.7	16 5.3	2 0.7

Q43 「食肉の栄養」についてお伺いします。

それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 食肉を食べることは、必要な栄養素を得るために必要だ】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	238 13.2	926 51.4	549 30.5	63 3.5	24 1.3
地域	首都圏		900 100	131 14.6	468 52.0	261 29.0	23 2.6	17 1.9
	京阪神圏		900 100	107 11.9	458 50.9	288 32.0	40 4.4	7 0.8
年代	20代		300 100	47 15.7	123 41.0	100 33.3	23 7.7	7 2.3
	30代		300 100	53 17.7	135 45.0	95 31.7	11 3.7	6 2.0
	40代		300 100	37 12.3	137 45.7	108 36.0	12 4.0	6 2.0
	50代		300 100	39 13.0	150 50.0	102 34.0	5 1.7	4 1.3
	60代		300 100	31 10.3	182 60.7	81 27.0	6 2.0	0 0.0
	70代以上		300 100	31 10.3	199 66.3	63 21.0	6 2.0	1 0.3

【2. 食肉の栄養面でのメリットは、他のタンパク源で容易に補うことができる】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	105 5.8	603 33.5	864 48.0	197 10.9	31 1.7
地域	首都圏		900 100	55 6.1	300 33.3	430 47.8	96 10.7	19 2.1
	京阪神圏		900 100	50 5.6	303 33.7	434 48.2	101 11.2	12 1.3
年代	20代		300 100	28 9.3	92 30.7	139 46.3	35 11.7	6 2.0
	30代		300 100	24 8.0	92 30.7	138 46.0	37 12.3	9 3.0
	40代		300 100	19 6.3	98 32.7	146 48.7	32 10.7	5 1.7
	50代		300 100	17 5.7	97 32.3	152 50.7	26 8.7	8 2.7
	60代		300 100	9 3.0	120 40.0	143 47.7	27 9.0	1 0.3
	70代以上		300 100	8 2.7	104 34.7	146 48.7	40 13.3	2 0.7

【3. 食肉は、健康的でバランスのとれた食生活に欠かせない食品だ】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	188 10.4	904 50.2	623 34.6	67 3.7	18 1.0
地域	首都圏		900 100	107 11.9	467 51.9	286 31.8	27 3.0	13 1.4
	京阪神圏		900 100	81 9.0	437 48.6	337 37.4	40 4.4	5 0.6
年代	20代		300 100	38 12.7	138 46.0	104 34.7	16 5.3	4 1.3
	30代		300 100	40 13.3	138 46.0	106 35.3	12 4.0	4 1.3
	40代		300 100	32 10.7	135 45.0	114 38.0	15 5.0	4 1.3
	50代		300 100	34 11.3	138 46.0	117 39.0	7 2.3	4 1.3
	60代		300 100	18 6.0	170 56.7	103 34.3	9 3.0	0 0.0
	70代以上		300 100	26 8.7	185 61.7	79 26.3	8 2.7	2 0.7

Q44 「食肉」についてお伺いします。

それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 食肉の味（風味）は、私にとって重要だ】

		度数 横%	全 体	非常にあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない
全 体			1800 100	277 15.4	882 49.0	522 29.0	92 5.1	27 1.5
地域	首都圏		900 100	153 17.0	445 49.4	243 27.0	41 4.6	18 2.0
	京阪神圏		900 100	124 13.8	437 48.6	279 31.0	51 5.7	9 1.0
年代	20代		300 100	58 19.3	109 36.3	96 32.0	30 10.0	7 2.3
	30代		300 100	54 18.0	132 44.0	93 31.0	16 5.3	5 1.7
	40代		300 100	52 17.3	135 45.0	94 31.3	15 5.0	4 1.3
	50代		300 100	49 16.3	146 48.7	89 29.7	10 3.3	6 2.0
	60代		300 100	36 12.0	169 56.3	83 27.7	9 3.0	3 1.0
	70代以上		300 100	28 9.3	191 63.7	67 22.3	12 4.0	2 0.7

【2. 食肉の食感は、私にとって重要だ】

		度数 横%	全 体	非常にあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない
全 体			1800 100	215 11.9	878 48.8	604 33.6	75 4.2	28 1.6
地域	首都圏		900 100	116 12.9	446 49.6	291 32.3	29 3.2	18 2.0
	京阪神圏		900 100	99 11.0	432 48.0	313 34.8	46 5.1	10 1.1
年代	20代		300 100	47 15.7	123 41.0	104 34.7	19 6.3	7 2.3
	30代		300 100	45 15.0	134 44.7	103 34.3	13 4.3	5 1.7
	40代		300 100	40 13.3	140 46.7	101 33.7	12 4.0	7 2.3
	50代		300 100	34 11.3	145 48.3	108 36.0	8 2.7	5 1.7
	60代		300 100	25 8.3	158 52.7	100 33.3	14 4.7	3 1.0
	70代以上		300 100	24 8.0	178 59.3	88 29.3	9 3.0	1 0.3

【3. 食肉の香りは、私にとって重要だ】

		度数 横%	全 体	非常にあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない
全 体			1800 100	192 10.7	736 40.9	713 39.6	122 6.8	37 2.1
地域	首都圏		900 100	108 12.0	382 42.4	331 36.8	58 6.4	21 2.3
	京阪神圏		900 100	84 9.3	354 39.3	382 42.4	64 7.1	16 1.8
年代	20代		300 100	46 15.3	115 38.3	109 36.3	23 7.7	7 2.3
	30代		300 100	39 13.0	121 40.3	116 38.7	18 6.0	6 2.0
	40代		300 100	45 15.0	113 37.7	115 38.3	17 5.7	10 3.3
	50代		300 100	27 9.0	127 42.3	124 41.3	16 5.3	6 2.0
	60代		300 100	19 6.3	133 44.3	120 40.0	22 7.3	6 2.0
	70代以上		300 100	16 5.3	127 42.3	129 43.0	26 8.7	2 0.7

Q45 植物肉についてお伺いします。

それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 植物肉は、通常の食肉よりも低カロリー・低脂質だ】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	198 11.0	757 42.1	716 39.8	100 5.6	29 1.6
地域	首都圏		900 100	99 11.0	403 44.8	343 38.1	39 4.3	16 1.8
	京阪神圏		900 100	99 11.0	354 39.3	373 41.4	61 6.8	13 1.4
年代	20代		300 100	37 12.3	105 35.0	120 40.0	30 10.0	8 2.7
	30代		300 100	39 13.0	102 34.0	134 44.7	17 5.7	8 2.7
	40代		300 100	28 9.3	121 40.3	127 42.3	20 6.7	4 1.3
	50代		300 100	36 12.0	131 43.7	118 39.3	9 3.0	6 2.0
	60代		300 100	31 10.3	142 47.3	117 39.0	9 3.0	1 0.3
	70代以上		300 100	27 9.0	156 52.0	100 33.3	15 5.0	2 0.7

【2. 植物肉は、植物たんぱく質由来の主原料と、安全とその有効性が科学的に認められ法的に使用が許可された添加物から製造されるので、食べても安全だ】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	114 6.3	628 34.9	931 51.7	97 5.4	30 1.7
地域	首都圏		900 100	63 7.0	331 36.8	443 49.2	48 5.3	15 1.7
	京阪神圏		900 100	51 5.7	297 33.0	488 54.2	49 5.4	15 1.7
年代	20代		300 100	33 11.0	90 30.0	149 49.7	23 7.7	5 1.7
	30代		300 100	20 6.7	97 32.3	162 54.0	10 3.3	11 3.7
	40代		300 100	14 4.7	98 32.7	167 55.7	15 5.0	6 2.0
	50代		300 100	11 3.7	89 29.7	175 58.3	19 6.3	6 2.0
	60代		300 100	15 5.0	116 38.7	155 51.7	13 4.3	1 0.3
	70代以上		300 100	21 7.0	138 46.0	123 41.0	17 5.7	1 0.3

【3. 植物肉は、栄養価が高い】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	89 4.9	496 27.6	1036 57.6	154 8.6	25 1.4
地域	首都圏		900 100	42 4.7	258 28.7	515 57.2	75 8.3	10 1.1
	京阪神圏		900 100	47 5.2	238 26.4	521 57.9	79 8.8	15 1.7
年代	20代		300 100	32 10.7	74 24.7	148 49.3	43 14.3	3 1.0
	30代		300 100	14 4.7	92 30.7	163 54.3	21 7.0	10 3.3
	40代		300 100	12 4.0	75 25.0	174 58.0	34 11.3	5 1.7
	50代		300 100	14 4.7	90 30.0	178 59.3	14 4.7	4 1.3
	60代		300 100	9 3.0	77 25.7	196 65.3	17 5.7	1 0.3
	70代以上		300 100	8 2.7	88 29.3	177 59.0	25 8.3	2 0.7

【4. 植物肉は、その生産に伴う環境負荷が比較的小さいので、より持続可能である】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	113 6.3	562 31.2	998 55.4	101 5.6	26 1.4
地域	首都圏		900 100	58 6.4	308 34.2	470 52.2	48 5.3	16 1.8
	京阪神圏		900 100	55 6.1	254 28.2	528 58.7	53 5.9	10 1.1
年代	20代		300 100	33 11.0	87 29.0	156 52.0	18 6.0	6 2.0
	30代		300 100	21 7.0	88 29.3	163 54.3	19 6.3	9 3.0
	40代		300 100	11 3.7	86 28.7	176 58.7	22 7.3	5 1.7
	50代		300 100	11 3.7	82 27.3	191 63.7	12 4.0	4 1.3
	60代		300 100	19 6.3	105 35.0	165 55.0	11 3.7	0 0.0
	70代以上		300 100	18 6.0	114 38.0	147 49.0	19 6.3	2 0.7

【5. 植物肉は、家畜の食肉処理を必要としないので、家畜に優しい】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	203 11.3	659 36.6	811 45.1	104 5.8	23 1.3
地域	首都圏		900 100	117 13.0	331 36.8	394 43.8	45 5.0	13 1.4
	京阪神圏		900 100	86 9.6	328 36.4	417 46.3	59 6.6	10 1.1
年代	20代		300 100	43 14.3	90 30.0	139 46.3	24 8.0	4 1.3
	30代		300 100	29 9.7	99 33.0	146 48.7	18 6.0	8 2.7
	40代		300 100	35 11.7	98 32.7	141 47.0	23 7.7	3 1.0
	50代		300 100	28 9.3	116 38.7	145 48.3	7 2.3	4 1.3
	60代		300 100	26 8.7	137 45.7	124 41.3	12 4.0	1 0.3
	70代以上		300 100	42 14.0	119 39.7	116 38.7	20 6.7	3 1.0

【6. 食肉の消費を植物肉に切り替えることで、家畜由来の感染症リスクを低減できる】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	159 8.8	631 35.1	919 51.1	68 3.8	23 1.3
地域	首都圏		900 100	90 10.0	330 36.7	438 48.7	30 3.3	12 1.3
	京阪神圏		900 100	69 7.7	301 33.4	481 53.4	38 4.2	11 1.2
年代	20代		300 100	39 13.0	93 31.0	153 51.0	11 3.7	4 1.3
	30代		300 100	31 10.3	91 30.3	160 53.3	11 3.7	7 2.3
	40代		300 100	22 7.3	89 29.7	171 57.0	14 4.7	4 1.3
	50代		300 100	24 8.0	99 33.0	164 54.7	8 2.7	5 1.7
	60代		300 100	24 8.0	124 41.3	141 47.0	10 3.3	1 0.3
	70代以上		300 100	19 6.3	135 45.0	130 43.3	14 4.7	2 0.7

Q46 植物肉についてお伺いします。

それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 植物肉を購入することで、貴重な地球環境資源を節約できる】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	103 5.7	586 32.6	906 50.3	162 9.0	43 2.4
地域	首都圏		900 100	59 6.6	303 33.7	443 49.2	71 7.9	24 2.7
	京阪神圏		900 100	44 4.9	283 31.4	463 51.4	91 10.1	19 2.1
年代	20代		300 100	22 7.3	87 29.0	148 49.3	33 11.0	10 3.3
	30代		300 100	18 6.0	84 28.0	157 52.3	29 9.7	12 4.0
	40代		300 100	10 3.3	83 27.7	162 54.0	38 12.7	7 2.3
	50代		300 100	15 5.0	99 33.0	159 53.0	19 6.3	8 2.7
	60代		300 100	21 7.0	102 34.0	152 50.7	21 7.0	4 1.3
	70代以上		300 100	17 5.7	131 43.7	128 42.7	22 7.3	2 0.7

【2. 植物肉を購入することで、地球環境を守ることができる】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	110 6.1	541 30.1	954 53.0	149 8.3	46 2.6
地域	首都圏		900 100	59 6.6	292 32.4	450 50.0	79 8.8	20 2.2
	京阪神圏		900 100	51 5.7	249 27.7	504 56.0	70 7.8	26 2.9
年代	20代		300 100	26 8.7	92 30.7	144 48.0	30 10.0	8 2.7
	30代		300 100	22 7.3	72 24.0	168 56.0	24 8.0	14 4.7
	40代		300 100	12 4.0	76 25.3	173 57.7	32 10.7	7 2.3
	50代		300 100	14 4.7	91 30.3	168 56.0	19 6.3	8 2.7
	60代		300 100	19 6.3	91 30.3	158 52.7	26 8.7	6 2.0
	70代以上		300 100	17 5.7	119 39.7	143 47.7	18 6.0	3 1.0

【3. 植物肉を購入することで、地球環境問題を軽減することができる】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	126 7.0	524 29.1	950 52.8	160 8.9	40 2.2
地域	首都圏		900 100	70 7.8	280 31.1	452 50.2	79 8.8	19 2.1
	京阪神圏		900 100	56 6.2	244 27.1	498 55.3	81 9.0	21 2.3
年代	20代		300 100	30 10.0	79 26.3	151 50.3	34 11.3	6 2.0
	30代		300 100	20 6.7	80 26.7	165 55.0	23 7.7	12 4.0
	40代		300 100	17 5.7	66 22.0	172 57.3	37 12.3	8 2.7
	50代		300 100	17 5.7	88 29.3	164 54.7	25 8.3	6 2.0
	60代		300 100	19 6.3	92 30.7	158 52.7	26 8.7	5 1.7
	70代以上		300 100	23 7.7	119 39.7	140 46.7	15 5.0	3 1.0

Q47 植物肉についてお伺いします。

それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 今後は、植物肉を購入するつもりだ】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	54 3.0	261 14.5	918 51.0	416 23.1	151 8.4
地域	首都圏		900 100	29 3.2	133 14.8	451 50.1	198 22.0	89 9.9
	京阪神圏		900 100	25 2.8	128 14.2	467 51.9	218 24.2	62 6.9
年代	20代		300 100	17 5.7	43 14.3	132 44.0	78 26.0	30 10.0
	30代		300 100	9 3.0	50 16.7	143 47.7	71 23.7	27 9.0
	40代		300 100	9 3.0	26 8.7	161 53.7	70 23.3	34 11.3
	50代		300 100	12 4.0	44 14.7	151 50.3	70 23.3	23 7.7
	60代		300 100	6 2.0	45 15.0	167 55.7	59 19.7	23 7.7
	70代以上		300 100	1 0.3	53 17.7	164 54.7	68 22.7	14 4.7

【2. 動物性食品の代わりに、植物肉を購入するつもりだ】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	58 3.2	246 13.7	953 52.9	391 21.7	152 8.4
地域	首都圏		900 100	30 3.3	129 14.3	466 51.8	181 20.1	94 10.4
	京阪神圏		900 100	28 3.1	117 13.0	487 54.1	210 23.3	58 6.4
年代	20代		300 100	19 6.3	49 16.3	145 48.3	60 20.0	27 9.0
	30代		300 100	13 4.3	41 13.7	156 52.0	59 19.7	31 10.3
	40代		300 100	9 3.0	32 10.7	160 53.3	64 21.3	35 11.7
	50代		300 100	9 3.0	39 13.0	160 53.3	71 23.7	21 7.0
	60代		300 100	5 1.7	36 12.0	172 57.3	63 21.0	24 8.0
	70代以上		300 100	3 1.0	49 16.3	160 53.3	74 24.7	14 4.7

【3. 植物肉の購入を検討している】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	70 3.9	365 20.3	833 46.3	372 20.7	160 8.9
地域	首都圏		900 100	35 3.9	191 21.2	410 45.6	177 19.7	87 9.7
	京阪神圏		900 100	35 3.9	174 19.3	423 47.0	195 21.7	73 8.1
年代	20代		300 100	21 7.0	73 24.3	132 44.0	48 16.0	26 8.7
	30代		300 100	15 5.0	57 19.0	142 47.3	56 18.7	30 10.0
	40代		300 100	7 2.3	52 17.3	138 46.0	68 22.7	35 11.7
	50代		300 100	14 4.7	51 17.0	146 48.7	65 21.7	24 8.0
	60代		300 100	8 2.7	63 21.0	137 45.7	65 21.7	27 9.0
	70代以上		300 100	5 1.7	69 23.0	138 46.0	70 23.3	18 6.0

【4. 植物肉を店頭で見かけたら、購入を考えたい】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	65 3.6	459 25.5	802 44.6	338 18.8	136 7.6
地域	首都圏		900 100	37 4.1	239 26.6	402 44.7	148 16.4	74 8.2
	京阪神圏		900 100	28 3.1	220 24.4	400 44.4	190 21.1	62 6.9
年代	20代		300 100	22 7.3	77 25.7	120 40.0	55 18.3	26 8.7
	30代		300 100	12 4.0	75 25.0	140 46.7	48 16.0	25 8.3
	40代		300 100	9 3.0	73 24.3	130 43.3	61 20.3	27 9.0
	50代		300 100	10 3.3	65 21.7	149 49.7	56 18.7	20 6.7
	60代		300 100	8 2.7	76 25.3	138 46.0	57 19.0	21 7.0
	70代以上		300 100	4 1.3	93 31.0	125 41.7	61 20.3	17 5.7

【5. 植物肉製品は気味が悪く嫌悪感を催すので、購入しない】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	59 3.3	227 12.6	924 51.3	441 24.5	149 8.3
地域	首都圏		900 100	29 3.2	107 11.9	457 50.8	215 23.9	92 10.2
	京阪神圏		900 100	30 3.3	120 13.3	467 51.9	226 25.1	57 6.3
年代	20代		300 100	17 5.7	62 20.7	139 46.3	60 20.0	22 7.3
	30代		300 100	12 4.0	36 12.0	161 53.7	57 19.0	34 11.3
	40代		300 100	10 3.3	35 11.7	158 52.7	72 24.0	25 8.3
	50代		300 100	6 2.0	32 10.7	163 54.3	70 23.3	29 9.7
	60代		300 100	5 1.7	35 11.7	156 52.0	81 27.0	23 7.7
	70代以上		300 100	9 3.0	27 9.0	147 49.0	101 33.7	16 5.3

【6. 植物肉製品の安全性に不安があるので、購入しない】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	68 3.8	230 12.8	985 54.7	400 22.2	117 6.5
地域	首都圏		900 100	28 3.1	106 11.8	491 54.6	200 22.2	75 8.3
	京阪神圏		900 100	40 4.4	124 13.8	494 54.9	200 22.2	42 4.7
年代	20代		300 100	18 6.0	58 19.3	148 49.3	56 18.7	20 6.7
	30代		300 100	15 5.0	38 12.7	162 54.0	59 19.7	26 8.7
	40代		300 100	10 3.3	38 12.7	165 55.0	67 22.3	20 6.7
	50代		300 100	11 3.7	32 10.7	178 59.3	56 18.7	23 7.7
	60代		300 100	11 3.7	34 11.3	170 56.7	70 23.3	15 5.0
	70代以上		300 100	3 1.0	30 10.0	162 54.0	92 30.7	13 4.3

Q48 「食用動物の細胞を培養して生産する代替肉<細胞培養肉>」についてお伺いします。

細胞培養肉は、食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉です。

細胞採取工程以外は、既存の家畜を用いず、室内で人工的に肉を生産します。家畜を飼養・食肉処理することなく、食肉を再現できる新規食品分野の技術として、国内外で実用化に向けた開発が進められていますが、培養液の開発と量産化が大きな課題です。昨年12月にシンガポール政府は世界で初めて培養鶏肉の国内販売を承認しました。

細胞培養肉について、あなたはどの程度ご存じですか。最も近いものを1つだけお選びください。

度数 横%		全 体	詳しく 知っている	ある程度 知っている	何となく 知っている	あまりよく 知らない	知らない	全く知らない
全 体		1800 100	31 1.7	119 6.6	208 11.6	371 20.6	381 21.2	690 38.3
地域	首都圏	900 100	12 1.3	60 6.7	109 12.1	173 19.2	207 23.0	339 37.7
	京阪神圏	900 100	19 2.1	59 6.6	99 11.0	198 22.0	174 19.3	351 39.0
年代	20代	300 100	8 2.7	34 11.3	34 11.3	58 19.3	60 20.0	106 35.3
	30代	300 100	14 4.7	19 6.3	39 13.0	57 19.0	43 14.3	128 42.7
	40代	300 100	3 1.0	22 7.3	28 9.3	65 21.7	56 18.7	126 42.0
	50代	300 100	4 1.3	12 4.0	38 12.7	60 20.0	63 21.0	123 41.0
	60代	300 100	2 0.7	19 6.3	34 11.3	70 23.3	79 26.3	96 32.0
	70代以上	300 100	0 0.0	13 4.3	35 11.7	61 20.3	80 26.7	111 37.0

Q49 「食用動物の細胞を培養して生産する代替肉<細胞培養肉>」についてお伺いします。

細胞培養肉は、食用動物の細胞を人工培養して生産する食肉です。

細胞採取工程以外は、既存の家畜を用いず、室内で人工的に肉を生産します。家畜を飼養・食肉処理することなく、食肉を再現できる新規食品分野の技術として、国内外で実用化に向けた開発が進められていますが、培養液の開発と量産化が大きな課題です。昨年12月にシンガポール政府は世界で初めて培養鶏肉の国内販売を承認しました。

それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 市場販売されたら、細胞培養肉を購入するつもりだ】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	31 1.7	155 8.6	819 45.5	522 29.0	273 15.2
地域	首都圏		900 100	12 1.3	83 9.2	423 47.0	244 27.1	138 15.3
	京阪神圏		900 100	19 2.1	72 8.0	396 44.0	278 30.9	135 15.0
年代	20代		300 100	12 4.0	38 12.7	135 45.0	74 24.7	41 13.7
	30代		300 100	8 2.7	32 10.7	135 45.0	82 27.3	43 14.3
	40代		300 100	4 1.3	22 7.3	135 45.0	82 27.3	57 19.0
	50代		300 100	4 1.3	25 8.3	132 44.0	88 29.3	51 17.0
	60代		300 100	3 1.0	19 6.3	139 46.3	101 33.7	38 12.7
	70代以上		300 100	0 0.0	19 6.3	143 47.7	95 31.7	43 14.3

【2. 市場販売されたら、食肉の代わりに、細胞培養肉を購入するつもりだ】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	38 2.1	136 7.6	854 47.4	504 28.0	268 14.9
地域	首都圏		900 100	18 2.0	71 7.9	443 49.2	234 26.0	134 14.9
	京阪神圏		900 100	20 2.2	65 7.2	411 45.7	270 30.0	134 14.9
年代	20代		300 100	12 4.0	46 15.3	141 47.0	66 22.0	35 11.7
	30代		300 100	9 3.0	24 8.0	148 49.3	77 25.7	42 14.0
	40代		300 100	9 3.0	15 5.0	137 45.7	78 26.0	61 20.3
	50代		300 100	4 1.3	14 4.7	146 48.7	88 29.3	48 16.0
	60代		300 100	3 1.0	19 6.3	137 45.7	100 33.3	41 13.7
	70代以上		300 100	1 0.3	18 6.0	145 48.3	95 31.7	41 13.7

【3. 市場販売されたら、細胞培養肉の購入を検討したい】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	45 2.5	189 10.5	835 46.4	484 26.9	247 13.7
地域	首都圏		900 100	27 3.0	100 11.1	429 47.7	218 24.2	126 14.0
	京阪神圏		900 100	18 2.0	89 9.9	406 45.1	266 29.6	121 13.4
年代	20代		300 100	19 6.3	45 15.0	136 45.3	68 22.7	32 10.7
	30代		300 100	9 3.0	34 11.3	139 46.3	77 25.7	41 13.7
	40代		300 100	5 1.7	30 10.0	140 46.7	70 23.3	55 18.3
	50代		300 100	3 1.0	26 8.7	144 48.0	82 27.3	45 15.0
	60代		300 100	5 1.7	21 7.0	140 46.7	94 31.3	40 13.3
	70代以上		300 100	4 1.3	33 11.0	136 45.3	93 31.0	34 11.3

【4. 市場販売され、細胞培養肉を店頭で見かけたら、購入を考えたい】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	50 2.8	198 11.0	833 46.3	469 26.1	250 13.9
地域	首都圏		900 100	24 2.7	105 11.7	439 48.8	202 22.4	130 14.4
	京阪神圏		900 100	26 2.9	93 10.3	394 43.8	267 29.7	120 13.3
年代	20代		300 100	21 7.0	53 17.7	137 45.7	56 18.7	33 11.0
	30代		300 100	12 4.0	30 10.0	148 49.3	70 23.3	40 13.3
	40代		300 100	6 2.0	33 11.0	135 45.0	69 23.0	57 19.0
	50代		300 100	5 1.7	29 9.7	134 44.7	87 29.0	45 15.0
	60代		300 100	3 1.0	23 7.7	140 46.7	94 31.3	40 13.3
	70代以上		300 100	3 1.0	30 10.0	139 46.3	93 31.0	35 11.7

【5. 細胞培養肉は気味が悪く嫌悪感を催すので、購入しない】

		度数 横%	全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体			1800 100	139 7.7	338 18.8	936 52.0	283 15.7	104 5.8
地域	首都圏		900 100	72 8.0	166 18.4	467 51.9	137 15.2	58 6.4
	京阪神圏		900 100	67 7.4	172 19.1	469 52.1	146 16.2	46 5.1
年代	20代		300 100	20 6.7	65 21.7	144 48.0	56 18.7	15 5.0
	30代		300 100	22 7.3	57 19.0	162 54.0	36 12.0	23 7.7
	40代		300 100	28 9.3	53 17.7	155 51.7	43 14.3	21 7.0
	50代		300 100	23 7.7	52 17.3	163 54.3	43 14.3	19 6.3
	60代		300 100	28 9.3	56 18.7	158 52.7	43 14.3	15 5.0
	70代以上		300 100	18 6.0	55 18.3	154 51.3	62 20.7	11 3.7

【6. 細胞培養肉の安全性に不安があるので、購入しない】

度数 横%		全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体		1800 100	153 8.5	402 22.3	894 49.7	255 14.2	96 5.3
地域	首都圏	900 100	79 8.8	190 21.1	452 50.2	125 13.9	54 6.0
	京阪神圏	900 100	74 8.2	212 23.6	442 49.1	130 14.4	42 4.7
年代	20代	300 100	29 9.7	73 24.3	140 46.7	44 14.7	14 4.7
	30代	300 100	27 9.0	62 20.7	155 51.7	38 12.7	18 6.0
	40代	300 100	29 9.7	65 21.7	144 48.0	42 14.0	20 6.7
	50代	300 100	23 7.7	67 22.3	154 51.3	37 12.3	19 6.3
	60代	300 100	27 9.0	68 22.7	149 49.7	43 14.3	13 4.3
	70代以上	300 100	18 6.0	67 22.3	152 50.7	51 17.0	12 4.0

【7. 細胞培養肉は、その生産が自然と人間のかかわりを失わせるので、購入しない】

度数 横%		全 体	非常にそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない
全 体		1800 100	92 5.1	272 15.1	1046 58.1	284 15.8	106 5.9
地域	首都圏	900 100	43 4.8	123 13.7	546 60.7	125 13.9	63 7.0
	京阪神圏	900 100	49 5.4	149 16.6	500 55.6	159 17.7	43 4.8
年代	20代	300 100	21 7.0	52 17.3	162 54.0	47 15.7	18 6.0
	30代	300 100	14 4.7	37 12.3	187 62.3	44 14.7	18 6.0
	40代	300 100	17 5.7	50 16.7	166 55.3	42 14.0	25 8.3
	50代	300 100	13 4.3	34 11.3	188 62.7	44 14.7	21 7.0
	60代	300 100	18 6.0	48 16.0	169 56.3	53 17.7	12 4.0
	70代以上	300 100	9 3.0	51 17.0	174 58.0	54 18.0	12 4.0

Q50 あなたは「新型コロナウイルス感染症」やそれに伴うことがらについて不安を感じますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 自分の感染】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	521 28.9	687 38.2	390 21.7	153 8.5	49 2.7
地域	首都圏		900 100	261 29.0	369 41.0	179 19.9	72 8.0	19 2.1
	京阪神圏		900 100	260 28.9	318 35.3	211 23.4	81 9.0	30 3.3
年代	20代		300 100	86 28.7	99 33.0	72 24.0	33 11.0	10 3.3
	30代		300 100	94 31.3	97 32.3	73 24.3	25 8.3	11 3.7
	40代		300 100	78 26.0	113 37.7	75 25.0	25 8.3	9 3.0
	50代		300 100	98 32.7	110 36.7	65 21.7	20 6.7	7 2.3
	60代		300 100	82 27.3	127 42.3	68 22.7	17 5.7	6 2.0
	70代以上		300 100	83 27.7	141 47.0	37 12.3	33 11.0	6 2.0

【2. 家族の感染】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	576 32.0	665 36.9	406 22.6	100 5.6	53 2.9
地域	首都圏		900 100	299 33.2	337 37.4	195 21.7	42 4.7	27 3.0
	京阪神圏		900 100	277 30.8	328 36.4	211 23.4	58 6.4	26 2.9
年代	20代		300 100	88 29.3	101 33.7	86 28.7	17 5.7	8 2.7
	30代		300 100	111 37.0	90 30.0	78 26.0	12 4.0	9 3.0
	40代		300 100	96 32.0	105 35.0	70 23.3	19 6.3	10 3.3
	50代		300 100	105 35.0	102 34.0	67 22.3	15 5.0	11 3.7
	60代		300 100	87 29.0	126 42.0	65 21.7	14 4.7	8 2.7
	70代以上		300 100	89 29.7	141 47.0	40 13.3	23 7.7	7 2.3

【3. 友人・知人・同僚など身近な人の感染】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	394 21.9	731 40.6	522 29.0	107 5.9	46 2.6
地域	首都圏	900 100	202 22.4	364 40.4	263 29.2	46 5.1	25 2.8
	京阪神圏	900 100	192 21.3	367 40.8	259 28.8	61 6.8	21 2.3
年代	20代	300 100	72 24.0	110 36.7	88 29.3	20 6.7	10 3.3
	30代	300 100	79 26.3	103 34.3	96 32.0	14 4.7	8 2.7
	40代	300 100	58 19.3	114 38.0	96 32.0	20 6.7	12 4.0
	50代	300 100	76 25.3	107 35.7	87 29.0	22 7.3	8 2.7
	60代	300 100	56 18.7	136 45.3	88 29.3	14 4.7	6 2.0
	70代以上	300 100	53 17.7	161 53.7	67 22.3	17 5.7	2 0.7

【4. 医療提供体制の逼迫】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	505 28.1	662 36.8	518 28.8	75 4.2	40 2.2
地域	首都圏	900 100	269 29.9	351 39.0	229 25.4	32 3.6	19 2.1
	京阪神圏	900 100	236 26.2	311 34.6	289 32.1	43 4.8	21 2.3
年代	20代	300 100	84 28.0	92 30.7	97 32.3	13 4.3	14 4.7
	30代	300 100	79 26.3	100 33.3	100 33.3	13 4.3	8 2.7
	40代	300 100	78 26.0	97 32.3	101 33.7	20 6.7	4 1.3
	50代	300 100	90 30.0	107 35.7	88 29.3	8 2.7	7 2.3
	60代	300 100	90 30.0	119 39.7	77 25.7	8 2.7	6 2.0
	70代以上	300 100	84 28.0	147 49.0	55 18.3	13 4.3	1 0.3

【5. 収入の減少や雇用の不安】

度数 横%		全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体		1800 100	423 23.5	570 31.7	597 33.2	146 8.1	64 3.6
地域	首都圏	900 100	212 23.6	297 33.0	288 32.0	74 8.2	29 3.2
	京阪神圏	900 100	211 23.4	273 30.3	309 34.3	72 8.0	35 3.9
年代	20代	300 100	81 27.0	81 27.0	98 32.7	29 9.7	11 3.7
	30代	300 100	87 29.0	83 27.7	97 32.3	21 7.0	12 4.0
	40代	300 100	76 25.3	95 31.7	106 35.3	20 6.7	3 1.0
	50代	300 100	83 27.7	97 32.3	92 30.7	20 6.7	8 2.7
	60代	300 100	60 20.0	112 37.3	97 32.3	21 7.0	10 3.3
	70代以上	300 100	36 12.0	102 34.0	107 35.7	35 11.7	20 6.7

【6. 外食・外出・旅行・娯楽など行動の制限】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	385 21.4	666 37.0	561 31.2	128 7.1	60 3.3
地域	首都圏		900 100	199 22.1	351 39.0	262 29.1	56 6.2	32 3.6
	京阪神圏		900 100	186 20.7	315 35.0	299 33.2	72 8.0	28 3.1
年代	20代		300 100	70 23.3	101 33.7	100 33.3	19 6.3	10 3.3
	30代		300 100	66 22.0	102 34.0	103 34.3	18 6.0	11 3.7
	40代		300 100	56 18.7	98 32.7	110 36.7	24 8.0	12 4.0
	50代		300 100	68 22.7	108 36.0	102 34.0	11 3.7	11 3.7
	60代		300 100	63 21.0	126 42.0	78 26.0	24 8.0	9 3.0
	70代以上		300 100	62 20.7	131 43.7	68 22.7	32 10.7	7 2.3

【7. 友人・知人・同僚などとのコミュニケーション不足・人間関係】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	318 17.7	638 35.4	646 35.9	133 7.4	65 3.6
地域	首都圏		900 100	163 18.1	340 37.8	308 34.2	57 6.3	32 3.6
	京阪神圏		900 100	155 17.2	298 33.1	338 37.6	76 8.4	33 3.7
年代	20代		300 100	55 18.3	96 32.0	110 36.7	26 8.7	13 4.3
	30代		300 100	52 17.3	99 33.0	116 38.7	21 7.0	12 4.0
	40代		300 100	44 14.7	95 31.7	124 41.3	22 7.3	15 5.0
	50代		300 100	58 19.3	99 33.0	118 39.3	15 5.0	10 3.3
	60代		300 100	56 18.7	125 41.7	86 28.7	24 8.0	9 3.0
	70代以上		300 100	53 17.7	124 41.3	92 30.7	25 8.3	6 2.0

Q51 あなたは「新型コロナウイルス感染症」の流行により、今年の今頃と 比べ、食肉（牛肉・豚肉・鶏肉）の購入や調理、中食や外食など食生活について変化がありますか。あてはまるものを全てお選びください。

	度数 横%	全 体	購入/ 食肉の購入回数を減 らして、まとめて購入 するようになった	食肉の購入回数を増 やして、少量を購入 するようになった	食肉をネットスーパ ーで購入するようにな った・購入が増えた	冷凍の食肉を購入す るようになった・購入 が増えた	店頭で高級な食肉を 購入するようになった・ 購入が増えた	インターネットや通販 で高級な食肉を購入 するようになった・購入 が増えた	食肉加工品(ハム・ ベーコン・ソーセージなど) を購入するようにな った・購入が増えた
			全 体	1800 100	461 25.6	93 5.2	121 6.7	137 7.6	86 4.8
地域									
首都圏	900 100	243 27.0	45 5.0	65 7.2	67 7.4	50 5.6	42 4.7	63 7.0	
京阪神圏	900 100	218 24.2	48 5.3	56 6.2	70 7.8	36 4.0	32 3.6	47 5.2	
年代									
20代	300 100	80 26.7	24 8.0	30 10.0	30 10.0	19 6.3	22 7.3	21 7.0	
30代	300 100	90 30.0	15 5.0	29 9.7	27 9.0	14 4.7	13 4.3	18 6.0	
40代	300 100	78 26.0	15 5.0	27 9.0	17 5.7	21 7.0	14 4.7	19 6.3	
50代	300 100	66 22.0	11 3.7	12 4.0	27 9.0	14 4.7	8 2.7	12 4.0	
60代	300 100	72 24.0	7 2.3	16 5.3	18 6.0	4 1.3	8 2.7	18 6.0	
70代以上	300 100	75 25.0	21 7.0	7 2.3	18 6.0	14 4.7	9 3.0	22 7.3	

	度数 横%	全 体	購入/ 味付け肉を購入する ようになった・購入が 増えた	ミールキットの食肉 (カット済みの肉・野菜・ 調味料などの材料とレシ ビが同梱)を購入するよ うになった・購入が増 えた	調理/ 普段作らなかつた肉 料理を作るようになった	料理本・レシピサイト などをみて、普段作ら なかつた肉料理を作る ようになった	手間や時間がかかる 肉料理を作るように なった	簡単・時短の肉料理 を作るようになった	作り置きできる肉料 理を作るようになった
			全 体	1800 100	49 2.7	46 2.6	104 5.8	154 8.6	92 5.1
地域									
首都圏	900 100	28 3.1	19 2.1	60 6.7	86 9.6	55 6.1	100 11.1	71 7.9	
京阪神圏	900 100	21 2.3	27 3.0	44 4.9	68 7.6	37 4.1	97 10.8	49 5.4	
年代									
20代	300 100	8 2.7	8 2.7	25 8.3	35 11.7	19 6.3	29 9.7	21 7.0	
30代	300 100	4 1.3	8 2.7	20 6.7	22 7.3	12 4.0	32 10.7	21 7.0	
40代	300 100	9 3.0	5 1.7	18 6.0	28 9.3	20 6.7	36 12.0	19 6.3	
50代	300 100	9 3.0	10 3.3	13 4.3	21 7.0	14 4.7	21 7.0	15 5.0	
60代	300 100	12 4.0	5 1.7	17 5.7	22 7.3	8 2.7	25 8.3	18 6.0	
70代以上	300 100	7 2.3	10 3.3	11 3.7	26 8.7	19 6.3	54 18.0	26 8.7	

	度数 横%	全 体	調理/ 冷凍保存できる肉料 理を作るようになった	肉料理をあまり作ら なかつた	中食・外食/ 外食の機会が減った	外食の機会が増えた	惣菜や調理済み食 品の購入が増えた	弁当の購入が増えた	持ち帰り・テイクアウト の利用が増えた
			全 体	1800 100	97 5.4	45 2.5	811 45.1	31 1.7	179 9.9
地域									
首都圏	900 100	57 6.3	23 2.6	427 47.4	17 1.9	98 10.9	89 9.9	167 18.6	
京阪神圏	900 100	40 4.4	22 2.4	384 42.7	14 1.6	81 9.0	68 7.6	109 12.1	
年代									
20代	300 100	19 6.3	6 2.0	90 30.0	9 3.0	26 8.7	24 8.0	43 14.3	
30代	300 100	13 4.3	5 1.7	111 37.0	9 3.0	26 8.7	25 8.3	50 16.7	
40代	300 100	17 5.7	5 1.7	151 50.3	2 0.7	35 11.7	29 9.7	55 18.3	
50代	300 100	15 5.0	5 1.7	144 48.0	5 1.7	25 8.3	33 11.0	54 18.0	
60代	300 100	9 3.0	6 2.0	152 50.7	4 1.3	25 8.3	21 7.0	37 12.3	
70代以上	300 100	24 8.0	18 6.0	163 54.3	2 0.7	42 14.0	25 8.3	37 12.3	

	度数 横%	全 体	中食・外食/ 出前・デリバリー・宅 配の利用が増えた	食生活/ 自宅で食事する機会 が増えた	家族そろって食事する 機会が増えた	大皿料理を作らな くなった・食べなくなった	焼き肉・鍋・しゃぶしゃ ぶなどを作らなくなっ た・食べなくなった	食事をする時にしゃべ らなくなった・会話をし ないようになった	食事をひとりでするよ うになった
全 体		1800 100	114 6.3	632 35.1	263 14.6	107 5.9	102 5.7	87 4.8	53 2.9
地域	首都圏	900 100	59 6.6	340 37.8	155 17.2	57 6.3	64 7.1	55 6.1	36 4.0
	京阪神圏	900 100	55 6.1	292 32.4	108 12.0	50 5.6	38 4.2	32 3.6	17 1.9
年代	20代	300 100	26 8.7	84 28.0	29 9.7	13 4.3	19 6.3	18 6.0	6 2.0
	30代	300 100	22 7.3	93 31.0	32 10.7	7 2.3	11 3.7	13 4.3	6 2.0
	40代	300 100	29 9.7	108 36.0	48 16.0	17 5.7	17 5.7	12 4.0	15 5.0
	50代	300 100	20 6.7	110 36.7	51 17.0	22 7.3	15 5.0	11 3.7	7 2.3
	60代	300 100	10 3.3	103 34.3	39 13.0	21 7.0	15 5.0	15 5.0	10 3.3
	70代以上	300 100	7 2.3	134 44.7	64 21.3	27 9.0	25 8.3	18 6.0	9 3.0

	度数 横%	全 体	その他	特にない
全 体		1800 100	5 0.3	511 28.4
地域	首都圏	900 100	5 0.6	231 25.7
	京阪神圏	900 100	0 0.0	280 31.1
年代	20代	300 100	0 0.0	82 27.3
	30代	300 100	0 0.0	85 28.3
	40代	300 100	3 1.0	74 24.7
	50代	300 100	1 0.3	91 30.3
	60代	300 100	0 0.0	97 32.3
	70代以上	300 100	1 0.3	82 27.3

Q54 あなたは、食肉の喫食により得られる「カロリー」について、どのような意識をお持ちですか。

度数 横%		全 体	食肉の喫食により、カロリー 過剰にならないよう 気をつけている	食肉を喫食する際に、 カロリーを意識していない	食肉を喫食して、カロリー 不足にならないよう 気をつけている
全 体		1800 100	631 35.1	925 51.4	244 13.6
地域	首都圏	900 100	325 36.1	454 50.4	121 13.4
	京阪神圏	900 100	306 34.0	471 52.3	123 13.7
年代	20代	300 100	94 31.3	142 47.3	64 21.3
	30代	300 100	108 36.0	136 45.3	56 18.7
	40代	300 100	85 28.3	183 61.0	32 10.7
	50代	300 100	112 37.3	162 54.0	26 8.7
	60代	300 100	118 39.3	156 52.0	26 8.7
	70代以上	300 100	114 38.0	146 48.7	40 13.3

Q55 あなたは、食肉の喫食により得られる「脂質」について、どのような意識をお持ちですか。

度数 横%		全 体	食肉の喫食により、脂質の 摂り過ぎにならないよう 気をつけている	食肉を喫食する際に、 脂質の摂り過ぎや不足を 意識していない	食肉を喫食して、脂質 不足にならないよう 気をつけている
全 体		1800 100	804 44.7	811 45.1	185 10.3
地域	首都圏	900 100	416 46.2	392 43.6	92 10.2
	京阪神圏	900 100	388 43.1	419 46.6	93 10.3
年代	20代	300 100	113 37.7	135 45.0	52 17.3
	30代	300 100	126 42.0	131 43.7	43 14.3
	40代	300 100	113 37.7	164 54.7	23 7.7
	50代	300 100	144 48.0	134 44.7	22 7.3
	60代	300 100	154 51.3	130 43.3	16 5.3
	70代以上	300 100	154 51.3	117 39.0	29 9.7